大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年五月廿日第三種郵便物認可　毎週發行　定價金拾錢　送料共　昭和二十年五月火日(火)　第三四〇八號

同盟通信 海外電報 (97)

四月二十二日ジューコフ軍が北方及び東方からベルリン市街の一角に突入してから既に一週間を經過した、この間ベルリン防衛軍將兵の幾多の敢闘物語を織り交ぜつつベルリン攻防戰は急激な進展を示し早くも最後の段階に入つた樣子だ、この戰ひのためにのみ用意された赤軍の夥しい火砲は市街周邊に配置され、超低空攻撃を任務とする小型飛行機と共にドイツ軍の抵抗據點に對し虱潰しの砲撃を加へてをり、これがためベルリンの長期防衛は不可能な狀態にあるといふ、首都をして第二のスターリングラードたらしめんとするドイツ軍の作戰が、蹉跌を來しかかつてゐる理由は他にもある、アレキサンダー廣場からチアーガルテンに至る市街中心部を保持するドイツ軍の現在の情勢を單に地域的にみるならば、全市三十六區のうち三十四區まで奪取されたスターリングラード防禦軍の最惡の場合に比し必ずしも絶望的とはいへない、しかし第一白露、第一ウクライナ兩軍によるベルリン包圍環は二重となつてをりいはばベルリンは孤島に過ぎない、ヴオルガ東岸から續々援軍を繰り出し得た赤軍と情勢は全く異つてゐる、かくしてヒトラー總統以下ドイツ首腦部の悲壯な決意にも拘らず遺憾ながらドイツの今後の奇蹟を待望することは不可能だといはざるを得ない、勿論ドイツ軍は最後の彈丸まで撃ち盡すであらう、然し戰ふ國民として我々はあくまで冷靜な頭腦と眼を持たねばならない、大勢既に決した歐洲戰況に今後いかなる突然變異が起らうとも、情勢を的確に把握さへしてをれば驚くには當るまい、若し將來ドイツ軍が矢盡き刀折れた場合日本が一國で戰ふことになるのは1+1=2より明瞭でそして又英國、フランスは總選擧氣分に沸き立ち米國が對日戰にその保有する一切の力を傾倒するであらうことも——沖繩戰が祖國防衛戰の序曲であるといふ儼たる事實は歐洲の如何なる事件によつても影響されない

【目次】

小國鬱憤をばらまく……一一六〇
モロトフ歸國せん……〃
民需生産制限を緩和……〃
ミユンヘンの暴動鎭壓……〃
議長問題一應解決……一一六一
三票要求を承認……〃
執行委員會を構成……〃
ソ聯大國の權利を主張……〃
重慶も諸國の犧牲を要求……〃
各國代表平等を主張……一一六二
小國の反撃激化せん……〃

【米洲】
航空機工業で罷業……〃
無煙炭礦夫も罷業を表決……〃
支那からの礦物資源……〃

【歐洲】
三軍合流を正式に聲明……一一六三
合流米軍の指揮官……〃
佛軍、米軍の撤收要求を拒否……〃
瑞、南部國境の防備を强化……〃
佛要人のスイス入り……〃
さらにフランスへ……〃
レオポルド三世いまだ釋放せず……〃

【英帝國】
會議派領袖の釋放を建言か……一一六四
印度左翼の大立物退隱さる……〃
印度代表は英國の傀儡……〃

【東亞】
ハーレー重慶歸任第一聲……〃

【軍事情報】
米重巡二隻進水……〃

【特輯】
桑港會議と國際機構案……一一六五

【資料】
ドイツ食糧事情……一一七二
一九四四—四五年度英國歲出入……〃
反樞軸軍政の貧困……一一七三

小國鬱憤をばらまく

（リスボン二十九日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議二十八日前日に引續き全體會議を開催したが、この日は午前、午後を通じて全部小國代表が議場を占領し會議は正に「小國日」の觀を呈した、二十七日の濠洲、ブラジル、ベルギー代表の演説に引續き二十八日の演壇にたつたのはエジプト、ウルガイ、チエコスロヴアキア、ギリシヤ、エル・サルヴアドル、ホンジュラス、レバノン、オランダ、印度、フイリピン、イランの十一ケ國代表だつたが、彼等はいづれもダンバートン・オークス案並びに安全保障理事會の投票手續を規定したヤルタ方式が小國の犧牲のみを強要する點を特に指摘し、大國の專横に對する鬱憤をぶちまけたが、演説の主なもの次の通り

△エジプト代表バドウイ・パシヤ

國際機構の運營にあたり大國がその責任の大部分を負擔しなければならぬことは事實だが、然し現在の國際機構案は小國と大國との間に今少し勢力の均衡がとれるやう修正されなければならぬ、これがために先づ安全保障理事會における小國の發言權を强化するため理事國は現在の十一ケ國から十四ケ國に增員することが必要であり、また非常任理事國の選出にあたつては世界のあらゆる地域がこれに代表されるやう考慮を拂はなければならぬ、一方ダンバートン・オークス案では總會は單に諮問機關の地位に蹴落されてゐるが、この總會の權限を擴張し、總會に對して四分の三の票數をもつて理事會の決定を否決し得る權限を與へるやう要求する

△ギリシヤ代表ソフイアノポロス

總會に對して遙かに大きな權限を與へるやう要求する、卽ち總會は理事會が審議中の問題は勿論理事會が決定したことに對しても勸告し得る權限が與へられねばならぬ

△レバノン代表チヤールス・ハビブ

國際機構の目的は世界の平和と安全とを確保することに限定されてはならぬ、正義こそかかる機構の根本思想でなければならぬ

△印度代表ラマサワミ・ムダリアル

世界平和の基礎は全人類の根本的權利を認めてこそはじめて實現しよう

△チエコスロヴアキア代表ヤン・マサリーク

ダンバートン・オークス案は從來のものに比し改良のあとの認められることは事實だが、遺憾ながら重要な諸點に對して適當な考慮が拂はれてゐない、その諸點とは國際法の尊嚴恢復、國際條約の遵守、領土主權の尊重、侵略の定義等である

モロトフ歸國せん

（リスボン二十九日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議關係筋の漏らすところによればソヴエト首席代表モロトフ外務人民委員は歐洲情勢の急轉回に鑑みここ數日中に急遽モスクワに歸還することとなつたといはれる

民需生産制限を緩和

（リスボン二十八日發）ワシントン來電＝米國戰時生産局長官クルーグは今後各地區並びに各地域の戰時生産局支部に對しその地方々々の實狀に卽應して民需生産再開を許可する權限を附與する旨廿七日發表した、右新方針は民需生産再開の公平を企圖したものである、戰時生産局は又ここ一週間乃至十日以內に現在統制下にある五百種の資材の內約六十五種目の統制を解除する旨を發表した

ミユンヘンの暴動鎭壓

（チユーリツヒ二十八日發）ロイター通信の前線報道によれば二十八日ミユンヘン放送はミユンヘン市內に暴動が勃發した旨報道したといはれるがバワリア地方のナチ黨支部長ギースラー氏は同日午後三時五十分暴動を完全に鎭壓した旨發表したといはれる、ギースラー氏の發表によれば、暴動に參加した裏切分子は二十八日午前二時同氏を逮捕しようとして失敗し、叛徒はまた一時ミユンヘン放送局を占據したといはれるが、右暴徒は「バワリア自由運動」と稱し、暴徒團が一時抑へた放送局は二十八日「バワリア自由運動」が同日ミユンヘンの行政權を接收、市內からドイツ軍を驅逐した旨放送し、更にバワリア地方のフランス人勞働者に對し職場を棄てるやう要請したといはれる

昭和二十年五月一日(火)
第三四〇八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

議長問題一應解決

(リスボン二十七日發)サンフランシスコ來電＝桑港會議報道部長マクダーモツトは二十七日夜の記者團會見でつぎの通り述べた

桑港會議は議長を四名とするに決定したが、この四名の議長は議事の具體的處理のためにその權限を米首席代表ステチニアスに委任することとなつた、卽ちステニアスは招請四ケ國からの權限の委任によつて執行委員會並びに指導委員會の議長に指名された

三票要求を承認

(リスボン二十七日發)サンフランシスコ來電＝桑港會議の指導委員會は二十七日午前の秘密會においてソヴエト聯邦、ウクライナ共和國並びに白ロシヤ共和國が新平和機構の總會にそれぞれ代表を出す權限を認めるに決定した

執行委員會を構成

(リスボン二十七日發)サンフランシスコ來電＝桑港會議は二十七日午前十一時からの指導委員會でつぎの各國代表をもつて執行委員會を構成するに決定した、米國、英國、ソヴエト聯邦、重慶政權、濠洲、ブラジル、カナダ、チリー、チエコスロヴアキヤ、ド・ゴール政權、イラン、メキシコオラング、ユーゴスラヴイア、更に米洲代表の提案に基きつぎの通り決定した

一、ダンバートン・オークス提案に關する修正骨子は五月二日以降の會議で審議する

一、重大な修正案は先づ執行委員會並びに指導委員會で審議しかる後全體會議に提案するが細目に關する修正案は直接全體會議に提出すること

ソ聯大國の權利を主張

(リスボン二十七日發)サンフランシスコ來電＝ソヴエト代表モロトフ外務人民委員は二十六日午後の桑港會議全體會議の席上で要旨左の通り演說した

ソ聯は戰後の安全を保障せんとする崇高な目的に誠意をもつて貢獻せんとしてゐるあらゆる國家と共に戰後安全保障機構の樹立に全的に協力することを誓ふ、ソヴエト政府は强力な國際安全保障機構樹立に努力せんとする眞摯なる選手國である、少くとも歐洲における戰爭が今や漸く最後の段階に入つた事實に鑑みソヴエト政府はこの桑港會議を特に重大視してゐる、卽ち今や戰後並びに將來の問題を考慮すべき時が到來したのである、余は故米大統領ルーズヴエルトが永續性ある平和を樹立せんとし、この歷史的な會議を準備した努力に感謝の意を表したい

今次會議の嚴肅なる責任は世界各國の將來の安全を保障する基礎を築くことにある、ソヴエト政府は將來この問題解決のために完全に協力すべく而してソ聯はあらゆる障碍にも拘らずあらゆる平和愛好國の共同の努力によつてこの歷史的な目的が達成されることを確信する、しかしわれわれは國際安全保障機構樹立の事業が直面すべき諸困難を過少評價してはならない、國際平和機構において不可缺なことは平和維持の歷史的使命を自覺し更にこの機構を發揮するに必要な力を持つ大國の團結である、卽ち米、英、ソ、佛、重慶五國が大國として協力することが絶對に必要であり、その他諸國はこの五大强國に協力すべきである、新國際機構は一般的平和を擁護するために必要な力を持たねばならぬ、またこの機構は諸國家の安全を擁護するために必要な武力をも持たねばならぬ、ソ聯に關する限りソヴエト全國民は健全なる國際機構設置を支持しこれに貢獻せんとの信念に燃えてゐる

重慶も諸國の犧牲を要求

(リスボン二十七日發)サンフランシスコ來電＝重慶代表宋子文が二十六日午後桑港會議全體會議で米英ソ三國代表とともに行つた演說要旨つぎの通り

集團安全保障體制のためには各國はその主權の一部を犧牲にする用意がなければならぬ、個人關係におけると同樣、國際關係においても各國は法の下における自由といふ思想を支持する必要がある

各國代表平等を主張

（リスボン二十八日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議は二十七日ステチニアスの司會の下に全體會議を開催、濠洲、ベルギー、ボリヴイア、ブラジル、カナダ各代表が演説したが、いづれも大國の獨裁に反對、中小國の權利を主張して桑港會議の前途に幾多の波瀾を豫想させた、主な代表の演説つぎの通り

△濠洲代表フオード

桑港會議を成功せしめるためには各國は率直かつ詳細に自國の見解を表明すべきだ、濠洲は若干の修正を提案し、委任統治地域問題を討論し國際組織の機能を明確に説明するやう要請する筈だ、國際組織は各國の獨立を保障すべきである

△ブラジル代表ヴエロソ

國際組織の基礎は各國の政治的權利の平等におかれねばならぬ

△ベルギー代表スパーク

大國は爾餘の諸國に奉仕すべきであり、支配してはならない、小國が大國の指導を承認するのは、大國が正義を維持する場合だけだ

小國の反撃激化せん

（リスボン二十八日發）ポーランド問題、ソ聯の三票要求、米國の議長獨占問題等揉みに揉めた桑港會議は更に新たな問題に逢着、再び波瀾が豫想されるに至つた、國際安全保障機構が大國による小國支配野望の實現の道具であることは、今までも中小國間で屢々問題にされたが、二十七日の全體會議で俄然表面化するに至り、AP記者ジョン・ハイタワーは二十八日次の通り論じてゐる

桑港會議を操る四大國は大國の小國支配に對する小國の一致した挑戰に直面した、濠洲、ブラジル、ベルギーの各代表は二十七日小國にももつと責任ある役割を與へよと要求したが、これは大國と小國との間の釣り合ひを變動させようといふ中小國の希望が漸く排け口を見出すに至つたことを意味する以上の小國の反撃が直接收めた成功は執行委員會の人員十一名を十四名に擴充したことが併しながら小國の反撃はこれのみに留まらず今後更に幾多の波瀾が當然のこととして豫想される

【米　洲】

航空機工場で罷業

（リスボン二十八日發）マクロン（オハイオ州）來電によればグツドイアーゴム會社並びに同飛行會社の三工場で從業員約七千名は二十六日來罷業を開始し、同社の生産を危殆に陷れてゐるといはれる、會社當局の言明によれば第二、第三兩工場の從業員三千乃至四千名は賃銀更改交涉が捗々しく進捗しないのに業を煮やし一齊に職場を拋棄、更に第一工場の從業員三千名も二十七日夜から罷業に參加したといはれる

無煙炭礦夫も罷業を表決

（リスボン二十七日發）ニユーヨーク來電＝粉糾を續けた有煙炭勞働者の賃銀契約更改問題は二十五日一應解決したが、他方無煙炭勞働者六萬五千名と炭礦主側との契約更改交涉は未だ纏らず、內四萬二千名は二十七日に至り現賃銀契約の滿了する三十日までに新契約が成立しない時は罷業を開始する旨表決した

支那からの礦物資源

「フアイナンシヤル・ニユーズ」紙は四月十二日つぎの通り報道してゐる、米國外國經濟院の報告によれば昨年中に七千瓲の錫が支那からヒマラヤ山脈を越えて米國に空輸されたといはれるが、これは一九四三年の約三倍に當る、また昨年中にヒマラヤ山脈經由で米、英、ソ三國に空輸配分された總量は三千三百七十六萬六千封度に達する

昨年米國に空輸された戰略物資は一九四三年に比し十六萬六千封度の增加を示し、七百十三萬三千に達したが、この內二十五萬二千封度だけが民間に廻り殘餘は盡く政府の使用に當てられた

昨年支那から米國に積み出されたウルフラム礦は僅か百六十四萬封度に過ぎなかつたが、他方一千百六十萬封度以上がソ聯に空輸された

【歐　洲】

三軍合流を正式に聲明

(リスボン二十七日發)ワシントン來電＝米英ソ三國政府は二十七日正午(東部戰時時間)一齊に西部戰線の反樞軸軍が東部戰線の赤軍と合流した旨正式に發表した、米英ソ三軍の合流は二十六日午後二時(東部戰時時間)ベルリン南方百二十粁エルベ河畔のトルガウで行はれた、尖兵の接觸は二十五日既に行はれてゐる、大統領トルーマンの聲明次の通り

アイゼンハワー麾下の反樞軸軍はドイツ中部の所定の地點に於て赤軍と合流しドイツ軍は兩斷された、このことは歐洲における最後の勝利の時が訪れたことを意味するものではないが、米英ソ三國の國民全體が粒々辛苦し待ちに待つた時が切迫してゐることを示す、しかしながらわれわれの敵が歐洲のみならず太平洋において最後的に克服されるまで國內戰線においては一瞬の弛緩も許されない

なほロンドンよりのストツクホルム電報によれば英首相チヤーチル並びにソ聯人民委員會議々長スターリン氏は二十七日それぞれ右に對する正式聲明を發したといはれる

合流米軍の指揮官

(チユーリツヒ二十七日發)パリ來電＝アイゼンハワー司令部二十七日の發表によれば、二十五日午後四時四十分(現地時間)トルガウ郊外で初めてコーネフ麾下の第一ウクライナ戰線軍と合流したホツヂス麾下米第一軍の部隊は第六十九師團で指揮官は少將エミール・ラインハートといはれる

佛軍、米軍の撤收要求拒否

(リスボン二十七日發)パリ來電＝米英軍と共にドイツに侵入したフランス軍は、南獨ヴルテンベルク地方の首都スツツトガルトを占領してゐるが米軍當局は同市を米軍が占領するためフランス軍の撤收を要求したに對し、フランス臨時政權主席ド・ゴールは斷乎これを拒否した、フランス內閣はこの重大問題協議のため二十七日緊急閣議を開催したが、全閣僚一致をもつてド・ゴールの措置を支持、閣議散會後左の公報を發表してフランスの强硬態度を明らかにした

米佛兩國政府は目下ドイツ領のフランス軍占領地域の區畫決定につき交涉中だが、この交涉が終るまでフランス政府は現在フランス軍政府の治下にあるスツツトガルトの現狀をあくまで維持するであらう

瑞、南部國境の防備を强化

(チユーリツヒ二十八日發)スイス政府は二十八日左の通り發表した

スイス政府は最近の戰局に關し熟議の結果軍當局の贊成を得てスイス南部國境線の防備を强化するに決定した

目下スイス、イタリア國境地區ではドイツ軍兵士とイタリア叛軍との間に激戰が行はれてをり、スイス政府は二十八日午前二時イタリアとの國境に沿ふ幅三百米以內の地區に居住する住民に對し避難を命じた

佛要人のスイス入り

(リスボン二十七日發)ロイターパリ電によればフランス敗戰責任者としてヴイシー政府に捕はれ後、ドイツ國內に人質として監禁されてゐた元首相エヅアール・ダラデイエ、同ポール・レイノー元フランス軍總司令官ガムラン將軍はそれぞれ釋放されてスイスに入國したといはれる

更にフランスへ

(リスボン二十八日發)パリ來電＝フランス通信社は二十八日確かな筋からの情報としてフランス元首相エリオ、ダラジエ、レイノー、元佛軍總司令官ガムランの四名がフランス國內に到着した旨傳へてゐる

レオポルド三世未だ釋放せず

(リスボン二十八日發)ブラツセル來電＝ベルギー政府は二十八日ベルギー國王レオポルド三世が釋放されスイスに入國したとの噂を否定し國王並びに王家一族の安否については正式の情報が入り次第公表する旨言明した

【英　帝　國】

會議派領袖の釋放を建言か

（ストツクホルム二十六日發）最近印度各派並びに英國勞働黨内において印度政情の行詰りを打開するためネールその他會議派領袖釋放意見が支配的となつてゐるが、二十五日の「アフトンブラデツト」紙は「ニユーズ・クロニクル」紙のボンベイ特派員の報道としてつぎの通り述べてゐる

總督ウエーヴエルがロンドンへ歸還したのは現在逮捕されてゐる會議派領袖を釋放する權限を與へられない限り今後總督としての地位に留まりたくない旨チヤーチルに對して意思表示するためである

印度左翼の大立物逮捕さる

（リスボン二十八日發）コロンボ來電＝セイロン島における左翼運動の大立物であるコルヴイン・シルヴアは一九四二年破獄してその行方を晦ましてゐたが今回印度で逮捕された、コルヴイン・シルヴアは現在非合法政黨となつてゐるサマサマジスト黨の黨首で破獄以來「印度レーニン黨」と氣脈と通じて暗躍を續けてゐたといはれる、シルヴアをはじめサマサマジスト黨の領袖四名は國防法に基き一九四〇年セイロン島で逮捕されたのだが一九四二年四月一齋に破獄しシルヴアを除く他の三名は一九四三年七月ボンベイで再逮捕されてゐる

印度代表は英國の傀儡

（リスボン二十七日發）サンフランシスコ來電＝印度國民會議派領袖ネールの妹パンデイツト女史は二十七日、桑港會議の印度代表に關して痛烈な批判を試み左の通り述べた

桑港會議の印度代表三名は英國政府が擇び上げた連中で絶對に印度民衆の代表ではない、今明かにして置きたいのは桑港會議に出席中の印度代表と稱する連中が印度の代表たる資格を些かも具へてゐず、印度の權威ある政治團體は一つとして彼等を公認してもゐないし彼等に代表權を委ねてもゐないといふことだ、彼等はただ英國政府に指名された者に過ぎないそれ故彼等が桑港會議で何と發言し、何に投票しようとも、それは少しも印度民衆を束縛するものではなくまた拘束する力もない、彼等はサンフランシスコに印度の旗を押し立てて來てゐるが旗印を取違へてゐる、印度には常に戰爭の原因となる帝國主義と植民地主義の坩堝だ、それ故印度の解放こそは今次戰爭の目的となつた民主々義の原則の眞僞を驗するものであり、印度の自由を拒否し續けることは以上の戰爭目的を否定することに外ならぬ

【東　亞】

ハーレー重慶歸任第一聲

（リスボン二十八日發）重慶來電＝重慶駐劄米國大使パトリツク・ハーレーは二十八日重慶に歸任し、最初の記者團會見で次の通り報告した

余は最近モスクワを訪問し、スターリン議長、モロトフ外務人民委員と會見して中國の情勢につき種々協議したが、支那が自分自身の手によつてその運命を切り拓く事を要望する點においては米英ソ三國とも同樣である、先に中國共產黨は桑港會議における代表權獲得の件につき餘の援助を求めたが、余は「桑港會議は國家間の會議であつて政黨の會議ではないから、中共が代表權を得るためには中國の正統政府として認められることが必要だ」と答へると同時に、桑港會議に對する中國代表團の顏觸れに共產黨員を加へればよからうと提言した

【軍事情報】

米重巡二隻進水

（リスボン二十八日發）ワシントン來電＝一萬噸重巡洋艦「ヘレナ」號は、ベスレヘム鐵鋼會社所屬のマサチユーセツツ州のクレンシテイ造船所で二十八日進水した、同號は二年前ソロモン海戰で沈沒した嘗「ヘレナ」號に因んで命名され、最近ベツヘレム造船所で建造された第八番目の重巡洋艦である、また一萬三千噸の重巡洋艦「ブルマートン」號は二十九日、フイラデルフイア海軍工廠で就役することとなつた、同號はワシントン州内の市名に因んで命名された最初の軍艦である

昭和二十年五月一日(火)
第三四〇八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

桑港會議と國際機構案(上)

木下秀夫

△桑港會議開く

桑港會議、正式にいへば「國際機構審議反樞軸國會議」は米國西部戰時々間二十五日午後四時三十分をもつて幕を明けた、參加國は招請國たる米英ソ重慶四國を含み四十六ケ國、參加人員は各國正式代表百九十名、これに顧問、隨員等を加へると實に千二百餘名に上る大會議である

この會議ではいはゆる世界の「平和及び安全を維持するための一般的國際機構」案が審議されるしかしてこの國際機構の原案はすでに米英ソ重慶四國(實質的には米英ソ三國)によつて作成されてをり、ダンバートン・オークス案並びに過般の米英ソ三國首腦會談で決定された投票手續に關するクリミヤ方式がこれである

されば今度の桑港會議をめぐる背後事情を明らかにするためには昨年十月のダンバートン・オークス會議に遡らなければならぬし、またこの會議の性格を明確につかむためには、反樞軸陣營が開戰以來屢次にわたつて開催してきた多くの國際會議の經過をも辿らなければなるまい

△反樞軸會議の性格

開戰以來反樞軸陣營が戰後問題を協議すると稱して開催した國際會議の數は極めて多い、いまその主なものを拾ひあげただけでも食糧會議、救濟復興會議、勞働會議、ブレトン・ウツヅ會議をもつて知られる通貨會議或ひは航空會議等々がある

これ等會議を通じてわれわれの注意を惹く反樞軸會議第一の特徴は、これ等の會議がいづれも極めて華々しく且つ大袈裟にいはばお祭り騷ぎをもつて開催されたことである、これ反樞軸陣營の催す國際會議が戰後の政治的、經濟的諸問題を協議するといふ表看板の目的以外に、戰時宣傳といふいま一つの重大な目的をもつてゐるからであつて卽ち彼等特に常に會議の提唱國たる米英兩國は一、勝敗の最終的歸趨がいまだ決定しない戰爭の渦中において戰後問題を協議することにより、今次戰爭が恰も反樞軸側の一方的勝利をもつて終るかの錯覺を全世界に植ゑつける

二、戰爭が彼らの勝利をもつて終つた場合、反樞軸陣營は立派に戰後の世界を再建、指導する能力があるとのこれまた錯覺を起させる

三、有象無象の群小諸國を反樞軸國の名前の下に一つの會議にかき集めることにより反樞軸陣營が既に世界の大部分を支配してゐるのだといふことを強く印象づける

四、更に反樞軸諸國が一堂に會合することにより陣營の內部的結束が如何に强固であるかを示威する

等々の效果をねらつてゐるのである、さればこそ以上の會議には出來るだけ多くの諸國を參加せしめると共に、各國からの代表團は必要以上に大きなものとして大名行列を以て會議地に練りこませ更に會議ではその內容が如何に空疎であり乃至は實行不可能なものであつても、とにかく一應は何等かの戰後案をでつちあげるのだ、一方、通信、報道機關は正に總動員の形で會議の模樣を細大漏らさず全世界に宣傳する

△鏃蛇的效果

然るにかかる宣傳を企圖にも拘らず、これが却つて鏃蛇的效果に終つてゐることが極めて多い、これ反樞軸會議の第二の特徵である、卽ち

一、あらゆる會議が殆んど例外なく意外な位に紛糾し、反樞軸陣營の結束ぶりを示すどころか却つてこの陣營を構成する各國の利害關係が如何に深刻な對立狀態におかれてゐるかを白日の下にさらけ出した、この內訌で特に顯著なのは米英ソ三國の對立であり、次いで大國對小國の抗爭であつた、後者の場合には常に大國の專橫に對する小國の反撥といふ形をとつたが、このことはまた反樞軸陣營においては常に犧牲を强ひられるのは小國であり、主權の平等、共存榮寵の如きはこの陣營內では到底存在し得ないことを事實をもつて示した

二、同時にまた反樞軸陣營には戰後處理の能力なきことをも暴露した、卽ち、會議はいづれも曲りなりにも何等かの戰後案を作成してゐるが、これ等は總べて妥協による產物であり勢ひその

内容は抽象的乃至は空疎たらざるを得ず、これ等會議において採擇された戰後案で具體的に陽の眼をみたのは殆んど一つもないといふ有樣である

今回開催された桑港會議が從來の反樞軸會議に比較して遙かに重大な性質を持つたものであることは斷るまでもあるまい、會議の規模も極めて大きく、また主催國たる米國も從來の會議には見られなかつた程の力の入れかただ、この意味では桑港會議は幾多の反樞軸會議の代表ともいふことが出來よう、從つて反樞軸會議の特徴は從來の會議に比して一層はつきりと現はれてゐる、桑港會議に對する躍起の宣傳といひ、會議をめぐる米英ソ三國の抗爭乃至は大國對小國の軋轢といひ、或ひは國際安全保障機構案の包藏する矛盾といひ、會議は開催に先だつてあまりにも早くその特徴を發揮し出した形だ、しかし會議はいま開かれたばかりである、桑港會議は今後その議事が進むにつれ益々その特徴を發揮してゆくだらう

△米國政府の招請

米英ソ三國政府は三月五日クリミヤ會談の決定に基づき反樞軸國四十四ケ國に對し四月二十五日から開催される桑港會議への參加招請を發すると共にこれまたクリミア會談で決定された國際安全保障機構案中の安全保障理事會における投票手續案の內容を發表した、先づ米國務次官グルーにより發表された會議招請に關する米國政府の發表を左に揭げる

クリミヤ會談において、米國政府は英ソ兩國政府をも代表して重慶及びフランス政府に對し、兩國政府が米英ソ三國政府と共に、一九四五年四月二十五日サンフランシスコに開催される反樞軸會議の主催國となるやう交涉する權限を與へられた米國政府はこの交涉を行つた結果、重慶政權は桑港會議の主催國となることを承認した、しかるにフランス臨時政府は會議に參加することは承諾したが、同政權がダンバートン・オークス會談に參加してゐなかつたとの理由で、主催國となることには同意を與へなかつた

本日、ワシントン時間の正午、世界各地の首都に駐劄してゐる米國政府代表は反樞軸三十九ケ國政府に對して次の招請をなした

米國政府は英國、ソ聯、重慶三國政府を代表して、貴國政府がその代表を桑港會議に派遣するやう招請する、右會議においては國際平和及び安全維持のための一般的國際機構の規約を準備するであらう、前記主催國は右會議において、昨年十月ダンバートン・オークス會談の結果發表された一般的國際機構設立案の規約並びに右規約中新たに追加された第六章第三節の規定を基礎として檢討を加へることを提議する

もし出席國政府にして、會議開催に先立ち以上の提案に對しその見解乃至批判を提出せんと欲するならば、米國政府は喜んでその見解並びに批判を他の參加國政府に傳達する勞をとるであらう

△投票手續

新たに追加された第六章第三節の規定といふのは國際機構中、安全保障理事國が國際紛爭處理にあたつて、理事會の行動を決定する投票手續である、ダンバートン・オークス會談で決定された國際機構案において、もつとも重要な役割を果すこととなつてゐるのは安全保障理事會であるが、この理事會最大の機能は國際紛爭の處理にあり、しかも紛爭處理にあたつての理事會の行動を決定するのがこの投票手續である、換言すれば、ダンバートン・オークス案の死活を制する最も重大な規定が第六章第三節なのであるが、ダンバートン・オークス會談では遂にこの最も重要な規定に對して米英ソ三國間に意見の一致をみるに至らなかつた、右會談が國際機構案の大綱を決定するに成功したにも拘らず、屢々お流れに終つたと評されるのはこれがためである

然るに、過般ヤルタで開催された米英ソ三國首腦會議では漸くこの投票手續に關して妥協案が成立した、いま米國務省から發表された妥協案の內容を見よう

第三節　投票

第一條　安全保障理事會の理事國はそれぞれ一票宛の投票權を有す

昭和二十年五月一日(火)
第三四〇八號
同盟通信
海外電報
(第二種郵便物認可)

第二條　手續問題に關する理事會の決定は理事國七ケ國の贊成投票をもつてなされる

第三條　その他あらゆる問題についての理事會の決定は、常任理事國全部の同意投票を含めた理事國七ケ國の贊成投票をもつてなされる、但し、第八章第一節並びに同章第三節第一條第二項に規定された事項の決定に當つては、紛爭當事國は投票を棄權す

註＝第八章第一節は國際紛爭の平和的處理に關するものであり、第三節第一條第二項は地域的國際機構と安全保障理事會との關係を規定してゐる、詳しくは本通信の昨年二四五號（十月二十五日發行）反樞軸聯盟案全文を參照されたい

△ステチニアスの說明

米國務長官ステチニアスは投票手續案の發表と同時に、特に聲明を發してその手續の具體的內容を說明してゐるが、その說明は次の通り

投票手續に關する諸規定の具體的意義は安全保障理事會の機能を二つ、卽ち國際紛爭の平和的解決を促進する上において理事會の演ずる準司法的機能と、平和及び安全の維持のために理事會が行動をとる場合の政治的機能とに分けた點にある

理事會が國際紛爭の平和的解決のために準司法的機能を發揮する場合には、大國たると小國たるとを問はず審判を免れることは出來ない、換言すれば如何なる國家と雖も、その國家が紛爭當事國である場合には、その國は理事會の決定に當り投票權を行使することが出來ない、しかして理事會が準司法的機能を發揮する場合は次の通り

イ、紛爭問題を調査するか否かの決定

ロ、紛爭乃至事態が解決されずして繼續する時は平和を脅威する惧れありや否やの決定

ハ、理事會が紛爭當事國に對しその紛爭を相互の間において解決するよう勸奬するか否かの決定

ニ、紛爭が理事會に送附された時、理事會が紛爭解決の方法並に手續きを勸告するか否かの決定

ホ、紛爭が理事會に送附される前に、理事會が以上の如き勸告を行ふか否かの決定

ヘ、紛爭の法的性質を持つ部分を國際司法裁判所に移牒するか否かの決定

ト、地域的機關が紛爭の調停に當るべきか否かの決定

チ、紛爭を總會に移牒するか否かの決定

しかるに理事會が平和及び安全維持のため政治的機能を發揮する場合には、理事會の常任理事國とその他諸國との間に相違をつけることとした、これはかかる機能發揮に伴ふ理事會の行動に對して主として責任をとるものは、必然的に常任理事國であるとの現實的理由に基づくものである、卽ち理事會がかかる行動に出る時は、常任理事國の一致した行動が絕對に必要であり、從つて常任理事國全部の贊成投票を必要とする、主なる場合は次の通り

イ、平和に對する脅威ないしは平和破壞の事態が存在するか否かの決定

ロ、武力行使ないしはその他の强制的措置の斷行

ハ、武力供給に關する取極めの承認

ニ、軍備統制に關する事項

ホ、加盟國の一時除名及び除名並びに新たなる國の加盟承認に關する事項

△投票手續の矛盾

ステチニアスは投票手續の說明にあたり「理事會が準司法的機能を發揮する場合には、大國たると小國たるを問はず審判を免れることは出來ない」と述べた箇所で No nation is abov the law なる表現を用ひてゐる、彼はかかる表現を用ひることによつて新機構が決して大國の獨占機關ではなく、小國も大國と同樣の發言權を持つてゐることを强調せんとしたのであらうが、しかしこれは詭辯以外の何ものでもない、何故ならば非常任理事國（小國）が常任理事國（大國）と同樣の發言權を有するのは國際紛爭がいまだ平和的處理の段階にある間だけのことであつて、紛爭が一度び武力行使その他國際機構による强權の發動を必要とする段階に入る時は、非常任理事國によつて代表される小國の發言權は殆んど全く封じられて完全に大國の思ひのままになる仕組みになつてゐるからだ、この點が新國際機構案の最も肝心な點であるからさらに詳しく說明を加へよう

前述の通り新國際機構案における最も重要な機

關は安全保障理事會であるダンバートン・オークス案を一讀すれば直ちに明らかとなる如く、理事會以外のその他機關、總會にせよ、國際司法裁判所にせよ、之らは何れも理事會に對して諮問的機能を發揮し得るに過ぎず、極言すれば新國際機構において具體的行動をとり得るのは理事會のみであり、その他は悉く理事會の附屬機關に過ぎないとさへいへる

しかもこの理事會の機能のうち最も重要な機能は武力行使その他の强權の發動を伴ふ國際紛爭の處理にある、國際紛爭がいまだ平和的に處理し得る段階にある間は、この紛爭は世界の全體平和を脅やかす如き重大な紛爭とはなり得ない、如何なる紛爭にせよ、これが既に平和的解決の範圍を逸脫した場合にかかる紛爭は始めて世界の全體平和を脅威する深刻、重大な性格を帶びるに至るのであり、かかる重大な紛爭を處理、解決し得てこそ始めて國際安全保障機構はその存在理由を主張し得るであらう、しかして國際紛爭がすでに平和的處理の範圍を逸脫してしまつてゐる場合、かかる紛爭の有效な處理のためには當然武力行使その他の强權を背景とすることが絕對に必要であることは、舊國際聯盟失敗の歷史を顧みただけでも十分である、換言すれば、反樞軸陣營の企圖してゐる國際安全保障機構の死活を制する重大な機能が强權の發動を伴ふ國際紛爭處理の點におかれてゐるのである

しかるにクリミヤ會談において決定された理事會の投票手續によると、理事會がこの最も重要な機能を發揮せんとする場合には常任理事國はたとへ紛爭當事國である場合にも、理事會の行動を決定する投票に參加し得るばかりでなく更にこの投票においては常任理事國全部の贊成投票がなければ理事會は何等の具體的行動にも出ることが出來ないことになつてゐるのだ

△About the Law

ステチニアスの言葉をそのまま借用するならば新國際機構がその生命ともする最も重大な役割を果たさんとする場合には、常任理事國のみはひとり超然として國際機構による裁斷の上に立ち、正に About tht law の地位におかれるのであるステチニアスの議論が詭辯以外の何物でもないといふのはこの點にある、勿論彼の主張する如く、理事會が國際紛爭の平和的處理に當つてゐる間、乃至はその他の重要でない機能を果す場合には常任理事國たると非常任理事國たるとを問はず、その間には何等の差別待遇もなく平等の權利、發言權が認められてゐる、更に他の機關、例へば總會においても參加各國は大小國の別なく平等に一票宛の發言權が認められてゐる（ソ聯の三票要求はこの原則を破るものだが、この問題は後述しよう）だが注意を要するのは小國が大國と同樣の權利を認められてゐるのは、新國際機構が重要でない機能を發揮する場合、乃至は總會の如き重要ならざる機關の場合のみに限られ、それ以外の場合においては大國と小國との間には最も明確な相違がつけられてゐる點であり、前述した如く大國が新國際機構の裁斷の上に超然としてたち得る地位を認められてゐる點などは、これが最も極端な形をとつて示された場合である

新國際機構が大國の獨占機關であるといはれるのはこれがためであり、しかもこの主張に對してはステチニアスの如き詭辯を弄さぬ限り反駁の餘地がないであらう

△紛爭處理能力なし

新國際機構案の作成にあたつて、新機構が舊國際聯盟と同樣の缺陷に陷らないやう並々ならぬ苦心の拂はれてゐることは、新國際機構案と舊聯盟規約とを比較してみれば直ちに明らかとならう、舊國際聯盟が何故失敗したか、その原因はあまりにも明らかである、卽ち、舊聯盟はウイルソン流の理想主義に走り、各國の主權平等をあまりにも重視した結果、大小數十ケ國に上つた參加各國の制限なき發言權の行使によつて聯盟議場は一種の國際討議會場と化し、國際紛爭の處理にあたつて迅速な行動のとれなかつたことがその一つ、また制裁行動の發動に際し、武力行使その他の强權の背景を缺いたためこれまた國際紛爭の處理に有效

昭和二十年五月一日(火)
第三四〇八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

適切な行動に出ることが出來なかつた、これ舊聯盟失敗の二大要因である

されば新國際機構においては特にこの二點について舊聯盟の轍を避くべく愼重な考慮が拂はれてゐる、新機構の總會が舊聯盟の總會と異なり單なる諮問機關の地位に蹴落されてゐるのもこれがためである、理事會にあらゆる實質的權限が集中され、しかもこの理事會において常任理事國に異常に廣大な權限が與へられてゐるのもこれがためである、さらに新機構には國際紛爭の處理に當つて舊聯盟の持たなかつた武力行使を初めとする强權の發動權が與へられてゐる、新機構は舊國際聯盟機構に比較すればたしかに現實的であり、國際紛爭處理機關としてはたしかに一步前進したかの如くである

しかしながら、かかる愼重な考慮が拂はれてゐるにも拘らず、新機構は果して國際紛爭の處理にあたつてその十分なる機能を發揮し得るであらうか、この疑問に對する回答を求める前にわれわれはまづ去る三月六日のニューヨーク・タイムズ紙がクリミヤ會談で決定した安全保障理事會の投票手續に關して發表した批評をみよう

國務省はクリミヤ會談で決定された新國際聯盟理事會の投票手續案の全文を發表した、この投票手續によると五大國は小國に比し大いに惠まれた地位におかれるわけであり、これに對して非難の加へられるのは當然である、しかしながら、われわれは現實に直面しなければならぬ、何故ならば、もし五大國の一國がその意志に反して强權を背景とする制裁の目標となるやうな場合にはどの道平和は失はれるのであり、如何なる投票手續を考案したところで新たなる世界戰爭の勃發を防止することは出來ない、結局平和を維持し得るか否かは一つにかかつて大國が信義を重んずるか否か、また大國同志が仲好くやつてゆけるか否かにおかれてゐる、もし大國同志が仲好くやつてゆけないとするならば、理事會の投票手續が紙の上では如何に愼重、巧妙を極めたものであらうとも世界平和を維持することは出來まい

新國際機構に果して國際紛爭處理の能力があるか否かの疑問に對しては、右のニューヨーク・タイムズ紙の社說がほぼその回答を與へてゐる、同紙は單に理事會の投票手續を問題としてゐるのみだが、同紙の論旨をそのまま敷衍して「もし大國同志が仲好くやつてゆけないとするならば、國際機構の仕組みが紙の上ではいかに愼重、巧妙を極めたものであらうとも世界平和を維持することは出來まいとしても何等牽强附會とはなるまい

△新機構の自繩自縛

現實の問題として、世界平和を脅やかす如き重大な國際紛爭には必ず一國以上の大國がこれに關係してゐる、しかして大國相互間の紛爭の場合は勿論として、大國對小國の紛爭の場合にも殆んど例外なく侵略國の烙印を押されるのが大國であることは常識だ、さて常任理事國たる五大國のうちある一國が侵略國として裁斷され、これに對して國際機構が武力を伴ふ制裁を加へんとするとき、果して侵略國と斷定されたその國が自國に對して加へらるべき武力制裁に同意を與へるであらうか、しから理事會が武力制裁を加へる場合には常任理事國全部の贊成投票が必要なのである、換言すれば、新國際機構は大國を對象としては全く何等の有效な具體的行動をとり得ないのであり、延いては世界平和を脅威する如き重大な國際紛爭の處理能力なしとの結論に到達せざるを得ない

新國際機構は舊聯盟の失敗繰返しを避けるために武力行使と大國への權限集中といふ仕組みを考案したのだが、その結果は皮肉にもこの新考案のためにこそ却つて自繩自縛の狀態に陷り、舊聯盟と全く同樣、國際紛爭の處理能力なき機關となつてしまつてゐるのである

△大國の獨占機關

かくの如く新國際機構が包藏する數々の矛盾、缺陷は余りにも顯著であり、これは米英兩國內においてさへ言論機關その他により率直に認められてゐる、特に英國においては新機構が大國の獨占機關である點を指摘した相當鋭い批判が行はれてゐるが、左は「マンチエスター・ガーデイアン」紙の社說である

新國際機構の缺陷は大國にあまりに大きな特典を認めた點にあり、率直に云へば大國は自分で勝手に法律をつくつておきながらこの法律の通用からは免れてゐるのだ、クリミヤ會談において米英ソ三國が決定した投票手續によれば大國は外國から何等干渉の恐れなくしてその勢力範圍内において「小規模戰爭」を演じ得るし、また世界平和を破壞してしまふやうな大きな紛爭の場合にも、大國は獨自の立場から國際機構を崩壞せしめ第三次世界大戰を勃發せしめるか否かを決定し得る

またクリミヤ方式は「地域的戰爭」なる古い思想を復活せしめたが、その機構の極めて不完全だつた舊聯盟と雖もかかる時代錯誤の思想は斷乎拒否してゐたところである、更にこの方式はリトヴイノフ氏の提唱した集團安全保障主義をも否定し、この主義の根本原則たるあらゆる國家が共同動作をとるとの態勢を示しさへすれば世界最大の强國と雖も侵略行爲に出ることは出來まいとの主張と兩立しない

ロンドン・タイムズ紙もその社說でクリミヤ方式が餘りにも小國の立場をふみつけにしてゐることを非難してゐるが、同紙は更に例のビヴアリツジの公開狀を掲載してをりこの公開狀は米英兩國の論客が發表した新國際機構案に對する批判のうち最も痛烈な表現をもつてその缺陷を指摘したものとして注目すべきであらう、その論旨の大要は次の通りである

新國際機構の下においては裁かれるのは小國のみで安全保障理事會の常任理事國たる五大國はこの裁決の上に超然たり得る、現實の問題として五大國は强大な力を持つが故に國際機構の規定に從ふ必要はないかも知れない、しかしたとへこれが現實論として成りたつとうとも、國際關係を律する正義と兩立しないことは事實だ、國際關係において唯一の安全なみちは相互尊敬の原則を守るにある、理想主義よりも現實主義をとる人々と雖も、クリミヤ會談で決定された理事會の投票手續の下においては、中小國が常任理事國たる五大國の一國と紛爭を起した場合、その中小國の立場が如何に正當なものであれ、國際機構の支持を得ることは出來ないこの事實に眼を蔽ふわけにはゆくまい

このことは不可避的に次の結論を導く、卽ち中小國は彼等の安全を保障する方便として彼等相互間に同盟を結んで大國に對抗せんとするか乃至は大國のうちの一國の衞星國とならうとするだらう、これは結局勢力範圍、勢力均衡政策或ひは軍擴競爭等のあらゆる古い權謀、術策を復活せしめるものであり、全世界は第三次大戰に向つてまつしぐらに驀進することとならう、ダンバートン・オークス案はあらゆる平和愛好國の「主權の平等」を代表するものとされた、しかるに今度のクリミヤ方式をみるとこの「主權の平等」は單に口先だけのものに過ぎないことが明らかとなつた

△米國の反響

米國においても、政界及び言論界の一部からは新機構において大國が餘りに專橫な地位を占めてゐることに對して非難の聲があがつたが、就中共和黨上院議員ブツシユフイールドの如きは

新機構案は事實上米英ソ三國による世界支配案である、如何なる國際機構であれ少數國によつて支配される如き機構には反對せざるを得ないと氣焰をあげた、ブツシユフイールドは米國政治家のうちで最も痛烈に新機構案を攻擊した人物だが、この人物にしてなほ甘つ理事會における投票手續を規定したクリミヤ方式には部分的に贊意を表し

武力行使を伴ふ國際制裁において、常任理事國が否決權を留保しないとするならば、米國はその意志に反し、また議會の承認を得ずして戰爭にまきこまれるやうな事態に直面することとならう

と前の主張を全く否定する如き前後矛盾した言說を吐いてゐる、理事會投票手續の發表された後の米國政界、言論界の動きを見るに、ブツシユフイールドの態度が物語る如く、大國の專橫を非難する聲は勿論一部では聞かれたが、その非難は多く微溫的であり、投票手續における大國の專橫には

昭和二十年五月一日(火)
第三四〇八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

頗かむり主義をとるか乃至は現實主義の立場からこれを積極的に辯護せんとするものの多いのが目立つた、この點に關しては英國よりも米國の態度の方が遙かに非良心的だと斷ぜざるを得ない

クリミヤ方式に對して米國の言論界が最も騷ぎたてたのは、新機構案における缺陷乃至は大國の專橫に非ずして、却つて米英兩國の對ソ屈服の點であつた

△米英の對ソ屈服

理事會の投票手續に關するクリミヤ方式が米英兩國の對ソ讓歩によつて成立した事實上のソヴエト案であることは、ダンバートン・オークス會談からクリミヤ會談に至る米英ソ三國間の折衝經過を辿つてきた者には直ちに明らかとなるであらうダンバートン・オークス會談では折角新國際機構案の大綱が纏めあげられたにも拘らず、最も重要な安全保障理事會の投票手續に關して米英兩國對ソ聯の主張の間に深刻な對立を來して遂ひに不成立に終つた、卽ち、米英兩國はたとへ常任理事國たる大國と雖もその國が紛爭當事國たる場合は、理事會の投票に參加する權利を認むべきでないと主張したのに對し、ソ聯は國際紛爭の處理にあたり現實に責任を負ふのは大國であり、從つて常任理事國のみはたとへ紛爭當事國であつても理事會の投票に參加する權利を持つべきであると主張した

しかるにクリミヤ會談において成立した投票手續き案は如何、米英兩國は手續問題に關しては常任國、非常任國の別なく理事國のすべてが同樣の發言權を有し、また國際紛爭が平和的處理の段階にある間は紛爭當事國はこれまた常任國、非常任國を問はず理事會の投票に參加し得ないとの二點をあげて、これこそ米英兩國の主張が通つた點であると頻りに宣傳してゐるが、實にこれこそ米英がその對ソ屈服の事實を糊塗せんがための詭辯以外の何物でもないのだ、何故ならば、前にも一言した如く手續問題にせよ乃至は國際紛爭が平和的處理の段階にある間は、これに對する理事會の行動は殆んど重大な意義を持つてゐない、問題なのは國際紛爭が既に平和的處理の域を脫し、武力行使を伴ふ國際機構の制裁が發動する時である、然るにこの場合はソ聯の主張が完全に通つて、常任理事國のみは紛爭當事國でも投票に參加し得るのみか、理事會の行動は常任理事國全部の贊成を必要とするといふに決定した、議論の餘地なきソヴエト現實外交の勝利である、形式的にはソ聯は殆んど意味なき點において米英兩國に花を持たせたが肝心要の點では自己の主張を完全に貫徹させたクリミヤ方式が「米英ソ三國の互讓の結果成立した妥協案」であるといふのは米英兩國當局者のごまかし論に過ぎず讓歩を强ひられたのが飽くまで米英兩國のみであることはあまりにも明白だ

△米言論界の邀昂

米國の政界、言論界が騷ぎたてたのはこの對ソ屈服の點である、たとへば三月五日の「ワシントン・イーヴニング・スター」紙は曰く

クリミヤ會談で決定した安全保障理事會の投票手續には失望を禁じ得ない、これはたしかにクリミヤ會談におけるいはゆる「妥協」の一つであり、この妥協とはとりも直さずルーズヴエルト、チヤーチル兩者のスターリンへの屈服である、何故ならば投票手續はソ聯がダンバートン・オークス會談で主張したところと實質的に全く相違してゐないではないか

米英兩國の對ソ屈服に最もいきりたつたのは、當然のことながら米國內における孤立主義者及び反ソ論者である、就中、スクリップス・ハワード系新聞の攻擊が特に目立ち、左は同系紙がクリミヤ會談の直後に發表した論文の要旨である

クリミヤ會談は再びスターリンの命令した「妥協」を生み出した、今や大西洋憲章は第二義的な地位を占めるに過ぎない、ルーズヴエルトは解放された諸國の國民は彼らの運命を自分自身によつて決定し得る權利を回復したといふが、ソ聯に占領された諸國の國民は果して彼ら自身によつてその運命を決定し得る權利が與へられてゐるだらうか

かくの如く、クリミヤ會談における米英兩國の重ね重ねの對ソ屈服が、米國內における反ソ運動に爆發のはけ口を與へたことは事實であり、左は米

國内の有力な反ソ勢力たるカソリック教徒の團體が四月十九日桑港會議に出席する各代表に送附した決議文の内容である

眞の民主主義とマルクス的全體主義とは完全に相違した二つの生活樣式であり、この兩者は一致すること不可能で明日の世界の國家及び國民を二つに分割する原動力となるかも知れない、ナチズムとファシズムとは幸ひにも歴史上の惡夢として終歪を告げるやうだが、眞の民主主義は今後マルクス的全體主義による積極的にして巧妙な組織的反撃に不斷の警戒を怠つてはならない、米英ソ三國首腦がヤルタで決定したところは大西洋憲章に希望を抱いてゐたあらゆる人々に失望を與へた、米國は歐洲における解放諸國に眞の民主主義體制を復活するといふ義務を果たすべきである

資料

ドイツ食糧事情

「エコノミスト」誌三月十日

赤軍がドイツ東部の食糧生産地を進撃するにつれて、ドイツの食糧事情は次第に緊張してきた、ナチは配給量の大幅の切詰めを是非なくされたばかりでなく、全然何等の準備もなく大急ぎで配給制の變更を行はねばならなかつた、避難民の殺到によりドイツ中部の消費狀態の均衡が破れ、勞働の種別による割當量の等差を變へ、事務員の配給量にも種々の變化を來してゐるのだ、以前には月の配給に變化があると實施の數ケ月前から準備されてきたものだが、現在では何もかも卽席に實施しなければならない

ナチは從來の四週間を一期とする割當を五週間分に延ばし、多數の割當切符を無效にして全配給量の二十パーセントをどうにか削減した、總人口の三人の一に當る一般消費者は最大の減配をうけたが、その減配率と、新配給量は次の通りである

	減配率	配給量
パン	二四%	三・八ポンド（四五〇瓦）
肉、肉製品	一一%一一・〇オンス（八〇〃）	
脂肪	二〇%	六・三オンス（一四七〃）
砂糖及營養物	三〇%	五・〇 〃（三八〃）
馬鈴薯	一五%	一・五ポンド（一八〇〃）

然しこの改正配給量はいづれもドイツ占領當時のベルギー及びフランスの正規配給量よりも多く、今までのところ餓死はおろか酷い營養不良も問題となつてゐない、眞の問題は將來領土の喪失につれこれら割當量をいかにして維持してゆくかにあるの困難を克服しようと圖つてゐるが、他の領域と同樣食糧戰線においてもナチはあくまで權力を保持し不可能事を遂行しようと全力を盡してゐるしかし廣範圍に亘る當座凌ぎの工作はいづれにしても長續きはしないであらう

一九四四年―四五年度英國歳出入

「サンデイ・タイムズ」紙四月一日

英國政府は三月三十一日、同日を以つて最終日とする會計年度における歳出入統計を次の通り發表した（單位百萬磅）

經常歳入	三、二三八
經常歳出	六、〇五八
歳出超過額	二、八二〇

（右超過額は借入金によつて補はれた）

實際歳入	三、二二四
內所得稅	一、三一七
同附加稅	七四
相續稅	一一一
印紙稅	一七
關稅	三三
國防稅	四七七
超過利得稅	五七九
國產稅	四九七
自動車稅	二九
その他	九〇
歳出	六、〇五八
國債	四一五
その他の公債利拂ひ	一七
供與費	五、六二六

昭和二十年五月一日(火)
第三四〇八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

以上の歳出は主として戰爭遂行機關の任意によつて決定される、但し今會計年度における實際の歳出總額は豫算よりも四千百萬磅少くなつてゐる國債發行高は四億一千五百萬磅に增加してゐるが所得稅は殆んど豫算に等しく、一九四三——四四年度に比して增えてゐるのは、一つには收入に應じた增稅法がとられたためである、國防稅並びに超過利得稅は豫算に比べて幾らか增加してゐるが前年度と比較して、著しい增收はみられない、工業生產には最大限の稅が課せられてをり、間接國內消費稅は增大する傾向があるが、これは國民の消費が政府の豫期以上に大であるためとみられてゐる、これに對し單純な批判を加へれば、結論は「國民は消費を節約して貯蓄をふやすべきだ」といふことになる、實際の歳入が增加して、歳出が幾分減少した結果、歳出超過額は豫算より二億七千七百萬磅減じ、更に歳出の五三%あまりが稅收その他の歳入によつて賄はれることとなつた、このことは英國の財力の强大を示すに足る事實である、國債發行額は今會計年度初には百八十億磅であつたものが年度末には二百七億五千萬磅に上つてをり、流動負債は四十九億三千三百萬磅から六十一億一千六百萬磅に上つてゐる、流動負債の大半は銀行からの短期借入金であり、大分以前から國內の諸銀行が產業界に對する貸附を增すといふ義務にある事實を改めて想起すべきである、この結果流動資金中長期借入金への借り替へ分を無期延期出來ないので、銀行預金の增額を差控へなければならなくなつた、今後の豫算案は暫定的措置とみなされるは當然で、藏相は「秋季豫算案は對日戰遂行上必要な戰費と、戰後國內の工業生產力を十分に發揮させるための政府の計畫と睨み合はせて決定されるだらう」と言明するものとみられてゐる

反樞軸軍政の貧困

「エコノミスト」誌三月十七日號

反樞軸軍は現在までにライン西岸の略々全域を占領した、戰前この地域は三百乃至四百萬の人口を擁してゐたが、ドイツ國民の大半は既に引揚げ乃至强制疎開により離散し、現在殘留してゐるのは戰前の人口の三分の一以下には出ないだらう、しかしケルン及びクレフエルト等の大都市の陷落により、反樞軸軍の占領地域は軍政下の一般的問題の惹起を豫見させるだけの廣さと複雜さとを持つてゐる、戰爭によつて荒廢した都市と地方とをどうするかは依然將來の問題で未だ目鼻がつかず人々は現在までに入手した乏しい報告からして反樞軸軍政機關が當面する諸問題に對處するだけの用意が十分あるのかと疑ふだらう、さきにアイゼンハワーによつて發せられた布告により、この地域には戒嚴令が布かれ、一切のナチ黨組織が禁止され、その他の結社も法度となつたが、これは謂はば行政の一般的な指導方針であつて具體的な問題を處理するため指令の細目に亘るものではなく毎日の情勢に對處して事務が處理されてゐる樣子は餘り見えない、殘留してゐるドイツ國民は登錄され、ドイツの地方官吏はそのまま勤務を續け、勞働者は反樞軸軍のために仕事をするやうに命令を受けてゐる、地方的農業及び工業活動は出來るだけ維持する方針のやうに見受けられる

具體的構想全くなし

全面的に禁止されたナチ黨組織に代り反樞軸軍がこの地域に如何なる政治勢力の成長を許すつもりなのか、その構想は何等示されてをらず、ここ數週間は恐らく何物も民衆の間から盛上つて來ないであらう、現地特派員は、間斷ない爆擊に曝され續けた都市に住んでゐたドイツ人の驚くべき冷淡さと無關心ぶりとを傳へてゐる、彼等は辛うじて生き殘るためにむき出しな鬪爭を經てきたため自治とか、政治活動を考へる氣持はなくなつてゐるらしい、ケルンには地方行政機關に似たものすら未だ現はれてゐない

獨空軍總司令官更迭

(チューリツヒ二十六日發)ドイツ放送によればドイツ空軍總司令官ゲーリング元帥は宿痾の心臟病が惡化したため二十六日解任を要請、ヒ總統は聽許、後任はリツター・フオン・グライム上級大將を任命、同時に元帥に昇進せしめたといはれる

ペタン元帥等と脱出

＝三谷大使會見談＝

（チューリツヒ二十七日堀口特派員發）フランス駐剳三谷大使はペタン元帥、ラヴアル前首相等さきのヴイシー政府の要人と共に二十一日在獨フランス權益擁護委員會の本據ジグマリンゲンを脱出した、記者は二十五日スイスの國境都市サン・ガラン市に滯在中の三谷大使を訪問したが、大使は頗る元氣で次のやうに脱出の體驗を語つた

「ペタン元帥とラヴアル前首相が閣僚と共にジグマリンゲンを去つたのは二十一日の早朝であつたその時は既にフランス軍の戰車部隊が同地を去る二十八粁に迫つてゐたヴイシーからここに移つてゐたドイツ大使館からは二十四日午前十時にタツシニー麾下のフランス軍戰車部隊がスツツトがルトを迂回して迅速に南下してゐるから立退の用意をするやうに注意があつた、かくして大使館員四名はフランス人の運轉手を伴つて翌二十一日朝五時、豫定の時間を一時間も遲れてジグマリンゲンを出發した、日本大使館側の一行はすつかり僞裝した自動車二臺に附隨車を伴つてゐた、七時頃一行がフエルトキルヒからチロルの山嶽地帶に入るためワーゲンへ向つてゐたとき、私の車が故障を起し貴重な時間を三時間も空費してしまつた、敵の戰鬪機は頭上を間斷なく飛んでゐて路上に動くものは何でも銃撃するので、その間は樹蔭に待避した、車の修繕を待つてゐる間にペタン元帥一行の自動車が通り過ぎていつた、ペタン元帥とラヴアル首相は黒塗のリムザン型に乘つてゐたが、絶えず敵戰鬪機の危險に曝されてゐるにも拘らず、なぜかこの二人の車だけが僞裝されてゐなかつた

△「おかゆ」に舌鼓

ワーゲンの町では一軒の民家に泊り、余と北原書記官とは格好な部屋をみつけたが、近藤書記生は國民突撃隊が任務につくため一時引拂つた跡にもぐりこんで屋根裏のベツドにねむり加藤雇員はたうとうベツド側の床の上に寢るやうな始末であつた、晩飯は借用した鍋で料理した「おかゆ」であつたが、非常用として大事にとつてあつた最後の海苔が大いに役立つた、ラヴアルその他の閣僚は車内に泊つた、二十二日の午前中はフランス軍が前日の午後ジグマリンゲンを占領したといふ報道があつただけでこともなく過ぎた、正午頃北原書記官は國民突撃隊が道路上に構築した對戰車防塞の入口を塞いでゐるのをみてきた、この情勢ではどうやらワーゲンに立往生になりさうなので、われわれは再び旅行を續けることにきめた、以前ドイツとオーストリアとの國境であつたリンダウとブレゲンツとの中間でわれわれは停止を命ぜられ取調べを受けた、これは今チロル地方との國境となつてゐて特別に許可を受けたもの以外は通行出來ないことになつてゐる、フレゲンツのホテルに一夜を明した後、余は翌日午前スイス政府に對し入國を許可されたい旨申入れた、ラヴアル首相はスイスに避難するつもりだといつてゐたが、ペタン元帥の意向については色々な噂が飛び元帥はスイスを通過してフランスに入り、ド・ゴール政權に降伏する覺悟だと傳へられてゐた、デア、リユシエル、ポナール、マリオン等の前閣僚もブレゲンツにゐた、フエルトキルヒに向つてゐたド、ブリノンはドイツ勞働戰線の幹部のために自動車を棄てるやうに命ぜられ、汽車で東方へ向つた、その他閣僚のなかにはイタリアに入つてダルナン麾下のフランス解放軍に投じた者もゐるらしい、ペタン元帥をスイスに逃さうとしたのはジグマリゲンでドイツ側首席代表を勤めてゐたラインベツク公使で連絡が杜絶してゐたためリツベントロツプ外相に諮らずに獨斷で決定した樣子であつた、ペタン元帥はヴイシーを去つて以來、ドイツの捕虜と見做されてゐたことは確だ、しかし元帥は依然合法的なフランスの國家主席であると主張してゐた、しかし彼はブリーン委員會がジグマリンゲンのホーヘンツオルレルン城頭にフランス國旗を掲揚するやうに命じた際には强硬に反對したといふ、われわれ一行に對するスイス官憲の鄭重な態度は感謝に堪へない、スイス政府當局は余が入國を申入れてから僅か三時間足らずでわれわれの要求を容れてくれた

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年五月二日（火）
第三四〇八號

同盟通信
海外電報
（98）

極めて端的にいふならば歐洲戰爭は殆ど終りを告げたと見なければならない、從つてスエーデン國王の甥ベルナドツテ伯が赤十字社副總裁の資格でドイツ國内軍司令ヒムラー博士と交渉してゐるとの報道が、いかなる程度まで眞相を傳へてゐるか、ヒムラー博士のドイツ國内における地位如何等々の問題は、世界戰爭の現段階においては必ずしも重視するに當らないであらう

しかし「ダーゲンス・ニヘター」紙の報道によれば、日附は四月十九日夜ヒムラー博士とベルリンで會見し、越えて二十一日ドイツ北部において重ねて會見、二十四日にはストツクホルムに歸還して米英兩國の公使と會見した後、更に二十七日には再びストツクホルムを出發、空路デンマルクに赴いたといふ、更にロイター電報によれば、同伯はデンマルクとドイツ兩國の國境都市でヒムラー博士と會見した後、三十日夜にはコペンハーゲンに歸還ホテル・エダングルテルに泊つて「もうドイツへ行く必要はないから、明日即ち五月一日ストツクホルムに歸る豫定だ」と語つたと傳へられる、スエーデン政府がベルナドツテ伯を通じて歐洲戰爭の終結を斡旋してゐるのは、ノルウエー國内にドイツ軍二十三萬が依然駐屯してゐる事實に徴して別段不思議はなく、ドイツ本國との直接通信聯絡が事實上杜絶してゐる現狀で正確な判斷を下すことは至難だが、歐洲戰爭の大詰が刻々に近付いてゐることは蔽ひ難い事實である、事態は希望的判斷を下すにはあまりにも重大である

來らざるを恃まず待つあるを恃むのが兵家の要諦であるとすれば、最惡の場合に備へる肚を極めて具體的施策を講ずるのが刻下の急務であらう、世界の三大國を向ふに廻し、善戰敢鬪五年有半に忍んだドイツ國民は、戰局の歸趨如何に拘らず寔に偉なる哉

【目　次】

スターリン對獨政策を闡明……一一七六
トルーマン言明……〃
獨放送悲壯な訣別……〃
國會議事堂を占領……〃
反樞軸軍占領地の食糧配給……〃
英國首相下院で報告せん……〃
米英、埃政府を不承認……〃
グラチアニ元帥捕虜……〃
エリオ、モスクワ着……〃

【歐　洲】

降伏申入説の經緯……一一七七
チヤーチル聲明……〃
ム統帥逮捕さる……〃
埃、臨時政府を組織……〃
各派共同聲明を發表……〃
埃臨時政府閣僚名……一一七八
ソ聯又も米英を出し抜く……〃

【米　洲】

大統領は否定……〃
再び印度人歸化法案……〃
亞國で過激派の陰謀發覺……〃
賠償大使任命……一一七九
羅府家禽商閉鎖……〃
船舶讓渡計畫……〃
米軍損害九十三萬……〃

【ソ　聯】

モスクワ燈火管制解除……〃

【東　亞】

重慶に金塊供給……〃

【軍事情報】

水上不時着機からの脱出……〃
英海軍の新型V爆彈……一一八〇
米海軍空母勢力……〃

【資　料】

戰後植民地問題……一一八一
米海軍航空隊現況……一一八四
米試作戰鬪機……一一八五
英軍のロケツト砲……一一八六
新護送船團規定WIMS……〃

スターリン對獨政策を闡明

（モスクワ三十日發）スターリン元帥は三十日恒例のメーデー布告においてつぎの通り聲明した

聯合諸國はファシズム並びにドイツ軍國主義を破壊し、その蒙らしめた損害を十分に償はせる決意だが、平和なドイツ民衆が聯合軍の命令を忠實に履行するならば聯合國は一指も觸れない

以上スターリン元帥の聲明は一昨年の革命記念演説における聲明を再確認するもので、ドイツにたいするソ聯の政策を明かにしたものだが、「プラウダ」紙三十日報道によれば赤軍はベルリン市内の各所に揭示を出し、ソ聯は戰後ドイツ國民を奴隷化する如き愚劣な氣紛れはやらぬと布告、赤軍司令官は既に大ベルリン占領地區の軍政を實施してゐるといはれる

トルーマン言明

（リスボン三十日發）ワシントン來電＝米國大統領ハリー・トルーマンは三十日つぎの通り言明した

何時でも公式にかつ妥當な權威をもつて發表出來る時に至れば歐洲における戰爭の終結についてホワイト・ハウスは發表報告するであらう

獨放送悲壯な訣別

（チューリツヒ三十日發）ドイツの手に殘された唯一の放送局たるハンブルグラジオは三十日ドイツ全國民にたいしてつぎの悲壯な放送を行つた

戰爭は滿直に終局に近付きつつあり、終焉は恐らく明日訪れるものと思はれる、數十萬のナチ黨員、數百萬のドイツ婦女子は父の歸りを夫の歸りを待ち詫びて窓邊にたたずんで空ろな街路を見守るであらうが、諸君の父、諸君の夫は永遠に歸つて來まい、われわれはドイツのよりよき未來のために仆れた英雄に今別れを告げようではないか

國會議事堂を占領

（ストツクホルム三十日發）モスクワ來電＝ソヴエト情報局は三十日夜の公報においてつぎの通り發表した

ベルリンで市街戰を繼續中の赤軍は國會議事堂中央郵便局、內務省及び市街中心部で約二百區畫（ブロツク）を占領した、更に西南部でも建築物數棟を占領し、その東南方ではウエンデイツシユ・ブツフホルツ西方で包圍されたドイツ軍と交戰した

反樞軸軍占領地の食糧配給

（ストツクホルム二十九日發）パリ來電＝反樞軸軍司令部は二十九日反樞軸軍占領地域における非戰鬪員にたいし歐洲被解放人口の半數を占める米國兵の食糧割當量の三分の一を支給する旨發表した

英國首相下院に報告せん

（ストツクホルム三十日發）ロンドン來電＝英國首相チヤーチルは今週中に英國下院において歐洲戰爭について重要報告するに決定した

米英、傀政府を不承認

（リスボン三十日發）ワシントン來電＝米國務次官グルーはソ聯の尻押しで成立したオーストリア假政府に關し三十日つぎの通り聲明した

米國政府はオーストリア假政府を承認しない、以上の問題に關しては目下ソヴエト政府と交涉を進めてゐる

他方英國外務當局も非公式に同じ趣旨の言明を行つた

グラチアニ元帥捕虜

（リスボン二十八日發）ローマ來電＝地中海方面反樞軸軍司令部は二十八日夜補足公報をもつて二十八日夜第十五集團軍は、イタリアファシスト軍司令官ルドルフオ・グラチアニ元帥が反ファシスト分子の捕虜となつた旨の公式の通告をうけたと發表した

エリオ、モスクワ着

（モスクワ三十日發）ベルリン附近で赤軍により解放されたフランス元首相エドウアール・エリオは三十日モスクワに到着した、短期間滯在の後フランスに歸る筈である

昭和二十年五月二日(水)
第三四〇九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【歐洲】

降伏申入說の經緯

(リスボン三十日發)歐洲戰爭が最終的段階の樣相を呈するに至ると共に米英兩國の言論機關はドイツ國内の情勢についてあらゆる種類の報道を流布しはじめたが二十八日午前、桑港會議に出席のAP特派員が「會議に參加してゐる高官の言明」と稱し、ドイツ内相ヒムラー氏が米英兩國に降服を申入れた旨を報道、會議に參加してゐる各國代表の間に一大旋風を捲き起した

時を移さず英國政府は首相官邸から「右報道については當局としては唯今何も言ふことが出來ない」旨言明し、次いで數時間を經て米國大統領トルーマンは「歐洲から平和に關する噂には何等根據がない」旨を言明した、勿論競爭相手のUPは直にAPの「デマ」を否定し、報道自由主義の缺陷を遺憾なく曝露したがAPも負けてはをらず、特に當人の許可を得て「高官とは上院外交委員長トム・コナリーだ」と見得を切つた

更に二十九日夜に入つてスエーデン外務省がベルナドツテ伯なる人物がヒムラー内相の傳言を米英兩國に傳へた旨公式發表したが、ドイツ本國と外部との聯絡が杜絶してゐる現在如何なる經路によつてベルナドツテ伯がヒムラー内相の傳言を受取つたか、同伯の地位人物がどの程度か判らぬ以上、この種の流言は戰爭の最終段階に必然的に隨伴する症狀と看做すべきであらう

チヤーチル聲明

(ストツクホルム二十八日發)ロンドン來電=英國首相チヤーチルは二十八日次の特別聲明を發表した

ロイター通信社の報道によればヒムラーは米英兩國のみに無條件降伏を申し入れ、米英兩國はソ聯を含めて反樞軸全體に對する申入れがない限り無條件降伏の申入れを受諾せぬ旨回答したといふが、英國政府はいまのところ以上に關し發表すべき情報は何も持ち合せてゐない、米英ソ三國に對する無條件降伏のみを受け入れるであらう

ムッソリーニ統帥逮捕さる

(リスボン二十九日發)ミラノに蜂起したイタリアの「國民解放委員會」はその手中に收めた放送局を通じて二十七日、ムツソリーニ統帥及び二名のファシスト黨領袖を逮捕した旨發表した

同委員會の公報によれば、ムツソリーニ及びパヴオリーニ、フアリナツチの三氏はコモ湖畔アツソにおいて稅關吏により逮捕されたといはれる、更に情報によればムツソリーニ統帥等とともに逮捕されたファシスト要人は十七名に上り、そのうちには前閣僚數名を含んでゐる模樣である

墺、臨時政府を組織

(チユーリツヒ二十九日發)二十九日のモスクワ放送によればカール・レンナイ博士を主班とするオーストリア臨時政府が組織されたといはれる、レンナーは當年七十五歲、オーストリア社會民主黨の前黨首で一九三八年獨墺合併が成立する直前のオーストリア國會の議長を勤めた、閣僚は社會民主黨三名、キリスト教社會黨四名、共產黨三名無黨派三名となつてをり、外相はレンナーの兼務で内相に共產黨のフランツ・ホルナーが就任してゐる

各派共同聲明を發表

(チユーリツヒ二十九日發)モスクワ放送によればオーストリア臨時政府の成立に先立ち社會民主黨、キリスト教社會黨、共產黨の各派領袖は數日前ウイーンで聯合會議を開催新政府樹立に關し協議を行ひ意見の一致を見るに至つたといはれ、二十九日新政府成立の發表と同時に右各派は次の共同公報を發表したといはれる

樹立がオーストリア國民大多數の意志並びにモスクワ宣言に一致することについて意見の一致をみるに至つた、臨時政府の目的とするところは獨立せるオーストリア共和國の復活にある

墺臨時政府閣僚名

（ストツクホルム二十九日發）モスクワ放送はオーストリア臨時政府の閣僚を左の通り傳へてゐる

首相兼外相　カール・レンナー博士
國防相　ハンス・ウインデラー中佐
内相　フランツ・ホンナー
法相　ジョセフ・ガール博士
藏相　ゲオルグ・チンメルマン博士
農林相　ルドルフ・ブデンガー
商業運輸相　エドアード・ハインル
文相　エルンスト・フイツシヤー
食糧相　アンドレアス・コルト
社會福祉相　ヨハン・ベーム
再建相　ルドルフ・ラープ
政府顧問　アドルフ・シエールフ博士
レオポルド・クンシヤク
ヨハン・コイプレニツヒ

ソ聯又も米英を出し抜く

（チユーリツヒ二十九日發）オーストリア臨時政府の成立が突如モスクワから發表されたことは米英兩國の政界に少からぬ衝動を與へてゐる様子でロンドン來電によればロイター記者も米英兩國政府がオーストリア政府の組織について相談にあづかつたかどうか、またモスクワから發表された新政府に同意を與へたかどうかについては當局から何らの言明もないが、消息筋では兩國政府がソヴエト當局から新政府について同意を求められこれに應じたものと信じてゐるとソヴエトの大膽な遣り方に對して不安の念を示してゐるといはれる、既に四月八日ソヴエト政府はオーストリア國民に對し

ソヴエトはオーストリアの領土を要求せず、オーストリアの主權を尊重し獨立を許容する

旨聲明、傀儡政權樹立の意圖を示すとともに米英兩國に對してはオーストリアの獨立を促進するためウイーンに米英ソ三委員會を設置するとの意思表示を行つたが、右三國委員會がまだ結成されない前に臨時政府が組織されたところから推測してソヴエトの米英兩國に對する先制攻撃は今回もまた完全な勝利に終つたことは疑ふ餘地がない

【米　洲】

大統領は否定

（リスボン二十九日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは二十八日ドイツの無條件降伏說に關し新聞記者團に左の聲明を發表した

米國政府がドイツの降服申出でを受諾した如き事實はない、余は通常通り白堊館にきてそれからサンフランシスコ及び國務省からこのことに關して報告を受けたきりである、余は大統領付總參謀長リーイと協議したが、リーイは次で歐洲反樞軸軍總司令官アイゼンハワーと長距離電話で連絡をとつた、余が現在いひ得るすべてはこの噂にはまだ證據がないといふことである

再び印度人歸化法案

（リスボン二十六日發）ワシントン來電によれば上院移民委員會は上院議員ランガーの提出にかかる在米印度人約四千名に歸化權を認めんとする新法案に對し二十六日公聽會を開催したといはれる

印度人の米國入國並びに移民に關する法案は米國の印度に對する機嫌取り政策としてこれまでも上院議員ジョセフ・ボール、下院議員エマニユエルセラーによつてそれぞれ上下兩院に提出されたが何れも棚曝し乃至否決の運命にあつてをり同法案も又同樣の運命を辿るのではないかとみられる

亞國で過激派の陰謀發覺

（リスボン二十六日發）ブエノスアイレス來電＝アルゼンチン政府は二十六日左の通り發表した

最近過激派分子が全國的な組織をもつて政府に對し陰謀を企てたことが發覺した、その多數は既に逮捕され近く軍法會議に附される筈である

（リスボン二十七日發）ブエノスアイレス來電＝アルゼンチン政府は最近發覺した反政府陰謀について二十七日左の通り發表した

陰謀首腦者は陸軍退役將校、職業的政治屋、フアシスト及び過激派分子等で、かれらは内亂を惹起して現政府を倒し、陰謀に加はることを拒絶した政府官吏全部を暗殺して人民會議政府を樹立する計畫であつた

昭和二十年五月二日(火)
第三四〇九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

賠償大使任命

(リスボン二十七日發)ワシントン來電＝大統領トルーマンは二十七日民主黨全國委員會財政主任エドウイン・ポーレイに大使の資格を與へ、戰後の賠償問題處理に關する一切の權限を附與する旨發表した

またポーレイの顧問には勞働統計委員イサドア・ルブリンが任命され、公使の資格を與へられた

羅府家禽商閉鎖

(リスボン二十七日發)ロスアンゼルス來電＝ロスアンゼルス市内の家禽商百五軒の内七十五軒は最近相ついで閉店するに至つたが、これは政府の決定した家禽の最高價格があまりに低額に失したためで右に關し業者組合は二十七日つぎの通り聲明した

現在の最高價格では營業は到底なり立たない、今なほ開店を續けてゐるのはいづれも自分で家禽を飼育してゐる者達ばかりだ

船舶讓渡計畫

(リスボン二十九日發)ワシントン來電＝米國戰時情報局からの情報によれば米國政府は目下五千八百萬噸、價格十七億二千八百萬弗に達する政府所有の船舶を戰爭終了とともに世界各國に公平に讓渡する計畫を進めてゐるといはれる、しかして右に關する法案は二十八日下院商船漁業委員會において審議が開始された模樣である

米軍損害九十三萬

(リスボン二十七日發)ワシントン來電＝陸軍長官スチムソンは二十六日開戰以來四月十四日までの陸海軍損害をつぎの通り發表した

陸軍	八二九、〇〇一
海軍	一〇〇、三七二
合計	九二九、三七三

(先週より一萬七千百七十三名增)

ソ聯モスクワ燈火管制解除

(ストツクホルム二十九日發)モスクワ來電によれば、ソヴエト政府は三十日からモスクワ市内の燈火管制を解除することとなつたといはれる

【東亞】

重慶に金塊供給

(リスボン二十九日發)重慶來電＝米國政府は曩に重慶のインフレ防止のため重慶政權に對して金塊を供給することに同意したが、重慶政權筋のもらすところによるとこの金塊は數回に分けられて目下米國から重慶へ輸送中といはれる

【軍事情報】

水上不時着機からの脫出

(ストツクホルム二十九日發)最近の「タイム」誌はつぎの通り報じてゐる

「渡洋作戰に從ふ飛行士は、不時着水後沈沒する機中に閉ぢ込められはせぬかといふ不安を胃して活動してゐるのであるが、事實多くの飛行士は從來機中に閉ぢ込められたまま溺死してゐた、先週陸軍航空隊技術勤務隊はこのやうに機中に閉ぢ込められた飛行士の生命を救ひ得るやうな獨創的考案、即ち沈沒機中からの脫出に努める間水中で呼吸するために被る酸素マスクを發表した、ライトフイールドにある陸軍航空技術本部航空醫學研究室のキユーレス大尉は「爆擊機乘組員が高高度飛行の際に用ひるやうな普通の携帶用酸素壜とマスクとを使用すればよいのではないか」といふ素晴しい着想にぶつかつた、そこでクラウン大尉は直ちにマスクを着けてプールに飛び込んで見た、これがうまく行つたのだ、更に實驗をした結果、このやうなマスクを使用すると水中十呎では六分間五十呎では三分半の間呼吸を續け得ることが分つた、非常な重傷でも負つてゐない限り、通常これだけの時間があれば充分沈沒機の乘員室又は砲塔内から脫出し得る筈である」

英海軍の新型V爆彈

（ストツクホルム二十九日發）四月二十一日付「デーリー・エキスプレス」紙は次の通り論じてゐる

「海軍は最後のV兵器ともいふべき時速七五〇哩のロケツト推進式強力爆彈を製作してゐる、これば本來六噸爆彈でも破れなかつたドイツ軍の潜水艦庫或ひは快速艇庫を破るために設計されたものであるが、バヴアリアアルプスならびにノルウエー南部のナチ黨最後の據點における地下要塞及び地下工場を貫徹し、破壊することも可能である、英海軍義勇豫備隊のエドワード・テレル大佐が發明したこの強力爆彈は特にB17用として設計されてゐる、目標物に命中する時の速度は、秒速一一〇〇呎といふ音響速度より遙かに早く、要塞或ひは工場の内部に入つてから炸裂する、これとドイツ軍のV二號との根本的な相違は、強力爆彈の方が航空機に搭載され、精度第一の設計で特定の目標物を狙ひ、それに命中するといふ點にある、この種の極めて危險な實驗において英國海軍がドイツ軍のV二號をもつてしても解決し得なかつた幾多の問題や困難を如何にして克服したかは依然祕密にされてゐる、これは世界最大の徹甲彈であり、現存の英國の海軍機に搭載するには大き過ぎる、強力爆彈の公式發表は二十日英國海軍省並びに英軍歐洲戰略航空隊の共同の公報をもつて行はれた

海軍省の考案せるロケツト推進爆彈は二月十日並びに三月十四日の二回に亘り米第八航空隊B17編隊がオランダ領イームイデンにある快速艇庫を攻撃した時に使用された、爆彈は數發命中し、艇庫の厚い屋根（厚さ二十四呎と信ぜられる）を貫いて内部の施設に相當な損害を與へたと見られてゐる」

△謎の貫徹力

海軍省が供給省と協力して行ふこの新兵器の生産は最高の優先權を與へられ、相互援助協定に基いて設計の詳細が米國政府に示されてゐる上に、ロケツト爆彈の供給は作戰に全く不自由のないやうになつてゐる

發明者テレル大佐は有名な法律家故トマス・テレルの息子で、ドイツ軍の築造した巨大な鋼鐵張りコンクリート製掩蓋や抵抗據點や地下工場の貫徹破壊といふ問題に身を捧げ、その回答として得たものが強力爆彈だつた、彼の計畫は空軍省の科學者達から批判され、反對された、そしてその反對は眞面目でもあり、重大でもあつた、テレル大佐は表面内氣にみえて、底は反抗心に富んでゐたので、自分の計畫を遂に委員會を通さずにものにしてしまつた、最初に支持者になつたのは掃海機の發明者海軍中將アスボーン、ロケツト砲の發明者クロウ、供給省の射撃學大家某氏だつた、やがて軍令部長アレキサンダーや海軍省の後楯を得てやがてはチヤーチルの支持をも得た、秘密試驗はサフオーク、ドーセツト並びに米國の「戰鬪研究所」において行はれた、最高貫徹度はまだ確められてゐない、或る專門家の言によればそれを明かにするまでには六ケ月かからうといはれ、また別な專門家は「俺にこの仕事がやれなかつたら何でもやる」と大きなことをいつてゐるが、結局强力爆彈の貫徹力に關する研究はドイツ軍の手に委ねられてゐるわけだ、新爆彈を使用した米軍の一飛行士はかう述べてゐる

「新爆彈はまるで流れのやうに落ちて行く、普通のロケツトは尾を曳くが、ロケツト爆彈は落したと思ふともう命中してゐる、全く恐ろしい代物だわれわれはこれを卽死爆彈と呼んでゐる」

海軍空母勢力

（リスボン二十九日發）ニユーヨーク來電＝四萬五千噸の空母「フランクリン・デラノ・ルーズヴエルト」は二十九日ニユーヨーク海軍造船所で進水したが、海軍長官フオレスタルはその進水式において米海軍空母勢力につき次の通り述べた

「一九四二年二月に米海軍は太平洋に四隻に空母を持つてゐたが、同年十月には僅かに一隻となつてしまつた、しかるに現在米海軍は制式空母二十六隻に加へ、護送用空母六十五隻を有してゐる

昭和二十年五月二日(水)
第三四〇九號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

資料

戰後植民地問題

「エコノミスト」誌

三月三十一日號

植民相オリヴアー・スタンレーが先週英國駐屯米軍の會合において英國植民地帝國について演説した時、彼の對象は直接の聽衆だけでなく遙かに廣範圍な社會であつたに違ひない、彼最近の米國訪問は英國の植民地支配に對する長い間の米國輿論への彼の反感を却つて强めたのかもしれない、だが英國植民地の將來について語る彼の言葉は現實の重要性を持つてゐる、卽ち植民地問題は桑港會議において當然重要議題の一つとなると見られるからである、米國各紙に現はれる記事から見ても、米國政府が桑港會議で植民地の全般的問題に關し何等かの提案をなさんとしてゐることは明らかだ、その提案が如何なるものであるかは報ぜられてゐないが、桑港會議に先立ちワシントンで三大國の準備會談がある筈であるといへば、或ひはその原案は全然陽の目をみずに終るかもしれないしかし米國案の背後にある全般的思想が排他的帝國主義であることは疑ふべくもない、これは明らかに委任統治制度の再容認から出たものであり、植民帝國を完全に消滅せしめるために委任統治制度を凡ゆる植民地に延長適用し、植民帝國に代つて國際管理制度を設けるといふ意味であるかもしれない、米國政府は勿論この後者の極端な案を眞面目に考へてゐるとはいへないが、少くとも何か前者よりは進んだものを胸中に藏してゐるのであらう、かうした問題が現在論ぜられるのは植民地問題が今日(普通は全く間違つた理由からであるが)米國の輿論において重要視されてゐるからのみでなく、太平洋戰局が進展し、近い將來に日本の委任統治領に對して決定を必要としてゐるからでもある、まさか委任統治諸島嶼を戰後日本に返すわけは行かない、更にカイロ宣言によりそれを前の持主(卽ちドイツ)に返すといふことも不可能だ、しかしてその諸島嶼に最大の戰略的利害を有する國家は明らかに米國である

しかも米國は諸島嶼の開發に必要な資本源を有する、もし米國が諸島嶼の責任を負擔するとしても、恐らく國內には殆んど非難は起るまい、だが帝國主義に對する米國民の態度は、さうした行動をたとへ不可能ならしめないまでも、極めて後味の惡いものにする、前大戰後に同じやうなジレンマに對して見付けられた解決策、委任統治制度は今や再び米國において極め付きの隱れ簑として考へられ始めてゐるのである、從つてここから日本領諸島嶼を國際信託統治制度の下におくといふ提案も出てくるのだ、そしてもし米國がさうした自己否定的な決定を認めるとすれば、他の諸國も自分自身の植民地に關して同じやうなことをなし得るのではあるまいか

△共同統治案の難點

英國が米國の提案に對して一言しなければならないのはこの點だ、スタンレー大佐の言を借りれば、植民地に對する責任は、この國においては征服によるより條約と協定による場合の方が多かつた、彼は曰ふ

だがとにかくわれわれは今日その責任を有し、その責任は他國と頒ち合ふことの出來るものではない、われわれはさうした責任の分割が實現不可能なるのみならず、全く植民地住民自身の希望にも反することを信ずる

右の言明において、植民相は英國政府從來の宣言を繰返してゐるに過ぎない

だが共同統治なる構想が從來全く試みられなかつたといふわけではない、ネオヘブリデスも旣に一九〇六年に英國とフランスの共同統治下におかれたが、その統治が齎した混亂は周知の通りだ、ネオヘブリデスが日本委任統治領を除けば南洋唯一の非獨立國であつたといふことも注目すべきであるが、そこには統治に地方輿論を反映せしめるための非立法議會乃至類似の組織があつた

植民地住民のためには統治の責任は一個所になければならない、英國の植民地においては責任は植民相にあり、輿論の壓力もこの人に集めることが可能だが、もし當然植民政策の撞着を豫想され

るごとき諸國の代表より成る國際組織によつて與論が實現されなければならず、その統治がまた當然最低の共同多數協定乃至相互協定に基かなければならないとすれば、どうして本國または植民地の輿論が效果を發揮し得るだらうか、植民地の統治者にしても、仕へるべき主人をそんなに多勢抱へて、どうして自分の眞の立場を知り得よう、そしてもし一信託國家が自治の促進を望み、他の信託國家がその遲滯を望む場合、どうして植民地が秩序あり整然たる自治に向つて進み得るか

△フランスの反對は絶對的

しかも米國の提案に難色を示してゐるのは英國のみではない、元植民地にして現在自ら植民地保有國たる聯邦內諸國は英國に味方すること確實である、濠洲並びに南阿聯邦が自國の屬領及び委任統治領の責任を喜んで他に頒つ意のあることを示す事實はどこにも示されてはゐない、むしろ逆に南阿聯邦は現在植民相の統治してゐる南阿保護領をさへ自己の聯邦に併呑し主權を擴張することを望んでゐるのだ、スマツツ首相が自ら桑港會議に出席することも意味なしとはし得ない

更に問題は英帝國だけではないのだ、たとへばオランダやポルトガルの見解は無視し得るにしても、フランスの態度だけは感違ひのしようもある まい、フランスにとつて同國が失べる勢望をやうやく苦難に取り戻して來た現在、フランス流哲學によれば個々の屬領より遙かに重要なる國土の一部ともいふべき植民地に對する自己の主權を他に頒てと要求されることは、正に最高の侮辱ともいふべきであらう、フランス國會の桑港會議に關する演說においてビドーはフランス及びその帝國に關聯してなされたる「甘受し難き提案」に言及し何人もフランスからその現在有するいかなる領土をも奪取するを得ずと言明してゐる

現在の瞬間がフランスの對印度支那政策闡明の時期に選ばれたといふことは決して單なる遇然ではない、印度支那は聯邦とし、總督がこれを統治して領土內佛印人並びにフランス人より選任された閣僚がこれを補佐する、この印度支那聯邦 Indochinese Federation はフランス本國並びに他の諸屬領と共に「フランス聯邦 French Union」の一部を成す、いはば英聯邦の改訂版だ、フランス本土と屬領からなるこのフランス聯邦を基盤としてフランスは今や大國の地位に復歸しつつあるのである

しかしながら植民地保有諸國にしても、米國の提案を眞向からはねつけるのは誤りであらう、植民政策は過去四半世紀靜止してゐたわけではなく今後も世界秩序全般との關聯において安定し得るものではない、フランス人はとかく前述提案のごとき印度支那の地位を認めたがる、「自分らの植民政策はフランス聯邦內部における自治を促進するにある」と彼らはいふ

佛印人はフランス人と同樣そのいかなる構成部分もフランス聯邦に盡すことが出來るだらう、彼らは他國において聯邦の利益を代表することさへ可能であるにちがひない、これは實行し得る理想であり、フランスの屬領にとつては國際管理下におかれるより有利であらう

さうフランス人は論ずるのである

△英國の期待する形態

英國の對抗的提案は既に植民相が一再ならず提唱したごとき形態をとるにちがひない、卽ち英國政府は英米共同カリブ委員會に實例をみるごとき植民地方委員會制度の延長を欲してゐるのだ、この種委員會は關係植民地保有國のみならずその地域に對し「戰略的乃至經濟的に重大利害を有する」諸國の代表をも含めて構成されることになる（この規定が米國案との妥協の血路になるかもしれない）

地方委員會は決して各植民地保有國の自國屬領に對する責任を縮減するものではない、委員會は單なる諮問機關にすぎないのだ、但し米英共同カリブ委員會の事業報告にも見る通り、これから生ずる國際協力は植民地に極めて現實的な利益をもたらし得るのである

委員會案を支持するのも決して英國だけではない、南阿首相スマツツも同案を祝福してゐるし

昭和二十年五月二日(水)
第三四〇九號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

一年以上前にはニュージーランド、濠洲兩政府の會談が、南洋諸島住民の福祉に關する諮問的機能を果すべき南洋委員會の設置をもつて幕を閉ぢてゐる

△委員會案と信託統治案

一方、地方委員會の延長は、カリブ地方並びに西亞地方におけるその協力から判斷する時、確かに米國からも容認されさうに思へるが、さればとて必ずしも米國が集團信託統治案の代案としてそれを受け容れるといふ結論にはならない、また委任統治原理に代るべきものと考へるべきでもなく、植民相が最近における屢々の言明(特にニューヨーク外交協會における挨拶演說)は、英國政府が委任統治原理を放棄しようと願つてゐるといふ意味には解さないことが望ましい

地方委員會は極めて有用な諮問機關であるが、植民地保有國が屬領の統治に關し世界の輿論に對して責任を有するといふ原則に代り得るものではない、地方委員會は委任統治原理を補足するが、それを超えるものではない、いづれにせよ地方委員會の延長適用は、日本並びにイタリアの植民地をいかにすべきかの問題に對しては依然解決にはならないだらう、たとへば南洋地方委員會が設置されたとしても、果して米國があの尨大な日本人人口を有する日本委任統治領の統治に對し喜んで責任をとるだらうか

ある國は植民地を獲得し、ある國は植民地を押しつけられる、この點で米英兩國は共通の問題を有するわけだ、いづれも現在以上に植民地の責任を負ふことを望まないが、兩國とも——一は南洋において、他は東アフリカにおいて——それを餘儀なくされることになりさうだ、もし事實これが實現しなければならないとすれば、日本並びにイタリアの植民地は委任統治領として保有さるべきで、米國輿論は決して自國の新屬領に對しても他國の新屬領に對しても同意を與へることはあるまい、第一次世界大戰の後に設けられた委任統治制度についてはこれまで幾多の批判が出た、その缺點の中でも決して小さいといへなかつたのは常設委任統治委員會の無力だつた、そしてさうした委員會が理想のみ豐かで植民地統治の實際知識に乏しい行政官から構成されるといふ危險は常に存在する

△問題は委員統治の方法

以上の缺點については、植民地保有諸國に對し定期的に國際組織に報告すべき義務を負はせることによつて、植民地問題に公開性を附與するといふ方法を利用すべきであらう、もし植民地問題に關する國際紛爭が、一方において實現不能の提案となり他方において正面からの拒否となるといふやうな愚を演ぜず、いかにして委任統治原理を改良するかといふ點に集中されるならば、具體的な成果も容易に得られるかもしれない、かくのごとく植民地問題は、一時かんがへられたやうに戰爭勃發の因子ではなかつたにしても、平和會議においては論爭の核心となることが十分に豫想されるのである

死の街と化したベルリン

ロイター通信モスクワ電

溝といふ溝は死體で埋まり、曾て輪奐の美を競つた大厦高樓は今は見る影もない石材の堆石となつてしまつた、並木を列ねた大通りは炎々と燃えさかり、空飛ぶ鳩も火炎で羽毛を焦がしてゐる、ベルリンは死の街だ、街頭には至る所にドイツ人の屍體が轉がつてをり、地下鐵の眞暗なトンネルはそのまま彼等の墓穴と化しベルリンを縱橫に走る下水網には彼等の死體が浮んでゐる、ベルリン全市至る所依然として猛烈な火災で大火はさらに何日間も續くだらう、ベルリンを貫流するシュプレー河その他の運河は建築物の破片と腐りかかつた死體が一杯で吸上げポンプを運轉することも殆ど出來ない位だ、機關銃の騷音と大砲の轟音とをつき拔けて高層建築が街上に倒れ碎ける耳を聾するばかりの音響が轟きわたる、その砂塵の中をくぐり拔けて赤軍の輕機關銃手が新據點獲得のために躍進して行く、夜になるとただ月明りと各所で燃えさかる火炎の光りが前線に進む赤軍部隊や戰車隊、砲兵隊の影のやうな隊列を照らすばかりだ

米海軍航空隊現況

フイリップ・アンドルース編輯、海軍年鑑より

△空母隊の擴充

一九四〇年六月以降の增强により米海軍戰鬪艦隊は一躍從來の二倍强に强化された、就中航空母艦勢力は少くも八倍になり、一九四〇年七月兩洋艦隊建造案認可當時の六隻（就役空母）に比し、一九四四年初頭には既に就役し或ひは竣工を待つもの五十隻以上といふ活況を呈した、この五十隻のうち判明の分は小型護送空母が大部分を占めるが、その他一九四〇年型空母のいづれをも凌ぐ二萬五千噸「エセックス」級八隻、一九四〇年の一萬四千五百噸「レインジャー」乃至二萬六千五百噸「ワスプ」級と伯仲する攻撃力をもつ一萬噸級九隻を含む

△監督系統

米海軍航空勢力伸長の好個の目安は、海軍作戰部長及び航空局管下の活動だ、作戰部次長は人員訓練、配置を掌り、航空局全般と協力して空母艦載機はもとより戰艦、巡洋艦艦載の哨戒中隊及び偵察隊統監に任ずる、現海軍作戰部次長中將ジョン・マツケーンはまた海軍航空隊の全般的企畫の責を負ひ、現海軍航空局長中將デウイツト・ラムゼイは技術員養成並びに航空機購入の衝に當る、但し空母その他航空機用水上艦艇例へば水上機母艦のごときは艦船局の企畫、注文にかかる

海軍航空局は七部門に分れて複雜な機能を果してゐる、中でも大きいのは航空氣體學、兵站學、航空學等を扱ふ航空部及び訓練部だ、海軍空輸部隊は海軍との契約に基いて活動する定期輸送路を管理する陸軍航空隊空輸部隊ほど大規模ではないが、一九三九年頃の米國定期空路などとは比較にならない大規模なものだ、その他人員配置部、戰鬪報告の研究部門たる航空技術研究部、海兵隊航空部等がある

△艦載機の編成

米空母航空隊即ち艦載機隊は通常十五機を一中隊とする四個中隊に補充機を加へたものである、「エセックス」級はこれ以上搭載するかもしれないと期待されてゐたが、航空機の大型化の結果恐らく無理と思はれる、即ち現在の二千馬力級戰鬪機「ヘルキヤツト」や「コルセア」は從來の「ワイルドキヤツト」よりかなり大きくなつてゐるからだ、戰前の四個中隊集團の編成は「カーチスホーク」戰鬪機一個中隊、海軍航空機製「スカウト」機（偵察爆撃機といふか爆撃を主眼目として設計された單發機）一個中隊、雷撃機及び急降下爆撃機各一個中隊或ひは急降下爆撃機二個中隊だつただが雷撃機のめざましい戰績により最近では各集團とも雷撃機隊があると思はれる

目下建造中の四萬五千噸級大型戰鬪航空母艦（「ミツドウエー」及び「コラル・シー」四月下旬進水）も同樣四個中隊を搭載するとみられるが海軍の意圖は「CVB」級の廣い甲板と格納庫を利用して大型双發機を積込むにあるらしい、第三の空母集團は「CVL」戰鬪巡洋艦の改裝だが詳細は不明、恐らくそれぞれその空母の任務に應じて各種六個中隊を搭載すると推定される、護送空母は最初一個中隊搭載だつたのが今日では混成二十乃至三十機を搭載する、これも機種は任務により決定される、潜水艦探索に任ずるのは急降下爆撃、戰鬪機聯合または急降下爆撃、雷撃機聯合で雷撃機は魚雷でなく爆雷を携行する

△空母の改良

緒戰において空母が莫大な消耗率を示したためこの艦種の將來に對し危惧を懷く者も多かつたが

實際空母は本質的に損傷しやすい艦であるにしても、開戰當時の損害の多くは、當時就役中だつた空母の大部分が老朽艦だつたことと同時に建造上操艦上の經驗不足といふことが理由になつてゐた、例へば脚下水槽の利用がもつと巧ければ當時の損害も今日程度には防げたにちがひない、また當時の損害招來の原因として燃料槽の充塡不足のためガソリンの上に空氣の溜つてゐるやうな場合が擧げられるが、今日ではこの種の危險は大部分除去されてゐる、詳細は述べられないが、空母の格納庫や甲板が一瞬にしてそつくり粉みぢんに吹飛ぶやうな被害は二度と繰返されないだらうといつてよからう、最後に今日の空母は十分以上の高射砲を裝備してゐる

△陸上機の協力

最近二年間に陸上基地と艦上機の間に、存在した性能の相異は段々になくなり、一般に艦上機は同出力の陸上機よりも若干大型だが、これは着陸速度の制限のためだ、その上艦上機は不時着水の際操縱士の身を護るため多くの特別裝置を必要とする、しかし今では陸上基地機も艦上機と同樣海戰に參加するので、同じやうな不時着裝備が必要だといふことになつてゐる、なほ新式の下げ翼とか浮揚裝置により海軍機の翼は小型ですむやうになつてゐる、米の陸海軍機は各その任務により獨自の型を有するが、英空軍は一九四一年以來「スピットファイア」改良型「シーファイア」を空母に搭載して好成績をあげてゐる

米海軍航空力を構成する各機種の比率は、空母艦載機隊五〇%、基地哨戒機隊三〇%、戰艦及び巡洋艦護衞機隊一五%だが、この基地哨戒機隊は一九四二年初まで專ら長距離飛行艇を使用してゐた、しかし巨大な艇身をもつ飛行艇は遲くかつ損傷し易い、そこで多發陸軍機がこれに代り、今日ではコンソリデーテッドB24「リベレーター」並びに「ロッキード」B34「ヴェンチュラ」等が海軍の哨戒に使はれてゐる、因みに海軍航空機總數は一九三九年二千機餘が一九四四年初頭には一躍二萬三千機を算し、なほ增加の一途にある、この航空勢力にたいし海軍は操縱士養成計畫を着々遂行し、養成人員は年五百人程度から月二千五百人と飛躍的に增加、他の要員もこれに比例して激增してゐる、空母の增產と競爭で訓練を終へた海軍機操縱士は、殆ど傳統の技倆標準に達して艦の竣工を迎へることになる勘定である

米試作戰鬪機

最近米國では極めて斬新な新型戰鬪機四種以上が發表された

その一つは既に紹介濟みのXP75で、二六〇〇馬力二十七氣筒、アリソンV三四二〇型發動機二臺を具へ、二重反轉三翅プロペラを有する、しかしながら米國陸軍省の決定によつて製作航空機會社工場の施設は「超要塞」B29の部品製作にふりむけられ、新戰鬪機の本格的生產は實現しないとみられる

第二はスエーデン機スヴェンスカ二一型に相當するコンソリデーテッド・ヴアルティーXP54戰鬪機で、一二〇〇馬力のライコミング〇—一二〇〇—D型液冷十二氣筒發動機を具へ、推進式四翅プロペラを有する、この發動機の冷却は翼桁と胴體中央部との間にある放熱器によつて行はれる

第三はマクドネルXP67双發戰鬪機で、無尾翼機と普通の飛行機の中間的存在だ、この戰鬪機については、列型高壓發動機二臺によつて效力を與へられ、武裝としては三七耗機關砲六挺以上を有するといふことしか判つてゐない、またこの戰鬪機は近代的軍用機としての無尾翼機の適性を發見するために製作されたものだともいはれる

第四は、カーチスXP55「アツセンダー」で、「フライ」誌一九四五年六月號に寫眞まで再揭載されてゐるから、說明は省略する（註——XP55は串型機で大きな尾翼の後方にプロペラがあり、一見逆に飛ぶやうにみえる）

これ等の米軍試作戰鬪機は、いづれも引込式三輪降着裝置を持つてゐる、但し米國としても將來實戰に使用する意向がある位なら恐らくここまで發表はしなかつたにちがひないと思はれるので、これ等の戰鬪機のいづれにせよ果して本格的生產に入るかどうかは疑はしい

英軍のロケツト砲

「デーリー・エキスプレス」紙三月十日號

ロケツト砲はオランダのワルケレン島攻撃戰で始めて試驗的に用ひられたが今では西部戰線で大大的に使用されてゐる、この多聯裝發射器は三十二個の廻轉する高速ロケツト砲彈による凄じい齊射を數秒間の裡に浴せかけるのである、發射器十二門から成る放列は五・五吋(十四糎)砲二百八十門に相當する火力を持つてゐる、補給省の高射砲課で生れたこの兵器の完成を指導したのは英空軍のアルウイン・クロウで彼は對空ロケツト彈に關する業績によつて昨國六月騎士に敍せられた、新兵器は戰場ではカナダ軍及び英軍砲兵に使用されてゐるが、彼等は今では熱心なロケツト砲手になつてゐる、ロケツト砲は普通の砲に比し精度が低く射程も短い關係上火砲の代りとはならないが、敵に何の前觸れをも與へない唯一回の凄じい齊射で、目標物を吹き飛ばしてしまふことが可能だ

一、裝塡濟みの發射器を小型トラックで牽引し得ること

二、兵員二百名で放列全部を操作し得ること、中型砲で同量の爆藥を發射するには兵員三千名を必要としよう

三、三十二聯裝發射器の製作費が單裝火砲の價格の何分の一といふ低廉さであること、さらに砲身磨損がない

四、發射に際して反動がない、從つて通常の火砲では地盤が惡くて立入れないやうな陣地からも發射し得る、これは浸水地域の作戰では非常な利點となるのである

新護送船團規定WIMS

開戰後三年間反樞軸國護送船團が使用して來た英國海軍省發行の信號及び船團行動法を規定せるMERSIGS(商船信號)は最近廢せられ代つてWIMSが使用されることになつた、WIMS(War Time Instructions for Merchantsh ips戰時商船訓)は今次大戰における米英兩國海軍三年間の體驗を三卷に壓縮したものでWIMSといふ略稱は現在は勿論將來に至るまで船團行動に從事する總ての艦船の艦橋における日常の通用語とならう、その內容はいはば「船團の聖書」とも呼ぶべきもので特に米國商船隊の高級船員二萬名は本年未までにWIMSに關する十分なる實用知識を得なければならない、高級船員はその應用試驗も受けるが、試驗の合格者には米國海軍から權定證が渡されることになつてゐる、試驗後の仕上げは乘船中行はれてもよし、米國九大港に設けられてゐる數校かの「仕上げ」學校を卒業してもよいが、WIMSの智識が十分だと立證されない限り下船させられる危險性さへある、理由は明らかだ、大きさも速力も特徵も異なる各種船舶から成る船團のこととて操作が困難なことは明かで惡天候の時は尙更だ、信號並びに行動方法の統一は衝突を避けるための根本條件で、今次戰爭中も—特に最近の如くドイツ潛水艦から擊沈される船舶數が非常に底下してゐる際には——敵の作戰よりも事故による船舶喪失數の方が多かつたといふ月が少くない

だがかうした規定を設ける理由は他にも存する船團組織はあらゆる點からみて戰爭終了までは繼續されさうで、潛水艦はまだ廣範圍の海域において作戰を續けてをり、その性能も不斷に向上してゐるのである、例へば最近のドイツ潛水艦をみても潛望鏡に似て水跡も潛望鏡と大差のない繰出式通氣管も設けてゐる、この通氣管を利用してドイツ軍の潛水艦は水面に浮ばずその電池を充電したり、潛望鏡深度或ひはそれ以上の深度で殆んど無限に巡航したりすることが出來るのである

大型機の空母發艦

(リスボン三十日發)ロンドン來電=ロケツト離昂補助裝置を有する四發爆擊機が對日戰において空母から發艦する日も近づいたとのことで、當地における實驗では兩翼に各々六個のロケツトを有するB17が普通三百乃至千碼を必要とするところを僅か一二五碼の滑走で離陸したといはれる、空母の飛行甲板は平均二百碼以上ある

昭和二十年五月三日(木)
第三四一〇號

同盟通信

海外電報
(99)

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都豊島區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

ヒトラー總統は五月一日午後、ベルリンの總統官邸における「司令部署」において作戰を指揮しながら、遂に陣頭に斃れた

前大戰の末期、野戰病院においてドイツ軍降服の悲報に泣いて以來、同志數名とともにミュンヘンにおいてナチ國民革命の旗幟を揚げて以來、櫛風沐雨十餘年、すべて革命の鬪士が辿る獄裏の苦難に鐵心石腸を鍛へてドイツ國會に百余名の同志を確保したのは、一九三〇年九月の總選擧においてではなかつたかと思ふ、三三年一月三十日シュライヘル將軍の後を受けて宰相の印綬を帶び、ヒンデンブルグ元帥逝去の後ドイツ國總統の地位について以來、外交の分野においてはヴエルサイユ「指令」の打倒に、內政の部面においては獅子身中の蟲ユダヤ民族の掃蕩、數百年の歷史を持つ州制度の撤廢等思ひ切つた施策を次ぎ次ぎに斷行して、最高度國防國家を建設した、歐洲戰爭の開始以來東西南北の戰線にドイツ軍が戰史空前の電擊戰によつて到るところ赫々たる戰果を收めたのは、臥薪嘗膽二十年ヒトラー總統の慘膽たる苦心經營と卓拔した戰爭指導の賜である、今東方よりの脅威に「なべての上なるドイツチランド」が危急存亡の際ボルシエヴイズム打倒の理念のために英雄的な生命を捧げたことは、三分の計ならずして五丈原頭に逝いた諸葛亮の宿命にも比すべきであらうか後事を託されたデーニッツ提督は德望一世を蔽ふドイツ海軍の元老である、命を危難の間に奉じ任を敗軍の際に受けて、新總統はあくまでボルシエヴイズムに對する抗爭繼續を宣言した

ヒムラー內相の休戰交涉が新總統の就任に關聯して直に失敗に歸したことは、ストツクホルムに歸還したベルナドツテ伯の言明に徵して明かだがドイツ國內の情勢に關しては、暫く後報を待たぬ限り正しい判斷を下すことは至難である

【目　次】

ヒトーラ總統薨去……一一八八
對ソ戰あくまで續行……〃
新總統の軍命令……〃
ム統帥處刑さる……〃
休戰の前提四ケ條……一一八九
瑞外務省仲介を確認……〃
ベルナドツテ伯の動靜……〃
瑞使節デンマークへ……〃
獨保護領米軍と交涉……〃
英國の閣僚に足止め……〃
【歐　洲】
ミュンヘン放送杜絕……〃
歐洲戰爭は終局に近付く……〃
ボノミの退陣を要求……一一九〇
日高大使消息を絕つ……〃
瑞對諾不干涉に決定か……〃
佛總選擧共產黨勝つ……〃
ワイツテンベルグでも米ソ軍連絡……〃
ア港にV一號五千發……〃
【反樞軸陣營】
三國の招請を決定……一一九一
亞國招請問題でまた紛糾……〃
亡命波政權桑港會議覺書……〃
【米　洲】
ロケツト砲と鉛の增產を要求……〃
戰後の失業を恐る……〃
【英　帝　國】
カルカツタに傳染病蔓延……一一九二
濠洲議會揉める……〃
濠首相代理任命……〃
【西　亞】
レバノン政界緊張……〃
【ソ　聯】
一九四五年度豫算決定……〃
【特　輯】
續フランス版「罪と罰」……一一九三
【資　料】
反樞軸軍需資材生產狀況……一一九五
ドイツ問題……一一九六

ヒトラー總統薨去

（ストツクホルム一日發至急報）ドイツ放送局（ハンブルク）の發表によればヒトラー總統は一日午後薨去し、總統並びにドイツ軍最高司令官にはデーニツツ提督が任命されたと傳へられる

對ソ戰、あくまで續行

（ストツクホルム一日發）デーニツツ新總統は一日ハンブルグ放送局を通じて次の通りドイツ全國民に愬へたといはれる

アドルフ・ヒトラーは眼前に恐るべきボルシエヴイズムの脅威を認め、その生涯をボルシエヴイズムに對する鬪爭に捧げた、この彼の戰ひの最後において、またその生涯の不變の一本道の結末において、ドイツ帝國の首都における英雄として最後の息吹き絶えるまで戰つたのである、彼の全生涯はドイツ國民への奉仕に終始し、ボルシエヴイーキの洪水に對する彼の戰ひはただに歐洲のみならず、全世界に幸ひしたのである

總統は余をその後繼者に任命した、責任の大を十分承知の上で、余はこの運命的な秋に當りドイツ國民の指導權を承繼した、余の第一の任務はボルシエヴイストによる破壞からドイツ國民を救ふことである、そしてこれを達成するにはただ戰鬪を繼續するばかりである

我々がこの目的を達成するのを米英兩國が妨害する限り、我々は彼らに對しても戰ひ且つ防衞するであらう、米英兩國は自巳の國民のためではなく、實にボルシエヴイズムの擴大のため戰つてゐるのだ、ドイツ國民がなし遂げまた蒙つたところのものは、史上比類なきものである、來るべきわが國民の苦難の時期において、我々の勇敢な男女並びに子供達をしてその生命を維持させるために余は最善を盡すであらう

これらすべてのことをなし遂げるためには、余は諸子の援助を必要とする、余を信賴せよ、都市村落において秩序と規律を維持せよ、各人がその職務を盡すならば、それで始めて將來が我々すべてに齎らすであらう苦痛を除去し、崩壞を回避出來るであらう、我々が力の及ぶ限り全力を盡すならば、神は決して我々を見棄て給はぬであらう

新總統の軍命令

（ストツクホルム一日發）ドイツ放送局報道＝新總統デーニツツ提督は一日夜總統本營から次の軍命令を全軍に布告した

余の戰友諸君！　ヒトラー總統は遂に斃れた、ボルシエヴイズムから歐洲諸民族を救濟しようとの偉大な理想に忠實に、ヒトラー總統は生命を堵して英雄の死に遭つた、ドイツ史上最大の英雄は遂に逝いた、われらは深き敬弔の裡に總統の前にわれらの旗を重ねよう、ヒトラー總統は余を、ドイツ國の首班並びにドイツ軍の最高司令としての後任に任命した、東方における數十萬のドイツ人家族を奴隷化と破壞とから救ふため、ボルシエヴイズムに對する抗爭を追及する決意のもとに、余はドイツ武裝兵力全部門の最高指揮をとる、米英兩國人に對しては彼らがボルシエヴイズムに對する余の抗爭を阻害する限り、余は戰ひを進める他はない、諸君は既に極めて重大な歷史的業績を果し、今や戰爭の終局を望んでゐるが、情勢は諸君に對して更に無條件の盡力を要求する

余は軍律と服從とを要求する、何らの留保なしに余の命令を執行する以外混沌と全滅とを避けることは出來ない、今日において自らの任務を回避し、ドイツ人婦女子に對して死と奴隷化とを招來する者こそ卑怯者であり、叛逆者である、諸君がヒトラー總統に捧げた忠誠の誓ひと今諸君の一人一人がヒトラー總統の任命した後繼者としての余に致さねばならない

ドイツ兵諸君

汝らの任務を果せ！　わが民族の生命そのものが今や賭せられあり

ムソリーニ統帥處刑さる

（リスボン三十日發）ムツソリーニ統帥は去る二十六日スイス、イタリア國境地帶のコモ付近でイタリア叛軍系の稅關警備隊によつて逮捕されたが二十九日のミラノ放送によれば、ムツソリーニ統帥は既に叛軍によつて處刑されたといはれる

昭和二十年五月三日(木)
第三四一〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

休戰の前提四ケ條

(ストツクホルム三十日發)ロンドンからのA・P報道として傳へられるところによれば英首相チヤーチルは週末以來主要閣僚を招致、さらに陸海空軍の代表を集めて連日協議を重ねてゐると傳へられる、さらにロイターの政治記者が報道するところによれば英政府は休戰交渉の前提として次の四條件を擧げてゐるといはれる

一、ドイツ軍の無條件降伏
一、降伏申入れは米英ソ三國に對し平等に提示されること
一、米英ソ三國政府はドイツに對し媾和條件を示さない
一、ヒムラー氏その他何人が今回の交渉に斡旋しても聯合國は特別の恩典を施さない

瑞外務省仲介を確認

(ストツクホルム二十九日發)スウエーデン外務省は二十九日ベルナドツテ伯がドイツの對米英無條件降伏の仲介役をつとめた事實を確認して次の聲明を發表した

ベルナドツテ伯はヒムラー國内軍總司令官からの傳言を接受これをスウエーデン外務省並びにストツクホルム駐劄米英兩國公使を通じ適當な受理者側に移牒した

ベルナドツテ伯の靜動

(ストツクホルム三十日發)「ダーゲンス・ニヘター」紙は二十九日の紙上で次の通り報道してゐる

スウエーデン國王の甥にあたるベルナドツテ伯はスウエーデン赤十字副總裁としてベルリンに飛び四月十九日夜ドイツ國内軍司令ヒムラー氏と會見し、更に二十一日ドイツ北部の某地點で再びヒムラー氏と會見した後、二十四日ストツクホルムに歸還し直に米英兩國公使に對しヒムラー氏の傳言を傳へた、伯は二十七日再び空路デンマークまたはドイツ北部に向つたが三十日歸還する豫定である

瑞使節デンマークへ

(ストツクホルム三十日發)スウエーデン外務省の政務局長エリツク・フオン・ポスト氏、同秘書スウエルカル・アーストレーム氏、國鐵軍事輸送課長フオン・ホルム中佐等からなるスウエーデン使節團は三十日ストツクホルムから列車でマルモ經由デンマークに向つた、AP支局の情報によればベルナドツテ伯の關係してゐる避難民並びに抑留民についての人道的事業に協力するためといはれる

獨保護領軍と交渉

(ストツクホルム三十日發)ロンドンからのロイター電報によれば、ベーメン・メーレン獨保護領(舊チエコ領)の政府並びに工業家よりなる代表團は保護領のドイツ軍をバヴアリア地方に撤收せしめる件につき米第三軍司令官パツトンと交渉するため三十日プラーグを出發したといはれる、代表團の首班は保護領首相クレイチで、ドイツ保護領統監カール・フランクの指令に基くものと傳へられる

英國の閣僚に足止め

(ストツクホルム三十日發)ロンドンからのAP電報によれば、英首相チヤーチルは全閣僚に對し何時でも緊急閣議に出席出來るやう待機を指令したと傳へられる

【歐洲】

ミユンヘン放送杜絶

(チユーリツヒ三十日發)これまでドイツ側の公式情報を傳へてゐたインスブルツク並びにミユンヘン放送は三十日以來杜絶した

歐洲戰爭は終局に近付く

(ストツクホルム三十日發)AP電報によればハンブルグ放送局は三十日の時事解説において歐洲戰爭が終局に近付いてゐることは動かし難い事實であると述べたと傳へられる

北伊解放委員會ボノミの退陣を要求

（チューリツヒ三十日發）北イタリアにおける國民解放委員會の蜂起はボノミ政權に新たな危機を齎らすに至つた、元來「北イタリア國民解放委員會」は共産、社會兩黨の過激分子からなり、從來屢々ボノミに敵意を示して熾んに活動を續けて來たものである、ボノミは解放委員會の御氣嫌を取り結ばうと圖り、二十七日ローマ放送を通じて

北伊の蜂起と解放は本政權の誇りとすると述べ、傍ら解放委員會がボノミ政權の指揮下にあるかの如き印象を與へようと努めたが、ボノミが以上の演説をミラノから再放送するやう要請したのに對し、國民解放委員會は二十八日これを一蹴したのみならずボノミの辭職をも要求したため兩者の關係は俄然尖鋭化するに至つた、國民解放委員會の領袖で社會黨員のペルチニは二十八日ミラノ放送を通じて

ボノミは一九二一年ファシストを支持したが現在は王制主義者であり、いはば札付きの人物だ勞働者階級はボノミ派の王制主義者を仆すためファシストと戰つたよりも苛烈な闘爭を展開しなければならぬ

これに對しボノミ政權は二十八日緊急閣議を開き對策を協議したが、米英兩國も解放委員會の行動を嚴重監視してゐる樣子で、情勢次第では同委員會をめぐつてソ聯と一揉めは免れまい

日高大使消息を絶つ

（チューリツヒ三十日發）イタリア駐劄日高大使はヴエロナ西北方ガルダ湖畔のガルダに避難してゐたが爾來一切消息を絶つに至つた、三十日の反樞軸軍司令部公報によればドイツ軍はガルダ湖北端で頑強に抵抗してゐるといはれるが、ガルダそのものが反樞軸軍の手中に歸してゐることは明らかで、日高大使の運命については當地邦人間で憂慮されてゐる

瑞對諾不干渉に決定か

（ストツクホルム三十日發）スウエーデン議會は二十七日祕密會を開催、ノルウエーに對する武力干渉問題につき檢討を加へたが、どう決定したかについてはまだ正式に發表されてゐない、但し消息筋の洩らす所によれば、保守、社會民主、農民の三黨が武力干渉に反對したのに對し、共産黨及び人民黨は贊成論を主張、激論を闘はせた結果、武力干渉は行はぬことに決定した模樣だ、さらに「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙のロンドン特電によれば、英國政府はスウエーデンの不介入政策を諒承したといはれる

佛總選擧、共産黨勝つ

（チューリツヒ三十日發）二十九日執行されたフランスの地方選擧は九年振りの總選擧として且つまた婦人參政最初の選擧としてその結果を注目されてゐたが、共産黨の壓倒的進出は既に明白でパリ市會議員定員九十名のうち二十七名は共産黨員が當選してゐる、大體總定員六十萬名の新市町村會議員中約四分の一を共産黨が占めるものと推定される、既に判明した當選者のうちの大物を拾へばリオンの萬年市長エヅアール・エリオがドイツから釋放されモスクワにおて留守のまま當選したほかペタン元帥裁判の檢事長アンドレ・モルネー桑港會議フランス代表ボール・ボンクール等も當選が確定した

ウイツテンベルグでも米ソ軍連絡

（リスボン三十日發）パリ來電＝西歐反樞軸軍司令部はベルリン西南方エルベ河畔のウイツテンベルグでさらに米ソ兩軍が連絡した旨三十日發表した

ア港にV一號五千發

（リスボン三十日發）ブラツセル來電＝米英軍防空隊司令部は三十日左の通り發表した

昨年十月から本年三月までアントワープはV一號四千八百八十三發、V二號數百發の攻撃を受けた、防空隊は右の中計二千百八十三發のV一號を撃墜し、アントワープ港の目標に到達したのは僅か二百十一發に過ぎなかつた、二萬二千名に上る米、英並びにポーランドの防空隊員はアントワープ市の周圍に濃密な防空彈幕を張りめぐらし、港では一日も勞働を休まなかつた

昭和二十年五月三日(木)
第三四一〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

三國の招請を決定

(リスボン三十日發)サンフランシスコ來電＝桑港會議指導委員會は三十日アルゼンチン、ウクライナ、白ロシア三國の會議招請を可決した、しかしてアルゼンチンの招請に對してはソヴエト代表モロトフ氏が猛烈に反對したが、結局二十九票對五票をもつて可決された

亞國招請問題でまた紛糾

(リスボン三十日發)サンフランシスコ來電＝三十日開催された桑港會議指導、執行兩委員會は米洲諸國の要請に基づきアルゼンチンの會議招請問題を附議これを可決した、しかるにソヴエト代表モロトフ氏は斷乎これに反對を表明同日特に新聞記者團と會見して

アルゼンチンが會議に招請されるならばポーランドも當然招請されるべきだ、余は本日午後の全體會議においてアルゼンチンの招請には斷然反對しよう

と言明した、これより先米英ソ重慶四國代表はポーランド、アルゼンチン兩問題に關し事前に大國間の意見を纏めておくため二十九日夜會議を開いたが、席上モロトフ氏はアルゼンチン招請の代償としてポーランドの招請を要求これに對しステチニアス、イーデン兩者はポーランド、アルゼンチン問題は全く別個の問題であり、アルゼンチンの招請はポーランド問題とは切離して會議參加國の多數決により決定すべきだと主張、この會議は再び物分れに終つたといはれる、ポーランド招請といふ難問題がいまだ解決しないのに加へ、今度はまた新たにアルゼンチン問題が加はつて會議の前途は益々暗雲に閉ざされるに至つたが、一方二十八日來のドイツ無條件降服說によつて會議は若干氣拔けの調子であり、歐洲情勢が急轉回すれば少くともモロトフ、イーデンの英ソ兩代表が會議を中途で引揚げ夫々本國に歸還するは必至と見られ會議當局者は議事の急速な進行を極度に焦つてゐる模樣だ

亡命波政權桑港會議へ覺書

(リスボン三十日發)サンフランシスコ來電＝ロンドンの亡命ポーランド政權は三十日桑港會議に次の內容の覺書を提出した

一、本政權は桑港會議への招待から除外されたが依然としてポーランド國民を合法的に代表する唯一の機關であると考へる

一、本政權は大國が隣國の犧牲において領土擴大を行ふことに對し抗議する

【米　洲】

ロケツト砲と鉛の增産を要求

(リスボン三十日發)ワシントン來電＝人的資源委員長ポール・マクナツトは二十九日夜ラジオ放送を行ひ米國民に對日戰に對する一段の努力を要請次の通り述べた

米軍地上部隊が最小限度の犧牲で日本軍の諸陣地を奪取するには特に二つの事柄に努力を傾注しなければならない、その一はロケツト砲彈の增產である、この兵器は極めて效果的なことが判明したため、大きな增產計畫が樹立された、目下ロケツト彈の新工場が各地に建設されてゐるが、アーカンソー州キヤムデンにおけるのが最大である、ロケツト彈に對する需要は陸軍よりも海軍が多く上陸用舟艇を始め諸艦艇がこれを使用してゐる、第二は鉛鑛山における人的資源不足の打開策である、鉛は戰爭遂行に極めて重要であり、テトラエチル鉛は百オクタン價ガソリン製造に使用されてゐる

戰後の失業を恐る

(リスボン三十日發)ワシントン來電＝大統領トルーマンは三十日勞働總同盟會長ウイリアム・グリーンをホワイト・ハウスに招致、再轉換問題に關し十五分間に亘り會見を遂げたが、會見後グリーンは次の通り述べた

歐洲戰直後、特に軍需生產から民需生產への轉換期において相當廣範圍の失業がみられよう、現に失業問題は造船業の縮小に伴ひ太平洋海岸地方で既に發生してゐるが、近い將來更に航空機生產において大幅の削減が豫想され失業者は增加しよう

【英　帝　國】

カルカツタに傳染病蔓延

（ストツクホルム三十日發）ロンドン來電＝「グラスゴー・ヘラルド」紙は三十日の社說で印度のカルカツタにおける傳染病に關し左の通り論じてゐる

目下カルカツタでは傳染病が猖獗を極め、ベンガル州政府並びに印度軍當局にとつて事態は極めて重大化するに至つた、今回發生したコレラは兵士、市民を等しく襲ひ今世紀に入つて曾てみなかつたやうな猛威を振つてゐる、今回の傳染病はカルカツタ市廳とベンガル州政府當局の無能力が原因だとしか說明しやうがない、陸軍當局がカルカツタを東南アジア軍の主要外出地區としたことに對して激しい非難の聲が上つてゐる、しかしビルマ作戰でカルカツタに代る場所として設置されたやうな丘陵地帶の休養所では十分目的を達し得なかつたであらう、休暇をとつた兵士は大都市から隔つた場所に留めておくわけには行かない、カルカツタは幾多の缺點を持つ危險の多い都市ではあるが現在のところ厭が應でも廣大な殘域の中心地たらざるを得ないのだ、しかし今や自然の暴威が降りかかつて來たコレラその他の惡疫に向つては問答としても始らない

濠洲議會揉める

（リスボン二十八日發）過般來濠洲政界は濠洲軍が東亞の重要戰區に配置されてゐないことを非難してゐたが、これに對し濠洲軍總司令官ブレミーはラジオを通じ濠洲軍の裝備が不足してゐる點を擧げて反駁したが、シドニー來電によれば二十七日濠洲議會において右問題が蒸し返され激論が展開されたといはれる、討論內容つぎの通り、元ロンドン駐在濠洲代表サー・アール・ページ

濠洲政府が濠洲軍二ケ師團をビルマ公路並びにセーロン島の樞要箇所に駐屯させずに、軍事的に全然價値のない地域に引上げさせたのは思慮を缺いた措置である

元首相ロバート・メンジス

ブレーミーがラジオ放送で、「安樂椅子の批評家に言及し政治の領分を犯したことは大いに批判の餘地がある、一方濠洲軍を何等戰略的に第一義的の目的を持たぬ南太平洋の島嶼作戰に使用することは大きな間違ひだ

海相メーキン

これら諸島にある〇萬の日本軍は濠洲にたいする脅威であり、これは是非とも除去されねばならぬ

統一地方黨代表ランキン

ブレーミーの軍人としての能力は大したものだ米軍はは自負心が强く傲慢で好き勝手なことをし、欲しいものは何でもとり殘つたものを他の者に呉れてやるといつた態度を示してゐるが、ブレーミーは彼等にたいし實に思ひ切つた態度を示した

濠首相代理任命

（ストツクホルム三十日發）キヤンベラ來電＝濠洲首相カーチン病氣のため三十日藏相ジョセフ・ケーフレが首相代理に任命された、因みに首相代理フランシス・フォードは目下濠洲代表として桑港會議に出席してゐる

【西　亞】

レバノン政界緊張

（リスボン二十九日發）ベイルート來電＝レバノン政界はケラメー內閣と前首相リアド・エス・ソルを指導者とする下院議員團との政見相違が表面化して以來緊張狀態にあつたが、事態は改善の樣子なく、ケラメー內閣は五月一日議會で信任を問ふものとみられてゐる、しかし一部消息筋は下院議員團の排擊によるケラメー內閣の辭職は輿論に惡影響を及ぼす惧れがあるので、議會の解散が要求されるものと觀測してゐる

【ソ　聯】

一九四五年度豫算計畫

（モスクワ二十九日發）ソ聯最高會議はズヴエリヨフ財務人民委員の豫算報告に基き豫算委員會の修正案を檢討した後一九四五年度歲入、歲出額を三千七十七億千四百七十五萬四千留と決定した

昭和二十年五月三日(木)
第三四一〇號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

續フランス版「罪と罰」

井上勇

△ペタンの歸國

元「フランス國家」主席アンリ・フイリップ・ペタン元帥はスイスでの滯在三日間、二十六日フランスに歸つて進んで囚はれの身となつた、ウアレン・ジー湖畔の假の宿ウエセンを發したのが朝九時、自動車四臺で、ローザンヌ、ヴアロルブを經てラ・フエリエール・スウ・ジョアヌでフランス領に入り、パリから身柄引取りのため出張してゐたパリ軍管區司令官ジョゼフ・ピエール・クニーグ將軍の手で逮捕されたのは午後四時半だつた、元帥の一行には夫人のほか、側近に仕へたマリー・ウーゼーヌ・ドベネー將軍、元ヴイシー政府海相ポール・アンリブレオー提督等が含まれ、スイス政府は特にモーターサイクルによる警官の先驅を先登に立てて、元帥一行を國境まで見送らせた、國境にはクニーグ將軍のほか約三十名の共和國護衛警官が特にパリから派遣されてゐたが、彼等は元帥に捧げ銃をするでもなくただ默つて道の兩側に不動の姿勢で並んでゐるだけだつた、元帥は人濁を叙しつつ、握手の手を差伸べたが、クニーグはこれに一顧だに與へなかつた、直ちに令狀を手交して、その瞬間から元帥は、彼の捕縛下にある旨を宣告した、クニーグは別に白紙令狀を携行してをり、これに一行中の主だつたものの名前をその場で記入して同じく逮捕を宣告すると共に捕へたもの捕はれたものの一行は共に默々として停車場に向ひ、既に用意が出來て構内に待つてゐた特別列車に搭乘してパリに向つた、ペタン元帥は嚢中無一文でウエーセンのホテル滯在中の諸費用は全部スイス聯邦政府が負擔したといはれる

△刑場に面する部屋

パリに到着した元帥はそのまま郊外モン・ルージュの要塞内に監禁された、八十九歳の老元帥に付添ふたのは夫人と二人の看護婦のみで、夫人は老元帥と共に要塞内にとどまることを要求して許可された、部屋は死刑執行場に面する、普通のホテルの部屋くらゐの廣さ、二臺のシングル・ベットと椅子二脚、小机が家具のすべてである、一八七一年普佛戰爭の時、パリ籠城戰で、ひと役買つたこの要塞——といふよりも兵營または牢獄といふ方がふさはしい、この建物をめぐる灰色の高い壁の入口といふ入口には各々、三名づつの憲兵の見張りが付けられ、高い窓には鐵の柵がセメントの中にはめこまれてゐる、一歩部屋に入つた老元帥が最初に求めたものがシヤルル・ド・ゴールの寫眞だつたことは護衛のものを、ひどく驚かせたらしい、ともかく、ド・ゴールの寫眞は居合せた一中尉が、自分の部屋からはづして、元帥の部屋の壁にかけることにした、元帥は朝にタベに前の廣庭に處刑される人々の銃聲をききつつ、ここで自らの斷罪の日を待つはずである、ペタンに手交された令狀には「國家に對して反逆を企てた」廉によつて五月十七日公判廷に出頭すべき旨が記されてゐたが、裁判は少くとも數週間は延期される見込みといはれる

◇月夜の蟹の妄想

ペタン元帥がどうしてドイツを脫出し得たかは三谷大使がサン・ガーレンで同盟記者に語つたところによれば、ジグマリンゲン駐在ライネベツク獨公使の配慮によるもので、フオン・リツベントロップ外相との連絡も不可能なため、全く同公使の獨斷でペタン元帥その他フランス側要人の退去を勸告したものらしい、もつともペタン元帥は誰が退去を取計つてくれたのか知らないと語つてゐるので、その間多少の疑問はある、パリの新聞は口を揃へて、ドイツ側が元帥を釋放したのは一種の策略でこれによつてフランス國内輿論の分裂を企圖したものだと稱してゐる、「コンバ」は、元帥が公判廷に引出されることは、フランス國内に輿論分裂を起すといふのがドイツ側のねらひだといつてゐるし、共產黨の「ユーマニテ」はペタンのギヤングを死刑にしろと叫び、「フラン・チラール」は「親分」が歸つて來たのでフランスの第五部隊の活躍が全國的に活潑になつたではないかといひ、「オルドル」はヒツトラーはあらゆるものを失つたので、いまや將來のことを畫策してゐるのだ、フランスの全面的混沌狀態を利用してひと仕事目論んでゐるのだ、ペタンの歸國と共に第

五部隊の活動とナチ思想が從前にまして增長するだらうと豫告してゐる

その悉くが、巳れの影に動く月夜の蟹の妄想に類するものとばかりはいひ切れないが、少くともペタン釋放事情に關する限り、ドイツの武士道を諒解し得ない下等な考へ方と斷じざるを得ない

◇裁判延期され

ペタン公判についてはフランス司法省は、既に十週間以上も證據固めにとりかかつてをり、單にフランス國内のみならず、英國、米國にまでも手を伸して證據を蒐めてゐると發表したが、始めの豫定の五月十七日裁判開廷は、少くとも十週間以上延期しなくては、證據固めが出來まいと洩してゐる、思ひがけず、ブレオー、ドベネーの兩人もペタンと共に歸國したので、この兩人の裁判も行ふと司法省ではいつてゐるので、その下調査にも時間はかかるわけだ、宣傳相のテイトジヤンはペタン元帥の罪狀は極めて明白だが、裁判日取りは最後的にはまだ定つてゐない、いまの所では五月十七日開廷の心組みで準備を進めてゐると述べてゐる

△亡命政府の解消

三谷大使の話によると、ペタン元帥以下がジグマリンゲンを出發したのは二十一日の早朝ださうで、當時ド・タシニーの機甲化フランス軍は既にグジマリンゲンに二十八粁のところまで迫つてゐた、ペタン一行とは少し遲れて別途に出發した大使一行は途中でペタン一行とは先になり、また追拔かれなどして同じ道程をフエルドキルシユからチロールに向つたものらしい、フランス人たちの多くはチロールの州境で入境を阻止され、その中には元のパリ駐在ヴイシー代表フエルナン・ド・ブリノンもゐた、彼はフエルドキルシユで自動車から下されて汽車で東行したといはれるが、どこに行つたかは明らかでない、三谷大使がブレゲンツに宿泊した日、同地には元勞働相マルセル・デア、元宣傳相ジヤン・リユセール、元文相アベル・ボナール、元宣傳省部長ポール・マリオンなどもゐたさうである、ペタンと途中まで行をともにした元ヴイシー政府ピエール・ラヴアルはリヒテンシユタンに入國しようとして拒絶され、デアその他もスイス國境で入國拒絶にあひペタン一行と袂を分つた、ジグマリンゲンでフランス解放義勇軍を組織したジヤツク・ドリオの後をうけてこれを指揮してゐるダルナン將軍は、兵三千とその家族二千を北イタリアに移し、當人もいまは北伊にあるといはれる、三谷大使の話では元のパリ駐在ドイツ大使でフランスびいきのオツト・アベツツは辭めて一月以來故郷バーデンにかへり、そこで國民突擊隊員になつてゐるといふ、かくてジグマリンゲンに日蔭の花の如く影の薄い生命を育んでゐたフランス委員會は事實上解消してしまつた譯だ

△果して死刑か否か

フランスに進んで歸國し、われとわが身を政敵の前に投出したペタン元帥の運命の赴くところは何處であるか、國民抗戰運動理事會は二十八日夜聲明書を出して「ペタンはヴイシー政府主席としての行動により死刑に値する」といひ、元帥の死刑要求のために五月一日を期してパリで一大民衆デモを擧行すると發表したが、元帥の裁判に檢事長を勤めるアンドレ・モルネー檢事は「ペタンはその政治の責を當然負ふべきものだ、しかし老齡のことではあり、自分は恩典を求めるかも知れない」と必ずしもその生命を是が非でも奪はうとは考へてゐないことを明らかにしてゐる、ここで問題になるのはペタン元帥がドイツと和協した眞意で、筆者は常にド・オリスト・ペタンを說いて來たがその點についての解明が元帥の斷罪に多大の影響を持つであらう、ジグマリンゲンのホーヘンツオルレルンの古城にフランスの國族を揭揚せんとしたド・ブリノンの提案をペタンは峻拒したと三谷大使は語つてゐるが、この小事件はペタンの心境を物語つてあまりあるものと見てよからう

△生きてゐた彼等

生きてゐるかも知れないと書いた元首相エヅアール・ゲラデイエ、同じくポール・レイノー、元フランス國軍總指揮官マリー・ギユスターヴ・ガムラン等「敗戰責任者」は二十七日のパリ・ラジオによれば悉く生きてスイス入りをしたといふ、眞疑のほどはまだ確實でないが、ド・ゴールは彼等の罪をどう裁くつもりか興味がなくもない

昭和二十年五月三日（木曜）
第三四一〇號
同盟通信 海外電報
（第三種郵便物認可）

資料

反樞軸軍需資材生産情況

「エコノミスト」誌
四月七日號

△石油

一九四四年の石油生産高は一九三九年來の新記錄だつた、米國における原油生産高は前年に比し一一%餘增加して總額十六億七千八百萬バレルに上つてゐる、米國以外の諸國においても、生産高は增加し、特に著しいのはヴェネズエラである、ヴェネズエラでは一九四三年石油法が制定されて以來、石油會社が大いに發達したが、一方近東及び中東油田地帶の産油額も增加した、米國以外の諸國における石油生産高は八億バレルと推定することが出來、この結果一九四四年の世界總産高は一九四二年の二十二億四千五百萬バレルに對し、二十四億乃至二十五億バレルとなつた、以上の通り石油生産高は新記錄を樹立したが石油の民需向け供給量は依然相當に制限されてをり、英國における國內消費量は戰前の八分の一に過ぎず、米國では戰前の三分の一强であつた、米國が嚴密に軍事用として必要とする石油は一日百六十萬バレルで、軍需並びに船舶用を含むその他の重要部門では軍事用の三倍半の石油を必要としてをり、年所要高は二十五億バレルに上ることとなるので米國は一九四五年には石油を一層增産せしめるべくあらゆる努力を傾けてゐる

△非鐵金屬

米國政府各機關は從來、非鐵金屬の最大生産を要求してゐたのが、最近この計畫は變更され、或ひは削減された、そればかりでなく米國內の銅、鉛、亞鉛生産者及びこれ等三者程ではないが、米國外の錫生産者は鑛夫の著しい不足に惱んだが、これ等の困難にも拘はらず、一九四四年初期には相當量の非鐵金屬が蓄積された、一九四四年秋、米國は軍需增産方針を決定したため、金屬の手持在荷は多少減少を餘儀なくされたが、この年を通じ金屬の供給狀況は兎も角一般に良好だつたといへよう、一九四四年における金屬産業に關する輿味は主として今後の問題におかれてゐる、英國政府の非鐵金屬生産契約は九月初旬をもつて更改期に達し、鉛及び亞鉛に關する契約は一年を通じ變化なく繼續されることとなつたが、銅に關しては五ケ月を限りとし一九四五年一月末日をもつて滿期となる新協定が締結された、一九四四年の英帝國銅生産高は多少減少したが、米國政府の英帝國からの銅輸入契約が一九四五年三月三十一日まで（この期限は更に延期される模樣だが）延期したため、英帝國の銅生産高は急激な減少をみずに濟んだ、英國の一九三五－三八年の銅輸入高が年平均二十六萬二千噸であつたのに對し、一九四〇－四三年には年平均四十六萬五千噸となつたため、英國內銅の手持在荷は相當の高に上つた模樣である、銅、亞鉛生産者及び鉛生産者の一部は、戰後を豫想して生産を手控へんとしてゐる傾向にあるが、これに對し錫の生産は東亞における生産地が解放されるや同地域の生産を再開すべく、積極的な準備が一九四四年を通じて續けられた、これ等の準備は舊マライ聯邦政府鑛山局關係業者によつて指導され、英國植民省の支援を受けて行はれた太平洋地域外における錫の生産は一九四四年には減じてゐるが、その數字はまだ正式に發表されてゐない、しかし一九四四年の反樞軸諸國內における錫供給狀況は、錫二級品が相當出廻つたため、まだ不足を告げるに至らなかつたし、米國政府手持ちの錫在荷も相當ある見込みだ、銅、錫、鉛、亞鉛の價格は米英兩國共、一九四四年を通じて變化なく、統制も從來と同樣實施された

△輕金屬

一九四四年のアルミニユーム及びマグネシユーム生産は、米英カナダ三國とも供給過剩であつたため、多數の生産工場を閉鎖したので、前年には一年を通じて最高生産數を示したのに對し、相當の減少が見られた、英國では一九四四年春から輕金屬の一部が戰後商品の發達を容易にするため民間研究材料に提供されてゐる、十一月には英國飛行機生産省は輕金屬の一部を一般民間消費用並びに再貯藏用として解放した、一九四五年二月現在

の英國におけるアルミニユームの消費者庭先き渡し價格は一トンにつき百十磅であつたものが、八十五磅に下つてをり、米國における生産者庭先渡し價格一封度につき十五仙と略々同じ割合となつてゐる

△ゴム

一九四四年を通じ生ゴムの生産は前年と同樣極めて少く、米英合同資源委員會はこの年三回に亘つて警告を發し、ゴム手持在荷は開戰以來最低に減じてゐるため極度に消費を節約するやう要望した、新規生産による生ゴムの輸入は極めて少かつた、セイロン島の生ゴム生産は天候不良の影響を蒙り、少くとも一萬トンの減産をみた模樣で、生産高は十萬トン以下とみられてゐる、ブラジルからの生ゴム輸出も微々たるもので三萬トン以下となつてゐる、しかし、人造ゴム生産の進歩は極めて著しく、はじめて全需要量を充し得るに至つた米國は現在年百萬トン近の生産能力を持つ人造ゴム工場を擁してゐるが、一九四四年の實際の生産高は七十六萬三千瓲、うち八萬五千瓲が英國の自由處理に任せられた、米國におけるゴム消費高は一九四三年には四十八萬九千瓲、うち人造ゴムは三分の一であつたが、一九四四年には消費高七十一萬瓲、うち八割までが人造ゴムで占められてゐる、强力な特權を持つたゴム生産局は九月廢止され、戰時生産局内に他の物資生産部と同樣の特權と制限を持つゴム生産調整部が設置された

ドイツ問題

「エコノミスト」誌三月十日號

反樞軸軍は遂にラインの岸邊に立つに至つた、明日になれば既に河を渡つてゐるかも知れぬ、ドイツ第三の大都市ケルンは既に反樞軸軍の支配下にあり、今や愼重に考慮したドイツ處分案を實施する時が近づいたわけだ、ドイツ問題の決定を見る日も餘り遠くはあるまい、しかしドイツ處分案は未だ決定してゐない樣子で、永久の平和のために辯ずる餘地は假令刻々狹まつて行きつつあるにせよ、なほ依然として殘つてゐるやうだ

△對獨穩健和平政策の提唱

本誌が「穩和な和平」政策を採つて既に屢々述べて來た意見を再び比處で繰り返さうとは思はない、右の議論は感傷主義から發したり、ドイツ國民の苛酷な運命に同情した擧句の意見ではなく、ましてやドイツ國民に取り入らうとか、または外交上の駈引と結びつけて將來ドイツ國民を利用しよう等といふ打算に立つものでは決してない、本誌の意見は單にヴエルサイユ平和條約から教訓を學び取らうと望み、咀嚼出來る分量以上のものに喰ひつくなと主張するに過ぎない、米英國民の何れにしてもその正當性について疑問が起り、またそれを强制するに苦しい努力を要するといふ二重の不利益を持つてゐるやうな處分案を何時までもドイツに强制してゐれるものではなからう

以上はドイツ國民を處罰すべきではないとかドイツ國民に苛酷な損害賠償を强要してはならぬといふ意味ではなく、かかる政策を實施するのは短期間に止め、强制を望み、强制手段を講じ得るのはこの短期間内でなければならぬといふのであるドイツを長期間完全に武裝解除することは根本的な要件であるが、しかし永久的な處罰はこの武裝解除ばかりに止めておいてもよからう、右は既に幾度か繰返し述べて來た意見の要約で、種々批評の的となつた、多數の批評のうち比較的筋の通つた意見としてつぎの二つが顯著である

一、難問題に關する國民の解決案に反對するといふ消極的態度に終始するだけでは十分でない、苛酷政策がうまく行かないだらうと論ずる者はそれに代る政策が一層良好に行くといふことを證明せねばならない、苛酷政策は長期建設計畫を開始するに當つての一局面に過ぎないであらう、この長期建設計畫の目的はドイツの持つてゐる强固な戰爭能力が永久に消滅し爾後歐洲が外部から壓力を加へなくても持續して行けるやうな確乎たる平衡狀態を呈するやうその經濟並に政治勢力の再配置を行ふにある、例へばもしルール地方の重工業管理をするものが、これを

昭和二十年五月三日(木)　第三四一〇號

同盟通信　海外電報

(第三種郵便物認可)

侵略目的に使用しないと信頼出來るやうな人物であればドイツ問題の大半は解決したことにならう

二、もし英國政府が寛恕政策を唱へたならばその結果は歐洲の反樞軸諸國を離反せしめ、ドイツの武裝解除と共に世界平和の基礎となつてゐる大同盟を解體させるばかりだ、歐洲諸國は侵略され、搾取され、粉碎された、彼等はあらゆる人權蹂躙行爲を目擊し、苦痛と流血の記憶は曾て歐洲諸國民が懷いてゐた自由、民主、民權等の觀念を忘れさせてしまつた、これら諸國民が激しい憎惡に驅られて報復行爲に出ようとすることを英國が少しでも阻止しようとすれば同盟關係は忽ち終末を告げ、極度の慘狀に突入するに決つてゐる

△同盟關係の維持

かかる事態に至らないやう出來る限りの努力をせねばならぬのは當然である、しかし同盟を維持するためには歐洲の反樞軸諸國が望む事柄ばかりでなく、西方の反樞軸諸國が何を我慢し得るかといふことも考慮せねばならない、實行出來ないやうな政策を採用することは最も同盟を生存させるに適しない方法であらう、何故ならば自然の成行で同盟の紐帶が何かの場合緩むことがあると、右のやうな政策は意見の相異を來し、激しい罪のなすり合ひを惹き起すことになるからである、米英何れの議會にしてもその後繼者が政策を踏襲するものと期待することは出來ない、故に十分民衆の支援を保持する見込みがあり、確かに實行し得ると思はれない限り決して約束しないといふ斷乎たる決意を持つ必要が大いにあるわけだ、もし何か意見の相違があるならば疑惑が起り易い後年にまで持ち越すよりは今、異議がある旨申し立てる方が遙かにましである

現在英國、ソ聯の兩政府とも同盟關係を何時までも保たうと心底から望んでゐることは殆ど疑問の餘地がない、がこれは兩國間の猜疑心が全部消滅したといふことにはならない、ソ聯政府はその成立の當初から一貫して、英國がソ聯に對し陰謀をたくらんでゐると疑つてきたがこれは全然根據のないことでもなかつた、一方英國外務省がラパロ條約以來定まつて魘される惡夢は獨ソ同盟で、これが殆んど實現しさうに思はれたときからいまだ六年も經つてゐないのである

英ソ兩國とも親交を望んでゐる、しかし兩國とも十年も經たない以前には相互に疑惑の種となるやうな行爲を犯してゐた有樣で、相互の關係が密接を極め、完全な情報交換を行つてゐても疑惑は容易に發生するものである、英國政府とソ聯政府とは地理上の關係から考へたばかりでも相互のドイツ政策に鋭い監視を續けねばならぬ立場にあるのだ、故にドイツ問題を效果的に解決するためといふよりは寧ろソ聯との同盟を維持するためにこそ兩國で一致した政策は兩國共同でその遂行に邁進することが絶對に必要となるのである、このためには政策中に實行不可能な條項を些も加へないやう能ふ限りの注意を拂はねばならない

△二案妥協の道

もし歐洲の同盟國が望む解決案と、米英兩國民が支持するやうな解決案との間に妥協の途がないならば事態は極めて憂慮すべきものとならう、本論の目的は以上兩者の解決案を效果的に綜合し得る途があるか何うかを檢討するにある

兩者が明かに妥協出來ると思はれるのは期限の點である、都合のよいことには歐洲大陸における報復と賠償との主張が最高調に達し、英國からの苛酷政策に對する反對が最低調にあるのは共に休戰直後の時機である、ドイツ國民が自身の考へで侵略戰爭の不利益を覺るに至るやうあらゆる實際的な措置が構じられ、またドイツの生產力を總動員してドイツが掠奪、破壞したものの償ひをするやう一切の具體的な手段が盡くされるやうな懲罰期間がもし設けられれば報復に逸る戰勝の反樞軸各國が懷く妥當な望みはすべて滿たされよう、しかし、もしこの懲罰期間が例へば五ケ年以上に亘らないやうな短時日であれば、西方諸國の意見がドイツ處罰の決意を弱めるといふ危險も比較的少くなるのである、卽ち短時日の峻烈な懲役こそ兩種の意見を大巾に歩み寄らせる方策だといへよう

第二の妥協點はドイツの完全且つ永久的な武裝解除にある、苛酷な平和條件を永久に强制出來る

か何うかを極度に疑問とする者もドイツから一切の武器を取り上げ、ドイツ軍を完全に武裝解除しすべての重要兵器生産を禁止する必要があることは認めてゐる、全く長期に亘る寛恕政策の主調は右の武裝解除といふ永久的な規定に全力を集中することが望ましいといふに外ならず、最近米上院議員ヴアンデンバーグが提唱した案に徴しても以上の政策には米國も贊成する可能性が多分にある卽ちこれが兩者の意見一致を確保することも出來また實行を約して反古ともならぬやうな第二の調和點である

△「建設的」解決案

以上二點は兩種の意見を一致させるに效果がある、しかし武裝解除に滿足出來ぬ一派（また武裝解除は强制出來まいと考へる者も然りであらう）でドイツが再び戰爭を惹き起さないやう何かさらに實質的な保障が必要だと考へる者の希望に添へるほど效果があるとは考へられない、かかる意見は所謂「建設的」解決案を提唱する一派の議論の出發點となつてゐるもので、彼等は「ただ平和が續いてゐるといふだけでは決して確乎たる平衡狀態とは言へない、これは同盟諸大國による外部からの壓力がなくなつた時にも自力で存續し得るやうな狀態なのだ、しかしかかる時機が來る前に先づ歐洲における不自然な勢力配置を匡正し謂はば歐洲の分子構造を變へてドイツが一切の制約から放たれた場合にも最早戰爭を行ふ程有力ではなくなつてゐるやうにして置きたい」といふのである

斯かる考へ方を最も完全に具體化したものは明かに完全な聯邦制度――歐洲合衆國――で、十分に强力な中央政府が國際關係、軍備並びに工業政策の一切を支配するやうな體制であらう、斯かる聯邦制度内においてはドイツに自由行動を許しても危險がなく、他國と同等の構成國家としても何らの脅威とはならないであらう、しかし以上の解決案は明かに實際政治の埒外にあり、これ以上檢討をする必要はない

△經濟面からの接近

聯邦形勢は難かしからうが「建設的」政策はまた經濟の方から解決を圖らうともしてゐる、ドイツの戰鬪力はドイツの工業、特にその重工業にある、勿論この重工業はモーゲンソー案が提唱してゐる通り、破壞するなりして復讐を禁止してしまふことが出來るわけだ、しかしドイツの生活水準のみかはドイツ工業とあまりにも緊密な關聯を持つてゐるやうな歐洲諸國の生活水準を一擧に切り下げてしまふ計畫は何としても「建設的」とは稱し難く、數年を經ぬうちにもモーゲンソー自身の國民達はかかる計畫を撤廢してしまふだらう、ルールはドイツの侵略勢力の源泉であるが同時に歐洲大半の物的繁榮の源泉でもある、極く少數の例外を除いて戰時に役立つ工業と平和時に有用な工業との間に區別の一線を引くことは不可能だ、ところで「建設派」の意見は以下の通りである

「しかし工業をドイツの支配から引離すことになれば、都合のよいことにはドイツの二大工業地區はドイツの中心部にはなく、その周邊に位置してをり、シレジア工業地區はポーランドに併合されることになつてゐる、それならばルール地方とラインランドは他國に併合したり、その搾取に委ねたりせず、獨立したドイツ國家としてドイツ本國から分離させることが出來ないだらうか、その場合このドイツ國家の住民は、貧窮に陷つたり、壓政を布かれたりすることなく、局地的な問題に關しては自治を許され、對外關係に就いては反樞軸國の監視下におかれよう、その商業政策に關しては、ルールの金屬工業が大ドイツの戰爭經濟に織込まれることなく、漸次西歐の經濟樣式に適合して行くやう指導されることとならう

これこそ望むべくんばドイツの侵略能力に對する無痛の不姙手術であらう、一、二世代を經過すればラインランドの住民は西歐の自由主義と繁榮とに引かれてプロシアの軍國主義を斷乎拒け、自國の獨立を採るといふことにならう、かくて歐洲の勢力再配置は成功し、ドイツは制約を解かれても最早力なく、歐洲は新しい確たる平衡狀態を呈することとなる」

以上が「建設的」提案の概要である、次號ではさらにこの提案の檢討を續け豫想される平衡狀態について批評しよう

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年五月四日(金)　第三四一一號

同盟通信

海外電報 (100)

編輯發行人　田中正一郎　東京都麴町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

【目　次】

休戰交渉の經緯を發表……一二〇〇
ラヴアル氏スペインへ避難……〃
ゲツベルス博士自殺……〃
ヒトラー總統の戰死確報……〃
亘星遂に墳つ……一二〇一
【英　帝　國】
チヤーチル降伏申入に觸れず……一二〇二
【歐　洲】
ベルナドツテ伯歸還……〃
グ元帥の處刑を否定……〃
ベルリン作戰赤軍司令官……〃
伊共和國首腦も全部處刑……一二〇三
屍體公開の暴擧……〃
ホルテイも捕はる……〃
【米　洲】
トルーマン國民の覺悟を要請……〃
米蘭武器貸與協定……〃
無煙炭礦夫總罷業……〃
【反樞軸陣營】
モロトフ氏近く歸國……〃
モロトフ歸國を希望……〃
ソ聯敗れたり……一二〇四
ソ聯の態度强硬……〃
五國代表會議開催……〃
【東　亞】
オーヒンレツク歸英……〃
【特　輯】
會議派領袖の釋放問題……一二〇五
【資　料】
歐洲とドイツ……一二〇八
フランスの修正案……一二〇九

世界の動き

ベルリン陷落

（ストツクホルム二日發）モスクワ來電＝スターリン元帥は二日、ベルリンの完全占領に關し赤軍並びに赤色海軍に對して次の布告を發表した

ジューコフ元帥の指揮する第一白露戰線軍はコーネフ元帥麾下の第一ウクライナ戰線軍と協力して熾烈な市街戰の後、ベルリン守備隊の掃蕩を完了、ドイツの首都でありドイツ軍國主義の中心地であるベルリンを占領した

ベルリンとの直接な通信連絡が杜絶えた現狀において、ドイツ國内の情勢について性急な判斷を下すことは危險だが、唯今までに確認されてゐる點は

第一に國内軍司令ヒムラー氏がスウエーデン外務省を通じて、西部戰線におけるドイツ軍の降伏について米英兩國と交涉したこと

第二にハンブルグ放送局が總統本營の名において、ヒトラー總統の薨去とデーニツツ提督の就任を傳へたこと

第三にフオン・リツペントロツプ氏に代つて、元藏相フオン・クロージツク氏が外相に任命されたこと

第四に反樞軸軍司令部がイタリア國内のドイツ軍が降服した旨を發表したこと

第五にナチ黨の領袖ゲツベルス博士が自殺した旨ソヴエト情報局が發表したこと

第六にグルー國務次官の言明に徵すれば、ヒムラー氏の休戰交涉が頓座してゐると推定されることだ

臆測を加へれば限りがない、ヒトラー總統についても米ソ兩國内には、まだ健在なのではないかとの想像まで流布されてゐるといふ、世界史の轉機を畫す今度の戰爭なのだから特に慧星の如く出現して歐洲政界に一大風雲を捲き起したナチ黨が、簡單に雲の如くに散じ雨のやうに消え去るとは、到底考へられぬのだから、種々な臆測と各種の情報とが入り亂れるのは寧ろ當然であらう、しかし、表面の現象形態に拘はつては、事の眞相を見誤る結果とならう、狂瀾洪波の歐洲において個人の進退存亡は、惟ふに滄海の一粟に過ぎない、客觀的な現實は歐洲戰爭が、刻々に終局に近付いてゐるといふことであり、帝國は米英兩國とその衞星群との全重壓を覺悟せねばならぬといふことだ、歐洲戰爭の推移を對岸の火災視することが誤であると同樣、劇的な事件の展開に眩惑されて、事の眞相を逸することは極めて危險である

アイゼンハワーとの會見を希望

＝休戰交渉の經緯を發表＝

（リスボン二日發）ワシントン來電＝國務長官代理ジョゼフ・グルーは二日記者團との會見で次の通り言明した

「ヒムラー氏は四月二十四日、スウエーデン外相ギュンサー博士を通じ休戰交渉の開始を申入れた右申入れに際しヒムラー氏は西部戰線におけるドイツ軍の降伏を申出で、但し東部戰線においてはドイツ軍は戰鬪を繼續したい旨を述べ、同時にヒトラー總統は重態で二日以上持ちさうもないから自分は全權を持つてゐると言明、反樞軸軍司令アイゼンハワー等との會見を希望した、ベルナドツテ伯は、ノルウエー並びにデンマルク兩國内のドイツ軍が降伏申出に含まれてゐるかと質した所ヒムラー氏は兩國におけるドイツ軍が米、英兩國軍乃至スウエーデン軍に降伏することに同意する旨確言した、二十五日午後犬統領トルーマンに統合參謀本部代表並びに余も加はつて陸軍省で會議を開催した、會議席上犬統領は英國首相チヤーチルと聯絡したがその結果スターリン元帥にメツセージを送ることとなつた旨報告した、犬統領はスターリン元帥に對しヒムラー氏の申入要旨を傳へ米英兩國政府が右申入れを拒否するに決定した、又三大國に對する無條件降伏以外聯合國としては受諾しない方針なる旨を傳達した、四月二十六日、ソヴエト代理大使は余を訪問してスターリン元帥からの回答を傳へた、スターリン元帥は犬統領トルーマンに對し事情を傳へて呉れたのを謝し、且つストツクホルムに對する回答案に同意した、余は以上回答の趣旨を直ちに犬統領に傳へ犬統領は四月二十六日、ストツクホルム駐劄米國公使に訓電し

一、聯合國としてはドイツ軍がすべての戰線において米英ソ三國に對し無條件降伏するのでなければ申入れを受諾出來ぬこと

一、受諾と極つたらドイツ軍は前線の各地區司令に降伏すること

一、しかしドイツ軍が抗戰を繼續する地區においては聯合軍はあくまで抗戰を繼續すること

旨を傳へるやう指令した、翌日米國公使は以上犬統領の訓電の趣旨をスウエーデン外務省に傳達したその結果ベルナドツテ伯はヒムラー氏と會見するため四月二十七日デンマーク國境の直ぐ南にあるフレンスブルグに行つた、しかし今日米國公使からの報告によればベルナドツテ伯は五月一日ストツクホルムに歸還し、公使に對し犬統領のメツセージを傳達したが何らの回答をも接受しなかつた旨を述べたといふ

更にアイゼンハワー將軍は二日軍司令部においてベルナドツテ伯が四月二十四日午前一時リユベツクで、ヒムラー氏並びにシユーレンベルグ將軍と會見した事實を確認した

ラヴアル氏スペインへ避難

（リスボン二日發）マドリードからのロイター電報によれば、前フランス國民政府首相ピエール・ラヴアル氏は、二日午後文相ボナール氏と共に飛行機でバルセロナ近郊の飛行場に到着したといはれる

ゲツベルス博士自殺

（モスクワ二日發）ソヴエト情報局は二日公報において「ゲツベルス博士が自殺した」旨發表した

ヒトラー總統の戰死確報

ヒトラー總統の戰死については既にハンブルグ放送局の報道をロイター電報によつてお傳へしたが、更にストツクホルム同盟支局は

一日午後五時三十分ハンブルグ放送局はヒトラー總統がベルリンの戰ひで戰死した旨發表したと報道し、またチユーリツヒ支局は

ハンブルグ放送局は一日午後八時四十分ヒトラー總統の戰死を報道し、後任のデーニツツ提督がドイツ國民に對して演說したが、聲は感動に震へ悲痛であつたと述べてゐる、時間の相違は標準時の違ひ乃至第一報を聽取したのと詳報を聽取したのとの差違かとも思はれるが、少くともハンブルグ放送局がヒトラー總統の戰死を發表したことは、兩中立國における同盟特派員によつて確認された譯である

昭和二十年五月四日(金)
第三四一一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

巨星遂に隕つ

═祖國復興に生涯を捧ぐ═

チューリッヒ一日堀口特派員

△死して而して死せず

ドイツ國民革命の指導星否歐洲新秩序建設の巨人は五月一日國民祭の午後ベルリンの總統官邸において作戰指揮の任に當りながら遂に斃れた、バイエルン・アルプスの麓イン河の水清冽なブラウナウに生れた後年のヒトラー總統が前大戰においてバイエルン聯隊一兵士として西部戰線に傷つきポメルンのパーセヴアルク衞戍病院で休戰の悲報を聞いて以來、ミュンヘンにおいて國民革命運動を起し一九三〇年一月三十日遂にドイツ國宰相の印綬を帶び外ヴエルサイユ體制の打倒に邁進し、內庶政の一新を斷行して最高度國防國家を建設し一九三九年九月歐洲戰爭開始以來戰史空前の電擊戰を展開して、東西南北の戰線に赫々たる戰果を收めた五十餘年の生涯の何ぞ華々しくその最期の何ぞ悲壯なる

總統はレヒ河畔ランツベルグ要塞營倉において股肱の盟友ルドルフ・ヘス氏に口述した自傳「吾が鬪爭」において「抑々民族は敗戰によつて滅ぶか」と設問し「民族が軍の腐敗の形において內面的腐敗怯懦無節操を暴露するならば答は常にしかりである、しからざる限り敗北は民族の量標となるらず却つて將來におけるより大きな興隆の刺戟とならう」と斷じてゐるが、ヒトラー總統死してしかして死せず、民族興隆の象徵として永遠にドイツ國民の間に生きるであらう

△懊惱の數日

總統は一八八九年四月二十日「ドイツ的殉教の光に燦として輝く」イン河畔の小邑に生る、美術學を志してウイーンに「貧困懊惱」の苦難を續けること五年「吾が鬪爭」によれば「飢餓は余の忠實な見張人であつた」といはれるが、第一次大戰の始まるや一九一四年八月三日バイエルン王ルードウイツヒ三世に請願してバイエルン聯隊に入り、十七歲の少年アドルフ・ヒトラー君は西部戰線において砲火の試煉を受けた、かくして死生の間に健鬪すること四年有餘、一九一八年十月十四日イユーペルン前方の戰線において英軍の黃十字瓦斯彈で「刺すやうな痛みを眼に覺えて」バーゼヴアルク衞戍病院に入り、一九一八年十一月十日一司祭からホーエンフオレルン家の沒落、休戰の成立を聞かされた、當時の心境を叙して故總統は「最早その切に居耐らずよろめきながら手探りで寢室に戻り、ベツドの上に身を投げ出して燃えるやうな頭を滿團と枕に埋めて了つた」と述べてゐる、しかし懊惱數日の後總統は遂に「自己の運命を悟り」政治運動によつて祖國の再建に乘り出した

△吾が鬪爭

後ミュンヘンに赴いて「ドイツ勞働黨」に七番目の黨員として參加しコドフリード・フユーダーの協力を得てナチ黨の綱領を決定し、黨勢は燎原の火の如き勢をもつてバイエルン州を風靡するに至つた、一九二三年十一月九日ルーデンドルフ將軍を首班する革命に失敗し、二四年四月ミュンヘン人民裁判所の判決によつてランツベルグ要塞に禁錮されたが、同十二月釋放されてからは捲土重來ナチ運動はヒトラー總統の指導のもとに逐次ドイツ全國に勢力を擴充するに至つた、二五年二月には突擊隊が再建され、二六年七月にはヒトラー青少年團の結成あり、一九三〇年九月の總選擧には百七名の同志を國會に送つてナチ黨は確固たる地步をドイツ政界に占めるに至つた、爾來僅かに二年四ケ月、總統はドイツ國宰相に任命され、三月五日の總選擧によつてナチ黨による以黨治國の體制を確立、爾後優生法並びに世襲農場法の公布、國際聯盟の脫退、國民勞働規正法の公布、ザール地方の回復、徵兵制度の施行、ラインランド進

駐、二ケ年兵役制の實施、獨墺兩國の合邦、ズデーテンの併合等々、水際立つた内治外交策によつて、ヴエルサイユ體制の桎梏から完全に祖國を解放した

△ドイツ國民の嚮ふところ

第二次世界大戰開始以來のヒトラー總統の戰爭指導については後世史家の判定を俟たねばなるまいが、スターリングラードの悲劇以來ドイツ國民がヒトラー總統の指揮下に一糸亂れず國難に赴き首都ベルリンの大半が赤軍の掌中に歸するも依然血みどろの戰ひを續けてゐるのは、偏へにヒトラー總統の私を空しくした愛國の熱意とすば拔けた統率力とによるといはねばならない「命を危難の間に奉じ任を敗戰の際に受け」た新總統デーニツ提督は德望一世を蔽ふドイツ海軍の支柱である勿論國歩艱難の際にヒトラー總統を失つたドイツ國民の前途は多難であるが、ドイツ國民の一人一人が故總統不屈の鬪魂を身に體して荊棘の道を切り開き「より大なる興隆」への針路をひたむきに邁進することは疑ひない

【英帝國】

チヤーチル降伏申入に觸れず

（ストツクホルム一日發）ロンドン來電＝英國首相チヤーチルは一日下院において次の通り言明した

和平の發表は單に最後的降伏に先立つばかりでなく降伏に關しては更に發表する必要はないやうに思はれる、すくなくともドイツ全軍の完全降伏を發表すべきものかどうかは今のところ判然としない、但し歐洲における戰爭の終焉は鬪爭の終焉を意味するものではない、われわれは東亞における戰爭で勝利を得るまで全國力を一瞬といへども弛緩させてはならない

以上の演說においてチヤーチルはヒムラー氏の降伏申入れについて直接一言も觸れず近く和平問題につき發表すると言明したことは下院全體に異常な雰圍氣を釀した樣子だが、後刻英國政府は「最重要報告」を入手した場合まづチヤーチルがラジオを通じて發表、次いで國王ジョージ七世が國民に挨拶の言葉を述べる旨一日夜發表した

【歐洲】

ベルナドツテ伯歸還

（ストツクホルム一日發）ベルナドツテ伯は一日コペンハーゲンから空路スエーデン南部のマルメーに到着したが、情報によれば亡命デンマーク國王クリスチヤンにドイツ軍のデンマーク撤收條件について通達したといはれる、問題のドイツの降伏に關しては、スエーデン放送はベルナドツテ伯がヒムラー氏からの新たな降伏申入を携行して歸還したと報じたが、後刻スエーデン外務省は以上の報道を正式に否定した、ベルナドツテ伯も同日記者團會見において次の通り言明した

余はドイツ並びにデンマークを訪れた際ヒムラー氏とは會見しなかつたし、ヒムラー氏乃至他のドイツ首腦からのメツセージを聯合國に傳達した事實はない、余は今回コペンハーゲンを訪れた際デンマーク駐劄ドイツ公使ウエルナー・ベスト氏と會見した

グ元帥の處刑を否定

（チユーリツヒ一日發）ローマ來電＝地中海方面反樞軸司令部當局は一日イタリアファシスト軍司令官グラチアーニ元帥が處刑されたとの報道を否定、左の通り言明した

グラチアーニ元帥は目下反樞軸軍の捕虜となつてゐる、元帥は二十八日イタリア叛軍に逮捕された

ベルリン作戰赤軍司令官

（チユーリツヒ一日發）ロイターのモスクワ特派員はベルリン作戰赤軍司令官はベルザーリン軍大將で、既に赤軍の占領地域内では數ケ所で發電所が再開され水道も三日までには復舊する豫定だと報じてゐる、なほベルリン西方のブランデンブルグはジユーコフ軍が占領した樣子だ

昭和二十年五月四日(金)
第三四一一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

伊共和國首腦も全部處刑

(チューリツヒ三十日發)二十九日夜のミラノ放送はムツソリーニ統帥以下のファシスト黨首腦の處刑について二十八日コモ州のドンゴにおいてイタリアファシスト政府首腦を射殺した旨發表したといはれるが主なるもの次の通り

書記官長　フランチエスコ・ヴアラツク
内　相　パオロ・ツエビノ
公共文化相　フエルナンド・メツツアンヌ博士
公共事業相　ルヂエロ・ロマノ
交　通　相　アウグスト・リヴエラーン
裁判所長官　ゴフレド・コポラ
ステファニ通信社主筆　エルネスト・ゴザノ
黨書記長　アレクサンドロ・パヴオリーニ
前書記長　カルロ・スコルツア

又ファシスト黨元書記長アヒレ・スタラセ氏も二十九日朝射殺されたと傳へられる

屍體公開の暴擧

(リスボン三十日發)ローマ來電＝地中海方面反樞軸軍司令部は二十九日「ムツソリーニ氏は二十八日イタリア北部で處刑され彼の屍體は既に處刑された他のファシスト黨領袖十七名の屍體とともにミラノ市の廣場に公開されてゐる」旨發表した

ホルテイも捕はる

(チューリツヒ一日發)米第七軍司令部は一日次の通り發表した

米軍はハンガリー前攝政ホルテイ提督とその家族をバヴアリア、南部ワイルハイムの城で發見保護抱禁した

【米　洲】

トルーマン國民の覺悟を要請

(リスボン一日發)ワシントン來電＝トルーマンは一日次の通り言明した

歐洲における交戰狀態が終焉した場合、祝祭の催しは一切行はれず、寧ろその後に殘された重要任務に關して全國民は新たな覺悟を固めねばならない

米蘭武器貸與協定

(リスボン一日發)ワシントン來電＝米國政府はオランダ政府との間に武器貸與並びに逆貸與を規定した二協定を締結した旨三十日發表した

無煙炭礦夫總罷業

(リスボン一日發)ニューヨーク來電＝米國無煙炭勞働者の賃銀契約は四月三十日滿了となつたが炭礦勞働者組合長ルイスは一日ペンシルヴアニア州の無煙炭勞働者七萬名に對し、二日午前零時を期し作業を停止するやう指令を發した

【反樞軸陣營】

モロトフ近く歸國

(リスボン一日發)サンフランシスコ來電＝米國務長官ステチニアスは一日新聞記者團に對し次の通り發表した

ソヴエト代表モロトフ氏は數日中にサンフランシスコを出發モスクワに歸ることとなつた、歐洲情勢の急速な轉換に鑑みモロトフ氏が桑港會議全期を通じて出席出來ないだらうことは前以て豫想されてゐた

一方英國代表イーデンも近く歸國するのではないかと見られる

モロトフ歸國を希望

(リスボン一日發)サンフランシスコ來電＝三十日の全體會議でアルゼンチン、招請問題に關し揉みに揉んだ後を受けて、同夜四國外相會議が開催されたが、モロトフ氏は席上戰局の急變に鑑み、今週末か來週始めにモスクワに歸還したい希望を述べたと傳へられる、勿論モロトフ氏の歸國後もワシントン駐劄ソ聯大使グロムイコ氏を首班とするソ聯代表團は招請國としての特權を享受し、クレムリンからの指令に基いて活動を續けることになるわけだ、他方イーデンもモロトフ氏と同じ理由で歸國を急いでゐるが、さう簡單に拔けられぬ事情もあり、その他の歐洲各國代表も復興再建問題に直面してゐるので、會議の圓滑急速な進行を希望してゐる樣子だ

ソ聯敢れたり

＝桑港會議の前途愈々多難＝

（リスボン一日發）サンフランシスコ來電＝アルゼンチン招請問題は豫定通り三十日午後の全體會議に上程され、モロトフ氏は常に似げなく昂奮のおももちで强硬に反對論を開陳、まづアルゼンチンの過去の業績を擧げた後

もしもポーランドを參加させずにアルゼンチンを參加させるならば桑港會議の威信は地に墜ちるであらう、今日まで會議に招請された國は米英ソ重慶四國の一致した同意をもつて決定されたが、この原則を破ることは許されぬことだと論じたが、票決の結果三十一票對四票、棄權十一票をもつてアルゼンチンの招待を可決した、桑港會議開催以來あらゆる問題について大國間の意見が正面から對立してゐることは會議の將來を黑い翼で蔽ふもので重慶の大公報記者肅錢はサンフランシスコから次の通り報じてゐる

「第五次全體會議において、ソ聯の反對が一蹴されたことは四大國間の團結を齎す凶兆として事態は極めて緊張した雰圍氣を呈するに至つた、以上の結果

一、米英兩國が何時もの妥協的態度を一擲して强硬に頑張つたこと

一、米洲ブロックの一體を示し、メキシコ會談の成功を誇示したこと

一、重慶がポーランド並びにアルゼンチン問題に關し態度表明を差控へたのに對し、フランスがはじめて米國のために一票を投じ、ソ聯をさらに孤立化せしめたこと

を意味するものだ、論爭は恐らく會議はじまつて以來最も激しいもので、それはもの靜かだが不撓不屈のモロトフ氏をもつて代表される超人ソ聯と見振り澤山のペルー、ウルグワイ、メキシコ各小國代表との間の舌戰だ、モロトフ氏がここで初めて印度等の隷屬的地位を指摘して恫喝的效果を擧げたのに對し、南米諸國代表はクリミヤ決定の不履行をもつて酬ゐ、一語は一語と痛烈露骨となつたのは注目に値する、いづれにしても、米國は凱歌を擧げ、ソ聯は一應敗けた形だが、いづれ國際信託統治問題が上程されたとき、米英兩國の植民地政策を攻擊して猛烈な竹篦返しを喰はすは火をみるよりも明かである」

ソ聯の態度强硬

（リスボン一日發）サンフランシスコ來電＝ソヴエト代表はアルゼンチンの桑港會議招請に强硬に反對、三十日午後開かれた全體會議において次の通り演說した

會議はアルゼンチン招請に對する決定を數日間延期すべきである、アルゼンチンが今次戰爭において反樞軸國に有害な役割を演じてきたことは周知の事實である、米洲數ケ國はアルゼンチンの事情はその後變化したと主張してゐるが、各國代表は改めてかかる主張が眞實であるか否かを檢討しなければならぬ、一方、ポーランドは今次大戰を通じて反樞軸國に最も積極的に協力した國家である、さればもし會議がポーランド假政府を招請せずに、敵國を援助したアルゼンチンを招請するならば桑港會議の威信は地に墜ちるだらう、さらにこの會議には獨立國でない印度も參加してゐる、これは英國政府が印度は現在獨立國ではないが會議に招請するやう要求したからに他ならぬ、さればあらゆる點からいつてポーランド假政府の桑港會議參加を拒否する理由は何一つない

五國代表會議開催

（リスボン一日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議當局は一日、米英ソ重慶佛の五國代表會議を三日夜開催する旨發表した、右五國會議では、正式上程に先立つて信託委任統治問題を協議する筈である

【東　亞】

オーヒンレツク歸英

（リスボン三十日發）ニューデリー來電＝印度軍司令部は三十日左の通り發表した

印度軍參謀總長、中將サー・ジョン・スウエインは印度軍司令官オーヒンレツクの英國歸還中司令官代理に任命された

昭和二十年五月四日(金)
第三四一一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

會議派領袖の釋放問題

奥畑稔

△英國の告白

四月二十四日米國の一記者は桑港會議出席のためサンフランシスコ滯在中の英國副首相クレメント・アトリーを捉へ「印度を國際信託統治制度の下におく意志はないか」との皮肉な質問を放ち、アトリーを面喰はせてゐるが、一體英國は印度問題をどう處理しようといふのであらうか

第一次大戰から今次大戰にかけて幾多の試煉を經てきた印度は最早世界における自己の地位を意識しないいはゆる「卽自的」な印度ではない、それに世界の眼が英國の印度政策に集中されてをり舊態依然たる斷壓政策を續けて行くことは不可能だ、戰爭が最終段階に這入ると共に印度の將來の地位に對する英國政府の方針闡明を要望する聲は印度及び英國内の一部において急角度に昂まりつつあり、桑港會議といふ絶好の機會を捉へてこの空氣は更に表面化し意外な波瀾を來さないとも保證し難い情勢にある、問題を檢討する前に、先づ印度政界の現狀に對する英國側の觀測を「タイムズ」紙についてみよう、三月十日附の同紙は社說においてまづ次の通り述べてゐる

英國内に印度政情の行詰りを認めようとしない一派があることは事實だ、卽ち彼らの見解によれば英國は既に出來るだけのことをしてをり、印度は自己の創案する憲法を英聯邦の埒外に立ち得る自由とを持つ戰後における完全な自治を公約されてゐるのであつて、今こそ印度は各派を結束させるため新たな動きを示すと同時に自分自身の計畫を樹て英國からの權限の委讓に備へるところがなければならないといふ、然しかかる見解は十分現實に基づいたものとはいへない、實際に「行詰り」は存在してゐるのだ、英國の印度政策の一切は印度各派間に權限委讓の對策となるべき後繼政府を樹立するに十分な意見の一致がみられるかどうかに懸つてゐるのだが、現在のところかかる各派の合意がみられさうにないばかりでなく印度各派の努力から具體的な將來が生み出され得るといふ氣配もない、更にまた宗派意識が減少どころか每月增大し且つ從來以上の相互理解が英印間に齎されないならば、印度の反英感情が將來における英印間の緊密な協力を危殆に陷れるところまで昂まつて行くかも知れないといふことも事實だ、困つたことには多數の印度人は我々が權限を拋棄する心構へがあるといふ告白に信賴をおかず、寧ろ英國は戰勝によつて權限委讓の時期を延期するだけだらうとの考へを抱いてゐる、勿論一部のものが信賴の念を寄せてはゐるが、印度に對する誓約が履行されるのを見極めやうといふ決意と慾望において英國の輿論が嘗てみられないほど統一されてゐる時だけに印度側からするこの不信は遺憾千萬といはざるを得ない

△責任の所在

更に續けて「タイムズ」紙は、印度政情の行詰りが打開されないのは以上の如き英國に對する印度の不信に加へ、印度政界の領袖が局面打開のため何ら積極的な手段を講じないためであるとしてから論じてゐる

印度を自由な國とならしめるべく印度政界の領袖は何ら積極的な手段を講じないばかりでなく彼らはその目から見れば無視し得るほど遠い先のことである「偶然」に對處することを拒否してゐるのだ、この不幸なデイレンマを解決するため英國としては何らの積極的措置をとらざるを得ない、印度の政界が、既に闡明された英國の意圖が實際に履行されるだらうといふことを確信し得るまでは印度側から積極的協力或ひは建設的勢力がなされることはあるまい、しかし英國のとる最初の措置がウエーヴエル總督の召集して全黨會議(クリツプス提案中の手續改善について協議をすることを目的とする)でムハメツド・ザクルラカーンが述べたやうな卽ち英

印協定締結に關する諸問題を檢討するための技術調査委員會の形式をとるべきか、それとも英印間の理解促進を希求する人々に依る次から次へと發表されてゐるやうな他の提案の形をとるべきかについては愼重にして早期の檢討が必要だ、事實印度の抱く眞個の希望に接近する有效な手段が自治諸州の閣僚を集めての會議—更にこれに現在緊急會に基く行政を施行されてゐる諸州に自給を許しこれら諸州の閣僚を加へ得れば幸ひだが—を通じて得られるかも知れない、しかし假令どういふ方法がとられようとも次の二つのことが肝腎な點である、第一は依然英國に懸つてゐる義務を認めねばならない、第二は次に講ぜられる措置は何れも印度の輿論の建設的協力を促進しかつ許容するやうに最初から最後まで計畫された筋道の通つた系列の一階段として考へられねばならない、最終目標に結び付いてゐない孤立的なゼスチユアは何ものをも齎さないであらう

以上「タイムズ」紙の所論は實に巧妙を極め、內容の抽象的な點を別にすれば論理的には一分の隙もない、しかしこの論文にはただ一つのしかし大きな假定が含まれてゐる、卽ち印度の政界を文字通り現狀の儘にしておいての立場に過ぎない、印度側からする建設的努力はこれまでもみられなかつたし又今後も期待出來ないといふ、成程ボンベイ會談は全面的決裂に終りサプルー委員會の活動は各方面の少からぬ同情と關心を惹き乍らも見るべき成果をあげてゐない、然し乍ら英國が若し眞に印度政情の行詰りを印度自身が切り拓かせようと決意してゐるのならば、印度の輿論を左右するに足るジヤワハラル・ネールその他現在拘禁されてゐる會議派の領袖を釋放するといふ最後の切札を使用し得るのではないか、印度側からする積極的努力に絕望する前に當然うつて見るべき一石をうたずして英國式解決策を云々すること自體笑止千萬といはねばならない、印度相アメリーは機會ある毎に政治犯の釋放は秩序保持に支障を來さない限りにおいて實施する旨言明してゐるが一九四二年八月と情勢が根本的に變化した今日、集團不服從運動が再び展開される惧れはないといふのがサプルー委員會を中心とする所謂印度における穩健分子の間の壓倒的な意見だ

△局面打開の前提

英國政府は頻りに印度各派の統一を以て印度に對する新地位賦與の前提なりと稱してゐるが、會議派領袖が釋放されない限り印度各派の統一が不可能なことは旣に實證濟みだ、勿論ネール、アザツドらが印度の政界に返り咲いたからと言つて直ちに印回兩敎徒の和協が成立するとは言ひ得ないが然しラジヤゴパラチヤリの補足によつて漸く開催されるに至つたガンジー、ジンナー會談が決裂した第一の原因が、ガンジーの地位に卽ち翁が直接印度敎徒を又國民會議派を代表してゐない點にあつたことを想へば、印度における最も有力な宗派であり黨派でもある印度敎徒と會議派を直接把握するネール一派の釋放は當然考へられてしかるべきだ、四月六日サー・バハドール・サプルーがウエーヴエル總督に提示した勸告案の劈頭に政治犯の卽時釋放が擧示されてゐるのも十分この間の消息を物語るものであり、更にまた最近英國間においても同樣の意見が有力化してゐる、これまで常に英國の印度政策の變更を要求し會議派領袖の釋放を叫び續けて來てゐる勞働黨、共產黨を別としても幾多の具體例があげられる、先づ四月十六日英國印度協會は四月十六日桑港會議被招諸國の在英大公使館に宛て印度政治犯の卽時釋放を促進するやう要請する旨の覺書を送つてをり、印度緬甸協會の機關紙「インデイアン・アフアーズ」も同日の社說において

印度各派間の對立を一時的に解決するための入口は依然開かれてをり、各黨派が積極的に問題の解決に乘り出せば何時でも闕を越すことは出來る、ただしかしこれがためには第一現在逮捕されてゐる會議派の領袖が釋放されねばならない

と述べてゐる、就中最も注目されるのは四月二十日英國下院における印度問題の討議に際し無所屬のハーヴエイ議員からつぎの發言があつたことだ

印度においては各派間の意見の相違と憎惡といふ遺憾な事實がみられるにも拘らず情勢の變化を待望する聲が強くこれまで出來るだけの協力

昭和二十年五月四日(金)
第三四一一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

をなし得るやうな機會が與へられることを希望しながらも不幸にも協力し得なかつた人が多數ゐると余は信ずる、そして余は最近西北國境州に生起したる事件即ち會議派内閣の成立といふ事からして勇氣を與へられた、他の州ほど進歩してをらず、しかも特有の困難な事情を有する西北國境州において生起したことは他の諸州においても必ず成し遂げ得るはずだ、我々の多くはウエーヴエル總督の歸國を異常な期待を以て注視してゐるがその理由とするところは總督の經驗と偉大な洞察力に對して大きな信頼を寄せてゐるからに外ならない、未だその時期ではないとはいへ余は印度相が總督との會談の成果について何らかの聲明を發表し得ることと信ずる

更に余は英國政府が今日まで不幸にも阻止されてきた印度の協力を得るため何らかの方法で新たな努力をしようとしてゐることを公表するものと期待する、余は決して偉大な印度の指導者のうちの一部のものがとつてきた態度に同意するものではない、勿論人間としての彼らに對しては敬意を拂ふがその非協力的態度は憤慨するほかない、しかしわれわれはわれわれと意見の合はない印度の國家主義者達の見解に對してはこれを理解しようと努める必要がある、もしわれわれが彼等の立場におかれたならば我々はどういふ氣持を抱くだらうかといふ事を考へなくてはならない、さういふ心構へを持つならば印度の現狀をよく理解出來るであらうし既に生起してゐる事態に對しては十分事情を斟酌してこれをみることが出來よう、余は現在拘禁されてゐる政界の領袖が自由な討議に參加し對英協力史上、新しい頁をひらく時は極めて近く來るものと期待してゐる

勿論ハーヴエイ議員は、國民會議派の領袖を即時釋放しろと正面から要求してゐる譯ではないが、勞働黨以外からかかる意見が出てゐることは英國政界における空氣を反映するものだ、極めて近い將來に現在拘禁されてゐる印度政界の領袖が自由な討議に參加することを期待するといふ言葉はとりも直さず間接的釋放要求であり、會議派領袖の釋放要求が勞働黨から更に無所屬議員にまで擴大されてゐるところから見て英國政府は印度政策の變更についていまだ一言の言質も與へてゐないとはいへ、情勢が可成り緊迫してゐると斷定して差支へないだらう、一九四二年の會議派による騒擾を惹起せしめた張本人であるスタフオード・クリツプスが再び印度問題の解決について新しい計畫を樹ててゐるとか、或ひは印度王侯會議が英印間の對立打開のため特使を英國へ派遣するだらうといふやうな確實ならざる情報が最近頻りに印度側から出てゐることもかかる情勢の緊迫を反證するものといへよう

△ウエーヴエル重大建言か

ウエーヴエル總督は三月二十三日ロンドンに到着して以來既に一ケ月餘に亘り本國政府と協議を續けてゐるが、最初總督の歸國が發表された際總督のロンドン滯在は短期間であらうとロイター記者が報じてゐたのが想起される、この事實を基礎として英國の印度政策に重大改訂が加へられ總督の歸任後その變化が具體化されるだらうと推測するのは些か冒險だが、しかし「ニユーズ・クロニクル」紙のボンベイ特派員は既に四月末ウエーヴエルの歸國目的が會議派領袖の釋放建言にあるとの觀測が印度政界で流布されてゐると傳へてをり更にまた四月二十八日米國通信社の一記者が(電文脫稿で所屬社不明)次の通り傳へてゐるのは看過出來ない

總督ウエーヴエル卿のロンドン訪問は「藁一本の希望」と看做される、公式には勿論發表されてゐないが廣汎な問題解決の缺く可らざる前提として印度の政治犯釋放を促進するためウエーヴエル卿がロンドンへ歸還したと信ずべき相當の理由はある

印度國家主義者側の發表によれば、印度の牢獄には今なほ一萬一千人の政治犯が入つてゐるといふが、これに對し印度政廳は遙かに少い人數を擧げてゐる、ウエーヴエル卿は既に數週間をロンドンで過してゐるが、英國政府は印度政策の變更については全然發表してゐない、國民會議派の支持者の主張するところによれば首相チヤーチルこそ既に提示された改訂案に對する主要なる障碍だといはれる、在米中の印度國家主義者達はウエーヴエル卿が英國に留つてゐる限り希望を全的に拋棄しようとしてゐない

資料

歐洲とドイツ

「エコノミスト」誌

三月二十四日號

西歐においてはいかなる種類の統合が——最近フランスの一評論家が用ひた表現を借りれば——「ラインランドの思想と經濟を徐々に西方へ引きつけ」得るであらうか？　それは二つの條件を充さなければならない、卽ち繁榮を支へるに十分な廣い經濟的骨骼と教養ある人々の正當な抱負を滿足せしめるに足る政治的獨立並びに平等だ

從つて屢々フランス紙に現れたやうなラインランドはフランスに「統合」さるべきだとする提案は、全く實現の可能性がない、僅か四百萬の人口を基礎としたフランス經濟のみではドイツの代りが勤まる筈もないし、現存フランス工業その他投資利權が勞力配分原理の自由な適用によつて齎されるべきラインランドの統合國家內における產業的優位を平然として甘受することも考へられない更にフランス政府が危機に際してはフランスの一部ではなくなるかもしれないやうな地域に自國の戰略的工業の最大集結體をおくことを許すとも到底思はれない、そこで必然的にフランス國內における統合とはラインランドの衰退と窮乏化を意味し、その結果依然「ラインランドの思想」を頑なに東に向けるのである

西歐におけるフランスの同盟國がフランスの絕對支配を受け容れぬことは明かだ、西歐の遙かに大きな經濟的單位の中にラインランドを包含するといふことに對して、經濟的障碍は餘り大きくないかもしれない、もしオランダとベルギーとフランスとが關稅同盟を結んだとすれば、それによつて生ずる統一市場は歐洲七千三百萬の極めて高度に發達した富める人口を基礎とすることになる、更に英聯合王國までこの同盟に加はつたとすると人口は實に一億二千萬に達し、その經濟圈は正に米國の經濟圈に匹敵する、ラインランドは結局繁榮を加へ得るわけである

またもしさうした關稅同盟に政治的聯合——卽ち西歐合衆國——が伴ふとすれば、ラインランドはさうした同盟の內部で聯邦政治を左右するといふ心配もなく國內問題に關して安んじて安全な權利平等を許し得る程度の小部分にすぎないため、ラインランドの政治的野心も同時に滿されることにならう、その程度の經濟的政治家行爲すら十分考へてゐるといへる者が果してあるだらうか？

緊密なる西歐統合の提唱は、その最も有力な支持者の間においてさへ完全な關稅同盟を遠い目標なりとし、政治的聯合のごときは全く可能事の限界外においてゐる、近い將來において當然希望し得ることといへば、諸國政府間並びに諸國產業間の一聯の調整にすぎないが、これは異つた社會を相互に緊密ならしめるとはいへ、極めて漸進的になし得るに止まり、各國の國民經濟體制はそのままに放置するのである

△第三帝國復活の危險

獨立ラインランド計畫案が滿足に行はれ得る唯一の條件（西歐における緊密なる經濟的政治的同盟の成立）が容易に充されるものでなく、聯合國において考へられてさへゐないといふことは、結論として避けることが出來ない、從つてラインランド計畫それ自體實行は不可能だ、一方においてそれはラインランドに大きな政治的不滿を殘し、ラインランドを經濟的不況の下に曝し、ドイツ帝國への復歸の道を求めようとする一個の慾望の虜たらしめる、勿論この慾望はどこまでも實力によつて抑壓し得ようが、この問題全體（そしてすべての現實的問題）の根本的假定は、ドイツ問題の解決がいつの日か實力を行使せずして維持し得るごとき或るものに發展し得るにちがひないといふことなのである

かくて我々は遺憾ながら從來「エコノミスト」が主張し來つた見地（平和政策が永續するためには大ドイツを本質的にはそのまま殘さなければならないといふ見解）に歸つて來る、シレジアをポーランドに分割することは、必らずしも永續的平和と相容れないものではないかもしれない、同地方は經濟的にラインランドほど重要ではなく、人口も混合してをり、大ドイツ復歸問題についても意見は區々だらう、シレジアを獨立國にするといふ提案もなく、經濟的にはポーランドに吸收され

昭和二十年五月四日(金)
第三四一一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

て、そのポーランドはソ聯の大統一市場に向つて曳かれる位が落ちだ

シレジアの場合ほど確實な話ではないが、東プロイセンの分割が永久的決定の一部になるといふことも考へられる、但しそれには必らず東プロイセンと廻廊地帶との間で偽りのない領土人民の交換が許されなければならない、いづれにせよ、これら諸地方の運命はソ聯の對獨政策如何によつて決せられるわけで、さうした地方がラインランドの如く勝利國間の焦點となりその結果各國の對獨政策を左右するといふやうな可能性は比較的少いものだ)

△唯一の希望はドイツ保全

西歐において矛盾のない對獨政策を得る唯一の希望はドイツを本質的に無疵のままにするといふことにある、(すべて相爭ふ諸政策は、始めこそ炎のごとく雷のごとく烈しいとはいへ、實際は弱い)

「建設的解決は役に立たない、大ドイツが文字通りそのまま殘された場合、手落ちは我々の對獨政策にあるのではなく、我々自身の中にあるのだ、確かにこれは餘り滿足出來る政策ではあるまい、しかし机上でならば幾らでも立派な解決策を考へ出すことも出來ようが、さうした解決には必らず共通の一成分がある、即ちすべてドイツの場合に民族國家の主權を否定してゐるのだ、そして當然我々にはそれを運用するだけの用意がないために悉く無用の長物となりうるのである

獨立ラインランドは聯邦の一員として成長し得るかもしれない、だが殘るわれわれは聯邦化の用意が全くない、もしその場合の現實の對獨政策に消極的要素があつたとしたら、もし何も新しい提案がなかつたとしたら、そこに當然起るべき要求が出なければならない、即ち西歐の民主々義諸國は(恐らくこの點ソ聯とはちがつて)民族國家間の關係について全然新しい觀念を持つてゐない、換言すれば自己に適用するに足ると思へる觀念を持たないのだ

それにも拘らず民族主權國家の世界の骨組の內部において、國境不變を含む穩建平和政策は、少くとも西歐では單に消極的ならざるのみならず、極めて積極的であり建設的である、それは決してドイツ人が無償で責任を逃げるとか、ドイツ人が監理を蒙らないとか、ドイツ人の希望が決定的要素になるとかいふ意味ではない「エコノミスト」はまだ曾つてそんなことを一度も提唱した覺えはない「エコノミスト」は常に考へ得る最大限の盟理として、ドイツを完全かつ永久的に武裝解除せよと提唱して來たのである

△穩健政策こそ積極的

提示された政策は常にドイツに對して時間的にのみ限定される懲役期間を認めてゐた、その政策の消極的な面とみられてゐる所(例へば併合せず分割せず、武裝解除以外の能力剝奪を意圖しない點)は、前述の根本的監理を維持するために提示されたのである

政策が穩健なのは積極的なるべき爲だ、建設的な對獨政策は三つの條件を充さなければならない

一、如何に遠くとも、外部的實力を行使せずして決定が確立する時期を察知しなければならぬ

二、一方ドイツの第三次侵略陰謀にも備へなければならぬ

三、現在の同盟國の間に軋轢を生ずるやうなことがあつてはならぬ

分割政策は決してこの三條件のすべてを充すことは出來ない、だが「穩健政策」がどの程度效果的であるかを檢討するのは今後の問題であつて、それは稿を改めて論ずることにしよう

フランスの修正案

——賢い路を選ぶ——

「エコノミスト」三月卅一日

フランスのダンバートン・オーフス案修正案を檢討すれば、フランスが小國群の選手として大國「專制」に對抗し新世界機構の舞臺に登場する意圖がないことは明白である、ド・ゴールが、豫て一部批評家によつて想像されたやうなメロドラマ的役割を演ずることを斷つたのは賢明だつたといひ得よう、見方によればフランス修正案は、ダンバートン・オークス案の原則を構成する「平和を維持する實力を有する國が主たる責任を負ふべき

である」といふ主張を更に數歩前進せしめたものともいひ得る、フランスは同時に保障委員會の採決方式を全的に容認すると共に、現存の條件の下では世界安全保障組織は保障理事會常任理事國の一の意志に反して、軍事行動を取る力がないことを認めてゐる、フランスは、しかし、滿場一致方式が保障制度の一弱點を構成するかも知れぬ事實を無視してゐるわけではない、だからして理事會の勸告とその決定とを區別することを提案してゐるわけだ、勸告自體は武力の行使を豫定するものでなく、從つて、理事會の三分の二の投票を必ずしも必要とせず、單なる多數決で勸告案を採決し得るやうにしたいとフランスは主張する、しかし決定については常任理事國の全員一致を含む、三分の二の投票を必要とすることはいふまでもない、フランスのこの修正案が通れば、一部批評家からは當然新國際聯盟は大國の侵略行爲はこれを默認するものだとの非難が起ることが豫想される

△勸告と決定の差

フランス案によれば、新國際聯盟は常任理事國の政策に對して、單なる多數決で「勸告」は出來るわけであるが、この「勸告」は文字通り、單なる希望乃至はブラトニツクな示威以上の意味はない、さうだとすれば、フランス案の如きは新國際聯盟の權威につけ加へるどころか、却つて權威を傷けるものだといふ議論も成立ち得る、フランスはダンバートン・オークス案中の「保障委員會の許容なくしては、地域的協定または地域的集團による强制手段をとり得ざるものとす」といふ條項に反對意見を繰返してきた、この條項は解釋の仕樣によつては、新世界機構の會員國相互間に、事前に締結されたあらゆる同盟を無效とするものである、フランスはこの條項によつて、佛ソ同盟が一旦緩急の場合應急的措置をとることを妨げられるかも知れないことを危惧してゐるわけである

△地域協定を救ふ案

そこでフランスは

新平和機構の會員國相互間に締結される援助協定にして、保障理事會に正規の手續をもつて通告されたものに基く應急措置を講ずる場合については上記の規定に例外を認めることを要求する修正案を持出してゐる、この修正案が通れば、地域的協定または地域的保障取極めの自働的發動が確保されるわけだ、同時に桑港會議の討議を短縮するに大いに役立つだらう、これにも反對論はある、地域的協定に對する所謂「理想主義的」批評家、または普通主義原則支持者たちの反對である、が結局、この修正案は受諾されるものとみるのが妥當だらう、ソ聯は既に、このフランス案を支持すると云つてゐるし、ダンバートン・オークス案とヤルタ協定、佛ソ同盟の間には何等の矛盾もないことを屢々繰返してゐる、ソ聯は軍事同盟の自働的發動は當然であると考へてをりその點では、ジユネーヴ時代ソ聯の守り札だつた集團保障の觀念を放棄したといひ得る、ソ聯のこの現實的、且つ頑强な見解は新國際聯盟を一種の試驗臺と見、それが實際に動かうと動くまいと別に顧慮するところでないといふ考へ方を伴つてゐる、若し實際に運用出來るものなら、地域的協定はその從屬物としてもよろしいが、新聯盟の動力の實績について確證が擧がる前は、いま手持ちの作戰的保障の機構を放棄するなどは思ひも寄らぬといふのがソ聯の考へ方である、ソ聯がこの見解を佛ソ同盟についてと同樣、英ソ條約についても適用してゐるのは注目すべきである、英ソ條約には新國際聯盟が成立の曉には軍事同盟を締結せしめる規定があるのは事實であるが、これは同盟國相互の同意に依るといふ條件がついてゐる、英ソ兩國さへ同盟を持續することを決意すれば、新世界機構には遠慮はいらないわけである、佛ソ同盟ソ、チエコ同盟には將來の國際聯盟には全然言及してゐない、かう考へて來ると新世界組織は、その生誕に當つて大きな希望もかけられず、輝かしい幻影も抱かれてゐないわけだ、生みの親たちは新しく生れる子について奇蹟的な素質など始めから、別に期待してはゐないのだ、淡々として、何らの感激もなく、新世界機構の生涯の役目は寧ろ散文的であり、且つ謙虚なものであるだらうことを豫告してゐるわけである、或ひは何一つ成遂げることが出來ないほどあまりにも謙虚な存在ではあるまいかといふ疑問すらある

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　岡中正太郎　東京芝區櫻町　日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年五月五日(土)
第三四一二號

同盟通信 海外電報

世界史上における一大悲劇の幕は今將に下りようとしてゐる、巨人アドルフ・ヒトラーの後を襲つたデーニツツ總統の悲壯な決意と烈々たる氣魄は敵味方を問はず、世界各國民の心耳に强く愬へるものがあつた、しかしながら客觀的情勢は新總統の不屈の意志をもつてしても到底支へ切れる底のものではない

ナポレオン軍による占領後百三十餘年ぶりにベルリンを奪つたロシア軍は三日さらに舊チエコスロヴアキア領の要衝テツチエンを占領し、バルト海岸のヴイスマールでは、英軍と合流するに至つた、兩方から進擊した英軍はキール運河を横切りリューベツクを占領し、その南方では米第九軍はウイツテンベルグからデツサウ東方に至るエルベ河流域の數ケ所でジューコフ、コーネフ軍と握手を遂げ、またライプチツヒ戰線の米第一軍はドレスデン西北方でコーネフ軍左翼と連絡してゐるといふ狀態だ、殘された最も有力な抗戰據點である南部山嶽地帶においても既にバワリアを喪ひ舊オーストリー領も僅かに二千平方哩を殘すに過ぎず、ウイーンを占領したロシア軍はドナウ河沿ひに西進を續け、これと呼應する米第三軍はリンツを指呼の間に望み米第七軍はブレンネル峠北方のインスブルツクに到達、ベルヒテスガーデンを距る三十六哩の地點にまで米軍は迫つてゐるゲツベルス宣傳相がベルリンと共に死守せんと誓つたプラーグでさへも無防備都市宣言をせざるを得ない今日の情勢では狂瀾を既倒に返へす放れ業を望むべくもない、ノルウエーに據る精兵二十萬をもつて最後の一戰を試みるだらうといふ觀測さへ最早現實性をなくして終つた、絢爛たる白蘭佛作戰の舊念に捉はれドイツになほ一戰の餘力があると見るのは間違ひだ、勿論ドイツは自ら戰ひを拋棄したのではない、デンマークラジオがシユペアー軍需相の言として傳へる處によれば今次大戰によるドイツ荒廢はただ十七世紀における三十年戰爭後のそれに匹敵するといふ、戰力の枯渇だ

【目　次】

最後のハンブルグ放送……一二一二
英軍ハンブルグ入城……〃
プラーグも無防備都市宣言……〃
英軍キール運河渡河……〃
駐瑞外交團解散か……〃
獨大使投降……〃
チヤーチル所在を晦ます……〃
再び三國外相會談……〃

【ドイツ】
フオン・クロージツク伯外相に任命……一二一三
新外相赤化の脅威を警告……〃
ルントシユテツト元帥捕虜……〃
獨兩元帥捕虜……〃
休戰交涉の經緯……一二一四
丁抹からの撤退を否定……〃
總統戰死を確認……〃

【反樞軸陣營】
宋子文も歸國せん……〃
印度代表重要委員會の委員長……〃
國際機構崩壞の端緒……一二一五
桑港會議各代表演說……〃

【歐　洲】
獨瑞電話連絡完全に杜絕……〃
ムツソリーニ夫人逮捕さる……〃
エリオ歸國……〃
歐洲米軍の食糧割當削減……〃
四國共同で墺占領……一二一六
フランコ退去を命令……〃

【米　洲】
大統領聲明……〃
基地領有に狂奔……〃
上陸用船を戰後に利用……〃

【特　輯】
米英食糧會談まで……一二一七

【資　料】
聯合軍並びに獨軍の現有兵力——……一二一九
歐洲戰の終了……一二二〇

最後のハンブルグ放送

（チューリツヒ三日發）これまでドイツ軍に殘されてゐた最後の放送局であるハンブルグ放送局は三日次の如き袂別放送を行つた

再びわれわれが報道放送を出來るかどうか疑問だここで、われわれはハンブルグ市民に別れを告げよう、いま英軍はハンブルグ市内に進駐して來つつある

正午には英軍によつて市街の占領が行はれるがその際には一切の交通機關を停止しなければならない、また午後一時からは電氣、ガスその他の工場の幹部を除くほか一般市民には外出禁止令が發せられるであらう

右放送後ハンブルグ放送局からは僅かに音樂のみが聞えて來るに過ぎず同地における戰鬪行爲は完全に停止されたものとみられる

英軍ハンブルグ入城

（チューリツヒ三日發）ハンブルグ放送は三日ドイツ軍がハンブルグの無防備都市宣言を行つた旨報じたが、續いて同放送局は英第二軍がハンブルグへ突入したと傳へてゐる

プラーグも無防備都市宣言

（チューリツヒ三日發）三日のハンブルグ放送はプラーグの無防備都市宣言について次の通り發表した

デーニツツ總統はプラーグを無防備都市として宣言した、ボヘミア、モラヴイア保護領の政治的再組織に關する交涉は開始された、ただボルシエヴイキ的混亂を招來するに過ぎない、平靜にして秩序ある事態の發展に對する妨害は武裝軍に依て鎭壓されるであらう

英軍キール運河渡河

（ストツクホルム三日發）デンマークからの情報によれば、英軍は三日キール運河を越えてキール西北方のエツケンフヨルデルに到達したといはれる、ドイツの重要軍港キールの附近にはドイツ新總統、デーニツツ元帥並びに新外相クロージツク伯がゐるとみられてゐる

駐瑞獨外交團解散か

（ストツクホルム三日發）三日付「アフトンブラデツト」紙の報道によれば、スウエーデン政府はドイツが降伏し或ひは反樞軸軍が歐洲戰終了を宣言すると同時に、ドイツ公使ハンス・トムゼン氏以下ナチ外交團首腦連を抑留する豫定だといはれ反樞軸國は戰前ワシントン駐劄代理大使だつたトムゼン氏の査問を要求するだらうとみられてゐるまた消息筋はドイツ外交團の解散を來週邊りだらうとし、明らかなナチ黨有力者を抑留して、他は國内の一定區域に居住せしめるだらうとみてゐる

獨大使投降

（リスボン二日發）ミラノ放送によれば、イタリア・フアシスト共和政府に對するドイツ大使ルドルフ・ラーン博士は二日、スイス國境附近で反樞軸軍に投降したといはれる

チヤーチル所在を晦ます

（ストツクホルム三日發）ロンドン來電＝三日午後の下院質問時間には首相チヤーチルが出席する豫定だつたが、何故かその姿をみせず急轉回の歐洲情勢を前にチヤーチルの所在に關し忽ち英國政界に各種の臆測が飛びはじめた、卽ち一說ではチヤーチルは米國大統領トルーマンと重大協議のためワシントンに赴いたと傳へられ、或ひはドイツの屈伏を見越して目下ドイツ領にあるともいはれる

再び三國外相會談

（リスボン三日發）サンフランシスコ來電＝ステチニアス、イーデン、モロトフの米英ソ三國外相は二日夜再びポーランド問題の打開策協議のため會談した、この會談には三外相の他モスクワ駐劄米英兩國大使ハリマン、クラーク・カーの兩名も特に參加したが、モロトフ代表がその歸國を豫定より延期したところからみてポーランド問題解決の緖がついたのではないかとの觀測が有力となつた、一方桑港會議は二日の全體會議をもつて漸く參加各國四十六ケ國代表の演說を終り愈々三日から各委員會の具體的活動が開始されることとなつた

昭和二十年五月五日(土)
第三四一二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【ドイツ】

フォン・クロージツク伯外相に任命

(ストツクホルム二日發)ハンブルグ放送局は二日午後次の通り報道した

新總統デーニツツ提督はシウエリン・フオン・クロージツク伯を外相に任命した

伯は一九三二年フオン・パーペン氏の內閣に藏相に就任ナチ黨が政權を掌握した後も暫く藏相の地位に留つてゐた

新外相赤化の脅威を警告

(チユーリツヒ二日發)ハンブルグ放送によればドイツ新外相シユウエリン・フオン・クロージツク伯は二日夜、ラジオを通じて全國民に對し就任の挨拶を兼ねて次の通りボリシエヴイズムの脅威を強調したといはれる

ドイツの男女國民諸君よ、故ヒトラー總統によつて後繼者に指名されたデーニツツ元帥は餘を外相に任命した、ドイツ未曾有の悲劇的時機に當つて余は諸君に告げん

世界は今尙干弋の音を絕し、ドイツ國民は祖國を防衞するための最後の戰ひにおいて生命を捧げてゐる、敵がまだ占領してゐない地域の街々では絕望と饑餓にさいなまれた民衆の大波が、名狀し難い恐怖を撒き散らす敵戰鬪爆擊機隊に追はれつつ西へ西へと雪崩れを打つてゐる、東方では全世界の視聽を遮切る鐵の幕の蔭で破壞工作が急調子で進められてゐる、またサンフランシスコにおいては彼等は新たな戰爭に對する安全保障を人類に與ふべき新世界秩序の樹立を畫策してゐるが、世界は第三次世界大戰が、一國の崩壞を齎さずに、全人類の終焉を齎すであらうことを熟知してゐるのだ、今次戰爭で使用するいとまもなかつた恐るべき武器は第三次大戰において威力を最高度に發揮し、人類の間に死と破壞をばら撒くであらう

われわれドイツ人は誰にもまして戰爭とその破壞力の恐るべきことを感じてゐる、ドイツの諸都市は破壞されわれわれの文化記念物は死灰と化し、數十萬の婦女子は戰爭の暴威に敢なく押し流され、數百萬の男子は戰場に屍を曝してゐるではないか、もしも地獄の責苦に喘ぐ婦人と母親の「新たなる戰爭の恐怖から世界を救ひ給へ」といふ魂の底から湧き上る熱い祈りが發せられるとせば、それはドイツ國民の熱烈に訴へる唇を通じてであらう

われわれと共に歐洲の全民衆は饑餓とボリシエヴイストの恐怖に脅かされつつも死神によつて耕された歐洲に眞實の恒久の平和と自由で安全な生活を齎す新たな秩序の訪れを今や遲しと待ち佗びてゐるのだ、飢ゑに苦しむ歐洲民衆の肉部屋ともいふべきドイツ東部がボリシエヴイストの手中に歸すにつれて饑饉は急調子に歐洲全土を支配することにならう、饑餓と窮乏の大地に蔓延するのはボリシエヴイズムのみだ、歐洲の赤化は世界逆命への道の第一歩であり、ソ聯が二十五ケ年に亘つて努めたのは將にこのことである、ソ聯の目的達成か、第三次世界大戰の勃發か、もはや二途はない

ルントシユテツト元帥捕虜

(リスボン二日發)パリ來電=米第七軍司令部はミユヘン南方四十粁バード・テルツの病院において二日フオン・ルントシユテツト元帥を捕虜とした旨發表した、元帥はドイツ軍切つての名將、最近まで西部戰線のドイツ軍總司令官であつた

獨兩元帥捕虜

(リスボン一日發)パリ來電=アイゼンハワー司令部は米第七軍がドイツ軍のリスト元帥並びにフオン・レープ元帥を捕虜とした旨一日發表した

同發表によれば、リスト元帥はバヴアリア南端バルテンキルヘンの自宅で、フオン・レープ元帥は同じくヒユツセン附近の自宅で捕はれたといはれるが、ジグムント・リスト元帥は六十五歲、一九四二年八月までバルカンのドイツ軍司令の地位にありユーゴ、ギリシヤ電擊作戰で勇名を馳せた機甲戰術の大家である、ウイルヘルム・リツター・フオン・レープ元帥は六十九歲、一九四二年夏までレニングラード方面ドイツ軍司令官であつた

休戰交涉の經緯

（リスボン二日發）ワシントン來電＝米國務長官代理ジョセフ・グルーは二日の記者團會見において休戰交涉の經緯につき次の通り言明した

一、四月二十四日午後十一時（スエーデン時間、東部戰時々間では同日午後九時）ストツクホルム駐劄米國公使ハーシエル・ジョンソン及び英國公使サー・ヴイクター・マレツトはスエーデン外相グンター博士の招請を受け、ヒムラー氏の降伏申入につき通告された

一、四月二十五日午前三時（スエーデン時間、東部戰時時間では二十四日午後九時）ストツクホルム駐劄公使ハーシエル・ジョンソンは米國務本省に打電した

本省への通達要旨は次の通りである

一、ベルナドツテ伯はヒムラー氏の要請で四月二十四日午前一時リユベツクにおいてヒムラー氏と會見した

一、ヒムラー氏はヒトラー總統が重態で或ひは既に薨去してゐるやも圖られず、存命してゐても二日以上は持たぬと述べた、ヒムラー氏附幕僚シユレンブルグ將軍は總統が腦溢血を患つてをり、ヒムラー氏は現在一切の權限を行使し得る立場にあると述べた

一、ヒムラー氏は西部戰線全體（オランダを含む）における降伏を取計らふためアイゼンハワーと會見出來るやうスエーデン政府に要請したベルナドツテ伯はノルウエー、デンマークもまた米英乃至スエーデン軍に降伏するのかと質問した

一、ヒムラー氏は東部戰線では戰鬪を繼續したい希望を述べ、降伏の申入れは西部戰線の聯合軍のみに對してである旨明かにした

丁抹からの撤退を否定

（リスボン二日發）ロンドンからのAP電はデンマーク放送としてデンマーク駐屯ドイツ軍司令官ゲオルグ・リンデマン大將が二日「デンマーク駐屯のドイツ軍が降伏乃至は撤退を始めたといふが如き外國筋の報道を否定した」旨報じてゐる

總統戰死を確認

（チユーリツヒ二日發）ハンブルグ放送＝總統本營は二日の公報をもつてヒトラー總統が陣頭指揮中名譽の戰死を遂げた旨を次の通り確認した

ヒトラー總統はベルリンの英雄的防衞者達の陣頭に立つて戰鬪中に仆れた、總統はドイツ國民並びに歐洲を救ふために生命を犧牲に供したのである、仆れるまで眞理に忠實であつたヒトラー總統の不撓の努力は永へにドイツ兵士の龜鑑とならう

【反樞軸陣營】

宋子文も歸國せん

（リスボン二日發）サンフランシスコ來電＝確かな筋からの情報によれば桑港會議重慶代表宋子文は近く重慶で開催される國民黨大會に出席するため數日中に歸國することとならうといはれる、宋子文は二日記者團に對して「余は國內の仕事も果さねばならぬ」と語つた

印度代表重要委員會の委員長

（リスボン二日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議印度代表ラマスワム・ムダリアは二日の全體會議で經濟、社會協力問題委員會委員長に任命された、同氏は二日夜記者團會見で左の通り語つた

經濟社會理事會は新國際機構中で安全保障理事會に次ぐ重要性を持つてをり、運用が適切であれば安全保障理事會の仕事を不必要なものたらしめるとも言ひ得よう

昭和二十年五月五日(土)
第三四一二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【反樞軸陣營】

國際機構崩壞の端緒

(リスボン二日發)サンフランシスコ來電=ニユージーランド代表フレーザーは二日の桑港會議全體會議の席上で新國際機構案の缺陷、なかんづく大國の獨占的權限を痛烈に攻撃して次の通り演説した

武力行使を伴ふ如き重大な國際紛爭において大國が必然的に大きな發言權を持つのは當然だがしかしこのために大國が思ひのままに國際機構を運營してもいいといふ理由はない、現在の案によれば米、英、ソ、重慶、佛のいはゆる五大國は常任理事國として安全保障理事會の行動に對する否決權を與へられることとなつてゐるがかかる大國の特殊な權限が不公平、不正當であることはいふまでもなく、もしこれがこのまま實現するならば國際機構最大の目的が失はれるばかりでなく、機構そのものの崩壞の端緒ともならう、大國はこの否決權を自國のためには勿論その衞星國のためにも行使し得べく、かくて國際機構の中核的機關たる安全保障理事會は全くその機能を行使し得ない立場に追込まれるに至るだらう

桑港會議各國代表演說

(リスボン二日發)サンフランシスコ來電=桑港會議第六次全體會議は一日午後開催され、南阿聯邦、フランス、グワテマラ、イラク、トルコ、エチオピア、ハイチ、リベリアの八ケ國代表が演說したが、南阿聯邦代表スマッツ及びフランス代表ビドーの演說要旨左の通り

△スマッツ=

世界は將來の戰爭を道義的に不可能ならしめねばならぬ、もし第三次世界戰爭が起るならば、この戰爭は如何なる文明社會も耐え得ないやうな、人類世界の存續さへをも破壞するやうな恐るべき戰爭とならう、かかる戰爭の勃發を封じて道義的に戰爭を起し得ないやうにすることがわれわれの義務である、文明世界の將來は危機に瀕してゐる、今や限りない勝利の榮冠が歐洲における われわれの戰爭努力に報ひられようとしてゐるが、勝利だけでは十分でない、勝利は現在の闘爭を完結して自由なる世界を齎すべき戰爭努力よりも更に大規模な平和努力の一序曲であらねばならぬ

△ビドー=

余はフランスに一等國としての權利と責任とを與へよと主張する、フランスが桑港會議の招請國たることを拒否したのは、フランスが招請國となれば自由が關知してゐなかつたやうな事項の決定に迫られるだらうが、フランスとしては自國が與り知らぬ組織を支持するわけには行かぬからである、われわれは世界各國の平等主義に則つて國際正義を最高度に發揚し、大國と認められてゐない諸國を含め總ての國の權利を十分に尊重せねばならぬ、一方五大國が相互を十分に諒解し合ひ、この關係を維持し發展させることも必須の條件である

【歐　洲】

獨瑞電話連絡完全に杜絶

(チューリツヒ二日發)スイス當局はドイツ、スイス兩國間の電話連絡が完全に杜絶した旨發表した

ムツソリーニ夫人逮捕さる

(リスボン二日發)ローマ來電によればムツソリーニ統帥夫人は二日スイスへ脫出の直前コモでイタリア暴徒の手に捕へられたといはれる

エリオ歸國

(モスクワ一日發)ベルリン附近で赤軍によつて解放されて三十日モスクワに到着したフランス元首相エドワール・エリオは同日空路フランスに向つた

歐洲米軍の食糧割當削減

(ストツクホルム二日發)ロンドン來電=歐洲派遣米軍司令部は一日次の通り發表した

全世界を通ずる食糧の需給狀態が極度に逼迫してゐるのに鑑み、米軍司令部は歐洲戰域で輕任務に從事してゐる米軍の食糧割當量を十%方削減するに決した

四國共同で墺占領

（ストツクホルム二日發）ロンドン來電＝英國外相代理ローは二日次の通り發表した

去る二十八日設立されたオーストリア假政府に對する米英兩國政府の態度は完全に一致してゐる、オーストリアは米英ソ佛四軍によつて共同占領される豫定で、占領地域の分擔については既に決定をみてゐる

フランコ退去を命令

（リスボン二日發）マドリードからのロイター電報によればスペイン統領フランコは米國大使館の抗議に基きラヴアル、ボナール兩氏に卽時スペインを退去するやう命令したといはれる、これに先立ち兩氏がバルセロナ近郊のプラート・デ・ヨブレガート飛行場に到着したとの報に接するやバルセロナの米國領事フロストは直ちにバルセロナ知事を訪問した樣子だ

【米　洲】

大統領聲明

（リスボン二日發）ワシントン來電＝米大統領トルーマンはイタリア派遣ドイツ軍の無條件降伏に際し二日次の聲明を發した

「イタリア戰線の聯合軍は歐洲大陸におけるドイツ軍の最初の無條件降伏を贏ち得た、しかしながらイタリアにおける暴戾な軍政の崩壞は單にイタリアにおける勝利でなく、我々が歐洲大陸に待望してゐる全面的勝利の一部をなすものである、僅かに愚擧と混亂だけが擊破されたドイツ軍の全面的降伏の機を遲らせることが出來るのみである、余は聯合軍を指導してイタリアにおけるドイツ軍の完全敗北を齎した聯合軍並びに米軍將官に祝辭を送つた、聯合軍並びに米軍將官は我々の賞讃を受けるに價する、また我々は我が軍の成功を誇りとする當然の權利がある

ドイツのみならず日本をして以上の諸事件の意義を理解せしめよ、もしも日獨兩國が狂信裡に身を棄てるか乃至は自殺を決意してゐない限り、敵の降伏乃至は擊破に向つて益らに進む力の意義を認むべきである」

基地領有に狂奔

（リスボン一日發）戰後植民地問題は桑港會議における重要議題の一つだが、英佛その他既得植民地を有する諸國のごとく太平洋に新領土の獲得を目論む國との間にこれが管理形式について見解の相違があり、今後相當の波瀾が豫想されてゐる、サンフランシスコ來電によれば米國代表の一員共和黨議員スタツセンは一日國際信託統治制度に關し

植民地全體を戰略的地域と經濟的屬領とに分つといふ米國案を提唱し、戰略的地域は國防上それを必要とする國家の完全な管理の下におくべきだとの米國側の見解を表明したといはれる、一方ワシントン來電によれば上院海軍委員會委員長ウオルシユ（民主黨）も一日サンフランシスコに向け出發に際し次の通り言明してゐる

議員團が代表國に傳へたいと考へてゐる見解の骨子は、米國が日本から奪取し基地として必要とみられる島嶼はすべて保有しなければならないといふことだ、海軍委員會の委員連は皆さうした基地の國際信託統治には反對だと思ふ

上陸用船を戰後に利用

（リスボン二日發）ワシントン來電＝米聯合艦隊副司令長官リチヤード・エドワーヅは一日下院海事委員會で次の通り言明した

「目下太平洋戰域で使用されてゐる上陸用舟艇中最大のLSTは平和時においても港灣施設の發達してゐない地域に物資を送る際利用出來る

海軍は戰爭終了後若干の期間内に舊型驅逐艦、老朽機雷敷設艦、その他補助艦艇を含む海軍艦艇一千三百二十一隻を餘剩艦艇として民間に賣却する計畫だが、この中には貨物搭載量の大きなLST六百九十七隻が含まれてゐる、LSTの建造費は最初一隻につき約二百萬弗を要した

LSTは良港のない太平洋諸島において特に有用なるべく海軍としては太平洋方向にある若干のLSTを米本國に歸航せしめることなく、現地で處分する意向だが歐洲で處分する積りはない

昭和二十年五月五日(土)
第三四一二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

米英食糧會談まで

杉山市平

△八方塞がりの英國

米國政府は三月十八日、本年第二四半期における食肉の國內消費量を一〇%方削減すると共に貸與法による對英輸出量を八七%切り下げる旨發表した、英國が眼を三角にしてこの發表を讀んだだらうことは次の「デーリー・テレグラフ」紙の報道に窺ふことが出來よう

三月十八日武器貸與法による英國向けの肉類輸出量に關して思ひ切つた削減令が發せられた、第一四半期の二億七百萬封度に對して、今後は僅かに二千五百萬封度しか送附されぬことになるのだ、この結果英國は作戰用の備蓄食糧品を食ひ上げてしまはねばならぬこととならう、英國はドイツ潛水艦やV兵器の脅威が一切取除かれるまで豫備食糧を手つかずにしておかばねならぬと抗議したが、米國は全然耳を傾けなかつた、一方ソ聯向けの輸送量は三億萬封度で前期と殆ど變つてゐない、米市民に對する肉類供給量は一二%減となり、陸軍への供給量は四%增となつた、陸軍用の肉は軍政下の市民給養に向けられよう、第二四半期における米市民配當量は三十七億九千三百萬封度に上り、一人當り年百十五封度の割となるが、一九四四年に比べれば三十封度の減少である

制限は肉類から始まつたが、現在の食糧事情ではさらに主要食糧全體に及ぼされる日も遠くはあるまいと思はれる、英國が四半期毎に輸入する肉類は一九四四年の計算では約九億三千二百八十萬封度に達し、米國からの輸入量はその四分の一以上に上るといはれる、米國からの大量の輸入が期待出來ないとなると、英國として他に賴りとなるのは、アルゼンチン及び英聯邦諸國しかないが、從來英國にその消費量の約三分の一を供給してきたアルゼンチンは旱魃の結果家畜の大減產を來し、現在罐詰用の肉類を制限してゐる有樣で、對英輸出能力は甚だ心細い狀態にある、また濠洲とニユージーランドとは生產過剩になつたバタ、チーズ牛豚羊肉をすべて英國へ送ると約束はしてゐるが兩國とも天候不順に崇られて生產高が低下してをり、英國が果してどれほど輸入出來るか當てにはならない、加ふるに船舶は太平洋戰爭に吸收されてしまつて輸送方法の見込も立たない有樣である英國が現在維持してゐる肉類割當週一志二片が少くも一志に減少することは必至だと、食糧省當局も認めてゐる、以上のやうな八方塞がりの狀態を考慮すれば、惡くすると半減といふやうな極端な場合に立至らないとも限らない

△米國も食糧不足

一方米市民の食生活はどんな狀態だらうか、「エコノミスト」誌は米國の配給制度の狀態について三月二十四日次の通り述べてゐる

米國の從來の肉類配給制度は先づ無意味に近いものであつたしかも米國は配給に關する他國の經驗に對して一顧だに拂はうとしなかつた、米國では一週間の割當點數十點でチーズ（一封度六點內外）肉類（こま切り肉の二點からステイクの十點まで各種あるが手に入ることは稀だ）バタ（一封度二十六點、とは卽ち購入不可能といふことだ）等を工面して行かねばならない、就中不合理なのは點數を每週貯めて置いて肉屋には何の通知もせずにこれを使へるといふことで、如何なる場合にも登錄は行はれてゐない、かかる制度は補給が潤澤でなければ役に立たないことは明かだ

戰時景氣で市民の購買力が激增し、一時肉類の消費量は戰前に比して一七%もの增加を示したが、最近に至つて食糧切符では無論のこと金を出しても肉類を手に入れることが困難となつて來た、ワシントン公立病院その他の報告によると、食糧品の價格は戰前に比べ平均四八%方高騰してゐるといはれ、果物、野菜類は二一%、セロリが二三九%、林檎が一二〇%の高騰だといふことだ、食糧事情の惡化はその他諸般の窮迫と共に今やひしひしと米國民の身にこたへて來始めたわけで

米國民は意氣沮喪もせず快活に戰爭の任務に耐へてゐる、米國傳統の信念と米國魂とは依然たりとはいへ、今や極限にまで行きついた感があ

り、諸外國を助ける前に米國こそ先づ助けてもらう必要があるのではないかと考へ始めてゐる者さへある

と「ノイエ・チューリツヒヤ・ツアイツング」紙が報じてゐるやうな有樣となつてゐる

△不足の原因と對策

米國の食糧不足の原因は少なくない、大規模な動員で農業勞働力が激減した事もその一つに數へられやう、また一九四四年の春から夏にかけて米國を風靡した戰爭短期終結論が禍の源であつたともいはれてゐる、卽ち、戰後農產物の飽滿狀態を來して一九三〇年代の二の舞を演ずるの懲り懲りだといふわけ、食糧減產措置をとつたことが失敗だつたといふのである、物價管理局では屠殺業者に對して百封度につき二志六片の補助金を出すほか、農民にも補助金交附の措置を構ずる等、遲蒔きながら增產奬勵に乘り出したといはれる、しかし最大の原因と見做されてゐるのは食糧輸出の無統制狀態で「デーリー・メール」紙のワシントン電報は左の通り報じてゐる

米國における食糧危機の主要な原因は、米國の尨大な穀倉に立入る權限を與へられた各種の輸出機關が重復したことである、武器貸與局、陸軍、アンラ及び外國經濟院等々總てが相互の要求に重復したところがあること等一切お構ひなしに、反樞軸各國向けの食糧を無制限に要求出來る狀態にあつたのだ、さらに國務省が諸外國に對する食糧輸送を要請したこととフランス政府からの注文とで事態は益々混亂狀態に陷つたかくてレオ・クローリーの委員會は「輸出に關して大掃除をする」ために設立されたが米國こそ助けてもらひたい口だと考へる米國官民はこの委員會の前に注文を山と積み上げた

曰く、米軍の給養狀態は危機に瀕してゐる

曰く、國務省と外國經濟院とが取極めた對外契約を改訂せよ

曰く、外國の備蓄食糧高を調査せよ

曰く、闇市場を一掃せよ

或る上院議員はかういつた

英國は何故カナダからの食糧移入を增加しないのか、カナダでは肉は餘つてゐるし、バタには未だに配給制を採つてゐない

これら一派の主張を綜合すると結局次のバーンズの言明となるわけだ

第一に考慮せねばならぬのは米軍兵士の要求で救濟その他を目的とする輸出用の食糧品高は米市民の生活における必須最低量と睨み合せて算定せねばならぬ、換言すれば第一が陸海軍、第二が米市民歐洲は三番目だ

△英國の反響

米國民は一般に、英市民が米國製のバタをふんだんに使ひ、米國渡來のビフテキを鱈腹食つてゐると思ひ込んでゐる

と「デーリー・テレグラフ」紙のワシントン特派員は三月十五日報じてゐる、英國に備蓄食糧を切り詰めよといふ聲が米國に上がるのも當然だ、斯かる意見を英國が默つて拜聽するわけがなく、例へば「ニューズ・クロニクル」紙は次の通り述べ立ててゐる

米國は歐洲の食糧事情が極度に緊迫化した際、「英國はドイツ潛水艦の脅威が現在よりも一層激しかつたとき制定した備蓄量を削減してもよからう」と主張したが、英國の返答はかうだ、「當局は備蓄食糧の檢閱を怠つたことなく、一度として過剩狀態にしたことがなかつた、今後續けて歐洲諸國に補給するためには、供給した食糧に對して確實に補充をすると約束してもらはねばならない、英國の備蓄量は今や絶對最低量に低下してをり、既に歐洲の解放地區の需要に應ずるため多量の喰ひ込みを買してきたのだこれ以上豫備食糧を削減すればわれわれの口が干上つてしまふ惧れがある」

米國の方は苦しくなれば厄介者を振り棄ててしまへば濟むに反し、英國は何とかして寄謝を乞はねば生きて行けない立場にあり、あまり强い口も利けず、うらみ言を並べるのが精々だ、「デア・ブント」紙のロンドン電報によれば英國民の不平は次の通りである

カナダと米國の食肉消費量が戰前に比べて一六%增加したに反し、英國では一九%減少した、反樞軸諸國や歐洲解放地區の數百萬の人民が食

昭和二十年五月五日(土)
第三四一二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

反樞軸諸國や歐洲解放地區の數百萬の人民が食糧缺乏に惱んでゐるとき、米國民が週三封度の燻製肉といふやうな高度の食生活を維持することを主張するのは全く解しかねる、米國民は痩せ細つた歐洲を救ふために喜んで貴重な食糧品を大量に節約せねばならぬ筈だ

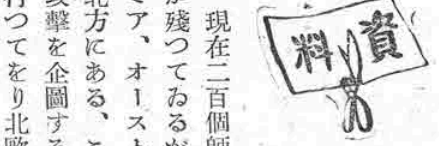
英戰時供給相リトルトンと食糧相ルウエリンとは三月二十八日ワシントンに赴いて米政府當局との間に食糧問題打開の交涉を始めた、英國代表が米當局者に向つて何のやうに話を持ちかけて行くかは、既にチヤーチルがルーズヴエルトに告げた言葉を聞けば大略の察しがつくであらう、米國が食糧配給の序列を米軍、米國民、歐洲としたやうに英國は反樞軸並びに解放諸國のためとは稱するものの、最大の關心は一にも二にも英國だ、チヤーチルは次のやうに語つてゐる

英國は米國が歐洲へ分配するために送り出す補給物資の貯藏庫であつた、從來英國はこの補給物資を惜しげなく各國に分配してきたが、今やストツクは急速に減少しつつあり、遠からず英國民の配給量を削減しなければ解放諸國への分配など繼續出來なくならう、ルーズヴエルトは英國民の身の上を氣遣つてくれねばならぬ、余としては、絶對的な必要に差迫られない限り、英國民に對してこれ以上の犧牲を要求することは出來かねる

米國としては、外國向けの食糧輸出を一切停止してしまへば問題は簡單に片附くであらうが、これが斷行出來ない、卽ち米國は食糧供給を餌として飢餓に直面した反樞軸各國を釣らうといふ魂膽なのだ、ワシントンからのロイター電報は三月十四日

米國務省當局では米國が極端な措置を構ずれば諸外國の憤懣を招くばかりであり、國際問題、特に歐洲の解放諸國に對する諸問題で米國の押しが利かなくなるだらうと危惧してゐる

と述べてをり、英國が乘ずべきは正にこの點だと言はんばかりだ、ルーズヴエルトは米國民が他國の窮狀を思ひ遣つてバンドを締めつけ、空腹を我慢するやう要望したが、英國は「もつときつく締めつけろ」と叫んでゐる、米國の慈悲心が何處まで續くか、國內の食糧より長續きすることがないのは確實だ



聯合軍並びに獨軍の兵力

△獨軍の現有兵力

—四月二十四日附「タイムズ」紙—

現在二百個師團にやや不足する程度のドイツ軍が殘つてゐるが約四十個師團はドイツ南部、ボヘミア、オーストリア乃至はイタリアにあり殘餘は北方にある、これらのドイツ軍は南部要塞の包圍攻擊を企圖する聯合軍に對して、專ら遲延作戰を行つてをり北歐の守備隊をしてその態勢を强化せしめようとしてゐるものの如くである、以下は概略ではあるがドイツ軍戰略の根本方針を十分詳細に示すに足りる、各地區に配備されたドイツ軍の數である

ノルウエー　十個師團、デンマーク　四個師團、オランダ海岸からエルベ河まで　七個師團、エルベ河戰線には米軍と對峙するもの　約六個師團、西北地區の據點　二十個師團以上、イタリア約　二十個師團、ユーゴースラヴイア、約十個師團、オーストリア　約四十個師團、ドナウ河からベルリンに至る中間地區　約四十個師團、ベルリンとバルト海との中間地區　三十個師團

以上のうち赤軍と戰つてゐるのは約百二十個師團で殘餘は直接乃至間接に米英軍と戰つてゐる

△ノルウエーの獨軍

—四月二十五日附「タイムズ」紙—

ノルウエーにおけるドイツ軍の軍事情勢に關する情報は同方面に配備されたドイツ軍の兵力が過大評價よりもむしろ過少評價されてゐることを示してゐる、あらゆる兵科を含めて現在なほノルウエーには二十五萬乃至三十萬のドイツ軍戰鬪員がゐる、ドイツ軍は北はリーゲン・フイヨルドから南はクリスチアンサンドに至るノルウエー全土に配置されてゐる、以上のうち十五萬は優秀な將兵で殘餘の質は多分國民突擊隊より優れてゐる程度

とみられる、同時にノルウエーにおけるドイツ空軍勢力は微弱で過去六ケ月來その數は五百機足らずで大半は戰鬪機である、一方ノルウエー水域におけるドイツ海軍は現在主として潛水艦三百隻及び多數の驅逐艦、輕艦艇から成つてゐる、しかしドイツ海軍の殘存部隊をノルウエーの諸港灣に入れる準備がされてをり、かくしてドイツ軍は聯合軍の侵入に對する完全な防衛準備を行つてゐる

△西部戰線の聯合軍兵力

—二月二十三日附「ニユーヨークタイムズ」紙—

イタリア戰線は別として西歐における米軍の師團數でこれまで當局から發表されたものは現在のところ五十一個師團で、うち空輸部隊三個師團、機甲部隊十一個帝團、歩兵部隊三十七個師團である、このほか英軍十四個師團、カナダ軍三個師團ポーランド軍一個師團、ベルギー、オランダ、チエコの各一個旅團があり、フランス軍で作戰に參加してゐるのは八個師團である、以上西部戰線における聯合軍の兵力は約七十九個師團でなほ發表されてゐない他の師團が今後增强され總兵力八十五個師團程度まで增加するであらう、西部戰線で聯合軍に對峙してゐるドイツ軍の兵力はこれまでに多數の師團が東部戰線へ移されたので、現在六十乃至六十五個師團程度と見られる

歐洲戰の終了

（米紙豫定稿）

（ノルマンデー上陸作戰の時もレイテ島侵攻作戰の時も、米國の新聞社や通信社の報道は實に早く且つ詳細を極めたものだつた、兵馬倥傯の間によくもあれだけ長い原稿を書き、短時間に打電したものだと感心するのは氣が早過ぎる、かうした際物の原稿はすべて豫定稿だ、その一例としてここに揭げるのはロサンゼルスからニユーヨークの「PM」紙が重慶に向けて送つた特別論文で、電報の前後にはレデー即ち「勝利の日」が公式發表された後に使用することと斷り書がついてゐる、米國式宣傳の實例として絶好の資料であらう）

歐洲戰の終了は米國陸軍がドイツで鬪つてゐた當時より更に重大な諸問題を米國陸軍省に課する卽ち數百萬の兵員並びにそれに要する莫大な補給物資を數千隻の船に積み二つの大洋を越えて輸送するといふ大事業がそれだ

Vデーには米國軍はVJデー卽ち日本に對する勝利の日を目指す最後の攻擊まで一萬三千哩の距離を殘してゐるのだ

世界史上空前の有力なる攻擊兵力を歐洲から東亞へ移動する計畫案は最近陸軍長官（ニリー・D・スチムソン、參謀長ジョージ・C・マーシヤル並びに陸軍補給本部長ブレフオン・ソマヴエルの三人から發表された

△三長官の發表

スチムソンは本年二月二十八日から述べてゐる

歐洲における交戰行爲が停止した曉には、米國陸軍省は最後の勝利を促進させるのに有效に使用し得るすべての兵員並びに一切の裝備品目を對日戰場に廻送する豫定である

またマーシヤルは本年四月六日の陸軍記念日演說において

ドイツの敗北後は一瞬の靜止も許されないであらう、陸軍省は既に一年以上の間この移動のための計畫を練つてゐるが、余のみるところではこれこそ軍隊運營並びに兵站學における史上最大の問題だといはなければならない、われわれは常に時代と共に計畫を進め、その時機が來た時には文字通り猶豫一時間の通告をもつて行動に移し得るやう準備してきた、歐洲戰が終了したその瞬間には太平洋戰の促進に最優先的に必要なる部隊の移動をスエズ運河を拔け、パナマ運河を通づて開始することが絶對必要である

昭和二十年五月五日(土)
第三四一二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

スチムソン並びにマーシャルが述べてゐる歐洲から太平洋への兵員資材再展開に關する陸軍省の計畫には次の四部面がある

一、兵員資材を直接歐洲から太平洋へ移動する、對日戰に必要な作戰部隊は歐洲から太平洋へ發送され、歐洲に送られた船舶の大部分は殆ど米本國に歸ることなく太平洋に直航する

二、餘剩兵員並び裝備の米本國送還、卽ち太平洋勤務のために更に訓練を受けなければならないやうな兵員、太平洋における使用のために再整備されなければならないやうな裝備とがこれに該當する

三、占領任務のために歐洲に殘存する武裝兵力に對する食糧並びに補給物資の輸送

四、解放地域において解放された人民に衣食を與へ、その諸工業及び諸事業を復興せしめるための食糧、補給物資の輸送

ソマヴエルは四月十七日新聞記者會見でかう說明してゐる

再展開の議順は輸送方法の改善により四ケ月を短縮することが出來た、輸送速度向上の一方法は多數快速貨物船を兵員貨物兩用輸送船に改裝することだ、歐洲から太平洋に送られる兵員は移動のために船腹五噸に相當する物資を必要とし、太平洋における兵士一人の生活には一ケ月當り船腹一噸分が割かれなければならない

リバテイー型船が歐洲から太平洋へ廻航するに要する時間は快速輸送船に比し一ケ月半長く、軍隊並びに補給物資の移動は目的地に同時に到着するやう調整されなければならない、米國陸軍一個師團の裝備を移動するにはリバテイー型船十五隻が必要で、その他に一個師團一萬以上の兵員を送るために多數の輸送船が必要なのである、歐洲にある補給物資の約七十パーセントまでは太平洋に廻送することが出來る、これは平均した計算で、すべての裝備に通用するわけではなく、例へば野戰用電線の回收し得るものは約一〇パーセントに過ぎないが、或る種のラジオ裝置や重砲部品は殆どすべて再使用が可能である

歐洲からアジアへの兵器の輸送は太平洋戰線のための裝備調達問題を容易ならしめる、二戰場における戰鬪條件並びに氣候條件の相違は尨大な修正を必要とし、太平洋の熱帶、亞熱帶における變質の速度は歐洲におけるより遙かに早く腐敗作用並びに黴類は殆ど敵に劣らぬ損害を齎すのである

參謀總長マーシャルは陸軍記念日演說において右の移動計畫の他に歐洲解放地域における物資供給量を增大することの必要を力說し次のやうに述べた

われわれは戰後オランダに飢えつつある人々を養ふべき食糧の需要が日增しに緊急になり、工場を運轉して不安に驅られ、窮乏に打ちひしがれた人々に仕事を與へるために諸地域が要求する必要品をも與へなければならないであらう

硫黃島基地の戰ひ

「ニユーヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙

硫黃島特派員　スタンレー・ウツドワード四月二十九日發

硫黃島の眞黑な火山砂や茶色の火山灰の中では海蜂隊と陸軍工兵隊がブルドーザーを使つて道路、飛行場、兵營の敷地等の地均しをしてゐる、トラツクは無限に掘り出される湯氣の出た熱い泥を運び去る、測量隊が地圖の上の丘陵を消すと、そのインクが乾き切らないうちにも丘陵は崩されてなくなつてしまふ、海岸から半哩、深さ九十尋の沖合では、多數の輸送船からトラクター、煙草、高射砲、食糧などが何千噸となく吐き出されてくる、飛行場には故障を起したB29が日本本土爆擊の歸途、應急修理や燃料補給に不時着する、戰鬪機の編隊は東京爆擊の護衞、九州の飛行場襲擊のために爆音勇しく飛び立つて行く、硫黃島を基地にしてゐる爆擊機隊は附近の小笠原諸島を爆擊するため爆彈をうんと積み込んで舞ひ上り双胴の

P61「ブラック・ウイドウ」も頻りに發着してゐる硫黄島は東京から僅か千三百粁、日本の諸島嶼基地とは隣り合つてゐるが、今や太平洋上で一番強力にして最も重要な航空基地の一つとして整備されつつある、自分らは幸ひにも特別の案内によつて普通の島内一周旅行などでは廻ることの出來ないところまで行つてみて硫黄島の詳細を知ることが出來た、まづ海蜂隊が九日間で建設したといふ美しい、巾の廣い道路を通つて摺鉢山に登つたが、無論ジョー・ローゼンタールの旗はもう噴火口の緣に飜つてはゐない、摺鉢山の頂上は今では陸軍の工場や施設で一杯だ、摺鉢山から北に向つて暫く進むと自分の乘つたジープは物凄い交通の混雜に捲き込まれてしまつた、海蜂隊はまだ島の主要道路を建設中で、ブルドーザー、スクレーパー、水陸兩用トラック、その他の重車輛がごつた返し、たつた一臺のジープが通り抜けることさへ困難であつた、硫黄島の北端部では未だに地下の洞穴陣地に據つて頑張つてゐる日本兵を狩り出すため、陸軍偵察隊が出動してゐて、自分達が硫黄地帶を通つた時も機關銃の發射音やダイナマイトの爆發音が聞えた、海蜂隊はまだこの邊りの道路建設には手をつけてゐない、彼等は凹凸した湯氣の出てゐる火山灰地から飛行場を作り上げるので手一杯なのだ

新總統の橫顏

（チューリツヒ一日堀口特派員發）ドイツ新總統の重責を引繼いだカール・デーニツツ提督は、ドイツ海軍總司令官兼潛水艦隊司令官で今次大戰においては太西洋で反樞軸艦船を片端しから擊沈、所謂「太西洋の悲劇」を書き卸して米英兩國の心膽を寒からしめた海の勇者だ

一八九二年バルト海岸メクレンブルグの地主造船業者の家庭に呱々の聲を擧げたといふから今年五十三歲の働き盛り、子供の頃から海に興味をもつてゐたといはれ、ドイツ海軍に身を投じて一九一三年には輕巡洋艦ブレスラウに少尉として配屬され、第一次大戰勃發後には戰闘巡洋艦ゲーベンに移り、例のコンスタンチノープル港遁入事件で一躍勇名を轟かせた、戰後は主として潛水艦作戰に專念する傍、政治問題に興味を持ち、早くからナチ運動に參加してゐたが、ヒトラー總統の政權掌握後は潛水艦作戰における卓拔した才腕をかはれて潛水艦隊司令に任命され、第二次大戰後は英國封鎖の重責を托されて大西洋を米英艦船の墓地と化し、反樞軸側海員の恐怖の的となつた、一昨年カール・レーダー提督の勇退を機に海軍總司令に昇進したが恐らく陸海空軍を通じて最も總統の信任を受けてゐたであらう、今回デーニツツ提督が總統に選ばれたことは多少意外の感なきにしもあらずだが、現下のドイツの微妙な情勢そのものがデーニツツ提督を選ぶに至つたとみるのが至當であらう

米軍の小型砲艦

「ニューヨーク・タイムズ」紙

二月二十七日硫黄島特派員報道

硫黄島侵攻戰に當つて非常な勇戰振りを發揮したのは全長百四十呎の平底艦艇から成る小艦隊であつた、この艦艇はLCI＝Gと呼稱され、歩兵上陸用舟艇の一種で砲艦を兼ねたものである、平均吃水五呎の名もないこの小艇隊は文字通り對地砲擊を行ふ艦隊の先頭に立つたのだ、卽ち彼等は海岸から半哩以內の距離で行動し、また敵海岸砲台からの砲集を浴びるのである、LCIは元來歩兵揚陸を目的として設計された淺海用舟艇であつたが、太平洋水域では一度も以上の目的には使用されなかつた、現在では砲艦として活動してゐるが、砲艦たるの裝備としては後にも前にも數個の四十粍砲塔ばかりである、侵攻に先立つ砲擊戰闘間この艦艇隊が果す役目は戰艦、巡洋艦、驅逐艦等が沖合から地域射擊を行ふ間海岸から二三百碼の距離に肉迫して敵の海岸施設に對し釣瓶打ちに鐵火を叩き込むことで、砲擊中LCI＝G艦艇は運航を停止して敵が目と鼻の先から打ちつけて來るものを總て一身に引受けるのである

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年五月七日(月)　第三四一四號

同盟通信 海外電報

編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通

英國下院は四日いつもの通り週末で散會した、しかしロイター電報によればチーヤチル首相はダウニング街十番の官邸に收つて、何時如何なる報道が入つても直ちに下院に報告するかラジオで全國民に知らせることが出來るやう待期してゐるといふ、ドイツ國内からは悲報正に櫛の齒をひくが如しだ、オランダ、デンマルク並びにドイツ西北部のドイツ軍は遂に降伏した、アイゼンハワー將軍の發表によればザルツブルグ、ベルヒテスガーデン相次いで陷り、西部戰線のドイツ軍は全く崩壞の狀態に陷つたと傳へられる、新總統デーニツツ提督は果して如何なる神算をもつてこの難局を收拾しようといふのだらうか、勿論米英兩國の宣傳ゆゑ飽くまで割引して扱はねばならないが、デーニツツ提督が英軍司令モントゴメリー將軍と交涉してゐるとか、協定は既に出來て百餘隻の潛水艦が基地に歸還するまで發表を延期してゐるのだとか、色々もつともらしい臆測が流布される所以だ、殊に一見奇怪なのはシユペーア軍需相の演說だ、シユペーア軍需相は人も知る故ヒトラー總統の知友であり、軍需生產を一手に引受けて雄大な作戰遂行の基礎を提供したナチ黨の領袖だが、今回の演說を一讀すれば既に戰爭は終了しドイツ國民は戰後の經營に祖國の復興を企圖せねばならぬと說いてゐるに等しい、軍需相が依然留任してゐるかどうかは別問題として、ドイツ系放送局がかかる演說を放送してゐるのが事實とすれば、ドイツ軍の抗戰はここに全面的に終りを告げたと解しても過言ではあるまい、殘るはソヴエト聯邦との關係だけだが、シユペーア軍需相がソヴエト聯邦と米英兩國とを區別する總統デーニツツ提督の主張を踏襲してゐないことは一つの指標ともとれよう

【目　次】

獨軍の完全擊破を聲明……一二二四
ベルヒテスガーデン陷落……〃
和、丁、獨西北部の獨軍降伏……〃
メクレンブルグの獨軍降伏……〃
シユペーア獨軍需相國民に懇ふ……〃
ノルウエー駐屯軍の動向……一二二五
獨艦艇群、ノルウエーへ……〃
デーニツツ總統キールへ……〃
新總統の旗の下に……〃
陷落後のベルリン……〃
ソ聯米英の違約を糾彈……一二二六
米政府反駁聲明……〃
會議表決問題も米ソ對立……〃
米國の國際機構修正案……一二二七
佛代表自國の立場を闡明……〃
モロトフ外相印度問題に言及……〃
勞働代表も參加を要求……〃
【米　洲】
徵兵猶豫法案却下……一二二八
軍事豫算を削減……〃
トルーマン攻擊さる……〃
ラテン米洲への食糧輸出切り下げ……〃
罷業炭礦接收を命令……〃
【軍事情報】
巨人飛行艇の業績……〃
【特　輯】
國際信託統治案の樂屋……一二二九
【資　料】
バルカンの混亂……一二三二
桑港會議の構成……一二三四

獨軍の完全壓破を聲明

（チューリッヒ四日發）パリ來電＝アイゼンハワー將軍は四日次の聲明を發表した

ドイツ軍は陸海空において徹底的に擊破された降伏を申出てゐるのは敗殘軍のみである、ドイツ軍がこれ以上損害を蒙ることは自らの愚かさか、ドイツ政府の愚かさによるものである

ベルヒテスガーデン陷落

（チューリッヒ四日發）パリ來電＝アイゼンハワー軍司令部は故ヒトラー總統の山莊の所在するベルヒテスガーデンを占領、掃蕩を完了した旨四日發表した

和、丁、獨西北部の獨軍降伏

（リスボン四日發）パリ來電＝アイゼンハワー司令部はドイツ西北部における全ドイツ軍の抵抗が終焉した旨四日發表した、アイゼンハワーに宛てた反樞軸第二十一集團軍司令官モントゴメリー元帥の報告內容次の通り

ヘリゴーランド、フリージア諸島をも含めオランダ、ドイツ西北部、デンマークにおける全ドイツ軍は、第二十一集團軍に降服した、戰鬪停止は五日午前八時（英國二重夏季時間）から實施される、以上の戰場における降伏は第二十一集團軍の西北面に對峙するドイツ軍も含まれる

メクレンブルグの獨軍降伏

（ストックホルム四日發）デンマーク放送によればドイツ總統本營は四日次の公報を發表したといはれる

メクレンブルグ地區のドイツ軍は激戰の後エルベ河西岸に向ひ、反樞軸軍の占領地帶に入つて後武器をおいた

シユペーア獨軍需相國民に愬ふ

（ストツクホルム三日發）デンマーク放送によればシユペーア軍需生產相は三日、全國民に對して次の通り呼び掛けたといはれる

「ドイツは敗れた、われわれの生命を左右する力はも早われわれの手中にない、未だ曾つてドイツほど戰爭の慘禍にぶちのめされた國は斷じてない、諸君はいま意氣銷沈してたぎりたつ憤激に喘いでゐる、諸君の胸中を支配するものは信念にあらずして絕望だ、諸君は疲れ果て一切の事象を冷眼視してゐる、だがそれではいけない、三十年戰爭は今次戰爭の混亂に比肩されやうが、飢餓と惡疫の犧牲となつた國民の數は當時より少い、さればこそデーニツツ總統は戈を收めぬ決意を固めたのだ、敗殘の國民を死から衞ることが戰爭を繼續する唯一の意義であり我々の最後の義務でもある諸君はこの義務を進んで果さねばならない、たとへ敗れたりとはいへ英雄的精神を發揮し歷史に勇戰の跡を留めたドイツ國民に對して敵が如何なる考慮を拂ふかは一に敵の判斷にまつのみ、從つて諸君はいま無氣力と恐るべき絕望を飽くまでも克服しなければならない、余はここに次の命令を發する

一、鐵道組織を直に復舊せよ、敵が許す限り或ひは敵が命じた場合飢餓の脅威下にある地域に食糧を輸送するため全力を盡せ、諸君の家族と再び見える機會はドイツ鐵道の復舊によるのみ

一、工場、職場は全て能ふ限り迅速に鐵道の修理を遂行する義務を負ふ

一、六年間の戰爭に堪へた農民は全國民に對する義務を自覺し、一切を擧げて增產に邁進せよ

一、食糧の輸送は他の一切の物資に優先されねばならない、食糧、電力、瓦斯、石炭、木材の供給に全力を擧げよ

從來と同樣の不撓不屈の精神をもつてせばドイツ國民は更に大きな損害を蒙ることなく生存を續け得るであらう、われわれの敵が以上の遂行を許すか否かは判らぬが、全力を盡してドイツ國民の生存を維持することこそ余の義務である、われわれはもはや已れの運命を左右する力を持たぬ、われわれの運命を更生せしめるのは神の攝理のみである、されどわれわれは斷乎たる決意をもつて與へられた仕事を遂行し威嚴と自信をもつて敵に對しドイツ國民の未來に對して搖ぎなき信念を固めることによつてわれわれの運命の動きに寄與することが出來やう」

昭和二十年五月七日(月)
第三四一四號
同盟通信
海外電報
(第二種郵便物認可)

ノルウエー駐屯軍の動向

(ストツクホルム三日發)ドイツ本土における戰線の全面的混亂狀態から歐洲戰はいよいよ幕切れに近付いたと見られてゐる際、ノルウエー駐屯のドイツ軍の動向は注目に値する、軍事消息筋はその兵力を約十五萬と推定してゐるが、最近數ケ月間の武器、補給物資の空輸で戰力は相當增强されてゐるとみられ、消息筋の傳へるところによればノルウエー駐屯軍の無條件降伏に關し種々交涉が進められてゐるといはれ、ノルウエー國民蜂起軍も

ドイツ軍による現在の占領狀態を平穩裡に終結せしめるやうドイツ軍に對する一切の挑發的行爲を避けよ

とノルウエー國民に對し布告したといはれる

獨將星續々捕虜

(チューリツヒ三日發)米第七軍に從軍するUP記者の報道によれば、ロンドン大空襲を指揮せる西部戰線ドイツ空軍司令官シユペルレ元帥並びに全バルカン軍司令官ヴアイクス元帥も遂に第七軍に捕はれたといはれ、更に同軍によりバヴアリア王室のアルバート殿下並びにマリー女王殿下も捕へられたといはれる

獨艦船群、ノルウエーへ

(チユートリツヒ三日發)第二十一集團軍司令部からのロイター電によれば、英第二戰術航空隊の操縱士は三日シユレスウイツヒ・ホルシユタイン半島の東岸沖合をノルウエーの方に向つて航行中の數百隻のドイツ大艦船群を發見したといはれ、右のうちには多數の潛水艦も含まれてをり、英空軍こはれを攻擊した模樣である

デーニツツ總統キール行か

(ストツクホルム三日發)ロンドン來電=デーニツツ總統は三日海軍基地キールへ逃れたと傳へられる

新總統の旗の下に

(チューリツヒ三日發)現在赤軍に對抗するドイツ全軍の指導者といはれるフエルデイナンド・シエルナー元帥は、三日南獨放送局を通じて全軍に布告

麾下將兵全員はデーニツツ元帥の旗の下に結集し戰鬪を繼續せよ

と指令した

陷落後のベルリン

(ストツクホルム三日發)ロイター通信社モスクワ特派員は陷落後のベルリン市の狀況を三日左の通り報じてゐる

餓死に瀕した幾千のベルリン市民は三日食物を求めて各自の地下待避所から匍ひ出してきた、彼等はこの日初めて戰勝の赤軍兵士達が全市に散在する廢墟の淸掃に當つてゐるのを目擊したベルリン市民は殆んど一夜の裡にその首都と總統とを喪つてしまつたといふ餘りの速さが、未だに腑に落ちかねる面持ちで眩しさうに戶惑ひしながらのろのろ建物の破片の山を縫つてゐる市內でいまだ荒されてゐなかつた食糧品店を漁る者も多かつた、彼等は過去一週間といふもの砲彈と爆彈の雨を避けて地下室に籠り切つてゐたのだ、しかし、今や時折り地雷が爆發するとはいへ、突如としてベルリンを包んだ靜寂さに市民は漸く愁眉を開き街に溢れ出て來る人數は增える一方であつた

エール首相ヒ總統に弔意

(リスボン三日發)ダブリン來電=エール首相ヴアレラ氏は二日夜、エール駐劄ドイツ公使ヘムペル氏を訪問、ヒトラー總統の戰死に深甚なる弔意を表した

ポルトガルも弔意表明

(リスボン三日發)ポルトガル政府代表はリスボン駐劄ドイツ公使館を訪問、ヒトラー總統の死に對し公式に弔意を表した、政府の命令により官廳も悉く弔旗を揭げてゐる

ソ聯、米英の違約を糾彈

（ストツクホルム三日發）モスクワ放送によればソヴエト俘虜交換委員會長はタス通信社を通じ米英兩國のクリミヤ會談で決定された俘虜交換協定違反を痛烈に糾彈、要旨左の聲明を發表したといはれる

米英兩國政府はヤルタで決定された米英ソ三國俘虜待遇並びに交換に關する協定を實施せず違反行爲を敢へてしてゐる、例へば現在米國内には八百名の赤軍將校が俘虜として抑留されてゐるが、米國政府はこれら俘虜の所在をソヴエト當局に通告してゐない、また英國内にも現に赤軍俘虜を收容した强制收容所が三つもある

米政府反駁聲明

（リスボン三日發）ワシントン來電＝米國務省はソ聯政府の非難に對し三日長文の反駁聲明書を發表した、要旨左の通り

ソヴエト俘虜交換委員會長は、米國政府が米英ソ三國俘虜交換に關するクリミヤ協定の履行を怠つたと非難してゐるが、右は事實無根である、その理由は左の通り

一、フランスにおける作戰中米軍が獲たドイツ軍俘虜のうち、ソ聯國民である旨申立てた者は、反樞軸國民として特別の待遇をした

二、作戰初期、右の措置を講じ得る以前に米國に移送した俘虜のうち約四千三百名がソ聯國民と判明、米政府當局は直ちに別の收容所に移し、ソ聯當局は輸送の都合がつき次第速かに本國へ送還した

三、作戰の進展に伴ひ、米軍はドイツ軍の俘虜となつてゐたソ聯市民及びドイツ軍に使用されてゐた多數のソ聯市民を解放したが、米政府當局は困難な情況下にも拘らず、右ソ聯市民並びに反樞軸各國民の本國送還に能ふ限り努力した

以上によつて米政府當局はヤルタ協定の條項と主旨とを忠實に履行したと斷言出來よう、米政府はソ聯當局の要請によつて現在米國で入院中の八名を除き米國へ護送して來た俘虜でソ聯國民である旨を申立てた者は總てソ聯へ送還した、なほ米國内には明かにソ聯國民と見做された俘虜百十八名がゐるが、彼等はドイツ軍の制服を着用して米軍に敵對したためドイツ軍俘虜として取扱つてゐる、彼等はドイツ軍の手中にある米軍俘虜の身分を保護するため米國に抑留中だ、米國内に拘禁されてゐるといはれる八百名の赤軍將校については當局は何ら聞いてゐない、英國内における三ケ所の俘虜收容所に關してはロンドン駐在ソ聯代表ヴアシリエフ大將に對しその所在は通報濟で大將は現に右收容所を視察してゐる、さらに英國政府は右收容所に關して一九四五年一月以來赤軍當局に對し每週詳細な報告書を送附してゐる

會議表決問題でも米ソ對立

（リスボン四日發）サンフランシスコ來電＝ポーランド假政權の桑港會議招請問題は米英ソ三國代表がこの圓滿解決に努力してゐるにも拘らず依然として意見對立のまま桑港會議の癌となつてゐるが、今度は更に會議の表決問題をめぐつて米ソ兩國代表間に深刻な意見の對立を來し會議に新たなる難問題を提供するに至つた、即ち會議の表決にあたり簡單に多數決主義をとるか或ひは三分の二以上の絶對過半數主義をとるかの兩主張が對立し米國は多數決主義を支持するに對しソ聯は後者の三分の二主義を强硬に主張してゐる、白ロシア、ウクライナ兩共和國並びにアルゼンチンが會議に招待された結果現在の桑港會議出席國は全部で四十九ケ國となつてゐるが、もし米國の主張が通れば會議の表決は二十五票の贊成投票を得れば十分であるに對し、ソ聯の主張する三分の二主義が實現すれば少くとも三十三票が必要となる、米國が多數決主義を主張する根據は米洲國二十一ケ國に米國の傀儡國たるリベリア、フイリピン兩國を加へれば二十三ケ國となり他に僅か二國の支持を得さへすれば桑港會議が米國の思ひのままに動くといふ點にあるが、ソ聯は既にアルゼンチン招請問題で多數決主義が如何にソ聯に不利となるかを十分に體驗してをり、あくまでも三分の二主義の主張を通さうとしてゐる模樣である

昭和二十年五月七日(月)
第三四一四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米國の國際機構修正案

(リスボン三日發)ワシントン來電＝桑港會議の米國代表者スタツセンは三日、ダンバートン・オークス案に對する九ケ條から成る米國の修正案を發表した、內容次の通り

一、世界安全保障機構は正義の諸原則に準據して運營するべきこと

二、ダンバートン・オーク案に使用されてゐる言辭を明確化し、右國際機構は國際法の範圍內で運營され且つ國際法の發達に役立たせること

三、人權の伸張及び擁護を新世界組織の基本目的とすること

四、世界狀勢に平和的變革を齎すことを可能ならしめ、世界が現在のままに凍結されるのを阻止すること

五、ダンバートン・オークス案に決定的な信託委任統治制を包含せしめること

六、戰後における經驗と進展する世界狀勢に照らし、ダンバートン・オークス案に對し將來全般的檢討を加へること

七、近代的に改められた國際法廷を世界機構の必須部分たらしめること

八、四つの自由を含む大西洋憲章中の幾つかの項目をダンバートン・オークス案に含めること

九、ダンバートン・オークスにおける重慶を含めた會談で討議された文化問題に關し明確なる規定を設けること

佛代表自國の立場を闡明

(リスボン三日發)サンフランシスコ來電＝目下サンフランシスコに滯在中のフランス外相ジョルジュ・ビドーは二日記者團會員で次の通り語つた

フランスはアフリカにあるフランスの基地ダカールの「國際基地」化に反對するか否かに關してはいまだ言明する用意はない、ダカール問題に對する回答は世界中の他の基地に對する回答と同時に考へられるべきだ、一方フランスは佛印が完全に國際信託統治問題の埒外にあるとの建前をとつてゐるが、太平洋上の佛領島嶼も同樣である、余は世界の安全保障のため、ルール地方を國際管理下に置くことを提唱するが、ザール、ラインランドについてはフランスが管理權を持つことを主張する、ザールの石炭はフランスの手に歸するのが當然だがこの地方を政治的に管理するか否かはまだ決定してゐない、またラインランドは地理上の一地域に過ぎず決して政治的實體ではない

歐洲戰は愈々終局に近づいたが、フランスは他の反樞軸列强と同樣、ドイツの降伏申入れを受ける國の一員となるべきだ、佛ソ同盟が世界安全保障機構に對するフランスの不信を意味するものだとの論が頻りだが、ダンバートン・オークス案は訂正を要する幾多の重要過誤を含んでをり、世界安全保障機構は個々の國家間若くは國家群間の協定によつて補足されるべきだと信ずる

モロトフ外相印度問題に言及

(リスボン二日發)ロンドン來電＝桑港會議に出席中のモロトフ外務人民委員は過般の全體會議でアルゼンチンを非難すると共に印度についても言及したが、ロイター通信社は二日、以上モロトフ代表の言明を次の通り傳へてゐる

この席にわれわれと共に印度代表者がをられる勿論われわれは印度が獨立國でないことを承知してはゐるが、やがて獨立した印度の代表がここへ列席される時が來るであらう、しかして我我は現在獨立してゐない印度をこの會議に招請すべきだといふ英國政府の要請に同意したのである

勞働代表も參加を要求

(リスボン三日發)サンフランシスコ來電＝カリフオルニア州のオークランドで桑港會議と併行して開催中の國際勞働會議は三日、米英佛ソ四ケ國勞働組合領袖の名において米國務長官ステチニアスに書翰を送り桑港會議に各國の勞働代表が顧問として參加する事を正式に承認するやう要求した

右書翰は「世界六千萬の勞働者を代表する勞働代表にも桑港會議の目的とする歷史的重大決定に發言權が與へらるべきである」と强調してゐるが書翰には米國代表シドニー・ヒルマン、英國代表ウオルター・シトライン、ソヴエト代表タラソフランス代表サイヤンが署名してゐる

【米　洲】

徴兵猶豫法案却下

（リスボン三日發）ワシントン來電＝米大統領トルーマンは三日議會から回附された重要農業に從事中の壯丁に對する徴兵猶豫法案の署名を拒否これを却下した、同時にトルーマンは議會に對し戰時下にあつては全國民が全力を盡して祖國に仕へる義務がある旨の教書を送つた、トルーマンの重要法案に對する拒否權發動は今回が最初であるが、下院は直ちに再び同法を表決に附したところ百八十五票對百七十七票をもつて大統領の拒否權發動を承認した因みに下院が大統領の拒否權を覆へすには全票數の三分の二が必要である

軍事豫算を削減

（リスボン二日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは二日議會に對し六月三十日を以て市民防衛局を廢止する旨發表、更に一九四五——四六會計年度豫算中總額七十一億弗に達する削減を次の通り要請した

一、市民防衛局廢止に伴ひ同局に對する豫算三十六萬九千弗を削除する
一、海事委員會豫算中七十億弗以上を削減する
一、戰時情報局豫算五千四百十萬弗から一千二百十萬弗を削減する
一、戰時檢閲局豫算一千九百萬弗中四百八十萬弗を削減する
一、その他戰時生産局、國防運輸局、石油調整局戰時人的資源委員會、科學振興局聯邦社會保險局の六機關に對する豫算から合計約六千萬弗削減する

トルーマン攻撃さる

（リスボン三日發）ワシントン來電＝米國議會は過般來國内の食糧需給狀態に關する調査を進めてゐるが、大統領トルーマンは右調査の結果政府に不利な事實が曝露されることを恐れ、物價管理局に命じて右調査に干渉せしめたため、議會は俄然色めきトルーマンに對する猛烈な攻撃が開始されるに至つた、卽ち共和黨上院議員ムーアは三日上院において次の通り憤懣をぶちまけた

大統領が議會の調査を遲延乃至妨害するためその地位を濫用してゐることは遺憾に耐えない、事情の如何を問はず、また政府の不正乃至非能率が摘發されるやうな場合でも、事實をありのままに提示することは常に民主々義を擁護する最大の保障であつたが、今後もこれに變りはない

ラテン米洲への食糧輸出切り下げ

（ブエノスアイレス九日發）ニューヨーク來電＝ジャーナル・オブ・コンマース紙の報道によれば各家庭の食糧不足に鑑み、今回米國政府はラテン米洲への食糧輸出を大幅切り下げる豫定といはれる、從來米國はラテン米洲に對し主としてトマト、ケチャップ、コンフレーク、チョコレート等を輸出してゐた

罷業炭礦接收を命令

（リスボン三日發）ワシントン來電＝ペンシルヴアニア州の無煙炭礦夫七萬は炭坑勞働者組合長ルイスの指令に基き二日午前零時を期し一齊に罷業を開始したが、大統領トルーマンは三日戰時燃料局長官イツキーズに對し罷業炭坑の接收を命令した

【軍事情報】

巨人飛行艇の業績

（リスボン三日發）ワシントン來電＝海軍省は三十日世界最大の巨大飛行艇「マーズ」は最近軍務を解かれワシントン附近パチユクセント河の航空基地に歸還した旨發表した

グレン・マーチン社の製作せる同號は一年半にわたり主に桑港—ハワイ間の輸送任務に當つてゐたがその間の定期飛行回數一三六回、飛翔距離合計三十萬哩、輸送貨物總量二百五十萬封度、人員輸送は二千人を越えるといふ

昭和二十年五月七日(月)
第三四一四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

國際信託統治の樂屋

武井武夫

國際信託統治問題は桑港會議における重要議題の一であり、特に信託統治制度委員會まで設けられてゐる位だが、信託統治 Trusteeship といふ言葉からして既に目新しく、それがいかなる内容を有するかについてはいまだ具體的には何もしられてゐない、既に信託統治案は四月三十日夜委員會に提出されてゐるが、提案者米國の代表スタッセンが說明において

國際信託統治制度は植民地全體を戰略的地域と經濟的屬領に分つ、戰略的地域は國防上それを必要とする國家の完全な管理下におくべきである

と述べたのに對し、支那代表顧維鈞は同日午後の新聞記者團會見で

勿論信託統治制度とは委任統治制度の別名すぎず、大きくみれば舊制度に類似してゐるが實際の運營において改善を齎すことこそ我々のすべてが希望する所だ

と言明してをり、要するに信託統治案が具體的にどんな形をとるかは今後の會議で決定さるべき問題である、以下この問題に關する各國の態度を檢討して諸大國特に米英兩國の野望を剔抉解剖してみたい

△米國の提案

信託統治案が各國に齎らす影響或ひは各國のそれに對する態度、更に米國自身の内部における見解の相違等は段々に論ずるとして、まづ提案がどんなものであるかをみよう、提案の内容は二十四日米國代表上院議員アーサー・ヴアンデンバーグから發表されたが、ここではそれに關し若干の說明を加へた代表の一人上院議員トム・コナリーの言明を引用する、彼はいふ

米國代表團は全世界の會議をもつて諸條約を再檢討することこそ戰爭防止に寄與すると考へる米國代表團は近く生れる平和維持機構の全體會議をして試みに論ぜしめよと提案するか、條約の條項に戰爭の危險が認められるからといつて決して現存の條約を改訂せよといふものではない、奪回地域並びに敵領土については二種類の信託統治形式を考へてゐる、信託統治下におかれる地域のあるものは完全に一國家の管理に委ねられるかもしれない、國際機構は全信託統治領に全般的責任をとり、管理責任諸國の政府から報告を受けるのである、詳細廣範圍に亘る信託統治方式は桑港會議において起草されるであらうが、さうした委任統治を受けるべき特定領土の確定は將來の平和會議に附することが至當だと思はれる

このコナリーの說明はあまり明瞭でないが、右提案に關しサンフランシスコからのAP電報は米國政府が妥協的信託統治案の下に太平洋戰略基地の支配權を保有しようとしてゐる事實を曝露、提案者たちの言明だとして次の通り述べてゐる

國際信託統治妥協案はワシントンで作成されたその意圖は太平洋島嶼基地に對する軍事的要求を滿足せしめると同時に、信託統治領において軍事基地を要求する英國、ソ聯その他すべての國家に對し好都合なるごとき案を齎らすにあつた、この構想によれば信託統治形式には二種類なければならない、一種類の方は今回生まれるべき國際機構の信託統治委員會の視察を受け且つ委員會に報告書を提出する義務がある、他の一種類に屬する地域は安全保障地域と呼ばれる筈だがこれは受託國に絶對的に委ねられ、受託國がそこに建設した基地は國際的な監視を蒙ることはないのである

△太平洋基地に對する野望

國際信託統治案において誰の眼にも明かなことは太平洋基地を領有せんとする米國の野心であらう、妥協案であるとはいふが、相當露骨に米國海軍の野望を反映してをり會議ではかなり問題になるとみられる、海軍の基地領有熱はまた一通りのものではなく、四月中旬に元太平洋艦隊司令長官

共和黨上院議員ハートがワシントンから放送した時にも

マーシヤル諸島、カロリン諸島、マリアナ諸島のごとき島嶼の將來は正に國際機構で處理すべき問題であり、當然米國の管理下におかれなければならない

と論じてゐるが、ハートは信託統治の細かい條件については何もいつてゐない、しかし何といつても太平洋基地の問題について責任ある地位の者が重大な言明をして波紋を投げたのは米國海軍作戰部長兼聯合艦隊司令長官アーネスト・キング四月五日の聲明だ、米國の週刊「タイム」誌四月十六日號の記事によればその要旨は次の通りである

第二次世界大戰において米國武裝兵力が獲得した基地は米國武裝兵力によつて維持されなければならない、これらの環礁、これらの島港の代價は米國民の血を犧牲にして支拂ひをすましたのだといへよう、その代償は砂と岩の中から珊瑚と火山灰の中から、次の世代の米國民が提供する勞力と慧智と資本とによつて得られなければならない、米國民としても戰鬪と建設と獲得と放棄の循環を（徒らに戰ひ建設し獲得して再びそれを返して了ふといふやうなことを）いつまでも續けてゐるわけには行かないのだ、いかに米國が富めりとはいへ、數世代に亘る遺產をこんな工合に散逸させて了ふほど人的物的資源が有り餘つてゐるわけではない

「タイム」誌は米國海軍が獲得した基地としてクエゼリン、エニウエトク、サイパン、テニヤン、パラオの諸島嶼から硫黃島や沖繩まで擧げ、米國海軍が史上始めて完全な太平洋上の制海權を得たと稱へて、海軍が信託統治問題について獨自の立場を守るために戰ふ決意を示したのは當然であらうと結んでゐる

△米國內の軋轢

キングの聲明に關聯して四月七日付「デーリーメール」紙ワシントン電は米國內における見解の對立を報じてゐるが、妥協案成立の事情と米國案の運命について示唆する所が多いと思はれるので少し長いが全文を次に譯出しよう

米國は戰後大艦隊を維持し大戰中に得た太平洋諸基地を保有すべきだといふキング提督四月五日の聲明は、米國海軍當局が過去三年間國民に向つて說いてゐた見解を改めて表明したにすぎない、しかしながら、海軍が桑港會議の直前に同じ言葉を再び繰り返さなければならなかつたといふ點には興味が感じられる、卽ち米國代表團は太平洋占領基地を國際信託統治體制の一部たらしめるといふ全く反對の立場に立つ主張を支持してゐるからだ、國務省と海軍省の政策は多くの點で衝突してゐる、國務省は米國の對外關係の責任者だから、海軍の見解が國務省の政策を動かすに足るほどの有力な國內輿論に支持されない限り、海軍より自己の意見を具體化するに好都合な位置にある、占領基地問題については、國務省も大統領も國際信託統治論に贊成だ、當局者の說明によるとこれを安全保障の面からみる時は、もし米國、重慶、英國等が悉く或る島嶼基地を使ひたいと言ひ出した場合には安全保障理事會軍事委員會の指示によりその島嶼を例へば二十五年位の國際信託統治にすればよいといふのである、この場合重慶と米國と英國とは共同責任者となるわけだ、また米國だけが責任者の地位を與へられて、名儀上國際信託統治機構が責任をとるといふ場合も起り得ようだが米國の當局者はこれと逆の論を主張する傾向が強い、つまり一部の國家は現在自國に屬する戰略的地域の或るものを自發的に信託統治機構の管理に委ねてもよいのではないかといふのである、桑港會議は信託統治そのものだけを評議して、その管理下に入る地域については何の議決もしないだらうとみられる

以上の記事に見る通り海軍省の主張は米國代表團によつて默殺されさうな形勢だつたが、輿論は海軍案に對する支持が相當有力で、瑞典紙「スヴエンスカ・ダグブラデット」のニューヨーク電報によれば、四月十九日頃國務長官と陸軍長官と海軍長官の三名が大統領トルーマンと會談して米國代

昭和二十年五月七日(月)
第三四一四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

表團は太平洋諸島嶼の將來の狀態に關し米國の納認し得ざるいかなる方式をも受諾しないといふ決定に到達したといはれるが、同じ日下院では太平洋基地を保有せよと氣勢を擧げ、太平洋諸島嶼を國際機構の手に渡すことには絶體反對だとの聲が高かつたといはれる、上院でも海軍委員會は海軍省の見解を絶對に支持してゐる模樣で、二十六日には委員長ウオルシユ以下五名が海軍機でサンフランシスコに乘り込み、代表團に談判したといふ騒ぎだが、米國の提案はかうした雰圍氣の中に生れたものだけに、いかに國務省邊りが體裁を整へるために苦勞したところで、實質的に太平洋諸基地を領有したいとの野望は蔽ひ隱すべくもない、第三國筋では、もし米國が太平洋基地の獲得を主張すれば、ソ聯も萬一對日戰に參加した場合には自國沿岸に近い諸島嶼の支配權を要求するだらうし、英國乃至濠洲もガダルカナル島、タラワ島、アドミラルテイ諸島などの支配を主張するかもしれないと興味をもつて見てをり、信託統治の名案も實質的領有を認めるごとき要素を含む限り、容易には纏らないと見なければなるまい

△英國の頭痛の種

米國民は國際信託統治制度を日向水のやうに生ぬるい案だと考へてゐるらしいが、英國はまた同制度を過激極まる暴論だと考へてゐるらしい、その理由はといふに、米英兩國共に大西洋憲章の建前からいつて、植民地住民の生活向上とか政治的自由とかを表看板にしなければならないため、特別の理由がない限り植民地の信託統治を拒否することが出來ないが、資源の豐富な米國の要求が主として戰略的基地に存するのに反し、英國の方は植民地を經濟的に支配しなければやつて行けない植民地帝國なのだ、從つて英國では信託統治は無理だから諸問委員會形式の干渉に止めた方がいいといふ及び腰の妥協案さへ生れてゐる、とにかく桑港會議における英國の最大關心は植民地問題でもし既得植民地に對する支配權を新國際機構のために奪はれるやうなことがあれば泣いても泣ききれまい、桑港會議については四月二十三日の「デーリー・スケツチ」紙サンフランシスコ電が次のごとく觀測を下してゐる

桑港會議は恐らく植民地住民の統治における手引きとなる「植民地法」を何らかの形式において創設するだらう、法典の目的は植民地の經濟的社會的條件の改善にある、新國際機構は植民地の視察を行ひ、法典の遵守狀態を監督するための植民地局を設置しさうだ、大概の植民地の領有權は恐らく戰前の反樞軸側領有國にそのまま與へられるだらう、但し米國は戰爭中に米國東海岸沖の英領諸島嶼に建設された諸基地を戰後も保持し、英國軍とともに占有することと豫想される、この取極めはお互ひの利益となるにちがひない、會議地の空氣は米國が日本領太平洋諸島嶼に對する領有權を得るものと認めてゐるが、委任統治領については形式上反樞軸國全體に引き渡し、管理權は最も利害關係の深い加盟國の手に委ねるといふ提案が出てゐる、さうなると濠洲はアジアからの侵攻に對する絶好の防壁とするニューギニア委任統治領を失ふことになるので、この提案には多分反對するだらう英國としてもニューギニアがあるからこそ濠洲海岸線附近にある重要な領土を早急には失はないで濟むわけなのである

崩壞し行く英帝國の主英國として植民地問題の成行は、確かに心配だらう戰後の植民地問題については「エコノミスト」誌が相當力を入れて研究してゐるが、その重要なものは本通信「資料」欄に蒐錄されてゐるから參照して頂きたい、ここには同誌四月七日號より「領土の信託統治」と題する一文を譯出する、英國の代表的雜誌「エコノミスト」誌の論文が英國の有力な意見を代表するものであることはいふまでもない

△國際關係惡化の萠芽

桑港會議において委任統治領の支配に關する一般原則について何らかの決定をみるだらうことは今や全く明瞭である、國務長官ステチニアスは最近次のごとき事實を認めてゐる

ワシントンにおける四國豫備會談は國際組織

の一部としての信託統治機構に關する提案を方式化するだらう、この機構の下には前大戰後統治を委任されたる諸領土、今次大戰において敵國より奪取し後日協定が成立しさうな諸領土並びに自發的に信託統治に委ねられるごとき諸領土が含まれる

注目されるのは、諸植民地の全般的國際統制について一言も述べられてゐないことだ、米國民が英國の「帝國主義」について何といはうとも、米國々務省には國際會議で問題を起すやうな火惡戲をする氣は毛頭ないらしい、チヤーチル首相も英國議會で質問に應へ

英國の植民地に影響を及ぼすやうな問題は一切サンフランシスコでは論じられないとはつきり言明してゐるが、ステチニアスの言によれば、特定の領土に關する論議も行はれない筈だといはれる、換言すれば、組織の青寫眞を作るだけで、要するに舊委任統治制度を再檢討し安全辨を設けるだけの話だ、どこの國の政府も、國際聯盟より委任統治領として預つてゐる以外の領土を國際的機關の監督下におくといふことをあらかじめ約束するといふやうな將來の責任を認めることはなく、又あつてはならない、しかしながら一般原則としては、受託國に對する國際組織の權力を增大しようといふ傾向がかなり强くなるとは考へられる、新制度にみられさうな改善の一つは、國際機構の委員會と委任統治領住民との間に一層自由且つ直接的な接觸が許されるといふことであらう、濠洲の外相エヴアットは自治領會議のためロンドンに滯在中

もし惡政の事實が國際法廷において立證された時には委任統治領の受託權を取り上げるだけの權力が、國際機構當局には與へられなければならない

と述べてゐる、住民の諸問題を十分に取り上げることが出來るのは、植民地保有諸國を無理に監督して權威の分裂を來したり國際關係を惡化したりするより、寧ろエヴアットの言ふやうな方法によつてであらう

資料

「バルカンの混亂」

「エコノミスト」紙三月十日號

ユーゴスラヴイアに點在するドイツ軍のポケツト陣地を除いては歐洲東南部はほとんど解放された、しかしながらバルカン諸國並びにダニューブ盆地の政治情勢は軍事情勢に比較すれば甚だ滿足出來ぬものがある、內亂といひ民族鬪爭といふも皆何らかの點で聯合大國間の關係に繫りをもつてゐるのだ、相も變らぬバルカン問題は極く一部だけ新しい衣裳を纏つて再び現れ國際的の紛爭をまきおこさうとしてゐる、特に顯著な點は政府の不安定だ

△各國の政治情勢

ルーマニアではほぼ一月に亘つた內政上の危機はラデスコ將軍の罷免とグローザ新內閣の成立によつて終りを告げたが、ラデスコ內閣の生命は僅かに二ケ月に充たず、これに先立つてサナテスコ將軍が二度組閣したが、これも同樣の短命に終つた、新內閣はルーマニア左翼並びにソ聯の壓迫で成立したものだ、かうした政治危機のとば散りで從來左翼の目こぼしをうけてゐた王制は國民々主主義戰線の攻擊を浴びたが國王ミハイはさしあたり左翼と提携して面子も王座も救つた模樣だ、新首相グローザは前農民黨の左派耕作者聯盟の首領である、內相は共產黨黨首ゲオルゲスコ、前首相の敵手ラスカウヌは陸軍大臣に任命された、マニューの農民黨はラデスコ內閣に右翼少數派の二、三をだしたのみであつたが現內閣では全然おきざりをくつた形でグラチアヌの率ゐる自由黨分派も同樣入閣してゐない、だがグローザは他の自由黨の協力を得るに成功した、卽ち戰前聯合軍の忠實な支持者として聞えた元首相タタレスコの黨派でタタレスコ自身新內閣の副首相となつた、この政治危機の結果は左右兩派間の對立激化と政府內部における共產黨勢力の增大を明瞭に反映してゐる但し新聯立內閣が前の諸內閣にまさつて强力であるか永續するかは今後の事態によつて判斷する他はない

昭和二十年五月七日(月)
第三四一四號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ユーゴスラヴイアでは攝政府の設定を續る國王對チトーの紛爭は攝政ブヂサヴレヴイツチ（セルビア）マンデイツチ（クロアート）セルネツチ（スロヴエーヌ）の三名の任命により島がついた、攝政はチトーを首相に任命したがチトーのユーゴ國民解放委員會がセルビアからうけた支援はごく限られたものであり、クロアート並びにスロヴエーヌにおけるチトーの同志は確かに有力だが、これまた限られた數であることは別に秘密でない、チトー政府が彼の國民解放委員會よりも多くの支持を受けるかどうかは新ユーゴスラヴイア政府が廣い基礎の上に据えられてゐるかどうかに懸つてゐる、クリミヤ協定によれば從來の「スクープチーナ」（ユーゴ國會）の代議士ほぼ百名が新政體の立法機關「アヴノイ」に吸收されるが、これらはドイツに協力しなかつた議員達の中から互選されることになつてゐる、但しこれとても解釋次第だそれに最後の「スクープチーナ」はストヤヂノヴイツチ內閣當時に政府公認の候補者には馬鹿げた程少い投票數で議席をあたへるが、反對黨の議會指導者には獲得した票數如何にかかはらず閉め出しをくはせるといふ少々奇妙な選擧法により選擧されたものである、從つてこれら議會人の道義的權威は非常に高かつたとは言ひがたく、また新政權に對しても大して力をもつてゐない

ギリシヤのブラスチラス政權の立場も同樣鞏固とはいひがたい、EAM團がヴアルキザ協定を履行し、エラス兵團は武器をおき、團員の引渡した小銃の總數は約定した數より數千挺も多かつたことは事實だが、內亂の結果、王黨派の宣傳が多分の效果をあげ、攝政の言によれば最近サロニカへ旅行を試みたところ王黨派のスローガンを口々に叫ぶ人の群で進むのも容易ではなかつたといふことだ、もしも國民投票が國王に有利に終るならば終始一貫共和主義的經歷を有するブラスチラスは現職に留まることはあるまい、また王黨派が勝利を得れば彼の政府の承認することはなからうが今までのところプラスチラスは敗北した左翼との和解に絕えざる努力をはらつたとは見なしがたい、他方EAM團に對する報復は依然として續き、EAM團に忠實であつたアテネ大學の教授達は一齊に免職になつたといふやうな例もある

バルカンでまだ政治的危機に直面しない政府といへばハンガリーのミクロシユ大將の政府だけだがハンガリーは今なほ戰火の巷と化してをり、政治的問題はまだ表面化してこない、バルカンにおける國家主義運動は殆んど全部のバルカン諸國政權のいろんな領土要求に反映してゐる、たとへば「大ギリシヤ」運動は盛んに進行してゐるが攝政ダマスキノス大主教の最近の「北部」訪問を好機として盲目的な愛國者達は猛烈な示威運動を行ひ「五十五年間ブルガリアを占領せよ」とか「ソフイアまで！　ソフイアまで！」「ストルマ河のかなたに國境線を」等々のスローガンをかかげて町を練り歩いたといふ

トルコの參戰によりドデカネーゼ諸島の問題が表面化した、ギリシヤはトルコが反樞軸の一國として平和會議でドデカネーゼ諸島を要求する地位を得ることとならうといふので心配してゐるがアルバニア南部を要求するギリシヤの聲も著しく高まりギリシヤ政府は無謀にも隣接諸國全體との領土爭奪戰の只中へとびこんだ

新ユーゴスラヴイアはイタリアに對しては國家主義的態度を示し——イタリアからトリエストをもらひたいのだ——ブルガリアに對しては國際的といふよりは寧ろスラヴ嫌ひといつた態度をみせてをりブルガリアとの間には不思議におだやかに和解ができた模樣だ、ブルガリア人はユーゴスラヴイア聯邦內でマケドニアに自治を許す計畫を承認したらしいが、ソ聯の力でエーゲ海への出口を手に入れるといふ望みを全然すてたわけではない

ルーマニアは休戰條約に基き當然自分のものになる筈のトランシルヴアニアの行政權をまだハンガリーが引渡さぬので失望してゐるがそのルーマニアがトランシルヴアニアでハンガリー人の殺戮を開始したことで、それ故領土の變更は一應事態がおちつくまで延期するほかはないといふのだ、いづれにしてもソ聯がハンガリーにお禮として問題の土地の一部をあたへ他の一部をルーマニアにあたへることを望んでるといふことは有り得ぬことでない、但し北部ドブルージヤが結局誰の手に落ちるかは未だ豫測できないが今のところブルガリアが統治してゐるやうだ

△バルカン紛爭の特徴

典型的なバルカン紛爭の厄介な特徴といふべきものは、地方指導者、將軍、首領達が明らかに聯合大國間に爭ひがおこつてくれれば、自分達の主張に好都合だがと待ち望んでゐるといふ點にあり左翼はソ聯に援助を求め、右翼は西歐諸強國の干渉に望みをつなぐといふ情勢がおこつてくるのは當然だ、漠然とした政治的驅引は一番グロテスクな考へ方だ、ギリシヤで戰ひが行はれてゐる時に極右翼は英ソ兩國の間の武力衝突の機が迫つたと噂してゐたが、かうした流言戰術によりソフイアの極端な「スラヴ嫌ひ」共は一時は確かに意氣を盛りかへし、大ブルガリア建設の夢を捨て難く思ふやうになつた、共產黨は勿論、親ソ派の筆頭だが、ルーマニアのマニユーとブラチアノは一般に親英派と目されてゐる、相繼ぐ內閣の更迭はこの二派の抗爭によるものとみてよい、現在における諸大國の政策がかうした解釋に色彩を施してゐることはなんとして否定出來ない

第一次大戰の結果、バルカン諸國には、海上冒險と小競合とが續いたが、今次大戰も同樣の結果をうみ、諸國は恐らく平和會議までまつことなく互ひに自己の領土の擴大をはかるだらう、同樣に各政黨は左翼たると右翼たるとを問はず反樞軸大國の對立から利益を引き出さうとするため現在の無秩序狀態を愈々甚化させる傾きがある

桑港會議の構成

桑港會議當局は二日桑港會議の構成を次の通り發表した

一、一般規約委員會

委員長　ベルギー
報告委員　フイリピン
書記　レバノン

イ、前文、目的及び原則起草委員會

委員長　シリア

ロ、加盟國決定その他一般事項關係委員會

委員長　コスタリカ
報告委員（加盟國關係）ハイチ
同右　（一般事項關係）サウヂ・アラビア

二、總會委員會

委員長　南阿聯邦
報告委員　パナマ
書記　リベリア

イ、機構並びに手續委員會

委員長　トルコ
報告委員　白ロシア共和國

ロ、政治安全保障委員會

委員長　ボリヴイア
報告委員　ドミニカ共和國

ハ、經濟社會協力委員會

委員長　印度
報告委員　グワテマラ

ニ、信託統治制度委員會

委員長　ニユージーランド
報告委員　ルクセンブルグ

三、安全保障理事會委員會

委員長　ノルウエー
報告委員　パラグアイ
書記　ホンヂユラス

イ、機構並びに手續委員會

委員長　ギリシヤ
報告委員　エル・サルバドル

ロ、國際紛爭平和的處理委員會

委員長　ウルグアイ
報告委員　ソ聯

ハ、強制調停委員會

委員長　エクアドル
報告委員　フランス

ニ、地域別處理委員會

委員長　コロンビア
報告委員　重慶政權

四、國際司法委員會

委員長　ヴエネズエラ
報告委員　未定
書記　エチオピア

イ、國際司法裁判書委員會

委員長　ペルー
報告委員　イラク

ロ、法律問題委員會

委員長　エジプト
報告委員　ニカラグア

昭和二十年五月八日(火)
第三四一五號
同盟通信
海外電報
(103)
(大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社)

世界の焦點

ポーランド問題は遂に爆發した、桑港會議が始る前から、米英ソ三國の外相は殆ど連日協議を重ねたが、先づワルシヤワ政權招請案で縺れ、ポーランド要人逮捕問題で交渉は遂に決裂に瀕するに至つたのである、ワルシヤワ政權の招請については、ソヴエト政府は會議前定に百戰錬磨の米英兩國代表に簡單にしてやられた形だが、要人逮捕については「赤軍の作戰行動について牽制行動に出たから」との理由で頑として釋放要求に應じないステチニアス國務長官が五日夜サンフランシスコでの記者團會見で言明したところによれば、米英兩國政府は一ケ月も前から、事情の說明を求め、少くとも要人の姓名だけでも教へて貰ひたいと申し入れたが、五日夜モロトフ外務人民委員が本國からの訓令に基いて答へた回答は、正に木で鼻をくくつたやうな御挨拶だ、ソヴエト政府に對しては「溫良恭儉讓」猫のごときイーデン外相も——勿論歐洲戰爭が略々片付いたといふ冷靜な打算も手傳つて——憤然記者團を集め、事態は「極めて重大だ」と、外交辭令としては、最大級の言葉を弄してゐる、ステチニアス國務長官の會見にはワルシヤワ政權の御用通信社から特派員が出た樣子だが、國務長官が「ポーランドの民主々義要人」といつたのに對し、ピンチク君は「なかにはファシスト乃至半ファシストも入つてゐるのではないか」と野次つてゐる、結局米英兩國代表としては、こんな挨拶では今後交涉は續けられないから「十分な說明」を求め、目下モロトフ外務人民委員がソヴエト政府卽ちスターリン議長に請訓してゐるところだ、他にダンバートン・オークス案に關しても、新平和機構の理事會に關する衞星代表の地域別選定並びに國際條約の改訂について修正案が出來たが、これまたクレムリン宮の訓令を仰がねば極らない、四十六ケ國二百餘名の代表團も、遂に實力を背景とするクレムリン宮の執政に如かぬのが、マハト・ポリテークの實狀だ

【目　次】

伯林の秩序回復……一一三六
赤軍ドイツ人を市長に任命……〃
コーネフ、ブラドレー會見……〃
ラヴアル首相引渡し言明……〃
要人續々釋放さる……〃
日本外交官瑞典着……〃
亡命ポーランド政權も聲明……〃
米英ソ外相會談決裂す……一一三七
タス通信社の發表……〃
波要人逮捕事件の背後……〃
タス英國側報道を非難……一一三八
五ケ國代表會談……〃
英領は絕對確保……〃
濠洲代表米國案を支持……〃
【英　帝　國】
ガンジー翁の引退要望の聲昂まる……〃
東亞の聲を聞け……一一三九
印度獨立の烽火……〃
ウエーヴエルの歸任日取不明……〃
オーヒンレツク歸國……〃
【ド　イ　ツ】
唯一の目的はソ聯との戰ひ……一一四〇
G集團軍も無條件降伏……〃
西北部獨軍代表はフリードブルグ元帥〃
丁抗戰集團を反樞軸軍の麾下に……〃
和蘭、丁抹の戰鬪終了……〃
駐丁公使も降伏……〃
プラーグで反獨暴動……一一四一
ル元帥獨の敗因を說く……〃
【歐　洲】
佛政權ラヴアルの引渡要求……〃
デンマーク新政權成立……〃
波假政府改造……〃
元波總督逮捕……〃
【特　輯】
波問題の新局面……一一四二
【資　料】
國際安全保障機構への新提案……一一四七
米國勞働憲章……一一五〇

伯林の秩序回復

（ストツクホルム六日發）ロイター通信モスクワ特派員ダンカン・フーパーはベルリン市内には既に秩序が回復した旨六日次の通り報じてゐる
ベルリン市間には赤軍の鐵の如き秩序が確立された、ドイツ人は赤軍司令部が壁の上に貼つた布告の周りに集つて、彼ら何をなすべきかを讀んでをり、勞働者、役人、技術者達は早くも仕事を割當てられ、赤軍の命令に基いて再建に着手し始めた、赤軍の將軍達はさきにベルリン守備隊の破摧を計畫した時と同樣の精力を傾けて、戰火による破壞物の除去、民衆の登錄、配給カードの發行、食糧供給の確保等の諸問題ととり組んでゐる」

赤軍ドイツ人を市長に任命

（ストツクホルム四日發）赤軍はベルリン完全占領と共に早くもドイツに對する行政措置を開始した模樣で、モスクワ來電によれば「イズヴエスチヤ」紙は四日の紙上で次の通り報道してゐる
ベルリン郊外フリードリヒスブルグ駐屯赤軍司令官はポール・ライケ氏を同市の市長に任命した、ライケ氏は一九〇七年から一九三四年まで同市の市長を勤めた人物で、現在如何なる政黨にも關與してゐない

コーネフ、プラドレー會見

（チユーリツヒ六日發）ベルリン來電＝米第十二集團軍司令官ブラドレーは五日ベルリン周邊の赤軍司令部において、第一ウクライナ戰線軍司令官コーネフ元帥と會見、勳章を贈與した

ラヴアル首相引渡しを言明

（リスボン六日發）マドリード來電＝スペイン外相ホセ・レケリカ氏は六日記者團との會見でフランス首相ピエル・ラヴアル氏を聯合國に引渡す旨言明した

要人續々釋放さる

（ストツクホルム六日發）前線報道によれば米軍第三十六師の二個大隊はオーストリア國内に進撃して、フランス元首相エドアール・ダラディエ、ポール・レーノー、元參謀總長ガムラン、ウエーガン兩將軍、勞働組合首領レオン・ジユーオー、社會黨領袖フランソア・ド・ラ・ロシユ「火の十字團」首領ド・ラ・ロツク大佐、庭球選手ジヤン・ボロトラ、昨秋のワルシヤワ蜂起軍の首領ボール將軍等を釋放したと傳へられる、また米第五軍はブレンネル峠附近において元オーストリア宰相フオン・シユシユニグ夫妻、元フランス首相レオン・ブルーム、ルーテル派牧師マルチン・ニーメーラー等を釋放したといはれる、またフランス第一軍は南獨で前駐伊佛大使ポンセ、元佛首相サローを釋放したといはれる

日本外交官瑞典着

（チユーリツヒ五日發）スエーデン放送によればドイツの補助艇一隻が五日朝スエーデン南端のマルメー港に入港、十五名の日本外交官を上陸させたといはれる、但し一行の氏名は判明しない

亡命ポーランド政權も聲明

（ストツクホルム六日發）ロンドン來電＝亡命ポーランド政權は六日夜次の聲明を發表した（次頁サンフランシスコ電參照）
「ソヴエト政府はポーランド要人が赤軍の行動を妨害したため逮捕した旨發表したが、かかる非難は全く捏造である、赤軍のピメネフ大佐はこれら要人に對し赤軍のイワノフ大將と會談するやう要請した際、軍人としての名譽に賭けて要人の生命安全を保障した、更に副首相ヤンコウスキーの要望に基きピメネフ大佐は上官と相談した後、これら要人に對して飛行機を提供し、ロンドンで亡命政權と協議させる旨嚴肅に公約した、これら要人はドイツ軍の占領下に本國に踏み止り、ポーランド地下運動を指導し、一切の機構と闘爭とを組織した、ソヴエト政府の否定にも拘らず、ポーランド國内の政治的社會的指導者は引き續き逮捕されてをり、現に農民黨領袖として數次の内閣に列したウラデスプラウ・キエルニクも最近逮捕されてゐる有樣である」

昭和二十年五月八日(火)
第三四一五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

米英ソ外相會談決裂す

(リスボン五日發)サンフランシスコ來電＝桑港會議英國代表部は五日次の聲明を發表した

米英兩國政府はポーランド問題に關するソヴエト政府との會談續行を拒否した、卽ちモロトフ外務人民委員はイーデン及びステチニアスに對して、過般行方不明となつた十六名のポーランド要人はソヴエト當局によつて逮捕されてゐる旨を明らかにし、これに對し米英兩國代表は直ちにモロトフ氏に、米英兩國は桑港會議ではポーランド問題につき最早や會談を續けることが出來ない旨通告した、右十六名のポーランド民主々義政治家達は、三月末ポーランドにある赤軍當局との交渉が傳へられて以來、杳として消息を絶ち、米英兩國政府は以來ソヴエト政府に對して再三その安否を照會したが、モロトフ氏は今回ソヴエト政府の名において正式にこれ等の政治的指導者達が赤軍に對し有害な行動をとつたとの廉で全部逮捕した旨通告し來つた、イーデン及びステチニアスはモロトフ氏に對してこの最も不穩な事件が非常に遲れて通告されたことについて遺憾の意を表すると共に、ソヴエト政府によるポーランド要人逮捕に關する完全な說明、捕逮要人氏名錄の提供並びに彼等の現在の所在を明らかにするやう要求した、一方イーデンはこの最も重大な事態の展開を英本國政府に詳細報告した

英國代表部の右聲明に引續き、ステチニアスも新聞記者團に次の通り言明した

米國代表もソヴエト政府に對しポーランド要人逮捕に對する完全な說明を要求した、ソヴエト政府から回答がくるまでポーランド問題に關する米英ソ會談は再開出來ない、この憂ふべき新事態がポーランド問題解決の努力に直接重大な影響を與へることはたしかである

記者團から出た

逮捕された者のうちにはフアシストもゐるのではないか

との質問に對して、ステチニアスは

要人連のうちに民主々義者のゐることは確かだと答へた

タス通信社の發表

(ストツクホルム五日發)モスクワ放送によればタス通信社は五日ポーランド要人の逮捕に關し次の通り發表したといはれる

赤軍當局はポーランド要人十六名を逮捕した、逮捕の理由として彼らは赤軍の後方地區において赤軍に有害な行動を企圖し、この結果赤軍將兵で命を失つたものが百名以上に及んだ、彼らはまた赤軍占領地域内で非合法的に無電設備を行ひその放送を續けた、ソヴエト當局は調査の後これら要人の全部乃至は一部を裁判に付するであらう

波要人逮捕の事件の背後

(リスボン五日發)從來殆どあらゆる問題でソ聯に讓歩してゐた米英も、ポーランド要人逮捕事件によつて、遂にポーランド問題解決の匙を投げたが、その背後事情につき五日のロイター通信サンフランシスコ電は次の通り傳へてゐる

「米英兩國の代表部筋の漏らすところによると、逮捕されたポーランド要人のうちにはクリミヤ會談で決定されたポーランド統合政權において重大な役割を演ずることになつてゐた者も含まれてゐる、卽ちこれ等要人のうちにはポーランドのキリスト勞働農民黨、國民々主黨代表者並びにドイツ軍ポーランド占領の全期間を通じ活潑な地下運動を續けたポーランド亡命政權の本國會議所屬の三閣僚も含まれてゐるやうだ、三月末ジューコフ元帥の代理イヴアノフ大將の招請に應じソヴエト當局と會談すべく最初ポーランド要人三名がプルスコウに赴いたが、この三名が歸つて來ないので他の要人連もプルスコウに赴いた、またポーランド元首相ウイトスも某所に連行されたが、モロトフ氏はイーデン、ステチニアスに對し彼のみは旣に釋放された旨通告した模樣だ」

タス英國側報道を非難

（ストツクホルム五日發）モスクワ放送によればタス通信社はポーランド要人逮捕問題に關する英國の態度を攻撃、次の通り述べたといはれる

逮捕されたポーランド要人の首魁は有名なファシスト的軍人オクリツキーだが、英國の報道機關は彼もまた逮捕された要人の中に加はつてゐることを傳へるとその立場が不利になるので、卑劣にも故意に彼の名前をあげることを差支へてゐる、一方二日の英國下院では赤軍がセドリツクでポーランド人を銃殺虐殺したといふ途方もないことが問題となつたが、かかる報道は徹頭徹尾虚僞であり、多分在英ポーランド亡命政權の策動によるものだらう、ポーランド元首相ウイトスに關する逮捕説も嘘である

五ケ國代表會談

（リスボン三日發）サンフランシスコ來電＝米英ソ佛重慶五ケ國の代表は、三日夕米國代表スタツセンを議長として會議を開催、國際信託統治問題に關する協議を續行した、これは、若し可能ならば討議を完了して、安全保障會議本會議への提案を起草するためで、會談が四日夜半までに終了しなければ、五ケ國一致した提案の成立は難かしいとみられる

英領は絶對確保

（リスボン四日發）桑港會議は近く信託委任統治制問題の審議に入る模様だが、サンフランシスコ來電によれば英國代表クランボーンは四日新聞記者團と會見してこの問題に對する英國の態度を闡明、次の通り言明した

英國政府は現在の英國植民地並びに委任統治領に變更を加へるやうな如何なる信託委任統治體制にも斷乎反對する、信託委任統治制の目的に對する米英兩國の見解は大體同一線上にあるがしかし具體的な問題になると大いに相違してゐる、如何なる領土といへども領有國の同意なくして信託統治下に編入さるべきでなく例へば英佛兩國政府の同意を得ずして佛領印度支那或ひはマライ等に信託統治制を適用してはならない

濠洲代表米國案を支持

（リスボン四日發）サンランシスコ來電＝桑港會議米國代表は信託委任統治制問題が會議に上程された場合、戰略的に重要な太平洋各島嶼を米國の支配下におくことを斷乎主張する態度を明らかにしてゐるが、濠洲代表エヴアツトは四日の新聞記者團會見で濠洲が米國の主張を支持する方針なることを明らかにした

英帝國ガンジー翁の引退要望の聲昂る

（リスボン五日發）印度政情の行詰り打開のため現在逮捕されてゐる會議派領袖を釋放せよとの要求は英國及び印度内において昂まりつつあるが、同時にガンジー翁の政界引退を要望する機運が濃化してゐるのは注目され、特に桑港會議印度代表フイロツ・カーン・ヌーンが四月三日記者團との會談において「ガンジーの遣り方は最早時代遲れであり、印度國家主義運動の指導者の地位はジヤワハラル・ネールへ讓らるべきだ」と公言したため各方面に非常な反響を抱き起してゐるといはれる、ロンドン來電によれば英國勞働黨において最も有力な印度獨立運動支持者であるアヌーリン・ベヴアンは「多くの者がカンジー翁の遣り方をもつて神祕的だとするのは單に翁が現實感を有してゐないだけでなく、ガンジー翁が屢々言葉を誤聞するのも彼の世界情勢に對する斜視的態度の結果なのだ」と述べ、また勞働黨のシルヴアーマンは「印度國家主義運動の指導權をどうするかは全く印度往年の問題なのだが、然しネールの方がより現實主義的政治家であることは事實だ」としてフイロツ・カーンの意見に全幅贊成の意を表明し、また五日勞働黨のシンウエルも「もしガンジー翁が退いてより若い人達に活躍させるならば彼は印度問題の解決に偉大な役割を果たすことにならう」と言明したといはれる、一方印度問題の反響は未だ明かでないが、ボンベイ來電によれば五日當のガンヂー翁は「フイロツ・カーンは余がネールを後繼者と呼んでゐることを知るべきだ、余とネールとは友人であつて決して競爭相手ではない、フイロツ・カーンはよろしく英國政府にネールその他の釋放を要望すべきだ」との聲明を發したと傳へらる

昭和二十年五月八日(火)
第三四一五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

東亞の聲を聞け
＝會議派代表の覺書＝

(リスボン四日發)サンフランシスコ來電＝印度獨立運動の代表會議派領袖パンデト・ジヤワハラン・ネールの妹ヴイシヤヤ・ラクシミ・パンデト女史は、四日サンフランシスコにおいて次の覺書を發表した

「ソヴエト代表モロトフ外務人民委員は四月三十日新聞會見で「今回の會議には印度代表が出席してゐる、印度は獨立國ではないが獨立した印度の聲が聞かれる日が必ず到來するだらうとは萬人の均しく認めるところである、しかし印度の地位が不完全であつても印度代表が今回の會議に招請さるべきだとの英國政府の見解に同意する」と述べたが、會議招請國の首席代表が右の事實を認めた以上、今回の會議こそ印度の問題について會議の注意を喚起する絶好の機會と信ずる、印度問題こそは會議の希望が據つて立つ諸原則の試金石であり、戰後各國間の永續的協調に對する脅威だからである、印度は今日約四億の民を擁し、殆ど歐洲大陸に匹敵する地理的領域を占めてゐる、從つて各種の種族的宗教的文化的集團から成つてゐるのは當然だが、しかも印度は依然として地理的文化的經濟的一單位である、さらに印度は現存する最も古い文明を代表し、數世紀の久しきに亘つて文化の中心であつた、然るに今日印度は英國の屬領に過ぎず、國民政府もなく國旗もなく、主人公英國の傭ひ乃至任命する以外國際團體に國民代表も外交交換もない、かかる事態は獨り印度に對する重大な道義的政治的不正たるに止まらず、桑港會議が主權國の代表から成るといふ主張を一片の笑柄と化するであらう、人類の五分の一の榮譽と自由と平和と進歩とを阻害するかかる事態をそのまま放任することは、桑港會議招請の趣旨に背馳し會議の企圖する世界新秩序の構想とも相容れないモロトフ外務人民委員は「獨立印度の聲がきかれる日が到來するだらう」と述べてゐるが、かかる聲が今日きかれてはいかんといふのは何故であらうか、印度民衆を代表する印度國民會議派は、終始一貫、フアシズム、ナチズム並びに帝國主義に反對して來た、今やフアシズムとナチズムとは清算され、獨り殘るは帝國主義だけである、帝國主義とは一國が他國によつて壓迫され支配され搾取される體制の謂である」

印度獨立の烽火

(モスクワ四日發)印度獨立運動の代表は桑港會議を機會に英國の壓制を糾彈する猛運動を起してゐるが、ソヴエト代表モロトフ外務人民委員會が四月三十日記者團との會見において「獨立印度の聲が聞かれる日の到來することを確信する」と述べた結果、右運動は一段と拍車を懸けられるに至つた、「イズヴエスチヤ」紙のサンフランシスコ特派員は四日會議を繞る印度獨立運動の樣相について次の通り報道してゐる

印度國民解放委員會は「印度のための自由」といふ標語のもとにサンフランシスコ市の各大會堂で連日大會を開催、辯士は桑港會議に對する公式代表が決して廣汎な印度民衆の利益並びに見解を代表してゐない旨を痛烈に糾彈して非常な人氣を集めてゐる、聽衆の樣子から判斷すると米國人の各階層を網羅してゐるが、いづれも熱心に傾聽し、印度の完全な解放、米印兩國の接近を主張する辯士に拍手を送つてゐる

ウエーヴエルの歸任日取不明

(ストツクホルム四日發)ロンドン來電＝英國政府筋の言明によれば現在歸國中の印度總督ウエーヴエルの歸任については未だに日取りの決定さへ見てゐないといはれる、從つて彼の英國出發に關する各種情報は一切根據がない、ウエーヴエルは依然總督として英國における公務さへすめば印度に歸任するが、それまでは日取の決定は不可能な狀態にある

オーヒンレツク歸國

(ストツクホルム四日發)ロンドン來電＝印度軍司令官陸軍大將オーヒンレツクは三日夜ロンドンに到着した

【ドイツ】

唯一の目的はソ聯との戰ひ

（ストツクホルム五日發）デーニツツ總統は五日ドイツ中央南部及び東南部各集團軍將兵に對し、ラジオを通じて次の通り呼びかけた

ドイツ北部、西部並びに南部におけるドイツ軍は榮譽ある戰鬪を續けた後、米英軍に對する戰鬪が無意味となつたため個々に武器をおいた、われわれが依然として戰はねばならぬ唯一の目的は、出來るだけ多數のドイツ國民をボルシエヴイキ化と奴隷化から救ふにある、これこそ諸士の神聖な任務であり、諸士はこの任務を完遂せねばならぬし、故ヒトラー總統の精神を體しドイツ國民の運命を護るために必ずやこの任務を完遂することを余は信じて疑はない、しかしながら自己一身の安全を圖り、所屬部隊のみの安泰を考慮する者は社會全體の救濟を不可能ならしめる、かかる者はドイツ國民に對する裏切者であるが故に、裏切者として扱はれるであらう、今や常にも增して必要とされるものは鐵の軍紀に對する無條件服從であり萬人の一致協力である

G集團も無條件降伏

（チユーリツヒ五日發）パリ來電＝歐洲侵攻反樞軸軍最高司令部は五日次の通り發表した

一、第六集團軍司令官デヴアースからの本日午後の報告によればシユルツ將軍麾下ドイツ軍G集團軍は第六集團軍に對して降伏した

一、右降服の效力發生は六日正午なるも敵味方とも放送をもつて戰線における敵對行爲の終了を聲明せる點よりみて、以後生命の犧牲はあるまいとみられる

一、これは戰場の降伏である

右降伏がデヴアースの許に申入れられたのはデンマーク、オランダ、獨西北部におけるドイツ軍の降伏の發效から十二時間の後で、シユルツ將軍の麾下には獨第一軍、第七軍、第十九軍が屬してゐる、このG集團軍は從來ケツセルリング元帥を司令官とし、チエコスロヴアキア、オーストリア、バワリア方面にあり、第一軍は米第三軍並びに第一軍に對時し、第七軍は米第三軍の前面を支へ、第十九軍は第七軍の一部と共にインスブルツクからスヰス國境までの地區を守つてゐた、發表にケツセルリング元帥の名をみないことは注目される

西北部獨軍代表はフリードブルク元帥

（ストツクホルム四日發）ロンドン來電によればデンマーク、オランダ、ドイツ西北部におけるドイツ軍百萬の降伏文書調印は、四日午前八時反樞軸第二十一集團軍野戰本部において反樞軸軍側アイゼンハワーを代表するモントゴメリーと、ドイツ軍代表フオン・フリードブルク海軍元帥との間に行はれたといはれる、フオン・フリードブルク元帥はデーニツツ元帥の總統就任に伴ひ海軍總司令官に任命されたもので、同時に陸軍大將の位階をも有してゐる、調印は僅か五分間で終了し、ドイツ軍百萬の運命は反樞軸軍の手に委ねられた

丁抗戰集團を反樞軸軍の麾下に

（ストツクホルム五日發）コペンハーゲン來電＝反樞軸軍歐洲最高司令官アイゼンハワーは五日デンマーク軍司令中將エペ・ゴルツをデンマーク抗戰集團司令に任命、同時にドイツ軍との衝突は絕對に避けて反樞軸軍のデンマーク到着まで國內の秩序を維持するやう指令した

和蘭、丁抹の戰鬪終了

（チユーリツヒ五日發）パリ來電＝アイゼンハワー司令部は五日次の通り發表した

「ドイツ西北部、オランダ、デンマーク、フリジア諸島へリゴランドにおける戰鬪行爲は五日午前八時（グリニツチ標準時午前六時）終了した、右は四日モントゴメリー司令部で調印された以上各地區におけるドイツ軍の武裝軍全部の無條件降伏に關する停戰協定に基くものである」

駐丁公使も降伏

（ストツクホルム五日發）コペンハーゲン來電＝デンマーク駐劄ドイツ公使ウエルナー・ベスト氏は降伏を申出たといはれる

昭和二十年五月八日(火)
第三四一五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

プラーグで反獨暴動

(チューリツヒ五日發)=ドイツ軍のプラーグ無防備都市宣言に引續いてチエツコスロヴアキア國民解放軍は一齊に對獨武裝蜂起し、目下ドイツ軍と戰闘中の樣子だ、五日プラーグ放送は「チエツコスロヴアキアの全將兵、警官隊並びに一般市民は放送局に集合せよ」と呼びかけ、プラーグ放送局が蜂起軍の手中に歸したことを示唆したが、チエツコ解放軍の武裝蜂起は直ちにドイツ軍によつて下火になつたと見え、次いで同夜のプラーグ放送は英語で「ドイツ軍の戰闘隊はチエツコ軍に向つて殺到してをり、われわれは空中から援助を待つ」と救助を請ひ、更にこれに呼應してロンドンのチエツコ亡命政權放送はヒユーベルト外國通商相の名をもつて全チエツコ國民に對し次の通り叫びかけてゐる

プラーグには再びチエツコスロヴアキアの旗が飜つてゐる、チエツコ國民委員會は大統領ベネシユ及びその政府が歸還するまでボヘミア、モラヴイアの行政權を接收したが、ドイツ軍は依然プラーグのみならずチエツコ全土に駐屯してをり、チエツコ國民現下の主要な任務はこれらドイツ軍と戰ふことだ、國民は規律を維持し、ドイツ人を一人殘らず殲滅せよ、裏切者に氣を許すな

ル元帥獨の敗因を說く

(リスボン四日發)米第七軍附ロイター記者の報道によれば、米軍の捕虜となつたルントシユテツト元帥は次の通り言明したといはれる

ドイツは英本國侵攻作戰を計畫したが、眞劍に試みたことは一度もない、反樞軸軍のノルマンデイ侵寇作戰は別に驚きはしなかつたが、ドイツ軍には反樞軸軍がどこに上陸するか皆目わからず、恐らくセーヌ、ソンム兩河間だらうと考へてゐた、昨年十二月のアルデンヌにおけるドイツ軍の攻勢目的は反樞軸軍の壓迫を緩和し、リエージユを占領、ミユーズ河の線を確保するにあつた、しかしながら補給線に對する反樞軸軍の戰略爆撃のため、ドイツ軍の攻撃は畫餅に歸した、空爆によるドイツ交通網特に鐵道の組織的破壞、燃料その他主要原料資材の不足、これがドイツの決定的敗因だ

【歐　洲】

佛政權ラヴアルの引渡要求

(リスボン四日發)ド・ゴール政權はフランコ統領がスペインに遁入した前フランス國民政府首相ピエール・ラヴアル氏を依然として抑留、フランスに引渡さうともしないのに痺れを切らしてゐる樣子で、パリ來電によればド・ゴール政權當局は四日非公式に次の通り洩したと傳へられる

スペイン政府が今後二十四時間以內にラヴアル氏をフランスに引渡すか、乃至は戰爭犯罪人扱ひをして反樞軸軍當局に引渡す交涉に入らぬ限り、フランスはスペイン政府に强硬な引渡し要求を行ふ、それでもきかぬならば外交壓迫を加へるまでだ

デンマーク新政權成立

(ストツクホルム五日發)コペンハーゲン來電=デンマーク新政權の首班に任命されたブールは五日組閣を完了した、主な顏觸れ次の通り

首　相　ウイルヘルム・ブール
外　相　M・C・メーラー
國防相　オレビヨルン・クラフト

新閣員十八名中九名は抗戰集團から選ばれてゐる

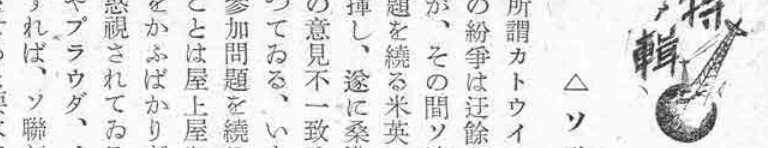
波假政府改造

(モスクワ五日發)ワルソー來電=ポーランド國民會議議長ベルートは五日次の通りポーランド假政府の一部改造を發表した

首相モラフスキーの外相兼任を解き、前文相ルイツモフスキーを代つて外相に任命した、文相の後任には前法相エドワルド・ザレフスキーが就任した

元波總督逮捕

(リスボン五日發)パリ來電=米第七軍司令部はドイツの元ポーランド總督ハンス・フランク博士を逮捕した旨發表した



波問題の新局面

原子林二郎

△ソ聯の論據

所謂カトウイン森の慘劇に端を發したソ波兩國間の紛爭は迂餘曲折を經て既に二ケ年間を經過したが、その間ソ波兩國間の紛爭は漸次ポーランド問題を繞る米英ソ三國間の對立に轉化して本領を發揮し、遂に桑港會議の活舞臺に上提されて三國間の意見不一致はぎりぎりの決定的な形を採るに至つてゐる、いまここでワルシヤワ政權の桑港會議參加問題を繞る紛爭の經緯を簡單にしろ再說することは屋上屋を架するの類で徒に讀者諸賢の顰蹙をかふばかりだから、ただでさへ駄文を弄して迷惑視されてゐるこの際遠慮するが、モスクワ放送やプラウダ、イズヴエスチヤ兩紙の論旨から判斷すれば、ソ聯がワルシヤワ政權を桑港會議に參加させろと要求する根據は極めてはつきりしてゐる

卽ち四月二十四日タス通信社は英紙「サンデー・タイムズ」その他一部の外國新聞は改組されたポーランド政府の代表だけを桑港會議に出席せしめることにクリミヤ會談で決定をみたとの噂を擴めてゐるが、かかる報道は事實と完全に背馳する、この問題は、クリミヤ會談で討議されなかつたばかりでなく、如何なる決定も行はれてゐない、從つてクリミヤ會談の決定はワルシヤワのポーランド假政府代表を桑港會議に招待することを決して妨げないものである

と聲明した、成ほどクリミヤ會談の公報をとり出して再讀すれば、ポーランド統合政府の創設に關する規定はあるが、桑港會議に出席させるとかさせぬといふことは一言半句もない、また四月二日附のプラウダ紙は

新ポーランド統合政府が未だに組織されぬのは積極的に熱意を示さぬ米英兩國の責任に歸すべきである、桑港會議の開催されるまでに新統合政權が樹立されぬならば、ポーランド本國にあつて現實にポーランド行政の任に當つてゐるワルシヤワ政權を會議に參加させるのが至當だ

と論じてゐるが、これも尤もなことだ、後に觸れるやうに新統合政府の樹立に躍起となつてゐるのはソ聯だけで、米英兩國はまるで繼子のやうにポーランド問題自體を白眼視してゐる實狀だ、以上の論據から判斷するならば、ソ聯の要求には一點の非の打ちどころもない、理路整然としてゐるだけに、ワルシヤワ政權を閉め出す米英兩國が如何にも惡漢のやうにみえてくるのも自然の理だ

△米英の爭點

ソ聯の要求に對抗してワルシヤワ政權を閉め出す米英兩國の論據は何處にあるかといへば、四月二十五日附の「ニューヨーク・タイムズ」紙の論說が一番纏つてゐる

タス通信社は、クリミヤ協定にはワルシヤワ政權を桑港會議に參加させてはならぬといふことは一言も言つてゐないと稱してゐるが、成程文字の上ではソ聯の言ふ通り何も言つてゐない、が併し精神においては參加させぬといふことをはつきり言つてゐる筈だ、クリミヤ決定の如き重要文書を軍に文字づらだけで解釋することが如何に不當であるかは、三歲の童兒といへどもよく知るところである、ソ聯の三百代言染みた言葉の解釋論は二十世紀の、しかも第二次大戰の最終段階にある今日ではもはや通用しない、しかも米英兩國が承認してゐるロンドンの亡命ポーランド政權をソ聯が承認してゐないから桑港會議に參加させぬのに、米英兩國が承認してゐないワルシヤワ政權をソ聯が承認してゐるといふ一事だけで桑港會議に參加させねばならぬ理由は毫もない、米英ソ三國が擧つて承認し、ポーランドの民意を眞に代表する新ポーランド統合假政府が出來たならば、これを桑港會議に參加させることは、ソ聯が要求するまでもなく米英兩國が進んでやるであらうしまたやらねばならぬことである

「ニューヨーク・タイムズ」紙の代表する米英兩國の意見も成程と言へぬことはない、ワルシヤ

ワ政權が果してソ聯の主張する如くポーランドの民意を眞に代表してゐるかどうかは大いに疑問だもつとも同政權が既に實施してゐる農業改革計畫はポーランド人口の大部分を占める貧農によつて歡迎されてゐるが、民衆といふ言葉を地主や資本家をも含む廣義のものと解釋すれば、ポーランド民衆の意思を「殘りなく」代表してゐるとはいひ難い、結局ワルシヤワ政權の桑港會議問題はクリミヤ協定の解釋を繞る法律書生染みた論爭といふことに現象面だけはなつてゐる、つまりソ聯は文言の解釋を據りどころとし、米英兩國は精神を云々してゐる譯だ

△リップマンの見解

しかしながらワルシヤワ政權を參加させるかさせぬかの問題は單なるクリミヤ協定の解釋の相違に起因してゐるのでもなければ、ワルシヤワ政權を參加させると否とが、米英ソ三國にとつて桑港會議の運命を賭してまで、靑筋立てて爭ふべき問題であるのでもない、ポーランド問題を繞る三國の鬪ひはソ聯の東歐洲政策を米英兩國が認めるか認めないかにあり、延いてはソ聯の全歐洲政策を認めるか認めないかにあるのだ、とすればポーランド問題は事極めて重大といはねばなるまい、この問題について米國輿論の代表的見解をみるため四月二十八日附の「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙に揭載されたウオルター・リップマンの所論に耳をかさう

モロトフ氏は重要問題を處理するためにわざわざサンフランシスコにやつてきたことを明かにしたが、クリミヤ會談に出席した一部の者はスターリン議長がダンバートン・オークス案に重要意義を附與してゐるとの印象を受けたやうだといふのはルーズヴエルトが勝手なことを希望しやうとも、スターリン議長は反對しながら自國の利益を擁護しつつ結局はルーズヴエルトとの個人的關係を賴りにしてゐるといふ解釋が成立するからである、このことはモロトフ氏が不意に桑港會議に出席することになつた事實が大いに裏書してゐる、ルーズヴエルトが死んで間もなく、クレムリンはソ聯と米英兩國との關係がもはや三國首腦間の個人的關係に立脚出來なくなつたことを悟つたが、モロトフ氏もまたソ聯の重大利害關係が危機に瀕せるを理解した、執行委員會の第一次會議における彼の言明、記者團會見における言葉、そして全體會議における彼の演說は、すべて以上の事實を指してゐるたとへば、議長問題に關するモロトフ氏の行動が、個人的理由乃至は國家の威信などといふ單純な理由から出發したものでないことは明瞭だモロトフ氏は記者團との會見で「クリミヤ協定に關するソ聯の解釋が米英兩國外相の解釋よりも正しいと認められることを衷心から希望するが、ポーランド問題のために桑港會議が流產するやうなことがあつてはならない」と言明したことも、桑港會議に對するソ聯の態度を評價する材料となる、事實ポーランド問題に關するクリミヤ決定には、米英兩國とソ聯の二樣の解釋が成立する、兩者とも相手の解釋をクリミヤ協定の精神に背馳すると主張して讓らない、スターリン、モロトフ兩氏は赤軍部內及び一部の孤立主義者の見解に左右されてゐるやうに思はれるし、米英兩國代表もまたソ聯が東歐洲、バルカン、中東に勢力を伸張することを望まぬ一派の壓力下に行動してゐるやうだ、モロトフ氏は次の二事實に特に關心を持つてゐる、一は新たなドイツの侵略行爲からソ聯を守ることであり他はソ聯に對する新たな「防疫線」を設定しないやう保障を受けることだ、モロトフ氏の見解によれば以上の二事實は兩々相俟つものでありもしも、ドイツの侵略行爲に止めを刺すことが出來るならば、聯合國は、ソ聯に對する警戒措置を一擲すべきだといふことだ、これを裏返せばソ聯を警戒しなければならぬものとすれば、ドイツは緩衝國として、次いでソ聯に對する攻擊先鋒として再建されねばならぬといふことである、ソ聯はこのことを最も憂慮してゐるのであり米英兩國が公然とは認めてゐないにも拘らず、絕えず以上の目的を追求してゐることに不斷の警戒の眼を注ぐことがソ聯の歐洲政策の基調をなしてゐるのだ

△歴史の皮肉

筆者が米國外交評論界の「死せる犬」と揶揄されるリップマンの政見を長々と引用した理由は、彼がソ聯は何よりもまづ自國の安全保障を確保するために百方奔走してゐる事實を鋭く指摘してゐることを讀者諸賢に傳へたいためだ、ソ聯の東歐洲政策、バルカン政策またはトルコに對する態度あるひはフインランド、ノルウエーに對する「野心」は、一般にソ聯の「赤色帝國主義」とか「歐洲赤化政策」といつた形容で簡單に片付けられる傾向がある、事實以上の概念の上にあぐらを掻くことは甚だ安易な業であるが、それでは現下の歐洲におけるソ聯の政策を生きて動くものとして把握することにはお世辭にもならない、また以上のやうに考へることはソ聯の國力を買ひ被るものであり、これほど危險なことはない

現下のソ聯の歐洲政策はまだそこまで辿り付いてゐない、その一歩手前のところで足踏みしてゐるのだ、一歩手前のところとは何かと言へば、リップマンの指摘したやうに、ソ聯國境の安全保障だ、ソ聯がポーランド問題について手の込んだ工作に狂奔してゐるのも、畢竟ソ聯領土の安全を保障し、あらたな對ソ戰爭を防止するためであり、この點について桑港會議の意圖する新國際安全保障機構の力を信用出來ぬので、桑港會議に出席して盛んに米英兩國と角突き合つてゐるのだ、ストックホルムの「モルゲンチドニンゲン」紙のモスクワ電報は四月二十四日次のやうに報じてゐる

ソ聯が桑港會議に期待するところのものは一語につきる、曰くソ聯領土の安全保障だ、ソ聯は國際問題において、主役を演ずることを希望し且つ當然の權利があると考へてゐるが、更に一切の重要問題について相談を受け、戰前のやうに孤立させられたり無視されたりせぬやう希望してゐるが、これまた自國の安全保障を希ふためだ

いづれにしても現段階においてソ聯のポーランド政策を帝國主義的な解釋で片付けてしまふことは、樹をみて森をみぬ類で、問題の眞相を見失ふおそれが多分にある、もしもソ聯がポーランドの領有を企圖してゐると解釋するならば、ソ聯の政策に反對する米英兩國は恰もポーランドの獨立を擁護する十字軍の騎士とみる滑稽な錯覺に陷らざるを得ない、事實は全く逆だ、そこで、スイスの「ノイエ・チユーリツヒアー・ツアイツング」紙のサンフランシスコ電報が四月二十四日

第二次世界大戰の最初の犧牲となつたポーランドが世界平和への道程において再び對立の原因となつたことは歴史の皮肉といふほかはないと報じた寓意も生きてくるといふものである

△波要人謎の失踪

ソ聯がワルシヤワ政權の桑港會議參加を執拗に要求してゐることは、如何にもクリミヤ決定における新統合假政府の組織を全然無視してあくまでワルシヤワ政權を擁立してゐるかの如き印象を與へるが、必ずしもそうではない、ロンドンの亡命ポーランド政權が去る四月六日副首相ヤンコフスキー外閣僚三名、ポーランド地下組織代表十一名の謎の行方不明を發表して、探偵小說的興味を湧かせた事件の眞相は、案外にもソ聯の新政權樹立工作にあつた

もつともそれだけなら米英兩國も大いに歡迎してしかるべきであり、事件は興味索然たる平凡事に化してしまふ譯だが、事件が依然「謎」のままに留つてゐるのは、ソ聯が單獨で、米英兩國に何等相談せずに新政權の組織工作を進めてゐる點にある、事件は最近英國議會でも問題になつた、五月二日附のロイター通信社のロンドン電報によると、數名の保守黨下院議員がヤンコフスキー以下十四名の所在を質問したのに對し、外相代理リチヤード・ローはつぎの通り答へたといふことだ

英國政府はこの件につい再三再四モスクワ政府に照會したが、未だ何等の情報にも接してをら

昭和二十年五月八日(火)
第三四一五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

らず甚だ遺憾としてゐる次第である、また遺憾ながらポーランド要人十四名の生命の安全についても下院に對して確證すべき材料はない、目下イーデンは全力を盡してこの點につきモトロフ氏の說明を求めてゐる實狀である

序でだがイーデンがサンフランシスコにおける三國外相會談でモロトフ氏に說明を求めたのは事實だが、モロトフ氏は「そんなことがあつたのですかね」と空とぼけたとロイター電報は報じてゐる

ソ聯の「單獨」の統合政權樹立工作はソ聯が知らぬ存ぜぬの一點張りであるために、米英兩國ともソ聯の眞意を計り兼ねてをり、或る者はソ聯の善意を說き、他は陰謀を疑ふ等解釋も區々だ、たとへば米誌「タイム」の四月十四日號は亡命ポーランド政權の要人失踪聲明を厄介視して次の通り述べてゐる位だ

亡命ポーランド政權副首相ヤン・ヤンコフスキー以下十三名の要人はクリミヤ協定に基き新統合政權を樹立するためソ聯の招待を受けて會議に出掛けて以來杳として消息を斷つたが、赤軍がポーランドを解放して以來本國との連絡が甚だ薄弱となつた亡命ポーランド政權は先週行方不明となつた十五名はソ聯當局のため「抹殺」されたと聲明してまたぞろ厄介な問題を提供した、疲れた英國外務省の役人達は亡命政權こそ抹殺されればよいのにと呟きながら、さして事件を重視してゐない樣子だ、英國政府筋の洩すところでは行方不明の十五名はモスクワで會談に參加してゐるとのことだが、兎に角これは一步前進だ

△善意か陰謀か

以上の事件をソ聯の讓步と解釋してゐるものもある、それは四月十七日付フランス通信社のワシントン電報だ

ソヴエト政府はロンドンの亡命ポーランド政權の指揮下にあるポーランド地下組織代表十四名共產黨員四名、その他二名からなる新統合政府の樹立に同意したといはれるが、恐らく元首相のヴインツエンチ・ヴイトスが新政府の首相となるものとみられてをり、ミコライチクは交涉に入るためモスクワに赴く筈と傳へられる、ワシントンの外交界はロメールが外相となることに決定し、スターリン議長の承認を待つばかりとなつてゐる點からみて、ソ聯の大きな讓步として歡迎してゐる

右に揭げた二報道から判斷すると、米國は目下のところ半信半疑の形で、あまり問題視してゐないが、「オブザーヴア」紙のつぎの報道から判斷すると英國はもつと現實的に考へてゐるやうだ

モスクワにおけるポーランド統合政權樹立のための交涉は現在のところソ聯とポーランド要人だけの間で進められてをり、モスクワの三國委員會米英代表はポーランド代表と公式には連絡を採つてをらず、ソ聯は單獨でポーランド要人と話をつけることを希望してゐるやうだ、ソ聯はソ波兩國間の取極めを既成事實として三國委員會に押しつける方針らしいが、萬一さうなればポーランド問題に對する米英兩國の干涉は根據を失つてしまふ譯だ、ソ聯の立場からすれば有利なことは疑問の餘地がない、もしも交涉が成功すれば、ソ聯は米英兩國の干涉がなくともポーランドを正當に扱ふことが出來るといふ一事を誇示し得る譯であり、かつ現在交涉に入つてゐるポーランド要人が亡命ポーランド政權の指揮下にある地下組織代表であるだけに、アルチシエフスキー政權に決定的な打擊を與へることになる、いづれにしても交涉に招かれた代表達の一部が札付きの反ソ分子であることは意味極めて深重である

△看板の塗り更へ

「オブザーヴア」紙の仄めかす「抹殺」說と同樣「タイムズ」紙も事件の推移を不安の眼で凝視してゐるのは、そのまま英國政府の態度を反映したものとみるべきであらう、同紙の政治記者は四月九日つぎの通り論じてゐる

ソ聯がいはゆる「アンチ・ルブリン・ポールズ」の領袖に一元的に接近してゐる事件の謎を出來るだけ早く公式の聲明で解いて貰ひたいといふのがロンドン政界の一致した見解だ、英國政府

は交渉の内容については何も知つてをらず、ソヴエト政府から事前に通告を受けたといふ觀測は全く根據がない、亡命ポーランド政權の聲明ではポーランド要人がソ聯のよからぬ意圖の對象となつて消え失せたといふ印象を與へるが、眞相はそれほど邪惡なものでないにしても兎も角憂慮すべきことである、ポーランド新統合政權の樹立に關しては、三國委員會が第一回の會合を開いたそもそもの初めから、鋭どい意見の對立が發生した、ワルシヤワ政權は統合政權に參加させ度くないポーランド代表の氏名を擧げつらふ權利を主張し、モロトフ氏は以上の主張を支持したが、ワルシヤワ政權の忌避する人物の筆頭はほかならぬミコライチクであつたため三國委員會の協議は發端から暗礁に乘り上げたのだ、その結果モロトフ氏は單獨でポーランド本國內におけるワルシヤワ政權以外のポーランド要人と交渉を決意したものと思はれるが、このことは當然米英兩國に通告されて然るべきことであつた、英國政府はソ聯同樣ポーランド問題が出來るだけ早く解決することを希望してをり、この點でソ聯の措置は一應諒解出來るとしても、解決が飽くまでもクリミヤ宣言の精神に則つて行はれるべきであるは言ふに及ばない

以上のことから次の結論が生ずる、ソ聯はワルシヤワ政權を桑港會議に出席させやうと努めてゐるところからみると、どこまでも同政權を擁立する肚とみられてゐたが、一方では新統合政權の樹立にも關心を持つてゐることが明かとなつた、否單なる關心ではなく、單獨で工作を進めてゐるところから判斷すると、大いに希望してゐることは疑問の餘地がない、併し新政權樹立の交渉にロンドンの亡命ポーランド政權の指導部は勿論ミコライチクまでも忌避して、ポーランド本國に殘留するワルシヤワ政權以外の要人を愼重に選拔してモスクワに連れて行き、彼等と外界の連絡を完全に遮斷した

更にソ聯は交渉の經過は勿論交渉の事實すら米英兩國政府に對してひた隱しに隱してゐるが、このことは「オブザーヴア」紙の指摘する如く、取極めが成立した場合既成事實を米英兩國政府に押し付けて干渉と反對を封じ、一氣に新ポーランド統合政權を樹立しやうと圖つてゐると考へさるを得ない、この場合形の上ではクリミヤ宣言の規定する各黨各派を網羅した國民統合政府であらうが實質においてはワルシヤワ政權の看板を塗り更へただけだ、ここに英國の不安と焦燥が存在する所以である

△むすび

桑港會議へのワルシヤワ政權の招請問題は全體會議で否決されたが、このことはいふまでもなくポーランド問題が米英ソ三國の紛爭の種となる動機を失つたことを意味するものではない、「ノイエ・チユーリツヒアー・ツアイツング」紙のサンフランシスコ電報によれば、米英兩國がポーランド問題についてソ聯に對して強硬に楯ついたのはドイツに對する戰爭が片付き初めたので、もはやソ聯の御氣嫌を伺ふ必要がなくなつたためだといふことだが、この見方は確かに一理ある、ドイツ處理案は實際に蓋をあけてみなければわからないが事物の發展の鐵則から抽き出した結論が正しい限り、米英兩國はドイツをソ聯に對する緩衝地帶兼足場と化す方向に必然的に導いて行く筈だ、その場合ポーランドがソ聯の勢力圈下にあるとないとは、將來のドイツの役割に大きな影響を及ぼさずにはおかない

桑港會議における今日までの經過から判斷すれば、ソ聯は國際聯盟當時の如く米英兩國勢力によつて孤立的地位に追ひやられる危險は大いにあるアルゼンチン招請問題が既に以上の事實を明確に裏書してゐるのだ、してみればソ聯は自國の安全保障の爲にもポーランド問題に死活の重要性を附與するのは當然である、現下のソ聯の歐洲政策は端的に言へば既に將來の反ソ十字軍に對する防衞措置の段階に入つてゐる、ソ聯にとつてはいま地歩を固めて置くことが最も有利なのだ、從つてポーラド問題を繞る米英對ソ聯の軋轢は今後愈々尖鋭化された露骨な形を採るといつても先走りではあるまい

昭和二十年五月八日(火)
第三四一五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

資料

國際安全保障機構への新提案

エン・マリーニン

「戰爭と勞働階級」
十二月十五日號

△安全保障機構案の缺陷

最近新聞紙上に發表された「國際安全保障機構に關する提案」(ダンバートン・オークス案)は將來の機構の目的、構造、中樞機關並びにその權限等につき明確な概念を與へてゐるが同案は單なる草案の域を脫せず、今後更に研鑽を必要とするやうに思はれる

同案は十二章からなつてゐるが、章は更に節に分れ、節は項に細分されてゐる、そのうち章と節のあるものは極めて愼重且つ詳細に規定されてゐるが、單なる素描か、たかだか公式に過ぎず、說明を必要とするものもある、勿論同案が單なる豫備會議の產物であり、各代表は提案のあらゆる部分について全面的檢討と責任ある仕上げを行ふ邊がなかつたことを考慮するならば別して不思議ではない、各國代表は根本原則に重點を置き、第二義問題については簡單に言及する以外に途はなかつた

たとへば國際聯盟規約にも同じやうに含まれてゐる原則は、要するに踏み均された道を通るやうなものだから、割によく說明されてゐることは當然だが、新しい條項は處女地を開拓するやうなものだから自然大雜把とならざるを得ず、最終の仕上を行ふ爲更に建議する必要がある、後者の條項に屬するものは第八章第三節の「地域的措置」だ

△局地的問題解決の困難

問題の本質は次の通り說明されてゐる

一、本定款においては地域的行動をなすを適當とする場合、國際平和及び安全保障の維持に關する問題解決のために地域的方策の實施乃至地域的機關の設置を何等妨げず、但しその場合かかる地域的方策乃至機關及びその活動が本機構の目的並びに原則と背馳せぬことを要する、安全保障理事會は紛爭當事國の自發的意思か、理事會自身の意思によるとを問はず、かかる地域的方策を通じるか乃至は地域的機關の助けをかりて局地的紛爭の處理を奬勵するを要す

二、安全保障理事會は適切と思はれる場合理事會の指揮下に强制行動をとるため以上の方策乃至機關を利用するを得、ただし安全保障理事會より全權を委任されずして地域的取極め乃至地域的機關を通じて强制行動をとるを得ず

三、安全保障理事會は國際平和及び安全保障を維持するため地域的取極め乃至地域的機關を通じてとられたかあるひはとらうと企圖する行動につき常に詳しく報告を受ける必要がある

國際聯盟の規約には如何なる種類の局地的措置も機關も含まれてをらず、それがまた國際聯盟の構造上の缺陷の一つとして數へられるものであるため、この問題は全く新しいものである、國際聯盟は管轄下に屬する一切の問題を總會に處理させてゐるが、それには地球の一局部のみに關係し、聯盟加盟國の大部分にとつては何等の利害關係も持たぬ問題も當然含まれてゐる譯だ、問題の解決には理事會の大多數が參加したが、ときには地理的にもあれ政治的にもあれ、何等かの關係を有し繫爭事件の特殊性を正しく判斷出來る立場にある國は極めてすくなかつた、しかもかかる局地的意義しか持たぬ事件は屢々國際聯盟の注意を奪つてより一般的であり且つ比較にならぬほど重要な問題を等閑視させる傾きがあつた、たとへば國際聯盟はヒトラーのドイツから增大する脅威よりは、寧ろチヤコ地方を繞るボリヴイア、パラグワイ間の紛爭に大きな注意を拂つたこともある、筆者は一定の地域のみに限定された管轄範圍を持つ地域的機關の創設を提案するのは、以上の經驗を考慮した結果である

△「地域的取り極め」の曖昧性

さきに揭げた第三節の案文は次の諸問題に對して回答を與へてゐない

一、地域的機關は國際安全保障機構總體によつて設置されるべきか、或ひは加盟國の個別的集團の手で設置されるべきか

一、地域的機關の構成及びその地理的管轄範圍はどうか

一、地域的機關の構成如何、一、地域的機關は獨自の理事會、總會、書記局を持つべきか

一、如何なる問題が地域的機關の管轄に屬すべきかを決定し、國際安全保障機構總體の管轄内から以上の問題を除外させるのは誰か

一、地域別機關の所在地如何——國際安全保障機構の所在地に置くべきか或ひは他の場所におくべきか

右に擧げた問題に答へる場合、地域的機關は地理的にもその他の點でも國際安全保障機構總體から切り離され過ぎはしないか、地域的機關の設置は國際安全保障機構總體の威信と權力を弱めはせぬか、各地域的機關相互間に原則乃至方策等につき大きな懸隔が生じはしないかといふ懸念が必然的に起つて來よう

しかしながら懸念乃至危惧の念が起るのは寧ろさきに引用した案文にある「地域的取り極め」といふ表現である、「地域的取り極め」といふ言葉は現代の政治文獻ではブロック、勢力圈等といつた合同組織の同意義語として使用されてゐるが、かかる合同組織は安全保障機構の任務と何等の共通點をも持たぬばかりか、屢々眞向から對立する結果を生じ易い、なぜならば數國家をブロックに結合するといふことは、一ブロックが他のブロックと對立することを意味するからだ、かかるブロックは何等新しいものではなく、よしんば眼新しいものでも、叩いてみれば古びた音がする、前世紀の末葉から今世紀の初頭にかけて存在した「三國同盟」と、それに對立する「三國協商」もいはゆるブロックであつた、ヒトラーの創設した「樞軸」も數國家のブロック以外のなにものでもなくそれはブロック外の諸國家と闘ふべき性質のものであつた、かかるブロックは戰爭の機會を減少せしめるどころか寧ろ增大せしめるものである

△安全保障地帶の問題

平和といふ見地からすれば、所謂勢力圈といふものにも心を牽くものは全然見當らない、勢力圈がブロックと異る點は、相互に競爭し合ふ國家間の協定によつて設定されることだが、勢力圈の分割は何等かの客觀的規準に基いて行はれるものでなく、力關係と政治情勢に照應して行はれる、政治情勢の變化乃至は力關係の推移に伴ひ、勢力圈の改訂を續つて鬪爭が勃發し、ここからいろんな結果が發生する、この勢力圈のほかに一國による他國の支配も考へられるが、これは國際安全保障機構の揭げる根本原則、卽ちあらゆる國家主權の平等と兩立し得ない

平和といふ見地から地域的取り極めを問題とするならば、いはゆる「安全保障地帶」と稱し得るもののみを取りあげねばならぬが、それは單に過去のものを思はせるばかりでなく、事實上現在の國際的要求に應へてゐるためだ、現代における軍事技術特に航空機並びに火砲の發達に鑑みれば、如何に强大な國家であらうとも、陸上及び海上における境界線上の要塞線をもつて安全なりと考へ得るものは一國もない筈だ、英國の運命を想起するがよい、未だ敵軍の一兵も英國の國境を侵してゐないが、それにも拘らず英國は領土上において往時においては全侵寇軍をもつてしても蒙らせ得なかつたほどの人的物的損害を蒙つてゐるのである、周知の如く以上の破壞は近接諸國の領土から行はれたものだ、從つてもしも英國がたとへばベルギー乃至オランダを英國攻擊の跳躍板か足場に利用することを不可能にするため、ベルギー乃至オランダと特殊の協定を締結するを必要と見做したからといつて反對することは出來まい

同じやうにソヴエト聯邦が同樣の目的をもつて隣接諸國と特定の友好關係を希望するからといつて誰も反對出來ぬのはいふまでもない、かかる協定は大國のみの安全保障に利するばかりでなく、小國にとつても大いに有益である、第一次大戰や特に第二次大戰の經驗によれば、大國に對する攻擊は必然的にその大國を圍繞する小國群の獨立を剝奪し、隷屬化し、住民の大部分を殺戮する結果を生ずることは明瞭である

△新提案の內容

さきに述べた安全保障地帶の設定に當つては次の二條件を遵守する必要がある、第一は安全保障地帶內にある國家の獨立を毀損してはならぬこと第二は安全保障地帶は國際紛爭と摩擦を避けるた

昭和二十年五月八日(火)
第三四一五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

め、所與の大陸の主要國家間の取り極めに基いて設定されることだ、勿論それだからといつてあらゆる國家があれこれの安全保障地帶に編入される必要は毫もない

安全保障地帶の設定が世界平和の維持と侵略行爲の抑止に極めて大きな役割を演じ、その意味で將來の國際安全保障機構の一般任務と完全に一致することは疑問の餘地がない、しかもかかる安全保障地帶の存在は國際安全保障機構の構造に抵觸することもなければ、各安全保障地帶が國際安全保障機構の一部とならねばならぬ必要もない、もしも地方分權とか問題乃至紛爭調査の便宜上、國際安全保障機構の細分が必要とすれば事實そうした細分は必要だが、その場合には局地的な安全保障地帶よりももつと廣い地域、たとへば全大陸乃至太洋を單位とすべきだ

以上の目的を達成するためにはいろんな計畫を提案することが出來るが、筆者は最も適切と思はれる一案を識者の檢討に委ねたいと思ふ、それは次のやうなものだ

國際安全保障機構の總會は次の各部會に分れる

一、歐洲
一、米洲
一、アジア＝太平洋
一、アフリカ

各部會には所與の大陸および太洋内に領土を有する國家が含まれる、判然としない場合には、豫めどの國はどの部會に入るかを正確に定めておくことが必要だ

△その優れてゐる點

勿論數大陸に大きな利害關係を有する國はそれぞれの大陸に照應する部會の全てに參加することが出來る、各部會は審議すべき地域的問題の範圍内で總會の權限を有する、これは所與の部會に含まれる國家間の紛爭解決に當る、二つの部會に屬する國家に關する問題は、以上の二つの部會からなる合同會議において審議される、萬一の場合各部會は審議中の問題を總會にかけることが出來る安全保障理事會は以上のことを要求する權限がある

筆者の提案の優れてゐる點は、國際安全保障機構の支部が機構から切り離されず、同じ屋根の下にあるため、國際安全保障機構と同じやうにその支部も切り離し得ぬ一部として威信をかち得ることが出來る點である、かくすれば總會の分會としての形を採る支部は國際安全保隆機構の書記局その他一切の補助機關を利用出來るから、あらゆる意味で經濟的である、特に筆者が意義を附與するのは、これにより地域的取り極めの持つ曖昧さと混亂を避けることが出來る點である

（「戰爭と勞働階級」誌編輯部註＝本論文は大方の檢討を俟つために揭載したものである）

解放地域の經濟窮境

（リスボン一日發）ニューヨーク來電＝歐洲を視察した米大統領法律顧問サミュエル・ローゼンマンは最近米國に歸還一日次の報告を發表した

歐洲西北部の解放地域における經濟狀態は現在極めて深刻だが、今後も長期間かかる狀態が續くとみられる、榮養水準も農村地區を除き危險な程度にまで低い、以上の打開策としてはドイツ人の强制勞働力を使用すると共にドイツ國内の諸施設を再興することを考慮すべきだ、先づ、經濟的に復興させるには石炭業の再建が最重要措置の一つだが、歐洲戰後一年乃至それ以上は同方面における最小限度の石炭需用にも應じ得ない現狀であり、かかる情勢をいくらかでも緩和するにはドイツ國内の石炭を最大限度に獲得しなければならない、また一面においてはドイツからの電力輸出を極力强化し石炭を節約し、輸送を緩和することが望ましい

カルカッタ市燈管解除

（リスボン三日發）カルカッタ來電＝三年半に亘るカルカッタ市の燈火管制は二日全面的に解除された

米國勞働憲章

「タイム」誌四月九日號

ワシントンの商業會議所内で三人の男が恐らく歴史的文書とも稱すべき書類に署名した、彼等は商業會議所會頭エリツク・ジョンストン、産業別組織會議會長フイリツプ・マレー及び勞働總同盟會長ウイリアム・グリーンの三者であり、書類は戰後の世界に産業平和を確立するための勞働憲章である、この憲章は右三者が過去約二ケ年に亘り懇談を遂げた結果終に完成をみたものだが、至極簡潔に出來上つてゐる、内容には技術的進歩、生産能率の改善、一層廣範圍に亘る社會保險、外國貿易の擴張等を通じてのみ一層の繁榮が招來されるといふやうな事柄が列擧され、また恒久的平和は侵略を防止し得る國際安全保障機構を反樞軸諸國間に樹立することにより確保さるべきだと提唱してゐる

△米國勞働界の傾向

米國の工業家連中は從來産業別組織會議の社會主義的思想に惱まされてきたが、彼等にとり重要なことは勞働が民間の自由競爭を基調とする資本主義制度を米國經濟擴充の基礎として存續すべきことを全幅的に支持してゐることであり、また企業の進展擴充、適當な利潤の獲得、政府の不必要な干渉排除等の爲資本家が本來の指導權を保持すべきことを提唱してゐることだ、一方戰後ワグナー勞働法を骨抜きにする全面的攻勢が展開されるのではないかと懸念してゐる勞働界は商業會議所會頭ジョンストンが勞働者の第一義的權利即ち法規に拘束される事なく如何なる團體取引をも行ひ得る權利を留保すると約束した事を重視してゐる

勞動憲章が一切の罷業を根絶するといふ不可能事をやつてのけるだらうとは誰も期待してゐないが、愼重なグリーンは「憲章は勞動爭議の調停代行機關の手助となるに相違ない」と見得を切つてゐる、グリーンの言及した調停機關とは二十名から成る委員會の如きもので、勞動憲章を具體化すべく目下設立の途上にあるが、これには、ヘンリー・カイザース、チユードベーカー、ボール・ホフマン等の一流實業家を始め産業別組織會議のシドニー・ヒルマン、自動車工業勞働者組合長トーマス、勞働總同盟會計委員ジョージ・ミーニー等勞働界の錚々たるところが參畫する豫定である、ジョンストンはこの新機關が究極において戰時勞働局にとつて代るべきだとの提言をやんわり却けたが、しかし勞資何れも議會が何等かの國家的勞働政策を樹立する場合右機關が一役買ふだらうしまた當然さうすべきだといふことを十分承知してゐる

△勞働憲章の反響

勞働憲章は腹に一物ある全米製造業者協會を除く殆んどすべてのものからやんやの喝采を以て迎へられた、獨斷的な製造業者協會長アイラ・モシヤーは

勞働憲章の主義はまことに結構だが漠然としてをり、先づ走りなところもあり、概論的な事柄が羅列されてゐる、こんなことは議會のやる仕事だ、消費者はすべて彼等の利益を擁護されなくてはならない

と述べたものだが、彼の負惜しみも結局眞向からひつぱたかれた結果となつた、共和黨系の「ニユーヨーク・ヘラルド・トリビユーン」紙がモシヤーの批評は勞働憲章の作製に參畫出來なかつたことに對する腹癒せで根據は薄弱だと俄鳴り立てたからだ、保守的な「ウオールストリート・ジヤーナル」紙も「トリビユーン」紙と論調を合せ「モシヤーは憲章の諸原則が先つ走りだと述べたが、吾人の承服し兼ねるところだ」と述べてゐる製造業者協會及びこれに屬する約十二萬五千の實業家が憲章の支持を差控へる限り、憲章の效果は完全ではないが、ジョンストン、マレー、グリーンの三者は同協會が少くとも近い將來文句を言ふのを止めて憲章に協力するだらうと考へる十分の根據を持つてゐる、彼等三者が憲章を生みだしたのもかかる確信があつたからだ、勞資双方が紛爭を解決しない限り、政府が各種の統制策をひつさげて乘り出し、資本家も勞働者をも締め上げるだらうといふことは彼等が先刻知り抜いてゐる筈だ

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

昭和二十年五月九日(水)
第三四一六號

同盟通信　海外電報

前後五ヶ年八ヶ月六日に亘る歐洲戰爭は、遂にドイツ軍の全面降伏を以てここに終局を告げた、死傷並びに行方不明を合はせて無慮四千萬と註される白人種間の抗爭は、結局何等新しい秩序をも生まず歐洲の將來に前大戰直後と同じ「現狀」を殘したに過ぎない

英國は今回の戰爭で極度に國力を消耗したが、數百年に亘る「侵略の成果」たる帝國と聯邦とを依然として溫存し、フランスもまた本領は安堵だチエコスロヴアキヤも恐らくその不自然な構成を戰後に持續するだらうし、オーストリア、ハンガリ等の各國はまた、經濟的には獨立出來ぬが、政治的な主權を維持することとならう

從つて歐洲は依然として故ウイルソン大統領の亡靈に支配され、民族自決の空論に禍されるわけだが、前大戰直後の情勢と著く違つてゐるのはソヴエト聯邦の驚異的進出だ、クレムリン宮の現實派は民族自決の空念佛に拘らない、主權平和の看板を揭げながら東歐洲と東南歐洲とを完全に自國の勢力圈として押付けて了ふだらう、海千山千の英國外交が如何にして、以上ソヴエト聯邦の進出に對處するかが、歐洲政局の今後における課題だ

デーニツツ提督とフオン・クロージツク外相とを最後の舞臺に引き出した所に、保守黨外交の動きを見ようとするのは、餘りに穿ち過ぎた觀測であらうか

ヒトラー總統は最後まで英國と協力して、ボルシエヴイズムに對抗する「マイン、カンプフ」の構想を棄てなかつたと傳へられるが、共同の敵ドイツが無條件降伏した今日において、歐洲における英ソ兩國の角逐は逐次尖銳化するのではなからうか

ポーランド問題の推移はこの意味で歐洲政局の晴雨計である

【目　次】

獨全軍無條件降伏……一二五二
降伏條件に調印……〃
英情報相も發表……〃
大統領協議を開始……〃
國際電話で頻りに打合せ……〃
西も對獨斷交……〃
瑞典も斷交……〃
英國王最高司令に親電……〃
外相、ドイツ國民に告ぐ……一二五三
チエコの獨軍降伏せず……〃
兩司令官初會見……〃
【ドイツ】
ヒトラー總統の決意……一二五四
總統海軍無抵抗を慫慂……〃
クライスト元帥降伏……〃
ナチ黨員の出頭を命令……〃
ハンブルグに軍政……一二五五
元皇太子ら捕はる……〃
要人續々捕虜……〃
【歐　洲】
葡對獨斷行……〃
英佛同盟交涉……〃
丁新內閣顏觸れ……〃
【米　洲】
バルト系米人覺書提出……一二五六
南阿委任統治領の合併を要求……〃
伊招請に難色……〃
桑港會議に新難關……〃
修正案では意見一致……〃
ソ聯兩共和國代表團桑港着……〃
【特　輯】
戰爭から平和へ……一二五七
【資　料】
シユペーア軍需相演說全文……一二六〇
對日爆擊效果論……一二六一
信託統治英國論……一二六二

獨全軍無條件降伏

（ストツクホルム七日至急報）フレンスブルグ放送局は七日正午、ドイツ總統デーニツツ提督がドイツ軍戰闘部隊すべてに對し無條件降伏を命令した旨發表した

（リスボン七日發至急報）ランス來電＝聯合軍司令部は七日、ドイツ軍が無條件に降伏した旨發表した

英情報省も發表

（ストツクホルム七日發）ロンドン來電＝英國情報省の發表次の通り

三大國間における取極めに基き、首相チヤーチルは五月八日午後三時（英國二重夏季時間）公式聲明を發表するに決定した

首相は午後三時ラヂオを通じて演説し、國王ジヨージ六世も英帝國並びに聯邦の各國民に對し午後九時から演説を放送する、明八日は公式休日とし、明九日も休日と看做す、但し議會は明日所定の時刻に開會する

降伏條件に調印

（リスボン七日發）APの西部戰線前線支局長エドワード・ケネデイーはドイツ軍降伏の狀景について七日次の通り報道してゐる

ドイツ軍參謀總長グスターフ・ヨーデル上級大將並びにフオン・フリートベルグ提督はフランス時間七日午前二時四十一分ランスの聯合軍最高司令部に宛てられてゐる赤く塗つた小さな學校の校舍で聯合軍參謀長ベデル・スミス將軍、赤軍代表イワン・スースロパロフ將軍、フランス軍代表フランソア・セーヴエーズ將軍との間に降伏條件に調印した、調印終つてドイツ軍代表はアイゼンハワー將軍と會見したが、同將軍は特に「ドイツに課せられる降伏條件が極めて苛酷なことを承知してゐるか、ドイツはこの條件を履行する用意あるか」を極めて嚴肅な口調で問ひただし、ドイツ代表は「然り」と答へた、かくして歐洲戰爭は五ケ年八ケ月六日の後ドイツ軍の全面的降伏をもつて遂に終了を告げた

大統領協議會を開始

（リスボン七日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンはランスからの電報を受取ると同時に國務長官代理グルーを招致し何事か協議を遂げた

國際電話で頻りに打合せ

（ストツクホルム七日發）BBCの放送によれば英國首相チヤーチル、米國大統領トルーマン並びにソヴエト人民委員會議長スターリン元帥が歐洲戰爭の終了を發表する正確な時間を打合せるため目下ロンドン、モスクワ並びにワシントン間にしきりに國際電話が交換されてゐると傳へられる

西も對獨斷行

（リスボン七日發）マドリード來電＝ポルトガル政府の對獨斷交後二十四時間にしてスペインもドイツとの外交關係を斷絶した

瑞典も斷行

（ストツクホルム七日發）スエーデン政府も七日ドイツとの外交關係を斷絶した

英國王最高司令に親電

（ストツクホルム七日發）ドイツ軍の全面降伏を期待して王妃同伴バツキンガム王宮に歸つてゐた英國王ジョージ六世は、ドイツ軍降伏の報に接するや直ちに歐洲侵攻反樞軸軍最高司令官米將アイゼンハワーに對し親電を發し謝意を表した、要旨次の通り

余は英國民を代表してドイツに對する完全且つ徹底的なる勝利に感謝の意を表する、十一ケ月前貴下は歐洲侵略反樞軸軍を率ゐ、世界各國數百萬男女と希望と祈りとを抱いて英佛海峽を越えたのであつた、今や世界は苛烈にして間斷なき戰闘の後に我が軍がその使命を完全に果したことを知る、また現に貴下の指揮下にある我が英國軍は、敢然あらゆる任務に粉骨碎身した、同胞國民は永遠に彼らの名譽を忘れぬであらう

昭和二十年五月九日(水)
第三四一六號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

外相ドイツ國民に告ぐ

(ストツクホルム七日發)ドイツ外相フオン・クロージツク伯はフレンスブルグ放送局より七日正午過ぎドイツ國民に對し次の通り放送した

「ドイツ國民男女諸君、ドイツ軍最高司令部は本日デーニツツ元帥の命令に基き、總ての戰ふドイツ軍の無條件降伏を宣言した、元帥が戰爭任務に執掌するため任命したドイツ政府の指導閣僚として余はわれ等の歷史のこの悲劇的瞬間においてドイツ國民に對する殆ど六ケ年に亘る比類のない苦難の英雄的戰ひの後にドイツは敵の壓倒的な力に壓伏した、依然戰鬪を續けることは無意味な流血と無駄な崩壞を意味するに過ぎない

ドイツ國民の將來について責任を痛感する政府は一切の肉體的物質的諸力の崩壞に基いて行動し敵に對して戰鬪行爲の停止を要求するの止むなきに至つた、ドイツ國民にとつてのこの最も重大な時期に當り我等はこの戰爭に斃れた勇士に深甚な敬弔の意を表明する、彼等の犧牲は我々の双肩に最高の任務を課する

われ等の同情は何よりも今回の戰爭において傷き身内を失ひ、その他打擊を受けたすべての人々にそそがれる、ドイツ政府は敵によつてドイツ國民に課せられる條件が苛酷であるかといふことについては聊かも錯覺を抱いてはゐない、今や我等は毅然としてわれ等の宿命に直面しなければならない、將來ドイツ國民が生活のあらゆる分野において深刻な犧牲を強要されるであらうことは何人も疑念を挿しはさんではゐない、しかしながらわれわれはこの重荷を甘受しわれ等が荷つた義務に忠實に堪へなければならない、しかしながらわれわれは決して失望して無言の諦めに墮してはならない、暗黑なる將來に對し道を再び敢然として邁進しなければならない、過去の崩壞の間から希はくば一事卽ち團結を保全し救ひ出さしめよ

擧國一致の理念こそは數ケ年に亘る戰爭を通じて前線における戰友の精神となり、更に祖國を刻んだ凡ゆる苦難の間に全國民が欣然お互ひに扶け合ふことによつて最高の表面を見出したではなかつたか、我が國民の間においては正義は常に最高の律法であり、指導原則とならう、我等はまた各國間における一切の關係について、法律をその基調と認めなければならない

我等は法律を認め且つ內面的な信念から法律を尊重することを要する、諸條約に對する尊敬はドイツ國民が歐洲の國際團體の一員としてこれに所屬しようとする目的と同樣に神聖である、我等は又一切の精神的物質的な諸力を動員して戰爭によつて惹起された歐洲の恐るべき傷を癒さうと思ふかくして今日全世界を通じドイツを取卷く憎惡の雰圍氣は消去つて諸國間における和協の精神がこれに代るであらう、これなくしてはドイツ國民の回復を期することは出來ない、希はくはドイツ國民の將來をして世界に永續的な業績と價値とを與へたドイツ精神に託せしめよ神よ、希くはわれ等の努力においてわれ等を見棄るなかれ、われ等の困難な任務に祝福を垂れさせ給へ」

チエコの獨軍降伏せず

(チューリツヒ七日發)プラーグラジオは七日次の通り放送した

チエコスロヴアキアのドイツ軍司令官はデーニツツの降服を認めない、七日正午フランスブルグの敵放送局はドイツ政府がソヴエトを含む聯合軍に對し無條件降服したと傳へてゐるが、これは事實に相違することは明かにドイツ軍の抗戰意志を破碎しようとする宣傳で、ドイツ政府は米英兩國に對してのみ抗戰を停止しただけに過ぎずボヘミアモラヴイア地區において東部のドイツ軍が救はれわれわれが本國へ歸還する道が確保されるまでは戰鬪は繼續されるであらうプラーグ放送局は旣にチエコスロヴアキア抗戰軍團に奪取されたとの說があつた、右によりこれが誤りなることが判明した

兩司令官初會見

(リスボン七日發)ロイター前線報道によれば反樞軸第二十一集團軍司令官モントゴメリーは七日バルト海岸のウイスマルにおいて赤軍第二白露戰線軍司令官ロコソフスキー元帥と初會見を遂げ午餐を共にしたといはれる

【ドイツ】

悲愴！ ヒトラー總統の決意

—飽くまでベルリンに踏止まる—

ドイツ南部の某地にて江尻特派員二日發　チューリツヒ支局經由

ヒトラー總統戰死の報道はすべてのドイツ人に對して最も深刻な打擊を與へた、ヒトラー總統は首都ベルリンと運命を共にし、ナチ政權の崩壞をドイツ國民史上に神聖化し、かくして民族復興の基礎を据ゑようと決心したにちがひない

ドイツ軍の最高幹部は危急存亡の際總統があくまで健全なことが極めて大事なことを指摘してベルリンを立去り、他の地點において作戰指導を繼續することを懇望したので、一時は總統も最後の瞬間にベルリンを立去る決心を固め、總統官邸から僅か三百米、チアガルテンを通つてゐる幅七十米の「東西道路」に新しい特別仕立の飛行機の離陸を用意したのであつた、四月の中旬にはブランデンブルグ凱旋門とジーゲスザウエレ間の兩側の電燈は全部取除かれ市中に約五百米の滑走路が出來上つた、しかし何故かヒトラー總統はその後方針を變へて首都に踏止まり、英雄的な最後を遂げたのである、一つの理由としてヒトラー總統は出來るだけ多數の赤軍をベルリンに引付け、一泡吹かせようと考へ自ら陣頭に立てば決してこの反擊も不可能ではないと思つたのだといはれる、しかし赤軍がベルリンの南方五十粁のツオツセン西南七十粁のベルチツヒに進入すると共にヒトラー總統は右計畫の遂に成らざるを覺つて自裁を決意したと傳へられる

更に一說によればヒトラー總統は英國を盟邦としてボルシエヴイズムに對する戰を遂行しようとして果さず死を早むるに至つたのだともいはれる以上の構想は「わが鬪爭」において夙に開陳され歐洲戰爭の最中においても公開の演說において再三ヒトラー總統が力說したところである、一派は極めて執拗に獨ソ兩國間の和平をヒトラー總統に進言したが、右提案あるごとに總統は直ちに一蹴し絕對にボルシエヴイズムと妥協しないとの決意を示した、獨ソ兩國間の不可侵條約についても當初ヒトラー總統は反對で外相フオン・リツベントロツプ氏躍起の說得で漸く同意したのだといふ

一部の情報によればヒトラー總統は四月二十一日ヒムラー內相、デーニツツ提督らをドイツ北部に派遣し、スエーデン赤十字記者を通じて英國に對しボルシエヴイズムの戰ひを遂行するやう要請したが、最後の希望もはかなく潰えて砲煙彈雨の間にウイルヘルムシユトラーセの總統官邸において壯烈な最後を遂げたのである、情報によれば最後の戰鬪においては總統官邸における女性のタイピストまで同じく銃をとつて戰つたと傳へられる

總統、海軍無抵抗を慫慂

（ストツクホルム六日發）デーニツツ總統は六日夜ラジオを通じて次の特別布告を發した

休戰協定に含まれる全水城のドイツ艦艇將兵は一切の戰鬪行爲を中止せよ、自沈その他艦艇の使用を不能ならしめるごとき行爲は一切これを禁ずる

クライスト元帥降伏

（リスボン四日發）パリ來電＝米第三軍司令部はフオン・クライスト元帥が去る四月二十五日米軍に投降した旨四日發表した、フオン・クライスト元帥はドイツ軍機甲集團軍司令で、一九四〇年のフランス大突破作戰に成功して勇名を馳せ、次いで東部戰線南段の作戰に參加した

ナチ黨員の出頭を命令

（チューリツヒ五日發）ベルリン來電＝赤軍ベルリン占領軍司令官ベルザーリン大將は五日ベルリン住民に對し次の布告を發した

一、ナチ黨諸組織の一切の活動を非合法なりとして禁止する

一、ベルリンに殘留するドイツ國防軍、親衞隊並びに突擊隊の全員は今後七十二時間以內に赤軍當局に氏名を登記すべし

一、ナチ黨員秘密警察隊員その他一切の國家機關の職員は赤軍地區司令官の事務所に出頭すべし

一、一切の公益機關、病院、食料品店及び麵麭店は事業を再開すべし

昭和二十年五月九日(水)
第三四一六號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

【歐洲】

ハンブルグに軍政

(リスボン六日發)ロンドン來電=「サンデー・エキスプレス」紙の前線特派員はハンブルグに軍政が布かれた旨六日次の通り報じてゐる

ハンブルグ市長ヴイクゼン・クログマンは五日「ハンブルグの軍政は公正であるが同時に嚴格であり、聯合軍の軍政官吏は約束を守るが故に市民は彼らの決定に服從すべし」と言明した

元皇太子ら捕はる

(リスボン六日發)パリ放送によれば、フランス政府は元ドイツ皇太子ウイルヘルム殿下がフランス軍に逮捕された旨六日發表したといはれる、右放送はさらにフランス第一軍がドイツ國務相フオン・ノイラート男並びに元駐伊ドイツ大使フオンマツケンゼン氏を逮捕した旨傳へてゐる、ノイラート男はかつて駐英大使、外相等を歷任、現在は樞密會議々長の要職にあり、チエコ政府が反樞軸戰爭犯罪委員會に提出した戰爭犯罪人名簿には同男の名が筆頭に擧げられてゐるといはれる、フオン・マツケンゼン氏は第一次世界大戰當時西南地區のドイツ軍司令官として勇名を馳せたフオン・マツケンゼン元帥の令息であるが、今年九十五歲の同元帥も四月中旬反樞軸軍に逮捕されたと當時報ぜられた

要人續々捕虜

(リスボン四日發)パリ來電によれば、オランダ、デンマーク、ドイツ西北部における全ドイツ軍の無條件降伏に伴ひ、ドイツ西北部のドイツ軍司令官エルンスト・フオン・ブツシユ大將、デンマークのドイツ軍司令官ゲオルグ・リンデマン大將、デンマーク首相エリツク・スカヴエニウス氏、コペンハーゲン駐劄ドイツ公使ウエルナー・ベスト博士、オランダのドイツ民政長官アルツール・ザイス・インクワルト博士等が反樞軸軍の捕虜となつたといはれる、デンマークにおけるドイツ軍は海軍二萬五千、空軍一萬七千を合めて總數十一萬と推定される

葡對獨斷交

(リスボン六日發)ポルトガル政府は六日夜、リスボン駐劄ドイツ公使に對して次の通牒を手交した

ドイツ政府はも早や存在せず、ポルトガルはこゝにドイツ國との國交を斷絶するに決した、從つてポルトガル政府は、國内のドイツ公館、公使官邸、領事館、宣傳局等を閉鎖し、一切の動産不動産並びに施設を政府の保護下におき、聯合國の委員會によつてドイツ國の主權を代表すると認める團體、乃至聯合國によつて容認される政府に移管するまで、嚴封するに決した

英佛同盟交涉

(リスボン七日發)サンフランシスコからの情報によれば、フランス代表ビドーと英代表イーデンとの間に英佛同盟締結の下交涉が同地で進められてゐるといはれる、フランス側としては新平和機構案の成立以前に同盟を締結し、これを桑港會議で各國に承認せしめたい意向といはれるが、英國側ではルール、ラインランド問題、桑港會議シリア、レバノン問題の目鼻がつくまでは、英佛同盟は尙早であるとの意向のやうだ

丁新内閣顔觸れ

(ストツクホルム六日發)コペンハーゲン來電=ドイツ駐屯軍の降伏後、ブールを首班として五日成立した新デンマーク政權閣僚の顔觸れは次の通り

首相ウイルヘルム・ブール　外相クリスマス・メーラー　國防相オレビヨルン・クラフト　社會兼勞働相ヘドトクト・ハンゼン　藏相H・C・ハンゼン　公共事業相カール・ペーターゼン　内相クンド・クリステンゼン　農相クルク・エリクゼン　商相フイビイガー　敎育相A・M・ハンゼン　法相ビツシ・イエンゼン　無任所相カウフマン、ラーゼン、アルフレツド・イエンゼン、モーゲンスフオル博士、フロード・ヤコブゼン

【米　洲】

バルト系米人覺書提出

（リスボン六日發）サンフランシスコ來電＝リトアニア系米人は六日桑港會議出席中の各國代表團に對し要旨次の覺書を提出した

ロシア軍が撤退し現在强制勞働に服してゐる百萬以上のリトアニア避難民が送還された後、聯合國の管理の下に民主々義的選擧により自己の政府を決定する機會をリトアニアに與へて貰ひたい

更にラトヴイア、エストニア系米人も以上リトアニア系米人と呼應して共同覺書を發表、ラトヴイア、エストニアがソヴエト共和國としてソ聯邦内に併合されるのに反對すると共に、以上沿バルト三國が夫々世界機構中で獨自に扱はれるやうな規定をサンフランシスコで作つて貰ひたいと述べてゐる

南阿委任統治領の合併を要求

（リスボン六日發）サンフランシスコ來電＝南阿聯邦代表團は近く桑港會議に對し、アフリカ大陸における南阿聯邦現在の委任統治領を聯邦に合併する要求を提出するに決定したと傳へられる、南阿聯邦の主張要點次の通り

西南アフリカは地理的に戰略的に南阿聯邦の一部を構成し、聯邦の鐵道により補給の大半をうけてゐる實狀で南阿聯邦に依存することまことに大きい、これらの領域が別個獨立の國家として存立する見込は絶對になく、委員統治の原則は到底實現の見込がない

伊招請に難色

（リスボン六日發）桑港會議參加國は現在四十九に上つてゐるが、歐洲情勢の急轉に伴ひイタリアデンマーク等の會議參加問題が再び重大化して來た樣子だ、殊にイタリアは會議開催前から猛烈な割込み運動をしてゐただけに米英兩國でも考慮を加へてゐるといはれるが、サンフランシスコ來電によれば米英兩代表部では依然、イタリアの招請は困難だとの見解を洩らしてゐるといはれる、米當局ではイタリアの戰線における寄與を認めるに吝かではないが、現在なほ招請を不可能ならしめてゐる幾つかの複雜な要素があると言明し、その一つとして聯合國中の數ケ國は依然イタリアと交戰狀態にある點をあげてゐる、またデンマークが解放されたため同國を五十番目の參加國として招請すべしとの論も擡頭するに至り、近く執行委員會及び全體會議に附してこの問題の最終決定をなすことになつてゐる

桑港會議に新難關

（リスボン五日發）サンフランシスコ來電＝勞働總同盟會長グリーンは桑港會議に米國勞働界の見解を傳へるため五日サンフランシスコに到着したが、彼の會議出席によつて紛糾を續ける桑港會議にまたしても新たな難問題が發生するのではないかとみられる

即ちグリーンはワシントン出發に際しソ聯が戰後の再建事業にドイツの勞働力を强制的に使用せんとしてゐる方針に眞向から反對、桑港會議でこの意見を開陳する旨言明してをり、會議ではこの問題をめぐり米ソ兩國間に再び悶着が豫想されるに至つてゐる、國際勞働組合會議では五日新世界勞働組合聯盟の契約を採擇したが、新聯盟には世界の勞働政策を支配する權限が與へらるべきであるとのソヴエト代表の提案が否決され、ここでもソ聯は反樞軸各國との間に鋭い對立を見せてゐる

修正案では意見一致

（リスボン五日發）サンフランシスコ來電＝米國務長官ステチニアスは五日、米英ソ重慶四國代表は桑港會議に提出すべき國際機構案修正案につき意見一致したと發表した、尤もソ聯代表は二修正案のみに對しては未だ同意を與へず本國政府に請訓してゐる

ソ聯兩共和國代表團桑港着

（リスボン六日發）サンフランシスコ來電＝去る三十日桑港會議指導委員會で正式に會議參加を認められた白ロシア、ウクライナ兩共和國の代表團は六日空路サンフランシスコに到着した

昭和二十年五月九日(水)
第三四一六號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

戰鬪から平和へ(上)

—英國過渡期の樣相—

長谷川才次

英國首相チャーチルは四月十九日の下院ではいはゆる「勝利の日」について、性急な推測を加へぬやう誡めたが、ベルナドツテ伯を仲介とする休戰交渉が初められてからは、最早警戒の必要もなくなつたといふのだらう、英國は全く一日千秋の思ひで歐洲戰爭の終局を待ち望んでゐる樣子だ、もつとも上院ではトレンチヤード子、コーク伯等は頻りに自重論を稱へ、東亞の戰爭が片付かぬ限り本格的な戰勝祝賀を愼むやう頻りに主張してゐるが、大勢は如何とも致し難い、燃料相が石炭の不足で悲鳴を上げてゐるのにも拘らず炭坑夫は三日間有給休日を貰ふことになつてゐるし、ロンドン市内の酒場は一月分のビールを用意して待機してゐるといふ

△聯立內閣解體必至

お祭騷ぎはどうでもいいが、歐洲戰爭の一段落を契機として英國の政界がどう動くかが問題だ、チヤーチル首相の要請にも拘らず、聯立內閣が解體することは殆ど必至と見て差支へないのではなからうか、「エコノミスト」誌は四月二十四日の誌上で次の通り論じてゐる

「各政黨並びに無所屬の人材に對し聯立內閣に協力を要請したチーチル首相の申出では主要政黨の領袖から殆ど何等の反應をも得てゐない、勞働黨と自由黨との支持がなければ、假りに擧國一致內閣を組織したと稱しても一九三一年九月のそれと何等異らぬこととならう、首相の要請に對し、何れの政黨かが熱意を示したら寧ろ不思議な位だ、丁度勞働黨の左翼が保守黨と袂を分ちたがつてゐるのと同樣、保守黨の一部も又勞働黨自由黨と訣別することを望んでゐるのだから首相今回の要請は保守黨の一部を驚かした位だ、勞働黨と自由黨との領袖が個人としてどう考へてゐようとも、兩黨の黨としての立場については疑問の餘地がない兩黨最近の大會では內閣から脫退して、獨立の政黨として總選擧を戰ふことに判つきり極つてゐる去る十二月の勞働黨大會では黨代表が總選擧後再び聯立內閣に參加してはならぬといふことを特に辭つてはゐないが、かかる道をとるには、一九四三年アトレー副首相が公約した所に基づき、特に黨の會議を開いてその決定に俟たねばならない

△戰後は政黨政治に復歸

現在下院及び國內全體の空氣から判斷すれば、勞働黨の回答は唯一つだ、時間表は可成りはつきりしてゐると思ふ、歐洲戰爭が終れば勞働黨と自由黨とは聯立內閣から脫退する、チヤーチル首相は保守黨系の中間內閣を組織し、その間各政黨が總選擧の準備を急ぐ、それから先きは總選擧の結果如何にかかるが、現狀で結果を臆測するのは先づ無駄だ、もし何れかの政黨が過半數を確保すれば、聯立內閣の話は先づ起るまいが、各黨の議席が接近してゐれば過半數なしで政權を握り、何等爲すところがないのよりも各派とも新しい聯立內閣の結成を希望しよう、しかしかかる取極めは極めて不滿足で長續きはしまい

歐洲戰爭の終了後各派聯立內閣が永續する基礎を見出すことは困難だ、勿論東亞の戰ひには今後も國力を傾けねばならず、復興と復業といふ尨大な國家的事業が控えてをり、新な議會は未完の企畫を遺產として受け繼ぎ、山積する白書を法令化しなければならぬのは事實だ、しかし社會保險法の完成が遲れ土地評價について意見が一致せず、住宅問題がごたごたし石炭飢饉を誘致してゐること等々は要するに內政上における聯立內閣の成果だ、つまり爭論を恐れた結果に他ならない、戰時においては水を割つた妥協が內政上に缺くことが出來ぬ要素かも知れないが、永續的な政策としては必ずや重大な破綻を誘致しよう、妥協出來ぬ主張をどうしても妥協させねばならぬといふ必要のために、實際に何事も捗らなかつたことは、過去十二ケ月の事態に徵して明かだ、歐洲戰爭後數年に亘り尨大な諸問題に直面して多少の成果を收めようとすれば、まづ自らの意圖する所を知り自らの政策を知つてゐる內閣を組織することが必要だ、外交政策、殊に平和處理の交涉に當つて政黨政治に復歸するためには、諸政黨間における高度の

一致が望ましいことは事實だ、しかもこれは聯立内閣を俟たずに實現出來よう、しかし内政上殊に經濟政策上に全政黨内閣を維持することは政策の無力を徒らに事態の後を追ひかける結果とならう

△内閣偏見對立で無力化

聯立内閣が無力化するに至つたのは、政策の衝突に因ると同樣乃至それ以上に偏見の衝突に基くところ多くしかも對立する偏見はあり餘るくらゐだ、保守黨出身の閣僚は苟も國有臭味ある施策には悉く反對せねばならぬ義務を感じてゐるし勞働黨出身の閣僚は個人的資本主義を容認する一切の施策を攻撃せねばならぬといふ義務を感じてゐる

先週チヤーチル首相の演説のなかには經濟政策に關する一聯の原則を提示しようと努めた跡が見える、「我等のメーン・マストの頂きには合衆國におけると同樣保守黨は企業自由の旗幟を掲げる英國人本來の天才と冒險の精神、戰時におけると同樣平和においても危險を冒す精神が、われ等の運命を擔つて、英國人のために有利な事業と有利な貿易とを見出すだらう」とチヤーチル首相は述べてゐる、かういふ感情に對して英國人は何時でも喝采を惜しまぬだらう、しかしその意味するところは如何、チヤーチル首相が「保守黨は合衆國と同樣自由企業の旗幟を掲げる」といつたのは果して如何なる意味だらうか？　勿論以上の主張に對し勞働黨が「われ等はソヴエト聯邦と同樣使用のための生産で利潤のための生産ではないとの旗幟を掲げる」と答へるのを期待してゐる譯ではあるまい、若しさうとすれば英國に對してよりも、保守黨自體に非常な不利益を與へてゐるといはねばならない、或ひはまた保守黨が從來の態度を飜して、今まで糾彈してゐた所を祝福するとの意味であらうか、保守黨が英國における企業の自由に對する大敵であつたことは記錄の示す所だ、私有財産權擁護のために——私有財産制と企業の自由とは全然別物だ——保守黨は戰前において英國人の天才と冒險の精神とを追放するに非常に努力した、危險を賭する精神は保護と獨占と制限との毛布の下に窒息するに至つた、しかるに今保守黨が悔い改めて「各政黨並びに無所屬の人材」を網羅し、一切の制限政策を排除し、トラスト並びにカルテル禁止法を制定しようといふのであれば、否要するに保守黨が資本主義を動かして行かうと企圖してゐるのであれば、それこそ英國の政界に主義の戰ひが展開されよう、しかし不幸にして恐らくチヤーチル首相の意圖はそこにはない、惟ふにチヤーチル首相は社會主義に與しないことをいはうとしたに過ぎまい、もしチヤーチルが黨の首領たることを拒めば戰爭におけると同樣、平和に際しても英國を救ふことが出來よう、しかし全面的な政策もなく一の便宜政策から他の便宜政策に轉々する他ない聯立内閣を論じてゐるやうでは英國を何處へも導くことは出來ない」

「エコノミスト」誌の主張を俟つまでもなく、歐洲戰爭の終了を轉機として、英國の政界が總選擧を經て再び政黨政治に復歸することは略々疑ひない、「デーリー・メール」紙の政治記者ブロートベントは四月九日の紙上において政爭の展開が豫想外に早いだらうと述べてゐるが、當時勞働相ベヴインが上げた政戰の烽火は歐洲戰爭が濟むまでといふチヤーチル首相の要請で、一時納つてゐたに過ぎないのだらう、愈々歐洲戰爭が終りを告げるとともに、否勝利のお祭り騒ぎが一段落するとともに、再び燃え上るに違ひない、勞働黨は四月十二日からロンドンで執行委員會を開催、住宅政策について不信任案を提出するか否かを討議、歐洲戰爭の終了まで見送ることに極めたが、今度は早速政爭の開始を宣言するに違ひない、今總選擧に臨む各派の政策を採り上げる前に英國政界に旋風を捲き起した勞働相の演説を「タイムズ」紙に據つて紹介しよう、ヨークシヤーとリージとの二個所の演説だが要旨は同一と見え、「タイムズ」紙は一括して次の通り報道してゐる

△勞働相斷乎立場を主張

「この破壞的戰爭の後における平和と復興とのために採るべき政策を決定するため、近い將來總選擧が執行されるといふ考へが政界の空氣に瀰漫してゐる、勞働黨が聯立内閣の解體に極めて無責任な措置をとつたといはれてゐるが、勞働黨としては決してかかる措置を採つてゐない、事實はから

昭和二十年五月九日(水)
第三四一六號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

だ、現在の議會は十年前嘘を基礎に、ボールドウイン元首相が自白してゐる通り嘘に基いて選出され、既に任期を越えること五年に及んでゐる

從つて選擧民に自ら好む政府の形態を決定する機會を與へるのが正當である、所が保守黨は英國を今度の戰爭に陷れた政策の記錄に基づいて選擧民に直面することを惧れ他の手段と卑劣な謀略に訴へてゐる、勞働黨が獨立の政黨として戰ひ、自らの綱領と政策とを揭げて選擧民に臨むに決定したのは當然である、內閣が今度は「配給切符」制選擧はやらぬ旨全員一致で決定したといつて閣議の機密を洩らすことにはなるまい、配給切符制の總選擧は民主々義を茶番化し、大陸における一部各政府の遣り口に墮するに等しい、我々が入閣したのは勞働黨全體の決定に基づき、黨として入閣したのだ、從つて總選擧に對する針路並びに爾後の施策を決定するのは黨自身に俟たねばならない

余自身の立場については種々な臆測が流布されてゐる、成る程自分は「忠誠」と書いた腕章を捲いてはゐないが、四十年間この黨派に忠誠であり黨勢の消長を身を以て體驗して來た、黨の過去をこの目で見、一部領袖の裏切りを目擊した、我々は今日までこの黨に忠實であり、余の關する限り黨の決定には內容の如何に拘らず從ふ決心である

△保守黨の積惡

來るべき總選擧における投票位選擧民にとつて重大且つ神聖な義務はない、若し英國民が慌てた行動によつて導かれ乃至激昂度を失つて、健全な判斷に基いて行動しなければ、選擧民は將來の英國人を、前後二回の大戰の中間期に似た情勢に當面させる罪を犯すこととならう、僅か二ケ年半の短い期間を除いて、實に廿餘年に亘り下院に多數を制して來た政黨は、國防の用意を整へ乃至國の赴く所について十分英國民に警告する任務に關して全く失敗した、外交においても英國と全文明とを將に塵芥に歸せしめるやうな政策をとつた、しかも今や大政黨は現代の若い選擧民が全然この事實を知らず、更に年長の英國人がこの事實を忘れて呉れればいいと思つてゐる、同黨はヒトラー總統並びにその一味と交涉出來ると考へ、財閥はナチ黨と取引しようとした、彼等は數百萬の失業群が有用な仕事に從事するよりも、失業手當を與へておく方策を採つた、いはゆる輿論なるものは主として金融業と投機者流の見解であり、國民大衆の見解ではなかつた、議會はこの事態に全く驚きかかる事態を打切る決意を固めたが、勞働黨に入閣を要請したとの報道は英國民に非常な安堵を與へた、勞働黨は躊躇しなかつた、若し勞働黨が擧國一致を保持しようと努めなかつたならば、恐らく英國は荒らされ占領されてゐたに違ひない

余はチヤーチル首相が拘束を受けぬ場合、國民の指導者として深厚な讃美を惜しまない、國民の指導者としての首相に對しては余は忠誠を誓ふが、保守黨首領としてのチヤーチルには忠誠を誓はない、兩者の間には大きな差別がある、現在の聯立內閣の誰か一人を輕視するのを仕事にしてゐるわけではないが、この戰爭は決して一人の戰爭でもなくこの政府が一人の政府でもないことは確言して阻らない、全內閣が組閣本來の目標に向つて一致して働いた我々のうちの誰かで、これは一人の仕事だといふなら余は斷乎として排斥する

△總選擧の爭點は公有問題

來るべき總選擧での大きな爭點の一つは厄介な公有問題である、反對派はその旗幟に企業の自由と獨占の權利とを明示してゐる、しかし余は產業が公けに奉仕し、少數の獨占に奉仕しないことを望む、余は、私の支配を受けてゐる獨占を、國家に對する危險であり社會に對する積極的な危險と思ふ、動力の價格を引下げるためには賃銀を切り下げねばならぬといふのは全く笑ふべき議論だ、余は炭坑夫の賃銀引き下げに反對である、些も賃銀引下げの必要はないが石炭の價格は引き下げねばならず、余は炭坑の公有によつて以上の目的達成を圖る方針だ、炭坑と同時に電力を國營にすることが是非とも必要である、余はまた輸送機關を公有として完全に相調整することを主張する、保守黨は統制の問題について幽靈を出さうとしてゐる、勞働者に對する現行の諸制限は悉く余の責任だといふが如きは卑怯だ、勞働黨は國民を保護するために統制を主張してゐるが、現在の諸制約は出來るだけ速に撤廢し度いと切に望んでゐる

資料

シュペーア軍需相演説全文

ストツクホルム支局發

ドイツ軍需相アルベルト・シュペーア氏は三日午後七時半からコペンハーゲン放送局を通じて歐洲の戰局に關する重要演説を放送したが、演説の成文次の通り

△抗戰の唯一の意義

「ドイツ人友人諸君、教養ある一國民がかくの如き深刻な打擊をうけたことはいまだ曾つてなく、荒廢と戰爭による被害がわが國におけるほど大きかつたことも曾てなく、われらよりもより大きな耐久力と粘着力と信念とをもつて戰爭の重荷を荷つた國民は從來なかつた、今や諸君はすべて失望落膽してゐる、諸國の信念は絶望に變り、諸君の耐久力と粘着力とは困憊と無關心とに變じた、まことに已むを得ない次第である、しかしながらドイツ國民は今回の戰爭において、故世必らずや史家の讃嘆するところとなるやうな態度を示した、この瞬間においてわれわれはすぎさつたことについて泣言をならべてはならない、堅忍不拔の勞作によつてのみわれわれの宿命に耐へることが出來やう、この戰爭によつてドイツが蒙つた破壞は獨り、三十年戰爭にその類例を求めることが出來よう、しかしながら飢餓と疾病とに基く國民の間の犧牲を決して當時のやうな規模にさせてはならない、この理由のためにこそ、デーニツツ提督は武器をよこたへざるの已むなきに至つた、赤軍の手をのがれ乃至は赤軍に脅威をうけてゐる人々を死なせない、これだけが抗戰繼續の唯一の意義である、ドイツの英雄的抗戰におけるこの最後の任務は、今回の戰爭において爾かく勇敢に苦難に堪え忍んだドイツ國民が依然として果さなければならない、ドイツ人は征服はされたが、勇敢に戰つた戰士の名譽をどの程度まで享受するのを許すかを決定し、歷史に寬大且つ正直な名をのこすか否かは專ら相手方の決定に俟たなければならない

△復興の魂を振起せよ

しかし諸君の一人一人が最惡の被害に對し、ドイツ國民を保護する上に寄與することが出來よう今後數ケ月間諸君は爆擊に堪へたのと同じ精神をもつて復興の魂を振ひおこさねばならない、過去數ケ月間における恐るべき恐怖と失望との故に國民の間に浸潤した自然の無氣力は消えてなくならなければならない、近い將來のために余は次の諸點を諸君に提示したい

一、最も大切なことは、停車場に對する損害をとり除くことである、運輸機關による以外大きな地域に補給を續けることが出來ず、住民は飢餓に曝される恐れあり、且つ運輸機關による以外再び家族の下に歸ることが出來ないから、相手方の許すところ、乃至命ずるところに從つてあらゆる手段を講じてこの復興が進められなければならない

二、戰時に際し、あの素晴らしい業績を果した工業並びに手工業は先づ第一に鐵道施設の再建に關する注文をうけとらねばならない、他の注文は假に先に出てきても第二義的に扱はねばならない

三、六ケ年間の戰爭でドイツ農民は規律を守り、素晴しい方法で掟に基いて作物を供出した、現在においては農民は一人のこらず市場に作物をもつてこねばならない、ドイツ農民があくまでその任務を遂行し、今年の農作のために勤勞を續けることは當然である、農民はドイツ全國民に對する自らの責任を知つてゐる

四、食糧の供給は他のいかなる貨物にも先だつて輸送されなければならない、供給部門に對しては他のいかなる事業よりも先に電氣とガスと石炭とが提供されよう

過去數ケ年におけると同樣な粘りをもつてわれわれが働くならば、ドイツ國民はあまりにも甚大な損害を蒙らずにすむであらう、相手方がこれを許すかどうかはまだ語られてゐない、しかしながらわが國民の存續のために最後の瞬間まで余の働く力のすべてを捧げることが、余の義務である、

昭和二十年五月九日(水)
第三四一六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

過去數ケ月間ドイツが蒙つた軍事上の打撃はまことに恐しい、今後我々の宿命が何處に轉ずるかはもはや我々の掌中にはない、獨り神のみが我々の將來を變へることが出來よう、我々は決定的に且つ勤勉に我々の仕事を遂行し我々の心において更に一段謙遜となり、自己批判を實踐することによつて更に永遠に存續し我々の民族の將來に對する不拔の信念によつてこれに寄與することが出來よう、神よ願はくはドイツを護り給へ」

對日爆撃效果論

軍事記者シドニー・シヤレツトは三月十七日對日爆撃效果に就き次のやうな意見を述べてゐる

「先週行はれた日本の三大都市に對する爆撃の結果として、米國作戰首腦部は對日空襲は既に試驗期を過ぎたと確信するに至つた、卽ち東京の中心部に發生した火災と言ふものは日本々土に對する將來の爆撃の有效性を如實に物語るものであり、偵察寫眞に現れた東京の破壞程度と言ふものは正に歷史的な事件である、アーノルド大將の第二十航空部隊司令部は現地航空隊からの情報に基き對日爆撃の結果を詳細研究中であるが、米國政府側では對日爆撃の效果に滿足の意を表明してをり、これにより航空戰に新紀元が畫されるとさへ確信してゐるほどだ」

△燒夷彈戰法が效果的

今日まで、米國陸軍航空部隊は專門的に重爆撃機を使用して高度からの精密爆撃に依存してゐた航空部隊はこの方法によつて攻撃目標を選擇し、これを組織的に爆撃したが、これはある意味では一種の試驗に過ぎず、その後B29は對日爆撃のために特に考案されたEM69燒夷彈を積載し低空飛行によつて東京の心臟部を灰燼に歸せしめたのである、これは米國官邊でも「成功」したと確信してゐる、條件が許せば今後とも更に大規模の燒夷彈戰法が採用され、單一の目標物でなく全地域に亘る爆撃が行はれる事が考へられる譯だ、さうかといつて、これによつて高度からの精密爆撃が終つたといふのではなく、航空部隊のスポークスマンの言明してゐる如く、米國航空部隊の活動が如何なる方向に擴張されようとも、高度精密爆撃が第一である、併し、日本の場合にはB29乃至アーノルド大將が近く出現すると言明した更に大型の爆撃機(註B32)が低空からの燒夷彈攻撃を加へる方が望ましい事である、對日攻撃には燒夷彈戰法が特に效果的だ、何故なら來るべき半年間の日本の天候は次第に惡化し、個々の攻撃目標以上に攻撃地域を發見することは困難となる、從つて、精密爆撃は出來ぬから、燒夷彈攻撃が條件に適する譯だ

△決定的戰略上の役割

昨年六月にB29が登場して支那、印度方面の基地から活動するやうになつてから、日本本土は勿論、アジア大陸の產業、軍事施設は損害を蒙つてゐたのであるが、昨年十一月にB29がマリアナ基地から作戰を實施するに至り、對日戰は更に重要な局面に突入したのだ、マリアナ基地は安全性においてまた尨大量の燃料と爆彈を容易に補給し得るといふ點で優れてをり、卽度基地より更に日本本土に近接してゐる、そこで、米國の今後の戰略は日本本土攻撃はマリアナ基地のB29に委せ、昭南の如き南方地域の攻撃は印度基地のB29に委せるといふことにならう、しかし、消息筋では對日爆撃による日本の損害を過大評價することを警めてをり、事實日本の戰爭產業はいまだ擦り傷も負つてゐないのである、しかし、戰略爆撃計畫の第一目標である航空機工業の損害は相當のものであつたと考へられる、日本に對するB29の攻撃を指揮してゐる第二十航空部隊司令官は對ドイツ爆撃と同樣の效果を對日爆撃において收め得る旨强調してをり、或る方面では對ドイツ以上の效果を擧げ得るとさへ言明してゐるほどだ

かくて戰爭の長期化に伴ひ、日本の戰時產業と交通線は決定的に破壞されることにならう、いまや日本に對するB29の戰闘は開始された、しかも

米國の重爆撃機の生産は常時向上しつつあるのだ東京、大阪、名古屋、神戸に對する攻撃にはその都度三百機以上のB29が參加したが、出撃地からの距離を計算に入れれば爆彈積載量は大體B29一千機に等しいといふことになる、しかし、若し日本本土から六百哩以内の基地から行動する場合にはB29一機はB29五機に等しく「空の要塞」の優れた後繼者たり得る譯だ、硫黄島を航空基地として全面的に使用すれば、同島が東京から七百五十哩であるだけに、B29はこれまでに缺如してゐた戰鬪機の護衛を得らるることとなる、しかして、小笠原、沖繩諸島、支那海の島嶼、更に支那沿岸に基地を獲得した場合には日本を基地群で包圍しここにB29は勿論、爆撃機及び中型爆撃機、戰鬪爆撃機を收容し得るわけだ、一方、既に特別の任務にその適性を示した艦上機は特に戰術爆撃に依つて對日膺懲の貢獻を繼續するであらう、東亞における來るべき決定的戰略において空軍力の果すべき役割は既に明々白々たるものがある、ドイツの敗北後東亞の戰爭が如何に長期に亙り繼續するとも、空軍は日本の產業を無力化し、敵空軍を撃摧し、次に來るべき上陸作戰に備へるのだ、日本及び支那でわれわれが戰鬪を行ふことになれば空軍は敵の交通線を切斷し、陸上部隊に戰術的協力を與へることになるのだ、航空作戰首腦部は歐洲における勝利に米國空軍が至大の貢獻をしたことに滿足の意を表明してをり、東亞においてもまた空軍が凡ゆる任務を果し得ることを確信してゐるのだ

信託統治英國案

（リスボン五日發）ワシントン來電＝桑港會議英國代表クランボーンは五日、信託委任統治制度に關して左の八ケ條より成る提案を發表した

（一）英國政府は次の三種類の領域に適用出來るやうな單一の信託統治體制が必要であると考へる

イ、反樞軸國が現在國際聯盟の委任統治制によつて統治してゐる領域

ロ、戰後敵國から剝奪する領域または、敵國から讓渡せしめる委任統治領

ハ、現在統治に當つてゐる國が自發的に國際機構の信託統治制下におくやうな領域

（二）自治能力のない屬領を統治する國は何れも屬領住民の福祉に關して責任を負ふべきである

（三）屬領民の保護監督は反樞軸諸國のために行動する「先進」國の責任となるべきである

（四）信託統治制は被統治民、領域の地理的位置經濟狀況等の諸因子に應じてその性質に變化を持たすべきである

（五）統治國は平和維持等國際機構に對する諸責任を果して國際機構を支援するに當り、屬領に援助を要求する權利を持つべきである、反樞軸國が現在實施中の國際聯盟の委任統治制は前以て、統治國の同意を得ない限り如何なる變更をも加へてはならぬ

（六）統治國は統治領が世界平和の維持に貢獻し得る能力に關して國際機構安全保障理事會が要求するやうな一切の情報を提供すべきである

（七）統治國は統治領の經濟社會情況に關して國際機構に定期報告を提出すること

（八）國際機構は、右の諸報告形式を規定するとともに安全保障問題を除き、信託統治の諸問題に關して勸告を行ふべき常任委員會を設立すべきである

なほクランボーンは記者團との會見で信託統治制に關する英國案と米國案との相異點を左の通り指摘した

英國の提案は社會的經濟的因子を强調してゐるがこれに反し、米國案は戰略的因子に重點をおいてゐる

米國案は戰略的地域とその他の地域とに夫々別種の信託統治制を實施しようとしてゐる、しかし、戰略的地域と非戰略的地域とは區別することが不可能と思はれるから英國は米國の方式に反對だ

英國案は被統治國が自治能力を持つ段階に達した時期を決定するやうな條項を含んでゐない

英國案によれば信託統治制は世界各國が信託統治の廢止に意見一致し統治國がこれに同意した場合に徹廢されることとならう

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年五月十日(木)
第三四一七號

同盟通信 海外電報

(105)

【目　次】

ナチ黨最早存在せず……一二六四
ボルンホルム島でなほ抗戰……〃
米國にVEデーなし……〃
歐洲戰爭の終了を告ぐ……一二六五
スターリン依然沈默……〃
【聯　合　國】
三國會談以外に途なし……一二六六
五國外相會談開催……〃
修正案の協議終了……〃
對日方針に變更なし……〃
國際勞働組合聯盟規約可決……〃
その日の敵側陣營……〃
地中海戰線總決算……一二六七
西、獨外交官に退去命令……〃
獨資產も凍結……〃
【英　帝　國】
英土兩國間に通商協定……〃
陸海空軍損害を發表……〃
【ド　イ　ツ】
駐諾獨軍も降伏……一二六八
ゲツベルス、總統官邸で死亡……〃
カイテル將軍等も戰死……〃
獨伊軍降伏までの經緯……〃
【ソ　聯】
再び現物賠償を要求……一二六九
外交政策の基礎……〃
【米　洲】
海軍兵を召集解除……〃
海軍損害發表……〃
潛水艦喪失を發表……〃
大統領附海軍副官……〃
軍需契約取消額激增……一二七〇
油脂類に不足……〃
四月中飛行機生產高……〃
對重慶金塊供給を澁る……〃
APの素破抜きで一揉め……〃
【軍事情報】
米海軍空輸部隊成績……〃
機關車の空輸……〃
戰車のロケット砲……〃
【特　輯】
フランス地方選擧……一二七一

ドイツが敗れ去つてドイツ國民はどうなるか、トルーマンの戰爭終了宣言をみても、チヤーチルの演說を聞いても、或ひは米陸軍長官スチムソンの聲明を讀んでも、感じられるものはすべてドイツ國民に對する憎惡と報復の感情であり、ことごとく日本國民に對する新たなる征服慾と殘虐なる復讐熱である、彼らは今や獲物の味に舌なめずりして立ち上つた狼だ、彼らの鮮血したたる口の上には怪しく光る凹んだ眼がマニラから、ラングーンから、沖繩から、硫黃島から、本土を、東京を窺つてゐる、さうだ、ドイツ國民がどうなるかの質問は、そのまま日本國民はどうなるかの問題でなければならない

スチムソンは曰ふ、ドイツ國民は墮落せる蠻性の主張のために科學と工業を統合した、だがその野望は粉碎された、彼らの指導者が國民に教へ込んだ野蠻なる抱負は潰え去つた、しかしながらその性格の空虛と惡德の害毒とは依然彼らの躬內に殘つてゐる、彼らが再び文明を毒することのないやうに監視しなければならない、と

これがドイツ武裝兵力の無條件降伏に際して敵がドイツ國民に與へた言葉だ、彼らの敵はナチ黨でもなければドイツ國防軍でもなかつた、彼らの眞の敵は、ナチ黨と國民とを別ものなりとするその屢々の言明にもかかはらず、やはりドイツ國民であつたのだ、しかして今、彼らの憎惡は日本國民の上に集中されてゐる、事態はもはや全く明瞭だ、日本國民を地球上から抹殺せんとする彼らに對して戰ふ以外に道は全く殘されてゐない、奴隷の境遇と戰爭犯罪國民としての監視生活のうちにドイツ國民にどれだけ再起の希望が殘されてゐるであらう

敵の歐洲における兵員資材の太平洋への再展開は、航空要員の移動を皮切りにいよいよ開始された、それが影響の太平洋戰場に表れるのは遠いことではない、我々の戰爭はこれから面白くなる、日々是好日

ナチ黨は最早存在せず

（ストツクホルム八日發）フレンスブルグ放送局は八日、ドイツ總統デーニツツ提督のドイツ國民に對する演說を放送したが要旨次の通り

「余は五月一日、ドイツ國民に對する最初の演說において、余の第一の任務はドイツ人の生命を救濟するにあることを宣言した、余は果してドイツ國民を助けることが出來るかどうかを諸君に明言することは出來ない、われわれは現下の狀勢に基く苛酷な現實に當面しなければならない、ナチ黨は既に消え去つた、も早國家と黨との間における一致は存在しない、ドイツ國が據つてもつて建設された基礎は消滅した、ドイツが占領された結果一切の權力は占領軍の掌中に歸した、余と余が任命したドイツ政府が依然として行動出來るかどうかは專ら占領軍の決定に待たなければならない、五月八日午後十一時以後、一切の砲は沈默するであらう、ドイツ軍將兵、卽ち幾多歷戰の勇士は今や囚虜となる苦難の道を辿りつつあり、斯くして彼等はドイツ人婦女子の生命と、ドイツ國の將來のために最後の犧牲を捧げてゐるのである、彼等が千度立證した勇敢さに對してここに敬意を表明して叩頭する、われらは或ひは戰場に倒れ或ひは捕虜となつた勇士を決して忘れない、來るべき多難の時機に當り余は力の及ぶ限り、われらの勇敢な男子並びに婦女子に對し、耐へ得る生活條件を提供することをここに約する、苛酷な時機に際して諸君を助けるために余が果して何んなことが出來るか余自らも知らないが、われわれは現實に當面しなければならない、余が依然職に留まることによつて祖國のために何うか力を致すことが出來るのであれば、余はドイツ國民が新たに國家の主腦を任命することによつてその意志を表明する機會を與へられるまで、乃至占領軍が余の留任を不可能にするまで、余は依然として留任するであらう、ドイツに對する余の愛情と余の義務觀念と、の故に余は個人的な考慮を空しくして困難な余の職務に留まる決心である、しかしながら余がドイツ國に對し維持すべき義務ある體面を維持出來ぬこととなれば一時間たりとも職に留まることを肯んじないであらう、われわれの一人一人の前には困難な道程が橫はつてゐる、われらは戰場に仆れた勇士の靈がわれらに要求するところの威嚴と勇氣と規律とをもつてこの道程を辿らなければならない、われわれは任務の遂行に當つて最善を盡すといふ決意によつて行動しなければならない、この決意を缺くときドイツ人の將來の生命はその基盤を失ふに至るであらう、われらは團結と正義とに基いてこの道程を進まうと欲する、然らずんば來るべき苦難の時代を生き拔くことは出來ないであらう、われらは、われらの子孫が平和の歐洲において自由且つ安定した生活を送り得る時代が到來するだらうとの希望に基いてこの道程を辿らうこの棘の道において余は諸君に後れを取らうとは思はない、職に留まることが余の義務であるとすれば余は全力を盡して諸君を助けるやう努力するであらう、然しながら任務をすることが余の義務であるとするならば、ドイツ國民とドイツ國に對する奉仕のために辭任の措置をとるであらう」

ボルンホルム島でなほ抗戰

（チユーリツヒ八日發）ノルウエー並びにチエコスロヴアキアのドイツ軍が無條件降伏した結果、殆ど全地區で戰鬪行爲は停止されるに至つたが、ロンドンからの電報によればデンマーク領ボルンホルム島のドイツ軍はデーニツツの命令を拒否したといはれ、このほかユーゴスラヴイアでも一部のドイツ軍がチトー軍と交戰し、またフランス大西洋沿岸のドイツ軍については降伏したかどうか目下のところ判明しない

米國にVEデーなし

（リスボン八日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは八日の歐洲戰勝利聲明において、流行語「VEデー」の使用を愼重に避けてゐたが、その後に至つて白堊館當局から米國は正式にはVEデーなるものを宣言しない旨明かにした、トルーマンはその代りに歐洲の勝利を放縱なる祝賀の對象たらしめまいとする聲明中の希望を裏付けるごとく、十三日の日曜日を「祈念の日」と定めた

昭和二十年五月十日(水)
第三四一七號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

歐洲戰爭の終了を告ぐ

(ストツクホルム八日發)ロンドン來電=英國首相チヤーチルは八日午後三時、BBCを通じ次の通り演說した

「昨日午前二時四十一分アイゼンハワー將軍の司令部において、ドイツ軍最高司令部代表ヨーデル將軍並びにドイツ國の主班に指定されたデーニツツ元帥は歐洲における一切のドイツ軍陸軍、海軍空軍部隊の一切を聯合遠征軍並びにソヴエト軍最高司令部に無條件に降伏をさせる旨の取決めに調印した、米軍參謀長ペデル・スミス將軍並びにフランソワ・セヴホーズ將軍は聯合遠征軍最高司令官を代表して右文書に署名し、スラバトフ將軍がソヴエト最高司令部を代表して署名した、右取決めは八日ベルリンにおいて批准確認されるが聯合遠征軍最高司令代理テダー空軍大將並びにタツシニー將軍がアイゼンハワー將軍を代表して批准文書に調印し、ジユーコフ將軍がソヴエト軍最高司令部を代表して調印する豫定である、ドイツ軍代表は最高統帥司令並びに陸海空三軍の司令カイテル元帥である

戰鬪行爲は公式には五月八日火曜日午後十二時過ぎ一分をもつて終了を告げるが、無用な死傷を避けるために打ち方止めの命令は、七日から全線に亘つてすでに傳へられてゐる、われ等に親しいチヤネル・アイランドも本日をもつて解放される見込みである、ドイツ軍は依然として隨所に赤軍に對して抗戰してゐるが、もし八日夜半以後依然として抗戰を續ける場合には、これらドイツ軍は戰爭法規による保護を剝奪され聯合軍のため、あらゆる方面から攻擊を受ける結果とならう、現在のやうな廣大な戰線においてはドイツ軍最高司令部の命令が即時一切の場合に徹底しないからといつてあへて異とするに當らない、しかし、それだからといつてランスにおいて既にドイツ軍が無條件降伏の取決めに調印したといふアイゼンハワー將軍からの報告の事實を國民に傳へてならないといふ理由はないし、今明日を歐洲における勝利の日として祝福してはならないといふ理由にはならない、今日はわれわれは主として自分達のことを考へることとならうが、明日は戰場において勇戰敢鬪して全般的勝利に多大の貢獻を致したロシアの戰友たちに特に敬意を表明することとならう

斯くしてドイツ軍との戰ひは終りを告げた、ドイツ軍は多年に亘る猛烈な準備の後に一九三九年九月の始めポーランドに殺到し英國並びに英帝國はポーランドに對する保障に準據し、フランス共和國との協定に基きドイツ政府に對して宣戰を布告した、勇敢なるフランスが打ちのめされた後われらは、この島に據り一致團結した英帝國を背景として滿一ケ年徒手抗戰を繼續したが、その後ソヴエト・ロシアの軍事力と次いでアメリカ合衆國の壓倒的戰力と資源との協力を得たのである

究極において全世界は一致してドイツ軍と戰ひドイツ軍は今やわれらの前に、ひれ伏すに致つたわれらは短期間この勝利を喜んで差支へないがしかも一瞬間たりと雖も前途に橫はる苦難と努力とを忘れてはならない、日本は依然として屈伏するに至らない、日本に對しては飽くまで報復しなければならない、われらは一切の力と資力とを傾けて國の內外における任務を完成せねばならぬ」

スターリン依然沈默

(ストツクホルム八日發)モスクワ放送は、八日早朝、ドイツの無條件降伏調印を發表した、但しスターリン元帥は八日午後一時チヤーチル、トルーマンが歐洲戰終了に關する放送を行つてゐる間も沈默を守り、モスクワの國內向け放送は子供の時間の放送を續けてゐた、恐らくソヴエト政府は降伏文書が八日後刻ベルリンにおいて批准を了するまで歐洲戰の終了發表を差し控へてゐるものと思はれ、モスクワ放送局はドイツ向放送で

ドイツ軍の孤立した小部隊は數個所で依然赤軍と戰鬪を續けてゐるが、卽刻に戰爭を停止すべきである、ドイツの諸君よ、ヒトラーのドイツは擊破され、ナチの軍隊は壞滅した、ヒムラーヒトラー、ゲーリングの一味徒黨は姿を消したが、ドイツ國民並びにドイツ國家は存續するであらう

と呼び掛けてゐる

【聯　合　國】

三頭會談以外に途なし

（リスボン七日發）ポーランド問題を繞る米英ソ三國の關係は桑港會議を契機として全くの決裂狀態に陷つてゐるが、サンフランシスコ來電によれば、モロトフ外務人民委員は七日記者團との會見で

聯合國は卽座にといふわけではないがとにかくユーゴスラヴイア問題を立派に解決した、余はポーランド問題も滯りなく解決されることを希望するが、問題の核心はポーランド民衆の望む通りに解決されねばならぬことだ

と言明したと傳へられる、モロトフ氏がポーランドの民意を持ち出したことはワルソー政權を中心とする解決方式を固執するもので、ソ聯が讓歩する意思のないことは明瞭だ、右の事態に直面した米英兩國政界はポーランドの袋小路を打開するため再び三頭會議の開催を要求、サンフランシスコからのAP電報は

ポーランド問題はもはやトルーマン、チヤーチル、スターリン三者の協議を經る以外打開の途は全く閉されてしまつた

と論じ、ロンドンからのUP電報も

英國政府筋は三國關係の決裂をもつて脅すポーランド問題を解決するため三巨頭會談の開催を眞劍に提案してゐる

と報じてゐる

五國外相會談開催

（リスボン七日發）ワシントン來電＝米英ソ重慶四國外相は七日午後初めてフランス外相ビドーを交へて五國外相會談を開催した、右は會議の一般議事を討議するためと發表されたが、ダンバートン・オークス案に對する三十數個條の修正案に關しフランスの承認を求める傍ら國際信託統治制を討議するためとみられる

修正案の協議終了

（リスボン七日發）サンフランシスコ來電＝モロトフ外務人民委員は七日ダンバートン・オークス修正案を繞る米英ソ重慶四國の協議は無事終了、滿場一致意見が纏まつた

と言明した、右はソ聯對米英兩國の懸案たる個別條約再檢討及び地域的取極めに關する修正案につき意見が纏まつたことを意味するものである

對日方針に變更なし

（リスボン七日發）サンフランシスコ來電＝モロトフ外務人民委員は七日の記者團會見でドイツ降伏後のソ聯の對日政策に關する質問を受けたが、多くを語るを好まず

この問題に關してはソヴエト政府は既に四月初旬に見解を表明してある

と答へた、モロトフ氏の意味するものはソ聯の中立條約不延長を指すものと解される、桑港會議に關しては次の通り言明した

歐洲における勝利の結果、桑港會議は國際安全保障の基礎を固めるため出來るだけ早く議事を進めることが必要となつた

國際勞働組合聯盟規約可決

（リスボン五日發）オークランド來電＝國際勞働組合會議は桑港會議と並行してオークランドで組織會議を開催してゐたが、五日議事を終了、次の共同聲明を發表した

フランス、ソ聯、英國、中南米諸國及び重慶の勞働組合代表よりなる執行委員會は「國際勞働組合聯盟」の規約案を滿場一致可決した、規約は各代表國における勞働組合運動の自主權を保護するものである

その日の敵側陣營

——魔天樓から紙の雨——

（リスボン七日發）當地に集る各地からの電報は如何に敵側各國民が戰鬪行爲の終了を待ちあぐんでゐたかを傳へてゐる、まづニューヨークではランスからAPの第一報が到達するや間もなく市内多數の魔天樓からは紙の雨で市街を埋めた、街頭に流れ出た市民の數も一九一八年當時よりは遙かに多いといふ、取引街ウオール・ストリートも何となく浮き立つた調子で取引所は大統領トル

昭和二十年五月十日(木)
第三四一七號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

ーマンの公式聲明の時に二分間停止するだけだといふが早くも相場は激動を示し、出來高もこの一年間における最高記錄に達して特に國際電話、米國ゴム、ダグラス航空機とが人氣の中心になつてゐるといはれる、かうした騷ぎは英國も同じで、ロンドンは歐洲戰における聯合國軍の根據であるだけに街頭は聯合國各國人で文字通り埋められ、ウエリントン兵營では最近ドイツの俘虜收容所から釋放された將校達の大歡迎が行はれたといふ、ピカデリー・サーカスには數千の米國將兵が群集してゐる、廣場に面する料理店の正面には各國の旗が揭げられ、街頭に押し出した群衆のために交通は殆ど完全な停止狀態だ

飜つて太平洋方面はどうか、マニラにゐるマツカーサーは早くも彼の歸國準備をしてゐる妻に電話したといふが彼は何もはつきりしたことはいはなかつたといはれる、將校達は樂觀氣分を戒めて「われわれはこれからだ」と氣勢を擧げてゐるといはれる、或る將校は「われわれは遂にここまで來たがこれから本當の仕事を片付けることにならう、但しそれには隨分生命の犧牲も出るだらう」と述べたといはれ、一般では日本本土總攻撃に必要な兵員裝備が到着するまではまだ暫くはかかるだらうとみてゐる、一方ロイターの報道によると英國太平洋艦隊にはドイツ軍降伏の報道も案外平靜に受け取られたといふ、從來歐洲戰爭は兵員並びに資材の優先權を有するとの感じが深かつたが、歐洲戰が片付いた現在となつてはいよいよ太平洋戰域に全力を注いで日本攻撃の飛躍的强化を期待してゐるのが太平洋方面における英國軍の偽らぬ感情であらう

地中海戰線總決算

(チューリツヒ五日發)ローマ來電=地中海方面反樞軸軍最高司令部はチュニジア、シシリー島、イタリア海岸の戰鬪における二日までのドイツ軍の損害に關し五日左の通り發表した、但しこの發表にはイタリア方面ドイツ軍の降伏により武器を棄てた推定約百萬のドイツ軍は含まれてゐない

	戰死	俘虜	
チュニジア	六七、	五七五	二五二、四一五
シシリー島	三一、	二〇六	一三二、七九四
イタリア	六二、	〇〇〇	三一〇、〇〇〇
計	一六〇、	七八一	六九五、二〇九

戰傷者についてはイタリアの分のみ約二十萬と發表されてゐる

【歐洲】

西、獨外交官に退去命令

(リスボン七日發)マドリード來電=スペイン政府は七日ドイツとの國交斷絶を發表すると同時にドイツ大使館員並びに領事館員は八日午後一時までに國外に退去するやう要求した

獨資産も凍結

(リスボン七日發)マドリード來電=スペイン政府は同國內におけるドイツの資産を樞軸國の占領下にある諸國の資産と共に凍結した旨七日發表した

【英帝國】

英土兩國間に通商協定

(ストツクホルム四日發)ロンドン來電=英土兩國間の通商協定は四日兩國代表間に調印された

陸海空軍損害を發表

(ストツクホルム七日發)ロンドン來電=英國政府は七日開戰以來の陸海空軍損害を左の通り發表した

△英本國陸海空軍兵員損害總計六八五、六三八名

內	死者	二一六、二八七〃
		四八二隻
內	戰艦	五〃
	驅逐艦	一〇六〃
	巡洋艦	三八〃
	潛水艦	六一〃

△英、濠、加、印海軍艦艇喪失總計(一月末まで)

△英空軍航空機喪失總計 一一、四四九機

內爆撃機 七、九九七〃

【ドイツ】

駐諾獨軍も降伏

（ストツクホルム七日發）オスロー放送局は七日夜ノルウエー駐屯ドイツ軍司令官ベーメ大將の布告として次の通り放送した

ノルウエー駐屯のドイツ軍將兵諸士よ、フオン・クロージツク伯はドイツ全軍の無條件降伏を發表した

以上によつてノルウエー方面ドイツ軍も無條件降伏を承認したものと見られる

ベーメ大將麾下ノルウエー駐屯軍の降伏交渉はスエーデンを介して行はれてをり多數のドイツ軍は正式に降伏するため早くもスエーデン國境へ前進中と傳へられる、目下交渉はベーメ大將とスエーデン代表との間で行はれてゐるがスエーデン駐劄トムゼンドイツ公使も右交渉に參加のためノルウエー國境に赴いてをり情報によれば七日午後にはドイツ軍將兵の抑留が開始されるだらうといはれる、なほノルウエーに駐屯するドイツ武裝軍は陸軍二十萬、海軍五萬、空軍五萬で潛水艦二百乃至三百隻、空軍三百乃至五百機から成つてゐる

ゲツベルス、總統官邸で死亡

（チユーリツヒ七日發）六日午後九時十五分のプラーグ放送によればゲツベルス宣傳相は夫人及び四人の子女をはじめ總統官房長ボルマン氏らと共に總統官邸内において死去したといはれ、更にロンドンからのAP電報はゲツベルス博士はその家族と共に毒藥自殺したものだと報じてゐる

（ストツクホルム七日發）ロンドン來電によれば英政府當局は七日、ゲツベルス博士並びに夫人、子女の遺骸がベルリン市内で發見されたが、ヒトラー總統及びゲーリング元帥の遺骸は未だに發見されない旨言明したといはれる、一方モスクワからのAP電は赤軍の將兵は總統官邸内で發見された屍體を組織的に檢べ、總統の遺骸發見に躍起になつてゐるやうだが現在までのところ自殺したナチ黨領袖及び突擊隊幹部の屍體が發見されたばかりであると報じてゐる

カイテル將軍等も戰死

（ストツクホルム六日發）プラーグ放送局は六日夜ドイツ宣傳相ゲツベルス博士、幕僚長カイテル元帥、總統官房長マルチン・ボルマン氏並びに宣傳省のウエルナー・ナウマン氏がベルリンの總統官邸において戰死した旨發表した、また英第二軍附APB特派員六日の報道によれば、ハンブルグ北方の英軍は同方面でフエドール・フオン・ボツク元帥の死體を發見したといはれる、フオン・ボツク元帥は一九四一年六月中部地區ドイツ軍を率ゐてソ聯領内深く攻め入り勇名を馳せたがモスクワスターリングラードの攻略に失敗して以來第一線を退いてゐた、同特派員はまた過去一週間に英第二軍は砲兵隊司令官クローゼ中將、海軍兵站庫監督官ミヒヤエル海軍中將等を初めドイツ軍將官約六十名を逮捕したと報道してゐる

伊戰線軍降伏までの經緯

（リスボン六日發）ローマ來電＝地中海方面反樞軸軍司令部は六日、北イタリアにおけるドイツ並びにイタリアファシスト軍降伏までの經緯について次の通り發表した

北イタリアにおける獨伊軍の降伏に關する交渉は既に三月初旬開始されてゐた、しかしヒムラーが疑念を抱いたため降伏は遲れ、五月二日まで降伏が實現するに至らなかつた、更に右交渉が蹉跌した他の原因は當時のイタリア戰線におけるドイツ軍最高司令官ケツセルリング元帥が轉任したことであつた、最初の交渉は三月二日スイスで行はれた、米國陸軍少將レムニツツア並びに英陸軍少將エアリーはこの交渉の任務を命ぜられ、彼らは平服を着てスイスに入り、人前はダクスフント種の犬を買はうとしてゐるのだといふことにしておいてドイツ親衛隊大將ウオルフと交渉を行つた、この結果五月二日の降伏が招來されたのであるが、一時はウオルフはレムニツツア及びエアリーとスイスで會見出來ないこともあつた、といふのはヒムラーがウオルフに電話して何故スイスに行つたのかと訊ね更にウオルフに對して彼が常にイタリアにゐることを證明するために定期的にヒムラーに電話するやう命令したからであつた

昭和二十年五月十日(木)
第三四一七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【ソ　聯】

再び現物賠償を要求

(モスクワ七日發)「戰爭と勞働階級」誌五月一日號はドイツに對する現物賠償を要求して次のやうに論じてゐる

ドイツ國民が今度の戰爭で破壞したものを償ふべき時は到來した、今次大戰においてドイツ軍が行つた破壞は前大戰のそれとは比較にならぬほど大きい、そしてその賠償は如何に莫大であつても現物で支拂はせなければならず、またそれは勞働力の提供の形式をとるべきだ、今次の破壞はドイツ軍の軍事上の必要によつて生じた結果ではなく、ドイツ軍が計畫的組織的にやつたものであり、だからドイツの勞働力によつてこれを回復することは實際的なだけでなく正義にも合致する筈だ

外交政策の基礎

(モスクワ七日發)一日附の「戰爭と勞働階級」誌は次のやうに論じてゐる

強力な安全保障機構の樹立と平和維持の可能性のために現在は惠まれた條件が存在してゐることは疑問の餘地がない、しかしこの機構確立上の前途に横はる重大な障碍を無視することは危險な幻想である、ソヴエト國民は戰後安定した平和と國際安全保障をかち得るために、全力を盡くさうとする確乎たる決意を抱いてゐる、各自の力量の認識と主權國家の收益の相互的尊重とを基礎とする平和の愛好はソヴエト政府の外交政策の搖がざる基礎である、しかしファシズムの細菌は依然掃除の行屆かない片隅の到る處に潛んでゐる、個人の利益と偏見とを國家の利益の上におき、平和愛好國民の共通の利益を顧みないものは利己主義であり、短見者である、ソヴエト國民は桑港會議の任務が成功を收めて終結することを堅く信じ、且つ平和愛好國の共同の努力によつて會議のあらゆる難關が克服されるものと確信してゐる

【米　洲】

海軍兵を召集解除

(リスボン七日發)ワシントン來電によれば海軍省は七日來るべき六ケ月間に四十二歲乃至それ以上の年齡の兵士にして現在服役中の者を召集解除する旨發表したといはれ、右に關し海軍省は左の如き聲明を發表した

今回の措置は年齡の高い兵士乃至一般戰鬪任務に不適な兵士を解除し、全海軍の戰鬪力を强化せんとするものであり、艦隊の任務に最適の年齡の低い者をもつてこれに代へんとするにある故にこれは米國海軍の平時編成への轉換ではなくむしろ海軍の戰鬪力の强化を意味する、この措置は歐洲戰局には何等の關係はなく、ドイツの崩壞は米國海軍の再編成を意味し決して縮小を意味するものではないなほ新措置により召集解除となるものは大體二萬五千名程度と見られる

海軍損害發表

(リスボン五日發)ワシントン來電=海軍省は開戰以來五月四日までの海軍海兵隊、沿岸警備隊の兵員損害が十萬二千九十六名に達した旨、五日小出し發表した

潛水艦喪失を發表

(リスボン四日發)ワシントン來電=海軍省は四日潛水艦「ソードフイツシユ」が任務より歸らず擊沈されたものと認められると發表した、「ソードフイツシユ」は一千四百七十五噸、一九三九年九月竣工の潛水艦で、乘組員は艦長海軍中佐K・E・モントロス以下將兵六十五名である

大統領附海軍副官

(リスボン四日發)ワシントン來電=ホワイト・ハウス當局は四日、豫備役海軍大佐ジエームズ・K・ヴアーダマンが大統領附海軍副官に任命された旨發表した

軍需契約取消額激増

（リスボン四日發）ワシントン來電＝軍需契約情報局長官は四日議會に左の通り報告した
軍の注文取消しは現在毎月十二億弗に上つてゐるが、戰爭が太平洋戰線のみとなれば契約取消額は飛躍的に增大し、恐らく二十億弗に達することとならう

油脂類に不足

（リスボン六日發）ワシントン來電＝米國戰時食糧局は六日次の通り發表した
油脂類が非常に不足してゐるため、五、六の二ケ月間、石鹸、マーガリン、食用油の生産は減少することとならう、現在油脂類の供給はここ二ケ年を通じて最低を示してゐるが、これに反して油脂類に對する軍並びに戰爭が必要とする量は激增してゐる

四月中飛行機生産高

（リスボン五日發）ワシントン來電＝戰時生産局長官クルーグは五日、飛行機生産狀況につき次の通り發表した
四月中に生産された軍用機數は六千四百十二機で生産豫定より一%上廻つてはゐるが、三月中の生産に比べると九%減となつた

對重慶金塊供給を澁る

（リスボン四日發）ニューヨーク來電＝米國政府は重慶のインフレ抑壓のため既に相當量の金塊を重慶政權に提供したが、最近はこの金塊供給を澁りはじめた模樣で、四日發行の「ニューズ・ウイーク」誌は次の素破抜き記事を揭げてゐる
宋子文は最近財務省に對して重慶が米國において有する資金のうちから相當巨額の金塊を重慶に送るやう要請した、然るに財務省はこの要請にあまり色好い返事は與へなかつたが、これは米國が昨年中相當額の金塊を重慶に現送したにも拘らず、その多くは闇市場に流れこみ替爲投機に利用されたのみで、重慶のインフレ防止には殆ど役立たなかつたことが明らかとなつたためである

APの素破抜きで一揉め

（リスボン七日發）パリ來電によればアイゼンハワー司令部はAP記者ケネデイがドイツ軍の降伏を素破抜いた事件に關し、懲罰として歐洲戰域からのAP全記者の打電を禁止する旨七日發令したといはれる、これに對し元メキシコ駐劄大使で現在「ニューズ・アンド・オブザーヴア」誌を發行してゐるラレー・ダニエルスはAPを辯護して米大統領トルーマンに抗議した結果、アイゼンハワー司令部は七日夜ケネデイを除きAP記者の報道禁止を解除してケリとなつた

【軍事情報】

米海軍空輸部隊成績

「タイムズ」紙
米國の陸軍並びに海軍空輸部隊は一九四二年から一九四四年までに海外空路で二十五億旅客哩以上を飛翔した、このほか米國の民間航空は戰線向け荷物を輸送して六億噸哩以上を飛行してゐる、米國の國內航空は十六社を合せて一九四四年、總計二十二億六千四百二十八萬二千四百四十三旅客哩を飛翔し、一九四三年に比べて三七・八%の增加を示した、また輸送した旅客數は計四百六十六萬八千三百三十名に達した、國內空路網は總計六萬二千九百三十七哩といふ記錄的な數字に達したが、前年に比して八千四百三十五哩の增加で、これは十七年前における米國の全航空路に匹敵する

機關車の空輸

「デーリー・メール」紙
ビルマ戰線の英軍に對する作戰協力用の機關車が始めて米國からビルマへ空輸された、五噸機關車十八輛を二十七臺の飛行機で運んだのである

戰車のロケツト砲

「デーリー・スケツチ」紙
米軍のシヤーマン戰車は「タイフーン」戰鬪機が使用してゐるのと同樣なロケツト砲を兩側に裝着してをり、戰車內部から電氣的に發射出來るやうになつてゐる

昭和二十年五月十日(木)
第三四一七號
同盟通信 海外電報 (第二種郵便物認可)

特輯

フランス地方選擧

井上勇

△有權者二千三百萬

フランスの地方選擧は四月二十九日に行はれた何しろ九年目の總選擧といふのであり、新しく婦人參政權が認められて最初の選擧といふので各方面から關心の的になつてゐたが、一方にドイツの全面的崩壞といふ大ニュースを入れて、フランスの選擧などは吹きとんでしまつた、しかし、それ有する意義については、ヒツトラー總統が亡くならうと、ムツソリーニ首相が消えやうと何等の影響もない譯だ、有權者登錄數は二千三百萬人ともいふし二千六百萬人とも云はれたが、市町村縣會の數は三萬、議員總數約六十萬、小は人口百名の寒村から人口數百萬の大都會まで悉くの自治體が選良をえらび出さうといふのであるから仲々の騷ぎに違ひなかつたらうが、片方の大ものニュースに押されて、完全な情報は遂に入手出來なかつた問題とされた捕虜の投票も、歸國してゐたものはもとより、また、自身選擧區へ歸還のかなはぬものは書面で投票が許されたのもフランスの選擧史で最初の事だつた、選擧は二月末といはれたのがたうとう四月の末日になつた譯だが、これも各黨派ではさらに延期したい氣持ちが濃厚に動いてゐたに拘らず、ド・ゴールが是非とも今回は……、といふので延期しないことになつたといはれる、正面切つてド・ゴール政府反對を唱へる政黨が一つもゐない今のこととて、その點ド・ゴールには一應安堵の基礎があつたわけだ、現在のフランスには政黨と名付け得るものが五つ、卽ち共產黨、社會黨、急進社會黨、加特力民主黨、そのほかにモーリス・シユーマンを中心に新たに結成された人民共和黨ムーヴマン・レピユブリカン・ポピユレールであるが、實際は十以上の分派に別れて鹿を爭つた、抗戰運動派とか、民主聯合とか、國民戰線とかいふたぐひである

△共產黨の進出著し

選擧の興味の中心は次の二點に主として集中されたといつてよからう

一、婦人投票がどこに行くか、うつかりすると坊主どもになめられてしまふのではないか、特に田舍では每週日曜お說敎をきいてゐる敎會の勢力が婦人の投票を壓倒的に支配するだらうといふ豫想が行はれた

一、共產黨の進出がどこまで行くか、共產黨が進出するのは疑ひないとして、絕對優位を獲得し得るかどうかといふ問題である

共產黨が都市で勝つのは當然として、問題は地方の田舍でどれだけの投票を集め得るかは極めて疑問とされた、共產黨の努力が地方々面に集中されたことは勿論である、地方が固まらなくては來るべき上下院議員總選擧の地盤固めが出來ない、この際、黨員なら無論文句はないが、黨員でないならシンパなりと出しておき度いといふので、相當思ひ切つた妥協までしてきた、すでに紹介したトレーズの硬軟使ひ分け演說などその好例であるさて、蓋を明けてみた結果はどうであつたか、まだ最後的な情報が入電してゐないので、數字を擧げて、どの黨がどこで、何票何人といふ報告が出來ないのは殘念である、婦人投票の行方も判つてゐないが、これはほぼ推定出來る、後で說明しよう、現在までに判つてゐるところでは、四月三十日の午後七時までで、開票千五百萬の歸趨といふものを各通信社がつたへてゐるが大體二割五分が共產黨に走つてゐるやうだ、總投票數は千八百萬といはれてゐるので、大體五百萬程度の棄權があつたわけになる、一九三五年の地方選擧では共產黨は僅か一割程度の得票なので、九ケ年のうち二十五倍に勢力を擴大したわけだ、これを全體からいへば左翼の大勝利といふことが出來、新聞が聲を揃へて謳ふごとく「共和制の勝利」であるには違ひないが、共產黨が全フランスを支配すると迄は行かなかつたわけだ、政府筋では共產黨が完全に支配し得るといふ譯にはゆかないといつてゐるが、それは正にさうに違ひない、右翼がもし大同團結

すれば、聯合勢力としては、右翼の方が壓倒的で共産黨が一人立ちでは到底、抵抗出來ない勢力を得てゐるのである、ここに右翼といふのは、大戰前の右翼といふのとは全く別箇の意味で、急進社會黨よりも多少右翼程度であり、ヴイシー派によつて代表される右翼は完全に敗退した、といふよりもはじめから候補を立てる餘地すらなかつたといふのが正しい、かかる右翼の勝利の蔭に急激な變革を望まない婦人の投票の力が現れてゐるとみるのは間違つてゐるであらうか

△急進黨の凋落ぶり

一般の傾向からいつて共産黨が社會黨の左翼を食ひ、社會黨が急進黨以右の左翼を食つてゐるといふ形で、最も振はなかつたのは急進黨だつたといふ結果が現れてゐる、最も典型的な例はパリでその勢力分野は定員九十名の市會議員中、共産黨二十七、社會黨十二、加特力民主黨十四、急進黨六、その他の右翼三十一といふ數字が出てゐる、パリでは總投票の內三割六分が共産黨だつたといふが、當選人員はそこまで達しなかつたわけだ、概して各政黨間に共同戰線が張り得たところは左翼が大勝利を得て居り、その內でも共産黨と社會黨の合同戰線が最も成績がよかつたといはれる、例へばリオンでは社會黨を除く各政派で愛國共和聯合戰線ユニオン・パトリオチツク・レピユブリケーンを組織し、マルセイユでは民主聯合ラサンブルマン・デモクラチツクが企てられ共に成功してゐる、ボルドーでは社會黨の單獨リストが勝つてゐるとつたへられるが、抗戰派の單一戰線が出來たところは概して成功してゐるやうだ、當選者の中で風變りを拾へばリオンの萬年市長エヴアール・エリオが赤軍によつてドイツから救出され、モスクワに滯在中の留守のまま當選してゐるのや肅淸裁判で有名になつた檢事のアンドレ・モルネーがパリで市議になつてゐるのや、原敬まがひの銀髮が賣りものの聯盟屋ボール・ボンクールがイル・ド・フランスの故郷で縣會議員になつてゐるのなどがあるが、現閣僚で立候補したものは全部當選してゐるやうである

△婦人投票の行方

選擧の結果についてロンドンの「エキスチエンジ」パリ電は次の如く批評してゐるが一應の見方とはいへよう

フランスの總選擧に關連して婦人投票の行方は一應豫言を裏切つたやうだ、投票結果に急角度の左傾が觀取されるからである、その原因は第一にドイツ占領治下、自分の夫、倅が極端に辛酸を嘗めた記憶が生々しいこと、第二に、婦人一般に政府の暗市場取締り對策が生溫いと考へてゐることに基いてゐる、この選擧結果をみてはド・ゴール政府は共産黨に閣僚の椅子の割當增加を行はざるを得ないだらうし、また暗退治のため一層峻嚴な手段を講じなくてはなるまいムツソリーニ首相の最期はフランス人に、ペタン元帥に對しても同樣な運命を負はしめねばならぬとの氣持を强化したやうだ、ペタン反對派の勝利はこのことを證明してゐる、共産黨は全投票の二十五パーセントを得てゐることは旣に明白である、マルセイユ、リオン、ボルドーリールの大都市では、共産黨が最大多數を獲得した、總選擧の結果として、フランス政府は、急速に銀行及び樞要重工業の國營化を實施することにならうし、諮問會議の左翼代表を增加することとならう

△代表的パリ選擧

左翼の大進出を婦人投票のせゐだと考へる「エキスチエンジ」の見方は一方に右翼溫健派が勢力を維持したのは婦人投票の賜だと論ずる行き方と楯の兩面を形作るものだらう、別に「チユーリツヒア・ツアイツング」の五月一日付パリ電は次のやうな見解を披瀝してゐる

「今回のフランスの地方總選擧は婦人が投票資格者の六割を占めてゐたといふ事實が、特に重要視される、現在までに判明した結果について見ればパリその他の大都市の例に現れてゐる如く、著しく左傾々向を見せたのが特色で、殊に共産黨の進出が眼覺ましい、地方における結果はまだ判つて

昭和二十年五月十日(木)
第三四一七號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ねないが、急進黨が都市で失つたものを地方で獲得し得るかどうかが問題である、パリの開票結果も未だ完全に判つたとはいひ得ないが、現在までの結果だけみても各政黨勢力の消長の一應の基準にはなる、パリには六つの選擧區があるが何れにおいても他の政黨を凌駕したのは共産黨である

得票内譯は共産黨二萬六千、人民共和黨一萬一千、ビドー外相の加持力民主黨が四千六百、社會黨が三千六百、急進黨が千七百、その他が五千といふ數字を示してゐる、然し、黨派別で數字を分けるのは極めて困難で、ある場所では數個の政派が合同して單一戰線を構成してをり、また或る場所では數個の黨派が別々に獨立候補を立ててゐた町々で皆事情がちがふのである、中には何を意味するのか判らない稱名を付して、抗戰派には相違ないらしいが實際の正體の判明しない合同戰線もある、パリの選擧が大體に於て最も代表的で共産黨が九十の議席の内二十七、人民共和黨が十三社會黨が十二、抗戰諸派が七、急進黨が六、共和民主聯合、共和聯盟を含む右翼が二十、その他が五といふ割合になつてゐる、共産黨は第一黨にはなつたが、右翼から重大な壓力を加へられる譯である」

△共産黨勝利の意義

何れ正確な最終的數字がはいることと思ふが以上で結論すれば

第一に共産黨の勝利は絶對ではなかつたといふことが先づ注目される、黨としては一擧にフランスの政治を牛耳るだけの實力をこの選擧で獲得するつもりだつたらうが、これをパリに例をとれば共産黨は、少くとも他の二政黨以上と共同戰線を張らぬかぎり何事もなし得ないといふことになつたわけだ、共産黨の進出が壓倒的とまで行かなかつた理由は多くあらうが、最大の原因は餘りにも「赤化」の恐怖が宣傳され過ぎたことにあらう、トレーズの正月以來の水掛け演説も、この遼原の火を消し止めるには遲すぎたし、徹力すぎたわけだ、急進黨は、フランスの中産ブルジョア黨として議席の上では大いに失つたが、地盤はそのまま殘し得たといつてよい、ただ、地盤の上に雜草が生えただけで、別に甚しく赤い蟲害も、白い風害も受けてゐないとみるべきだ、ただ、急進黨といふ一昨年の種が、この土の上に再び芽を出し得るかどうかは疑問で、小ブルジョア雜草がそのまま根を下して繁る可能性はみておかねばなるまい、右翼中間派が舊勢力を維持し得たのは一寸見には不思議のやうであるが、考へてみればド・ゴール政府の最も忠實な御用黨がそこにひかへてゐたわけで何の變哲もない、政府黨が勝つたといふ事實のみである、筆者は、この勝つ筈がないがに一見思はるる右翼中間派の現狀を維持し得た最大の支柱は婦人投票ではなかつたらうかとひそかに考へてゐる、そして婦人がこれに走つた最大の理由として、ド・ゴールの有する個人的魅力をあげるのは、御婦人に失禮であらうか、少くともトレーズよりド・ゴールの方が男振りがよく、男振りのよいことが選擧には、あへて御婦人といはず、一つの武器であることは確かである

△ド・ゴールの地位強化

第二は選擧につづく直接將來の見透しであるが内閣の一部改造も、諮問會議の定員割當變更も、左翼政策の推進強化も、これは豫想してよからうが、かかる外部的の變化にも拘らず、フランス政治の根本は、何等の變更もないだらうことであるド・ゴールの地位がこの選擧で、從來にまして安定したことは、共産黨の勝利以上に重要視すべき點である、これまで天下り政權として地盤のなかつた臨時政權が地に根を下ろし得た事實は、共産黨すらも認めざるを得ないところだ、彼等もまたド・ゴールの旗をかつぐことによつて今日の成功の内の何分の一かを得たわけだからだ、共産黨または社會黨、乃至は抗戰派が明白にド・ゴール反對の旗印を明らかにして、この選擧戰にのぞんだとすれば、どれだけの成功を收め得たか、または收め得なかつたか、それを反省してみたとき、彼等はド・ゴールの前に大きな聲でいひ得ないものを感ずるであらう、このことはド・ゴールにとつては大きな強味を加へたものだ勿論共産黨は聲を大にして、その勝利を謳歌し、政府に要求をつきつけるであらうが、ド・ゴールは、その共産黨の自己陶醉の歌を、得手勝手な手前味噌を大いなる

餘裕を以て聞くだけの權威ある椅子が出來たわけだ、フランスの政治は更に多少の左への路を歩むであらうが、重心は依然として共和主義にあることが保障されたわけだ、共産黨の大進出といふ表面にのみ捉はれて、フランスの赤化を叫ぶのはまだ少々時期が早すぎる、內閣の一部改造は現在あれどなき如き空相、保健相の椅子を占めてゐる共産黨に更に重い椅子を數多くといふことになるわけであるが、フランス選擧後首相のド・ゴール、トレーズの手合せは、この內閣改造問題だらうし、この政爭を通じて、選擧の結果が如何に解釋されたかが始めて明白とならう

地下運動展開が狙ひか

（チューリツヒ六日發）ロンドン來電＝ロイター記者ロバート・ロイドは、ドイツ軍の降伏を以てナチ黨の勢力を損はないままで地下に存續させ將來機會をみて更に同黨を活用しようといふドイツの長期計畫に關聯するものだと次の如く觀測してゐる

「この見解は三つの重要な事實に基いてゐる、卽ち第一はヒトラーのナチ政府と殆ど人的に變化のないデーニツツ政府の降伏はヒトラー及びヒムラーによつて案出された一面的降伏によつて聯合國に楔をうち込まうといふ最後の政策を繼續しようとしてゐるにほかならない、以上はナチ黨の任命した前線司令官の全部は勿論最後まで殘つてゐた黨地區指導者が無條件にデーニツツの命令に服從してゐる事實によつて確認されよう、しかもデーニツツはナチ黨規則の廢棄並びに黨の解體について何らの措置も講じてをらず、ただこれらの件については沈默を守つてゐるに過ぎない、第二はデーニツツ並びにその一派は組織的降伏によつてドイツ國民に對する彼らの權限を永續させようと希望してゐることだ、無防備都市を宣言された諸都市のナチ黨出身市長及び米英軍に降伏してゐる各地ドイツ軍のナチ黨出身司令官は少くも一時的にはその權業を保持する機會を有し、しかも彼らは疑ひもなく聯合軍の軍政にとつて必要缺くべからざる位置に自らをおかうと努めるであらう、第三にはナチ黨の宣傳部員、組織部員、祕密警察隊、親衞隊の首腦部がナチ政府の職業的官吏と違つて突如として行方を晦ましたことだ、ヒムラーをはじめマーチン・ボルマン、ロベルト・ライその他彼らの補助者並びに既に聯合軍によつて占領されてゐる地區の黨指導者、親衞隊幹部ら多數については彼らが逮捕されたともまた依然ポケット陣地に殘つてゐるとも全然消息が判明してない、ドイツの全土を席捲した後聯合軍が逮捕したのは僅かに前閣僚三名卽ちダレ、フリツク、ノイラートの他最近まで重要な地位を占めてゐたナチ黨の領袖二名卽ち前ポーランド總督フランク、黨出版企畫部長アマンだけに過ぎないナチ黨は、明かに出來るだけ多數の著名でないナチ黨出身の官吏を喪はないやうにし彼らは組織者として地下運動に使用しようとしてゐるのだ、當分の間少くも西部においてはこれら官吏をして聯合軍に對する忠誠の名聲を獲得させると同時にナチ黨の新組織を平靜裡に樹立させるためにサボータージユやテロリズムを公然と行ふことはないであらう、ナチ黨では依然米英兩國とソ聯との間の軋轢によつて早かれ遲かれ公然活動を開始する機會があると信じてゐるのだ、このやうな分子が長い間ナチ黨によつて準備されて來た形跡は十分ある、然しかかる方法に對する聯合軍の對策は極めて簡單だ、卽ち聯合軍による軍政計畫を最初の案の通りに繼續することであり、これによりナチ制度に參加したことのある官吏を悉く罷免し、ナチ黨の領袖はすべて逮捕抑留することだ」

ジヤイルズ赴任

（リスボン六日發）ロングビーチ（カリフオルニア州）來電＝米國陸軍當局は太平洋戰域で戰死したミラード・ハーモンの後任に太平洋戰域米陸軍航空隊司令官バーネー・ジヤイルズが去る二日空路赴任した旨五日發表した

昭和二十年五月十一日(金)
第三四一八號

同盟通信 海外電報

(106)

(昭和十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信

果せる哉米國の戰時情報局は、歐洲戰爭の終了を轉機として、「新たな心理戰爭」を開始した、APの報道によれば太平洋岸における放送局八ケ所乃至十ケ所、布哇、サイパンの兩放送局を動員して「宣傳爆彈」を一齊に日本本土に打ち出さうといふのだ、宣傳軍の最高司令は海軍大佐E・M・ザハリアスである、「流暢な日本語を以て日本人に呼びかける」といふから笑はせる、勿論對外報道戰を擔當する放送協會と同盟通信社とは新たな構想と整備した施設とを以て米國戰時情報局の心理戰宣戰に對抗し、太平洋上に電波の戰を展開する覺悟だが、要するに米國の宣傳方式は大義名分の立たない威嚇脅迫に過ぎないから宣傳戰についても物量は知らず、戰略態勢は絶對に帝國にとつて有利だ、クルー・ハウスの謀略は日本國民に些の利き目がないことを、米國人が悟るのが落ちだらう、しかし米軍は宣傳戰だけで戰爭を片付けようなどとは考へてゐない、宣傳戰と併行して、米軍が今後太平洋作戰で焦點をおくのは無差別爆撃だ、太平洋方面陸軍航空隊司令バーネー・ジヤイルズ中將は八日豪語して曰く、「日本本土に對する本當の上陸作戰に先立つて、尨大な地均し爆撃が展開されよう、ドイツ本國に對して投下したよりも、より多數の爆彈が日本本土に落下する日も遠くはあるまい」歐洲戰爭の終了は卽ち日本本土に對する本格的爆撃への轉機である、B29が百數十機で二、三時間燒夷彈を投下するのを、本格的爆撃だと考へてゐたら飛んでもない手違ひを起すに違ひない、ドイツ軍がナチの統制を以てして遂に敗北した遠因を尋ねれば、要するに米英ソ三國を相手に廻した外交施策の拙劣に存するだらうが、最後に狂瀾を既倒に回らすべき「根こそぎ動員」が一年遲れたのが、崩壞の近因だ、目にはみえないが米國は一秒一刻も休むことなく、日本本土叩き潰しの準備を進めてゐる、軍もない、官もない、民もない、今、一切の墮勢と因襲とをかなぐり棄てて、人と物との「根こそぎ動員」を斷行しなければ臍を噛んでも及ばぬこととならう

【目　次】

スターリン元帥宣告……一二七六
祖國戰鬪の終了を布告……〃
無條件降伏に關する發表……〃
無條件降伏まで……〃
交戰兵力二千七百萬……〃
米、歐洲から三百萬を引揚げ……一二七七
伯林の共同占領實施……〃
英治安條令を撤廢……〃
復興にはドイツ人俘虜を使用……〃
ステチニアス聲明……〃
トルーマン放送演說……一二七八
米陸軍平常通り就業……〃
アイゼンハワー感謝の辭……〃
對日戰に全力を傾注……一二七九
米航空兵力歐洲引揚げ開始……〃
國王放送演說……一二八〇
ウエストミンスター寺院の感謝祭……〃
太平洋艦隊三司令官任命……〃
アイゼンハワー特別公報……一二八一
獨艦隊に命令……〃
獨潛艦を對日戰に使用か……〃
丁の獨軍引揚げ開始……〃
歐洲戰終了後の米軍……〃
桑港會議一分間默禱……一二八二
ソ聯參加せず……〃
三頭會談要望の聲昂まる……〃
表決手續執行委員會を通過……〃
白代表急遽歸國……〃
蔣介石對日戰完遂を誓約……〃

【特　輯】

ドイツの崩壞（下）……一二八三
ドイツ降伏條件全文……一二八四

スターリン元帥宣言

（モスクワ九日發）赤軍最高司令官ヨシフ・スターリン元帥は九日夜モスクワ放送を通じて全國民に對し次の通り宣言した

ドイツ軍は赤軍に對して武器をおいて降伏し始めた、但しチエコスロヴアキアのドイツ軍部隊が依然降伏の取極めを履行してゐないのは事實である、ドイツは完全に撃破された、ソヴエト聯邦は勝利を歡呼してゐるがドイツを撲滅するか破壞するかいづれの意志も全くない、民衆の自由と平和の大旆は今日以後歐洲の空に翩翻とひるがへるであらう

祖國戰鬪の終了を布告

（モスクワ九日發）赤軍最高司令官ヨシフスターリン元帥は赤軍並びに赤色海軍の全將兵に對して次の特別布告を發した

ドイツ・ファシスト侵略軍に對して遂行されたソヴエト民衆の偉大な祖國防衛戰爭は燦たる勝利をもつて終了した、ドイツは完全に撃破された、陸海軍の全將兵諸士よ、同志諸君よ、余は諸士と共に偉大な祖國戰爭の勝利の終結を祝福する、わが國の自由と獨立のために戰場に仆れた英雄に永遠の榮光の輝かんことを！赤色陸海軍萬歲！

無條件降伏に關する發表

（ストツクホルム九日發）モスクワ來電＝スターリン元帥は九日次の通り發表した

全ドイツ軍は赤軍最高司令官並びに聯合軍最高司令官に對して無條件降伏した、降伏文書は八日英空軍司令官アーサー・テツダー大將、聯合遠征軍戰略爆撃隊司令官カール・スパーツ大將フランス第一軍司令ド・ラトル・タシニー中將第一白露戰線軍司令官グレゴリー・ジユーコフ元帥の立會の下にドイツ軍最高司令官ウイルヘルム・カイテル元帥により署名を了した

無條件降伏まで

（リスボン八日發）AP通信社前線報道はドイツ軍無條件降伏までの經過を八日次の通り報じてゐる

「デーニツツ元帥はドイツ國家の主權を引繼いだ後デンマーク、ドイツ國境に赴き直ちにフレンスブルグから使者を通じて降伏を申し入れた、デンマークのドイツ軍が降伏した後オランダ及びドイツ西北部のドイツ軍も降伏したが、ドイツ軍最高司令部の所在地となつたフレンスブルグは依然として司令部の所在地でありながら既に降伏し、反樞軸軍の包圍下にあるといふ奇妙な立場にあつたフレンスブルグのドイツ放送局は放送を續けここを通じてヒトラー總統の後繼者は六日重要諸施設の破壞を手控へるやうドイツ軍將兵に要請した、七日に至りドイツ軍司令部はフレンスブルグ放送局からドイツ國民に向けてドイツ軍の無條件降伏を告げまた海上にある全ドイツ船舶に入港を命じたのである」

交戰兵力二千七百萬

（リスボン八日發）第二次歐洲大戰は五年八ケ月の日子を費して遂に終幕したが、ワシントン來電によれば米陸軍省は八日、歐洲戰に投ぜられた彼我の總兵力を二千七百萬と概算し、このうち聯合軍の武力が絶頂に達した際の兵力量を一千六百萬ドイツ側一千百萬と推定してゐるといはれる

内譯次の通り

一、聯合軍側

米	軍	四百萬
赤	軍	一千萬
英	軍	百萬
（歐洲大陸の航空部隊を含む）		
佛	軍	五十萬
同	地下軍	六十萬
（内五十萬はフランス國内にあつた）		

一、ドイツ側

ドイツ軍	八百萬（一九四四年夏）
ルーマニア軍	二十萬
ブルガリア軍	四十萬
フインランド軍	二十萬
チエコ軍	四萬
雜軍	百萬
（主にポーランド人及びソ聯人から成る）	
イタリア軍	百三十萬（一九四三年まで）

昭和二十年五月十一日(金)
第三四一八號
同盟通信 海外電報 (第二種郵便物認可)

米歐洲から三百萬を引揚げ

(リスボン九日發)ワシントン來電＝米軍補給本部長ブレホン・ソマヴイルは九日歐洲からの米軍引揚げに關し次の通り言明した
陸軍は歐洲から一ケ月二十五萬から五十萬の割合で合計三百十萬を引揚げる計畫だ、歐洲には約四十萬の守備隊が殘留する豫定で、米國へ歸還した將兵の大半は、三十日乃至はそれ以上の休暇を與へられることにならう

伯林の共同占領實施

(リスボン八日發)サンフランシスコ來電＝桑港會議フランス代表團は八日、次の通り發表した
米英ソ佛四國のベルリン共同占領はソ聯が米英佛三國代表に旅行許可書を發行し次第實施される四國はそれぞれベルリン市の特定地域に警察機關を設置し、ドイツ人職員を使用するが、各國はクリミヤ協定に基き擔當地域につき總ての責任を負ふ

英治安條令を撤廢

(ストツクホルム九日發)ロンドン來電＝英國内相ハーバート・モリソンは九日、下院において歐洲戰爭の終了とともに非常大權法に基く治安條令の一部を撤廢するが、非常大權法は依然存續するので日本軍との戰爭で必要となれば、政府は改めて條令を提案し、乃至殘存條令を修正する方針である旨言明した
撤廢される主な條項次の通り
一、審理を經ず說明なしに疑はしい市民を抑留する所謂十八條B項
一、行進並びに集會を禁止する特例の權限
一、疑はしい市民の行動に對する制限條項
一、戰爭努力に對する反對を煽る企圖のもとに組織的に刊行物を出すのに對する取締
一、新聞差止めの權限、就中十八條B項では黑シヤツ隊司令サー・オズワルド・モズレーほか多數「反戰分子」が逮捕され一九四〇年八月には、千四百二十八名の多數に上つたが、國外に追放された外國人ただ一人を例外として他は全部今週初め釋放された

復興にはドイツ人俘虜を使用

(ストツクホルム九日發)ロンドン來電＝英國の公共事業相ダンカン・サンデースは九日、下院において次の通り言明した
政府は住宅建設計畫に協力させるためドイツ俘虜を多數使用するに決定した、第一に道路下水道の建設、敷地の地均らしその他の土木事業に使ふが戰災地の取片付けにも使ふ豫定である

ステチニアアス聲明

(リスボン八日發)サンフランシスコ來電＝米國務長官ステチニアスは八日正午次の聲明を行つた
「ドイツに對する勝利のこの日こそわれわれにとつて追懷と獻身の日とならねばならない、われわれは勝利のために生命を捧げた人々を記憶する、彼等はわれわれに戰爭のない世界秩序を建設する機會を再び與へたのである、我々はまたドイツを破り得たのは聯合諸國が共同の目的のために力を協せたためであり、聯合國が平和のために力を結集してのみ恒久の平和が可能であることを確信する、この日は桑港における聯合國會議の事業を新たに督促するものである
戰ひはまだ終つてゐない、我々はナチ・ドイツに勝利を收めたと同樣に日本にも最後の全面的勝利を收めねばならない、しかしながら我々は今戰ひに仆れた人々の戰ひと死が徒勞でないことを確めようとするならば、日本に對する勝利の日まで待つことは出來ない、我々がここに集つた目的たる國際機構は必ず樹立されねばならない、これこそ更に廣い意味の自由と正義と萬人に對する機會の保障され得る恒久的平和の發展を可能とするのである、多くの者が危險を冒し、すべてを犧牲にしたこの神聖な目的に對して我々は新たに獻身を誓はう」

半ばの勝利に過ぎず

（リスボン八日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは東部戰時時間午後八時ラヂオを通じ次の演說を米國全土に放送した

「今は嚴肅なしかしながら光輝ある時である、余はフランクリン・デラノ・ルーズヴエルトが生き永らへてこの日を見てくれたらと思ふ、アイゼンハワー將軍はドイツ軍が聯合國に降伏した旨余に報告した、今や自由の旗は歐洲全土に飜るに至つた、この勝利に對しわれわれは共に苦難の暗黑な日に際してわれらを導きわれらを支へてくれた神に感謝を捧げよう、しかしながらわれらは有頂天になる前にヒトラー總統とその一味とを全世界から取除くためにわれらが拂つた恐るべき代償を決して忘れてはならない

同胞なる米國人諸君、幾多われらの隣人の家庭に、われらの自由を回復するために、最も尊い持物を犧牲として捧げた人々の家庭が悲しみと嘆きとに充たされてゐることを忘れてはならない、ただ勤勞によつてわれらの前面に橫はる責任に對し絕えず獻身的な努力を捧げる以外に神に對し戰死者に對しわれらの子弟にたいする負ひ目を拂ひ戻す方法はない、われらは戰爭を終局させるために働かなければならない、われらは勝利の半ばを贏ちえたにすぎない、西方は自由とならんが東方は依然として日本軍の掌中にある、日本軍の最後の手段が無條件で降伏するとき初めてわれらの任務は果されるのである、われらは惱める世界の傷を癒すために、恒久の平和を確立するために働かなければならないが、苦難を轉せず、勞苦を厭はず、骨身を惜まずに働く以外に戰時におけると同樣に平時においても同盟各國と互ひに理解し互に協力する以外、以上の目的を達成する道はない、前途に橫はる任務はわれらが今幸ひにして果した事業に比して同じく重要であり緊要でありかつ困難である

あへて米國民諸君に告げる、最後の戰ひに勝利を告げるまであくまでその部署に挺身せよ、その日が到來するまでは何人もその部署を捨てるな、その努力を弛めるなかれ、次に余はこの際における余の正式な宣言を朗讀しよう

聯合軍は犧牲と獻身と神の助けとによつて最終的にしてかつ無條件な降伏をドイツから奪ひとつた、しかしながら西方において收めた勝利は東方においても收めねばならない、一切の敵に對し自ら守り得るわが國民の力を歐洲において實證したと同じやうに太平洋の戰においても實證しなければならない、余即ちアメリカ合衆國大統領ハリー・トルーマンは一九四五年五月十三日を記念の日と指定する、余は米國人諸君にたいしその信仰の如何をとはず相共に贏ちえた勝利に對し神に感謝を捧げ、われら現在の鬪爭の終りまで神がわれらを支持しわれらを平和への道に導くやう祈を捧げることを要請する」

米陸軍平常通り就業

（リスボン八日發）ワシントン來電＝米陸軍省は八日、全部隊並びに諸施設に對し終日平常通りの作業を續けるやう訓令を發した、歐洲戰勝利の日の祝賀としては簡單な式が擧行されただけであつた、世界各地の戰線における米軍將兵は八日軍隊向け特別記念放送に耳を傾けたが、この放送番組は既に數日前から錄音して準備してあつたもので嚴肅な音樂、讃美歌及び說敎等から成る、陸軍は八日一九四六年度の陸軍兵力を二百萬名減少せしめる陸軍再展開計畫の天然色映畫を公開した

アイゼンハワー感謝の辭

（リスボン八日發）パリ來電＝聯合遠征軍最高司令官アイゼンハワーは八日次の通り聲明した

一九四三年一月故大統領ルーズヴエルト、首相チヤーチルは樞軸國の無條件降伏方式を發表したが歐洲においては今や右の方式は達成された

一九四四年六月六日歐洲に侵入した聯合軍は偉大なるロシアの同盟軍と南方から前進する友軍と相俟つて陸海空から完全にドイツを擊破した

單に戰鬪に參加してゐる聯合軍の間におけるのみならず陸海空三軍の間における協力による無條件降伏は達成された、聯合遠征軍司令部に所屬してゐた殆ど五百萬に垂んとする部下に對し余は感謝の義務を負つてをりこれに對しては到底報いることは出來ない、これら部下に對して爲し得るただ一つの報酬は全聯合軍への深甚なる而して何時までも續く感謝の念のみである

昭和二十年五月十一日(金)
第三四一八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

對日戰に全力を傾注

—グルー、ラジオ演説—

(リスボン八日發)ワシントン來電=米國務次官グルーは八日ラジオを通じ「われわれの前途には強力な日本が控へてをり日本を撃破するためには全力を傾注しなければならぬ」と米國民に次の警告を發した

「強力なそして執念深い敵國日本が依然として殘つてゐる限り、戰勝を獲得したわけでない、米國民並びにその聯合國は太平洋戰に一切の面して壓倒的な精力を傾けねばならない、われわれは人間の自由のための世界的規模の戰爭において東半球の巨大な戰闘には勝利を獲得したが世界的規模においては今なほ戰つてゐるのであり未だ勝利を得てゐない、強力にして執念深い敵國の一つであるドイツは撃破されたが他の一つの日本は依然殘つてゐる、暗黒の歐洲には光が投ぜられそこでは既に勝利が宣言された、この勝利についてわれわれは神に感謝し聯合軍將兵並びに長期に亘るドイツ壓政下に屈しなかつた解放地下軍に感謝する、大西洋を越えて戰つたわが戰闘部隊の勇氣に敬意を拂ふと共にわれわれは太平洋で今なほ戰つてゐるわが戰闘部隊の勇氣を想起し之に敬意を拂はねばならない、なぜならば彼らの前途には困難にして血腥い道が横はつてゐるからだ、單獨であるとはいへ日本は強力であり、依然として巧妙且つ頑強に戰つてゐるのだ、日本が歐洲戰勝利の日のために用意してゐなかつたと考へてはならないし、日本がその盟邦ドイツの敗北に驚いたと思つてはならない

更にまた他日、日本が米軍の全力を邀へそれに從つて計畫を樹てねばならないことを承知してゐないと考へてはならない

日本は聯合軍のノルマンデイ上陸以來既に長い間準備してきたのだ、日本は複雜な樣式に基いて全體戰のため自らを組織してゐるがその樣式によれば男女子は勿論子供まで米軍將兵の殺戮を狙ふ一役を擔つてゐるのだ、從つてわが軍も方法を變へなければなるまい、尨大な資源は依然日本の手中にあり、日本は今なほ世界の大道商路の幾つかを踏んで立つてゐるのだ、戰闘員は數百萬もあり軍需工場もわが爆撃機の攻撃範圍外にあり戰爭遂行に必要な資材の貯藏量は尨大だ、しかも國民は日本軍が必要とする一切のもののためには自らを犧牲にするのだ、最近の報道によれば消費物資は比較的少量しか生産されてゐないが、軍需品の增産のためには一切の生産力を利用してゐることを傳へてゐる、規模の大小を問はず家庭工場までも含め一切の工場は政府の統制と監督下に軍需品生産のために動員されてをり、日本側ではこれら工場の大半は疎散するか乃至は地下へ移されたとさへ稱してゐる

日本の統治下にある朝鮮、滿洲、北支でも同樣に激しい活動が續けられてをり、これらの工場は資源地帶を傍らに控へ最新式の機械と十分な勞働力とによつて運營されてゐる、これらのうちの少數は既にわが爆撃機隊の攻撃をうけてゐるが殘餘は攻撃圈外にあり、今後沖繩よりもつと近い基地をわれわれが建設するまでは依然として爆撃圈外に止まるであらう、これら內線地帶における物資の輸送を確保するためには日本は鐵道施設に廣汎な改良を加へ、かくして船渠と倉庫を建設してゐる、南方と本土との完全な交通遮斷も臺灣からする砂糖を除くほか日本の食糧事情には重大な影響を及ぼしてゐない、依然日本は米の必要量の大半を生産しこれを雜穀その他朝鮮からの移入等によつて補つてゐる有樣だ」

米航空兵力歐洲引揚開始

(リスボン八日發)ワシントン來電によれば米國陸軍省は七日、歐洲戰の終了後米軍兵士の歐洲引揚げのため八百機の輸送機により一ケ月平均五萬人の兵士を米國本土に歸還せしめる旨發表したといはれる、歐洲からの米軍の引揚げには最少限度一箇年を必要とし約半數は米國本土で休暇を與へることになつてゐる、一方「ニューヨーク・タイムス」紙によれば、米空軍の一部は既に歐洲を引揚げ若干の空軍基地も既に英國側に返還されたと傳へられる

國王放送演說

（ストツクホルム八日發）ロンドン來電＝英國王ジョージ六世は八日VEデー特別放送において全國民に對しバツキンガム宮殿から要旨次の通り演說した

「全歐洲を戰爭に捲き込んだドイツは遂に壓服された、だが極東においてはわれわれはなほ斷乎たる決意を有する日本と戰はなければならない、この任務にわれわれは最高の決意とわが有する一切の手段を擧げて立ち向はう

五年に垂んとする苦難と恐怖の時期を通じてわれわれを支へたものは何であるか、一切が危殆に瀕してゐるといふ認識、われわれの自由、われわれの獨立、實にわれわれの國民としての存在そのものが危殆に瀕してゐるといふ事實がそれであるだが同時にわが身を守ることによつてわれわれが全世界の自由を守つてゐるといふこと、われわれの主張がこの國民、この帝國、この聯邦のみの主張にとどまらず自由が榮え、法と自由が相共に行はれるあらゆる國土の主張でもあることを知ることが、われわれを支へ得たのだ、最も暗黒なりし時期にもわれわれは奴隷の地位に落ち孤立せる諸國民がわれわれに期待してゐることを知つてゐた彼らの希望はわれわれの希望であり、彼らの信賴はわれわれの信念をいよいよ固めたのである、われわれはわれわれが敗れ或ひは逡巡するならば世界的な暴政に對する最後の防砦が瓦礫となつて消え去るであらうことを知つてゐたが、われわれは逡巡することもなく敗れ去ることもなかつた、われわれは自らの信念を持ち互に信賴を持した、われわれは偉大なる同盟國との間に信賴と統一を維持した、その信念とその統一こそ一時は壓倒的にさへ思はれた危機を通じてわれわれを勝利に導いたのである

されば今われわれは前途に横はる任務に對しても同じ自信を持つことを決意しよう、戰爭の破壞の後におけるわが國の復興においても、打ち碎かれた世界に平和と正義を回復するにも、われわれの前面には遙かに困難なる事業が待ち構へてゐるしかもその任務はわれわれが五ケ年の長きに亘り全力を注ぎ、心と頭腦と神經と筋肉とをナチ暴壓の覆滅に注ぎ續けた後のこの時においてわれわれに課せられるのだ

今やわれわれは勝利に身を固めて殘る最後の敵に立ち向ふ、われわれはその苦難若干を諸子と共にせることを誇りとし、更にわれわれのすべてが强固なる決意をもつて共に將來に直面して、われに殘る意思と活力が無限なるを實證すべきことを知る」

ウエストミンスター寺院の感謝祭

（リスボン七日發）ロンドン來電＝七日朝のチヤーチルは宣言發表の時間をモスクワ並びにワシントンと打合せした後、海軍元帥カニンガム、陸軍元帥ブルツク並びに空軍元帥ポータルの三軍首腦を午餐に招待した、國會はドイツ軍の降伏に關して特に行事を催すことはないといはれるが、ただ議長ブラウンに率ゐられチヤーチル首相を加へてウエストミンスター寺院、セント・マーガレツト教會に行進し感謝の祈禱を捧げる筈である、上院はまた別にウエストミンスター寺院で感謝祭を行ふことになつてゐる、なほ歐洲侵攻反樞軸軍最高司令官米國元帥アイゼンハワー、同英軍司令官元帥モントゴメリー、地中海方面最高司令官アレキサンダーの三名はBBCを通じて全世界に對し勝利放送を行ふ番組が編成されてゐるといはれる

太平洋艦隊三司令官任命

（リスボン五日發）ロンドン來電＝海軍省は四日次の通り發表した

海軍少將T・H・エデルステン
任英國太平洋艦隊驅逐艦隊司令官
海軍少將T・P・ブラインド
任英國太平洋艦隊巡洋艦隊司令官
海軍少將D・B・フイツシヤー
任太平洋艦隊列車司令官

昭和二十年五月十一日(金)
第三四一八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

アイゼンハワー特別公報

(リスボン八日發)パリ來電＝歐洲遠征聯合軍司令部は八日次の特別公報を發表した

歐洲における一切のドイツ軍地上、海上並びに航空兵力は中歐標準時五月七日午前一時四十一分、聯合國遠征軍及び赤軍最高司令官に對し無條件に降伏した、降伏條件は中歐標準時五月八日午後十一時一分に效力を發しドイツ軍司令部の將校によつて署名された、聯合遠征軍は攻撃を中止するやう命令を受けてゐるが、降伏が效力を發するまで現在の位置を維持する

獨艦隊に命令

(リスボン八日發)ロンドン來電＝英海軍省は降伏したドイツ艦隊に對し次の命令が發せられた旨八日發表した

一、ドイツ自身並びにドイツの統禦下にある一切の軍艦、補助艦艇、商船その他の艦船にして現在海上にあるものは最寄りの聯合國無線電信局に所在の地位を通告し、指定の聯合國港灣に赴き、更に指令を受けるまで右港灣に留まるべし

一、現在港灣にある一切の軍艦、補助艦艇、商船その他の艦船は現港灣に留まるべし

一、海中にあるドイツ潜水艦は海面に浮上して黑旗乃至旌旗を揭げ、最寄りの聯合國無線電信局に所在の地位を通告し指定された港へ赴くべし

獨潜艦を對日戰に使用か

(ストツクホルム八日發)ロンドン來電によれば英國は早くも降伏したドイツ艦隊の處分を問題としてゐる樣子で、英海軍省筋は八日非公式に次の見解を表明したといはれる

聯合軍に降伏したドイツ殘存艦隊は對日戰に利用出來ることになつたわけで、聯合海軍は目下ドイツ艦船を接收するため歐洲の各港に赴く途上にあるが、必要とあれば戰鬪力を剝奪する非常措置もとられよう、ドイツ海軍の現有勢力はプリンツ・オイケン、ニユルンベルグの二巡洋艦に驅逐艦約十二隻、潜水艦三百隻程度だが、ドイツ艦隊をロシスかスカパ・フローのやうな英國の集合港に持つて來ることはバルト及び北海の諸港が米英ソの管理地域に三分されてをり且つドイツ海軍の處理が三國間で附議される必要上不可能とならう、潜水艦の一部はソ聯へ引渡されることにならうが、結局ドイツ艦艇は國際安全保障機構の完成後海上警察隊の一部として使用されることも考へられる、尤もドイツの海上艦艇の殆ど全部は役に立たぬ老朽艦ばかりで對日戰に廻されるとすれば恐らく潜水艦だけとみられてゐる

丁の獨軍引揚開始

(ストツクホルム八日發)コペンハーゲン來電によれば約三十萬に上るデンマーク駐屯ドイツ軍は聯合軍に降伏した後八日デンマークからドイツ本國に向つて引揚を開始した

歐洲戰終了後の米軍

(チユーリツヒ八日發)パリからのAP電報はドイツの軍事占領に關し八日次の通り報じてゐる

米英ソ三國軍當局はドイツに民政機關が樹立されるまで敗戰ドイツの最高の法となり政府となる、米英兩國とソ聯は飽くまでもヒトラー總統の遺骸を發見し、死を確める積りだ、また歐洲の實戰にあまり參加しなかつた米第十五軍が差し當り米占領軍となる豫定だが、今後數ケ月間に數十個師團が占領軍に加はつてドイツの混亂を整理し秩序を齎すこととならう

歐洲戰が終つたので歷戰の米軍約七十個師團が解放されるが、この兵力の皆が皆を太平洋戰域に廻すことが出來る譯ではない、また歐洲に踏み留まりもせず太平洋に廻されもせぬ部隊といへども間もなく故國に歸還出來るものではないこれらの部隊を圓滑に米國まで渡洋輸送するには、すくなくとも今後一ケ年を要しよう

桑港會議一分間の默禱

（リスボン八日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議は八日午前十一時（太平洋戰時々間）一分間會議を中止し、歐洲戰の終了に對して默禱を行つた

ソ聯は參列せず

（リスボン八日發）サンフランシスコ來電＝スターリン元帥がまだ正式に歐洲戰の終了を宣言してゐないので、モロトフ氏は歐洲戰終了紀念式への參列を遠慮し、ソ聯代表團は次の通り聲明した

ソ聯に關する限り依然交戰狀態が繼續し、まだ血が流されてゐるので參列を差控へた

三頭會談要望の聲昂まる

（リスボン八日發）ポーランド問題を繞る米英ソ三國の決裂は三頭會談の急遽開催を焦眉の急として要請してゐるが、更に歐洲戰終了に伴ひドイツ處理方式が現實の問題として前面に押し出されるにつれ、新たな角度から三頭會談を要求する聲が米英兩國外交界からあげられてをり、AP記者ハイタワーは八日サンフランシスコから次の通り報じてゐる

米英兩國外交界はVデー直後三頭會談が開催されるものと期待してゐるが、理由はドイツの全面的敗北に伴つて發生する緊急問題並びに歐洲の秩序と平和回復の基礎を敷くため絶對に必要だといふ點にある、ドイツの將來の侵略行爲を今後半世紀間阻止するためには、國際安全保障機構と並行しつつも別個に何等かの措置を要する、この意味で三頭會談の開催は絶對に必要であり、その際ヴアンデンバーグの提案したドイツに對する米英ソ三國の長期同盟條約が成立するものと豫測される

表決手續執行委員會を通過

（リスボン八日發）表決問題を繞る米ソ兩國間の對立は桑港會議の新たな難關として憂慮されてゐるが、サンフランシスコ來電によれば執行、指導兩委員會議長は八日記者團に對し「執行委員會の勸告に基づき指導委員會は滿場一致、會議表決手續案を可決した」と發表したといはれる、指導委員會によれば表決手續の內容は大要次の通り

一、各代表は一票宛を有する

一、手續上の問題は單純な多數決で決定し、具體的な實行上の問題は三分の二の絕對多數決によつて決定する

一、手續上の問題か實行上の問題か判定困難の場合は、各委員會議長の判斷を俟つ

一、表決は擧手をもつて行はれるも特に要求あつた場合は投票による

右は米ソ兩國の主張のいはば妥協案で、サンフランシスコから中央通信社はこれにより米ソ兩國間の對立は一掃されたと報じてゐるが、果して實際に解消されたかどうかは大いに疑はしい

白代表急遽歸國

（リスボン七日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議に對するベルギー代表、外相アンリ・スパークは六日サンフランシスコを出發、空路歸國の途に着いた、理由は國王レオポルド三世の歸國事件を繞る國內危機に對處するためといはれるが、彼の歸國後は最後のピエルロ內閣で副首相を務めたオーギユスト・ド・シユリヴエールが代つてベルギーを代表することとなる模樣だ、一方ノルウエー外相トリグヴエ・リイも七日夜サンフランシスコを出發ロンドンに向ふこととなつた

蔣對日戰完遂を誓約

（リスボン八日發）重慶來電＝蔣介石はドイツ軍の全面的降伏の日に當り、聯合諸國に對し八日次のやうに放送演說した

われわれはドイツ降伏の報に接して聯合諸國とともに衷心から滿足を禁じ得ない、しかし大統領ルーズヴエルト今やなくわれわれと共に勝利をきくことの出來ぬことを遺憾とせざるを得ない、聯合軍部隊は彼の指導精神に鼓舞されて聯合國に課せられた任務と責任とを果すまで戰鬪を繼續するであらう、今や人類の全部の壓力が日本の上にのしかかつてゐる、余は重慶政權に代り聯合國の一員として分擔した責任を果すためなし得る一切を盡すであらうことを約束する

昭和二十年 五月十一日 金曜
第三四一八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

ドイツの崩壊(上)

原子林二郎

△感慨を止めよ

巨星墜ちて萬物冥たり、ヒトラー總統の死は單にナチス・ドイツの終焉を意味するばかりでなくドイツそのものの崩壊を意味するものであつた、ヒトラー總統はドイツと共に生き、ドイツと共に死んだ、總統の死はドイツの死を意味する、ヒトラー總統なき後のドイツはもはやドイツではないドイツはドイツたることを止めた、スターリンなき後のソヴエト聯邦の存在は或ひは考へられるかも知れない、しかしヒトラー總統なき後のドイツが考へられないところに、現代ドイツの社會=政治的構造の特異性があるのだ、バルザツクは「後世史家の物語る歴史的事件はもはや縮圖であり、率直にいへば僞物に過ぎない」と喝破したが、我々はいまこの歴史的事件を眼前に見、みずから呼吸してゐるのである、ドイツ崩壊の凄まじい音は轟々と我々の耳朶をうつ、一九四五年におけるドイツの崩壊は一九一八年のそれに比すべくもない一切が決潰し、一切が異常の混亂の眞中に押し流されてゐる

しかしながらわれわれは徒らに感慨に耽つてゐることを許されない、感慨のなかに安坐してゐるうちにも、世紀の悲劇は緩みなく終幕へ進行してゐるのだ、もとよりこの歴史的事件の最中に歴史的事件の極一小部分にすら解剖のメスを入れることは無暴の譏りを免れない、われわれはいまだ樹をみてゐるだけだ、森の全貌が明かにされるのは今後恐らく數年を要しよう、特にドイツとの直接連絡が完全に斷たれ、ドイツの情勢を直接間接に傳へるものの悉くがドイツの敵か中立國の情報である限り、ドイツの眞相を探らうと試みることは無暴の域をすら遙かに逸脫してゐる、併しわれわれは眼前の事件について假にせよ考へを纏め、將來の見透しの基礎とする必要に迫られてゐる、一歩前進するためには一歩後退して足下をみなければならないそのためにも混亂のドイツをそのあるべき場所におくことは必ずしも徒勞ではなからう

△總統の死を繞る憶測

ドイツの崩壊を語るに當つて、まづ我々に直面する主な問題は三つある、ヒツトラー總統の死の謎、デーニツツ後繼の謎、ヒムラーの行動の謎だ

ヒトラー總統の死を初めて發表したのはハンブルグ放送局であり、このハンブルグ放送局の發表を傳へたのは敵側の放送である、もとよりドイツ自身からの直接連絡が斷たれてゐる現在、ドイツ自身がヒトラー總統の死を確認した報道を入手することが出來ぬのはいふまでもないがヒトラー總統が死ぬ直前までベルリンの恐らく總統本營にあつて親しく首都防衛戰を指揮してゐた事實を報じたのも敵側の情報である、從つて懷疑的な考へ方をすれば、ヒトラー總統はベルリンに「居た」といふべきではなく、「居たといはれる」と間接表現語を用ひねばならぬ譯だ、しかもヒトラー總統は昨年の七・二〇事件以來、すくなくとも公開の席上に姿を全く現はしてゐないことを考慮に入れる必要がある、重要な演說乃至布告の一切は「軍務多端のため」代讀されるか乃至はラジオを通じて行はれてゐる、卑俗な言ひ方をすれば「聲はすれども姿はみえず云々」だ、ここからしてヒトラー總統の死を繞る謎が圖らずも發生し、推摩臆測の華が咲くといふ歎しい事態が起り、敵の惡辣な宣傳に好個の材料を提供するといふことになつたのである

ヒトラー總統が五月一日「陣頭指揮中」倒れたといふ事實に對しては、米英兩國政府とも完全に沈默を守つてゐるが、これは當然のことだ、一國の元首の死について政府が宣傳屋共のお先棒を擔いで騷ぐなぞといふことは、いかに敵國であらうとも出來ぬ藝當である、從つて米英兩國政府が見解を表明しないからといつて、ヒトラー總統の五月一日死亡說をそのまま鵜呑みにしてゐることにはならない

△暗中模索

ヒトラー總統の死について初めて公式に疑問を挾んだのは歐洲侵攻反樞軸軍司令官アイゼンハワーである、パリからのロイター電報によれば、五月二日即ちヒトラー總統の死んだ翌日記者團に取

りまかれたアイゼンハワーは、例の梟のやうな眼を狡猾に細めながら次の通り言明したといはれるヒトラー總統が五月一日陣頭指揮中仆れたといふ報道は、ヒムラーと彼の幕僚シューレンブルグ大將の傳へた事實と全く相違する、ベルナドツテ伯は四月二十四日午後一時リューベツクにおいてヒムラー、シューレンブルグの兩者と會見した、その際ヒムラーはドイツの運命が極まつた事實を認め、ヒトラー總統は重態であり、すでに死んでゐるかも知れず、存命してゐても後二日とは持つまいと語つた、またシューレンブルグは附言してヒトラー總統は腦溢血のため病床にあると申し立ててゐる

アイゼンハワーの聲明を說明すれば、第一にヒトラー總統の戰死はヒムラーの病氣說と相違し、五月一日に薨去したとの發表は、四月二十五日にすでに瀕死の床にあつたとするヒムラー說と矛盾するといふのである、ここでわれわれは殘念ながらヒムラーの言明が確認すべきものであるにも拘らず、ヒトラー總統の戰死が未だドイツ側のなんびとからも確認されてゐないことを考慮に入れねばならない

總統の五月一日戰死說については他の點でも疑ひを抱かれてゐる、例へばスイスの新聞で比較的親獨的傾向を帶びてゐた「ブンド」が五月三日の社說で次の疑問を提起してゐる

ヒトラー總統の死については未だ全然明確されてをらず、確認もされてをらず、百人のうち九十九人までは疑問視してゐるやうだ、第一に反樞軸軍側の見解では、ドイツはヒトラー總統を落ちのびさせるため所在をくらます目的で死亡を報じたといふことである、これは一應考へられる見解だが、それを裏付ける事實は、ヒトラー總統は總統官邸を防衛中仆れたといふことになつてゐるが、總統官邸に對する赤軍の總攻撃に關する獨ソ双方の報道が全く喰ひ違つてゐることだ、エキスチエンジ通信社の報道によれば赤軍はヒトラー總統の薨去が傳へられた後で總統官邸に對する攻撃を開始したといふことだ、いづれにしても總統が死んだといふことは有り得る、恐らくドイツは總統官邸の戰ひが始まるまで總統の死を隱しておいたのであらう、蓋しナチスの考へ方では、ヒトラー總統は普通の人間のやうな死に方をしてはならず、總統に忠實な部隊を指揮してゐる間に仆れねばならぬのだナチスの宣傳機關が長い間醸し出してゐた神話的雰圍氣に一致して、ヒトラー總統の生涯は敵と直面する死をもつて閉じられねばならぬのである、しかし聯合國は總統の遺骸がワルハラ殿に消えたままで滿足せず、總統の死を確認し遺骸を目擊せねば止まぬであらう

「ブンド」紙の疑問はソ聯の共に分つところである、ベルリンを占領した赤軍は直ちにヒトラー總統の遺骸搜索に着手し、市内のみならず郊外の到るところを探し廻つてゐるが、五月七日現在までは發見されてゐない、またゲツベルス宣傳相の自殺を最初に發表したのがソ聯情報局であるにも拘らず、ヒトラー總統の戰死については何も言つてゐないことも注意すべきことのやうに思はれる

△奇說は珍說を生む

總統の死に關する臆測については、いくらでも例を擧げることが出來る、敗戰直前の混亂では如何なることも起り得るといふのが、こうした噂話の前提だ、眞實は後に歷史が說明して呉れるであらう、われわれは一先づヒトラー總統が五月一日陣中で戰死したといふ說を信じて、次の代表的な噂話を紹介しよう、それはスエーデン紙「アフトンブラデツト」の五月三日附ロンドン電報だ

ヒトラー總統の死を繞る謎は益々深まつて行くロンドンの人々はいろんな說を綜合して、總統がヒムラーの命令乃至はゲシユタポの干涉で心理的に恰度よい時機に死んだことも有り得ぬことではないと考へてゐる、ただし英國政府はドイツ側の發表をそのまま鵜呑みにしてゐる樣子だ、ヒトラー總統の死因については種々雜多な說がある

ある者はテイーアガルテンの特火點で自ら爆發裝置に火を點じて爆死したと考へ、ある者はゲシユタポに殺害されたとみてゐる、後者の說の出所はベルンのドイツ人筋だ、この說によると、ヒトラー總統はヒムラーがベルナドツテ伯と會見する二日前に殺害されたといふことになる、總統本營で祕密會議が開かれ、席上ヒムラーは降伏する意思を明かにし、すでに米英兩國

昭和二十年五月十一日(金)
第三四一八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

と交渉の口火を切つてゐると發表した、隣室で病床にあつた總統はヒムラーの聲明を耳にすると、堪り兼ねて跳び出し「余は斷じて降伏せぬ」と叫んだといはれる、ヒムラー一派は總統を宥めて病室に連れ戻つたが、數日後にヒムラーは總統が發作が因で薨去した事實を發表し、總統の死を暫時祕密にしておく必要を強調した、しかしながら實際には、ヒトラー總統はヒムラー一味に殺害されたので、かれらは同時に總統とともに徹底抗戰を主張するものを殘らず地表上から抹殺してしまつた、ゲツベルスも徹底抗戰派とみられるから、彼もおそらくヒムラー一味の手にかかつたと思はれる、もしも、赤軍がベルリンの廢墟の中から總統の遺骸を發見出來ぬならば、ヒトラー總統は不滅の榮光につつまれる機會を得るであらう、これがベルンのドイツ人筋の見解だ、英國は總統の死を包む謎の雰圍氣を好んでゐない、といふのはかうした謎そのものがヒトラー傳說の一部をなすもので、總統そのものを抹殺するよりも、この傳說を抹殺することが遙かに困難となるかも知れぬからである

果して以上の說が「アフトンブラデツト」紙の言ふ如くベルンのドイツ人筋から出たものか、あるひは同紙の記者の筆先から出たものかは明かでないがこの總統殺害說は混亂のドイツにヒトラー總統の「抗戰派」とヒムラーの「和平派」が對立して無政府狀態を現出したといふ前提乃至は嚴密にいへば假定から出發してゐるのである、このことは後段で檢討を加へてみなければならない

△デーニツツ指名の謎

次の謎は總統の後繼者にデーニツツ提督が選ばれたことだ、かつてヒトラー總統は「余の亡き後はゲーリング、ゲーリング亡き後はヘス」と言つたが、NO2のゲーリングは既に一年前反樞軸空軍の對獨戰略爆擊酣なりし頃から影を薄らぎ、總統の死の直前にはドイツ空軍司令の地位を辭して爾來杳として消息を斷つてゐる、ヘスに至つては英國に對する One man invasion 後既に總統の後繼者たる資格を失つてゐる、してみればヒトラー、ヘスと共にナチス、ドイツの Three H といはれるヒムラーに當然お鉢が廻る筈であるのに、意外にもデーニツツが後繼者に指定された、恐らくデーニツツの登場を髣髴の毛一本ほどにも豫測してゐた者は一人もあるまい、ドイツ國民にとつても彼の總統就任は意外であり、謎であり、このことと自體ドイツを支配する恐るべき混亂を如實に實證するものだ

第一に疑ふならばヒトラー總統が眞實デーニツツ提督を後繼者に指名したといふ確證がないことだ、すくなくともゲツベルスがヒトラー總統の死亡當時存命してゐたならば、彼の側から何等かの反響がある筈だし、ヒムラーもドイツ國土防衞軍總司令官の立場として何等かの發言すべき言葉がある筈だ、聯合國は「Small Fly」のデーニツツ提督が總統に就任したことについていろんな臆測に耽つてゐる、まづワシントンからのAP記者の五月二日附の次のやうな報道がある

もしもヒトラー總統が眞實デーニツツ提督を後繼者として指名したとすれば、次のやうな說が考へられる、第一にデーニツツ提督は狂信的なナチスであり、機會の許す限り飽くまでも戰ひ續けることを希望してゐる、第二の說はデーニツツはナチスの慘虐行爲と關聯して考へられない唯一の人物であるため、ヒトラー總統はデーニツツが降伏を申入れる場合多少有利なものを持つてゐるとなすもの、第三はデーニツツはドイツ國民の間に人氣があるからとなす說だ

以上のAPの報道は二つの矛盾對立する說を傳へてゐる、一はヒトラー總統が飽くまでも抗戰を希望し、そのため所謂「徹底抗戰派」のデーニツツ提督を後繼者に選んだとなす說だ、第二はヒトラー總統が米英兩國に對する和平を希望し、そのためにナチスのうちでは多少とも米英兩國の受けのよいデーニツツ提督を選んだといふ說である

△新總統は抗戰派か

前者の說を採つてゐるのは「ブンド」紙だ、同紙は五月三日の社說で次の通り論じてゐる

デーニツツの總統就任はなんびとにとつても意外の一語に盡きるであらう、恐らくデーニツツはヒトラー總統の死後、クーデターによつて政權を掌握したものと思はれるが、ドイツ陸軍は

根底から瓦潰してをり海軍のみが依然抗戰經續を主張してゐる現在、デーニツツの總統就任は海軍が勝利を占めて、抗戰經續の態勢を固めるためと思はれる

スイスの「ナチオナル・ツアイツング」紙のロンドン特派員が五月三日次の通り報じてゐるのも、デーニツツを抗戰派と見做したものであらう

ヒトラー總統の謎の死とデーニツツ提督の後繼は英國下院に異常に無氣味な雰圍氣を釀し出してゐるが、一般に、デーニツツがヒムラーの留守を狙つて政權を掌握し、スカンヂナヴイアを基地とする海軍特に潛水艦をもつて抗戰を經續しようと意圖してゐるとなす說が有力だ、デーニツツは英國嫌ひであり、ドイツ國民にも人氣のある唯一のナチスであるため、彼の呼び掛けに應じて「人狼」遊擊隊も積極的に活動を展開するものとみられてゐるが、ヒムラーの和平努力に對する軍部の反對、ナチス指導部からのヒムラーの孤立は英國政界を混亂させるばかりだ更に「ノイエ・チユーリツヒアー・ツアイツング」紙のロンドン特派員は英國政界の一部の見解を反映五月三日次の通り報じてゐる

デーニツツはヒトラー總統の後繼者名薄に一度も記載されたことがないだけに、彼の總統就任は英國政府を含めてあらゆる方面を驚かせた樣子だ、有力な說によると、ヒムラーは和平を希望したため政權爭ひに破れ、戰爭經續を希望する者のうちからデーニツツが選ばれたものとみられ、ロンドン政界はデーニツツの就任をもつて戰爭は一時的にもせよ續くと結論を下してゐる、しかしながらより愼重な一部はヒトラー總統の死を發表した時機が注意深く選ばれたこと（この說によると總統は五月一日以前に死んだことになる）今日までナチス黨首腦部は指導者の更迭を極めて愼重に行つてきたこと等から判斷して異議を差し挾んでゐる、更に現在ナチス首腦部は總統の地位を爭はず、色彩のない人物を舞臺の前面に押し出さうと圖つたといふ說も成立する、いづれにしてもナチス首腦部が和平抗戰の兩派に分裂してゐるかどうかは別問題として、ドイツが降伏を準備してゐるかどうかも考慮に入れなくともデーニツツは所謂「人物」とは義理にもいひ難く、彼の名が敗殘ドイツ軍に新たな抗戰意力を吹き込むとは考へられぬし海軍の命令を陸軍が默つてきくとも思へない

ドイツの降伏條件正文

（ストツクホルム八日發）パリ來電＝聯合軍最高司令部は七日午前二時四十一分ランスにおいてドイツ軍代表との間に調印されたドイツ軍降伏の條件正文を八日發表したが內容次の通り

一、われら下命はドイツ軍最高司令部の權威に基いて行動し、この日附に至り、ドイツの支配下にある陸海空三軍の一切の兵力を聯合遠征軍最高司令官並びに同時にソヴエト軍最高司令部に對しここに無條件に降伏させる

二、ドイツ軍最高司令部は一切のドイツ陸軍、海軍、空軍當局並びにドイツの支配下に屬する一切の兵力に對し、中部歐洲時間五月八日午後十一時一分を以て一切の活動を停止し右時刻に占據しある地點に留まるよう卽時命令を發する、艦艇、船舶、並びに航空機を自爆せず、船體機械乃至裝備に對しては何らの損害をも與へないことを約す

三、ドイツ軍最高司令部は當該各司令官に對し卽時命令を發し聯合遠征軍最高司令官並びにソヴエト軍最高司令部によつて今後發せらるべき一切の命令を遂行出來るよう手配する

四、この軍事降伏の取決めは聯合國により乃至は聯合國のために課せられ、ドイツ並びにドイツ武裝兵力全般に適用さるべき全般的協定と何ら牴觸せず、將來右協定によつて置き換へられるものとす

五、ドイツ軍最高司令部乃至その支配下にある兵力がこの降伏條件に準據して行動することを怠る場合には聯合遠征軍最高司令官並びにソヴエト軍司令部は適當と思惟する懲罰的行動乃至その他の措置を採るであらう

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　昭和二十年五月十二日(土)　第三四一九號

同盟通信 海外電報

編輯發行人　田中正太郎　東京都渋谷区比谷公園二番　社團法人　同盟通

四ケ年に垂んとするソ聯の對獨戰爭は九日午前零時四十五分をもつて正式に終了した、スターリン元帥は同日午前一時十分「祖國戰爭」の完了を宣言したが、特に「祖國戰爭」と斷つてゐるやうに、ソ聯にとつては今や一切の戰爭が終つた譯だ

このことは更に對日戰といふ大事業を前途に控えてゐる米英兩國に比較して、ソ聯を絶對有利の立場に据えるものである、歐洲戰における重荷の大部分を背負ひ込み、あまつさへドイツを今日の悲運に追ひやつた契機をつくつたのがソ聯であることは今日米英兩國といへども認めてゐるところだが、歐洲におけるソ聯の自主政策は別として、今後の問題はソ聯の極東政策だ

循環論法めかしく聞えるが、米國は對日戰を早く終へるためにソ聯の極東參戰を希望してゐる、然しながらソ聯を參戰させるならば極東におけるソ聯の發言權が增大する、ソ聯の發言權が增大することは極東の獨占支配を狙ふ米國の最も希望せぬことだ、米國としてはソ聯を參戰させると同時にソ聯の發言權を削ぐことが最も好ましいのだが、さうは問屋で卸さない、政治外交軍事のいづれの領域を問はず、一切を決定するものは力關係だ、歐洲における米ソ兩國の力關係は、極東における米ソ兩國の力關係と全く異なる

ソ聯の歐洲政策は赤色帝國主義とか侵略主義といつた言葉で片付けられてゐるが、「エコノミスト」誌が曾つて鋭く指摘した如く、未だ自國國境の安全保障の域を一歩も脫してゐない、ソ聯のポーランド、バルカン政策が如何にaggressiveにみえようとも、この目的が中心だ、現下のソ聯の國力はそれ以上を許さない、極東においても根本的には同じことがいへる、ソ聯は米國の力關係と日本との力關係を脫合せて極東政策を決定する、いまのところは兩者の力關係は髮一筋の兼合ひを保つてゐるが、この釣合ひの崩れた瞬間ソ聯が極東でも「國境の安全保障」政策に出ることは言を俟たぬ

【目　次】

三頭會談の議題……一二八八
英、徵兵制を撤廢せず……〃
シエンノート大陸反攻を豪語……〃
ド・ゴール佛印の奪回を呼號……〃
ミコライチク反ソ聲明……一二八九
ベネシュ、プラーグ乘込み……〃
白政府、國王と連絡……〃
獨要人の自殺と逮捕……〃
クレタ島の獨軍降伏……〃
「ヒムラーの謎」諸說紛々……〃

【桑港會議】
モロトフ代表歸途につく……一二九〇
米妥協案を提起……〃
經濟協會委員會活動を開始……〃
ソ聯の遣り口を攻擊……〃
ソ聯政府に說明を求む……一二九一

【米　國】
通商の自由を主張……〃
憲法修正案を可決……〃
徵兵法を更に延期……〃
戰費二千七百億弗……〃
小鐵鋼樣式を繼續……一二九二
民間用機の製作許可……〃
ルイス勝訴……〃
深夜興行禁止令廢止……〃

【對獨問題】
米は獨勞働力を要求せず……〃
對獨戰の終了と米國內施策……〃
米、獨公館を接收……〃
丁抹、對獨協力者を處罰……〃
獨軍兵士に疲勞と飢餓……〃
聯合軍代表團オスロ着……〃
米軍歐洲の出血……一二九三
英聯邦の損害百十八萬……〃
佛軍の損害……〃
廢墟ベルリンの調印式……一二九四
ゲーリング元帥逮捕……〃
英海軍二將官昇進……〃

【特　輯】
ドイツの崩壞（下）……一二九五

【資　料】
ワルケレン島干拓計畫……一二九六
米軍輸送舟艇隊の活動狀況……一二九七

三頭會談の議題

（ストツクホルム十日發）歐洲戰の終了を契機として再び三頭會談の開催が熾んに要望されてゐるが、ロンドン政界筋の情報によればイーデンは來週早々サンフランシスコを立つて途中ワシントンに立寄り、三頭會談開催の打合せを遂げた後ロンドンに歸還するものとみられてゐる、今回の三頭會談は主として歐洲戰の後仕末に限られるものとみられ、議題としては

一、ポーランド問題行き詰りの打開

一、戰爭犯罪人に擬せられるドイツ首腦の處分問題

一、ドイツ國内における聯合國管理委員會の機能問題

一、領土調整問題、ユーゴスラヴイアのイストリア、ゴリチア要求をどうするか、イタリアの植民地の歸趨如何

の四つが擧られてゐるが、英國はロンドンで開催を希望、スターリン元帥も作戰指導の必要がなくなつたから英國への旅もさのみ億劫ではあるまいと稱してゐる

徵兵制度を撤廢せず

——チヤーチル下院で言明——

（ストツクホルム十日發）ロンドン來電＝英國首相チヤーチルは十日、下院において英國政府が歐洲戰爭の終了にも拘らず依然徵兵制度を存續する旨言明した、應答要旨次の通り

ライス・デヴイス（勞働黨）

カナダ政廳は七日をもつて徵兵制度を撤廢したが、英國政府も徵兵制度を停止する意思はないか

チヤーチル首相

人的資源の再配分の肝要な一部分として依然として强制徵兵を繼續することが必要だと思ふ、若い人達が前線に行つて父兄に代りドイツ國内の整備に當らねばならず、日本軍との戰鬪に參加せねばならぬといふ極めて重要な點を考慮する必要あり、既に重荷を擔ひ灼熱に堪えた人々に休養を與へるため今後數年間は壯丁を繰り出さねばなるまい

ベリンジヤー（勞働黨）

然らば現在海外で勤務してゐる出征兵士にとつて代るためだけに徵兵制度を存續する方針かチヤーチル首相

將來のことは全く豫測出來ない

さらにチヤーチル首相は今後三十日以内に普通人も自動車を動かすことが出來るやうになるだらうと述べたがガソリンは依然嚴重な配給割當制を受ける旨付言した、また英國議會の解散については政府はまだ方針を決定してゐないと述べた

シエンノート大陸反攻を豪語

（リスボン十日發）昆明來電＝在支米陸軍第十四航空隊司令少將クレア・シエンノートは九日支那大陸作戰に關し次の通り言明した

空中戰に加ふるに戰意固く裝備良き重慶軍の作戰をもつてすれば、今や支那奥地においても日本軍を破ることが可能である、自分は昨年航空機の補充と補給物資さへ十分ならば日本軍の攻勢を衡陽で支へ得ると斷言したが、必要機數の航空機が得られず、物資割當噸數も少かつたために自分の言葉は裏切られた、事實、保有機數を動かすに足る補給さへ得られなかつたのだ、しかし現在わが航空隊の條件はよくなり、支那軍の戰意並びに裝備も向上した、但し補給狀態はまだ理想的だとはいへず、ビルマ經由の送油管がどれほど役に立つかについてもまだ云々することは出來ない

ド・ゴール佛印の奪回を呼號

（リスボン九日發）パリ來電＝フランス政權首班ド・ゴールは九日フランス全軍に次の特別布告を發した

諸士はフランスが曾つて參加したうちでも最も慘酷な戰爭を完了した、ドイツの降伏は歐洲戰の終焉を告げるものであるが、諸士の前には新たなる大事業が控へてゐる、それは米英軍と共に日本と闘ひ佛印を奪回することである

昭和二十年 五月十二日(土)
第三四一九號
同盟通信 海外電報
(第二種郵便物認可)

ミコライチク反ソ聲明

(スドツクホルム十日發)ロンドン來電=前亡命ポーランド政權首相スタニスラフ・ミコライチクはポーランド要人十六名の逮捕事件に關し十日次の通り聲明した

ソ聯によつて逮捕されたポーランド要人十六名はいづれも軍事とは何等の關係をも持たぬ政治代表であり、ソ聯との協力を心から要望してゐた者ばかりである、恐らく彼等はソ聯當局と交渉のため出發する際、クリミヤ協定に基く新國民統合政府の樹立に關するものと確信してゐたであらう、ポーランド國民統一會議(ポーランド本國における亡命政權側の組織)の諸氏は赤軍が進入した時直ちに名乘り出る積りであつたが、その自由を許されず且つワルシヤワ政權の遣り口を考慮した結果斷念した、勿論彼等はロンドン亡命政權を通じて米英ソ三國政府に名乘ればよかつたのだが、それもしなかつた、併しながら赤軍の安全を脅かす如き行動を採つた罪に問はれるいはれは毛頭ない筈である

以上の聲明によつて、從來ロンドンのポーランド人間における唯一の親ソ分子と目されてゐたミコライチクも明瞭にソ聯へ叛旗を飜したわけで、彼を中心とする新ポーランド統合政府の樹立は三頭會談によつて打開策が講ぜられぬ限り殆んど絶望視されるに至つた

ベネシユ、プラーグ乘込み

(チユーリツヒ十日發)プラーグ放送は十日、チエコスロヴアキア大統領エドアール・ベネシユがプラーグに到着した旨發表した

白政府、國王と連絡

(リスボン九日發)ブラツセル來電=ベルギー政府は最近米軍に救出されたベルギー國王レオポルド三世との公式接觸を遂げた旨九日發表した、但し國王の歸國に關しては何も發表されてゐない

獨要人の自殺と逮捕

(チユーリツヒ十日發)オスロ來電によればノルウエーのドイツ民政長官ヨゼフ・テルボーフエン及びドイツ警察長官ウイルヘルム・レデイエスは十日自決したといはれる、またプラーグ來電によればズテーテン地方ナチ黨支部長コンラツド・ヘンライン及び舊チエコ領民府長官カール・フランクは、九日米軍によつて逮捕されたと傳へられる

クレタ島の獨軍降伏

(リスボン十日發)アテネ來電=クレタ島及びミロス島のドイツ軍は九日夜聯合軍に降伏した、クレタ島では九日午後十時半英軍並びにギリシヤ軍代表とドイツ軍代表との間に無條件降伏に關する取極めが成立し、降伏文書に調印し、ミロス島では同日正午ギリシヤ軍代表に對してドイツ軍は降伏した、なほクレタ島のドイツ軍守備隊は兵力約一萬でこのほかにイタリア軍四千が加はつてゐる

「ヒムラーの謎」諸說紛々

(リスボン九日發)ヒムラーの行方に關しては依然諸說紛々の狀態だが、デンマークのカルンドボルグ放送はヒムラーの所在をスエーデンと傳へ、またストツクホルムに流布されてゐる報道によれば、彼はナチ黨領袖數名と共にノールウエーにあるといはれる、またロイター通信記者はヒムラーの役割を次のやうに報じてゐる

ストツクホルムからロンドン在住のスエーデン人に達した情報によれば、ヒムラーがスエーデンにゐるといふ說が有力だ、今だから言へるがドイツの和平の探りはヒムラーによつて四、五月前から始めたもので、彼はスエーデンの要人と接近したり、彼の統率するゲシユタポを突然「人道化」したり、また少からぬユダヤ人を收容所から釋放したりした、さらに顯著なことはドレスデン爆撃の後ヒトラー總統が多數の遠征軍捕虜の射殺を命じたのに對し、ヒムラーが巧みにこの命令を取消した一事だ、二月以來ヒトラー總統は急速に舞臺の前景から影をひそめ、代つてヒムラーがドイツの行政組織の全部を手中に收めたのだが、今のところ最後の土壇場でヒムラーがデーニツツ新總統のために放逐されたのか、或ひは協力に同意したかについてははつきりした情報がない

【桑港會議】

モロトフ代表歸途につく

（リスボン九日發）サンフランシスコ來電＝ソヴエト代表モロトフ外務人民委員は八日ドイツ軍の降伏を機會に英國の各放送局を通じて演說し「われわれは長期に亘る困難な戰の後遂に勝利を收めた」旨を述べたが、同日夜サンフランシスコを出發、モスクワに向け一路歸國の途に着いた、ポーランド問題に關する三國委員會の米英兩國代表も相ついでモスクワに向つたのでモスクワにおいてポーランド問題の解決に關する交涉が開始される段取とみられる

米安協案を提起

（リスボン九日發）歐洲戰の終了に鑑み議事の進行を急いでゐる桑港會議は、中南米代表の爆彈宣言によつてまたまた暗礁に乘り上げたが、サンフランシスコ來電によれば米洲共同防衞體制と新國際機構との「結びの糸」を見出すため、十二ケ國代表からなる小委員會を設置したといはれる、同委員會の目的は

一、地域的機構は國際機構と別個に自治を許されない

一、國際機構は地域的取極めの機能に干涉する一定の局限された權限をのみ持つべきである

一、地域的機關は國際機構と別個に完全な自治を許さるべきである

との三說を中心に檢討を加へる筈だが、UP電報によればステチニアスは八日夜の五相會議において

米洲共同防衞體制は嚴重な意味で西半球のみの問題を處理する際は全權を許されるが紛爭が長引き國際平和を脅威するとみられる際は新國際機構の處理下におかれる

との妥協案を提起したと傳へられる

經濟協力委員會、活動を開始

（リスボン八日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議總會委員會に所屬する經濟社會協力委員會は印度代表ラマスワミ・ムダリヤ司會の下に八日豫備會議を催した、右會議では委員會の活動範圍に就いて討論が行はれ、委員は委員長ムダリヤに對し書記の協力の下に各國政府の提案を審査し行事豫定表を委員會に提出するやう要求した

ソ聯の遣り口を攻撃

（ストツクホルム九日發）ロンドン來電＝ソヴエト政府がポーランド副首相ヤンコフスキー他要人十四名を逮捕したとの報は英政界筋に大きな衝撃を與へてゐるが、九日の下院で外相代理ローと保守黨議員との間に次の應答が行はれた

サヴオリー　ポーランド要人はソヴエト政府の招請を受け、しかも身邊の安全は絕對保證するといふ約束でモスクワに赴いたことを當局は知つてゐるか

ロー　政府は事情が分つてゐる限りその意義を十分認識してゐることを確言する

エモツト　タス通信社は去る五日これらポーランド要人がオクリツキー將軍の指揮下にある旨を報じてゐるが政府は右報道を確認するかこの將軍の名前が出て來た結果事態はすつかり變ると思ふが如何

ロー　政府はタス通信社の報道を確認しない

ガンマンス　彼ら要人はポーランド勞働組合乃至勞働運動に參加してゐるが政府は英國の左翼各派から抗議を受取つたか

ロー　特別の抗議は聞いてはゐない

ロイド　彼らのうち誰かが生存してゐると信じてよい理由があるか

ロー　誠に遺憾ながらこれ以上の情報はない

サヴオリー　元ポーランド首相ヴイトスはクラカウ附近の自宅から三月三十一日拉致された後、最近釋放されたといふが事實か

ロー　目下ソヴエト政府に對して確認を求めてゐる、更に農民黨の領袖が最近逮捕されたといふがこれについても同樣措置してゐる

更にローは英人俘虜の取扱ひ問題、赤軍占領地における英代表の行動制限問題につき次の如く述べた

昭和二十年 五月十二日(土)
第三四一九號
同盟通信 海外電報 第三種郵便物認可

「ドイツで解放された英人捕虜に對するソヴエト政府の取扱ひについては不備の點が少くない、例へばこれを釋放して病院に集めた場合にも英軍將校の訪問を許さず捕虜が纏められてゐると覺しき地點をも訪問を許さない、酷い例になると英人捕虜の持物が盜まれるといふこともある、また英代表がルブリン、レンベルク並びにヴオルコヴヤクにおいて釋放された英人捕虜と接觸するため極く短時間これらの地點を訪問した以外英代表はいまだかつてポーランド領内乃至チエコスロヴアキア並びにオーストリア兩國内の赤軍占領地帶に入つてゐない、表向の制限はないが赤軍司令部の許可がなければ旅行出來ず且つ赤軍連絡將校が必ず隨伴することになつてゐる、一方英軍並びに米軍の占領地域に於てはソヴエト代表は完全に行動の自由をうけ、ソヴエト特派員も各國の從軍記者と同樣な扱ひを受けてゐる、ところがブルガリヤ、ハンガリー兩國乃至赤軍占領下のチエコスロヴアキア、オーストリヤ並びにドイツ國内には英人特派員は一人もゐない、一人か二人新聞記者がポーランド領土を訪問したことはあるがそれ以外にはゐない」

ソ聯政府に說明を求む

(ストツクホルム九日發)ロンドン來電=英外務省はモスクワ駐劄大使館に訓電し次の二點につきソヴエト外務人民委員部に照會するやう指令した

一、ポーランド元首相ヴイトスが釋放されたといふのは事實か

一、ポーランド要人十五名が逮捕されてゐるのは事實か

通商の自由を主張

(リスボン九日發)ワシントン來電によれば下院戰後經濟政策並びに計畫特別委員會は一ケ月に亘る討議の後八日戰後通商政策に關する報告書を發表したといはれる、同報告書は第一に通商制限の縮減乃至撤廢を議するため國際通商會議の開催を提唱するほか、米國側の施策としては

一、關稅及び通商障壁の引下げ

一、對外融資及び投資

一、通貨安定のための國際金準備の設置

一、海運並びに造船の奬勵

等を擧げ最後に國際カルテルに反對してゐるが、一貫する特徵は依然たる通商自由競爭による世界市場の支配と海運の獨占にある

憲法修正案を可決

(リスボン九日發)ワシントン來電=下院は九日上院及び下院の多數決によつて條約を批准すべしといふ憲法修正に關する決議案を二百九十三票對八十八票で可決、上院に廻附した、現在の憲法によれば條約の批准には上院における三分の二の贊成が必要で、下院は全然發言權を與へられてゐない

徵兵法を更に延期

(リスボン九日發)ワシントン來電=大統領トルーマンは對日作戰繼續のための必要措置として九日、選拔徵兵法延期法案に署名した、右法案によれば五月十五日以降一ケ年間世界全戰域で戰爭が終了するまで召集を續行し得ることになつてゐるなほ建國以來、米國が費した戰費を示せば次の通り

獨立戰爭　約七千萬弗(扶助料支拂額)
一八一二年戰爭(對英)一億三千三百七十萬弗
(非公式評價)
米墨戰爭　一億六千六百萬弗(非公式評價)
米西戰爭　二十億弗(扶助料を含む)
南北戰爭　百五十億弗(扶助料を含む)
第一次大戰(一九二一年六月まで)
二百五十七億二千九百萬弗

(註)一九二一年から一九三四年六月三十日までに至る扶助料の如き繼續的出費を容れれば第一次大戰の戰費は合計四百十六億五千四百萬弗となる

小鐵鋼樣式を繼續

（リスボン九日發）ワシントン來電＝戰時動員局長官ヴインソンは九日左の通り發表した

いはゆる「小鐵鋼樣式」その他一切の戰時賃金安定政策は今後も一定期間實施されよう、重點は太平洋戰線と同樣、國內の賃金戰線にも置かれ、歐洲戰は勝利に終つても依然として賃金安定政策は必要だ

民間用機の製作許可

（リスボン八日發）ワシントン來電＝戰時生產局長官クルーグは八日既に契約濟みの軍用機生產を阻害しない限り航空機會社の民間用輸送機の生產を許可した

ルイス勝訴

（リスボン八日發）ワシントン來電＝大審院は八日左の判決を下した

有煙炭坑主は賃銀時間拂法に基いて炭坑夫に對し坑內移動間も賃銀を支拂ふべきである

炭坑勞働者組合會長ジョン・ルイスは坑內移動賃銀の合法性認定を要求して長年に亘り鬪爭を續けて來たが、今回の判決により目的を達したわけだ

深夜興行禁止令廢止

（リスボン九日發）ワシントン來電＝米國戰時動員局長官ヴインソンは九日、記者團會見において從來禁止されてゐた深夜興行及び競馬、競犬の再開を即時許可する旨發表した

【對獨問題】

米は獨勞働力を要求せず

（リスボン九日發）サンフランシスコ來電＝賠償問題委員ボーレーは八日サンフランシスコに赴き國務長官ステチニアス、ソ聯外務人民委員モロトフ氏並びに英國外相イーデンと打合せた後、記者會見において次のやうに言明した

米英ソ三國の賠償委員は近い將來モスクワで商議を開始したいと考へてゐる、委員會は先づドイツの資源と勞働力について檢討し、然る後對獨現物賠償に關して交涉を進めることとならう

以上の現物にはドイツの工場施設を含みこれらは米英ソ諸國に移されてドイツの工場施設を含みこれらされた工場の復舊に使用される、またドイツ人强制勞働者も米英ソ間に割當られ、米英ソ領域の復興に使役される、米國もドイツから物資及び機械施設の形で若干の賠償を要求するが、强制勞働力を移入する意向はない

對獨戰の終了と米國內施策

（リスボン九日發）ワシントン來電＝米國戰時動員局長官ヴインソンは歐洲戰の終了に伴ふ國內施策の變化に關する報告をトルーマンに提出し、九日右報告を公表した、その要點次の通り

一、船腹事情から兵役免除の資格を有する陸軍の將兵を完全に解放するためには今後約一ケ年を要しよう

一、來るべき六ケ月間における戰時生產の切り下げは十乃至十五パーセントの割合である

一、對日戰のため生產維持には現在戰時生產に從事してゐるものの大半が依然その職場に止まることが必要で、人的資源の不足と並んで地方的には深刻な失業問題が生ずるであらうから人的資源に對する嚴重な統制の繼續が必要だ

一、ある種の產業再轉換は直ちに行はれ、對日戰の遂行を妨げない範圍內で早められるであらう

一、軍の食糧需要量は決して減少することはなく救濟用の食糧需要は更に增大するであらう

一、政府の產業に對する統制機構は依然維持されなければならない、しかし太平洋戰のために必要でない資材と人的資源は民需用生產に向けられる

一、價格統制、割當制並びに賃銀の安定はインフレ防止のため今後も維持されねばならぬ

一、對日戰において勝利を獲得することは一切のものに優先する

更に彼は九日白堊館における記者團との會見において以上の根本方針を敷衍して次の通り言明した

午後十二時以後の外出禁止令は撤廢されたが輸送の制限は繼續する、一部產業の再轉換は實施するが、完全な再轉換は日本を擊破するまで行はない、民需向產業のために解放される資材と勞力のうちの一部は少數の自動車生產に充てられまた電氣冷藏庫、洗濯機械の生產も量は多くないが直ちに開始される、一方軍需工場は依然四十八時間勞働を繼續する、民需用ガソリンの割當量は近く八乃至十六パーセント方增加するのであらうが、これはA號切符並びに商業用切符の保持者に向けられる、一般市民向けの食糧事情が近く全面的に改善されるだらうといふ兆候は全然なく食肉、砂糖、バター、その他の油脂類は依然著るしく不足してゐる

昭和二十年五月十二日(土)
第三四一九號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

米、獨公館を接收

(リスボン九日發)ワシントン來電=米國務次官グルーは九日左の通り發表した
政府はワシントンのドイツ大使館及び國内各地のドイツ領事館を接收中である、一九四一年十二月以來ドイツの利益代表であつたスイス公使館に對し既に國務省はドイツ人住宅、公文書類財産等を總て國務省に引渡すやう要請した

丁抹、對獨協力者を處罰

(ストツクホルム九日發)コペンハーゲン來電=デンマーク新議會は九日國王クリスチヤン十世臨席の下に開會したが、首相ブールは政府の施政方針を左の通り述べた
政府はドイツ軍に協力したデンマーク國民を處罰し、戰爭による利得を沒收する、デンマークの反共協定加盟は既に無效となつた、何故ならばデンマークはドイツが駐屯してゐる間右協定への加盟を强ひられてゐたからである

獨軍兵士に疲勞と飢餓

(ストツクホルム九日發)聯合軍當局は降伏ドイツ軍兵士を極めて苛酷に取扱ふことに決定した樣子で、九日當地に達した情報によればオランダで降伏したドイツ軍兵士十二萬は徒歩でドイツに歸還するやう命令されたといはれる、オランダの降伏地域からドイツ本國までは大體三百粁の道のりで、兵士達は一ケ月間の食糧を持つてゐるが、それを運ぶ手段もなく、途上食糧を買ふことを嚴禁されてゐるといはれるから、疲勞と飢餓に苛まれる彼等の運命は想像に餘りある、またドイツ軍捕虜の總數はロイター電報の算定によると一千萬を下るまいといはれるが、捕虜としての待遇は今後七年間續き、その間聯合國の復興工作のため强制勞働に服役させられる筈である

聯合軍代表團オスロ着

(ストツクホルム八日發)オスロ來電=聯合軍代表團はノールウエー駐屯ドイツ軍の降伏を受理するため八日夜オスロに到着した

米軍歐洲の出血

(リスボン九日發)ワシントン來電=米陸海軍當局は八日對獨戰における米國武裝兵力損害について次の通り言明した
「陸軍に關しては四月一日、海軍その他に關しては四月二十六日までの報告によれば、米國の損害は合計七十四萬七千百六十四名に上り、うち十四萬八千三百八十五名は戰死である、以上の内譯は次の通り
△陸軍(歐洲大陸、北阿を含む地中海地域、中東並びにカリブ海地域)
合計七十三萬二千二百七十名、戰死十三萬九千四百九十八名、負傷四十六萬七千四百八名、行方不明七萬二千三百七十四名、捕虜五萬二千九百九十名
△海軍
合計一萬四千三百四十七名、戰死八千三百四十五名、負傷五千三百一名、行方不明六百七十二名、捕虜二十九名
△海兵隊(大西洋、地中海並びに歐洲水域)
合計三十九名、戰死三十四名、負傷一名、行方不名一名、捕虜三名
△沿岸防備隊(全歐洲戰々域)
合計五百八名が戰死その他は目下のところ詳細の數字は判明しない」
なほ陸軍省では右の捕虜の數字には遠征軍に依て解放された者は含まれてゐないといつてゐる

英聯邦の損害百十八萬

(ストツクホルム八日發)ロンドン來電=英國政府は八日開戰以來二月二十八日までの英聯邦全體の兵員の損害が百十二萬六千八百二名、同じく非戰鬪員の損害が五萬六千七百九十三名に上る旨八日發表した

佛軍の損害

(チューリツヒ八日發)「ラ・スイス」紙のパリ電報が七日傳へるところによれば過去七ケ月間の戰鬪におけるフランス軍の兵員損害は戰死一萬、負傷三萬二千名に上り全兵力の十六パーセントに達するといはれる

廢墟伯林の調印式

—モスクワ放送—

（ストツクホルム九日發）數臺の飛行機が聯合國の國旗で飾られたテンペルホーフ飛行場に着陸、ジューコフ元帥、參謀長ソコロフスキー軍大將、テダー大將、スパーツ大將等の一行は、ベルリン駐屯赤軍司令ベルザーリン大將の出迎へを受けた、間もなくカイテル元帥等のドイツ代表團も到着、一同は自動車を驅つてカールスホルストに向つた、調印式は陸軍工技學校において行はれることとなつてをり、式場に到着した一行はそれぞれ控への間に入つた、調印式の司會者は赤軍第一白露戰線軍司令官ジューコフ元帥で聯合軍側からは空軍大將サー・アーサー・テダー、大將カール・スパーツ、海軍大將ハロルド・バロー、フランス軍からは大將ラトル・ド・タシニーが立ち會つた、式場には長い卓子が三列におかれ、片側は米英ソ三國の國旗で飾られてゐる、九日午前零時かつきりに聯合軍代表が中央の卓子を占めると、ジューコフ元帥が靜かに口をきつた

諸君、われわれは今日ドイツ軍司令部から無條件降伏を受理するためここに集つた、ドイツ軍代表を式場に案内して戴きたい

午前零時十分靜まり返つた雰圍氣の裡にドイツ軍代表が廣間に案内された、再びジューコフ元帥が發言した

これより無條件降伏文書の調印をとり行ふ、余はドイツ軍代表諸氏にお訊ねする、諸氏は該文書をお持ちか、內容を御承知か、ドイツ軍最高司令部の代表諸氏は文書に調印されるか

テダー大將も歐洲遠征聯合軍司令部を代表してドイツ軍代表に同じ質問を行つた、カイテル元帥は「御質問の旨同意する」と應じて、無條件降伏文書に調印する權限を附與する旨のデーニッツ元帥の署名したドイツ軍最高司令部の文書を取り出して示した、そこでジューコフ元帥は「必要の手續きはこれで十分である、それでは調印をお願ひする」と述べた、九日午前零時四十五分ドイツ軍の無條件降伏はここに署名調印を了した、調印書の寫しの一つはカイテル元帥に手交され、ジューコフ元帥は調印式の終了を嚴かに宣言した

—歐洲遠征軍附AP記者—

（チューリツヒ九日發）この日のドイツ側代表はドイツ國防軍最高司令官カイテル元帥、海軍司令官フオン・フリーデブルグ元帥、空軍司令官バウル・シユタンプ上級大將であつた、カイテル元帥は白髮長身、痩せぎすの男で、最後までプロシア軍人特有の傲慢さを棄てなかつた、降伏文書は七日朝フランスで調印を了した條件と殆んど同一のものであつたが、赤軍側の要求で降伏の細目につき二、三追加されてゐた、カイテル元帥が降伏文書に署名を終へ、聯合軍代表が署名してゐる最中カイテル元帥は突然通譯官を差しまねいて、降伏文書に加へられた修正を承認する權限がないから更に二十四時間の猶豫を要求したが、ジューコフ元帥によつて拒絕された、この日廢墟と化したベルリン市は骸骨の如き家屋を連らね全市閑として聲なく、ドイツ軍無條件降伏調印式の悲劇に恰好の背景をなしてゐた

ゲーリング元帥逮捕

（チューリツヒ九日發）パリ來電＝歐洲遠征軍當局は九日次の通り發表した

米第七軍はゲーリング元帥並びにケツセルリング元帥を逮捕した、逮捕されるに際しゲーリング元帥は「四月二十四日余はベルヒテスガーデンから電話で總統に對しドイツ指導者の地位に就任しようと申出たためヒトラー總統から死刑を宣告され一旦親衞隊に逮捕されたが、余の麾下の空軍將兵によつて救助されたのだ」と語つた、ゲーリング元帥はキーツビユヘル（インスブルツク東方）東方の道路上で夫人及び子供達と共に逮捕されたのである

英海軍二將官昇進

（ストツクホルム八日發）ロンドン來電＝英國海軍省は米國派遣英國海軍使節團長大將サー・ジエームス・ソマヴイルを元帥に、太平洋戰域機動部隊の司令官少將サー・フイリツプス・ヴイアンを中將に任命した旨八日發表した

昭和二十年五月十二日(土)
第三四一九號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

ドイツの崩壊(下)

原子林二郎

△分裂か分業か

ところがその後の情勢はデーニツツを英雄的抗戰派の祭壇から引摺り下してしまつた、しかしながらデーニツツの總統就任後二、三日の間は情勢混沌たるため無理もないが、早くもデーニツツ就任の眞相を衝いた報道が五月二日に現はれてゐるそれはロイター記者ロバート・ロイドのそれだ

デーニツツの總統就任は依然としてドイツ軍の手中にある港灣から海軍による攪亂戰を繼續するぞと威嚇して聯合軍に最後の讓歩を强ひることを目的とする降伏交涉の間奏曲に過ぎない、以上の事實を裏書するものとしては、第一にデーニツツがドイツの手に殘された最後の戰力たる潛水艦戰の專門家であること、第二にデーニツツはナチスと何等の繫りもないやうにみえるが、實際には彼の生涯はナチス體制と密接に結び付いてゐること、第三に彼はドイツ軍部に殘つた唯一の人望ある軍人であるため、一番機會に惠まれてゐることだ、結局諸種の情報から判斷すれば、ドイツはデーニツツの「抗戰派」とヒムラーの「和平派」に二分してゐるとなす說は根據薄弱となる

右のロイター記者の結論をすこしく說明しよう、ヒムラーが聯合軍にのみ無條件降伏を申し入れ、ソ聯とは戰鬪經續を希望したことは我々の記憶に新しいが、デーニツツが五月一日總統就任第一聲として發した布告は、ドイツ軍の唯一の目的はソ聯と戰ふことであり、米英兩國が以上の目的を妨害する限り米英兩國とも餘儀なく戰ふといふ點を强調してゐる、その後デーニツツは再び同じ趣旨の聲明を發表してゐるが、このデーニツツの線はヒムラーの和平交涉の線と完全に一致するものであり、要するにデーニツツの「抗戰派」とヒムラーの「和平派」との間には何等本質的に相達するための點は認められず、寧ろ同じ目的を追求するための「分業」と解するほかはない

● この分業說には更に一說がある、「バーズラー・ナハリテン」紙のロンドン電報は五月三日

ヒムラーの和平提案はドイツ海軍の反對に遭遇したため、彼はデーニツツを總統に推し、海軍をして降伏に同意するの止むなきに至らしめようと企圖したといふ說も不可能ではないと臆測してゐる、しかしながらこの說は降伏直前におけるドイツ海軍の殘存戰力を買ひ被つたもので、海軍だけが降伏に反對する等といふことは現實の問題として考へられない

△戰意なき三百五十萬

前揭の「バーズラー・ナハリヒテン」紙のロンドン記者はヒムラーの和平提案が米英兩國によつて一蹴されたため、戰爭犯罪人の名簿に載つてゐない唯一の人物たるデーニツツを總統に押し、彼をして新たな形で和平提案を行はせる肚ではなかつたかと臆測してゐるが、これも當然考へられる說だ、そこで問題はデーニツツとヒムラーの追究する目的は何かといふことだが、それは米英ソ三國の離間にあることはいふまでもなく、この點では米英情報も中立國の觀測も完全に一致してゐる、またデーニツツが最初から「バドリオ」として出現したことも最早疑問の餘地がない、しかし殘された問題は、ドイツが軍事的にも政治的にも崩壞の前夜にあつたのではなく、既に崩壞の最終段階にあつた時に、なほ且つ米英ソの離間を圖つてどんな利益があるかといふことだ

この點については五月七日現在まで入手した情報では、まだ米英兩國も中立國も全然觸れてゐないから、どう考へてゐるかを傳へることは出來ないが、しかしながらナチスがいまはの際にすら米英ソ三國の離間によつてドイツを救ふか、もしも救ふことが出來なければ多少とも有利な地步で降伏することが出來ると考へるほど獨善的とは思へない、降伏前夜のドイツの軍事的混亂についてはチヤーチルが五月三日の下院で指摘してゐるからロイター電報で紹介しよう

イタリアにおけるドイツ軍は無條件降伏した、併しこのことはドイツ軍が聯合軍に比較して壓倒的に劣勢であつたためでなく、數的にみて壓

倒的に優勢なのはドイツ軍の方であつた、イタリア戰線の聯合軍は昨年の六月以來その兵力の大部分を他戰線へ抽き出されて、正直に言へば戰線の維持だけで手一杯の筈であつた

しかもイタリア戰線で降伏したドイツ軍の數は二百數十萬を算し、オランダ、デンマーク、ドイツ軍の數は百萬以上、ノルウエーは二十萬といはれるから降伏前のドイツ軍の兵力は三百五十萬は下るまい、この三百五十萬の兵力をもつてすれば、聯合軍に十分一戰を挑む餘力がある筈だが、それが降伏したのは、とりも直さず武器なく、彈藥なく、食糧なく、最もいけなかつたことは戰意がなかつたことだ

△國破れて山河なし

政治的崩壞は更に凄まじい、ドイツの實權は、例の七・二〇事件以來殆ど全くヒムラーの手中にあり、ゲツベルスのみ健在で、かつて世界外交場裡に華と咲いたリツベントロツプは杳として消息を斷ち、ナチスNO2のゲーリングは「心臟病」であり、ドイツ民族理論の師ロベルト・ライ、總統官房長ボルマン等は既に影の人物と化し去つてゐた、更にドイツ國土の大半が聯合軍の手中にあれば、系統立つた政治組織なぞある譯がない

かかる混亂と無政府狀態、國力の凋渴に直面して、小手先の謀略でドイツを救ふことが出來ると考へるほどナチス指導部は甘い筈はない、いや確報がない限り甘い筈がないとか獨善的である筈がないといくら力んでも無駄だが、殘る解釋はただ一つ、卑俗ないひ方だが行きがけの駄賃に米英ソ三國關係に最後の楔を打ち込んでナチスの宣傳方式を首尾一貫させる傍ら「わが國爭」の傳統をあくまでも貫くにあつたとみるほかはない、何故ならばボリシエヴイズムとの鬪ひはナチスの興起以來の根本綱領であり、これなしにはナチスも極言すればヒトラー總統の存在も考へられない

しかしながら米英兩國に對するだけの降伏が不可能であることは、デーニツツ、ヒムラーにも判つてゐたであらう、それだからこそ五月七日の全面的無條件降伏となつて終つたのだが、逆に考へるならば、ソ聯との戰鬪經續は米英ソ三國への全面的降伏への單なる口實とみることも出來よう、だが果してこの單純な工作だけでナチスの面子は救はれたであらうか、國破れて山河なし、ドイツ全軍の無條件降伏の前には面子もなにもない

最後にヒムラー、デーニツツの線はヒトラー總統まで延長されはしまいかといふ問題が殘されてゐるが、この點は未だ餘燼冷めやらぬ現在輕々しく觸れることを避けよう、但しヒトラー總統が眞實デーニツツを後繼者に指名したとすれば、デーニツツは總統の方策を繼承した譯であり、デーニツツがプツチによつて政權を掌握したとすれば、ヒムラー、デーニツツの線はヒトラー總統まで延長されない、從つて以上の謎が解けぬまではこの問題は未解決のままに殘されよう

ワルケレン島干拓計畫

「ニユーヨーク・タイムズ」紙

三月一日號

オランダ、シエルト河口のワルケレン島は反樞軸軍による爆擊の結果防波堤が甚しく損はれ全島が海中に沒し去らうとしてゐる、この月中に防波堤修築用器材の入手並びに交附の措置が講ぜられないならば、冬季の嵐が再び打ち寄せて來る以前に修築工事を了へることは困難だと見られてゐる

ワルケレン島干拓計畫の技師長ペーテル・フイリツプ・ヤンセンは謹直な、典型的オランダ人で自分の仕事に關して誇大な言辭を弄する男ではないが、しかもヤンセンが語るところは驚くべき狀景だ、以下ヤンセンの報告を傳へよう

過去三ケ月間に防波堤の主な四個の破壞口は巾深さ共に增大した、ヴエーレでは破壞口が優に半哩に及ぶ有樣となり、最近の荒天では約二百呎に亘つて堤防が崩れ去つてしまつた、フリシンヘン附近で島を橫斷してゐる深さ五十呎の運河は堤防が決潰して海水が氾濫してゐる

斯うした運河は刻々、島の深奥部にある砂質土壤を洗ひ流しつつあり、現在の狀況がこの年內續くとすれば由々しい結果に立至るであらう、現存してゐる農園や家屋はやがて押し流され、目下のところ浸水してゐない地域も遠からず海水が氾濫

昭和二十年五月十二日(土)
第三四一九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

することになるのだ、侵蝕並びに干滿作用によつて破壞口は間斷なく擴大、深化してゐるからワルケレン島の四萬五千エーカーに及ぶ貴重な耕作地がやがて完全に喪はれると豫想しても差支ない

損害は耕作地に止まらず、さらにフリシンヘンやシエルト河口の造船所も閉鎖され、アントワープへの航行も阻害されることとならう

卽刻、四破壞口修築工事に一齊に着手することが最緊急な要件だ、破壞口を順次に修築すれば必要な器材の節約とはならうが、工事が遷延するといふ不利益がある、オランダ軍政當局は最高司令部派遣の代表團並びに第二十一集團軍當局に對して熱心に卽時着工を主張してゐる

海水との戰ひに必要な資材はオランダ、ベルギー、フランス及び英國で調達せねばならぬ、オランダ軍政當局が立案したやうな複雜極まる計畫を實施するに當つては遲延も免れないであらう、しかし事情の許す限り迅速且つ效果的に工事を進める必要がある

堤防閉塞工事は三月一日から十一月一日までの間に完成せねばならない、さもないと冬季の高汐がそれまでに仕遂げた仕事を全部洗ひ去つてしまふからである、計畫によれば三月には豫備工事を行ふことになつてをり實際に大排水工事と堆石工事を開始する日取りは次の通りだ

四月一日—七月十五日、ヴエーレ地區(西部)
四月十五日—八月十五日、ラメケンス地區(東部)

五月十五日—九月一日、ウエスト・カペレ地區

工事用資材の見積りは次の通り

石炭	八、〇〇〇噸
デイーゼル・エンジン用重油	八〇〇噸
薪束	六、〇〇〇噸
碎石	四七、五〇〇噸
石垣構築用石材	七一、〇〇〇噸
バケツト浚渫船	二隻
二十四吋管附吸上ポンプ	六基
曳航船	十二隻
ランチ	二隻
艀	二十隻

右のうち最も重要な器材は吸上ポンプである、現在ベルギーと英國にそれぞれ二基、オランダとフランスにそれぞれ一基づつあるが、このポンプを工場現場へ集める仕事が目下行つてゐる作業の一部を成してゐる

米軍輸送舟艇隊の活動狀況

(リスボン六日發)ワシントン來電=米國陸軍省は五日印度における沼澤地沿ひの諸水路を往來する米國陸軍輸送舟艇群はビルマ並びに支那戰線向け重要軍事資材の運搬に從事してゐると次の通り發表した

米國陸軍輸送部隊の老練水夫により操作される港灣船舶中隊所屬の舟艇及び曳船群はガンジス並びにフーグリ河口地區の未開且つ人家稀少の地方の古代航路をあぶなかしく航行してゐる、この輸送路は米國舟艇航路(American Barge Line)と呼ばれてをり、カルカツタを中心とするものだが、スチルウエル公路を通じて貨物自動車で、或は輸送機によりヒマラヤ越で重慶向輸送貨物を每月數千噸取扱つてゐる、約一年前開通して以來の最大の仕事の一つは完全に組立ててある飛行機を輸送船の甲板より飛行場百哩以內の地點まで運搬するにあつた

百四呎の鐵製舟艇なくしては組立濟の飛行機をカルカツタに運搬することは出來ず、またカルカツタ市の雜沓する狹い街路は飛行機の通過を許さない、從つて飛行機を輸送船から舟艇に移しこれを上流にある基地に輸送することが唯一の運搬方法となつた

舟艇は一般貨物三百噸、ガソリンなら九萬ガロンの積荷能力をもつてゐる、これの曳航には二種の曳船、卽ち四十七呎のMTL型曳船並びに「海騾」として知られてゐる水上トラックが使用されてゐる

この輸送路はカルカツタ港にとつて事實上救濟者であつた、一九四四年三月一日ジョージ國王ドツクの使用を開始した輸送部隊港灣大隊は記錄的速度で荷揚作業を行つてゐるが、去る一月には一日荷揚量六千二百三十七英噸といふ最高記錄を樹てた

米國海軍の前進基地

「タイムズ」紙ワシントン特派員

四月二十四日報道

米國海軍省は四月二十三日米國海軍の前進基地に關し次の通り公表した

「現在世界各處に分散する米國海軍の前進基地の數は三百に達してゐる、これら前進基地群は米國産業の全生産量の四分の一に相當する物資を取り扱つてゐるが、その規模は艦隊所屬の小基地から十萬噸の艦船を收容し得る區分式船渠まで設備する尨大な基地まで様々だ、ニミツツ提督が豪語した米國のいはゆる「新兵器」も艦隊の機動性を維持するこれら前進基地群により動かされてゐるわけだ、しかしてこれは毎日十萬噸の物資を運搬し人員と資材と兵器とを間斷なく補給する海軍の尨大且つ廣範圍の補給網に重要な役割を演じてゐるこの補給が如何に大仕事であるかは太平洋の往復が一年三回しか出來ないといふ事實からも判斷されよう、またその複雜なることはまた補給品目が五百萬種以上に上ることから理解される筈だ

△前進基地の新任務

開戰當初前進補給基地に課せられた主要任務は物資獲得であつたが一九四二年の末期にはこの難問題も解決され、今度は物資の回轉、卽ち物資補給の歩調を艦隊の改善力に合せて行くことが緊要となり、この對策として米國海軍は完全な單位として前進基地に輸送される規格を米國内で組織した、この單位には人員も機械も資材も含まれてゐる大編成は機能單位と呼ばれてゐる小編成を寄せ集めただけのものだ、現在二百三十七に上る機能單位が編成されてゐるが、この數は補給網に必要とされるあらゆる活動をなすに十分だ、この前進基地組織からは海軍最大の運營基準が生れた、これは「機能單位目錄」と呼ばれてゐる、指揮官は新作戰乃至特別行動開始に際してその必要とする型と種類の前進基地をこの目錄表によつて自由に注文することが出來る、そのなかには三噸の單機と一名の作業員で編成されてゐる埠頭防火班の如きものから、數百名の將校並びに一千名の兵士を擁し基地建設の海蜂部隊をも含む大前進基地までである、前進基地編成になると、艦隊の大部分における輕い損傷を修理し得る他、その水域における作戰部隊に對し兵站補給を與へたり、攻撃的な軍港を動かしたりもする、基地自身の維持施設としては十分な港灣防備施設、通信施設、補給施設、醫療藥品器材、基地整備施設等が附屬してゐる、マリアナ諸島の前進基地は米國海軍の新設超基地の中でも代表的なものだ、この方面の一千名からなる海蜂部隊は他の部隊の協力を得てB29の對日爆撃用大飛行場を含む諸設備は勿論、一般基地に必要な幾多の施設を建設した、そのうちには艦船の修理並びに入渠のための施設、倉庫、住宅、娯樂機關、道路、通信機關、給水設備、電力線、敎會等がある、これら諸施設の維持には一ケ月二萬噸の資材が必要とされ、その全部が危險水域を通過して輸送されるのである

グアム島においては上陸後三週間で船着場が完備したばかりでなく、ここから十二哩の距離にあるアガまでの道路も開通して、二百輛の貨物自動車が二十四時間休みなしに揚陸物資を運搬してゐる、更に雨期にも拘らず九十日間で全長百哩以上の道路網が建設された、工事中海洋部隊が除去した地雷その他の爆發物は二十三噸に達した

△軍用浮乾船渠

最前線で損傷艦船を修理する必要は曾て使用されたことのない新しい設備を要求するに至つた、最近の新設備は軍用浮乾船渠だ、以上の如きは外部からの最少限度の援助を得るのみで前進基地に活動し得る編成で、自力では移動し得ずとも艦隊の曳航で驚くべき短期間に移動する、かうして浮乾船渠のおかげで海軍は現在海上にあるどんな艦船でも修理し得るやうになつた、卽ち從來米國まで歸つて數ケ月を無駄にした損傷軍艦を二、三日間で完全に修理し前線に送り出すことも可能なのである、最近太平洋前線からワシントンに歸還した一提督の言によれば、太平洋戰爭は清水の戰であるといふが、實際太平洋には清水のない島が多く、あつても極めて少量だ、この對策としては前哨島嶼に對しても航海中の艦船に對しても清水を補給しうる蒸溜船が生れた、燃料の海上補給はまた殆ど無限の期間に及ぶ艦隊の遊弋を可能ならしめ、その結果敵をして新作戰がいついかなる場所に行はれるか知るすべを失はしめたのである」

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區谷公園二番　社團法人同盟通信社

昭和二十年　五　月十四日(月)
第三四二一號

同盟通信　海外電報　(108)

昭和十七年四月十八日、といへば、帝都の人々はあの初空襲、B25の低空飛行、そして司令官ジエームズ・ドウリトルの名を昨日の事のやうに思ひ出すにちがひない、あの男はそれから何をしてゐたか、いつのまにか彼の階級は陸軍中將になつてゐる、職位は第八航空隊司令官にすぎないが、第八航空隊といへば英本國に基地を有し、數千機のB17やB24をもつてドイツを初め歐洲全土に例の絨氈爆撃を行ひ、米軍航空隊戰略爆撃の大半を分擔してゐたのである

歐洲戰がすんだ、ドイツ空軍は既にない、その時に曲乘飛行士上りの航空隊司令官は發言した、英國王からバス勳章のナイト・コマンダー・オヴバースを贈與された十一日のことだ

「今に日本は二千機以上のB29の大編隊によつて粉碎されるだらう、この空中戰においてB29は殆んど中型爆撃機と同じ役割を演ずるだらう、將來の大空中戰はわが第八航空隊がドイツ工業を屈服せしめたる戰略爆撃より更に大規模になる、第八航空隊は、太平洋に飛行場が獲得され、輸送手段が得られた場合には、直ちにその有する兵員並びに航空機を悉く太平洋に送るつもりだ」

同じ新聞記者會見で副司令少將オーヴイル・アンダソンも

「日本が最後まで戰はんとするならば、日本に對し空前の爆彈量が投ぜられよう、日本々土から僅か五百三十粁の沖繩には大空軍基地が近く建設される筈だ」

と言明してゐる、以上の言明は單に一航空隊の指揮官たちの放言として聞き流すべきではない、責任ある地位の者がいふことは、必らず最高首腦部の意圖か輿論かを背景に有する、ドウリトルの言によれば現在英本國にある第八航空隊の兵員は男女合計二十萬人、內基地要員十萬人、裝備もそれに準じよう

その動向は注目に値する

【目　次】

スターリン討議を拒否……一三〇〇
印度代表歸國の途へ……〃
加州議會にネールの妹を招請……〃
イラン新內閣成立……〃
ソ聯情報局長死去……〃
歐洲戰の終了は沖繩戰に直結せず……〃
對獨軍政案の內容……一三〇一
民需の生活に鐵の統制……〃
獨の食糧難を見殺し……〃
英、海峽の開放を要求……〃
ゲ元帥近く軍法會議に……〃

【戰後處理問題】

北伊十州を伊政權下に移轉……一三〇二
ドイツ軍俘虜送還……〃
戰爭犯罪審問の具體案提出……〃
苛酷な戰爭犯罪人法案……〃
外國刊行物の配布禁止……〃
米輿論、獨男子に服役を要求……〃

【戰後餘話】

戰後對策未だし……一三〇四
赤軍嚴格公正なる軍政……〃
ソ聯、千五百萬を喪ふ……〃
歐洲に投下した爆彈の數……〃
流星彈による損害……〃
獨艦隊英海軍に降伏……〃
チエコの獨軍米英にのみ降伏……〃
ダンケルクの獨軍も降伏……〃

【桑港會議】

爆彈要求に再び危機來……〃
波問題の打開を要請……〃

【米　國】

戰後に大海軍を維持……一三〇五
對日戰終了まで減稅せず……〃
對ソ武器援助狀況……〃
外國市民の軍事郵便使用禁止……〃
陸軍損害累計……〃
補助艦艇喪失を發表……〃

【英　國】

イーデン復員を言明……〃

スターリン討議を拒否
＝波問題危機に瀕す＝

（ストツクホルム十一日發）英紙「ニユーズ・クロニクル」が十一日報ずるところによれば、トルーマン、チヤーチルの兩者がポーランド要人十六名の逮捕事件に關し說明を求める覺書をスターリン議長に送つたに對し、スターリン議長は齒に衣着せぬ極めて短刀直入の調子で現在の基礎に立脚してポーランド問題を討議することは無益であると通告、一步も讓らぬソ聯側の態度を明かにしたと傳へられる、米英ソ三國は既にポーランド問題が桑港會議の躓きの石である事實を認め、英國外相イーデンも十日の記者團會見で何らかの措置を講ぜぬ限り米英ソ三國關係は決裂を免れないと言明し事態が極めて重大なことを明確に裏書きしたが、米英兩國の政界は以上の危機を回避する途は新たな三頭會談の開催以外にないと觀測してをり十一日のパリ放送も極めて近い將來ロンドンで三頭會談が開催されることにほぼ決定をみたと報じてゐる

印度代表歸國の途へ

（チユーリツヒ十一日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議印度代表フイロツ・カーン・ヌーンは十三日、サンフランシスコを出發ロンドン經由歸國の途につくことになつた、歸國理由は總督行政參事會の國防委員の職務を遂行するためといはれてゐる

加洲議會にネールの妹を招請

（リスボン十一日發）サンフランシスコ來電＝印度國民會議派領袖ネールの妹印度獨立運動の鬪士であるラクシミ・パンデイツト女史は桑港會議開催前からサンフランシスコに乘り込み、各國代表團及び米國民衆に對し印度四億民衆の獨立要望を愬へてゐるが、十一日カリフオルニア州知事アール・ウオレンは十四日加洲議會において演說するやう同女史に招請狀を發し、パンデイツト女史は直ちにこれを受諾

知事の招待をうけるのを非常に喜ばしく思ふ、カリフオルニヤ州の選良を前にして私は印度の自由が現在どういふ段階にあるかを明かにするため最善をつくさうと思ふ

と語つた、なほ印度人で加州議會に招待されたのはパンデイツト女史が初めてである

イラン新內閣成立

（リスボン十一日發）テヘラン來電＝バヤートの後を受けて、イラン新首相に任命されたエブラヒム・ハキムス博士は十一日組閣を完了した、顏觸れ次の通り

首相兼內相　エブラヒム・ハキムス博士
外　相　アヌシラワン・セパボデイ
（元パリ駐劄公使）
保健相　イズマイル・マルザバン博士
農　相　ナスリラー・ハラトバリ
藏　相　アブヅル・フセイン・ハジール
（前內相）
陸　相　イバヒム・ザンド（留任）
交通相　ナデイール・アラステ（前遞信相）
商工相　アブヅル・クセム・ナジム
無任所相　カマル・ヘダヤート（前商工相）
同　ムスタフア・アドル（前法相）

なほ法相は未定で當分の間司法次官コシユビン博士が法相代理を務める

ソ聯情報局長死去

（ストツクホルム十一日發）モスクワ放送はソ聯情報局長シチエルバーコフ氏が病氣のため十日死去した旨發表した、アレクサンドル・セルゲーヴイツチ・シチエルバーコフ氏は全聯邦共產黨中央委員會書記兼赤軍政治本部長の要職にあり、共產黨關係ではスターリン議長の右腕として活動を續けてゐた

歐洲戰の終了は沖繩戰に直結せず

（リスボン十日發）AP前線報道＝沖繩島の米第十軍司令官バツクナーは十日歐洲戰の終了が沖繩戰況に及ぼす影響について左の通り述べた

歐洲戰終了の效果は近く米本國で豫備として保持されてゐた補給部隊並びに彈藥が到着することによつて現はれ始めるであらう、戰鬪部隊に關する限り歐洲戰終了の效果が現はれるのは大分後のことである

昭和二十年五月十四日(月)
第三四二一號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

對獨軍政案の內容

(リスボン十日發)ワシントン來電＝米國陸軍省は十一日次の通り發表した

一、ナチの地下活動を發見しこれを容赦なく彈壓することを目的とする諜報部が米軍占領下のドイツ領間における米國軍政機關の一部として設けられる

一、米國の統治體は大體ドイツ中央政府の各省の擔當する十二の重要な局に分たれる、アイゼンハワーはヤルタにおいて意見の一致をみた四國監理會議の米代表となり、中將リユシアス・クレイはアイゼンハワーの代理兼軍政機關長代理となる

一、米國の陸海軍並びに航空隊はドイツに對し苛酷な軍政を課しヤルタにおいて意見の一致をみた諸政策を遂行するための共同計畫を長期に亘り英ソ佛三國と共用して完遂する

一、十二の局は何れもナチの工業、公共機關のすべてを肅正する責任を分擔する、クレイ將軍が直接指揮する諜報部はナチ解體計畫を全般的に監督することにする、同時にこの諜報部はドイツの一切の機關に對する監視に當り、またナチによる地下運動人狼隊乃至はこれに類似するもの一切に對し苛責することなく壓迫を加へる

一、更にクレイの直接指導下に他の二つの部即ち情報部、弘報部がおかれる、前者は新聞、ラジオ雜誌、その他の出版物、映畫を含むあらゆる報道形式を統制する、更に同部はドイツ宣傳省の解體を處理し、新聞ラジオ組織の樹立に當る

一、弘報部は記者登錄、新聞檢閱等に當る、米軍占領地域間における檢閱は全く軍機の保護を基礎として行はれる

一、ドイツ武裝軍の復員前に武裝解除は陸海軍の三軍事局によつて行はれる

民需の生活に鐵の統制

(リスボン十日發)ワシントン來電＝陸軍長官スチムソンは十一日米軍占領下のドイツにおける軍政方針の概貌を發表するに當り、ドイツ民衆の生活に對し鐵の統制を加へる旨言明したが、一方戰時情報局總裁エルマー・デーヴイスはドイツにおいては外國の出版物、商業、企業を一切禁止する旨發表した

獨の食糧難を見殺し

(リスボン十一日發)アンラ(聯合國救濟復興會議)事務總長レーマンは十一日、次の通り言明した

將來ドイツに如何なる事態が發生しようともアンラはドイツに食糧を供給しない、アンラはドイツに食糧を供給する權限を與へられてゐない

英、海峽の開放を要求

(リスボン十一日發)歐洲戰の終了に伴ひ英國は再びダーダネルス海峽の開放を問題にし始め、言論界はここ一兩日來、盛にモントルー條約の改訂を要求してゐるが、ロンドン來電によれば、英國外務當局はソ聯の意向に藉口して十一日非公式に次の見解を表明した

桑港會議のトルコ代表は、トルコ外務省がモントルー條約の改訂に同意する旨、米英ソ三國に通告する意向であるとの噂を正式に否定したがこのことはモントルー條約を近い機會に再檢討に附する機會を一掃したことにはならず、トルコがダーダネルス海峽の國際使用につき管理權を有してゐることは戰爭から發生した新事態に全く適應せず、海峽の國際的性格を規定するために新たな取極めが必要とされる、モントルー條約の署名國たる日本、ブルガリア、ルーマニア、イタリア等は今次戰爭で聯合國の敵國となつたが條約そのものには自動的廢棄に關する規定が含まれてゐない、ソ聯は最近トルコとの友好條約を廢棄した際、ダーダネルス海峽に關する從來の取極めは現實の事態に適應しない旨明かにしたが、モントルー條約の改訂については恐らくソ聯が口火を切るものとみられる

ゲ元帥近く軍法會議に

(ストツクホルム十日發)ロンドン來電＝戰爭犯罪調査委員會當局は十日非公式に次の通り言明した

ゲーリング元帥は近く米英ソ三國代表からなる最高軍法會議に附せられる豫定だが元帥が故ヒトラー總統と意見の對立をみた事實をもつてしても一切手心は加へられない

【戰後處理問題】

北伊十州を伊政權下に移轉

（リスボン十日發）ローマ來電＝イタリア管理委員會はボノミ政權の要請に基きイタリア北部十州の行政權を同政權に返還することとなつた旨十日發表した、返還されるのはテルニ、ペルジア、アスコリ、ピチエルノ、マチエラタ、ペサロ、グロセツト、シーナ、ロザツト及びアンコーナの諸州だが、アンコーナの首都アンコーナ市の行政權は依然としてイタリア管理委員會の下に置かれる

ドイツ軍俘虜送還

（リスボン十日發）ワシントン來電＝米國陸軍補給本部長ソマヴイルは九日次の通り言明したドイツ軍俘虜の歐洲から米國への護送は七日をもつて停止せられ、陸軍省は歐洲侵攻軍の最高司令官アイゼンハワーに對し、米國内に收容せられたる俘虜の送還に關する手配決定を要請した、陸軍としては一日も早く彼らの送還を實現したい意向だ、但し俘虜のうちには農業に使役せられてゐるものも多いので、米國においても一應準備が必要であらう、一方非戰鬪任務において軍に協力することを希望したイタリア軍俘虜からなるイタリア人部隊の送還は優先的に扱はれる

戰爭犯罪審問の具體案提出

（リスボン十日發）サンフランシスコ來電＝米國務省は大統領法律顧問サムエル・ローゼンマンのサンフランシスコ訪問に關し十日次の聲明を發表したサムエル・ローゼンマンのサンフランシスコ訪問の目的は、大統領トルーマンの個人代表の資格で英佛ソ三國代表に歐洲における戰爭犯罪人審問並に處罰に關する米國案を提示するためである、卽ち彼の使命は歐洲において殘虐行爲並びに戰爭犯罪の罪を問はれてゐる主要人物若くは組織を審問するための國際軍法會議の設置と、正當かつ迅速な審問手續の決定に關する諸般の準備を整へるにある、同案は一九四三年十一月のモスクワ宣言による「占領地域内において暴虐行爲を敢へてした者は關係諸國に引渡され、關係國家の法律によつて審判を受ける」との原則を侵すものではない、右提案は既に英佛ソ三國代表に示され目下檢討されてゐる

苛酷な戰爭犯罪人法案

（ストツクホルム十日發）ワシントン來電＝米下院は八日戰爭犯罪人に關する强硬な法案を滿場一致で可決、上院に廻附した、右法案は中立國に避難する戰爭犯罪人の引渡要求に際し、場合によつては武力を使用する權限を政府に賦與するもので下院は同時に法案の全文を中立國並びに敵國に送附すべしとの決議を上院に送附した

外國刊行物の配布禁止

（リスボン十日發）ワシントン來電＝米戰時情報局長官デーヴイスは十日左の通り發表したドイツの軍事占領が續く間當分戰勝各國の新聞雜誌類はドイツ國内での配布を禁止されよう、外國經營の事業總てにも同樣の禁制が加へられる、ドイツの新聞は若干發行される場合當局の監督を受ける、以上は混沌狀態にあるドイツにおいて秩序を維持するために必要な措置でありこの方針を纏め上げたのは歐洲遠征聯合軍最高司令部の神經戰爭部である、なほドイツ國内における外國事業禁止令は關係各國政府の同意を得てゐる

米輿論、獨男子服役を要求

（リスボン七日發）ギヤラツプ研究所は米國民に對し、三百乃至四百萬のドイツ人男子をソ聯に送り、破壞された都市の再建のため二年乃至三年の間勞役に服せしめる提案について贊否を問ふたところ、質問を受けた米國民の六一％がこれに贊成したといはれる、一年前これと同樣の調査を行つた際には五〇％が贊成であつた

【戰後餘話】

戰後對策未だし

(リスボン十日發)戰爭に打ち碎かれた歐洲の再建事業はまだ殆ど具體的には着手されるに至らず各地に散在するドイツ軍部隊の武裝解除やナチ要人連の逮捕のみが續いてゐる、

ドイツ國内各地からの情報を綜合すると米軍はヒトラー總統のチエコ進駐に功績のあつたズデーテンランド統監コンラツド・ヘンライン氏並びにベーレン・メーレン保護領軍政官カール・フランク氏を捕へたといはれ、勝ち誇る赤軍部隊は九日、プラーグにおいて市内行進を行つた、プラーグを周る戰鬪は三日に亘り、市民にも五千の死傷者を出したといふが、戰鬪終了は停戰協定の時刻を四時間過ぎたといはれる、プラーグから西方米軍戰線の方へ逃れたドイツ兵と一緒に數千のドイツ人移民や農夫が家と土地を捨てた、途中各處に見る牧場は數百のドイツ兵が群をなして眠つてゐる、歐洲戰が終つてみると戰爭の爲に鄕土を追はれた農民たちの數は一億や二億ではない、大陸における最も緊急な問題はこの人々が次の冬の食糧を作るために歸れるやうにしてやることだ、この家なき人々を再び定住せしめるといふ仕事は少くとも三ケ月はかかるものとみられてゐる

ロンドン來電によれば、英國政府は聯合國救濟復興委員會に協力して歐洲の戰災者たちに衣食住を提供する計畫を立て、英軍占領地の管理委員會は既に殆ど完成してゐるといはれる、舊東部戰線地域では赤軍の特別掃蕩部隊がバルト海からチロルアルプスに至る全域に散在するドイツ軍敗殘兵を狩り出し、この二日間だけで十萬人以上を逮捕したといはれる

赤軍嚴格公正なる軍政

(ストツクホルム十日發)ロイター通信社ベルリン特派員ハロルド・キングは赤軍のベルリン市民に對する態度に關し次の通り報道してゐる

赤軍は明かに復讐心など曝け出す樣子は全くなくベルリン市民を嚴格ではあるが正しく待遇してゐる、市民は一日五百グラムのパンを配給されるが、これは一九四二年の冬のモスクワにおける配給よりも多い、その他少量ながら肉、砂糖、コーヒー、馬鈴薯等もある、水道復舊については今頻りに努力が續けられてゐる、この荒廢の巷における唯一の明るい色どりとしてロシア語で書いた布告が市内到るところにみられる、記者はある有名なロシア人作家に對して何故赤軍はこんなに市民の生活に神經を使ふのかときいてみた、すると彼は却つてその質問に驚いたやうな顏をして「市民の面倒はみなければならない、まさか二百萬人を見殺しにするわけには行かないぢやないか」と答へた

ソ聯、千五百萬を失ふ

(チユーリツヒ十日發)ロンドン經由の情報によれば目下ベルリンに留つてゐる赤軍の一大將は、「歐洲戰でソヴエトは千二百萬乃至千五百萬の人命を喪つた、そのうち半分は將兵で殘りの半分は一般市民であつた、また赤軍全體を救ふために五十萬の人命を犧牲にしなければならぬ時もあつた」旨語つたといはれる

歐洲に投下した爆彈の數

(リスボン十日發)ロンドン來電=英本土を基地とする米陸軍第八航空隊が戰爭全期間を通じて歐洲に投下した爆彈量は總計四百六十二萬八千六百八十七個に上り、空中及び地上においてドイツその他の飛行機一萬五千四百三十九機を擊墜乃至擊破した、因に第八航空隊最後の爆擊は四月二十五日ピルゼンのスコダ軍需工場に對する攻擊であつた

流星彈による損害

(リスボン十日發)サンフランシスコ來電=英外相イーデンは十日獨流星彈による損害につき左の如く言明した

一九四四年九月より一九四五年三月までにドイツ流星彈の英本土攻擊により家屋全壞二十萬二千戶、半壞二十五萬五千戶、一部破壞四百萬戶以上の損害をうけた

獨艦隊、英海軍に降伏

（ストツクホルム十日發）ロンドン來電＝コペンハーゲン港に殘留してゐたドイツの重巡プリンツ・オイゲン（一、〇〇〇噸）及び輕巡ニユルンベルグ（六〇〇〇噸）その他の艦艇は九日午前九時英海軍に降伏した、英海軍はコペンハーゲン港のドイツ艦隊の引渡しを要求し、巡洋艦バーミンガム、デイドー並びに驅逐艦四隻からなる艦隊を派遣し、九日同艦隊はコペンハーゲンに入港したといはれ、英海軍當局では十日プリンツ・オイゲン、ニユルンベルグのほかコペンハーゲンに殘留してゐるドイツ艦隊は大型驅逐艦二隻、小型驅逐艦一隻、魚雷艇二隻、掃海艇十隻、對空防禦船十三隻、武裝トロール船十九隻その他武裝商船數隻からなつてゐると言明した、また十日朝には英海軍のスループ艦二隻に導かれてイングランド南端のウエイマス港に英海軍に降伏した最初のドイツ潜水艦二四九號が入港した、同號には艦長大尉コツク以下將校五名その他四十三名が乘組んでゐる英沿岸航空隊司令部は偵察機により十日朝までに六隻のドイツ潜水艦の浮上を發見したといふ

チエコの獨軍米英にのみ降伏

（チユーリツヒ十日發）チエコスロヴアキアのドイツ軍はチエコ解放軍と休戰協定を締結したといはれるが、九日赤軍がプラーグへ入城するやドイツ軍は一齊に西方および南方に向つて逃走し、あくまで赤軍に降伏せず米英軍に降伏する意圖といはれる、また十日午後三時のプラーグ放送はユダヤ人多數收容中のテレヂン强制收容所が九、十兩日ドイツ空軍に爆撃されたと報じてゐる

ダンケルクの獨軍も降伏

（リスボン十日發）ルクセンブルグ放送によればフランス大西洋岸に殘つてゐた最後のドイツ軍據點であるダンケルクの守備隊は降伏したといはれる、またチヤンネル・アイランドにも英軍機動部隊が上陸、全諸島を制壓したといはれ、かくて地中海から大西洋岸におけるドイツ軍は全部降伏したわけだ

【桑港會議】
爆彈要求に再び危機來

（リスボン十日發）チヤプルテペク憲章を新國際安全保障機構に含めよとの中南米諸國の爆彈要求は國際機構對地域的取極めの問題を新たな角度から前面に押し出したもので桑港會議の新たな重大難關とみられてゐるが、サンフラシンスコ來電によれば、英國外相イーデンは十日の記者團會見で問題解決の困難を端的に認めて

地域的取り極めを國際安全保障機構の中に嵌め込む問題は現在のところまだ解決の途を見出すことが出來ない、地域的取極めは國際機構を大いに强化するものだが、國際機構そのものにとつて代ることは不可能だ

と言明したと傳へられる

またAP記者ハイタワーも同問題を繞る桑港會議の分裂を危惧して次の通り報じてゐる

國際機構對地域的取極めの問題を繞る桑港會議は誇張でなく破局的危機に直面するに至つた、中南米諸國代表の主張は西半球における侵略行爲に對しては西半球が別個に抑止措置を採る權限を有するといふ點にあり、全權は國際機構にあるとする見解と眞向から對立してゐるが、近く米國代表ヴアンデンバーグが「總會は何時如何なるところで紛爭が勃發しようとも現地で解決する權限を有すべきである」との趣旨の提案を提起するといはれるから、問題は更に紛糾しよう

波問題の打開を要請

（リスボン十日發）サンフランシスコ來電＝英國外相イーデンは十日桑港會議における記者團會見で次の通り言明した

行方不明と報ぜられたポーランド要人十五名はいづれもポーランド本國地下運動の首腦で、戰爭期間中ドイツ軍に抵抗を續けてきた優秀な記錄を持つてをり、英國政府がクリミヤ協定に基く新ポーランド統合政府に參加させる考へでゐたものばかりである、以上のものの逮捕はポーランド問題に關する限り、桑港會議における英國の事業に終止符を打たせるもので、米英ソ三國政府は卽刻何らかの打開策を講ずべきである

昭和二十年 五 月十四日(月)
第 三 四 二 一 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米 國】

戰後に大海軍を維持

(リスボン十日發)「タイム」誌は戰後における海軍の規模に關し五月三日次の通り述べてゐる
下院豫算委員會は先週海軍の證言内容を發表したがそれによると海軍は戰後平時艦隊を開戰前の三倍とする意向といはれる、海軍作戰部次長ホーンの説明によれば海軍案の内容は次の通り
一、平時艦隊は各種艦艇五千八百三十隻からなるが、うち三千五百五十四隻は防濕法その他斬新な科學的諸操作によつて危急の場合何時でも利用出來るやう豫備として置く
二、不斷に活動狀態にあるものは潛水艦、驅逐護送艦等から空母、戰鬪艦を含む四百八十二隻の戰鬪用艦艇とならう
三、海軍は目下三百八隻の戰鬪用艦艇を建艦中でさらに六萬四千噸に上る艦艇を起工する
四、海軍の計畫では近い將來に「ミツドウエー」級の四萬五千噸空母五隻を保有することとなつてゐるが右は一九四八年に完成する、また今後十二ケ月間に現在よりさらに多數の戰鬪機を發注しようと思つてゐる

對日戰終了まで減稅せず

(リスボン十日發)ワシントン來電=財務長官モーゲンソーは、十日の新聞記者會見において戰局如何に拘らず一九四六年度の所得稅を減ぜよとの上院議員ジョージの提案に對する見解を求められたに對し、對日戰終了まではいかなる減稅案にも反對なる政府の意思を明かにした

對ソ武器貸與援助狀況

(リスボン十日發)ワシントン來電=外國經濟院はソ聯に對する武器貸與援助狀況に關し九日次の通り發表した
三月三十一日までの九ケ月間に米洲諸國からソ聯に送られた軍需品は總計五百四十三萬六千米噸に上り、第四次武器貸與協定で約定された量の十パーセントを超える、このうち若干の現金拂ひのもの、カナダからの武器貸與援助、並びに英國が米洲から轉送したもの以外は米國の武器貸與援助である、三月中の米國の對ソ供給額は三億三千七百萬弗で、聯合諸國に對する武器貸與物資供給額の三十五パーセントに當る、また三月中には飛行機三百五十七機がソ聯に引渡された、よつてソ聯に引渡された米國製飛行機の總數は一萬三千四百七十五機となる

外國市民の軍事郵便使用禁止

(リスボン十日發)メルボルン來電=米國陸軍は濠洲並びにニユージーランド一般市民が米國向け通信に米陸軍軍事郵便を利用することを十日以後禁止した、利用者は主として出征者の家族だが、軍事郵便の利用によつて米國まで二ケ月かかる通信が半月に短縮されてゐたものである

陸軍損害累計

(リスボン十日發)ワシントン來電=陸軍長官スチムソンは十日の記者團會見で陸軍の損害につき左の通り小出し發表した
△開戰以來の各戰線における陸軍兵員損害總計
(四月末日まで) 八六七、七〇九名
△歐洲上陸以來の米地上兵力損害總計(四月末日まで) 五一二、一一三名

補助艦艇喪失を發表

(リスボン十日發)ワシントン來電=米海軍省は上陸用舟艇、掃海艇各一隻を比島戰域で喪失した旨十日發表した、上陸用舟艇は一九四四年八月就役のLCS「3」號でマリヴエレス灣で、また掃海艇は一九四二年就役した「YMS71」號で比島周邊で夫々擊沈された

【英 國】

イーデン復員を言明

(リスボン十日發)サンフランシスコ來電=外相イーデンは十日左の通り言明した
英軍を直ちに對日戰に再展開するため萬全の措置を採る、英國の戰力の一切は對日戰の遂行に捧げられる、ただし海外に四年間以上派遣の兵員は全部歸國させる、また年齡と勤務期間に應じて優先的に工業勞働者を復員せしめる

深夜の歡聲

＝モスクワの休戰祝賀＝

（モスクワ九日發）ソ聯並びに同盟國の壓倒的勝利を以て對獨戰が終了したとのスターリン元帥の布告が放送員の口からマイクを通じてモスクワ市内に流れ出した時やがて起つた反響は正にスラヴ民族的だつた、放送員の聲が喜びを抱いて電波に乘つたのは午前一時十分、モスクワ市民の大部分は眠つてゐたが、發表はまるで目覺時計のやうに人々を叩き起した、パジヤマ姿、ナイトガウン姿のままで街頭に流れ出した人波のなかで、思はず泣き出すものもゐれば、跪づいて默禱する者もある、到るところで人々は手を握り抱き合ひ、泣きぬれた頰にキスし合つた

「やつと濟みました、神樣やつと濟みました」と女達は叫び、それが讀經の聲のやうに響いた、現在三强國の中で對日戰に加はつてゐない唯一の國ソ聯にとつてはこのニュースは正に平和の黎明であつた、放送が傳へられる瞬間までソ聯國民はドイツの降伏について一言も、官邊からは一片の暗示さへも與へられてゐなかつたのだ

勝利發表に引續いて最高會議幹部會議長カリーニン氏の社會休日を命ずる特別布告を放送した、夜明けと共にモスクワの男女子供達で歩けるほどの者は歐洲戰終了の祝賀の中に飛び込んだ、空が明るくなり始めた頃赤機の大編隊が首都の上空に現はれ、到るところ赤旗のはためく街路をかすめて飛んだ、午後になるや數千人の祝賀のモスクワ市民は大部分の人にとつては前日戰爭の中に寢て一夜明ければ忽ち平和を見出したといふ形だつた確に戰爭終了の近付いてゐたことは誰もが知つてゐた、だがソ聯人口の壓倒的多數にとつて勝利の報道は全く驚喜そのものだつたのである

このニュースを最初に知つたのは夜勤の電話交換手で、電話をかける人がある毎に「今日が戰勝祝賀日だといふことを御存じですか」と呼びかけてゐた、五時を過ぎると赤旗で飾られ、明く塗られたバスや電車が走り出し、アパートに住む人々も忽ちこの大ニュースを知つて急いで窓から旗を街頭に垂らし始めた、モスクワの教會は工場から馳せつける男女勞働者、制服姿のまま感謝の祈禱を捧げる兵士達のために扉を開いた、アレクセイ大主教は九日モスクワ寺院で感謝祭を擧行することになつてをり、全土の教會でも勤行が營まれてゐる、何でもモスクワ行事といへば一焦點になる赤色廣場は朝になると既に群集で一杯だつた、廣場に集まる人々は皆大きな重荷を下したやうな顏をしてゐる、ソ聯國民は汗の最後の一滴を絞り盡すまで戰ひ拔いたのだ、さればこそ精神的にはまだ元氣でをりながら、今勝利を迎へる彼等の肉體は全く疲れ切つてゐるのだ、休暇でモスクワに歸つてゐる赤軍將兵は歡喜に狂ふ群集の握手や抱擁や熱いキスに應へるのに忙しい、一群の赤軍の將校達は毛布を擴げてそれで通行人を空に投げ上げる、通行人の種が盡きれば今度は自分達の帽子をはね上て喜んでゐる、世界は何故ソ聯が他の二國より十時間も發表を遲らしたかに不審を抱いてゐたが、その答はソ聯のラジオがベルリンにおける降伏調印の事實を放送したといふことに得られるわけだ、もし戰爭終了がドイツ首都の廢墟のうちに確認されなかつたとしたら、勝利の報道もソ聯人にとつては殆んど意味を持たなかつたに違ひないのである

死の都ベルリン

（ストツクホルム九日發）もとモスクワ特派員として今次大戰の大半を東部戰線に過したロイター通信社パリ支局長ハロルド・キングは今ベルリンを訪れて、死の都に滯在してゐる、以下はベルリン特派員としてのキングが九日夜の電報に描く戰敗國ドイツの首都の姿である

△想像を絶する破壞ぶり

首都としてのベルリンはもはや全く存在しない都心から數哩以内の家屋は一軒々々が直擊彈を蒙つたやうな感じだ、記者は今朝侵攻軍副司令官テツダー空軍大將及びソ聯ベルリン軍司令官ベルザリン大將に從つてベルリン市内を東部から中心部へ、更に南部へと一巡した

昭和二十年五月十四日(月)
第三四二一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

記者はスターリングラードも見た、空襲下のロンドンにも住んだ、その他滅茶々々に破壊されたソ聯の大都市をいくらも見てゐる、だがベルリンの物凄い破壊と荒廢と死の情景は正に筆紙を絶するものがある、ロンドンの空襲なんかこれに比べれば冗談みたいなものだとは記者仲間の一人が吐いた警句だ

ウンター・デン・リンデン街の端から端までを含む多くの有名な大通りは修復しやうもないくらゐ破壊されてゐる、町名なんか全く分らない、ゲシユタポ本部があつた東區のアレキサンダー廣場は瓦礫やひびだらけの煤けた壁ばかりの恐しい荒地になつてゐる、ブランデンブルグ門から見ると二哩から五哩の半徑の中は一切が破壊し盡されてゐる、ほんの雨除けの役に立つやうな家さへ百軒に一軒もないやうに見える

△名所古蹟既になし

完全に姿を消し或ひは修復不能の程度にまで破損した著名建築物のうちには、元ドイツ皇帝宮殿オペラ劇場、米英佛日各大使館、空軍省、宣傳省ブリストル・ホテル、アドロン・ホテル等があるウイルヘルム街の總統官邸は何の手も加へずに放置された中世の古墳のやうにみえる、何發かの直撃彈で瓦礫の中にどんな燒死體が埋つてゐるか調べやうもない、恐らくヒトラー自身の遺骸もここにあるのであらう

「戰爭がどんなものか知りたかつたらベルリンにきてみるがいい」テツダー大將はハンブルグ門の邊りで有名な彼のスケツチ・ブツクに手早く寫生してからさうつぶやいた、街路に立つ人らしい人人といへば赤軍兵士ばかりである、赤軍當局の言によると今市内には二百萬の市民がゐるといはれるが、大部分は遠い郊外に住んでゐる、都心部でみるのは幽靈のやうに見える男女子供が水道栓の前に行列を作つてゐる姿だ

△復興は何時のことか

今朝見物に出た一行の者は恐らくベルリン都心部の復興が長い間不可能だらうといふ點で意見一致してゐた、火はまだベルリン市内のそこここに燃え續け、地雷やダイナマイトの爆發する鈍い響きが二、三分置きに聞えて來る、國會議事堂の屋根には赤旗が飜つてゐるがここも内部はガラン洞だ、向ふ側のテイアガルテンは大火災の後の森林のやうになつてゐる、家の中が殆ぬけに見えず誰かが住んでゐるのだらうと思はれる家屋は僅か六軒しか見當らなかつた

△赤軍の軍政始る

市民と赤軍兵士は幾つかの大通りを取り片づけようとしてゐるがまるでエジプトのピラミツドの周圍の砂を片付けようとするやうなものだ、赤軍司令部は大きな廣場や十字路には馬鹿でかい案内圖を掲げてゐるが、確かにこの燒跡の砂漠の中では案内圖がなかつたら道なんか分りさうにない、時々赤軍の自動車が通り小さな赤軍の馬車がことと走り過ぎる以外には全市は完全な沈默に支配され、空は常に燒跡の塵埃に滿されてゐる、しかしただ一つの生命の兆候は限りなく續く、あらゆる國籍の歐洲人避難民の列で、彼等は何所に行くといふはつきりした考へよりもむしろ故郷を求める本能に追はれてベルリン市内を四方八方に歩き續けるやうにみえる、この現代のカルタゴにおける赤軍司令部は既に數十萬のベルリン市民に食糧を配給し、ベルリンにある備蓄食糧を押收したほか、自軍の補給をも出してこれに充ててゐる、赤軍の部隊は何處にいつても明く辛棒强くお人好しだ、赤軍と一緒に交通整理の婦人部隊がついてきて赤と黄色の旗を持ち、ヴオルガ河からシユプレー河までの長い間何時もの如く人をみる毎に可愛らしく會釋する

△ドイツ兵の看護はドイツ人の手で

ガス、輸送機關、電燈、水道その他公共施設のドイツ人經營者達は自發的にベルザリン大將の下に奉仕を申し出で、赤軍部隊本部に屆出をするベルリンの勞働者達も「これからは貴下の部下だ、貴下のために働きます」といつてゐるといふ、地下病院に横はつてゐた多數ドイツ軍戰傷兵は赤軍の設置した病院に送られてドイツ人の醫師や看護婦の手でみとられてゐる、日毎に數千人のベルリン市民が歸つて來るが、歸るあてといつても何もない、赤軍當局者は地下鐵道の一部がこの月末頃までには再び動き始めることを期待してゐるといはれるが、今の所數百輛の燒失車體が路面のレールの上に横はり、人氣のない家屋が街路の一部に殘つてゐるが何千噸といふ壁が崩壊する危險を思へばベルリン市内はまだまだ危險な場所が多い

平靜に復した米英兩國

（リスボン九日發）歐洲戰終了祝賀第二日のロンドンやニューヨークは困難な對日戰を控へる現實に目覺めたか、漸く平靜に復した樣子で、ロンドン來電によれば英國民は今や全力を擧げて米國とともに對日戰に當ることを要求され、チャーチルは八日夜ヘルス・ビルデイングのバルコニーから演說して

一方の敵は地上に投げ伏せられ、われわれの審判と慈悲を待つてゐるが、まだ英帝國の大きな部分を占領してゐる敵、殘忍性と貪慾に燃える敵が殘つてゐる、卽ち日本だ

と叫んだといはれる、前日の大騷ぎのためにフリート街にはまだ新聞社の窓からまき散らされた電信テープや紙きれが白い絨毯のやうに敷かれ、ストラン街では掃除人夫が寒々とした朝の光りの中に群集の置土産を片づけてゐる

一方米國はさすがに對日戰の主力をもつて任じてゐるだけに昂奮からの醒め方も早く、殊に太平洋岸の住民達は最初から對日戰に對する關心が深いため第二日には早くも平常通り業務についてゐるといはれる、軍需工場には全然休日もなく、敎會の勤行だけは相當あつて出席者も多かつたが短時間で終へたらしい、シアトルのボーイング航空機工場ではB29を製作する勞務者達は少しも生産計畫を遲らせなかつた、完成したB29は飛行場に向けて出發するやう準備され、いつもの通り十分間の休憩が行はれた時に千五百人の勞働者が集つて「東京進擊」號と名づけた巨人機を飛行場まで押して行つた後歡呼の聲を擧げて職場に歸つたといはれる

カナダ海軍掠奪騷ぎ

（リスボン十日發）ハリファックス（ノヴア・スコシア）來電＝VEデーのお祭り騷ぎはハリファックスでは殆んど暴動に近い亂れ方を示し、當局の發表によればその損害は五百萬弗に上つた、市長アラン・バトラーは放送においてカナダ海軍が七、八の兩日に亘り八千人の水兵に上陸許可を與へたことを非難

「ハリファックス市民は、自治領政府がこの損害に對して十分な賠償金を支拂ふことを期待する」と言明した、これに對し北西大西洋カナダ海軍司令官少將マレーはカナダ海軍が暴動に責任を有するとの非難を反駁し、海軍の者もゐたにはちがひないが、酒屋の掠奪や窓の破壞を指導し煽動したのは一般市民で、實際に掠奪したのも大部分は市民の所業だと述べてゐる

濠洲では暗いVEデー

（リスボン十日發）シドニー來電＝世界中で最も暗いVEデーを迎へた國は濠洲だらう、官憲の壓迫が國民の胸を重く押へつけてゐたのだ、シドニーではホテル、劇場、ダンスホールその他一切の娛樂場が固く門を鎖し、開いてゐるのは動物園くらゐだ、飮食店もやつてゐるのはほんの二、三軒鐵道はストライキの眞最中だ、戰勝を祝ふにも祝ひやうがない、陸海空軍の將兵は女友達の手を引いて腹をへらしながら町をうろつく、食物屋がないからだ、警官は祝賀の催しを見附けると目に角を立て感極まつて路上に蹲る人の群を蹴散らさうと大童である、ブリスベーンでは市民が集まつて合唱しようとするのにも十人以上の警官が尾行し騷いだら摑まへようと見張つてゐる、どつちを見ても兵營式の統制と抑壓だ、「シドニー・テレグラフ」紙は社說で次の通り論じてゐる

全聯合國のうち濠洲ばかりがわざわざ粗服を着頭上に灰を振りかけるやうな暗い日を送つた、憂ふべきことは濠洲國民が憂鬱な顏をしながらも默つて政府禁令を受け入れ、官僚主義の行き過ぎに對して反抗するはおろか、抗議する意思と氣力さへ喪失してゐるやうにみえることだ

ダブリンで一騷動

（ストックホルム九日發）ダブリン來電＝エール共和國の首都ダブリンで八日夜遲く、突如騷動が起り、戰勝に醉ひしれる英國の興奮を餘所に物々しい情景を呈した、卽ちダブリン市民は八日夜大學してトリニテイ大學前に押し寄せ、同大學の學生が八日エール國旗を燒き棄てたことに對して猛烈な反對の氣勢を擧げ、昂奮した群集は大學の校舍に投石し多數の硝子窓が破壞されたが、一方警官隊も棍棒を振つて騷動の鎭壓に努め、このため多數の負傷者を生じた

昭和二十年 五月十四日
第三四二一號
同盟通信
海外電報
（第三種郵便物認可）

特輯

フランス要人還る

井上勇

△生きた幽靈現る

五月六日から七日にかけての外電は、今次大戰勃發以來色々な形で行衞不明乃至は消息不明になつてゐた各國の要人が續々として、ドイツの舊占領地から發見されたことを報じてゐるが、その中に元オーストリア首相のクルト・フオン・シユシニツグとフランスの元首相レオン・ブルームがゐたことは世界を驚倒させた、死んでゐたはずだつたので生ま身の幽靈が現れた以上の驚きだつたのは無理もない、フランスの敗戰責任者としてヴイシー政府に捕へられ、公判中途でドイツに持つて行かれてゐた元首相エヅアール・ダラデイエ、ポール・レイノー、元フランス軍總司令官マリー・ギユスターヴ・ガムラン、どうして何時捕つたか日本には樣子の判つてゐなかつたガムランの後繼者マクシム・ウエイガンなど共にバヴアリアン・アルプス山中オーストリア領イツターの古城趾に幽閉されてゐたらしい、五月五日米第三十六步兵師團が同地を占領をした節は、この二人だけ姿がみえず、米軍の到着直前、二人だけは連出されてどこかへ拉致されたことが判つた、ところが同じ日數時間を經てブレンネル峠付近で米第五軍によつて救出されたのである

シユシニツグはさておいてブルームは猶太人であり社會主義者であり、ドイツ側から最も睨まれてゐたので、ポーランドの猶太人收容所で死んだとの說が昨夏つたへられた時は世界はこれを眞實と信じてゐた、それが生きてゐたのは奇蹟のやうでもあり、ドイツ官憲の「殘虐」行爲について反樞軸國の惡宣傳が、事實をもつて反駁されたとも云ひ得る、ダラデイエ、レイノー、ガムラン、ウエイガンなど、同時に救出されたフランス要人のうちには、元駐伊大使フランソア・ポンセ、元首相アルベール・サローがある、ポンセやサローが捕つてドイツに送られた事情は明白でない

△見「活かし」にならぬ彼等

イツターの古城には以上のほかフランス勞働總同盟會長レオン・ジウオー・ヴエイガン將軍夫人ド・ゴール將軍の義弟と妹、前大戰當時の大立物ジョゼフ・カイヨーの息アルフレツド・カイヨー夫妻「虎」の倅ミシエル・クレマンソー、「火の十字團」の頭首フランソア・ド・ラ・ロツク大佐などがある、ジウオーはヴイシー政府が總同盟に解散を命ずると同時に一九四〇年捕へられたものであるが、ド・ラ・ロツク大佐までつかまつてゐたのは不思議である、彼のフランス社會黨はペタン元帥支持で、その標語、「祖國、勞働、家庭」はそのままペタン政府の看板になつてゐた位であり一九四〇年秋、ド・ラ・ロツクがパリに出掛けて何かドイツ占領軍に「失禮」の廉があつて捕縛された時は、ペタン元帥が口を利いて貰ひ下げたとすらあつた、それが再び捕へられてゐたのは、このフランス製「ナチ」にドイツ側で何等かの利用價値を認めたためであらう、ヴイシー政府の體育局長官を勤めてゐた、元デーヴイス盃選手ジヤン・ボロトラも助かつた組であるが、ド・ラ・ロツクにしろボロトラにしろ、ド・ゴール政府が見「活かし」にはしないだらう故、今度救出されたのが眞實に生命が救つたことにはならないだらうことはいかにも同情に値ひする

△ラヴアルの運命

これで今次大戰前夜のフランスの政界の大立物はひと通り出揃つたわけであるが、問題なのはピエール・ラヴアルである、彼はリヒテンシユタインに入國を斷られて以來どこでどうして手に入れたか、飛行機で同行九人と共にスペイン・バルセロナの飛行場に五月二日到着した、一行中にはヴイシー政府元勞働相で「ウーヴル」紙主筆、ネオソーシアリストと肩書の長いマルセル・デア、元文相アベル・ボナール、元駐佛ドイツ大使オツト・アベツツ、ラヴアルの娘シヤブラン伯夫人、ラヴアル夫人等がゐたと傳へられたが、實際ゐたのはラヴアルとボナールだけで他の七名は何者か不明、內一名は女だつたといふ以外にはすべて雲の中に消えてしまつた、一行がプラト・デ・ロブレガト飛行場に着くとフランコ將軍は直ちに自ら令を下して國外退去を要求し必要なガソリンも供給したがも早行きどころのない一行はそのまま居据つてしまつたので、スペイン側では致し方なく一行を逮捕して附近のモントユイホ城塞に監禁することにした

一行がバルセロナに到着したことを知つた米國の總領事は直ちに知事を訪問して、一行の引渡し方を要求したらしいが、フランコ政府はいまのところではフランスに引渡したものか、米英に引渡したものか判斷に困つてゐるらしい、フランス政府はラヴアルは戰爭犯罪者といふよりも寧ろ對獨協力者とふべきであるからフランスに引渡して貰ひたいと云つてゐるし、米英側ではヒツトラームツソリーニ共に今亡しとすれば、第三番目の大物としてラヴアル位は手に入れたいと、まるで骨董漁りのつもりでゐる、米國務次官グルーは四日の記者會見で

駐西大使アームアはラヴアル一行のバルセロナ到着を知ると同時にフランコ政府に申入れをし同人のスペイン退去乃至は監禁方を要請し、スペイン政府は右措置を承認し實行したと報告してゐるが、米英側に引渡し要求をしたとはいつてゐない、フランス政府はスペイン政府が引渡しをおくらせるならば、嚴重抗議すると言明してゐるが五月七日現在では、まだ抗議はしてゐないやうである、スペインの外相ホセ・フエリツクス・レケリカは五月六日、記者團に對して「ラヴアルは聯合國に引渡すことに決定した」と告げてゐるが、どこの國に引渡すつもりなのかは明らかでない

△彼等の行く彼方

ダラデイエ、エリオの生還は急進社會黨にとつては思ひがけない拾ひもので、若し彼等がいまなほ、これだから長生きはするもの、政治は面白いと考へるだけの生活力を有してゐるとすれば、今度の選擧では大敗した急進黨の前途に多少の光明が點じられることにならう、貧乏籤を引いたのは殺された元植民相のジョルジュ・マンデルで、シヤブロン古城の幽閉仲間が全部生きて歸つたのに彼だけは地獄の底で恩師のクレマンソーに怒鳴られてゐなくてはならない、レイノーの黨がどれだけの勢力を維持してゐるか不明であるが、彼は政府的にはド・ゴールの先生で、フランス敗れる日色女をつれて逃避行中、自動車を顚覆させて女を殺し、自らは捕へられる醜態を演じたが、抗戰派としてはマンデルと並んで一方の旗頭であり、若しド・ゴールに舊交を想ふ雅懷があれば、今後は大いに政界にのし上る可能性がある、フランス・マンデスやプレヴアンなど、レイノーからいはせれば乳臭い連中がフランス財政を料理してゐる現在、年こそ若いがこの闘志滿々の男を迎へて、フランス政界は相當の波瀾を惹起す可能性がある

△忘れられた人々

ジウオーは留守の間にすつかり總同盟を左翼に乘り取られて桑港會議と併行して岸向ふのオークランドに開催中の國際勞働組合會議にも共産系のブノア・フラションが代表として出てゐるらしいが、勞働總同盟內部の長年にわたる左右抗爭も、國際狀勢の變化で、再びジウオーの天下がめぐつてくるかどうかは疑問で、ジウオーが昔通り大兵肥滿であるなしは別として、彼の勞働總同盟內の影は細く痩せてしまつてゐる、ド・ラ・ロツク大佐の「火の十字團」もペタン政府の壓迫で火は消えて後には十字架のみが殘つてゐる現狀であり、相棒といはうか、相敵手といはうかジヤツク・ドリオのフランス人民黨も黨首の死と共に壞滅し去つて、彼は今「忘れられた人々」の仲間である、彼の身體がド・ゴール政府によつて抹殺されるやうなことにでもなれば、あれもこれも一場の夢物語りにすぎなくならう

ブルームであるが、社會黨は彼の生還をば、眞に旱天の慈雨の如く悅んでゐよう、社會黨にも人がゐないのである、今度の選擧では辛うじて舊勢力を維持し得たが、なんといつてもヴアンサン・オリオル當りでは黨のまとまりがつかず、共産黨からいい餌食にされてゐたので、ブルームの健在を切實に望んでゐた、希望通り存在はしたが健康かどうかはなほ疑問だ、ガムラン、ウエイガンの存命は、すでに時代の變つたフランス國軍に何の偉容をも附け加へないであらうことジロー將軍と同じことだらう、最後にペタン元帥夫人は六十八歲の老齡を以て、對獨協力罪に問はれ五月三日正式に起訴された、老元帥と行を共にし得る悅びだけはあつたわけである

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信

昭和二十年　五　月十五日(火)
第　三　四　二　二　號

同盟通信 海外電報

聯合國はボノミ政權の無條件降伏以來元樞軸各國と何遍も休戰協定を締結してゐる、フインランド然り、ルーマニア然り、ブルガリア然り、しかしこれら小國の場合とデーニツツ政權との交渉經過をみて最も著しい相違は前者においてはとにかく交渉相手として傀儡政權を認めてゐるのに對し、ドイツの場合には交渉の當事者たる地位を認めてゐないことだ、UPがロンドン外交界の消息として傳へるところによれば「米英ソ三國政府は單にデーニツツ政權を認めないばかりでなく、今後如何なるドイツ中央政權が提案されても一切相手にしない」といふ、外交筋といふのは米國大使館か英國外務省か、何れにしても正確に聯合國の意向を反映してゐることは間違ひない、降伏取極めの相手方としてドイツ軍の各方面軍司令は認めたが武裝を解除して了へば後は聯合國の爲すがままだ

米英ソ佛四國がドイツ領土を占領し、峻烈苛酷な軍政を布いて、事實上ドイツ民族を歐洲から抹殺しようとの魂膽に他ならない、ロンドンの夕刊「イーヴニング・スタンダード」紙の報道によればドイツ人は「食糧の配給量から子弟の教育、讀書、映畫、娯樂の自由」をすら剝奪され、悉く軍政機關の命令に從ふ他はない、食糧も「健康を維持するに絶對必要量」に限定され、餘分の食糧は歐洲各國に持ち出されるのだ、かくては中世の農奴と何の相違があらう、火器の祕匿には死刑、夜間の外出禁止令にも長期の禁錮刑だ、秦の苛法と雖もドイツ國民にたいするドイツ國民の峻烈な扱ひ振りには遠く及ばない、口に自由と民主々義とを唱へる米英兩國人の正體は全く遺憾なく暴露されたではないか、以上敗戰ドイツ國民の苦難に比べれば今日日常生活の不如意やB29の爆撃などは問題ではない、「直に樓蘭を斬つて國恩に報ずる」ことこそ國民一致の念願でなければならない戰局は極度に急迫してゐる、「天の未だ陰雨せざるに及んで」直に「根こそぎ動員」を斷行し、國力の一切を危機存亡の際に捧げようではないか

【目　次】

三頭會談の開催確定的……一三一二
ソ聯米洲自治に反對……〃
重慶代表も新提案……〃
チヤーチル首相歐洲戰を回顧す……一三一三
ヒムラー逮捕か……〃
獨軍捕虜百六萬を加ふ……〃
【桑港會議】
採める信託統治案……一三一四
地域問題米側妥協案……〃
小國要求否決……一三一五
參加資格決定……〃
西の參加は不可能……〃
亞代表團桑港着……〃
【米　國】
三國財產管理額……〃
フオード、裝甲車減產……〃
ネルソン、特使を辭任……〃
勞働力統制暫定緩和措置……一三一六
第七次戰債募集……〃
【英　帝　國】
俘虜八萬歸還……〃
加、平時產業に轉換……〃
エール檢閱制度撤廢……〃
カナダ暴動の後報……〃
【ソ　聯】
ソ波條約批准……〃
【歐洲戰後問題】
トリエスト問題重大化……一三一七
グルー聲明全文……〃
白國王無事……〃
フレンスブルグの怪放送……一三一八
英軍の軍政狀態……〃
歐洲陸運暫定協定成立……〃
塊政府ナチ斷壓法を公布……〃
獨軍捕虜更に七十萬……〃
【特　輯】
印度問題の新展開……一三一九
【資　料】
桑港會議の雛形……一三二一
ローマ法王放送演說……一三二五
信託統治に對する濠洲の態度……一三二六

三頭會談の開催確定的

（リスボン十三日發）ポーランド問題を繞る米英ソ三國の尖鋭な對立は三頭會談の急速な開催を絶對に必要としてゐるが、ロサンジエルス來電によればワシントン駐劄英國大使ハリファツクスは十三日同市において演說を行つた際

チヤーチル首相、スターリン議長及びトルーマン大統領の三者が近く會談を開催することをもはや確言出來ると言明したといはれる

ハリファツクスは會談の日取り及び開催場所については全然觸れなかつたが、議題としては

一、ポーランド紛爭

一、主な戰爭犯罪人の審問と處罰方法

一、ドイツの占領と管理

一、オーストリアの運命

等が當然とされ、以上の諸問題は三頭會談の開催を俟たぬ限り、一時的にもせよ解決に到達することは絶對に不可能な難問題ばかりだ、特に最後のオーストリア問題はソ聯が獨斷でレンナー政權を樹立して以來第二のポーランド問題と化す惧れが多分にあり、ソ聯の主張するオーストリアをドイツ本國の問題と別個に處理する狙ひとドイツ本國と一體視して取扱ふことを意圖する米英兩國の方針とは全く對立してゐるため三頭會談が如何なる打開策を見出すかは興味をもつてみられてゐる、サンフランシスコ來電によれば、英國外相イーデンは豫定通り十三日サンフランシスコを出發してワシントンに向つたといはれるが、まづ三頭會談初見參のトルーマンと打合せを遂げた後、英國に歸還チヤーチルと重ねて打合せを遂げる筈で、副首相アトリーも歸國、代つてハリファツクスが米國代表團の首班を務める手筈だ

ソ聯、米洲自治に反對

（ストツクホルム十二日發）ソヴエト政府機關紙「イズヴエスチヤ」は突如チヤプルテペク憲章を新國際安全保障憲章內に取り入れよと主張する中南米諸國代表の提案に眞向から反對、國際信託統治制に關するソ聯の爆彈動議でただされへ波騷ぐ桑港會議に、新たな波紋を捲き起した、卽ち「イズヴエスチヤ」紙は十二日の紙上にエヴゲーニイ・ジユーコフ氏の論文を揭載して次の通り論じてゐる

西半球の問題を國際安全保障機構の管轄下から除くべしとの中南米諸國の提案はダンバートン・オークス案からの全面的逸脫である、かかる行動は平和の不可分性といふ原則に背馳するばかりでなく、侵略國に自由な拔け穴をわざわざ御膳立してやるやうなものだ、このことは中南米の二、三の國、例へばアルゼンチンではファシストが氣儘に活動を續け、特典すら享受してゐる際特に危險である

以上の殊更に極東問題の論客を動員して行つたソ聯の正面切つた反對は、妥協案の蔭にかくれて中南米案を支持し西半球の自由處理を意圖する米國の策動を封ずるものと解されるが、アルゼンチンの例を特別にとり擧げたことはソ聯が同國の桑港會議招待を執拗に根にもつてゐることを明確に裏書するものだ

重慶代表も新提案

（リスボン十三日發）サンフランシスコ來電＝國際信託統治制問題に關し米英ソ三國がそれぞれ異る修正案を提出して、桑港會議の前途に暗影を投げかけてゐる折柄、四大國の一をもつて任ずる重慶は十二日重慶案を發表したが、重慶案は方式論において米國案に類似するにも拘らず、米英佛三國の植民地或ひは基地に對する獨占管理權を封じようとする點ではソ聯案と軌を一にしてをり、基地問題に關する限りソ聯重慶側と米英佛側とは判然對立を示すに至つた、重慶案の骨子次の通り

一、非獨立領を戰略的地域と非戰略地域とに分ち前者は安全保障理事會、後者は總會が管理權を行使する

一、米國案が戰略地域の管理當局に對し信託統治委員會の規定せる報告形式に基き年次報告を總會に提出することを要するに對して、重慶案は安全保障地域の管理當局が安全保障理事會の規定する報告形式に基き年次報告を安全保障理事會に提出することを要求する

一、世界安全保障に必要なりとせらるる、一または數地域の範圍は防衞または安全保障の目的に必要とせらるる最小限のものとする

昭和二十年五月十五日(火)
第三四二二號
同盟通信 海外電報 (第二種郵便物認可)

チヤーチル首相歐洲戰を回顧す

(ストツクホルム十三日發)ロンドン來電=英國首相チヤーチルは十三日午後九時からBBCを通じて全國民に對し演說を放送したが、劈頭「われわれは五年前に比し將來の諸問題と危險に對處する上に大いに有利な地歩に立つに至つた」と豪語、歐洲戰爭の緒戰における慘敗を回顧した後卒然としてエール自由國を攻擊し、次の通り述べた

「エール首相デ・ヴアレラ氏は大西洋を横斷する護送船團に對するドイツ軍の攻擊を打破するため英國が必要としたエール國内の海軍空軍基地の提供を拒否した、當時英國は存亡の危機に當面し萬一アイルランド北部が英國に對し忠誠と友誼とを示さなかつたならば、英國はエール自由國と一戰を交へるか、しからずんば永遠に地上から抹殺される憂目に遭つたであらう

次で歐洲戰爭の推移を辿つた後

「ドイツ軍が一九四一年六月二十二日ロシヤを攻擊したことは致命的失策であつた」

と斷じ、さらに歐洲戰線に對する米軍の貢獻を強調して次の通り述べた

「フランスを救ひドイツを破るに當つて米軍が卓拔した貢獻を致した事をこの際明らかにしたい、三百五十萬餘の米軍が今歐洲の戰場に展開されてゐるが、米軍の戰死は九萬を突破してゐる、英軍はその三分の一に過ぎず、戰死は米軍の半ばに止つてゐるが、英軍もまたその役割を果し、特に英國艦隊は大西洋において、その他狹隘な水道において並びにロシヤ向け北氷洋上の船團護送について比較にならぬ重荷を負擔した」

首相は一轉ドイツ軍新兵器の恐怖を説き

「ドイツ軍の流星彈並びにロケツト彈によつてイングランド南部が數ケ月間危殆に瀕したが、聯合軍が佛蘭西國の海岸地帶を掃蕩した結果危機は去つた、その後ドイツ軍が一九四四年秋を期し、ロンドンに對し複式長距離砲を用意してゐることを發見したが、聯合軍が危機一發の際毒蛇をその巢窟において粉碎したため僅かにことなきを得た、さもなければ一九四四年の秋にはロンドンはベルリンと同樣叩き潰されてゐたにちがひない、同じ時期にドイツ軍は新たなる潜水艦隊と新戰法とを準備してゐたので、或ひは一九四二年當時の潜水艦戰が再現されたかも知れない」

と述べた、最後にチヤーチル首相は「將來の危險」について英國民に警告し

「われ等の辛勞と困難とがすべて終つたと今夜諸君に告げることが出來たらばと思ふ、それなら余は幸福の裡に五ケ年に亘る奉仕を終へ且つ諸君がもう十分だといはれるなら欣然として挂冠しようしかし今後爲すべきことが多く參戰の目的が看却されぬやうにするには物心の兩面に亘り一段と努力し、さらに犧牲を捧げねばならない、殊に目下聯合國が桑港會議で組立てゐる世界機構が、斷じて大國の楯となり、小國を愚弄するの具とならぬやう警戒を要する、光榮の時における勝利こそ再思三省を必要としよう」

と述べた、最後に日本軍との戰ひに言及し

「日本國民一億は依然健在であり、日本軍の戰士にとつて、死は殆ど何らの恐怖を與へない、日本軍との戰を完了するまで幾何の時間を必要とするかは豫測出來ないが、英國自身日本軍のため手痛い打擊を受けてをり、更に米國に對する誓約と同胞愛との紐帶に鑑みてもたじろがず、撓まず世界の反對面におけるこの大戰を戰はねばならぬ」

と結論した

ヒムラー逮捕か

(チユーリツヒ十三日發)コロンビア放送會社のパリー特派員は十二日、ヒムラーが現在聯合軍に捕はれてゐると報じてゐるが更にAPパリー電もデーニツツはドイツの全面降伏直前フレンスブルグ地區においてヒムラーを逮捕し英軍に引渡したと傳へてゐる、これに對しINS通信社のパリー電及びロイターパリー電は何れもアイゼンハワー司令部は右の說を確認してゐないと報じてをり何れが正しいか現在のところ判斷を下し難い

獨軍捕虜百六萬を加ふ

(モスクワ十三日發)赤軍司令部は十三日夜の公報で次の通り發表した

五月九日以來十三日までに赤軍はドイツ軍百六萬を捕虜とした右のうち九十一名は將官である

【桑港會議】

揉める信託統治案

＝ソ聯も修正案提出＝

（リスボン十二日發）國際信託統治制度の問題は全領域を戰略的信託地域と經濟的社會的信託地域とに分け、前者を戰略的に利害關係深き一國に委ねよとする米國案と、さうした區別を廢して悉く國際安全保障機構の總會の管理下におけとする英國案との對立によつて今後の紛糾を豫想されてゐたが、サンフランシスコ來電によれば十二日ソ聯代表は突如米國の太平洋基地獲得の野望を事實上否定する爆彈的修正案を提出、米英兩國代表をして呆然たらしめた

ソ聯の修正案の主眼は大國のすべてを信託統治委員會の常任委員國たらしめ、且つ戰略的信託地域の指定に對する拒否權を附與するといふにある米國案は信託統治領保有國全部にそれと同數の非保有國を加へて信託統治委員會を構成することになつてゐたが、ソ聯案は

世界安全保障理事國は信託統治領を保有すると否とに拘らず、すべて信託統治委員會の常任委員國となる

との一項目を加へてゐる、しかし五大國のうち米英佛三國が信託統治領を保有することは確實であるから、結局ソ聯案はソ聯と重慶を信託統治委員國にせよといふ要求に他ならないわけだ、更に米國案によれば

戰略的地域の指定は安全保障理事會認可の下に當該保有國が行ふ

ことを許してゐるが、ソ聯案は戰略地域指定權を安全保障理事會に委ねてゐる、しかしてこの手續きには常任理事會の滿場一致の可決が必要なのだ今一つソ聯案が强調してゐるのは一切の植民地並びに委任統治領における人民の獨立達成を信託統治制度の主要目的とするといふことである

以上のソ聯の提案は米英佛等の案とは本質的に立場を異にしてゐる、卽ち米英兩國案の對立はそれぞれ自國の利益を擁護して一方が事實上の基地領有を目指し、他方は總會の管理としてその管理權を弱くすることを企圖して、共に植民地乃至基地の維持を事としてゐるのに反し、ソ聯はあくまで正面切つて民族獨立を表看板に揭げ、信託統治を關係國だけでなく世界の問題としようとしてゐる、米英側からみれば全く打壞し的態度にすぎないのである

他の各國の態度はといへば、フランスは米英の中間を行き、ただヤルタ案の第三項「自發的に國際信託統治に委ねられる地域」といふ種類を除きたいらしい、濠洲は特に基地問題に關心深く、代表エヴアットは信託統治委員會席上で西南アジア及び西南太平洋の植民地を全部信託統治制に編入せよと要求した、要するに信託統治問題はソ聯の爆彈提議により暗礁に乘り上げたが、假令ソ聯を宥めることに成功したとしても、具體的な指定に際しては各國の利害の衝突から一紛糾は免れまい

地域問題米側妥協案

（リスボン十二日發）サンフランシスコ來電によれば、米代表團は地域的取極對國際機構の問題につき漸く成案を得た樣子でステチニアスは十一日夜イーデンと會見した際以上の妥協案を持ち出しまづ英の同意を求めたといはれる、妥協案の內容は明かにされないが、聯合國憲章において各國に自國防衞のため條約を締結する權利を認め、條約締結國は侵略行爲の發生した場合相互に應急に援助し合ひ、次いで安全保障理事會が事態の收拾に乘り出すといふ趣旨のものと傳へられ、主としてソ聯の要求に步み寄ることを骨子としたものと解されてゐる、尤もこの米側の自衞論は大きく言へば米洲全體にも適用出來る譯で、問題はチヤプルテペク憲章を條約乃至協定と見做すか否かにかかつてゐるが、ステチニアスは以上の自衞案が西半球獨自の安全保障機構を主張する中南米代表の提案と容易に吻合し得ると樂觀してゐるやうだ、また米國の妥協案は侵略行動を處理する全權を大國に委ねるならば、從來屢々みられたやうに危急の際大國が行動を逡巡しはしまいかといふ小國の危惧に對處するものと解され、原則的にはソ聯も反對を唱へてゐない

昭和二十年五月十五日(火)
第三四二二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

小國の要求否決

(リスボン十二日發)サンフランシスコ來電＝桑港會議安全保障理事會委員會の手續委員會は十二日三十六票の贊成投票をもつて安全保障理事會の構成員を十一名とするダンバートン・オークス原案を可決した、反對投票はなかつたがニュージーランド、濠洲、エジプト、サルヴアドルの諸國代表は棄權した、右により濠洲その他の中小國が大國の獨裁を排するため理事會の成員を十四名乃至十五名に增加せよとの挑戰は一敗地に塗れた

參加資格決定

(リスボン十二日發)サンフランシスコ來電＝桑港會議加盟國決定委員會は新國際安全保障憲章に署名乃至加盟し得る國は從來から米英並びにソ聯側の一員であつた國に限る旨の提案を十二日可決した、右の決定によりポーランドは桑港會議に參加してゐないが、當然新機構に加盟出來るわけでデンマークも同樣である

西の參加は不可能

(リスボン十一日發)サンフランシスコ來電＝ドイツの降伏直後に斷交したスペインは早くも桑港會議に參加を要求してゐるが、米國務長官ステチニアスは十日次の通り聲明した

スペインを桑港會議に參加させよとの要求を認めることは出來ない、いづれ國際安全保障機構が出來上つたならば、或ひは參加を許されかも知れないがそれまでは不可能である

因にヴエネズエラその他數國からフランコ政權との斷交を要求する聲が擧げられてゐる

亞代表團桑港着

(リスボン十一日發)アルゼンチンの桑港會議招請問題はソ聯の反對によつて一時重大問題化したが結局招請と決定、サンフランシスコ來電によれば同國代表一行は十一日空路サンフランシスコに到着したといはれる、一行の顏觸れ次の通り

首席代表代理　ミゲル・A・カルカーノ
(駐英大使)
ジョン・カルロス・バツシ將軍
イバラ・ガルシア(駐米大使候補)
ブルネツト提督(ワシントン駐在海軍武官)

代表團書記長アドルフオ・シリンゴ

因に首席代表は外相セザール・アメギノが任命されたが職務多忙のため會議開期中にサンフランシスコに乘り込むことは不可能とみられる

【米　國】

三國財産管理額

(リスボン十一日發)ワシントン來電＝米國の敵産管理委員會は十一日左の通り發表した

敵産管理委員會は今次戰爭中差押へた樞軸國の財産、四億五千三百九十八萬弗を管理してゐるその主な內譯は左の通り(單位百萬弗)

ドイツ	二九五(約六五%)
日本	一〇九(約二四%)
イタリア	二七(約六%)

殘餘はハンガリア、ルーマニア、ブルガリア諸國の財産である

一方樞軸各國が差押へた米國の財産は百十七萬五千弗に上つてゐる

フオード、裝甲車減産

(リスボン十一日發)デトロイト來電＝フオード自動車會社は同會社各工場で製作してゐる戰鬪用車輛の減産を政府から命令された旨十一日發表した、この中にはML2O裝甲車その他が含まれてゐる

ネルソン、特使を辭任

(リスボン十二日發)ワシントン來電＝米大統領重慶特使ネルソンは十二日辭任、大統領トルーマンは後任にネルソンの輔佐役を勤めてゐたエドウイン・ロツクを任命、トルーマンは次のごとく指令した、ネルソンが重慶ではじめた戰時生產局並びにインフレーション防止機關設立の事業は三ケ月乃至六ケ月以內に完成せねばならぬ

勞働力統制暫定緩和措置

（リスボン十一日發）ワシントン來電＝戰時人的資源委員會は十一日、勞働力統制を漸次緩和する旨發表、委員長ボール・マクナットは「勞働力統制の緩和は情況の許す限り速かに行ふが全面的な緩和は對日戰が終るまで待たねばならぬ」と言明した、委員會の發表した計畫の骨子は左の通り

一、人的資源が潤澤な區域、卽ち第三種並びに第四種地區の戰時人的資源委員會當局は地方の勞働調整委員會幹部と打合せの上直ちに制限を撤廢してよい

二、勞働力の不足を告げてゐる地區、卽ち第一種並びに第二種地區では、雇傭入員制限制、優先雇傭制、週四十八時間勞働制等現行の諸統制措置を繼續する、ただしかかる地區の戰時人的資源委員會當局は絕えず勞働市場の變動に注意し解雇勞働者を迅速に別の仕事に流入させるやう努力する

三、右措置の實施は六月末まで

四、七月一日からは勞働市場地區を全面的に分類し直すとともに新たに擴張する民需生産部門に對し人的資源の制限を多少緩和する

第七時戰債募集

（リスボン十二日發）ワシントン來電＝米財務省は總額百四十億弗に達する第七回戰債の募集を開始する旨十二日發表した、期間は十四日から六月下旬までの七週間、一般消化額は七十億弗だが、右金額は一般消化額としてはこれまでにおける最高のものである

【英　帝　國】

俘虜八萬歸還

（リスボン十一日發）ロンドン來電＝英國陸軍省は十一日次の通り發表した

ドイツ軍の手から解放された英國自治領軍並びに植民地軍俘虜のうち既に約八萬名が十一日までにドイツから英國に送還されてゐる、俘虜を輸送する爆撃機の流れは連日絕え間なく續く、十一日も更に一萬近くの俘虜が英國に到着する豫定である

加、平時産業に轉換

（リスボン十一日發）オツタワ來電＝カナダ首相代理ジエイムス・イルスレーは十一日戰時統制の撤廢並びに戰時經濟から平時經濟への切換へに關するカナダの一般政策を發表すると同時に次の通り言明した

歐洲戰の終了によつて解放された人的資源、資材並びに生産施設は一部を解放、諸國家の復興のため利用されるが、他は

一、カナダの平時輸出の復興並びに擴張

一、國內産業の再轉換並びに擴張

一、農家その他主要産業諸施設の改善

一、家屋建造計畫

一、民間消耗品の增産

等に使用される

エール檢閲制度撤廢

（リスボン十一日發）ダブリン來電＝エール政府は十一日夜以降檢閲を廢止する旨同日發表した

カナダ暴動の後報

（リスボン十二日發）ハリフアックス來電＝VEデー當日のハリフアックスにおける暴動は多數の死傷者を出し、損害五百萬弗に上つたが、遂にカナダ最高法院が乘出して同事件の調査に當ることとなつた、一方八日以來窃盜、破壞行爲、家宅侵入などの廉で逮捕された者は二百五十餘名に上り水兵も混つてゐるが、夜間外出禁止令は十二日午後十二時まで延長された

【ソ　聯】

ソ波條約批准

（モスクワ十二日發）ソヴエト聯邦最高會議はワルソーのポーランド假政府との間に過般成立をみた友好相互援助條約を十二日批准した

【歐洲戰後問題】

トリエスト問題重大化

(チューリツヒ十二日發)トリエストの領有を繞るイタリアのボノミ政權とチトーを主班とするユーゴスラヴイア政權との紛爭は、ドイツ崩壞後の最初の國境紛爭として早くも歐洲における重大な國際問題を提起するに至つた現在トリエスト港はニユージーランド軍によつて占領されてゐるが、ユーゴ政權は、アドリア海北方のイストリア半島がユーゴ遊擊軍によつて占領された事實を名として逸早くトリエストを中心とするこの地域の領有を主張した、之に對しイタリア政權首相ボノミは米國に泣き付き、十二日問題の解決まで米英兩軍が係爭地域を占領することを要請したが、米國務長官代理グルーも十二日ボノミの主張を支持して米國の立場を表明したといはれる

グルー聲明全文

(リスボン十二日發)ワシントン來電=トリエスト問題に關するグルーの聲明全文次の通り

「ここ數ケ月間に解決を要すべき最も困難な問題の一は多年に亘つて歐洲を苛んできた幾多の領土問題を公明且つ正當に解決することである、米國政府の堅持する方針は先に聯合國諸政府に正式に通告した樣に、領土の變更は當該問題に對する徹底的檢討と關係各國政府間における十分な協議と熟慮の後に初めてなさるべきものであるといふことだ、かかる基礎においてのみこのやうな問題に含まれる人文的、經濟的、政治的諸要素に適正な考慮が拂はれ、且つ公正にして安定的な解決が見出されるであらう、現在歐洲には三十以上の領土上の懸案が累積してゐるが何れも滿足のいく決定に到達するまでには愼重な檢討を要する

以上の問題の中には多くの紛議を惹起したイタリア東北部國境問題がある、さきに米英兩軍の作戰區域においては早急且つ不安定な領土問題の解決を避けるため聯合軍によつて係爭地域に軍政を布き、その後に、確約されたごとき妥當な手續を踏んで解決するのが最も賢明な方法と決定されたトリエストが米英軍の作戰區域であり、且つ米英軍が同地のドイツ軍守備兵を降伏させたといふ事實を別としても、係爭地域は差當り軍事的見地から見て目下のところ極めて重要な意義を持つてゐる、聯合軍占領部隊が軍政地帶に適當な港灣施設と中部歐洲に通ずる交通補給線を加へることを必要としてゐる以上イタリアのこの地域を聯合軍が軍政下におくことは特に必要缺くべからざるものと思はれる

聯合軍はヴエネチア、ヂウリア地區におけるユーゴスラヴイアの收益を尊重して本年二月、以上の線に沿つてチトー將軍に提案して承諾を受けたこの聯合軍とチトー將軍間の取極めにも拘らず、ユーゴスラヴイア軍は今日に至つて要求を提出し、トリエストの征服によつてユーゴスラヴイア軍はこの地區の占領と軍政に任ずる權利があると稱し、アレキサンダー麾下のイタリア派遣聯合軍の作戰がトリエストのドイツ軍の敗北を齎した事實を無視してゐる、ラジオによる報道によれば、ユーゴ部隊は既にトリエストに「スロヴエニア國民聯合政府」を押し立ててゐるといふ、しかし聯合軍がこの地區の廣汎な諸施設を必要とするといふ問題とは別個に、米國政府はヴエネチア、ヂウリア地區には公平無視の軍政が不可缺であるといふ見解を重ねて表明する、これは戰勝の昂奮に乘じて採られる性急な一方的行動によつて、問題の本質に適合する最後的解決が損はれないやうにするためだ、現在の問題は關係兩國間の國境紛爭ではない、それは國際紛爭を一方的行動によつてではなく妥當な手續によつて解決するといふ問題を提起する、だからヴエネチア及びヂウリアの處理は關係兩國の言分が十分に聞かれるやうな明確な平和的解決方法に俟つか、或ひは當事國內の自由な直接交涉の事項とされねばならない、何れにせよ、余は領土問題が進擊する軍隊に躡いて發せられる宣言のみによつて解決さるべきでないと確信する」

白國王無事

(チューリツヒ八日發)パリからのロイター電報によれば、ベルギー國王レオポルドは家族と共に米第七軍の保護を受けてゐるといはれる

フレンスブルグの怪放送

（リスボン十二日發）ドイツの無條件降伏後、デーニツツ提督がどうしてゐるかいまだに明かでないが、ロイターロンドン電によれば十二日午後十時フレンズブルグ放送はドイツ北方軍司令官ブツシユ元帥の布告として

デーニツツ提督の命により且つ英占領軍當局の同意を得て余はシユレスウイツヒ・ホルスタイン並びにモントゴメリー軍の占領地域における司令權を掌握した

旨報道したいはれロンドンでは當局が事態を闡明するのを鶴首して待つてゐるといはれる、ロイター記者ジョン・キムチは右につき左の通り述べてゐる

未だ當局ではフレンスブルグ放送について何らの言明もしてゐないがデーニツツ提督とブツシユ元帥の現在の地位を繞つて混亂が生じてゐると考へられる、ドイツ軍の降伏した他のいかなる地域においてもフレンスブルグ放送が傳へてゐるやうなことは許されてをらず又フレンスブルグ放送がドイツ政府に依て管理されてゐた時のやうに放送を續けてゐるのもおかしい、然し乍ら以上の如き布告が傳へられたり又普通の報道が傳へられたりしてゐるところからみると目下のところデーニツツ政府は聯合軍當局から放送繼續について許可を得てゐるとみられる、何れにしろこれは無條件降伏と矛盾するわけで軍並びに外務當局の説明が待たれる

英軍の軍政狀態

（チユーリツヒ十一日發）英紙「イーヴニング・スタンダード」の英第二軍附記者はドイツにおけるデンブシー軍の苛酷な軍政狀況を十一日次の通り報じてゐる

英軍政當局の布告した法令を破つた多數のドイツ人が今日まで審問の上處刑された、彼等の犯した主な罪は行動制限令の違背、火器の祕匿、夜間外出禁止法の侵犯等だ、特に火器の違犯者は死刑に處せられ、その他は十五年乃至十年の禁錮刑である、今日以後あらゆるドイツ人は占領軍の定めた法令に則つて生活しなければならない、食糧の配給量から子弟の教育、讀書は勿論、どんな映畫を見、どんな娯樂機關を利用するかも一切ドイツ人自身が自由に選擇出來ず、軍政機關の命ずるままにしなければならなくなつた、またドイツ人の健康を維持するに必要な量以上は絶對に食物を攝取出來なくなつた、各市長は削減された配給量を卽時實施するやう命令されてゐる、餘つた食糧は全部オランダその他曾つてドイツに占領された國に送られる

歐洲陸運暫定協定成立

（リスボン十一日發）ワシントン來電＝米國務省は十一日次の通り發表した

ベルギー、フランス、ルクセンブルグ、オランダ、ノルウエー、米國および英國代表は八日、ロンドンにおいて歐洲陸運暫定協定に調印した、右協定の目的は、國際的交通の調整及び鐵道、水路による歐洲の運輸系統復興問題等について關係諸國政府並びに當局に對し勸告指導を行ひ得るやうな組織（歐洲陸運中央協議會）を設立するにあり、差し當つて調印國のみの暫定機關を設立するに意見が一致した、同機關は非調印國からの要求にも應じあらゆる援助を與へる

墺政府ナチ斷壓法を公布

（ストツクホルム十二日發）モスクワ放送は十二日次の通り發表した

オーストリアのレンナー政府はナチ黨斷壓法を公布することに決定した、同法によれば現在オーストリアのナチ黨に所屬してゐる者乃至ナチ黨と協力してゐる者は悉く死刑を宣告、ナチ黨の財產はオーストリア民衆のものとし、さらに一九三三年一月一日から本年四月二十七日までナチ黨に所屬してゐた者はすべて登錄することになつてゐる

獨軍捕虜更に七十萬

（モスクワ十二日發）赤軍司令部は十二日夜の公報で次の通り發表した

五月九日以來歐洲において赤軍はドイツ兵七十萬を捕虜にしたが右のうち六十三名の將官がある

昭和二十年五月十五日(火)
第三四二二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

印度問題の新展開

奥畑稔

歐洲戰の終了と桑港會議といふ二つの事件を契機としてインドの獨立問題が新たな展開を示さんとする機運は頗る濃厚となつた、四月三日桑港會議の英國代表クランボーン卿は英國植民地の現狀に變更を許さないと記者團に對して嘯いてゐるが少くもインドに關する限り英國政府の意志如何に拘らず現狀を維持してゆくことは不可能といつても差支へない、インド內外における現狀打破機運は最早英國政府によつて容易に阻止乃至は隱蔽され得ず、植民地問題を重要議題の一つとしてゐる桑港會議を機會に英國のインド政策に重大修正が加へられるのは不可避とみられる、インド總督ウエーヴエルの歸任日取がいまだに決定してゐない事實、或は五月三日突如歸國したインド軍司令官オーヒンレックの使命についてわざわざロイターを通じ彼の歸國がインドの政治乃至は憲法問題に關聯するものではないとことわらせてゐるあたり英國インド省間におけるただならぬ空氣を推測するに難くない

△風聲鶴に驚く

インド獨立に對する最も強力な支持者は意外なところから現はれた、ほかでもなく問題の人物は桑港會議ソヴエト首席代表モロトフ外務人民委員である、四月三十日の全體會議においてモロトフ代表は新招請國決定に關聯しアルゼンチンを痛烈に非難したのに續いてインド及び比島僞政權に言及、特にインドについては「獨立國ではないがインドを會議に招請すべきであるとの英國政府の要請にわれわれは同意したのであるが、印度が獨立國として今後會議に代表を派遣される日の來ることを確信する」と言明し、英國代表に冷水を浴びせたのであつた、モロトフ代表の言葉に深い含みがあつたかどうかは元より臆測の限りでなく、また問題にするに當らないが彼の一言が印度獨立運動に少からぬ刺戟を與へると同時に英國印度省を狼狽させた事實は否定すべくもない

モロトフ代表の簡單な言葉が與へた豫想外に大きな反響を具體的に知るためには桑港會議の舞臺裏を覗く必要がある、桑港會議は總勢二百名の正式代表者のみによつて行はれてゐるのではない、「イズヴエスチア」紙の桑港特派員ジユーコフが五月四日附の同紙上に報じてゐるところによれば桑港會議へ參加しようと努めてゐる幾つもの勞働組合と共に多數の民族團體がサンフランシスコで積極的活動を行つてをり、この中には印度人、黑人、ユダヤ人等のグループがあるといはれ、それぞれ祖國の獨立及び人種的差別の撤廢を叫んで桑港會議へ間接に參加してゐる狀態だといふ、殊に印度解放國民委員會及び國民會議派の領袖でありジヤワハラル・ネールの妹であるラクシユミ・パンジイツ女史を中心とする印度人團體の動きは最も活潑だといはれてゐる、かかる背景の下にモロトフ代表の印度の獨立を待望するとの發言があつたわけだ

△英國新聞界の騷ぎ

モロトフ聲明に關聯して英國新聞界に一異變が發生した、卽ち右聲明の直後サンフランシスコから英國政府は桑港會議でなさることあるべき印度の地位に關する重要な發言に對して一切これを英國の新聞に揭載しないやうにとの指令を出してゐるとの報道が傳はつてきたため英國各社では改めて報道の自由と新聞の獨立不覇とを叫ぶといふ騷ぎを演じたのである、モロトフ代表の印度問題に言及した部分を揭載したのは「ニユーズ・クロニクル」紙のみでそれも一版だけに過ぎず最終版には拔いて了つたといふサンフランシスコ製の報道が事實と相違してゐることは三十一日附のロンドン各紙のうち「ニユーズ・クロニクル」、「タイムズ」、「デーリー・テレグラフ」の三紙が三十日の桑港會議の議事及びモロトフ聲明全文を揭載してゐること、或は「ニユーズ・クロニクル」紙主筆ジヤーマルド・バリがモロトフ聲明は最終版まで揭載したと語つてゐるところからして明かである、しかしながら四月三十日の全體會議におけるモロトフ代表の言明合計八百語をロイターが各社に提供したにも拘らず、以上三紙の他にモロトフが印度問題に言及した部分を全然揭載してをらずまた共產黨の「デーリー・ワーカー」紙でさへ裏面で桑港會談を一寸扱つただけでモロトフ聲明

を掲載してゐないといふ事實は必ずしもロイター記者ルイス・マンスフイールドのいふ如く他の重要記事が輻輳してゐたからといふ理由をもつて說明しおふせるものではない、英當局が各社に壓迫を加へてゐるのだといふサンフランシスコ製の噂はかくして發生したものとみられる、もつとも、「ニユーズ・クロニクル」紙主筆バリーは右の噂に對して「英國の新聞はそのやうな種類の指令を誰からもうけてゐないし、第一英當局がさういふ壓迫を新聞に加へようとしてゐたといふ話からしてナンセンスで、もしまた假りに指令が出ても斷乎拒否する」と敦圍いてをり、更に「デーリー・エキスプレス」紙主筆クリスチアンゼンも「政府乃至は他のどういふ方面からも絕對に桑港會議の記事をどう扱ふといふやうな指導はうけてゐない勿論極祕の指令もうけてゐない、實際かういふ指令を與へる權限を有する役所は英國にはない」と語り、新聞檢閱主任トンプソンもそんな指令を出したことはないと辯解してゐるところからみて、英當局がモロトフ聲明の報道に壓迫を加へたと解することは出來ないとすれば、モロトフ聲明を無視乃至は虐待したのは各紙編輯者の右聲明に對する判斷によるものといはざるを得ない、しかしながら編輯者の心中にモロトフ代表の言葉に對して何か殊更敬遠したいやうな氣分が含まれてゐなかつたとはいへない、いづれにしろ印度問題が極めて微妙な情勢にあることを示唆する好個の揷話といへよう

△時代は移る

現在の印度政界において積極的に活動してゐるのはバハドール・サプルーを中心とする調停委員會のみで、ガンジー翁はボンベイ郊外のマラバールに隱棲し時折英國に對して皮肉と警句を發するに過ぎず、回教徒聯盟總裁ジンナーは依然猖介孤高の態度を固持してパキスタンの夢を捨てようとしない有樣だ、しかるに刻下の印度情勢は强力な中心的人物による輿論の統一を必要としてをり、これがため會議派領袖の釋放要求が急角度に昂りつつあるが、特にジヤワハラル・ネールの政界復歸を要望する聲が非常に强く、ネールをして國民運動の指導者たらしめよとの叫びが公然と擧げられるに至つたことは注目に値する、ガンジーからネールへの時代の移りは不可避であり、これは同時に印度國民運動の一躍進を示すものでもある、昨年九月、恐らくガンジー翁としては異常な決意を以て臨んだとみられるボンベイ會談が失敗に歸した時、既に指導權の移讓は運命づけられてゐたともいへる、ボンベイ會談の中途に回教徒聯盟から全權を委任されたジンナーが交涉當事者としてのガンジー翁の資格を訊し、翁が國民會議派をもまた印度教徒をも代表してをらず、個人として交涉に臨んでゐる點に第一の難點を見出し、交涉の繼續を躊躇したことがあつた、サロジニ・ナイヅ女史を除くほか會議派の最高機關である運用委員會の委員全部が拘禁されてゐたため、ガンジー翁としては個人の資格で交涉へ臨むのほかなかつたのかも知れない、さらにまた當時ジンナーに對して翁が說明したごとく交涉が妥結すれば翁は會議派說を說得する自信をもつてゐたともみられる、しかし會議派の內部からさへもジンナーとの妥協に反對する聲が出てゐたことを想起すれば、當時既にガンジー翁の威信が會議派を徹つてゐたかどうか疑問だ

△印度代表の發言と反響

かくして指導權をネールへの叫びは公然と放たれるに至つた、桑港會議印度代表サー・フイロツカーン・ヌーンが五月二日サンフランシスコにおいて記者團を前に「ガンジー翁の政見は時代おくれだ、印度國民運動の指導權はネールに讓るべきだ」と述べたのがその第一聲だ、ロイター政治記者フレーザー・ワイトンが英國政界のお歷々から集めた反響をみれば、ガンジー翁の引退を要望するの聲が英國政界特に勞働黨內において强いことが見出されよう

エマヌエル・シンウエル（勞働黨領袖）

余はガンジー翁を大いに崇拜するものだが、現在は翁の如き人物が引退すべき時だ、ネールの如き人物が翁に代るべきだといふ意見が責任ある筋から出て來るならば、之は十分考慮さるべきだ、しかしその際、若しガンジー翁が彼に代る人物と協力する旨申し出たならば、これを無視すること

昭和二十年五月十五日(火)
第三四二二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

は馬鹿げたこととといはねばならない、印度の政治犯についてのガンジー翁の主張に關する限り余は長い間印度政界の領袖を拘禁しておくことは意味がないと述べて來てをり意見は同じだ、指導者の交代或は領袖の釋放といふやうな意見の中に余は印度政情の行詰りを打開し得る可能性を見出すのである、そしてまた英國政府にして若し賢明ならばその印度政策の鑄直しを考へるために與へられた機會を利用するであらう、ウエーヴエル卿の齎した提案が既に十分檢討されたかどうか、その結果がどうなつてゐるか、今知りたいのはこれだ、若しウエーヴエル卿が何らかの建設的提案をも持たずに歸國してゐるとすればこの位妙な話はない

ヘイリー卿(元總督行政參事會員)

余はこのやうな指導者の交代が現在の如き時機において單なる理屈以上に實際的價値を有するとは思はない、しかしビルマ作戰が終局に近づくことにより英國政府並びに印度政界の領袖のいづれにも以前のやうな印度の防衛が焦眉の急であるといふ考へに强く影響されない交渉の新段階に這入る機會が與へられると思ふ、さうなれば双方とも新たな觀點から全般の情勢をよく檢討し英國側においては憲法上の變化を早く齎すやうに、また印度側においては行政の責任をとることについて從來以上の配慮をもつて問題が解決され得るのではないかと思ふ

アヌーリン・ベヴアン(勞働黨)

大多數の者がガンジーから神祕なものを感じるのは彼がレアリズムの感覺に缺けてゐるからであり、ガンジーが屢々言葉を誤用してゐるのは世界情勢に對して斜視的態度をとつてゐるからにほかならない

ウオルター・エリオツト(保守黨前保健相)

余はフイロツ・カーンのガンジーに關する言明には特に注意を拂つてゐない、しかし現在の世界情勢からして印度はまづ世界と協力し第二にその力を如何に使用すべきかを學ぶべきだと思ふ、しかるにガンジーはこの何れにも反對してゐるのだ、ロシア或ひは支那の如き目下發展しつつある偉大な國家の例に徵すればガンジーの遣り方が袋小路に入るやうなものであることは明かであらう

シドニー・シルヴアーマン(勞働黨)

印度國民運動の指導者を交代させるべきかどうかは全く印度自身の問題であるが、ガンジーに比しネールの方がより現實主義的政治家であることは事實だ、もし彼が國民會議派をこれまで指導してゐたならばあるひは現在までに何らかの解決が齎されてゐたかも知れない

ヒル教授(保守黨)

非常に結構なことだと思ふ、ネールは科學技術についても少からぬ關心を有してゐる、しかし彼が眞の政治家であるかどうかは憎惡を忘却し得るか否かによつて決まる

コーヴ(勞働黨)

ネール、アザツドその他の領袖が釋放された時には會議派は自らの指導者を自らの方法で選ぶだらうと確信する、それよりも現在英印關係のために差し當つて必要なのは目下逮捕されてゐるものを釋放することだ

クリシユナ・メノン(印度聯盟書記)

民衆の指導者はフイロツ・カーン・ヌーンによつてではなく民衆によつて決定さるべきだ

資料

桑港會議の雛形

—チヤプルテペク決議全文—

去る二月末から三月初旬にかけてメキシコ市において開催された米洲外相會議は、その事實上の主催國米國が今回の桑港會議に對する足固めの準備工作乃至會議における小國操縱の小手調べとして目論んだものであつたことはいふまでもない、この米洲外相會議の目的は、一般的には、米國がその領導下に桑港會議に出席せしめて米洲諸國の足並を揃へるにあり、より直接には、かうした米國の對桑港會議準備工作として米洲諸國の步調を整へる上に當時唯一最大の障碍となつてゐたアルゼンチンに對し新たに强壓の手を加へ、米國の指導下にある他の米洲諸國に同調せしめるにあつたことは明らかである

そして、この限りにおいては、米國はこの會議

における所期の目的を達成する上にまづ一應の成功を收め得たとみなければならない、すなはち、當時なほメキシコ市會議をも他所目に、南米の一角に自主外交の孤壘を守つて「北方の巨人」米國の加へる惡辣な壓迫手段に敢然拮抗して膝を屈することを肯じなかつたアルゼンチンも、この會議後遂に從來の外交政策を一變して大勢順應に決し他の米洲諸國と同じく對樞軸國宣戰布告の擧に出づるに至つた、次いで同國はさらに、その缺席の下に採擇された米洲外相會議の諸決議、宣言にも參加することとなり、ここにおいて米國は、桑港會議を前にして米洲諸國をヤンキー色に塗り潰す對外示威工作に一應の成功を收めるにいたつたのである

米洲外相會議は米國の「太いステツキ」戰術とこれに迎合するメキシコ等の幇間的役割とによつて、少くとも外見上は頗る華やかに進捗し、政治經濟、文化等各分野にわたり總數六十に上る多數の決議、宣言を採擇したが、その大部分は徒らに會議の底に流れる小國の苦悶の聲を、量的な豐富さによつて糊塗するために發表されたとしか考へられないていの內容空虛なものであつた、これらの諸決議宣言中、眞に重要なものは僅か數個に過ぎず、そのうちでわれわれの注目に値するのは、政治的分野においては、チヤプルテペク決議の名稱をもつて知られる米洲共同防衛の義務を再確認した決議であり、經濟的な面においては、戰爭の終結とともに當然豫期される米洲經濟の混亂防止を主眼とする米洲戰後經濟憲章である

三月三日の米洲外相會議において採擇されたチヤプルテペク決議はこの會議を通じて米國の弄したアルゼンチンいぢめの工作の一部をなすものであり、その內容も、侵略行爲の排擊、國際平和安全保障の維持等お極り文句の羅列に過ぎないものではあるが、この決議の採擇は、米國にとつてはその似而非善隣政策を強力に遂行する上にはきはめて好都合な一札を各米洲諸國から取り上げたこととなり、今後は米國の南米政策の展開に當つてあらゆる機會にこの一決議がものを言ふことになる公算は頗る大きいといはなければならない、また、大國の小國壓迫操縱といふ點において、今回の桑港會議とその根本的性格を一にする米洲外相會議において採擇されたこのチヤプルテペク決議は、やがて今次の桑港會議から生れ出でんとするものの性格と方向とを明らかに豫示するものだといふことが出來よう

△チヤプルテペク決議全文

以下チヤプルテペク決議——正式には、戰爭及び平和に關する米洲會議に代表されたる諸政府による互惠援助並びに米洲の團結に關する宣言——の全文を揭げよう

一、米洲諸國民は、深厚なる正義感に基き、常に國際法の諸原則を遵奉するものである

二、米洲諸國民は、現存する諸種の困難なる事情にも拘らず、これらの諸原則が將來より大なる力をもつて國際關係を一貫することを希求する

三、米洲會議は從來繰り返し一定の基本的諸原則を闡明したが、これらの諸原則は、國家共同體の法的根據が確立せられつつある時に當り、再びここに確認され、闡明されなければならない

四、世界の新情勢は、米洲諸國民の權利の防衛、國際平和の維持のため、かれらの一致團結を從來にもまして緊要ならしめるものである

五、米洲諸國家は、一八九〇年以來協定決議宣言等により、下記の諸原則を國際法に包含せしめ來つた

イ、領土的征服の排擊並びにすべて武力によつて獲得せるものの不承認、（一八九〇年第一回米洲國際會議）

ロ、一國の他國に對する內政もしくは外政上の干涉の排擊（一九三三年第七回米洲國際會議並びに一九三六年平和維持の爲の米洲會議）

ハ、あらゆる戰爭若しくは戰爭の脅威は直接間接すべての文明國に影響するところあり、且つ米洲における國際政策の理念であり規準たる自由と正義の大原則を危くするものであることを確認する（一九三六年平和維持のための米洲會議）

ニ、米洲諸國間に戰爭若しくは戰爭の脅威の發生せる場合平和的協力手段發見のためにする相互協議の手續（一九三六年平和維持のため

昭和二十年五月十五日(火)
第三四回二二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

の米洲會議）

ホ、米洲諸國間に發生せる爭議と紛爭は、その性質、原因の如何を問はず、調停乃至拘束せられざる仲裁の方法によるか、若しくは國際司法裁判所の運用によりこれが解決を圖る（一九三六年平和維持のための米洲會議）

ヘ、各米洲國の自主性、主權、獨立の尊重は、諸宣言並びに現行諸條約によつてすでに歷史的に表明せられ且つ實證され來つた、米洲大陸の團結により維持せられる國際秩序の核心をなすものであることを確認する（一九三八年第九回米洲國際會議）

ト、條約の忠實なる遵守を尊重することは、各國家間の平和關係の發展に不可缺の法則であり且つ、條約は締約國の合意によつてのみ改訂し得るものなることを確認する（一九三八年第八回米洲國際會議における米洲諸原則の宣言）

チ、米洲諸國中その何れか一ケ國の平和、安全保障、領土保全が、その性質の如何を問はず、これを阻害する惧れある行爲により脅威せられる場合には、米洲諸國は、かかる事態がそのすべてにとり共通の關心事である旨を宣言し、且つその個々の場合に應じ、情勢によつて適當と思惟される手段を用ひて協議の措置を講じ、各主權國の意思の調整により米洲諸國の團結を有效ならしめる決意あることを宣言する（一九三八年第八回米洲國際會議リマ宣言）

リ、米洲國の領土保全乃至不可侵、主權、若しくは政治的獨立が非米洲國によつて侵犯せられんとする場合には、かかる行爲は米洲國すべてに對する侵略行爲と見做さるべきものとする、（一九四〇年ハヴアナにおける第二次外相會議宣言第十五項）

六、米洲諸國が米大陸諸國間の平和、團結を確保する目的をもつて從來實行し來つたこれら諸原則の伸張を圖ることは、全般的世界安全保障制に寄與し、その確立を促進せしめる有效なる手段となるものである

七、非米洲國が、米洲諸國中のいづれか一國に對して侵略行爲をなす場合、これによつて米大陸の安全保障、團結が影響を蒙ることは、一米洲國が他の一乃至それ以上の米洲國に對して侵略行爲をなす場合と異らない

第一部　宣言

一、主權國はすべて相互間に法的に平等である、

二、各國はその自主性ならびに獨立を、國際共同體の他の構成員によつて尊重せられる權利を享有する

三、一米洲國の領土保全乃至不可侵權若しくはその主權乃至政治的獨立に對する他國の攻擊は本決議第三部に準據し本決議に調印するすべての國家に對する侵略行爲と見做さるべきものとする

一國が、條約によつて確立され、これに準據して劃定せられたる國境線を侵犯して、武力をもつて他國の領土内に侵入せる場合は、すべてこれは侵略行爲を構成するものとする

四、侵略行爲が發生し、若しくは、他國が一米洲國の主權乃至政治的獨立に對し侵略を準備中なりと信ずべき理由ある場合には、本決議調印國は、適當と考へられる諸手段に關し意見の一致を得るため相互間に協議を行ふものとする

五、戰爭繼續中、本決議第二部において勸告されたる諸條約取極めの成立するまでは、本決議の調印國は、前揭第三、第四項に規定されたる如き侵略の脅威乃至侵略行爲は、聯合諸國の戰爭努力を阻害するものと認定し、各國の立憲的戰時權力の範圍内において、必要と考へられる次の如き諸措置を講ずることとする

イ、外交使節首腦の召還
ロ、外交關係の斷絶
ハ、領事關係の斷絶
ニ、郵便、電信、電話、無線電話連絡の斷絶
ホ、經濟的、商業的、財政的關係の停止

六、本決議中に包含されたる諸原則並びに手續は戰爭の現段階における侵略行爲乃至侵略の脅威がすべて聯合國の勝利獲得の戰爭努力を阻害するものなる以上、卽時效力を發生するものとする、よつて、各國政府は、本決議に規定せられたる諸原則並びに手續が各國の現行諸原則と一致するものなりとの見解に基き、本決議が常時有效なるやう

これを完成するに必要なる諸措置を講ずるものとする

第二部　勸　告

戰爭及び平和に關する米洲會議は左の勸告をなす

米洲國に對する侵略の脅威乃至侵略行爲に對應する目的をもつて、米洲諸國はその憲法上の規定に從ひ、次に揭げるが如き諸措置中の一若しくはそれ以上を、條約調印國のすべて乃至數國が講ずることにより、侵略の脅威乃至侵略行爲に對應し得る如き手續を確立する條約の締結を考慮する

イ、外交使節首腦の召還

ロ、外交關係の斷絕

ハ、領事關係の斷絕

ニ、郵便、電信、電話、無線電話連絡の斷絕

ホ、經濟的、商業的、財政的關係の停止

ヘ、侵略を防止あるひは排除するための武力の行使

第三部

本宣言並びに勸告は、國際平和及び安全保障の維持に關聯する諸事項を、西半球における地域的行動に適切なる如く處理する地域的取極を規定し本決議に述べられたるこれら地域的取極、活動、手續は一般的國際組織が成立せる場合これが目的並びに原則と一致せしめるものとする

本宣言並びに勸告はチヤプルテペク決議（Act of Chapultepec）と呼稱する

△モンロオ主義に依るもの

このチヤプルテペク決議なるものが、その成立せる國際的環境、特に、米國の帝國主義的米洲制覇政策の現實の段階からみて、米洲國際關係史上に一つの大きな道標として記錄さるべきものであることは言を俟たない、ニューヨークの外交政策協會機關「週報」はその三月八日附の誌上でこの決議が米洲國際關係史上において占むべき地位について左の如く述べてゐる

「チヤプルテペク決議は米國並びに他の米洲諸國の外交政策上一つの歷史的轉換を意味するものであり、恐らくは、モンロオ主義にとつて代る性質のものである、モンロオ主義においては、單に米國のみが新世界の安全保障の責に任ずるものであつた、しかるに、チヤプルテペク決議においては米洲諸國が共同してこの責に任ずることになつたのである、かく地域的といふ觀點からすればメキシコ市會議の收め得た成果は決して少しとしない

米洲諸國中このチヤプルテペク的理念をもつとも熱烈に支持する諸國は、必ずや桑港會議においても、チヤプルテペク決議の根柢をなす國際紛爭の共同處理といふ各國平等の原則を聯合國憲章中に取り入れるやう、努力するであらう、チヤプルテペク決議においては、小國は大國と平等の立場において諸種の決定に參與することとなつてゐるが、ダンバートン・オークス案においては、かうした決定は少數の大國の手に委ねられてゐるのである

これは勿論會議を終始牛耳つた大國米國の立場から見たものであり、その限りにおいて、米洲外相會議は滿足すべき「成果」を收めたものに違ひない、また、その「成果」中の一つチヤプルテペク決戰が桑港會議への誇示すべきお手本であることも勿論である、が、しかし、覇道外交理念の橫行濶歩する國際政局の現實は、チヤプルテペク決議の生れ出るに至つた四國の客觀的狀勢とともに決議に取り入れたと稱せられる國際平等の原則があくまで原則の領域に止まつて現實とは遙かに距離のある段階に置き去りにされてゐることを明示してゐる、いはばチヤプルテペク決議は桑港會議で小國を釣る一つの香のいい餌にしかすぎない、——握太の棍棒が覇道外交の通念となつてゐる聯合國陣營にあつて、米國が桑港會議を前にして何故わざわざ小國を釣る餌を用意しなければならなかつたかはまた自ら別個の問題である

チヤプルテペク決議が米國以外の米洲諸國間で如何なる反響を喚び起したか、これまでのところ遺憾ながら、ワシントンからの「お仕着せ」的反響以外見當らない、むしろ、大西洋の彼岸にはありながら、南米には少からぬ關心をもつ英國の新聞報道にチヤプルテペク決議の核心に若干觸れた論評が見受けられる、以下その一、二の例を拾つて本文のむすびとしよう

昭和二十年五月十五日(火)
第三四二二號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

「マンチエスター・ガーデイアン」紙三月五日附ニューヨーク電は左の如く報じてゐる

チヤプルテペク決議は西半球におけるもつとも重要な展開だとされてゐる、これまで西半球諸國は、半球以外の國から侵略された場合のみ、相互の援助を誓約してゐた、この決議の採擇により、西半球諸國は今や米洲諸國中その何れか一國に對し如何なる國が侵略行爲に出ても、これに對し經濟、商業、財政上の關係を斷絶するなり、もし必要とあれば武力に訴へても反抗することを誓約するに至つた

しかしながら、侵略行爲が發生した場合、その度毎に米洲諸國が悉く兵力を派遣するといふのではない、實際問題としては、この決議はラテン・アメリカ諸國が、リオ・グランデ以南における米國の武力行使の可能性あることに同意したことを意味するものであり、この事實こそは米洲における一大歷史的轉換といふことが出來よう、從來、ラテン・アメリカ諸國の政治生活上の中心をなしてゐたものは、ヤンキー帝國主義の侵略に對するわれらの不安にあつたからである、もつとも今回の決議の直接の目的は主としてアルゼンチン壓迫にあるものと信ぜられてゐる

次に「デーリー・メール」紙三月七日附ニューヨーク電は端的に次の點を指摘してゐる

チヤプルテペク決議採擇の結果、今や全米大陸が、米國の武力と富力とによつて、畫然たる米國の勢力圈となつたことがきはめて明瞭となつた、この決議を生んだ今回の米洲外相會議の成果を通じて一つの重大缺陷があることが指摘されよう、すなはち、米洲諸國は、かれらのいはゆる地域的安全保障制が、桑港會議において決定さるべき世界安全保障制と、如何なる關係をもつか、この點に關して何等の說明も與へず、その態度を明確にしてゐない

最後に、三月十三日附「マンチエスター・ガーデイアン」紙ニューヨーク電は、チヤプルテペク決議の採擇後においても、根本的には依然として米國對南米諸國間に大きな問題が殘されてゐる點を指摘して次の如く述べてゐる

リオ・グランデ以南の南米諸國中數ケ國は今なほ米國乃至他の外國資本の經濟的隷屬下におかれてゐる、これらの諸國はすでにこの現狀打破に向つて努力を拂つてをり、戰後には何等か表面的な政治的措置をとるに至るであらう、かやうな措置はすでにメキシコが數年前外國資本所有の石油その他の地下資源の接收を斷行した際とられたものである、かうした手段が他の南米諸國においてもとられる兆候は既にヴエネヅエラ、コロムビア等において看取されるところである、さらにまた南米諸國中にはブラジルのバルガス政權の如き獨裁制に對して不滿の意を表明するものが增加しつつある、南米における獨裁制の問題は、これを有する國が偶々聯合國側に立つてゐるといふ事實によつて目下のところ表面化してゐないだけのことである

ローマ法王放送演說

(リスボン九日發)ローマ法王ピオ十二世は九日ヴアチカン宮の私室より全世界に向け歐洲戰終了に關する演說を放送した、要旨次の通り

「遂にこの戰爭は終つた、感謝と共に我々は極東においても終末をみんことを祈る、我々は文明復興のために身を捧げよう、戰爭は不和と憎惡の種を蒔いた、我々は信賴と和合とを恢復しなければならぬ、戰場に斃れ、非人類的虐殺の犧牲となり飢餓と窮乏の餌食になつた無數の人の子が横はる墓の前に跪け、人類に對する信義と尊敬の上に大小强弱を問はずあらゆる國民あらゆる國家に對する共通の正義の上に、新しき世界を打ち樹てて、その復興過程の第一の基礎として、我々は事情の許す限り速かに俘虜、抑留者、兵士、その他が家鄕に復歸し、家庭へ、妻子の許へ、崇高なる平和の事業へ復歸する姿を見たいと希つてゐる、諸子を待つものは困難ではあるが同時に神聖なる理解である、海陸空からの死の脅威が止み、武器の放棄によつて人命が保證された現在、私的公的な資產にして殘されたものは再び捧げることが出來る今こそ平和建設のために全身全靈を自由に打ち込み得るのだ、戰爭は到るところに不和と疑惑と憎惡を生じた

從つて世界が平和の回復を欲せば虚僞と貪慾は消失しその代りに眞理と慾心とが行はれなければならない、然しながら何にもましてわれわれの日常の祈りに於ては常に神の愛を求め豫言者エゼキエルの口を通じてなされたる「われ彼らに一つの心を與へ、爾の躬内に新しき魂を授けん、彼らの肉體より石の心を取り去り、肉の心を與へん、されば彼らわが民となり、われ彼らの神とならん」との神約の遂行を希はなければならぬ、神よ、この新しき魂を人のうちに、特に將來平和の樹立における責任を委ねられたる者の心のうちに生みつけ給はんことを、その時、そしてその時のみ、甦生の世界は戰爭の恐るべき天譴を免れ、眞の安定せる全世界的同胞愛が生れるであらう

信託統治に對する濠洲の態度

目下サンフランシスコに滯在中の濠洲外相ハーバート・エヴアットは三日、記者團およびラジオ關係者と會見、國際信託統治制に對する濠洲の立場を說明して次の通り述べた

「濠洲政廳は反樞軸國際安全保障機構が次の五ケ條を充すごとき國際信託統治制を採用することを提案する

一、受託國はすべて統治領にある原住民の福祉を圖る義務を課せられる

二、統治國は義務として信託が有效に實施されてゐるか否かにつき委員會に報告する、國際保全のため必要とみなされる地方についても同樣の報告書を提出する

三、統治領は統治國の自發的意志により、もしくは、世界安全保障機構の總會によつて宣言される

四、總會は聯合國全體の利益のため、現存委任統治領を接收し、これを特定の反樞軸國家に統治せしめる權限を有する、この場合、接收條件は總會と統治國の間の協定によつて決定される

五、總會は國際統治領の保全を危くすると考へる場合安全保障理事會の具申に基き現存委任統治領の軍事制限事項を徹廢し得る

次に濠洲が桑港會議で提案してゐるダンバートン・オークス修正案九ケ條を說明しよう、最も重要な問題は、世界安全保障機構規約に對する修正案を總會の三分の二並びに安全保障理事會の常任理事國のうち三國が支持した場合には、大國といへども單獨で同案を乘切ることはできないといふ提案だ

第二には國際紛糾の平和的解決のための諸手續において常任理事國の否決權を除くことを提唱する、同時に濠洲は紛糾解決の機關として、經濟會議を世界安全保障機構の主要機關たらしめることを要望する

第三に、安全保障理事國は、世界安全保障のための過去における軍事的貢獻によつて安全保障の責務を果す能力を用意ありと認められた國家、もしくは地理的に最も重要な戰略地域に關係深く、國際平和並びに安全保障に對し重要なる貢獻をなす能力及び用意ありと認められた國家によつて構成されるといふことだ

その他の修正案において、濠洲は反樞軸國がそれぞれ自國民を含む全人民の生活水準の向上確保に努力する旨誓約するやう提言し、更に國際紛糾が安全保障理事會で「凍結する」のを防ぐため總會に對し現在以上の特權を附すべきことを提唱した

濠洲の見解を明かにすれば、信託統治制は個人の利益のための信託と同樣で、原住民の利益を目的とした信託だ、反樞軸安全保障體制の全機構は一口にいへば、安全保障信託である、ダンバートン・オークス案に基き、大國といはず小國といはず、あらゆる國家は基地及び利用し得る限りの施設を活用して安全保障に協力すべきであると信ずる

濠洲は、一國の侵略行爲に對し地域的强制措置をとらうとする場合、五大國の各々に否決權を附與する案を修正し五大國全體の合意による場合を限り否決權を認めることを提唱する、ダンバートン・オークス案では地域的措置を提唱してゐるが現在の組織案では安全保障理事會の承認をうけることなく地域内で强制措置を講ずることを認めてをり、修正案によれば所謂否決權によつてかかる行爲を封ずることが出來るのである

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都豊島區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　五　月十六日(水)
第三四二三號

同盟通信
海外電報

(110)

日曜日の晩チヤーチル首相がBBCを通じて放送した演説は果然英國政界に反響を捲き起してゐる、「自由と民主主義と解放なる言葉が、我々が諒解して來た眞の意義を離れ歪曲される」ことがないやう、英國民としては物心兩面に亘る努力を續けねばならないといふ一節だ、極く平明にチヤーチル首相の意見を忖度しても、以上の一節がソヴエト聯邦の自主外交に向けられてゐることは炳として日星の如しだ、ロイター記者のジョン・キムチの報道によれば、「以上の文句は一部議會筋においてポーランド、ルーマニア、ハンガリー及びオーストリア各國の諸事件に關聯してゐると解釋してゐる」といふ、したがつて勞働黨は十五日下院の質問時間に際し、チヤーチル首相の眞意を叩くかも知れないと傳へられる、勿論チヤーチル首相が下手な答辯で、クレムリン宮を怒らせるとは考へられないが、東歐洲並びに東南歐洲に對するソヴエト政府の獨往政策に、英國政界筋が苦り切つてゐることは想像に難くない、外相代理リチヤード・ローが過般下院で答辯した所に徴しても、赤軍の占領地帶には英國人の特派員が仲々入れず、英國政府の代表も一々許可證を貰はないと立入禁止だといふから、英國外務省が切齒扼腕してゐるに違ひない、イーデン外相がサンフランシスコからの歸途ワシントンで、グルー國務次官と會見してゐるのも、要するに以上ソヴエト政府の遣り口に對する共同戰線結成のためと解されるが、ワルシヤワ政權がポーランド關係の戰爭犯罪人は、こちらで査問したいからといふので、いはゆる戰爭犯罪人の引渡しを要求し、さらにドイツ領土の占領に一口乘ることと主張してゐるのだから、紛爭の解決を何時までも引き延ばす譯には參るまい、東部のドイツ領土をポーランド政權に割讓するからといふので、カーゾン線Aを同政權に押し付けようといふチヤーチル首相が、ドイツ領土の分割占領に關するワルシヤワ政權の要求をどう片付けるつもりだらうか、ポーランド紛爭はあらゆる意味で米英ソ三國關係の指數である

【目　次】

オーストリアの獨立を宣言……一三二八
米國不承認を再確認……〃
グーデリアン大將逮捕さる……〃
波政權獨占領に割込む……〃
ゲーリングを先づ審問……〃
戰時貿易國策を闡明……一三二九
對白武器貸與狀況……〃
日系米人に暴行頻々……〃
英海軍の基地建設を急ぐ……〃
第八航空隊司令更迭……〃
重要俘虜接見禁止……〃
ブルム、パリ着……〃
【桑港會議】
信託統治制の係爭點……一三三〇
條約問題處理特別委員會設置……〃
米英ス議長通告を確認せず……〃
宋子文ソ聯經由歸國……〃
【歐洲戰後處理問題】
ベルリンにおける軍政內容……一三三一
ドイツ占領地域の分擔……〃
英語を官用語に……〃
解放地域へ食糧を提供……一三三二
對獨牽制放送を開始……〃
米議員一行歐洲へ……〃
戰爭犯罪の證據蒐集に着手……一三三三
ボール、英國へ……〃
【歐　洲】
國際勞働會議パリで開催……〃
佛蘭大使交換……〃
【ソ　聯】
赤軍の進擊「兵農一如」……〃
【英　帝　國】
長期困難な戰を覺悟……一三三四
バ女史イーデンを酷評……〃
エールで反米英運動……〃
ギリシヤは獨裁國……〃
英國の十三分の一を米國が保持……〃
【米　國】
武器貸與を再檢討……一三三五
歐洲戰後の物價政策を發表……〃
砂糖配給量を切下げ……〃
【東　亞】
海兵隊空母出動……〃
【特　輯】
戰爭から平和へ(下)……一三三六
【資　料】
ソ聯と歐洲……一三三八

オーストリアの獨立を宣言

（ストツクホルム十四日發）モスクワ放送によれば、ソ聯の支持するレンナー政權は十四日ラジオを通じて次の通り聲明したといはれる

オーストリア假政府はオーストリアの獨立を宣言し、民主々義共和國を再建する、以上は米英ソ三國の目的に完全に合致するものである、オーストリアの三政黨代表は獨立宣言書に調印、假政府の公平無私を保障するため三政黨より各一名の代表を選び假政府の閣員に任命する

レンナー政權の獨立宣言は一九三八年三月の獨逸合邦を解體し一九二〇年の共和國憲法への復歸を意味するものだが、特にモスクワ會談における米英ソ外相の決議を持ち出して、米英兩國の目的とも合致すると主張してゐるのは、米英兩國にレンナー政權の承認を强ひるものと解され背後に控へるクレムリンの先制攻撃はポーランド紛爭におけるソ聯の方策を彷彿せしめ前途に紛糾を用意するものだ

因みにオーストリアにはカトリツク黨、社會民主黨、社會黨、共産黨の四政黨があるが、レンナー政權が宣言において三政黨と斷つてゐるのはカトリツク、社會民主、共産の三黨とみられる、米英兩國は未だレンナー政權を承認してゐない

米國不承認を再確認

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝米國務省當局は十四日米國政府がレンナー政權を承認してゐない事實を重ねて聲明したが、同政權のオーストリア獨立宣言については一切の論評を差し控へた

グーデリアン大將逮捕さる

（チユーリツヒ十四日發）米第七軍に從軍中の「インター・ニユース」特派員の報道によれば、十三日夜第七軍司令部はドイツ前參謀總長ハインツ・グーデリアン上級大將が第七軍によつて逮捕されてゐる旨發表したといはれる

グーデリアン大將は當年五十七歳、一九四〇年フランス作戰において戰車隊を率ゐセダンからドーヴア沿岸に向けマジノ線を突破して驍名を謳はれた戰車戰術の大家で、ベルヒテスガーデンの鷲巢館附近のホテルで逮捕されたもので、同大將は二正面作戰を展開しなければならなかつたドイツの苦衷を憐へると共に

西部戰線のドイツ軍戰車隊は燃料の不足と戰車の大半を東部戰線に廻はさねばならなかつたため一貫した作戰を行ふことが出來ず、加ふるに指揮官の質が惡くなつたことも西部戰線崩壞の一因であつた、聯合軍の上陸作戰の因は全く空軍、戰車並びに機械化步兵部隊における協同作戰にあり、これは近代戰において決定的な戰術といはねばならない、然しながらドイツが敗れた最も重要な原因の一つは聯合軍の空軍の優勢にあり、ドイツ空軍省は技術的にも聯合軍に追ひ付いて行くことは出來なかつた

と述べた

波政權獨占領に割込む

（ストツクホルム十四日發）ワルシヤワ政權は過般來ポーランドのドイツ占領參加を要求してゐたが、モスクワ來電によれば、米英兩國が承認すると否とを問はず一方的にドイツの占領に割り込む決意を固め、十四日一千名のポーランド兵をフランクフルト・アム・オーデル市に急派するに決定したと傳へられる

ゲーリングを先づ審問

（リスボン十四日發）パリ來電によれば、アイゼンハワーは十四日聲明を發し逮捕されたナチの首腦は夫々實情に卽して嚴格に處罰される旨述べたといはれるが、ルクセンブルグ放送は更に聯合國戰爭犯罪調査委員會によつて先づ審問されるのはゲーリング元帥だと報じ、その罪狀を次の通り列擧してゐる

チエコスロヴアキア、ポーランドの兩國から提供された材料に徵しても、ゲーリング元帥は一九三九年のチエコ國祭日におけるチエコ學生の大虐殺、リデイツエにおける全村民の虐殺、その他多數の外國勞働者をドイツに移入して强制勞働に服させるといふ計畫を立てたことなどの責任を當然負ふべきだ

昭和二十年五月十六日(水)
第三四二三號

同盟通信

海外電報
(第三種郵便物認可)

戰後貿易國策を闡明

(リスボン十三日發)ワシントン來電＝米國務省經濟顧問タフトは十三日、下院歲入調査委員會で互惠通商諸協定の延長を希望する合衆國政府の立場を說明、左の通り述べた

議會は關稅引下げ法案を採擇し、財政問題に關するブレトン・ウツヅ協定を可決せねばならぬ右は磅圈諸國の弗飢饉を緩和せしめる根本的措置で、この弗飢饉が米國の輸出貿易を窒息せしめつつあるのだ、關稅障壁は國際不和の原因でもあり、平時には望ましいことであるから出來る限り早く除去したい、この希望には英政府も同感であらう、以上の對策として國際復興開發銀行案が實現すれば現在より一層多額の弗が外國にも行き渡り、また互惠通商協定の繼續により米國は依然外國商品を購入し得ると共に、交換條件として米國の輸出に對する外國の障壁を引下げまたは除去させることも出來るわけである

對白武器貸與狀況

(リスボン十四日發)ワシントン來電＝米國外國經濟院長クローリーはベルギーに對する武器貸與並びに逆貸與の狀況に關し十四日次の通り發表した米國が最近武器貸與に基づきベルギーに送附せる食糧並びに醫藥品は總額約一千三百五十萬弗に上る、また米國武裝兵力に對するベルギーの逆貸與物資は量並びに金額において米國の貸與を遙かに凌駕し、米國陸軍の概算によると二月末までに四千八百萬弗に達してゐる

日系米人に暴行頻々

(リスボン十四日發)太平洋戰の熾烈化と共に太平洋岸米市民の日系米人に對する反感も增大し、連日暴行事件が發生してゐる模樣で、十四日ワシントンにおける戰時强制移住局の發表によれば、カリフオルニア州四ケ月間の事件だけで次の多數に上つてゐる

一、テロ行爲　二件
一、狙撃　十五件
一、爆破未遂　六件
一、放火　三件
一、面會强要脅迫　五件

その具體的な例として、カリフオルニア州で坂本セツ子といふ六十一歲の老婦人に對してはピストルで三發射擊を浴せ、その一彈が同女の娘の頭上一尺を掠めて壁にあたつたといはれ、同州タルバートでは一團の暴漢が益田メリーなる娘の下宿を襲ひ、肉體的危害をもつて脅迫して退去を强要したといはれる

英海軍基地建設を急ぐ

(ストツクホルム十四日發)十四日のBBC放送は次の通り報じてゐる

極東に英國海軍兵力を移動する下準備として、太平洋に新艦隊基地を建設するため、英國の專門家は現在續々現地に急行しつつある、これら專門家は日本に最後の打擊を與へるための英國增加兵力の一部を成すものである

第八航空隊司令更迭

(ストツクホルム十四日發)パリ來電＝在佛米軍戰略航空隊司令部は十四日、次の通り發表した

米陸軍第八航空隊司令官中將ジエームズ・H・ドウリトルは新任務のために近くワシントンに歸還する筈である、後任司令官は既に少將ウイリアム・E・ケプナーと決定したドウリトルは一九四四年一月以來第八航空隊司令官の地位にあつた

重要俘虜接見禁止

(チユーリツヒ十四日發)ローマ來電＝在ローマ聯合軍司令部弘報部の發表によれば、ワシントンの米國陸軍省は今後俘虜、抑留者並びに戰爭犯罪人として告發さるる可能性ある人物との面談を一切禁止することに決定したといはれる

ブルム、パリ着

(リスボン十四日發)パリ來電＝去る五月四日イタリア北部の監禁所から米軍に救出された元フランス首相レオン・ブルムは十四日、空路パリに到着した

【桑港會議】

信託統治制の係爭點

（リスボン十三日發）桑港會議の難關をなす國際信託統治制について各國一致してゐるのは世界機構が設置され、非獨立民族を保護しその福祉を增進すべき信託統治制を監理しなければならないといふことだ、信託統治領を戰略的地域と非戰略的地域とに分つ米國案には英國が反對してゐるが、その反對する意味は國際組織の干涉を弱めようとするにあり、ソ聯並びに重慶の案とは全く逆の立場だ、殊にソ聯の爆彈提案に對しては米英兩國とも冷水一斗の思ひで、ロイター通信社の桑港特派員のごときは

ソ聯を專門家が詳細に檢討してみた時、ロシアが史上初めて大植民帝國となる可能性を有することが明かにされた、モロトフ外相がトルーマン大統領とワシントンにおいて太平洋諸領土の割讓問題を協議したとの不確認情報もあると論じてをり、その齎す影響たるや測り知れないものがある、結局各國の意圖をもつとも明瞭になすべき小國の發言權に關係ある總會及び理事會の權限に關する規定の問題だが、この一週間に委員會席上で論ぜられたのは次の諸點である

一、總會は理事會に向つて平和に對する眞のまたは隱れたる脅威に關し調査を要求する權限ありや、もしくはかかる脅威につき理事會に通告する權限を有するにとどまるか

二、總會は理事會から報告を求め、理事會の決定を檢討批准する權限ありや

三、總會は平和の脅威に際し武裝兵力の行使について理事會と責任を分擔するや

四、總會は理事會において論ぜられつつある平和安全保障問題に關し提案する權限ありや

條約問題處理の特別委員會設置

（リスボン十三日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議では安全保障を目的とする双務條約の存續を主張するソ聯案と、國際安全保障機構の存在する限りかかる双務條約を許さずとする米英案と明瞭に分裂、國際司法委員會の法律問題委員會は過般來兩案の吻合調整に苦慮してゐたが、遂に特別の小委員會を設置することとなり、この旨委員長のエジプト代表から十二日發表した、小委員會は米、英、ソ聯、ベルギー、コロンビア、フランス、ヴエネズエラ、比島僞政權各代表から構成されてゐる

米英ス議長の通告を確認せず

（リスボン十二日發）スターリン議長がトルーマン、チヤーチルに親書を送り、これ以上米英兩國との協力は不可能だと宣言したとの英紙「ニューズ・クロニクル」の報道は米英兩國政界に異常な反響を捲き起し、ワシントン來電によれば十二日の國務省記者會見でも國務長官代理グルーは記者團から

スターリン議長は實際に米英兩國がクリミヤ協定に違反してゐるからこれ以上ポーランド問題を論議することは無駄だと通告してきたかと質問を受けたが

さういふことは何もきいてゐないと逃べて否定も肯定もせぬ曖昧な態度をとつたと傳へられる、いづれにしてもスターリン議長がトルーマンに親書を送つたことは內容の如何を問はず事實だが、ワシントンからのロイター電報によれば親書の內容は過般來米英兩政府が質問の形で說明を求めたポーランド要人十六名の逮捕事件には全然觸れず、專らクリミヤ協定に基く新ポーランド統合政府の樹立に關するものといはれるから「ニューズ・クロニクル」紙の報道を頭から否定し去ることは目下のところ不可能だ、他方ロンドン來電によれば英國首相官邸の新聞係祕書も以上の報道の眞僞については「いまのところ何もいへない」といつたと傳へられる

宋子文、ソ聯經由歸國

（リスボン十三日發）重慶からのAP電は桑港會議に出席中の重慶外交部長宋子文は歸途モスクワに立寄り、重慶、ソヴエト關係の强化を圖ると共に、ソヴエトの極東に對する意圖を訊すだらうと報じてゐる

昭和二十年五月十六日(水)
第三四二三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【歐洲戰後處理問題】

ベルリンにおける軍政内容

(ストツクホルム十三日發)十三日のモスクワ放送はベルリンにおける赤軍の軍政について左の通り報じてゐる

赤軍はベルリン市民をして市街の清掃作業に當らせるとともに平常通りの仕事に復歸するやう慫慂してゐる、既に市民はパン、肉その他の食糧を配給されたが、さらに近く新しい配給切符が配布されるであらう、かくて徐々に通常の生活樣式がベルリン市民に齎されつつあるのだ、執務狀態も次第に軌道に乘りつつあり、赤軍當局は從來通りの仕事につくのを欲する者に對してはこれを支持してゐる、多數の工場では既に生産を開始し、一部の工場では一般勞働者及び職工長も從來通りに働いてをり、工場は以前の所有者並びに管理者によつて運營されてゐる、ナチ當局はベルリンに飢餓を齎したが、食糧の供給はベルリン市内の輸送機關が殆ど完全に麻痺狀態にあるので一層困難となつてゐる、市内には依然として水がないが赤軍は目下これが對策を講じてゐる、更に赤軍は主要街路の清掃に破壞された橋梁の修理に非常對策をとつてをり數千の市民は隱れ場所から出て來て夫々自分の家に歸つてゐる

ドイツ占領地域の分擔

(リスボン十二日發)敵米英及びソ聯のドイツ分割占領の限界に關してはいまだ公式發表がないがワシントン來電によれば軍事消息筋ではドイツ軍が完全に掃蕩され且つ占領軍が完全に展開するまでは占領地域の發表は行はれないだらうと述べてゐるといはれる、一方米誌「アーミー・ネーヴイ・ジヤーナル」は十二日の誌上で以上の問題につき次の通り論じてゐる

ドイツ領内における米軍の占領地域にはバワリア、ウルテンベルク、チユーリンゲンが含まれさらに英軍の管理下にあるブレーメンから米軍占領地帶への補給廻廊もこの中に包含されることとならう、フランスはラインランドの大部分と恐らくこれに米軍に割當てられた占領地帶の一部が附加されるであらう

以上米誌は米佛軍のみについて論じ、英軍並びに赤軍に關しては一言も觸れてゐないが、ワシントンからのUP電はドイツ北部は英軍にエルベ河下流並びにムルデ河の東方地域は赤軍にそれぞれ占領されるだらうと報じてゐる

英語を官用語に

(ストツクホルム十三日發)モントゴメリー軍の管理下にあるフレンスベルグ放送局は、十三日國家社會主義黨の解體に關するものその他多數の布告が敵米英軍々政機關から發せられた旨報じてゐるが、右のうちには英語を以て官用語とする旨の布告も含まれてゐる、更に廢棄されたナチの法令中には政治結社の組織禁止令、ヒトラー・ユーゲント規約等があり又十五日までは午後八時三十分から午前四時三十分(グリニツチ標準時)十五日以後は午後八時四十五分から午前四時までの夜間外出禁止令がドイツ人全部に對して適用される

獨軍捕虜をソ聯へ

(ストツクホルム十三日發)十二日夜の赤軍戰況公報は、ドイツの無條件降伏以來捕虜七十萬以上を得たと發表したが、モスクワ來電によれば廢墟と化したソ聯國内の都市、村落、工場等の復興作業に當らせるため、これらドイツ軍捕虜の多數は赤軍によつて東方へ連行されてゐるといはれ、「イズヴエスチア」紙の如きは十二日の紙上で「ドイツ軍捕虜の前途には、怠惰な紳士の役割はないのだ」と論じ、捕虜を徹底的に强制勞働に服させやうとするソヴエト政府の意向を代辯してゐる

またデンマーク放送によれば、赤軍に制壓されたデンマーク領ボルンホルム島のドイツ軍捕虜五千は十二日、同島を出發コルベルグ港へ向つて輸送されたといはれる

親衛隊を鑛夫に使役

(チユーリツヒ十三日發)パリ來電=ド・ゴール政權生産相ラコストは十三日、ドイツ親衛隊員三萬をフランスの鑛山で勞働せしめることに決定したと發表した

解放地域へ食糧を提供
—トルーマン善政を言明—

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝米國宗教農業勞働並びに一般各界領袖二十二名はさる四月二十一日大統領トルーマンに署名入の書翰を送り歐洲の解放地域の國民に食糧を供給されたい旨申入れたが、トルーマンは右要望に答へ十三日次のやうに言明した

われわれは米國の食糧を歐洲の解放地域で飢えてゐる人々に頒つ方法を發見しなければならないし、また發見出來ると思ふ、これによつて目下桑港會議に列席してゐる聯合諸國の代表の士氣は鼓舞されるだらうし、またこのことはドイツ軍によつて荒廢に歸した聯合國代表において特に然りと思ふ、ナチの壓制の犧牲となつた人々に希望を與へる直接の手段として食糧を供給する程、大きな效果を持つものはあるまい

ドイツ領には供給せず

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝米國食糧管理局當局は十二日次のやうに言明した

一部外國通信社は米國の歐洲大陸向け食糧輸送計畫中一千二百萬噸に上る食糧が米軍占領下のドイツ領に割當てられると報道してゐるが右は事實無根である、米國はドイツ領内で解放されたもの或ひは他の地域から米軍占領地帶内へ移されたものに對してのみ食糧を供給する、以上は陸軍省當局とも諒解濟みでありドイツは自ら食糧を調達せよといふアイゼンハワーの聲明を想起すべきである

對獨、牽制放送を開始

（リスボン十二日發）米政府は米軍占領地域内においで徹底的にナチを强壓すると共にドイツ國民からナチ的考へを一掃するに躍起となつてゐるが、ニューヨークからのAP電によれば米國東海岸の六短波放送局はドイツ國民に對して聯合國の間で調整されたドイツ統治計畫の詳細及び今後ドイツ國民の運命がいかになるかを知らせるために使用されてゐるといはれる、右AP電によれば、ドイツ國民はこれまでナチによつて、ドイツの名前において犯された一切の犯罪の責任を負はねばならず、またドイツ國民は今後再び文明國民の一員として遇せられないであらうと教へ込まれてゐたが、米國東海岸の放送局が行つてゐる對獨放送の狙ひはかかる誤つた考へを一掃するにあるといはれてゐる

獨の國力回復は百年後

（チューリツヒ十一日發）パリ來電によれば米第七軍の捕虜となつた元ノルウエー駐屯ドイツ軍司令官フオン・フアルケンフオルスト大將は十一日ドイツが再び戰爭を初めることが出來るほどの國力を回復することは難しい、すくなくとも一九四〇年の水準に達するまでには今後百年の歲月を要しようと語つたといはれる

米議員一行歐洲へ

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝歐洲における米軍の再展開と復員問題は目下米國における最重要問題となつてゐるが、十三日下院陸軍委員會委員四名と上院財政委員會委員ラッセルの五名は二十五日歐洲に向け出發、同問題を現地において檢討すると共に點數制による復員方法等につき將兵の反應を調べる豫定といふ

赤軍占領地帶の米軍捕虜數

（リスボン十三日發）ランス（北フランス）來電＝アイゼンハワー司令部内に設けられてゐる捕虜歸還部の大佐ストラウブは十三日ランスにおいて次の通り言明した

米英側捕虜の直接歸還問題について近く是非とも赤軍代表と會見したいと思つてゐる、英軍二十萬米軍七萬六千に上る捕虜のうち、約半分は依然ドイツ領内にあるが、これらは悉く赤軍の占領地帶内にあると信ぜられる

ブラーグ平靜に歸す

（チューリツヒ十一日發）十一日プラーグ放送は「チエコの首都は一切平靜に歸し、ドイツの抵抗は終つた」との軍司令官の布告を發表した

昭和二十年五月十六日（水）
第三四二三號
同盟通信 海外電報（第三種郵便物認可）

戰爭犯罪の證據蒐集に着手

（リスボン十三日發）ロンドンからのUP電は戰爭犯罪の證據蒐集問題について十三日次の通り報じてゐる

アイゼンハワーは聯合國戰爭犯罪委員會に對し戰爭犯罪の證據蒐集のためポーランド、ギリシヤ、ユーゴスラヴイア並びにチエコスロヴアキアの各代表團をドイツ領内へ派遣してもらいたい旨申込んできた、以上の代表團は夫々自國民に加へられた戰爭犯罪の證據を蒐集する任務を與へられ、これによつて戰爭犯罪の一般的調査にも役立たせようといふのがその目的である同樣の代表團はフランス、ベルギー、オランダにおいても組織されてゐるが、第一陣は來週ロンドンを出發する豫定だ

ゲーリングの卽時死刑を要求

（ストツクホルム十三日發）ソヴエト政府機關紙「イズヴエスチヤ」は十三日ゲーリングの卽時處刑を要求して次の通り論じてゐる

ゲーリングの如き犯跡明瞭な元兇を卽時審問處刑せずに鄭重に扱つてゐるのは奇怪千萬なことだ、ソ聯國民は米軍當局の眞意が奈邊にあるか理解に苦しむ

ロンドン來電によれば英國紙の多數も既にゲーリングの取扱ひについて非難の聲を擧げてゐると傳へられる

ナチ黨員悉く死刑

（チユーリツヒ十二日發）タス通信社の報道によれば、ソ聯の支持するオーストリア臨時政府は十二日ナチ黨を解散せしめ現在の黨員を悉く死刑に處す旨の法案を可決したといはれる

ボール英國へ

（ストツホルム十二日發）ロンドン來電＝去る六日米第七軍によつて解放されたポーランド祖國軍司令ボールこと中將コモロフスキーは十二日パリから空路ロンドンに到着した、ボールは昨年夏ワルソー蜂起に失敗、ドイツ軍の捕虜となつたもので、ソ聯によつて戰爭犯罪人の烙印を押されてゐる

【歐　洲】

國際勞働會議パリで開催

（チユーリツヒ十三日發）パリ來電によれば、第二十七回國際勞働會議は本年九月パリにおいて開催される豫定で議題は次の如きものといはれる

一、過去一年間の國際社會勞働情勢に關する國際勞働事務局長の報告
一、産業復員期における雇傭問題の討議
一、少年勞働者の福祉問題

佛蘭大使交換

（リスボン十二日發）パリ來電＝フランス、オランダ兩國政府は相互の外交代表を大使に昇格させることに決定、パリ駐劄オランダ大使にはファン・ヘールス、ハーグ駐劄フランス大使にはユベール・ゲランがそれぞれ任命された

【ソ　聯】

赤軍の進擊「兵農一如」

（リスボン十三日發）赤軍の迅速な進擊に卽應した武器、食糧、彈藥等の補給作戰は今日でも謎とされてゐるが、ワシントン駐在ソ聯大使館から發行される英文宣傳誌「ソ聯情報」の五月八日號は謎の一端を明らかにして次の通り報じてゐる

獨ソ開戰當時赤軍最高司令部布告により各戰線の赤軍將兵は專門家の指導下に自給自足のために現地で補助農園を開墾した、赤軍は戰線の附近に小麥や馬鈴薯を植ゑ、製粉所や食糧貯藏庫を建て、西へ西へと進擊するにつれて從來の農園を地方の國營農場や共營農場に引渡し、再び新たに農園を開墾して行つた、その結果萬一自給自足出來ぬ場合も戰線の直ぐ後方から食糧の補給を受けることが出來る譯で、遙か奥地からの補給は專ら武器、彈藥、燃料、醫療品等に限ることができ、そのため赤軍への補給上の困難は著しく緩和された

【英帝國】

長期困難な戰を覺悟

（リスボン十三日發）レノ（ネヴアダ）來電＝ワシントン駐劄英大使ハリフアツクスは十三日サンフランシスコへ赴く途上ネヴアダ州レノで記者團と會見し次の通り述べた

英國は歐洲戰爭で勝利を收めたからといつて仕事が終つたなどと考へ違ひをしてはゐない、英國は日本との戰爭を立派にやつてのけるつもりだ、われわれは太平洋戰に全力を投じ、米軍と肩を並べて太平洋を越えるであらう、われわれはこの戰爭が長期且つ困難な鬪爭であることを見極め、これによつてわれわれの行動を律すべきだ、ドイツは二度と再び强國として立直る機會はあるまい、われわれは曾ての勢力均衡とか同盟などの舊い觀念を棄てたいと思ふ、桑港會議は結局世界秩序が據つて立つ一つの機構を生み出すだらうが、この會議で最も困難な問題とされてゐた事項は旣に解決され、殘る重要問題も滿足に調整されると信ずる

バ女史、イーデンを酷評

（リスボン十一日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議英國代表イーデンは各國記者團八百名を前にして英國の印度對策について陳辯したが、ラクシミ・パンデイツト女史は十一日イーデンの右聲明に反駁を加へて次の通り言明した

クリツプス案は依然生きてゐるといふイーデンの言葉はこれまでわれわれがいやになるほどきいた英當局の「現場不在證明」の繰り返へしに過ぎない、イーデンの言明については次の二つのことをいへば足りよう、卽ち第一はクリツプス案は會議派並びに回教徒聯盟を含む印度におけるあらゆる政治的黨派から受諾されなかつたこと、第二は英國政府が一萬人に上る政界の領袖及びこれら領袖の支持者達を軟禁したこと

エールで反米英暴動

（リスボン十三日發）ダブリンからの最初の無檢閱報道によれば、ダブリン夕刊各紙がドイツ軍降伏を傳へた當夜市內に暴動が勃發し、街頭の各所で民衆と警官が衝突したといはれ、また革命的なアイルランド共和派に屬する民衆はエール駐在英本國代表公館並びに米國總領事館に押し寄せ窓硝子を破壞して氣勢をあげ、負傷者並びに逮捕されたもの各數十名を出したといはれる、なほデ・ヴアレラ首相の祕書は事件の後一週間を經て英本國代表並びに米總領事を訪問して陳謝したといはれる

加は兵員を提供せず

（リスボン十三日發）オツタワ來電＝カナダ國防相マクノートンは十三日次の通り言明した

カナダは太平洋戰域に最小限の兵員を送りその代り兵器彈藥は最大限に提供して對日戰に協力する、カナダの全軍需工場は一瞬もその努力を遲らせることはない

ギリシヤは獨裁國

（リスボン十三日發）ロンドン來電＝英勞働黨上院議員ストラボルジーは十三日夜ロンドンのギリシヤ海運聯合會の會合で英國のギリシヤ政策を非難し次の通り述べた

歐洲には輝しい勝利にも拘らず依然二、三の暗黑の場所が殘されてゐる、その最たるものの一つはギリシヤの獨裁制である、英軍の武力と英國の威力の後押しを受ける獨裁制は、ファシスト的線に沿つて行動し、EAM團の支持者五萬は依然アフリカ砂漠地帶の强制收容所に、三萬五千はアテイカの收容所に收容されてゐる、アテネで權力を握つてゐるファシスト達はわれわれの友人達を大量に處刑し、ドイツ軍に反抗した司敎、敎授、勞働組合幹部、官吏等を犧牲に供してゐる

英國の十三分の一を米軍が保持

（リスボン十二日發）ロンドン來電＝英國基地司令部は十二日次の通り發表した

ノルマンデイ侵攻に先立ち米軍は英本國內において三百萬エーカー以上の土地を接收したが、右は英本國全地域の十三分の一に相當する、然しながら米國は約束通り迅速に「英國を英國たらしめ」てゐる、但し米軍が保持してゐた全域三百三萬六千三百三十二エーカーのうち五十萬エーカー近くは現在なほ米軍の管理下にある

昭和二十年五月十六日(水)
第三四二三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米國】

武器貸與を再檢討

＝對日戰參加國を主要對象＝

(リスボン十三日發)ワシントン來電＝米國外國經濟院總裁クローリーは十三日次のやうに言明した下院の武器貸與委員會において余が屢々證言したやうに、武器貸與は戰爭に勝つための純然たる一つの道具である、だから歐洲戰の終了と同時に武器貸與計畫に再檢討を加へ、米國の資源を對日戰に最大の寄與をするやうに配分する必要がある、余は目下この案を吟味中であるが、成案を得るまで貸與物資を歐洲に新たに輸送することは差控へ、歐洲への武器貸與は現に日本と戰爭關係にある國乃至は歐洲にある米軍の再展開を容易ならしめる位置にある諸國に限られる

歐洲戰後の物價政策を發表

(リスボン十二日發)ワシントン來電＝米物價管理局長官ボールズは十二日、歐洲戰終了後における物價政策の根本方針を次の通り發表した

政府は大部分の民需物資を年內に再び市場に出す豫定だが、價格は一九四二年當時と略々同程度とする積りだ、民需生產への轉換期における政府の物價政策は次の四點を主眼としてゐる

一、從來同樣インフレ防止策を講ずる
二、全民需物資の需要に應じ得る如き措置を講ずる
三、完全雇傭を可能ならしめるよう盡力する
四、一商品部門におけるインフレの危機が消滅し次第、同商品に對する價格統制を緩和し他の商品に對しても逐次同一措置を講ずる

砂糖配給量を切下げ

(リスボン十二日發)ワシントン來電＝米國の砂糖消費制限は、一般民需物資の生產が一部許可されてゐるのに反し益々強化の一途を辿り、當局十二日の發表によれば、六、七月分の工業用砂糖配給量は戰前の五〇%に削減され一般家庭の加工用砂糖の配給量も切り下げられる模樣だ、右に關し物價管理局首席參議官は十一日、下院の物資調査委員會に臨み左の通り證言した

一九四四年に民需用砂糖が七十萬噸も過剩に流れ出たことが一部の原因となつて砂糖は益々缺乏しつつあり、消費量を大巾に削減する必要がある、淸凉飮料水、キヤンデー、パン等の工業用砂糖使用者は現在平均一九四一年當時の七〇%の配給を受けてをり、家庭向け加工用砂糖の配給量總額は昨年度の百萬噸に比し本年度は六十萬噸に釘附けにされる、なほ本年最初の三ケ月に一年五十七萬乃至百萬噸の割合で砂糖が闇市場に流れ出てゐる

海軍損害十萬

(リスボン十二日發)ワシントン來電によれば米海軍省は十二日、開戰以來現在までの米海軍、海兵隊並びに沿岸警備隊の損害が全部で十萬四千百七十六名に達したと例により小出し發表したといはれる

【東亞】

海兵隊空母出動

(リスボン十三日發)米國海兵隊の航空隊は從來地上基地からのみ作戰してゐたが、昨年末から少數の空母により兵員の訓練に努めてゐると傳へられてゐたが、沖繩島敵基地からのAP電によればこの部隊は漸く作戰に參加し得るやうになつた模樣で、太平洋艦隊當局は十三日次の通り發表したといはれる

海兵隊空母は去る十日初めて作戰に參加沖繩の諸目標に對しグラマン雷擊爆擊機並びにコルセア戰鬪機をもつて攻擊を加へた、海兵隊の航空要員並びに地上整備員は數ケ月來地上において訓練を受け練習航海をも數回實施してゐる

沖繩に基地司令官

(リスボン十二日發)ワシントン來電＝米陸軍省は少將フレツド・シー・ウオーレスを沖繩基地司令官に任命した旨十二日發表した

特輯

戰爭から平和へ（下）

——英國過渡期の諸樣相——

長谷川才次

勞働相サー・アーネスト・ベヴインはチヤーチル首相と一番親しい關係にあり、聯立內閣に居殘るに違ひないとみられてゐただけに、以上の演說は少からぬ衝撃を英國政界に與へた、「デーリー・メール」紙は這般の消息を傳へ、四月九日の紙上で次の通り報道してゐる

二週間以前に考へられてゐたところよりもずつと早く、何時勞働黨出身の閣僚が辭職するかも知れぬといふのが政界筋の觀測だ、六月末前に總選擧が執行されるかも知れない、サー・アーネストの演說がブツキラ棒なために勞働黨出身の閣僚は閣內に留ることが困難となつた、現在の段階で勞働相がチヤーチル首相に對し、こんなに批判的になり、保守黨に對しこんなに侵略的に論難を加へようとは、何人も夢想だにしなかつたところだ、極く最近までサー・アーネストはチヤーチル首相と最も親しい關係にあつたが、過去十日間兩人の間には冷淡さが目立つに至つた、勞働相は常に擧國一致內閣存續の必要を痛感してゐる一人であつたが、最近の事態に鑑み勞働黨との關係について自らの立場を明らかにする必要があると思ふに至つたのであらう票數を集める上からサー・アーネストの勢力が勞働黨にとつて非常な便宜をもたらすことは疑ひを容れない

サー・アーネスト・ベヴインとチヤーチル首相との關係が冷却した原因については消息通のブロードベントも全然觸れてゐないが、勞働爭議法修正案が仲違ひの契機となつたとみて差支へあるまい、「エコノミスト」誌は三月二十四日の誌上で次の通り報道してゐる

△苦しい勞働黨出身閣僚

一九三七年の勞働爭議法に關する問題は既に目立たぬうちに高閣に束ねられたと、誰しも考へてゐたが、再び政治舞臺の眞正面に登場するに至つた、保守黨が壓倒的に反對であり且つ總選擧後まで決定を持ち越さうといふ考へからチヤーチル首相が爭議法の修正に便宜を提供することを拒否したことは勞働組合に一大衝撃を與へたらしい、この事實は勞働黨出身の諸閣僚を少からず當惑させたに違ひない、來週勞働運動の最高權威たる勞働黨の全國評議會が問題を全面的に檢討するだらうが、恐らく勞働黨としてはこの問題を總選擧の題目にすることとならう、勞働爭議法に對しては選擧民は必ずしも贊否の強い感情を抱いてゐないと思はれるが、問題は勞働組合にとつては名實のかかるところとなつたし、保守黨にとつては勝利の勞働黨にとつては敗北の象徵と看做されるに至つた、勞働組合では十六年も經つてゐるし、勞働黨が戰爭努力に協力したのだから保守黨が寬大な氣持で過去を過去として葬るだらうと考へてゐたがすつかり當てがはづれて了つた、チエムバーレン前首相が一九四〇年勞働黨代表に對し「勞働黨の戰爭努力に準じて戰爭終了の場合勞働黨が希望を表明する場合の勞働黨の立場が强化されよう」と述べてゐるので當時勞働運動の代表がかかる印象を受けたに違ひない、またチヤーチル首相も一九四三年、勞働組合が組合としては爭議法第五條——官吏が勞働組合關係の組合に所屬するのが異法だとの條項——の撤廢だけに要求を限定し、他の條項の撤廢を要求しないことに決定した後、組合に對し「當局は好意的に事態を考慮する」との印象を與へてゐる、しかし政黨政治に關係しないといふ保障がある以上、官吏が自ら欲するならば勞働組合に入つて惡いといふ理由を見出すことは困難だ、一九四五年は一九二六年ではない、しかし同時にチヤーチル首相の立場を諒解することも容易だ、保守黨は決して爭議法の修正に自發的には同意せず、動議が下院に提出されても壓倒的に否決されて結局勞働黨出身閣僚が內閣から辭職することとならう、その上今まで久しい間持ち越しになつてゐるので數ケ月遲れてもかまはず選擧民の決定に俟つのが至當だといふ議論も成立たう、しかし現狀は極めて不滿足で「擧國一致」體制の存

昭和二十年五月十六日(水)
第三四二三號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

續を決して容易にはしない

△勞働黨左翼へなびかず

サー・アーネストがチヤーチル首相に對して叛旗を飜がへしたことは、勞働黨にとつて少からず有利なことは、同じく「デーリー・メール」紙の指摘する通りに違ひない、來るべき總選擧は要するに保守黨對勞働黨の抗爭であり、トーリーズムに對する社會主義の挑戰となることは明らかだが「ブンド」紙のロンドン特派員は四月二十三日の紙上で次の通り報道してゐる

モリソン内相は記者團との會見で總選擧に臨む勞働黨の方針を闡明し「滿足繁榮の世界における繁榮英國」の實現にある旨を述べた、勞働黨の政治委員會は聖靈降臨祭に開かれる黨大會に提出する政綱案を決定したが、右政綱案によれば勞働黨は内政問題を提げて總選擧に臨むことが明らかだ保守黨も同じ意向だとは勞働黨領袖の確信する所だ、今までは社會保險法案が一等やかましい論爭の焦點であつたが、現在では些か後方に退陣し、住宅建設案、電氣事業、ガス事業、炭坑、運輸、製鋼製鐵業の國有獨占の統制等々が主要な問題となつた、輸出促進策も同じく重要視されよう、政治的にみれば勞働黨はあくまで「兩黨體制」を主張し保守黨との戰ひに假りに有利としても「左翼戰線」の結成には絶對に同意しない、新たな議會で勞働黨が野黨に廻るにしても、分裂小黨の妥協に立脚した政權は弱體だからといふのであらう、外交政策については與黨たると野黨たるを問はず「擧國一致の政策」に從ふのが勞働黨の方針だ

その後モリソン内相と航空機製作相サー・スタフオード・クリツプスとがブリストルで演説してゐるが、モリソン内相は依然として「炭坑電氣事業並びに運輸機關の公有」を主張し、サー・スタフオードは「戰後英國が立ち直るためには中央的企畫を斷行する重大な政治的決定が必要だ」と述べてゐる、サー・スタフオードは勞働黨の左翼と見られてゐるだけに思ひ切つた刷新を提唱して曰く

英國人が一九三八年の生活水準を維持しようとすれば、戰前に比し著しく輸出を增大しなければならない、輸出の增加を價格で表示すれば、戰前の數字に比べて一二五%の增加が必要になる計算だ、從つて若し生産が右數字だけ增加しなければ英國は國内消費を切り下げるか、さもなければ國際的に借金する他はない、英國における生活水準を維持し結局向上させようと言ふのであれば、計畫的生産政策を斷行しなければならない、一般國民の利害は所有主の利害に優先するから、國家としては各産業部門を能率的な競爭の立場に置かねばならぬといふのが勞働黨の主張である

最後の一節はカルテル統制の主張とみて差し支へあるまい

△實力なき諸黨派

共産黨、聯邦黨等左翼の各派が頻りに勞働黨との共同戰線を示唆してゐるのに對し、勞働黨が容易に同意しないのは「ブンド」紙の指摘する通りあくまで黨内の結束を固くするとの趣旨に出てゐるのだらう、共産黨は當初五十二人の候補を押し立てる豫定であつたのを變更し二十二名の候補を公認して全員當選を期してゐるが、聯邦黨の首領サー・リチヤード・アクランドは總選擧においては「地方乃至地區的基礎において一切の進歩的社會主義的諸政黨との組織上の協力を求める」方針を闡明し且つ何時でも「全國的基礎」に立つて、勞働黨との合作を協議するに吝でないと述べてゐる、聯邦黨としては全國的な合作は勞働黨が同意しなくとも、飽くまで保守黨打倒の目標に邁進し大半の選擧區において勞働黨候補を支援する方針だといふ、自由黨の立場は依然として禍的だがサー・ウイリアム・ビヴアリツヂ教授を選擧委員長に起用して頽勢の挽回に努める方針だ

チヤーチル首相は十日下院における演説で議會の解散については政府はまだ方針を定めてゐないイーデン外相が近くサンフランシスコから歸つて來るので先づ下院で外交政策を討議すると述べてゐるが極めて近い將來に議會解散の運びに至ることは疑ひない、歐洲戰爭の開始後禁止されてゐた寫眞機双眼鏡の携行も許されるやうになつたし、地下鐵泊り込みは禁止となつたし、英國は今や急角度に戰爭から平和へ移らうとしてゐる、以上の推移が東亞反攻作戰と英國の外交政策に如何なる影響を及ぼすかを見極める晴雨計として來るべき總選擧戰の動きを注視しよう

資料

ソ聯と歐洲

—タイムズ記者現地報告—

これは最近ソ聯に旅した「ロンドン・タイムズ」外交記者の現地報告で、四月十日より十二日まで三日間に亘つて同紙上に掲載されたものだが、これは獨軍の潰滅に伴ふ歐洲問題處理につき、ソ聯のとらんとする立場を示唆するもの極めて大なるものあり、同時に同床異夢する英ソの微妙なる關係につき教へるところまた少しとしない

對獨戰の國内的影響

ドイツは再び起つ機會をもつことはあるまいといふのはソ聯人一般の確信するところで、彼等はこの戰爭によりソ聯が新たなる力を獲得し對外的には世界列強の間に伍して更に大なる發言權を有するに至つたのみならず、國内的にも内部團結の意識が一層強化されたといふことを知つてゐるのだ、ところで彼等が現在欲してゐるのはその日常生活が今少しどうにかならぬかといふことだ、つまり、彼等の大部分は目下一部屋に一家族といつた暮しをしてゐるので、も少し間數がほしいとか衣服、食料その他を今少し豐富に持ちたいと願つてゐるのだ、實際彼等は永年の辛苦と國家の强制による努力とによつて、これ等總てがやつと手に入らうとするところでドイツ軍の攻撃を受けたのだ、今次戰爭によつて荒廢した地域では數十百萬の人々が全く慘澹たる生活をしてゐるのだ、即ちセバストポリやミンスク邊では廢墟の穴藏に住んでゐるものがあるし、鐵道沿線ではその下にほつた壕舍に住んでゐるもの、驛の外に拋り出された貨車に住んでゐるもの、驛のプラットホームに住居を構へてゐるものありといつた有樣だ、窓一つない家は普通で、稀に少しましなのが資材と設計を與へられて手製の家に住んでゐる位のものだ、要するにソ聯の戰災地全域は大地震と惡疫の流行を一緒に百遍も食つたかと思はれる程である、そして假令戰禍を蒙らぬ地域と雖も生活必需品は殆ど無に近いか、非常に嚴重な統制を受けてゐるのである

成程戰線そのものは遠く去つたが、モスクワあたりでも戰爭の打撃が如何に深刻なものであつたかは容易に察知される、その深刻さは街上にみる脚のないもの、片脚のもの、眼を失つたものの數でも判るし、工場の勞働者をみてもその大部分が子供や十四、五歳の女の子である、これは誇張ではない、全聯邦工場勞働者の半ば以上は婦女子なのだ、だから毎夜のやうにモスクワ市に打上げられる火箭や祝砲も彼等に心からの喜びを與へないクレムリン附近で前線最高指揮官の名が讀み上げられ、火箭が赤く青く雪に徹はれた街の甍の上に火影をうちかけても市民の大部分はただ默々と、この勝利のために萬里遠征の夫や兄弟が歸らなくなるのではないかと憂ひの眉をあげるのみだ

一般にソ聯がこの戰ひに失ひ乃至は行方不明にした兵の數は八百萬と註せられ、戰ひの苦難とドイツ軍の重壓に餓えて死んだ一般人民の數も五、六百萬とみられてゐる、從つてその影響は單に都市のみならず村落にも及んでゐるのだ、共營農場乃至國營農場に働くものも十に九までは婦人であり、この三、四年來男の大人の影すらみないといふ農場や村落はあげて數へられぬ程である、それぱかりではない、これまで農場に對して機械勞働力を供給してゐた機械及びトラクター・ステーションの大部分は破壞もしくは閉鎖され、トラクター運轉手の大部分は戰車操縱士として遙かの戰野にある、そしてソ聯西部地區にあつたトラクター工場は破壞し盡され、東部地區のそれは殆ど戰車工場に改造されてゐるのだ、記者の調査によれば基礎的な再建だけでもソ聯が全力を盡したところで、最少限十年はかかるものと推定されるのだ

人によつては、これはあまりに損害を大きく見過ぎてゐるといふかも知れないが、とにかく戰後においてソ聯がまづ第一にせねばならぬことは、資材と勞働力を手に入れることである、この點についてソ聯政府は大量のドイツ人勞働力を計算に入れてゐる、目下のところ捕虜ドイツ人達はその

昭和二十年五月十六日(水)
第三四二三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

投入されてゐる廢墟清掃の仕事をノロノロとやつてゐるが、ドイツ軍の敗北が決定的となり更に何萬といふドイツ人がやつて來るようになれば、彼等も全力を出すだらうし、且つ彼等も信賞必罰の組織に從ふようになるものと思はれる、また機械工業生産品等も各國の協定案に從つて賠償としてドイツから大量に齎されるものと期待されてゐる、若し情報にして謬りなければ既に東プロイセンから重要機械類がソ聯領内に移されてゐる筈だし、ドイツの舊衞星國からも量は少いだらうが工業生産品や生産施設特に家庭用品が移入されるものと豫想される、更にソ聯は聯合諸國から貿易によつて工作機械、機關車、精密機械、電話交換器などを輸入しようとしてをり、これは長期クレヂットの效く國に對し主として發注する模樣だ、最後に忘れてならないものにソ聯國民自身のエネルギーと勞働力とがある、外國ではこの戰爭の後においてソ聯は精力を消耗し盡してゐるから今一度その工業力增進に馬力をかけ得るかどうか疑ふ聲を屢々きくがその答は正に「ノー」であるといはねばなるまい、ソ聯は外國の援助も勿論悅んで受入れるものではあるが決してそれに依存してしまふものではない、ドイツの蒙らしめた損害、生命財産の破壞、戰前永年に亘る勞苦の結晶收穫についての民衆の希望粉碎、等々は今後のソ聯對外施策の基礎となつてをり、彼等が嚴重なる安全保障を主張する理由となつてゐるのだ

△ソ聯社會の形成

最近黨の全國に對する指令は著しく强化され且つ國内における最高指導力として、スターリン領導の下、黨が主動的役割をつとむべき旨特に强調されてゐる、外國においてもさうだが、ソ聯でも一般の空想といつたものがこの戰爭中における色んな事態の發展とともに非常に滲み渡つてしまつた、信教の自由、愛國心の發揚、主要軍人、官吏に對する高給支給、各種特權賦與、並びに階級間の格差の增大、有識層、勤勉者に對する報酬乃至その刺戟材料の決定的增加等々の變化が恐らくは今後數年間のソ聯社會の形成を決定的に型づけるであらう

高級軍人、官吏の息子や娘は未熟練又は半熟練勞働者の大部分の家族よりも日常生活は樂だしまた社會へのスタートも便利になつてゐるのだ、智能者の貯藏所といつたものも形成され、總てといふわけではないが若干はその中から明日の指導者乃至は國家代表連が引出されんとしてゐる、この變化は確に實質的なものではあるが、但しまだ根本的なものだといふまでには至つてゐない、上記の高位者と雖も確固たる、乃至は獨專的な意味における新階級を構成するものではない、彼等は單に國家の信賴により報酬と特權を受ける高位者として當るのみでその地位を保有する保障もなければ他人の後釜に入るといふきまりもない、いふ必要もないことだが國家の最高權威には變りはないしただ勞働の雇傭主たり、組織者たる黨の指導の下にこれらの變化が、增大して行く國家の能率の限度内において生起してきてゐるのである、だから如何に勳章を澤山持つてゐようとも、感狀を度々貰つてゐようとも、もし當人がそれに滿足してしまひまたは不注意になるやうなことがあれば、その地位を失ひもしようし否追放されるやうなことにもなるであらう、國家は現在も、將來も依然として最下級者をも一擧に簡拔することによりその行政力の大半を維持し續けて行くであらう

しからば國家權力は最終的には何處にあるか、勿論スターリンの權威については疑問の餘地もない、國軍總帥、國家防衞委員會議長、人民委員會議長それに黨の首領と四重の地位が彼をして牢固不拔の椅子に坐らせてゐる、彼の後には黨の内閣たる共產黨政治局、中央委員會があり、スターリンはこれ等とあらゆる政策を討議してをり且つ在モスクワ外國代表の言によればここへ限界に觸れるやうな問題は總て送附されることになつてゐるのだ、斯くの如く國家の首腦者と黨の領袖が同一であるため最高決定は眞つ直ぐ一本建でなされるが、中の上又は中程度のものは何事によらずこれを上層に回附せねばならぬと考へ込んでゐるのでそのためソ聯官吏は大低の場合、新しい問題については意見の發表を差控え、交涉事は常に漫々的となるを免れないのである

共産主義イデオロギーの教育乃至理解の必要が最近再び強調されるやうになり、中央委員會は特にこれを下級黨員全部に要求してゐる、從つて右に關する訓練は最近著しく嚴重となつた、元來一九三九年以後、殊に一九四一年以後は共産黨への入黨が從前に比して寛大となり、一九三九年百六十萬だつた黨員が一九四五年一月には多數黨員が前線で戰死したにも拘らず、五百七十萬を算するまでになつてゐたのである、最近發行された黨機關雜誌の記事によれば、赤軍將兵が或ひは歸らぬかも知れぬ決死の戰場に赴く場合には、戰場において勇敢だつたとか本人が心から黨員になりたいと希望してゐるとかによつて共産黨員に加入させられることになつてゐるらしい、地方行政官や工場從業員でも彼等が國家のためになした仕事の力量によつて集團的に入黨を許されてゐる、だから昔のやうな長期にわたる試驗期間などは大いに短縮されたり、時には全然捨てられてゐた、そこで今や各地區その他の黨機關では、そのリストを精査し、速製黨員の多數を再び試驗期間者既ち「候補」に返し、昔と同樣指導者たる力量を有するや否やマルクス・レーニニズムの政治科學の理解ありや否やを個々に立證した上で改めて入黨せしめることにしてゐる、また黨指導者が今初めようとしてゐることは高等政治教育ともいふべきもので これによつてこの偉大なる變革の時代を通じ、ソヴエトの内外政策をイデオロギーの線に從つて十分に把握せしめんとしてゐるのである

△ソヴエト的組織の强さ

しからば彼等に教へるところは何か？ 黨機關誌の闡明しまたは容認してゐるものは從前のものよりも聊か複雜多岐である、これは昔ながらのソヴエト・システムが他の如何なる政治的、經濟的システムよりも高位に位するといふ基礎的な論理から出發するもので、そのなすところに他のものは當然追隨乃至は接近してくるといふ考へ方に基づくものではあるが、同時にそれは世界の現實に對する犀利なる見解と相混淆してゐる、ソヴエト的組織の强さは、變動期の困難に直面して個人主義的國家に大規模の失業が發生するが如き平和時において殊に明確に顯現されるのだといふ、だが假令その間全歐洲並びに世界の他の地域において恐らくは確實に經濟的困難が齎らされようとも、何も古い共産黨員の合言葉を「無閙と鸚鵡のように繰返す」必要はないのだ、戰爭は國家主義のもつ力について多くの苦い教訓を與へてくれ、勞働者は自動的にソ聯の側につくべきだとの甘い考へ方に多くの修正を與へた、ドイツの勞働者は武器をもたされたとき一體何をしたか？ 現在殆んど全部の歐洲諸國は社會主義の方向に向つて動きつつあると信ぜられてはゐるが、レーニンの晩年の教へ、卽ち彼等は各々異なる道を通つてゴールに近づくであらうといふことが力說されてゐる、最も必要なことは、平和の阻碍者であり同時に社會進歩の邪魔物として彈劾されてゐる「フアシスト的要素」の最後的排除を確實にすることであり、ソヴエトはその仕事のために確かに努力するといふことである

△大陸再建への影響

黨機關紙「ボルシエヴイキ」は次の樣に書いてゐる

總てのドイツ人は、ソ聯及びその他の占領地諸國においてドイツ軍の犯した罪の責任をとらねばならぬ、彼等は歐洲諸國民の血によつて、肥え太つてゐる、數百萬のドイツ人はこの戰爭より搾取したものと考へられ、この立場からすればドイツ人を單に人を殺したものと、殺さなかつたものに分類し、後者に對しては何等の責任をも負はしめないといふことは不可能なのだだからヤルタ協定の如何なる部分と雖もドイツの將來を取扱つた部分ほど深く歡迎されたものはない、ドイツ人は歐洲の共同體に復歸を許されるまでには、永年の困苦と賠償をなさしめねばならぬとはソ聯一般の說だ、だから聯合國のものにしろ、中立國の人にしろ、所謂同情的見解を述べたり、「醫者のやうなポーズをしたり」『歐洲のため

昭和二十年五月十六日(水)
第三四二三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

にといふことで親獨的傾向を蔽ふてゐる」もの程ソヴエトの新聞でクソミソにやつつけられてゐるものはない「ドイツが今一度蜂起してくるほど大きな災害が歐洲にまたとあらうか」といふのだ、外國の名もなき小者の演説さへソ聯の新聞には引用され、それによつて讀者達から米國や英國は一體あの協定を嚴守する決意をもつてゐるだらうかなどといふ疑問を不幸に起させてゐることもあるのだ、さらに不幸なことには、英米の戰爭努力といふものが殆んどソ聯の新聞には掲載されてゐないので、こういふ疑問が甚だ起され易く出來てゐる

△ソ聯の强力政策

ソ聯の對歐政策はドイツに再び蜂起する手段を與へてはならない、他の國にドイツを援助し、同情するやうなものが現はれてはならぬといふ決意だけで大部分説明することが出來る、これは甚だ强力な政策である、それは内容そのものが强便なばかりでなく、事物の分析にも行動にも中途半端を許さぬこの國で甚だ明確分明に定められてゐるのだ、ソ聯では對獨戰勝利の立役者は赤軍だ、ソ聯の勢力はこれまでの如何なる時におけるよりも大きく高められたとの信念が作られてをり、更にソヴエトの組織は人間の政治的進歩のトップに位するものであるとの議論が出來上つてゐる、ソ聯では戰爭の經驗と人間の政治活動は概ねその經濟的背景によつて形成されるといふ議論から、有産階級それも特に東歐及び中歐のそれに對しては、動かすべからざる厭惡感が抱かれてゐる、つまり有産者は社會主義に反抗し易く、ソヴエトとの友好關係についてはいつも首鼠兩端を持してゐるといふのだ

△總括的歐洲協定の必要

最後に大まかにいつてソ聯にはイデオロギーこそ異なれ英國及び米國とは同盟國であるとの强烈且つ明確なる意識がある、ここでは「同盟」といふハツキリした言葉の方が、より内容の曖昧な、「協力」といふ言葉よりも理解され易いのであるこの數ケ月の間、ソ聯の出した對歐政策に關する言明は、きまつて殆どいつも先づ第一にソ聯の安全保障保護といふことを力説してゐた、だが勝利の近づくにつれてこの考へ方は自ら擴大され、總括的な歐洲協定の必要、全國からの「フアシズム的要素」の一般的清掃といふことを主張してゐるそこで今や最も必要となつてきてゐるのは、一つの問題についてソ聯と西歐同盟國とが折衝する場合、同一用語の内容が同一のものを意味してゐるといふことを確めることである、勿論いかなる國と雖も政治的並びに軍事的問題については國家の安全保障上祕密にするものだが、ソ聯はその最たるものである、ここでは安全保障が個人の政治的見解から一般政策に至るまでの基盤となつてゐる他のいかなる國よりもソ聯政府はその政策を最後の細目に至るまで十分檢討した上で、それをポカツと表面に出し、しかもいつも最後的な一歩も引かぬ決定案として持出すのだ、ここには本讀みといふのがなくて直かに幕が上つてしまふのであるおまけにロシアの傳統的な祕密主義に加へて黨の紀律と安全保障機關とがある、基礎的には聯合國との政策上の協力といふことがあつてもその協力に程度の差がある、過去の經驗によれば、屢々困難や誤解を生ずるのはその間の手續によることが多い、それがソ聯のやり方なのだにも拘はらずソ聯の側に大きな政策乃至は大目標については協力したい希望を强烈にもつてゐるといふことは力説しておかなければならない

△ソ聯の友好國

東歐諸國のうちで、如何なる國がソヴエトの友好國であらうか、ソヴエトをして云はしむればこれは單に政策の問題ではなく、その實證が示されねばならぬのである、そしてその實證は、戰前乃至は戰爭中に曖昧な役割を勤めた政黨並びに經濟團體が權力ある地位から一掃され有力な地主に小地主がとつて代り、その國の經濟的政治的基礎が政策の安定を保證するにおよんではじめて示されたと認めるのである、だから例のラデスコ政府は

舊政黨の勢力をそのままにし、對獨協力者の處刑を躊躇し、土地改善をすぐにやらなかつたので最後の宣告を與へられてしまつたのである

△歐洲に新民主主義國家

黨の連中はいつもソヴエトの方式を全歐洲に擴がらせやうとしてゐるのではないと主張してゐるではどうしやうといふのだ、彼らは英國の社會安全保障案並びに個人企業への國家參加計畫には非常な注目を拂つてゐる、恐らく彼らは「半ばは疑ひ、半ばは澁々ながら」英國一流の改善と進化の天才はまだ失くなつてしまつてはゐないといふに違ひない、歐洲の他の地域についていへば、これまでにも屢々「フアシスト分子」と苟合してゐた從前の强大な產業金融グループ——これに對してはソ聯の新聞がよく攻擊を加へてゐた——には、彼等の戰時中の遺口からみてソ聯は全然信用をおかず、これ等の反動要素即ち「フアシスト分子」を除けば完全とは行かずとも大抵の諸國は遙に安定するだらうとみてゐる、彼等はいふのだ、英國とソヴエトのためにこれ等諸國のうちの一つ二つを新民主主義國といつたものにしてはどうだらうかと、それはソヴエト・システムと資本主義的個人主義的システムの中間を行くような政權をつくり確乎たる社會安全保障をもたせ主要產業を國家管理にし土地改革を行ひ、政府は右翼を一切排除して中央黨と共產黨を含めての左翼に組織させようといふわけだ、ソ聯の指導者達は自分達自身の心持をよく知つてゐるので、ソ聯の新しき力から生れ出た見解なり、政策なりを斷乎堅持して、彼等自身の國內における困難は殆ど洩らさず、オイソレとはなかなかどうして妥協しない、しかも一つの行動をなす場合愼重熟慮して、十分なる信用を各方面の面子が平衡に保たれるやうに努力してゐる、要するにソ聯の指導者達及びその他多くのソ聯人と語りあつた結果からいへば、今後の途は決して容易なものではない、だがただ二つの主要ゴールへの到達についてはソ聯も共同の關心を持つてゐる、卽ちその一つは安全保障を嚴重にし、ドイツの新たなる暴發を阻止するといふ緊急なる必要のために、三大强國の同盟がなければならぬといふことは英國におけると均しく、ソ聯人の心の中にも送り込まれてゐるといふことであり、その二は更に廣汎なる再建と平和の必要のために、英ソ二國は歐洲において共に寄與するところがなければならぬといふことである

カイザーの住宅大量建築

（リスボン十一日發）サンフランシスコ來電＝造船王ヘンリー・カイザーは歐洲戰終了と同時に簡易住宅の大量建築に乘り出すに至り、右計畫を十日次の通り發表した

「この住宅の價格は一軒につき四千弗乃至五千弗購入希望者は每月三十弗乃至百五十弗を拂ひ込めばよい、この他健康保險をも開始する積りだ

住宅建築に當つては流れ作業法を採用し、臺所浴室等の組立はそれぞれ一單位とするが、更に新住宅にはいまだ市場に現はれてゐないやうな近代裝置を施す豫定である

今回の計畫の直接動機は戰時生產局が民需資材の使用を許可する一方、勞働力も利用出來るやうになつたためであり、全國的に何百萬といふ新住宅を建築し、同時にこれで失業を防止しようといふのだ、卽ち戰後の就業狀態を一九二〇年代における自動車工業と同程度乃至それ以上に引上げようとするものである」

イラクで新送油管敷設

（チユーリツヒ十一日發）エルサレム來電＝イラク石油會社は最近イラクのキルクークとパレスチナのハイフアを繫ぐ約一千粁の新送油管敷設の最後的許可を得て愈々本年末或は來年早々敷設工事に着手することとなつた

新送油管は年四百萬噸の送油が可能で現存送油管の能力の約二倍に當るが、竣工まで三年を要する豫定といふ

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　五　月十七日(木)
第三四二四號

同盟通信 海外電報

(11)

これまでアメリカは日本に對して左手で戰爭をしてゐたわけではないが愈々これからは全力を傾けてくるに違ひない、歐洲戰の終了と同時に米國の對內外施策に全面的檢討が加へられ、昨年末のルントシュテット攻勢で御破算になつた一部產業の再轉換も六月一日から實施され、兵員百三十萬の復員も斷行するといふが、これら諸政策の背骨をなしてゐるのはあくまで對日戰の效果的遂行といふ一事だ

公式にはVEデーを設けなかつた米國政府が五月九日から早速午後十二時以後の娛樂禁止令を撤廢し、競馬、競犬を許可したあたり詢にルーズヴエルト式大衆政治の妙を發揮してゐると見てもよからう、一般用自動車、冷藏庫、眞空掃除器等の一部生產を再開するといふはしから稅金は勝つまで絕對に引下げないときめつけるのが米國式戰爭指導だ、歐洲戰が終つて米國內に平和時の機運が瀰漫することは望ましいが、現實は決してさういふ方向に動いてゐない、假令さういふ兆候があるにしても當局の宣傳と沖繩前線からの苦戰報道に依て抑へられて了ふであらう、リバーテイ型船で名聲を馳せる造船王ヘンリー・カイザーは早くも一戶當り四千乃至五千弗程度の住宅の大量建築に乘り出すといふし、ゼネラル・モーターズの社長C・E・ウイルソンは戰後從來のものより重量も輕くより經濟的な自動車を製作するといふ計畫を發表してゐるが、この種の報道を捉へて樂觀材料と看做すものはあるまい、われわれが希望すると否とに拘らず今後遠からぬうちに歐洲戰議の米軍は太平洋の前線で再展開して來るであらう、宿敵ドーリツトルは勿論米軍切つての戰車戰の大家と稱せられてゐる第三軍司令官ジョージ・パットンも對日戰に參加するらしいと傳へられる、さらに米誌「タイム」によればこれからの太平洋航空戰は新型機の登場によつてその相貌を一變するだらうといはれるが、これを敵の宣傳と一笑に附すことが出來ようか

【目　次】

トリエスト紛爭重大化……一三四四
太平洋航空作戰會議……一三四五
濠洲で英海軍基地整備會議……〃
ターナー大將に昇進……〃
米兵取締りに苦しむ……〃
赤軍作戰完了を發表……〃
頻りにエール政廳を攻擊……〃

【歐洲戰後處理問題】

「デーニツツ後繼の謎」解かる……一三四六
デーニツツ政府の構成……〃
デーニツツの逮捕を要求……〃
チエコはソ聯の從屬國に非ず……〃
高官にも處遇に手加減せず……一三四七
獨國防軍もナチと同罪……〃
ナチ黨員檢擧を開始……〃
米、俘虜を直ちに送還せず……〃
キスリングは一般犯罪人……〃
スペイン元首相釋放……〃
トリエスト問題行詰る……一三四八
獨軍損害一千二百萬……〃
保護領大統領逮捕……〃
白國王歸還せず……〃

【桑港會議】

イーデン、トルーマンと會見……一三四九
濠洲代表米の陰謀を曝露……〃
大國舞臺裏で闇取引……〃

【米　國】

對ソ武器貸與大削減か……一三五〇
商務省の再轉換政策……〃
油脂類の配給量削減……〃
原料の補給なほ緩和されず……〃
農村電化局を分離……〃
海軍豫算二百三十億弗を可決……〃
戰勝感謝祈念日……〃

【特　輯】

地域協定論義……一三五一

【資　料】

新國際機構案と桑港會議……一三五四
大戰重要日誌……一三五六
歐洲戰終幕に於ける要人達の消息……一三五八

トリエスト紛爭重大化

＝希臘内亂の二の舞か＝

（リスボン十五日發）トリエストを繞るユーゴスラヴイアとイタリアの紛爭は歐洲戰終了後最初の國境問題として、その解決方式の如何は將來歐洲特にバルカン各國の國境改訂要求に大きな影響を與へる關係上極めて重視されてゐるが、ローマ來電によれば英軍の尻押しを當にきたイタリア政權は一歩も讓らぬ強硬な態度を示し、首相ボノミは十五日重ねて次の通り聲明したといはれる

余は現在チトー軍の手中にあるトリエスト並びに周邊地區の占領を行ふやう聯合軍に要請した他の如何なる國も以上の地域を征服する權利は全くないし、余も斷じて承認出來ない、勿論問題は將來イタリア、ユーゴ兩國間の友好的な話し合ひで結局解決されると確信するが、それまではユーゴ側の一方的な宣言に基くトリエストの新事態を認めることは出來ない

△聯合各國の同情集め

他方イタリアの共產黨はトリエスト問題に關し無氣味な沈默を續けながら情勢の發展を凝視し、ボノミを支持するともユーゴ側の要求を支持するとも態度を明かにしてゐないが、ボノミ政權の支配下にある多くの新聞は猛烈な反ユーゴ宣傳を展開して聯合各國の同情を集めるに必死の工作を續けてゐる、卽ちボノミ側の宣傳方式はチトー軍がトリエストに強引に居据つて既成事實として聯合國側に押し付け、聯合軍の武力干涉を封じようと狙つてゐるといふ一點に集中、更に同情を集めるためチトー軍が地方のイタリア解放運動に血の彈壓を行つてゐると稱し、いかがはしい「慘虐行爲」の噂をばらまいてゐる樣子だ、ロイター電報によれば十五日のイタリア各紙はユーゴ軍の軍法會議によつて死刑を宣言されたゴリチアの大司敎カルロ・マルゴツチが聯合軍に救ひ出され、「ユーゴ軍は十六才から六十才までのイタリア人男女を全部狩り集めて强制勞働に追ひ立ててゐる」と語つた事實を鬼の首でもとつたやうに一齊に揭載して大騷ぎしてゐるが、マルゴツチ師が何故にユーゴの軍法會議にかけられたかについては完全に無視する態度を採つてゐると傳へられる、尤もユーゴ側としてはトリエスト、フイウメは元來がユーゴ自身の領土であり、ムソリーニ治下のイタリアのいはば「獲物」だから當然占領する權利があると考へてゐるのだが、米英兩國もイタリアが未だ共同交戰國の地位すら認められてゐないのに反しユーゴはそもそもの初めから聯合國の一員である事實に鑑み、露骨にチトーに壓迫を加へてボノミを尻押しする態度を明らかにする譯に行かず、多少手を燒いてゐる形だ

△武力干涉を辯明

英紙「デーリー・メール」が聯合軍はチトーにトリエストからの撤收を要求したと報じ、「デーリー・ヘラルド」が英軍は武力干涉を決意して驅逐艦二隻を派遣したと傳へたのに對し、英國政府當局は十五日、以上を殊更に否定した後次の通り言明した

米英兩國はユーゴに特別に惡意を持つてゐるのでもなければ、イタリアを支持してゐるわけでもないが、もしもトリエストの事態を默過すれば、今次戰爭中占領地域に留まつてゐる占領軍に恰好の先例を與へることになりはしまいかと危惧して一應干涉に乘り出したわけだ、現在ドイツ及びオーストリアには各國の占領軍が留まつてゐるが、これらがトリエストの先例を楯にとつていろんな要求を持ち出したならば、折角高値な犧牲を拂つて手に入れた歐洲の平和は忽ち蜂の巢のやうになつてしまふ、從つて米英兩國としては媾和會議の席上乃至は當事國間で平和的に問題を解決出來るまで、聯合軍が一應占領してゐる方が最も妥當と考へてゐるし、この方針をあくまで堅持する積りだ

ロンドンからのロイター電報によれば、米英兩國政府が未だチトーに正式にトリエスト撤收を要求してゐないが、ベルグラード駐劄外交使臣の手を通じて近く同じ趣旨の覺書をユーゴ政權に提示する豫定と傳へられるが、撤收を要求されても、ユーゴ軍が默つて引き退る筈はなく、ロンドン政界はギリシヤ內亂の二の舞を危惧してゐる樣子だ

昭和二十年 五 月十七日(木)
第 三 四 二 四 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

太平洋航空作戰會議

(リスボン十五日發)グアム島來電によれば太平洋方面陸軍航空隊司令長官に任命されたばかりの中將ジヤイルズは、數日前よりマニラに赴き陸軍最高司令官元帥マツカーサー並びに太平洋方面反樞軸空軍最高司令官大將ケニーと會談を重ね、十五日グアム島の基地に歸着したといはれる、會談の內容は新しく本土攻撃に參加すべきB17あるひはB24の四發爆撃機とB29超重爆撃機との共同作戰に關する諸問題だつたと信ぜられてゐる

濠洲で英海軍基地整備會議

(リスボン十五日發)キヤンベラ來電=濠洲海相メーキンは十五日下院において次の通り發表した首相代理チーフリー、余その他の閣僚はシドリー造船所における英國太平洋艦隊のための船渠整備問題に關し英國太平洋艦隊司令長官フレーザー提督と會談した、濠洲政府はフレーザー提督に對し艦隊の入渠整備等につき萬全を期するために力の及ぶ限りの協力と援助を與へる旨確約した

ターナー大將に昇進

(リスボン十五日發)ワシントン來電=大統領トルーマンは十五日現在沖繩方面にある太平洋方面水陸兩用部隊司令官海軍中將リツチモンド・K・ターナーを海軍大將に任命した

米兵取締りに苦しむ

(リスボン十五日發)重慶來電=支那戰域米軍司令官ウエデマイヤー及び蔣介石は十五日それぞれ在支米軍將兵並びに支那軍將兵に對し十五日以降午後十一時以後の夜間外出を禁止する旨の命令を發した、ただし土曜日並びに休日は一時間延長され午後十二時までは外出を許される

在支米軍將兵の風紀紊亂は目に餘るものあり、ジープに支那娘を載せて乘りまはす騒ぎに「ジープ・ガール」の名まで出來てゐる位だ、新聞紙はジープ操縱士が娘を載せることを禁ずるやうウエデマイヤーに對し要求せよと重慶政府に慫慂してゐた

赤軍、作戰完了を發表

(モスクワ十五日發)赤軍司令部は十五日全文僅か一句から成る次の公報を發表した

あらゆる戰線におけるドイツ軍捕虜の降伏は完了した

頻りにエール政府を攻撃

(ストツクホルム十五日發)英國首相チヤーチルが十三日夜の放送演說でエール首相デ・ヴアレラ氏の中立政策を非難したのを契機とし英國の政界言論界は一齊にエール政廳攻撃を開始した、チヤーチル首相の演說に對してはダブリンの「アイリツシユ・タイムズ」紙が十五日の紙上に社說を掲げ反駁を加へてゐるが、ロンドン來電によれば英國下院のおいては十五日の質問時間に保守黨議員達が愚にもつかぬ問題を捕へてエール政廳を非難したと傳へられる

先づ保守黨のロツカー・ランプソンは

現在デ・ヴアレラ首相がヒトラー總統をかくまつてゐるといふ說があるが眞相如何

と奇想天外から落ちる質問を提示、次いで保守黨議員數名は

ヒトラー總統の逝去に際してはエール外相自身がドイツ公使館を訪問して弔意を表明したのに勝利の日に當りアイランド人が、ベルフアストのクイーンス大學における英國代表の窓ガラスを壞した事件についてはエール外務省の書記官がダブリン駐劄英國代表に陳謝したに過ぎぬのは何故か

と質問し更にウインタートン卿は

ダブリン駐劄英國代表に訓令し今後エール政府の屬僚が陳謝しても受付けぬことにさせては如何

と述べた、チヤーチル首相が十三日の演說で率然エール政廳を攻撃した意圖は未だ明らかでないが、歐洲戰爭の終了を機として英國政府がエール國との關係「調整」に乘出すのではないかとも思はれる

【歐洲戰後處理問題】

「デーニッツ後繼の謎」解かる

（チューリッヒ十四日發）パリ來電＝BBC放送歐洲特派員エドワード・ワードはアイゼンハワー司令部の特別許可を受けて十四日、フレンスブルク郊外のデーニッツ政權本部において外相クロージックと會見したが、デーニッツ政權の閣僚が聯合國記者と會見したのは今回が初めてである、まづクロージックは最大の謎とされてゐる「ヒトラー總統は何故デーニッツを後繼者に選んだか」といふ問題に答へて次の通り言明した

ヒトラー總統が自らを犧牲にする決意を固めたとき、ドイツに平和を齎すことが出來る最適任者を後繼者として選ぶ希望であつた、最適任者といへばドイツ軍最高首腦部の一人でナチ黨員でなく、しかもドイツ軍全體の信賴をあつめてゐる人物である、いろいろ人選の結果デーニッツ提督のほかにないことが明らかとなつたので後繼者に選ばれたといふ次第だ

以上の言明でヒトラー總統が最後の瞬間、ドイツの和平を旣に決意してゐたこと、自らは和平を提案出來ぬことを自覺したことは漸く明瞭となつた

記者　デーニッツ提督はナチ黨員ではないのか、貴下はどうか

クロージック　余はナチ黨員だ、デーニッツはナチ黨の金の黨員章をつけてゐるが、ドイツ軍の一員としての資格ではナチ黨員でない、ドイツ軍の將兵は親衞隊のやうな黨組織に編入される以外ナチ黨員たることが出來ない

記者　デーニッツ政權の使命は？

クロージック　最大の急務はドイツ國民に食糧、住宅、職業を與へてやることだ、余はドイツの將來を大いに憂れてゐる、なぜならば飢餓のあるところ無政府狀態が起り、無政府狀態のあるところ必ずや左右兩極への政治的轉回が發生するからである、ドイツが右傾することも左傾することも國民にとつては決してよいことではない

記者　現デーニッツ政權閣僚はナチ政權下でどんな役割をしてゐたか

クロージック　彼らは言葉の上からみれば多年ヒトラー政權の閣僚であつたが、いづれも消極的な役割を果してゐた、いつてみれば彼らはデーニッツの下に集つた新顏ばかりとみてよからう個人的にいへば余は現在の仕事に携はるよりも寧ろ引退して明るい日光を眺めながら餘生を送りたい

デーニッツ政府の構成

（リスボン十四日發）デーニッツ提督を主班とするドイツ政府の構成並びに同政府の現在の立場は曖昧模糊としてゐるが、ロンドンからのロイター電によれば、クロージック伯はデーニッツ政府の構成を次の通り說明したといはれる

ドイツ國主席はデーニッツ提督で余は首相代理外相、藏相を兼ねこのほか四人をもつて內閣を構成してゐる、四人とは卽ち前軍需生產相アルバート・シュペアー、前食糧相ヘルバート・バッケ、前勞働相フランツ・ゼルテ、前輸送相ユーリユース・ドルプミューラである

デーニッツの逮捕を要求

（リスボン十四日發）ロンドン來電によれば、英國各紙は十四日の紙上で一齊にデーニッツ提督並びにドイツの將軍達を戰爭犯罪者として强制收容すべしと論じてゐるといはれ、一方米英戰爭犯罪調査委員會ではヒムラーは當然ユダヤ人虐殺の責を負ふべきだとの見解を持してゐる樣子である

チエコはソ聯の從屬國に非ず

（リスボン十四日發）ロンドン來電＝チエコスロヴアキア政權國務相フーベルト・リプカはプラーグへ歸還するに先だち、十四日ロンドンの同政權情報局を通じて次のやうに言明した

チエコスロヴアキアの再建計畫は理念によらず實際的な必要を基礎として進められるだらう、重工業に關する限り現在の狀態では大規模な國有化を必要としてゐることは明らかである、チエコの外交政策に關して、西歐洲ではこの國がソ聯の衞星國に化するのを憂慮してゐる向もあるやうだが、これは全く根據がないと思ふ

昭和二十年五月十七日(木)
第三四二四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

高官でも處遇に手加減せず
＝アイゼンハワー聲明＝

(リスボン十四日發)パリ來電＝アイゼンハワーは十四日、部下の一部將校が、逮捕されたドイツ高官の取扱ひについて手加減した事實を明らかにすると共に今後一切手加減すべからずと次の如き聲明を發した

一部米軍の高級將校が逮捕されたナチ並びに一般ドイツ高官を「友好的敵」として待遇したといふ新聞記事に余は注意せざるを得なかつた、すべてかかる事實は余の希望並びに服務規律を無視したものであり、今後かかる誤謬を絶無ならしめるために目下徹底的な對策が講ぜられてゐる、かかる種類の例は決して麾下の軍隊の態度を示すものではなく、關係者の誤つた判斷に基くものであり、これら關係者は個人的に余から不滿の意を傳達する

獨國防軍もナチと同罪

(リスボン十四日發)ワシントン來電＝米上院陸軍委員ジエームズ・マレーは十四日、軍當局がドイツ軍將校に對し飽くまで峻嚴な態度で臨むことを要求して左の通り述べた

グーデリアン上級大將は最近記者團に對し「今や米獨兩軍の將兵は蹴球試合が終つた後のやうに握手を交し信賴し合ふべきだ」と語つたが、これは全面的敗戰後も舊態依然たるドイツ軍人の高慢さを示す適例だ、彼等が如何に自ら犯した戰爭犯罪を小さくみせかけようと努め、またわれらの好意を求めようとしても一切は失敗に終るであらう、われわれはドイツ軍將校連中の高慢さや、勝利者の氣に取り入らうとする臆病染みた努力に惑されはしない、われらに對してこの戰爭を遂行したドイツの將校連中が今になつて戰爭の責任を全部他人に負はせようと努めても無駄だ、彼等は戰爭と戰爭が永びいたことに對して責任を負はねばならず、犯した數々の罪惡にも責任がある、彼等ナチ黨に政權獲得を許し、その後はナチ黨に全幅の協力を寄せたのである、彼等は今や戰爭で犯した罪惡一切を糊塗し去らうと努めることにより至る所で彼等を擊ち破つた諸司令官の叡智に侮辱を與へつつあるのだ

ナチ黨員檢擧を開始

(チユーリツヒ十三日發)エキスチエンジ・テレグラフ通信社のロンデン電によれば、七日ロンドン警視廳祕密警察隊員は、未だに逮捕を免れてゐる在英ナチ黨員並びにナチ黨協力者の檢擧を開始したといはれ、更に中立國においても同樣の檢擧が極祕裡に行はれてゐる模樣である

米、俘虜を直ちに送還せず

(リスボン十二日發)ワシントン來電＝米國上院議員ワイリー(ウイスコンシン州選出下院議員)は樞軸國俘虜の歐洲送還に關し十二日次の通り言明した

陸軍省當局から聞いたところによれば俘虜の歐洲送還は米本國における勞働力の需給狀態と睨み合せて行ふ豫定だといふ、軍當局の意向としては、歸還將兵をも含む國內勞働力が自由に使用出來るやうになり次第、俘虜を農業その他の產業から解放する方針のやうだ

キスリングは一般犯罪人

(ストツクホルム十四日發)オスロ來電＝ノルウエー皇太子オラヴは十三日、五年振りでノルウエーに歸還したが、十四日ノルウエー最高司令官の資格において元ノルウエー國民政府首班キスリングを一般犯罪人として審問すべしとの指令を發した、右に關しUP電報は十四日オラヴが次の通り述べたと報道してゐる

キスリング及び同人を支持する者はすべて死刑を求刑されるだらうが、これらキスリング支持者はノルウエー總人口の二%に上るとみられてゐる

スペイン元首相釋放

(モスクワ十二日發)ポーランド通信社は十二日スペイン共和國の元首相ラルゴ・カバレロがオラニエンブルクの强制收容所から釋放された旨發表したカバレロは一九三九年東フランスにゐたが一九四三年ドイツ軍によつて逮捕されたものである

トリエスト問題行詰る

（チューリツヒ十四日發）トリエストの占領問題を繞つてユーゴ、イタリア兩政權とイタリア派遣聯合軍の三者をまじへる三巴の紛爭はその後依然解決に向つて進んではゐない樣子で、イタリア派遣軍司令官ハロルド・アレキサンダーの命を帶びてベルグラードに赴いた同軍參謀長中將モーガンは、ユーゴ政權首班チトーと會見した後何らの成案をも得ないで十四日手ぶらで歸還したといはれる、この問題に關してソヴエト政府は未だ公式の見解を表明してゐないが、米英兩國政府は、平和會議によつて最終的決定が下されるまでは、トリエストは聯合軍が占領するといふ原則論を堅持してゐることは勿論で、英軍當局は十四日非公式に次の見解を表明したと傳へられる

モーガンはチトーに對しこの問題について米英兩國政府と政治的な觀點から討議すべきであると申入れた、今のところチトーからはまだ何の通告もないが、英國政府の公式の見解は明々白白だ、イタリア派遣軍司令官アレキサンダーの言明してゐるやうにトリエストはその他の聯合軍占領下の樞軸側領土と同樣聯合軍の軍政下に置き、その歸趨は平和會議まで待つといふことに關してはさきの取極めでチトーも納得してゐる筈だ、以上の原則は現在ギリシヤ軍が占領してゐるドデカネーゼ諸島にも適用される筈だしフランス軍の占領してゐるイタリア西部についても同樣だらう、この方針は米國政府の意向と全面的に一致してゐる

一方軍事占領が直ちに領土併合に繋つてゐる事實を知つてゐるユーゴスラヴイア軍は飽くまでこの地域に居据らうとしてゐる模樣で、ユーゴ政權當局は十四日次のやうに言明し、挺でも動かない決意を示してゐる

一部外國の通信は、ユーゴスラヴイアがトリエスト及び世界に既成事實をつきつけようとしてゐると誹謗的報道をばらまいてゐるが、かかる中傷は全く根據がない、第一に以上の地方はユーゴスラヴイア軍が自らの手段と犧牲によつて解放したもので、正式にいへば他の聯合軍が作戰の結果占領した外國領土に占領軍として留まると同樣ユーゴ軍が以上の地方に留まるのくは全く當然で、何故にユーゴ軍が同樣の事情の下にある他の聯合軍と同等の權利を享有出來ないかを怪しむもので、第二に以上の地方は外國領土ではなく曾てユーゴスラヴイアがその主權を奪はれた領域である、一部外國通信特にイタリア側報道は舊態依然たる歪曲と破廉恥な捏造のフアシスト的遣口でユーゴスラヴイアに對する總攻擊を開始し、ユーゴ軍當局がトリエストの住民に加へたと稱する慘虐宣傳をばらまいてゐる、ユーゴスラヴイア政府は、平和會議におけるユーゴ、イタリア間の明確な國境劃定の問題に關し、意見を交換する用意あることを否定はしなかつた、以上の地域に關する現在のユーゴスラヴイアの態度は他の聯合軍と何ら異なるものでなく、ユーゴ軍が占領した地域に法と秩序を維持するため軍政を實施する權利を留保しようとするものだ

獨軍損害一千二百萬

（ストツクホルム十四日發）モスクワ來電によれば、赤軍當局は獨ソ開戰以來四ケ年間のドイツ軍の戰死並びに捕虜數が一千二百六十萬に上る旨十四日、言明したといはれる

保護領大統領逮捕

（チューリツヒ十四日發）プラーグ來電によればドイツのベーメン・メーレン保護領大統領ハーハ博士は、閣員全部及びチエコスロヴアキアフアシスト黨首ルドルフ・ガイダ將軍とともに十四日逮捕されたといはれる

白國王歸還せず

（リスボン十三日發）ブラツセル來電＝ベルギー政府は十三日次の通り發表した

現在舊オーストリア領にある國王レオポルド三世は閣僚に王弟攝政シヤルル殿下宛書翰を托し健康上卽時本國に歸還出來ないから引續き攝政としての任務を遂行するやう要請したなほ首相アンカーは國王の病氣は「外交的」ではないと言明してゐる

昭和二十年五月十七日(木)
第三四二四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【桑港會議】

イーデン、トルーマンと會見

(リスボン十四日發)ワシントン來電＝英國外相イーデンはサンフランシスコからの歸國の途次ワシントンに立寄り、十四日米大統領トルーマン、國務次官グルーの兩者と三十五分に亘り會談を遂げたが、三頭會談開催の手順とポーランド問題について協議したことは明らかだ、會談終了後イーデンと記者團との間に交された質疑應答の內容次の通り

記者　會談の內容は？

イーデン　國際情勢に關聯して若干の問題について話し合つた

記者　現在米英兩國とソ聯の意見が喰ひ違つてゐる最大の問題はポーランドか

イーデン　さうみてもよからう

記者　三頭會談はいつ開催するか

イーデン　まだわからぬ

記者　桑港會議はうまく行つてゐるか

イーデン　うまく行つてゐる「やうだ」

濠洲代表米の陰謀を曝露

(リスボン十四日發)ソヴエト政府機關紙「イズヴエスチヤ」が中南米代表の米洲安全保障獨立提案を攻撃して國際機構對地域的取極めを繞る難問題に端ぐ桑港會議に大波瀾を生ぜしめた折も折米國支持派と目され、自身地域的取極めの自主性を主張する濠洲が、中南米代表の蔭で糸を引く米國の陰險な策動を曝露する爆彈聲明を發表、桑港會議全體に嵐の如き驚愕を捲き起した、サンフランシスコ來電によれば、濠洲外相エヴアットは十四日まづ米洲主義を痛烈に攻撃した後鋒先を米國に向け、要旨次の聲明を行つたと傳へられる

中南米諸國代表の提案する米洲主義は尊重すべきものだが、萬一中央機關たる安全保障理事會の權威が維持されぬ限り、米洲主義は一種の孤立的形式を採るに至り、誕生の瞬間に新國際機構を崩壞せしめずば止むまい、米洲安全保障體制は米國だけが計畫したもので、米洲のみを眼中においてゐるに過ぎず、米國の意圖するところは安全保障理事會の常任理事國として獨裁的權力を揮ひ、米洲地域を國際機構から隔離絶緣し、勝手な眞似をしようとするに外ならない、米洲獨立提案は米國と中南米諸國との間に交された忌はしい取引の結果だ、米國は米洲地域主義を國際機構から切り離してやると約束した代償として中南米諸國に安全保障理事會の成員を十一名から十三名に增加せよとの要求を撤回するやう强ひたことはかくれもない事實である、かかる類のことが行はれるならば國際機構が滅亡へ追ひやられるのは必然だ

曩に米國代表は中南米諸國の提案に對する妥協案と稱して米洲獨立主義を密輸入した提案を行つたが、意外にも思はぬ方向から强硬な反對に逢着して進退兩難に陷つた樣子だ、濠洲が今回飼主の手を噛む如き態度を採つた意圖については種々の觀測が可能だが、中央通信社のサンフランシスコ特派員蘆斯新は十四日次の通り觀測してゐる

地域的取極めを自ら支持してゐる濠洲が米國の案に眞先に反對したことは深い意味がある、即ち濠洲は地域的强制措置發動につき安全保障理事會の先取權を認めてゐるが、米國案は結局認めぬわけで、エヴアットが敢へて反米聲明を行つたのは地域的取極めにおける濠洲の地步を大いに固め、米國をして好むと好まざるに拘はりなく、濠洲、ニユージランドその他西南太平洋の諸地域を打つて一丸とする鞏固なブロックを支持させようといふ狙ひとみることが出來る

大國舞臺裏で闇取引

(リスボン十四日發)重慶英文紙「チヤイナ・タイムズ」のサンフランシスコ電報は十四日次の通り報じてゐる

安全保障理事會の成員が原案通り十一名に決定する前、大國が祕かに中小國三十數ケ國を說き伏せて理事會の成員を十五名に增加せよといふ要求を撤回させたといふ噂が專らだ、その結果サルヴアドル、エジプト外四國は飽くまで增加を主張してゐた建前上、最後の決をとる際棄權したといふことだ、また歐洲における双務條約の承認と米洲安全保障體制の獨立を達成するため、舞臺裏で祕かに闇取引が行はれてゐるといふ說も盛に傳へられてゐる、前者はソ聯で後者が米國であることはいふまでもない

【米　國】

對ソ武器貸與大削減か

（リスボン十四日發）ワシントン來電によれば國務長官代理グルーは十四日

ソヴエト聯邦に對する武器貸與は大削減をみるであらうが、ソヴエトの軍事補給上の要求に基き發送は續けられるであらう

と言明し、外國經濟院當局も

對ソ發送量月額三百萬弗の大巾切下げを初め、對英戰時援助約五割の削減を含む武器貸與の大縮減が行はれる筈だ

と述べたといはれる、右に關しUP電報は某次官の言としてつぎの通り報じてゐる

ソ聯への武器貸與大削減にはポーランド問題難局打開といふことが計算に入れられてゐるのかもしれない

商務省の再轉換政策

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝米商務長官ウオーレスは十三日軍需生産の民需生産への切換へに對する商務省の方針をつぎの通り闡明した

一、生産切換への初期の情勢は概して過去三ケ年と同樣とみられるから戰時統制を多少緩和する以外政府の方策には大きな變化はみられまい、從つてインフレ抑止のためや軍需最優先を確保するための諸統制を一氣に撤廢するやうなことは起り得ない

一、米國工業を局部的民需生産へ圓滑に切換へるため現在緊急に必要とせぬ機械設備を民需生産に廻し民間の需要に應ぜしめる

一、轉換期に起り得る失業問題を解決するため適當な措置を講ずる

一、戰後の經濟危機を阻止するため實業界に應分の援助を與へると同時に自由企業と自由市場の原則を維持する

油脂類の配給量削減

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝米國物價管理局長官バウルスは民需用豚脂、料理用油及びサラダ油の配給量を引下げる旨十三日發表した、これは歐洲占領地域の需要の增大によるもので、配給量削減の方法としては第一に一般消費者の油脂配給點數一封度當り六點を十點に引上げ、第二に四月から六月までの工業用割當量の二〇%の切下げが考へられてゐる、右割當量の切下げ措置は四半期間における民需用油脂四千二百萬封度を削減する必要からとられるものである

原料の補給なほ緩和されず

（リスボン十二日發）ワシントン來電＝米英合同原料委員會は十二日左の通り發表した

世界の原料補給事情は全般的に緩和された、しかし、ゴム、製繩用纖維、木材、パルプ、紙等重要物資の補給はなほ當分窮屈な狀態を續けよう、右のうち或ものは東亞におけるその生產地が日本の手から解放されるまでは「依然窮乏物資表」に記載されるはずである

農村電化局を分離

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝上院は十四日農務省から農村電化局を分離せしめ、かつ同局の運營費として二千萬弗を支出する旨規定した法案を可決、これを下院に廻附した

海軍豫算二百三十億弗を可決

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝米國上院歲出委員會は一九四五——四六會計年度における海軍省豫算總額二百三十六億三百七十七萬五千八百六十八弗を可決した、右豫算は下院から廻附されたものより約二億三百二十七萬三千弗の增額となつてゐる

戰勝感謝祈念日

（リスボン十三日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンが去る八日歐洲戰終了の聲明において定めた戰勝感謝祈念日の儀式は十三日、米全國の教會において執行されたが、トルーマンも家族を伴つてメリーランド州ベテスチアの海軍病院の禮拜堂で行はれた祈念禮拜に參列した、トルーマンは禮拜終了と共に同海軍病院に昨年末以來入院中の前國務長官ハルを訪問、五分間に亘つて會談した後ホワイト・ハウスに歸還した

昭和二十年 三月十七日(木)
第三四二四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

地域協定論義

井上勇

桑港合議で最も採めてゐる問題は植民地信託制度の問題と地域的協定をばどうしたならば、世界機構の中に組込むことが出來るかの問題である、信託制度の問題は狸の皮算用的要素が多く、硫黄島をどうする、琉球をどうするといつて見たところで戰爭が濟んで見なくてはどうにもならぬ話で多分に宣傳要素が含まれ、これを「憲章」の中に入れようといふアメリカ側の要望は、先手を取つてひと儲けの口だけでもかけておかうといふ肚が餘りに露骨なため、各國とも討議には參加しながら夫々肚の内では餘り乘り氣でない、ところで地域保障制度が認められる、認められないは、元來が新國際聯盟の威力に餘り信用を置いてゐない各國にとつては、自國の安全保障が成るか成らないかの死活問題に關係があるので、主張も眞劍であり、それだけ議論も紛糾してゐるやうだ、ダンバートン・オークス案によると

保障理事會の承認なくしては、地域的協定乃至は地域的機關による强制行爲はとり得ないことになつてゐるが、第一、五大國の一であり、ダンバートン・オークス案の起案者であるソ聯は地域的協定をば、チエコスロヴアキア、フランス、ユーゴスラヴイア、ポーランド、英國等と山ほど抱へ込み、現に五月十二日にはソ聯の最高幹部會議長カリーニンはソ波相互援助條約に批准してゐる、これらの諸條約はいづれも地域協定であり、侵略國に對して相互援助の名の下に强制行動をとることを約束したもので、正にダンバートン・オークス案を無視したものである、佛ソ條約が成立した當時、この條約がダンバートン・オークス案による新世界機構の精神を蹂躙するものだとの非難が米國邊りから一齊に擧げられたのは昨日のことのやうに新しい、その非難に對する回答がソ聯のソ波條約批准だつたわけで、ソ聯の上記ダンバートン・オークス案に對する解釋は、米國とは別物であることが明らかである、しかもそのソ聯は地域的協定は新世界平和保障憲章の埒内にあるべしと主張してゐるので、ではソ聯が有してゐる地域的協定は、一體あれは何ものぞ、どんな目的と效能があるのだとの反問が起るのは當然である

△佛ソの修正案

ソ聯はこれに答へて、地域的協定による行動は保障理事會の承認を得ない限り全部無效で、ただ今次戰爭の侵略國による新たな侵略行爲に對してのみは、保障理事會の承認を得ないでもよろしいことにしたいといふ、ソ聯の案に從へばソ聯が今結んでゐるあらゆる地域的協定の有效範圍は、樞軸國に對してのみで、それ以外の國には效力を認めないといふのであるが、ではその「今次戰爭の侵略國」とはどの國とどの國とを指すのか明白でない、ドイツが、ソ聯のいふ侵略國であることは疑ひないが、ではルーマニアは、ブルガリアはどういふことになるのか、これは今になつてはソ聯も回答に困るのではないか

フランスの修正案によれば、地域的協定は事前に保障理事會に通告してさへおけば、侵略行爲があつた場合は理事會の決定を待たずして應急的な防壓行動がとれるやうにしたい、理事會で審議に手間取つてゐると、侵略行爲はそのまま發展して手がつけられなくなる、應急的に地域協定による武力を發動させ喰止めてゐるうちに、理事會は理事會での決定をしたらよからうといふ案である、ブリツツ戰術に痛い目に合つたフランスとしてはもつともないひ分のやうであるが、ソ聯の案とは大分に喰違ひがある、この二つの案でさへも手古摺つてゐるところに持ち出されたのが、いはゆる南米案といふ代ものである

△南米案の内容

南米案は西半球に關する限り他の半球の干渉をうけるのは嫌である、南米に關する限りは保障理事會の差圖はうけないでもよいことにしてほしいそのためにはこの三月成立したチヤプルテペック憲章といふ立派なものがあり、これはダンバート

ン・オークス案以後、米國も參加して、作製した米洲の共同防衛協定である、米國が今更になつてこの協定を骨拔きにしようなどとは節を賣るの甚しいものである、米國が嫌ならそれもよからう、南米諸國は米國を拔きにしても、われはチヤプルテペックを守ると、まるでこの古城に立籠つて米國の侵略軍を叩いたメキシコ義勇軍のやうな口吻を洩らしてゐる

米國は以上のやうな各國のいひ分に對して妥協案を五日五日提示してゐるが、その案は

地域協定國はその自發的意志に基いて、現在の侵略國に對する「强制」行動をとることが出來る、しかしそれは新平和保障機構が「それ以上の侵略行爲を防止する」ための責任をとるまでの期間に限定される、現在の侵略國以外の諸國の侵略行爲に對する「强制」行動は事前に保障理事會の承認を得なくてはならないといふので、ソ聯案とフランス案への回答にはなつてゐるかも知れないが、南米案への返事にはなつてゐない、南米などは要するに傀儡で自分でどうにでもなるといふつもりかも知れない

これでアメリカ案を加へて四つの地域協定處分案が出てゐるわけで、米ソ佛案はある程度歩みよりが出來たわけだ

△南米案と理事會

南米案と雖も完全に新平和機構から獨立しようといふのではない、それには次のやうなつながりが付いてゐる、卽ち

一、地域制度によつて取結ばれた協定は凡てこれを保障理事會に提出して承認を得なくてはならない、つまり、地域的に紛爭は解決するが、その解決案は理事會の承認を得なくては最後的なものにはならないといふわけだ

二、保障理事會は、地域的制度及びその運用について檢討するに必要な期間、承認を留保し得る

三、地域制度は、その活動運用狀況について常時豐富に保障理事會に報告する義務があるといふのだ、紛爭は地域的に解決するが、その解決後は理事會に付議して、その裁斷を待たうといふのが骨子である、以上にはなほ付註がついて、地域集團の構成員は地域集團に屬することによつて何等新世界平和機構に對する義務を輕減されるものでないことを强調してゐる

英國は佛英同盟を懷に抱いてゐるからには勿論地域協定支持であるが、いまのところ何の具體案も示してゐない、ただイーデン外相が五月九日の記者團會見席上で

地域的協定は極めて大切なもので、新世界平和機構を强化するに役立つだらう、しかし、地域的協定をもつて世界機構に代へることは出來ない

と述べてゐるだけで、英國はいづれにしても自國防衞のためには地域協定も利用するし、世界機構も利用するといふ立場を明らかにした

△こね上げる團子案

地域協定審議委員會議長をつとめてゐるコロンビア外相カマルゴは八日

案が種々出來てゐるので、これをこね合せて代案を二つか三つか作るため小委員會を作るつもりだ、仲々六ケしい仕事だが、早急に解決出來ると思ふ

と團子か何か製造するやうなことをいつたのち、現在出來てゐる案を內容的に區分すると次の三つの案になると分析を試みてゐる

一、世界機構と地域制度の間に何らの關係をも欲しないもの

二、世界機構と地域制度の連繫を認め、地域協定による主なる決定に對しては理事會に拒否權を與へようとするもの

三、世界機構と地域制度の連繫は認めるが、理事會の拒否權は否定せんとするもの

カマルゴはこれ等の案の妥協案として、理事會の拒否權行使に制限をつけて常任理事國五ケ國の內三國以上が贊成しなくては拒否出來ないことにするのも一案ではなからうかと稱してゐるが、ヤルタ方式による拒否投票は一票でこと足りることになつてゐるので、これが三票も要るといふことは大國の權威失墜であることはいふまでもない、因みに、カマルゴのいふ小委員會の構成は濠洲、

昭和二十年五月十七日(木)
第三四二四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

智利、コロンビア、重慶、チエコ、エジプト、フランス、メキシコ、ノルウエー、英國、米國、ソ聯の十二ケ國に決つた

△妥協成立の見透し

APの記者は地域的協定を世界組織の中にはめ込む案は、始め考へられたよりも生むが易く何れまとまりがつくだらうといふので次のやうな見解を述べてゐる

一時意見の喰違ひが餘りにも大きいのでどうかと思はれたこの問題もどうやら解決の曙光を見たやうである、しかも各國が國家的、地域的利益の維持について何の疑念も抱かないですむやうな方法で解決すると思はれる、現在既存の諸地域的協定の有效無效の問題も、米國案によつて一應解決したと見てよい、ソ聯が米國案に歩み寄つたことはこの解決を一層容易にした、問題はチヤプルテペック憲章であるが、これはヤルタ協定の發表前に成立したもので、米洲諸國は侵略者に對して卽時行動がとれることになつてゐる、(ここでAP記者はヤルタ會談の内容は知りすぎるほど知つてゐた筈の、ヤルタ行き米代表の一人ステチニアスがチヤプルテペックの音頭を取つたことを忘れてゐる)ヤルタ協定では侵略國に對して强制行動をとるためには常任理事國の滿場一致が必要なことを規定してゐる、米國としては保障理事會の權威を減殺するやうな地域制度は容認しがたいといふ立場をとつてゐるのであるが、この問題はダンバートン・オークスの投票方式を變更して、保障理事會の行動について滿場一致を必要としないことにしたら一應の話はつくであらう、またチヤプルテペック憲章またはソ聯の双務的協定による行動について特殊な例外を設けることも考へ得るその場合は、今後はかかる例外は認めないといふ宣言を一應しておく必要が生ずるだらう、また地域制度による行動を許容する期間に制限をつけておくことも考慮されてゐる

△出來上る團子の實

そこで成立が豫想される妥協案の内容は

一、地域協定の既存のものはこれを承認して、これを保障理事會の監理下におく
一、地域協定による行動は特定の對象國に對し特定の期間を限つて承認する
一、保障理事會は地域協定による行動の結果について拒否權を有する
一、地域協定は原則的に保障理事會の事前承認を要し、世界機構の一部としての運用のみを認める
一、今後締結さるべき地域協定については、保障理事會と獨立しての行動の自由は承認しないといふやうなものになるといふのであらうが、差當り問題は、佛英同盟乃至は西歐ブロック案の將來で、ソ聯の有する地域協定が既得權利をば承認されて、英國の持たうとする地域的協定がその恩典にあづかれぬといふことになるとすれば、英國はそのまま泣き寢入りもなるまいといふもので、この問題はまだまだ簡單には片づかないとみる方が正しい、以上の地域協定論案はまだ小委員會で引掛つてゐるので、ここで、成立する案は委員會本會議にかかり、その承認を得て、第二部會(コンミツション)にかけ、そこで採んだ上で更に全體會議へ持ち込むといふ手順が必要なことになつてゐる以上、最後的決定の前途はなほはるかに遠い

【軍事情報】

操縱士自動脫出裝置

(リスボン十三日發)高速で飛行しまたは墜落して行く航空機から脫出することは風壓のため極めて困難であると同時に、プロペラに引つかけられる危險もあるが、ダウニーからのUP電報によればコンソリデーテツド・ヴアルテイー會社の技師は非常の際操縱士をプロペラの及ばない範圍に彈き出す操縱席を發明したといはれる、操作は足で行ふが現在のものは推進式プロペラの航空機のために設計されてをり、操縱士は前方に投げ出される仕掛だといふ

資料

新國際機構案と桑港會議

「エコノミスト」誌
四月二十一日號

△國際聯盟と國際機構案

ダンバートン・オークス會議で作られた新國際機構案の著しい特徴は、前例として存在する國際聯盟との關係を示さぬやうに細心の注意を拂つてゐる點である、國際聯盟といふ名稱すら棄てられた新機構は世界組織とも、一般國際組織とも、聯合國家とも呼ばれるが、國際聯盟では斷じてないのである、しかし名稱が如何に變更され、機構が如何なる修正を受けようとも、新機構は高々舊聯盟の復製でしかないやうである、しかも聯盟の缺陷の大半を引繼いでゐるにも拘らず、長所は一部しか殘されてゐない

△無力なダンバートン・オークス案

聯盟は主權國を集めた寄合世帶の國際組織であつた、新世界組織もこの點では聯盟と殆ど變らない、ダンバートン・オークス案は聯邦の組織を目標とするものではなく、單に加盟國の聯盟を結成しようとするに過ぎない、孰れの加盟國も國家主權の重要部分を放棄する必要はないのである、この根本的事實は新組織の將來を決定し行動の自由を制肘せずにはおかぬであらう、舊聯盟は大國間の紛爭を解決し得るかの如く裝つてゐたが、實際にはそれが出來なかつた、新聯盟はそんな力のあるやうな恰好を作ることすらしない、だがこれは事實上の相違といふよりは體裁上の相違かも知れない、大國間に紛爭が起らぬ限り、新組織も小規模の戰爭を防止したり、加盟國間のごたごたを解決したり、要するに舊聯盟の機關が遂行し得た有益な事業の大部分は遂行し得るのであるから、われわれは以上の限界を最初から認識し、舊聯盟の搖籃から立昇つてゐたやうな桃源鄕の夢をもつて新聯盟の誕生を迎へぬ方がよいであらう、だが不幸にしてこの事實はいまだ一般に認められてゐない、テンプルウツド卿は過日の上院で行つた提案中で次のやうな辭句を用ひた

桑港會議は國際平和組織の礎石を築き、文明生活の道德的及び物質的基準を新たに設定し、人間生活から恐怖と缺乏を除く上に缺くべからざる個人の自由を擁護する絕好の機會を提供してゐる

このやうに天上高く希望の夢を擴げたテンプルウツド卿は、更に語を繼いでダンバートン・オークス案は彼の期待にそはぬものであると頻りに歎いたのである、ダーシレー卿は更に深く夢の國にさまよひ、「新平和憲章は前大戰及び今次大戰、否過去のあらゆる戰爭によつて作り出された現狀を打破するものでなくてはならぬ」と述べた、言ひ換へれば彼は桑港會議が「歷史」の生んだすべての不幸を拭ひ去るといふ奇蹟を行ふことを要求するのである

勿論これらは理想鄕に關する隨筆のうちの極端なものに過ぎない、しかし、それ程素朴ではない願望、例へばアトレーの所謂「融通性と恒久性を有する一般平和組織」ですら加盟國の拘束なき主權の上に打建てられた新機構の前には、結局空しく消え去つてしまふであらうことを認識する必要があらう

△大國と小國の對立を繞る難關

ダンバートン・オークス會議で起草されたものよりもずつと良い國際機構案が多數あり得るのは疑ひない、だがそれらは孰れも聯合國中の大國の受容れるところとならないのである、假りに英國は主權を拋棄する用意があるとしても、米國とソ聯の態度を考慮しなければ實際的な政策は樹立し得ない、

米國は漠然たる理想主義を揭げる一方、主權の尊重を主張し、ソ聯もまた冷徹な現實主義と平行して主權の損はれざることを要求してゐる從つて假令新しい案が生れるとしても、結局ダンバートン・オークス案と殆ど變らぬものか、或ひは全然意味のないものになつてしまふであらう、舊聯盟と新聯盟の間の相違は、國家主權の尊重といふ兩者に共通する根本原則の變更にではなく、國の大小によつて主權の性質も異るといふ解釋の變化に

昭和二十年五月十七日(木)
第三四二四號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

に存する法律上の平等と實際上の不平等、地位の平等と實力の不平等との對立は少しも解決されてゐない、新機構についての議論の大部分はこの對立を繞るものであり、桑港會議の主要な難關もまたこの對立から生じよう

△「主權の平等」の意味

新國際憲章は一面においては舊聯盟規約と同樣あらゆる國家の「主權の平等」を主張する、これとても單なる空念佛ではない、事實この原則は民主主義的信念にとつて根本的な何物かを包藏してゐる、しかし他の一面においては、軍事的手段によつて平和を維持する際平等の基礎に立つのは事實上不可能だといふのである

第一次大戰後においても尙國家間の甚しい不平等といふ現實は未だ多少蔽ひ隱されてゐた、「集團安全保障」とは小國の集團が大國を抑制し得ることだとの解釋を信ずる餘地がいくらかでも殘されてゐた、世界はいまだ一征服國が中小國の主權を最近數年間の事例が示したやうに完全に破壞し得ることを夢にも知らなかつたから、それ故新憲章中武力行使に關する條項を起草するに當つて一九一九年以來何事も起らなかつたやうな考へを抱いたならば甚しく非現實的であらう、しかし、全世界到るところで主權に對する攻擊が行はれたにも拘らず、好んで主權が拋棄された例は一つとしてない、主權平等の原則は未だ喪はれてゐない、從つて假令桑港會議が實力の不平等の原則を承認するために開かれたにしてもやはり地位の平等の原則は無視し得ないのである

主權は完全且つ包括的と定義されるのであるから、ある事柄に關しては主權が平等であり、ある事柄については不平等だといふのは明らかに不合理に違ひない、だがそれが今日の世界の現實である、新機構の不平等について囂々たる非難を浴せてゐる群小國は、桑港會議において不合理な案か無かのいづれか一つを選ばねばならぬことを發見するであらう、理論上はダンバートン・オークス案を桑港會議でいくらでも修正出來ることになつてゐる、米英兩國政府は事實そのやうに考へてゐるかも知れない、しかし、同樣にソ聯政府もまた修正に贊成する用意があるかどうかは少くとも甚だ疑問である、ダンバートン・オークス會議の提案或ひはヤルタ會談の決定を他國に對して「嫌ならよせ」といつて押付けるのがこれまでのソ聯の態度であつた

△不合理な「制裁に對する拒否權」

ダンバートン・オークス案に關する議論の中心は制裁に對する拒否權を規定した條項であつただが一般に信じられてゐるやうに拒否權なるものがダンバートン・オークス案の起草者の發明だと考へるのは正しくない、拒否權の規定は聯盟規約にもある、しかも聯盟規約では大小如何なる國家も制裁の適用を拒否し得るのであるから、この方がずつと範圍が廣い、新機構案では單に大國が自國に對する制裁を拒否し得るに過ぎない、それ故安全保障會議における大國の優勢は一部論者のいふやうに完全なものではない、だが大國は制裁を受けぬのに反し小國は安全保障會議の過半數が同意するすべての判決及び制裁に服さねばならぬのは事實である、小國が不平を鳴らすのはこの點であるとはいへ小國の制裁を決定する權限のある過半數の中には安全保障會議の常任國の投票が含まれてゐなければならぬやうであるから、この事實によつて制裁に關する條項の嚴しさも多少緩和されるであらう、換言すれば大國全部に加ふるに二箇の小國或ひは中國の同意がなければ小國の制裁は行ひ得ない、小國が大國の庇護なしで侵略を開始するなどは稀な事件であるから、そんな馬鹿氣た行爲に對しては嚴重な懲戒を加へるのが至當であらう

△安全保障會議の機構

新國際機構案中で最も注目されてゐるのは安全保障會議である、總會、國際司法裁判所、經濟社會會議の役割と機能はそれほど熱心に論議されてゐない、これらの國際組織の機關は事實上すべて安全保障會議の影の中に存在し、第二義的な役割しか演じないことが一半の原因であらう

特にあらゆる國家の「主權平等」といふ非現實

的な原則を具現する總會は、ニカラガ、泰からウクライナ、白露共和國に至る各加盟國に平等な投票權を與へてゐるので一番影が薄い、總會における平等は無能力の平等と殆ど變らない、總會は廣汎に亘る議題を討議乃至考察し得るが、その大半は安全保障會議の勸告に基くものとならう、「總會は安全保障會議の處理しつつある國際平和維持並びに安全保障に關する如何なる問題に關しても自己の創意に基き勸告を行ふことを得ず」だからである、總會は極く稀に若干實質的な機能を發揮する機會を與へられてゐるが、それは安全保障會議の非常任國並びに國際司法裁判所判事の選出である、ダンバートン・オークス案の產んだ今一人の哀れな孤兒は經濟社會會議で、この會議の機能はつきり規定されてすらゐない、同會議でもまた「主權平等」の原則が絕對的に支配してゐるがそれは結局この機關が、現實的行動を執る餘地が殆どないといふ意味である、通貨資金或ひは復興銀行等の國際機關が何等かの點で經濟社會會議と結び付けられるのかどうかも明らかでない

△桑港會議前途多難

以上がダンバートン・オークス案中に發見された若干の缺陷であるが、これらは恐らくそのうちに是正されることであらう、だが新世界機構案を見ると如何にしても皮肉な氣持を禁じ得ない、舊聯盟規約には有名な「間隙」があり、法律家はそれを塞ぐのに腐心したものだが、新聯盟は誰の目にも明らかな間隙で充滿してゐる、だが新機構の對象とするものが國際關係の現狀であるのを考へればこれに冷笑を向けるのは誤りであらう、ロシアに「顏が醜いからといつて鏡を毀すな」といふ諺がある、ダンバートン・オークス案は形式的な手續で下された命令を何とか實行する一方現實に存在する國際法を受容れようとする苦心の試みである、新機構案の規模の小さいのは憐れむべきだが、これ以上のものは米ソ兩國の容認するところとなるまい、そして實行出來るだけの事しか正式に記錄しておかない方が、嘗ての文書と現實の間に溝を殘すよりも明らかに優つてゐる、新平和憲章に國家行動の掟のやうなものを付屬せしめて何らの拘束力は持たせぬが漸次その方向に向つて正式手續を進めて行く目標とせよといふ提唱も一考に値しよう

桑港會議を成功への第一歩たらしめるのは容易ではあるまい、しかし成功は小なりと雖も實質的利益を齎すが、失敗は國際間の無政府狀態は救ひ得ないといふ告白に等しいであらう

大戰重要事件日誌

（一九三九年九月——一九四五年四月二十五日）

△一九三九年

九月一日　ドイツ軍ポーランド進攻、歐洲大戰勃發
九月三日　英佛兩國對獨宣戰
九月二十七日　ワルシヤワ陷落

△一九四〇年

四月九日　ドイツ軍デンマーク占領、ノルウエー進攻
五月十日　ドイツ軍オランダ、ベルギー、ルクセンブルグ進攻　チヤーチル首相就任
五月二十九日——六月四日　英軍ダンケルク撤收
六月十日　イタリア參戰
六月十四日　ドイツ軍パリ入城
六月二十二日　ペタン政府ドイツと休戰協定締結
六月二十四日　ペタン政府イタリアと休戰協定締結
八月六日　イタリア軍英領ソマリランド進攻
九月二十七日　日本樞軸參加

△一九四一年

四月六日　ドイツ軍ユーゴスラヴイア及びギリシヤ進攻
六月二十二日　ドイツ軍ソ聯進攻

同盟通信

海外電報

(第二種郵便物認可)

八月十四日　ルーズヴエルト並びにチヤーチル「大西洋憲章」を宣言
十二月六日　ドイツ軍モスクワ三十哩に迫る
十二月七日　(米國時間)日本軍眞珠灣比島、香港等を奇襲
十二月八日　米國對日宣戰
十二月十一日　米國對ドイツイタリア宣戰
十二月十日　日本軍比島進攻

△一九四二年

一月二日　日本軍マニラ占領
二月十五日　シンガポール陷落
五月四日—九日　珊瑚海海戰
六月三日—六日　ミツドウエー沖海戰
六月十二日　米海軍省日本軍のアリユーシヤン列島上陸を發表
七月一日　樞軸軍アレキサンドリア西方六十哩エル・アラメインで進擊停頓
七月四日　米航空部隊中型爆擊機初の對獨攻擊を實施
八月七日　米海兵隊ガダルカナル上陸
十一月八日　米英軍西北アフリカ上陸

△一九四三年

一月十四日—二十四日　カサブランカ會談
一月三十一日　ドイツ軍スターリングラード撤收をソ聯情報局發表
五月十三日　チユニジアの樞軸軍無條件降伏—北阿戰終了
七月十日　反樞軸軍シチリア島上陸
七月十二日　ソ聯軍大攻勢開始
九月三日　イタリア降伏しイタリア艦隊、地中海制海權反樞軸軍に移る
九月九日　米英軍イタリア西岸サレルノ上陸
十一月二十日　米軍ギルバート諸島上陸
十一月二十二日—二十六日　カイロ會議對日案審議
十二月一日　テヘラン會談對獨作戰計畫審議
十二月十五日　米軍ニユー・ブリテン諸島進攻

△一九四四年

一月四日　赤軍戰前のポーランド國境突破
二月二日　米軍マーシヤル群島ケゼリン、ロイ、ナムール島上陸
二月十七日—十八日　米機動部隊トラツク島攻擊
三月四日　米空軍B17ベルリン初爆擊
三月二十二日　日本軍ビルマより印度マニプール州に進入
四月二日　赤軍ルーマニア進入
六月四日　反樞軸軍ローマ入城
六月五日　B29登場バンコツク初爆擊
六月六日　反樞軸軍ノルマンデー沿岸に上陸
六月十五日　米軍サイパン島上陸
六月十五日　支那基地B29九州爆擊、B29の對日初爆擊
七月二十日　ヒトラー總統の暗殺未遂事件
七月二十一日　米軍大宮島上陸
七月二十四日　テニアン島上陸
八月八日　日本軍湖南省衡陽占領
八月十二日　反樞軸軍フイレンツエ占領
八月十五日　反樞軸軍南佛上陸
八月二十五日　反樞軸軍パリ入城
九月二日　英軍ベルギー突入
九月三日　英軍ブラツセル占領
九月十五日　米軍ペリリユー島上陸
九月二十二日　赤軍エストニア首都タリン占領
十月六日　赤軍ハンガリア進攻
十月十三日　赤軍ラトヴイア首都リガ占領
十月十四日　反樞軸軍アテネ占領
十月二十五日　赤軍ノルウエー進入
十一月十六日　反樞軸軍フランス、ドイツオランダで大攻勢開始
十一月二十二日　米軍ケルン平原でレール河の線に進出
十一月二十四日　B29東京初爆擊
十二月三日　米軍ザール河渡過
十二月三日　日本軍貴州省進攻貴陽八十哩に迫る
十二月十六日　ドイツ軍ベルギー、ルクセンブルグで反擊開始

△一九四五年

一月九日　米軍ルソン島リンガエン灣上陸

二月三日　米軍マニラ突入

二月十三日　赤軍ブダペスト占領

二月十九日　米軍硫黄島上陸

二月二十三日　反樞軸軍レール河渡過

三月六日　ケルン占領

三月七日　米第一軍ライン河渡過

三月十四日　米第三軍モーゼル河渡過

三月二十二日　米第三軍ライン河渡過

三月二十四日　ドイツ軍ライン河防衛線破る

四月一日　米軍沖縄本島上陸

四月七日　硫黄島基地戰闘機B29を護衛東京爆撃

四月九日　赤軍東プロイセン首都ケーニヒスブルク占領

四月十二日　ルーズヴエルト死去、副大統領トルーマン大統領就任

四月十三日　赤軍ウイーン完全占領

四月十六日　反樞軸軍チエコスロヴアキア國境に到達

四月二十一日　反樞軸軍ボロニア占領

四月二十二日　赤軍ベルリン市郊外突入

四月二十五日　赤軍ベルリン市突入

歐洲戰終幕における要人連の消息

歐洲戰爭の終了に伴ひこれまでドイツ各地に抑留されてゐた聯合諸國の要人は續々聯合軍により釋放されてゐるがその主なる者は次の通り

フランス元首相　レオン・ブルム

〃　ポール・レイノー

〃　エヅアール・エリオ

〃　エヅアール・ダラデイエ

フランス元外相　イヴオン・デルボ

オランダ陸相　J・J・C・フアン・デイク

フランス軍元參謀總長　マリー・ギユスタフ・ガムラン

〃　マクシム・ウエーガン

ワルシヤワ蜂起軍司令官　タデウス・コモロフスキー（ボール將軍）

ベルギー國王　レオポルド三世

同妃

七・二〇事件犯人

アレツクス・フオン・シユタウフエンベルク

プロシア太公　フレデリツク・レオポルド

ルール工業財閥　アウグスト・テイツセン

ハンガリー攝政息　ニコラス・ホルテイ

元ベルギー占領地駐屯軍司令官

アレキサンダー・フオン・フアルケンハウゼン

元スペイン駐劄公使　エリツヒ・ヘバーライン

ヘツセ太公　フイリツプ

モロトフ外務人民委員の甥　アレクセイ・ココシン

ドイツ軍上級大將　フランツ・ハルダー

元ギリシヤ軍總司令官元帥　アレキサンダー・パパゴス

一方聯合軍のために逮捕されたナチ黨指導者、その他樞軸國親ナチ派要人の主なる者次の通り

ハンガリー首相　フエレンツ・サラシー

ハンガリー元首相　ミクロス・カライ

イタリアフアシスト共和國國防相　ロドルフオ・グラチアニ

フアシスト黨書記長　カルロ・スコルツア

元フアシスト黨書記長ロベルト・フアリナツチ

ナチ黨出版局長　マツクス・アマン

ドイツ軍事評論家　クルト・デイトマール

ドイツ前皇太子　フリードリツヒ・ウイルヘルム殿下

同皇室　アウグスト・ウイルヘルム殿下

ドイツ經濟相　ワルター・フンク

ドイツ國務相　ヒヤルマール・シヤハト

駐伊大使　フオン・マツケンゼン

ドイツ元外相　フオン・パーペン

ドイツ國務相　フオン・ノイラート

ベーメン・メーレン保護領總監　ウイルヘルム・フリツク

元帥　フオン・ルントシユテツト

オランダ政府首相　アントン・ミユツセルト

ヒトラー總統付首席副官　ウイルヘルム・ブリユツクナー

親衛隊部隊長　ハンス・ゲツベルス（ゲツベルス博士弟）

元帥　フオン・クライスト

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　五　月十八日(金)
第　三　四　二　五　號

同盟通信
海外電報

(112)

十三日の名古屋爆撃におけるB29の來襲機數は從來と比較にならぬ多數だつた、敵の表現を借りれば The far greatest superfortress fleet of war だ、すでにこの規模の燒夷攻撃は恐らく歐洲の空中戰史を乘り越えてゐると思はれる、機數においては歐洲の空中作戰にまだ遠く及ばぬにしても、B17やB24、B29とでは飛行性能においても爆撃搭載量にしても桁がちがふ、距離の負擔差は航法の向上と武裝の輕減によつて十分補はれ、現在來襲するB29の爆彈は一機當り六噸乃至七噸といふところらしい

敵にとつて宣傳價値の最も大きな東京空襲が將來一層苛烈な形で來ることはいふまでもないが、四月十五日以來今日まで京濱地方に空襲らしい空襲がなかつたことを考へると、次の帝都爆撃は從來の概念と全く類を異にするものだとみなければなるまい敵司令官の豪語をその儘受け入れればB29八百機の燒夷攻撃も可能でないとはいへないままで常に防空態勢が敵の爆撃戰術の變化に一歩づつ立ちおくれてゐたことを思ふならば、今日こそ日本國民特に東京都民はしつかり褌を締め直して萬全の對策を立てるべき時ではあるまいか、氣休めをいふ時機でなく、事實氣休めをいふ人間もなくなつた、わが大戰果のために敵の攻撃規模が小さくなるとか兵員損害の甚大なるに堪へかねて帝都來襲が杜絶えたとか、いふ人間があるとすれば頭がどうかしてゐるのだ、いままでの例からみて出血が酷ければ酷いほど、わが邀撃が烈しければ烈しいほど猛り立つて來る敵ではなかつたか、A26が七五粍砲の砲口を並べて大擧來襲しても驚かない心の用意はいいか、都心の堅牢建築物に對しロケツト彈の雨が急降下爆撃の高性能爆彈の嵐が襲つても、慌てないだけの具體的準備と覺悟は出來てゐるか、敵を知り對策が十分ならばいかなる攻撃をも恐れる必要はない、怖いからといつて目を閉いでは却つて危いのだ

【目　次】

ドイツ處分案につき協議……一三六〇
デーニツツ元帥俘虜扱ひ……〃
獨降伏艦船の總數……〃
和蘭内閣總辭職……一三六一
ベネシユ首都乘込み……〃
ユーゴの獨軍屈伏……〃
ヒムラーなほ所在不明……〃
米英協案で押し切りを意圖……〃
【桑港會議】
再び四つの自由を提案……一三六二
パレスチナ問題登場……〃
アラブ聯盟も自治を要求……〃
ソ聯新機構の常設地提案……〃
三頭會談は會議の終了後……〃
【ドイツ】
占領地の報道は自由……〃
國境を閉鎖……一三六三
俘虜に破壞村落の復舊を强要……〃
敗戰の將、兵を語る……〃
ゲーリングは第一級戰爭犯罪人……〃
米英軍捕虜の搬送開始……〃
戰爭犯罪人二千を死刑……一三六四
戰後のハンブルグ……〃
ベルリン動き初む……〃
【歐　洲】
カ・ウ自治政府ソ聯編入を希望……〃
ソ芬通商協定成立……一三六五
ソ芬國境は共同委員會で畫定……〃
【米　洲】
武器貸與量は調整……〃
對日戰工業統制繼續……〃
炭坑罷業に强權發動か……〃
小型機具類の生產制限撤廢……〃
上院、物價管理局を非難……〃
ベスレヘム製鋼とまる……一三六六
上院議員比島へ……〃
【英　帝　國】
アイゼンハワー倫敦へ……〃
【特　輯】
桑港會議と國際機構案（下）……一三六七
歐洲戰米國參戰史……一三七一
對ソ聯武器貸與再檢討……一三七三
信託統治案基準文書の必要……〃

ドイツ處分案につき協議

＝各將軍ロンドンに集る＝

（ストツクホルム十六日發）ロンドン來電＝聯合軍最高司令アイゼンハワー將軍は十六日ダウニング街十番通り官邸に英國首相チヤーチルを訪問し懇談を告げた、アイゼンハワー將軍と同時に、モントゴメリー將軍並びに第十二集團軍司令オマール・ブラドレー將軍が前線からロンドンに歸還したが、ロイター通信社の軍事記者ジョン・キムチは次の通り報道してゐる

「チヤーチル首相は近く下院でドイツ國内の現狀について報告するが、アイゼンハワー將軍等が前線から歸還したのは右報道を前にチヤーチル首相に情報を提供するためと解される、先づドイツ人戰爭犯罪人の處分だが聯合各國はそれぞれ戰爭犯罪人の表を作つてをり英國の戰爭犯罪委員會も表を持つてゐるが、首相は差當り内容は發表しない方針だ、その他チヤーチル首相が前線の司令から情報の提供を求める事項は

一、デーニツツ政權の現在並びに將來における地歩並びにドイツ武裝兵力の全面的武裝解除策

一、聯合各軍のドイツ領占領地帶の調整案、占領地帶は既にクリミヤ會議その他で大綱が極まつてゐるが、現に英軍並びに特に米軍は一部戰線で可成り劃定線を越えてゐる

一、ドイツ管理中央委員會の構成、現在英軍のアレキサンダー元帥がオーストリヤ領並びに地中海方面の戰線整理に忙殺されてゐるので恐らくモントゴメリー將軍が英軍代表として委員會に參加することとならう

一、二千萬乃至三千萬に及ぶ歸る國も歸る家もない流民問題等であらう」

デーニツツ元帥俘虜扱ひ

（ストツクホルム十六日發）フレンスブルグ放送局が「ドイツ北方軍司令ブツシユ元帥」の布告を放送して以來、デーニツツ政權の存續に對し聯合國陣營内に不滿の聲漸く高く、特にソヴエト言論機關はデーニツツ元帥並びに全閣僚を戰爭犯罪人として投獄することを主張、「ヘラルド・トリビユーン」紙、「ニユーヨーク・タイムズ」紙等もデーニツツ政權の援助を借りず速かにベルリンにドイツ管理委員會を開設してドイツの統治を運營することを要求するに至つた、以上の非難に鑑み聯合軍最高司令部はデーニツツ元帥らを俘虜として扱ふに決定した樣子で、パリからのロイター電報は十六日次の通り報道してゐる

ドイツ軍政長官代理ルシユス・クレー中將は十六日記者團と會見し、デーニツツ元帥並びにゲーリング元帥が聯合軍の俘虜になつてゐる旨言明した、アイゼンハワー將軍がデーニツツ元帥を「友好的敵國人」として取扱ふ旨言明したことに基き、ゲーリング元帥を初め、同じ範疇に屬するドイツ要人は特定諸地點に幽閉されてゐる、これ等の要人に對しては必要なものを與へるが贅澤は絶對に許さない、ドイツ人戰爭犯罪人は彼等の犯罪行爲に對し生命と自由と汗と血とをもつて贖ひをせねばならない

獨降伏艦船の總數

（リスボン十六日發）パリ來電＝アイゼンハワー司令部は十六日ドイツ艦船の降伏に關する豫備的報告において次の通り發表した

客船オイロパ（四、九七四六）、ブレーメン五一七三一）並びに巡洋艦二隻を含むドイツ艦船は各地の港灣で發見され聯合軍に降伏した、但し以上の内半分は沈沒するか孔があけられてゐるか乃至は損傷をうけてゐる驅逐艦から砲艦及び掃海艇に至る艦艇百十隻は種々の大きさの商船六十五隻と共に大した損害はうけてゐなかつた、オイロパは比較的良好な狀態にあつたがブレーメンは修理の見込みなく完全に駄目だつたキールでは聯合軍は潛水艦三十一隻を無疵で鹵獲し、さらに準備組立式潛水艦十六隻も發見されそのうち九隻は完成してゐたが、何れも故爲に破損されてゐた、他の潛水艦二十一隻も孔をあけられるか乃至は損傷を蒙つた狀態で發見された、巡洋艦、客船、潛水艦に加ふるに聯合軍は商船、掃海艇、哨戒艇、上陸用艇、渡船、快速艇、彈藥船等を發見したがそのうち一部は使用出來ない

昭和二十年五月十八日(金)
第三四二五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

和蘭内閣、總辭職

(ストツクホルム十六日發)ロンドン來電＝ヘルブランデイを首班とするオランダ内閣は十六日總辭職した、ただし閣僚は女王ウイルヘルミナの要請に基いて新内閣が成立するまでは引續き現地位に留まる筈である、ヘルブランデイの言明によれば今回の辭職は政權内部の意見對立等によるものではなく、オランダの全面的解放と同時に總辭職を行ふとのかねてからの誓約に基くといはれ、新たに解放地區代表を容れて内閣を强化する意向と見られる

ベネシュ首都乘込み

(ストツクホルム十六日發)プラーグ放送によればチエコスロヴアキア大統領ベネシュは、ブラスチラーヴア、ボルノを始めチエコ西部各地を一週間に亘り歷訪した後、十六日午後プラーグに乘り込んだといはれる

ユーゴの獨軍屈伏

(チユーリツヒ十五日發)ベルグラード來電＝ユーゴスラヴイア軍司令官チトーは十五日次のやうに發表した

ユーゴスラヴイア國内の最後のドイツ軍部隊は三日間に亘る激戰の後遂にユーゴ軍の前に屈服した、これは恐らく歐洲で抗戰を續けてゐた最後のドイツ軍である

イタリアで獨艦艇三隻降伏

(リスボン十六日發)ローマラジオ十六日の放送によれば、潛水艦一隻その他輕艦艇二隻がアドリア海岸のアンコーナ港に入港、米英軍に降伏したといはれる

ヒムラーなほ所在不明

(リスボン十六日發)元ドイツ國内軍總司令官ヒムラーの所在は依然謎に包まれてゐるが、デンマーク義勇軍は十六日獨丁國境フレンスブルグで平服をまとつたヒムラーの姿を見受けたとも傳へられ、他方イタリア北部ボルザノからのAP電報によれば目下同地に令孃と共に抑留されてゐるヒムラー夫人は十五日次の通り述べたといはれる

主人からは四月中旬以來全く消息がなく、恐らく二、三週間前に死んでしまつたものと考へてゐます、私達が主人に最後に逢つたのは昨年十一月で、たとへ今生きてゐるにしても何處にゐることか見當もつきませんだから主人が捕虜になつたといふやうな噂を聞くとドキツとします

赤軍總統の遺骸搜索を續く

(ストツクホルム十六日發)モスクワ來電によればベルリン市内の赤軍は地下都市で發見されたドイツ人の遺骸を依然、詳細に亙つて檢べてゐる樣子で、現在までヒトラー總統に酷似した遺骸六つを發見したが、うち四つは既に總統でないことが判明し、殘る二つについて兩檢査を行つてゐるといはれる

ソ聯映畫ベルリンに入る

(ストツクホルム十六日發)モスクワ放送によれば、ベルリンには早くもソ聯映畫が持ちこまれ、「一九一八年のレーニン」、「ピーター大帝」らがベルリンの映畫館で上映されてゐるといはれる

米妥協案で押し切りを意圖

(リスボン十六日發)サンフランシスコ來電によれば米國務長官ステチニアスは十五日中南米諸國代表と會見して米國側の妥協案を提示、論爭の後漸く承認を得たが、同日直ちに五國會談を開催、ソ聯代表の缺席のまま英、佛、重慶三國の承認をうけたと傳へられる、ロイター電報はソ聯代表缺席の理由としてあまりにも急に會談を開催したため出席の遑がなかつたためだと稱し、米國の妥協案にはソ聯も確實に贊成しようと樂觀してゐるが地域的取極めのやうな重大問題の解決がソ聯の參加を俟たずに進められてゐること自體微妙な空氣を暗示する、因みに米國側の妥協案の骨子は地域的取極めに對する安全保障理事會の優位を認める反面、地域的機關の自衛措置を認めるにあり、依然として國際機構骨抜きの危險は取り除かれてゐない

【桑港會議】

再び四つの自由を提案

（リスボン十五日發）サンフランシスコ來電＝米國務長官ステチニアスは十五日記者團に對して次の通り聲明した

新國際安全保障機構のなすべき第一の任務は、四つの自由に基く國際權利の法を草案することである、新機構の經濟社會委員會は言論の自由宗教の自由、困窮からの自由及び恐怖からの自由につき確たる基準を樹立すべきだ、また米國は適當な時期に依存民族に自治を許す方針を支持する

パレスチナ問題登場

（リスボン十四日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議國際信託統治委員長を務めるニュージーランド首相フレーザーは十四日次の通り言明した

十四日初めてパレスチナ問題が會議において論ぜられたが、各國代表は同地方における新統治機關の論議に際して出來るだけ先入主を働かさぬよう留意した

アラブ聯盟も自治を要求

（リスボン十五日發）カイロ來電＝アラブ聯盟當局は十五日次の聲明を發表した

桑港會議で中南米諸國代表が提案してゐる如く米洲を新國際機構から絶緣することが許されるならば、アラブ聯盟も當然同じ權利を主張してもよい筈だ

ソ聯新機構の所在地提案

（リスボン十四日發）サンフランシスコ來電によれば、ソ聯は十四日新國際機構の所在地としてチエコスロヴアキアの首都プラーグを提案したといはれる、チエコは過般ソ聯と安全保障條約を締結事實上ソ聯の衞星國と化してゐる

三頭會談は會議の終了後

（リスボン十五日發）英國首相チヤーチルは十五日下院において近く三頭會談の開催されることを「衷心から希望する」と述べたが、ワシントン來電によれば米國大統領トルーマンも十五日の記者團會見において同じ希望を表明、次の通り言明したといはれる

英國外相イーデンと會見した際、三頭會談の開催について打合せを行つたが、最後的決定には到達しなかつた、三頭會談では主として講和問題が討議されるが、會談開催は桑港會議の閉會前でないことだけは確かである

會談開催地は大體歐洲と一般にみられてゐるに拘らず、ワシントン政界筋はスターリン議長がソ聯を遠く離れ得るかどうかを依然疑問視してゐる

モロトフ外相モスクワ着

（ストツクホルム十五日發）モスクワ放送はモロトフ外務人民委員が十四日モスクワに到着した旨十五日發表した

【ドイツ】

占領地の報道は自由

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝米國戰時情報局總裁デーヴイスは「米英並びにソ聯の新聞雜誌は當分の間ドイツ占領地内へ入れさせない」と言明したが大統領トルーマンは十五日以上デーヴイスの對獨言論政策は誤りであるとして左の通り述べた

余は軍機保護に牴觸しない範圍内においてドイツ領内に報道の自由を普及さすべきであるといふ點でアイゼンハワーと意見を一にしてゐる、デーヴイスは僞つて以上の如き言明をした譯ではなく唯既に關係者間で意見の一致を見てゐた政策を誤解しただけだ

アイゼンハワーは出版物のドイツ移入に關するいかなる命令もまた政策も發表したことはないと余に傳達して來てをり、更に彼は報道の自由も軍機保護に抵觸しない範圍内でドイツ内へ普及さすべきである、同時に我々はナチやドイツ軍國主義者達に報道の許可を與へて民主々義を攻撃するために彼らが民主々義的權利を誤用しこれによつて平和を失はないやうにしなければならぬ、時期がくれば勿論ドイツに對し完全な報道の自由を與へると余に報告してゐる

昭和二十年 五 月十八日(金)
第 三 四 二 五 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

國境を閉鎖

(チューリツヒ十五日發)十五日夜のルクセンブルグ放送によれば獨占領軍は戰爭犯罪人やその他捜査中の人物の逃亡を阻止するため十五日ドイツ國境を閉鎖したといはれる

俘虜に破壞村落の復舊を强要

(リスボン十五日發)ドイツ軍俘虜の强制勞働は既にフランス各地で始められてゐるが、「ニューヨーク・タイムズ」紙のパリ電報は十三日左の挿話を傳へてゐる

ドイツ軍俘虜は自分らが破壞したフランスの町を建て直さうとしてゐる、ドイツ軍俘虜百五十名は十二日午後オーブ縣のブシエール村に送られてきた、この村は一九四四年八月二十日、フランスから撤退中のドイツ軍が總數二、三百名の住民のうち六十二名を殺害した後破壞し去つたのである、俘虜は生殘りの住民の前に整列させられ次いでオーブ縣知事は當時の狀況を回想して長廣舌を振ひ、最後にかういつた

「ドイツ人は故意にこの村を破壞した、ドイツ人はまたこの村を建て直すであらう」

ナチス政權前の書籍再版

(リスボン十四日發)パリ來電によれば聯合國軍政當局はヒトラー總統の政權獲得後禁止となつてゐた教科書類の大量再版發行を計畫中で學校再開と同時に之を全國的に使用することになつたといはれる、ドイツ國內で最初に再開されるのはアーヘン市の諸學校である

敗戰の將、兵を語る

(リスボン十五日發)米將兵向け新聞「星條」の前線特派員は、米第七軍に逮捕されたドイツ前參謀總長大將グーデリアンが次の通り語つたと十五日傳へてゐる

歐洲遠征軍のノルマンデー作戰當時ルントシュテットの代りに余が西部戰線の指揮に當つてゐたならば上陸を喰ひ止め得たであらう、ドイツ軍は戰爭終結當時なほ各戰線をあはせれば戰車五千臺以上を持つてゐた、世界各國の戰車の順位を決めれば、ドイツの虎戰車が第一位で、スターリン戰車が第二位、米國のシヤーマン戰車が第三位だ

ゲーリングは第一級戰爭犯罪人

(リスボン十五日發)ロンドン來電=最近英國內の各紙はゲーリングに對する態度が手緩いと非難し、更にソヴエト政府機關紙「イズヴエスチア」の如きはゲーリングの卽時處刑を要求してゐるがこれらの非難に應へて戰爭犯罪人委員會は十五日夜次のやうに發表した

最近の新聞紙上の論議に鑑み戰爭犯罪委員會は一九四四年十一月委員會によつて決定された戰爭犯罪人名簿第一級の部にヘルマン・ゲーリングの氏名を記載した旨ここに聲明したい

ヒムラーの家族逮捕說

(チューリツヒ十四日發)ブレンネル峠地區からのUP電によれば、イタリア領チロル地方においてヒムラーの夫人及び娘と覺しき二人のドイツ婦人が米第八十八步師團の將兵によつて逮捕されたといはれる

ヒムラーの腹心も逮捕

(チューリツヒ十五日發)オーストリアからのINS電報によれば、ドイツ祕密警察の元締ヒムラーの腹心の一人エルンスト・カルテンブルンナー博士は十四日オーストリアの山中で逮捕されたが彼は身元を祕して逮捕の手を逃れるため口髭を剃り落してゐたといはれる

米英軍捕虜の搬送開始

(リスボン十五日發)ロンドン來電=ドイツ領內で解放された米英軍の捕虜約七千五百人は、十五日米英兩國航空隊によつてドイツ領外へ搬送された、右のうち三千人は空の要塞百機で又四千五百人は英空軍のランカスター機で夫々運ばれた

戰爭犯罪人二千を死刑

（チューリツヒ十五日發）ソフイア來電によればブルガリア人民法廷は昨年末から開始した戰爭犯罪人の裁判をこの程終了したが、死刑を宣告された者は二千七名に上り一千九百八十六名は既に刑の執行を終り殘餘の二十一名は未だ逮捕されてゐない者のみといはれ、その他一ケ年から終身に亘る禁錮の判決を下された者は三千六十四名に上る

戰後のハンブルグ

（リスボン十五日發）ロイター通信記者マーチンは英國が戰後の對獨工作の據點として選んだハンブルグ港の昨今の姿をつぎのやうに報じてゐる

このドイツの巨港は交通連絡並びに補給の中心として英軍占領下のドイツ第一の都市並びに首都として發展させられるやうに計畫されてゐるドイツの穩健派や左翼がナチ黨によつて壓倒されるまでハンブルグは多年に亘つてナチ黨に對する政治的反對勢力の中心となつてゐたが、今やこの市はドイツ占領地に對する英國の行政組織の中で最大の役割を果すこととなつた、市内のすべてのドイツ側銀行は十五日再び店を開け軍政當局の課した制限内で合法的な取引を開始し、英軍當局はナチ黨の領袖やドイツ軍民の要人が直接間接に保有してゐた多額の銀行勘定を凍結した、保險會社もまた營業を開始した、通りには人が雜踏し、電車も二、三日中には動き出すだらう、食糧は統制されてゐるが市の境界附近で闇取引が行はれるのを防止するには强力な軍事上の措置が必要だ、戰前からハンブルグ市長を勤め英軍の入場後も引續きその職に止つてゐたカール・クログマンはこのほど職を解かれた

ベルリン動き初む

（ストツクホルム十五日發）モスクワ放送＝ベルリンの大通りは既に瓦礫も取り片付けられ二十四時間の交通が許されてゐる、地下鐵も一部は二十五日から再開される豫定だ、工場は運轉を始めてゐるし電氣も間もなく通ずることになつてゐる

投降獨潛水艦數

（リスボン十五日發）ロンドンからのロイター電報は降伏後のドイツ潛水艦の動靜について十五日次のやうに報じてゐる

ドイツ軍崩壞の當時海上にあつたドイツ潛水艦の半數以上が現在投降してゐる、卽ち十五日午後までに三十七隻に上るドイツ潛水艦が大西洋兩岸の諸港に投降したが英國西部水域海軍司令官モートン十四日の聲明によれば歐洲戰終了の當日海上にあつたドイツ潛水艦の數は五十乃至七十隻以上を出なかつたやうだ、殘餘の潛水艦中の若干は未だ降伏命令を受領してゐないかも知れないが、そのうちのあるものは日本に逃避しようと試みるか乃至は勝手にゲリラ戰の擧に出る疑ひがある、これにたいしては海軍及び空軍によつて總攻擊が開始される筈だ、以前の推定によればドイツ潛水艦の總兵力は二百乃至三百隻とされてゐたが、この中には恐らくノルウエー、フランス及びドイツの海軍基地で鹵獲されたり坐礁したりしたもの多數が含まれてゐるだらう

【歐　洲】

カ・ウ自治政府ソ聯編入を希望

（リスボン十五日發）プラーグ放送によれば新チエコスロヴアキア首相フイエルリンゲルは十五日つぎの通り言明したといはれる

チエコのカルパート・ウクライナ地方に自治政府が樹立され、目下のところチエコ政府の權威を認めてゐるがソヴエト聯邦への編入を希望してゐる

スイス輸出制限を一部撤廢

（チューリツヒ十四日發）スイス政府は一九四四年十月一日來講ぜられた軍需品輸出制限の一部を五月十八日以降撤廢するに決定、この結果航空機部分品、ラジオ、電話機その他機械類が輸出出來ることとなつたが、武器、爆藥等は依然輸出を禁止されてゐる

昭和二十年 五 月十八日(金)
第 三 四 二 五 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

ソ芬通商協定成立

(ストツクホルム十五日發)ヘルシンキ來電＝フインランド政府は十四日夜次の通り發表したフインランド代表並びにソヴエト聯邦代表は價格一千七百萬弗の物資の交換を規定する通商協定に調印を了した

ソ芬國境は共同委員會で劃定

(ストツクホルム十五日發)ヘルシンキ來電＝フインランド政府はフインランドよりソ聯に割讓せるペツアモ地方の新國境がソ芬共同委員會によつて劃定せらるることに決定した旨十四日夜發表した

【米　洲】

武器貸與量は調整

(リスボン十五日發)サンフランシスコ來電＝國務長官ステチニアスは武器貸與問題について左の通り言明した

武器貸與は完全な勝利を出來るだけ早く效果的に達成し、且つ生命の犧牲を少くするに必要な程度でソ聯、英國、フランス、オランダの各國乃至その他の國に供給されるであらう、供給物資の種類並びに量は今後も戰爭情勢の變化に照應して再檢討を加へまた調整されよう

對日戰工業統制繼續

(リスボン十五日發)ワシントン來電＝戰時生産局長官クルーグは十五日記者團會見で民需生産再轉換計畫について左の通り說明した

軍需生産の削減が豫想されたよりも僅かに少なかつたため自動車や冷藏庫等の耐久消費財は九月以後まで大量生産が出來ない、しかし電氣パン燒器や眞空掃除器のやうな比較的小型の器具は七月から多量に製造されることとならう、戰時生産局は對日戰用の軍需生産を確保するため必要な工業統制措置をすべて引續き實施する意向で金屬割當のための機構は多分一九四五年中存置されよう、しかし七月一日からは更に若干の民需品製造に對し鋼鐵、石炭等の使用制限が一部緩和されよう

日本産織物の閉出しを要求

(リスボン十二日發)ニユーヨーク來電＝織物輸出協會會長ウイリアム・プランツは十二日同協會年次大會で次の通り述べた

戰後日本の經濟復興を阻止するため、日本産織物は世界市場から閉出すべきで南米、比島、中東その他日本と地域的若くは政治的に利害關係にある諸國向けの日本産織物の輸出は禁止されなければならない、完全に使用し得る紡績機械は賠償として支那へ移讓されるべきだ

炭坑罷業に强權發動か

(リスボン十五日發)ワシントン來電＝ペンシルヴアニア州の無煙炭坑罷業は五月二日以來、未だに解決を見ず石炭の損失量は既に二百五十萬噸に達したといはれ、軍需生産に重大な支障を與へてゐるが、大統領トルーマンは十五日記者團に對し政府は無煙炭坑の罷業を終らせるためには必要な一切の手段を講ずる方針で、遠からず罷業炭坑夫七萬二千名を職場に戻す措置が採られる筈だと言明した

小型機具類の生産制限撤廢

(リスボン十五日發)ワシントン來電＝戰時生産局は十五日、寫眞機附屬品及び事務所用のすべての機具類に對する生産制限を撤廢した、なほタイプライターに對する制限は既に先週撤廢されてゐる

上院、物價管理局を非難

(リスボン十五日發)ワシントン來電＝上院農業委員會は十五日報告書を發表、現在の物價管理局乃至戰時食糧局とは、獨立した食糧問題に關する最高統制機關の設置を提案した、右提案は同委員會において十三票對二票で可決されたもので、新機構設置案の理由として同報告書は物價管理局が今日までに食糧の價格統制、割當規則等において失敗したためだと述べてゐる

ベスレヘム製鋼とまる

（リスボン十四日發）ニューヨーク來電＝米國最大のベスレヘム製鋼會社ラツカワンナ工場（バツフアロー南部）の職工千百名は勞働條件に關する紛爭のため、十四日一齊に職場を離れ、軍需上重要な同工場の鐵鋼生産はまつたく停止するに至つた

棉花輸出狀況

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝上院議員イースランドは十四日上院で棉花の現況に關し次の通り述べた

一時棉花の滯貨が七百萬乃至八百萬梱に上つたことがあるが、商品金融會社の手により棉花の價格水準に影響を及ぼすことなく捌かれ現在では三百四十七萬六千梱にまで減少した、この內四十二萬八千梱は十分軍需のみでも消化される優良品だ、商品金融會社は現金取引により從來每月八萬梱を輸出してゐる、これには現在の輸出補助金制に基く武器貸與は含まれてゐない

上院議員比島へ

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝上院議員ミラード・タイデイングスを首班とする使節團一行九名は十五日陸軍機に搭乘比島に向つた、右使節團の外に近く上院外領委員會委員五名からなる視察團も比島に赴く筈である

【英帝國】

アイゼンハワー、倫敦へ

（リスボン十五日發）ロンドン來電＝アイゼンハワー並びに第十二集團軍司令オマール・ブラドレーは十五日空路ドイツからロンドンへ到着した

食糧更に制限か

（ストツクホルム十五日發）食糧相リユーリン大佐はワシントンで米加兩國代表と食糧政策について協議を遂げた後、十四日ロンドンに歸任したがロンドン來電によれば十五日記者團との會見で次の通り言明したと傳へられる

米加兩國代表と交涉した結果に基いて英國內の消費者に出來るだけ不便を與へずに如何にして食糧の節約を圖るかについて食糧省で研究してゐる所だ、歐洲の食糧不足に鑑み英國民は現在既に甚しく制限された食糧について更に一段と節約せねばならぬ譯だが、五年有餘に亘る戰爭の後だけになかなか困難だ

西亞貿易有望

（リスボン十五日發）ロンドン來電＝下院議員H・C・ロングハーストはイラン、イラク、シリア、エジプト、パレスチナ各國を旅行し最近歸國したが、十五日ロンドン商業會議所の會合において次の通り述べた

西亞各國の英國に對する好意は從來に例を見ないほど強く感じられた、顧客の需要及び土地に適した價格等を研究する勞を厭はなければ西亞との貿易は前途有望だ、資本の活用と誠實こそわれわれの有する大切な資產ではないか

埃英戰債決算準備

（ストツクホルム十五日發）カイロ來電＝エジプト政府に對する英國の戰債三千萬英磅餘の商品機械等の輸出による淸算のため近くエジプト政府と接衝すべき英國商工使節團がカイロに到着することになつてゐるが、これに對しエジプトでは國內需要の調査並びに英使節との商議のために既に財界、產業界の專門家をもつて委員會が組織されてゐる

濠洲空軍查問委員會

（リスボン十五日發）シドニー來電＝濠洲空相ドレークフオードの任命せる「前線地區空軍將校の辭表提出に關聯する諸問題」の調査委員會は十五日メルボルンで查問會を開いた、これに關し「シドニー・サン」紙は次の通り報じてゐる

辭表を提出せる將校の中には大佐コールドウエル、大佐アーサー、中佐ギツプスその他の空軍將校がゐる、コールドウエルの寸斷的な取引に關する證據固めが行はれる他、高級將校の間でみかけの立派な航空作戰を作り上げるために生命の犧牲を賭けて無益の出動を强ひられてはかなはないと煽動した事件などもあるといはれる

昭和二十年五月十八日(金)
第三四二・五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

桑港會議と國際機構(下)

木下秀夫

△小國の立場

桑港會議並びに新國際機構案において、正に踏んだり蹴つたりの氣の毒な待遇を受けてゐるのはいはゆる中小諸國である、桑港會議招請國たる大國は桑港會議並びに國際機構に參加し得る國家の條件を明確に規定した、「平和愛好國」がこれであり、しかして平和愛好國とは日獨兩國と交戰狀態にある國家を指すのである、さればこそ、トルコエジプト等の西亞各國あるひは中南米諸國にして、いまだ日獨兩國と外交關係を維持し乃至は外交關係は斷絶しながらも交戰狀態に入つてゐなかつた國々は今年のはじめから二、三月頃にかけて桑港會議に參加したいばかりに、恰かも思ひ出したかの如く相次いで日獨兩國に對して宣戰を布告したのである

ソ聯が日本と交戰狀態にないのは勿論のこと、これと外交關係を維持しつつも、なほ且つ「平和愛好國」の一つとして會議招請國となつてゐる不思議な事態を米英兩國が如何に釋明せんとするかは一先づおくとしても、米英兩國の恫喝と强要とにあひ、反樞軸陣營のお仲間入りがしたいばかりに、全く何等の必要を感じないにも拘らず日獨兩國に宣戰を布告した世界の中小諸國は、桑港會議に一度出席するや、前述した如く大國のみの專橫機關として、小國の立場は完全に踏みにじられてゐる國際機構案を押しつけられんとしてゐるのだ

ただ如何に力弱き小國と雖も、米英ソ三國が勝手にでつちあげた機構案をその儘御無理御尤と鵜呑みにするはずはない、況んやこの機構案たるや既に明らかにした如く、小國の犧牲において大國の利益のみを確保せんとするけしからん案であるのに加へて、數々の餘りにも明白なる缺陷をも包藏してゐるのである、桑港會議において中小諸國が大國の專橫に對して憤慨をぶちまけるのは勿論のこと、更に積極的に機構案の修正に向つて相當の反擊に出るだらうことは容易に豫想し得られるところだ、左は三月二十二日發の同盟チューリツヒ電である

桑港會議の召集日が發表されると共に、中小諸國の間にはクリミヤ方式を非難し、これに修正を加へんとする外交的活動が極めて顯著となつて來た、オランダ、メキシコ政府の如きは既に國際機構案に對する修正提案を發表した、ブラジル、チリを含む米洲八ケ國はメキシコの修正提案を支持する旨聲明した、エジプトもまたアラビヤ諸國を代表して修正案を提出することが期待される、小國が最も不滿としてゐるのは大國によつて作成された機構案が、小國の利益に十分な考慮を拂つてゐない點であり、小國の修正提案もこの點に集中されてゐる

△地域的團結

しからば小國の國際機構案に對する修正要求は具體的に如何なる形をとつて現はれてゐるであらうか、先づ第一に總會の權限擴張要求である、總會には少くとも大小國の別なく平等に一票宛の發言權が與へられてゐるので(ソ聯が三票を得ることになるらしいのは一先づおくとして)この總會の權限擴張はとりも直さず小國の發言權增大となる、第二は安全保障理事會機構の修正要求であるが、これは理事會の權限縮小要求、非常任理事國の增員要求及び最も問題となつてゐる常任理事國の武力制裁否決權の撤回要求である、第三は地域的國際機關の權限擴張要求だが、これには若干の說明が必要だ

一國對一國では到底大國に拮抗出來ない小國が團結の力にこの拮抗力を求めんとするのは當然だが、この團結はほぼその利害關係を等しくする同一地域內の諸國家の間に結成されるのが最も自然であり、且つ最も容易である、しかも、新國際機構案は各國の地域的團結の自由を認め、國際機構の機能の一部を地域的國際機關に移讓することを

規定してゐる

小國の地域的團結のうちで最も顯著な共同動作を示してゐるのは汎米聯盟によつて結ばれた米洲諸國だが、この他にも共同の利害の下に同一行動をとらんとしてゐる傾向を顯著に示してゐるものには、佛、白、蘭、ルクセンブルグ等の西歐諸國西亞地域のアラビア諸國等がある、勿論これ等の團結は桑港會議を直接、唯一の目標として結成され、乃至は結成されんとしてゐるのではない、汎米聯盟の如きは久しい以前から存在した地域的國際機構であり、更に小國では決してない米國の如きをその一員、否むしろその指導國としてゐる、

（桑港會議における汎米聯盟下の小國と米國との立場とは小國對大國の關係において對蹠的でありこの關係は既に過般メキシコで開かれた米洲外相會議でその一班を示したが、桑港會議の開催中にこの關係を繞つて或ひは面白い一芝居がみられるかも知れない）ただこれら諸小國が既存の組織を利用し、乃至は團結運動の力をかりて桑港會議に大きな發言權を發揮しようとしてゐるのは極めて顯著な傾向だ

△地域的組織と國際機構案

「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙は小國の運動と地域的組織との關係につき次の通り述べてゐる

地域的取極めと新國際機構との關係こそ桑港會議における重大な問題となるべく、この問題の解決如何によつては機構案の内容が全く一變することとなるかも知れない、フランスが招請國たることを拒絶した一つの原因は、この問題について自由な立場に立ちたいためだつたといはれるが、中南米諸國もほぼこれと同じ意見のやうだ、即ち、中南米諸國は米洲内で發生した國際紛爭においては、侵略國を決定するのは米洲諸國間の取極めによるべきだと主張してゐる、米洲諸國にフランスを加へればその勢力は侮るべからざるものあり、桑港會議參加國の約半數たる二十二乃至二十三ケ國に上らう

次に揭げるのは三月十日の「エコノミスト」誌がこの問題について揭げた評論である

桑港會議における最も興味ある且つ最も複雜な問題は、ダンバートン・オークス案でも一言觸れてゐる地域的安全保障機關の範圍並びにその機能を決定することであらう、地域とは何であるか、地域機關に加入することは强制的であるか、地域機關と安全保障理事會との關係如何、地域機關にはどの程度の權限が與へらるべきであるか、また各國は自國の屬する地域以外の問題についてどの程度の責任を負ふべきであるか或ひは安全保障理事會はどの程度地域機關の決定を覆へす權限が與へられるのであるか等々の微妙な問題を解決しなければなるまい

ダンバートン・オークス案においては、地域的取極め乃至地域的機關は安全保障理事會の承認なく、强權の發動を伴ふ如き行動はとり得ないことを規定してゐる、さればフランスの如きはソ佛相互援助條約においてドイツの侵略を對象とした規定が自動的に發動し得るものか乃至は安全保障理事會の決定を待たなければならぬものなのかといふ質問を提起してゐる

△チヤペルテペツク憲章

「エコノミスト」誌は更に曰く

メキシコ・シテイで會合した新世界各國の代表連は地域主義擁護のため、一層積極的な主張を行つた、就中、ペルー及びチリー兩國の代表の如きは新世界機構は米洲内の紛爭問題について米洲機構がその解決に失敗した場合に始めてこれを取上ぐべきであると主張した、彼等はさらに米洲以外の地域に起つた國際紛爭に對して、米洲諸國が軍事的責任をとらなければならぬといふ構想に反對した、米洲外相會議が三月六日調印したかのチヤペルテペツク憲章は正に地方的取極めである、この憲章は

一、米洲諸國は米洲大陸の内外を問はず、米洲に對して加へられる侵略に對抗するため一致團結し

一、各國の憲法に違反しない範圍において、侵略の脅威にさらされた國家救援のために、侵略國にたいして共同の軍事的行動に出ることを規定してゐる、この憲章は戰爭終結と共

昭和二十年五月十八日(金)
第三四二五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

に終ることになつてゐるが、さらに戰後において も正式な條約によつてこれを延長し得ることが附記されてある、チヤペルテペツク憲章はたしかに最も重大な性格を持つ地域的取極めである

ただ、新國際機構案とこの憲章との關係は明確でないが、もしもチリー及びペルーの主張するごとく、米洲諸國が米洲以外の地域における國際紛爭にたいする責任をとらぬとするならばかかる主張はその他地域の各國によつても採用される可能性は十分にあり、これが普偏的となれば遂には世界的な國際機構の存在の餘地がなくなるといふやうな事態さへ招來するに至るのではあるまいか

△フランスと重慶

桑港會議をめぐり大國と小國との間に介在してどつちつかずの奇妙な立場におかれてゐるのはフランスと重慶政權とである

ダンバートン・オークス案では既に安全保障理事會の常任理事會として米、英、ソ、重慶、佛が暫定的に決定され、重慶とフランスとはいはゆる五大國のお仲間入りを許されたが、米英ソ三國はさらにクリミヤ會談において、重慶とフランスを米英ソと共に桑港會議の招請國となるやう「推薦」した、しかるに重慶政權が待つてゐましたとばかりこれを受諾したのに對して、フランスは會議に出席することは承諾したにも拘らず、招請國となることは斷乎これを拒絶した

フランスは何故拒絶したか、その表面の理由はフランス外務省の聲明にある通りダンバートン・オークス會談にもクリミヤ會談にも參加せず、從つて桑港會議の招請國となつてフランスの全然關知しない國際機構案に責任をとりたくないといふにある、だがフランスの招請國拒絶をめぐる背後事情はしかく單純なものではない、先づ三月七日のチユーリツヒ電が傳へた英國外交消息筋の見解を紹介しよう

フランスの拒絶は實際的な理由に基くより、面子に對する考慮から出發したものと思はれる、しかし、ド・ゴールはあまりに面子政策を重大視したと評すべく、フランス今次の行動によつてその威信と勢力とが增大するだらうとは考へられぬ、ただフランスは被招請國としては桑港會議に參加するのだから、この場合にフランスは小國の要求と合致するやうな立場をとり得るのであり、小國の指導國となることも出來ようフランスが大國の間に伍して最も弱い國となるよりも、寧ろ小國の仲間になつてそのうちの最も强い國とならうとしてゐることはド・ゴールがロンドンにゐる頃から明らかだつたことだ、フランスが被招請國としての自由な立場から、ダンバートン・オークス案並びにクリミヤ方式に對する修正要求を行ふだらうこと、特に特定國間の條約取極めと新國際機構との關係について有利な立場をとらうとするだらうことは前にも一言したが、これに關しては三月十五日のスエーデン新聞「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙が次の通り傳へてゐる

フランスが桑港會議で提出せんとしてゐる多くの修正案は既に大體出來上つたやうで、これは近く招請國の代表團たる米國政府に傳達されることとならう、修正案のうち最も重要なものは新國際機構が行動を起すのを待つてゐられない位、急を要する國際紛爭の處理に關するものである、フランスはかかる急を要する場合には、地域的取極めの力を利用すべきであるとの主張を持ち、卽ちかかる取極めの參加國はその時の事情に最も適合した方法をもつて行動を起し得るやうすべきだとするのである

この提案は若干曖昧なやうだが、具體的な例をあげれば直ちに明瞭とならう、ソ佛相互援助條約がこれであり、フランスはこの兩國がドイツから攻擊を受けた場合、安全保障理事會がこの紛爭に對して何等決定を下し得なくとも、ソ佛兩國は行動を起し得る自由が認められるべきだと主張するのだ

△重慶は大國に非ず

共和黨上院議員ブツシユフイールドがクリミヤ

方式を痛烈に非難したことは前にも一寸觸れたが彼はこの非難の一論據として重慶が米英ソ三國と肩を並べて世界の四大國に祭りあげられてゐる點をあげてゐる、卽ち、彼は極めて端的に重慶は大國に非ずと斷定、かかる國家を常任理事國としても全く意味なしと主張してゐるのだが、ブツシュフイールドの發言は、米國がたとへ表面的には如何に重慶をおだてあげようとも、腹の底では重慶に對して如何なる感情を抱いてゐるかを示す好適例と思はれるから、いまその大要を紹介しよう

因みにブツシュフイールドはサウス・ダコタ州選出の孤立派議員と目される人物であり、この演說は彼が三月七日の上院本會議で行つたものである

クリミヤ方式はルーズヴエルト、チヤーチル、スターリン三者による世界の永久支配以外の何物でもない、我々がクリミヤ方式に對して如何なる觀點から解釋を下してゆかうとも、最後に到達する結論は、米英ソ三國のみが新國際機構を支配するといふことだ、今度の國際機構案においては支那が正式に四大國の一つにあげられてゐる、しかるに支那は今までに一度も大國の域に近づいたこともなければ、將來もまた多分大國になるやうなことはあるまい、かかる國家を理事會の常任理事國としたことは實にあきれ返つたことだ、新機構の下において世界を思ひのままに支配するのは米英ソ三國、換言すればルーズヴエルト、チヤーチル、スターリン三者である

國際機構案が米英ソ三國の勝手にきめたものであるにも拘らず、その責任だけを負はされんとしたフランスが、桑港會議の招請國となることを拒絕したのは當然であり、また一種の氣慨を示したとさへいへる、然るに、フランスと同樣米英ソ三國から招請國となるやう勸誘を受けた重慶政權は待つてゐましたとばかり、とびつくやうにこの勸誘を受諾した

勿論、重慶とフランスとでは若干その立場を異にする、たとへ名目的であつても重慶はダンバートン・オークス會議に參加してをり、このときに出來た國際機構案の作成國の一つである、然るにクリミヤ會談には重慶政權は全然關係なく、從つてこの會談の結果生れたクリミヤ方式は、重慶には一言の相談もなく、ルーズヴエルト、チヤーチル、スターリン三者が勝手にきめたものである、この點では重慶とフランスとの立場は全く同樣だ

米英ソ三國の主催する國際會議において、重慶が如何なる待遇を受けるかは、ダーバートン・オークス會談の例をあげるだけでも十分である、この時には重慶の代表はソヴエト代表から同席を拒否されて赤恥をかき、會談は從つて米英ソ、米英重慶會談の二段階に分れたが、ダンバートン・オークス案は米英ソ三國會談で決定されたのであり引續く米英重慶會談では、重慶代表は米英代表からこの案をつきつけられて唯々諾々とこれに同意を與へたに過ぎない

結局重慶の態度は、實質的にはどんな屈辱を受けようとも、ただ形式的に米英ソ三國の驥尾に附して大國扱ひを受ければそれで文句はないのだと評するより他あるまい、桑港會議が開かれてからでも重慶代表が單に添物的な扱ひを受けてゐる例は正に枚擧に遑がないほどだ、もつとも重慶も人並みに國際機構案に對する修正案を提出してゐるしかしその修正案の內容は國際正義の尊重とか、國際法の遵守とか殆んど意味なき抽象的主張を盛りこんでゐるに過ぎず、この點では印度代表が人種的平等その他に關して具體的提案を行ひ、被壓迫民族を代表して大いに氣焰をあげてゐるのとでは雲泥の相違がある

重慶は形式的だけでも大國の地位にとどまりたいために、自己の主張も不滿もおさへつけて、ひたすら米英ソ三國の御機嫌を損じないやうに汲々としてゐるのである、桑港會議において最もあはれなる喜劇役者的役割を演じてゐるのは重慶政權である

（付記）本稿は都合上、主として桑港會議開催前の資料によつた、桑港會議は豫想通り開會以來紛糾に紛糾を重ね、波瀾重疊たる經過を辿つてゐるポーランド問題をはじめ從來から豫想されてゐたものに加へ、新たに發生した難問題も加はつて、會議特に米英ソ三國が、これらの難問題を如何に

昭和二十年 三月十八日(金)
第三四二五號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

解決し、會議が如何なる結末を告げるか豫想の限りでない、ポーランド問題或ひは信託委任統治制問題のごとき會議をめぐる重大問題はその都度稿を改めて紹介し、また會議の全體的結論はいづれ會議終了後に纒めて報告されるであらう

資料

歐洲戰米國參戰史

「ニューヨーク・タイムズ」紙 VEデー特別記事

歐洲戰爭の終結によつて米國の偉大なる軍事努力の第一章はとぢられた、この第一章こそはまさに一千二百萬の米軍將兵並びに米軍及び聯合軍に對する軍事補給に從事せる數千萬の米國市民によつて書かれたものに他ならない

△戰爭努力開始

一九三九年歐洲の大陸に戰火の上つた當時の米國は中立國であつたが、翌一九四〇年初頭米國において生産された武器、航空機の英國及び佛國への貸與をみるに及び、米國は侵略國に對する戰爭協力の第一歩を踏出すに至つた、同年九月當時孤立の狀態にあつた英國援助のため、米國は同國海軍所屬の老朽驅逐艦五十隻と西半球における英國基地の九十九年の租借との交換條約を取結んだ、さらに一九四一年三月には米國議會は武器貸與法案を可決したが、同法案によれば、向ふ四ケ年米國の同盟國は三千五百萬弗以上に上る武器その他軍需物資による援助を受けることになつたのであつた

一九四一年十二月米國の參戰を見るに及んで全世界は動亂の渦中に投入された、かくて過去四ケ年の中に米國の兵力は約七十萬から千二百萬に激增したが、一九四五年三月三十一日現在、これら兵員の大半は海外または海上勤務にあるのである

△歐洲戰參加

歐洲における米國の對樞軸軍々事攻勢は一九四二年十一月八日の佛領北阿に對する米英軍協同の上陸作戰に始まつた、本作戰においてアイゼンハワー將軍麾下米英聯合軍は、作戰開始後六ケ月にしてチユニジアにおいてエル・アラメインより西進せる英第八軍との連絡に成功し、五十萬の樞軸軍を粉碎してアフリカ解放の偉業を完成した、これは聯合軍が樞軸軍よりかち得た最初の戰略的勝利であり、さらに敵の基地たりし北阿を聯合軍の歐洲大陸作戰への跳躍臺となしたものであつた、さらにこれによつて地中海より埃及、ソ聯、印度を通ずる生命線の確保を可能ならしめた

次に來つたのはシチリヤ作戰であつた、空挺隊の上陸につづいて、米、英、加軍は一九四三年七月十日大軍をもつて同島沿岸よりの侵入に成功し僅か三十八日間の短時日における電擊的作戰によつてイタリヤ本土の踏石たる同島の淸掃を完了したのである

イタリヤ政府降伏後六日目の一九四三年九月九日本格的なイタリヤ本土上陸作戰の火蓋は切つて落された、米第五軍は先づナポリ南方のサレルノに上陸したが、これが後には西部イタリヤより上陸して北進した英第八軍との連絡に役立つた譯である、一九四四年六月四日歷史的古都たるイタリヤ首府ローマの陷落に至るまでに、ナポリ、フオジア、アンチオ等次々に櫛の齒を拔くやうに落ちて行つた

この二日後に聯合軍はフランスのノルマンデー海岸に上陸を敢行した、これは戰史上曾てみざる大上陸作戰であるが、アイゼンハワー將軍を最高司令官とし米國は空挺部隊、第一軍、海軍部隊等をこれに參加せしめた、この上陸の準備作戰として英本土及びイタリヤを基地とする米英航空機群がドイツ本土に對する屢次の大爆擊を敢行したことは勿論である、八月一日米第三軍の先鋒部隊はノルマンデー戰線を突破してフランスを東進したこの間首都パリは解放された、一方英、加軍は北進してベルギー、オランダの國境に迫つた

他方南佛に上陸せる米軍及び佛軍部隊は八月十五日ツーロン及びマルセーユを獨軍の手より奪取したのち、ローヌ溪谷に沿つて北進し、つひにドイツ國境附近の東佛地區において米第三軍との握手に成功したのであつた

一九四四年末には聯合軍はフランス、ベルギールクセンブルグ、オランダの一部の解放に成功し、數地點においてはドイツ國内にすら侵入してゐた、同年十二月ドイツは所謂ヒトラーのルントシュテツト攻勢によつて西部戰線の聯合軍陣營を粉碎せんと試みたが、これも畫餅に歸したことは周知の通りである

本年二月、三月に入るに及んで米第一、第三、第七、第九、第十五軍を含む聯合軍の大軍は大攻勢の準備をした、この攻勢において聯合軍は先づライン河西岸を掃蕩した後ザール地區を占領し、次にドイツ産業の心臟ともいふべきルール地帶を手中に收めた、しかして、遂に三月七日第七軍及び第一軍はボンの南方レマーゲンにおいて鐵橋を占領したのち、ライン河東岸に橋頭堡を設定することに成功したのである、十五日後には第三軍もまたマイツ、ウオルム間で橋頭堡の設定に成功してゐる、そのまた二日後には聯合軍第一空挺軍團に先導された米第九軍及び英第二軍はルール北方のヴェーゼル地區においてラインを渡河したが、引續き、米第七軍及び佛第一軍はウオルム附近に橋頭堡を設置した

これらの橋頭堡より一齊に攻撃を開始した聯合軍は西部におけるドイツの防禦線を打破り、ドイツの心臟部深く突入した、かくしてドイツの大都市は次から次へと陷ちて行つた、如何に聯合軍の勝利が完全なものであつたかは、四月始めの十日間にドイツ軍が一日平均五萬人、つまり合計五十萬人の死傷を受けたことによつても立證されるであらう

△太平洋戰線

一方場面變つて、太平洋戰線においては、一九四一年十二月七日より一九四五年四月一日に至る期間に、米國軍は眞珠灣より日本本土を南に距る僅か三百七十五哩の沖繩まで五千哩の線を進出した、同期間において米軍及び聯合軍はニューギニアの大半を掃蕩し、ソロモン、マーシャル、マリアナ、パラウ群島中の主要島嶼を占據し、數萬の日本軍を孤島に殘したまま前進した、更にアメリカ軍は比島作戰においては約四十の島々に上陸を敢行し、遂に首都マニラをも解放した、東京を去る七百五十哩の洋上にある孤島硫黄島における戰鬪は最も悽愴苛烈を極めるものであつたが、同島占領の後沖繩作戰へ移行したのである

米國海軍はミツドウエイ島より遂には日本本土の内海にまで迫つてゐる、比島上陸作戰のレイテ灣海戰においても米艦隊は多數日本軍艦を擊沈破してゐる、米陸海空軍の活躍も目覺しく、日本空軍は非常な打擊に惱んでゐる狀態である

グアム、サイパン、テニアンの基地からは「超要塞」B29が日本本土の軍需生産地帶を爆擊してゐるし、機動部隊は大膽にも日本近海を游弋し、艦載機を放つて東京附近の軍事目標に大損害を與へつつある、一方日本艦隊は大損害を蒙り本土近海にさへ安全な場所を見出し得ない有樣である

如上の廣大な戰線における成功の陰には米國の大生産力のあることを見逃してならない、米國が參戰した當時の軍需補給狀態は各戰線とも眞に憂ふべきものがあつた、聯合國に對する補給の任は一に米國に課せられた、斯くて大小の工場、造船所、飛行場は建設せられ、この目的のため一ケ月平均八億弗の巨費が費された、一九四一年十二月には全國を通じて軍需産業從業員は七百萬人に過ぎなかつたが、一ケ年後には一千七百五十萬人といふ急增を示し、しかも女子工員の數が激增してゐる

一九四〇年七月一日より一九四四年十二月三十一日に至る期間において米國は各種型の飛行機二十四萬六千八百四十五機を生産したが、このうちには二萬八千四百七十一機の重爆擊機、七萬九千七百七十六機の戰鬪機、一萬九千五百四十七機の輸送機を含んでゐる、同期間内において米國は軍艦六千六百九十七隻、商船四千五百三十八萬四千噸を建造した、また戰車の建造七萬五千二百四臺戰車砲及び自走砲の製造十三萬十七に達してゐる、その他の主なる生産は機關銃二百四十二萬二千九十九、小銃五百九十四萬二千三百八十五、騎兵銃六百十六萬三千八百二十六、補助機關銃百九十二萬六千四百五、野砲五萬五千二百五十二、トラツク七十六萬九千四百六十八臺等である

昭和二十年五月十八日(金)
第三四二五號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

對ソ聯武器貸與再檢討

—グルー聲明—

米國務長官代理ジョセフ・グルーは十四日米國の武器貸與法に關し左の如き聲明を行つた

武器貸與法は大統領が米國國防に利害關係ありと認定する場合には政府各省長官乃至政府機關責任者をして外國政府に對し物資を貸與せしむることを規定してゐる、しかして、この場合、大統領は一九四六年六月三十日前に議會兩院が米國の國防に關しかかる貸與が必要でないとの決議を行ふ以前に認定を行ふことになつてゐる、前記の決議が兩院を通過する一九四六年六月三十日後三年間に亘り大統領は武器貸與國との既定協定を必要程度に實施し得る、貸與法は米國國防に必要缺くべからざる物資乃至奉仕の種類を決定すべきことと貸與法の存在期間にかかる決定を行ふべきことを規定してゐる、我々の遂行しつつある戰爭は一つの戰爭であつて決して二つの別個の戰爭ではないしかして、歐洲における組織的抵抗の結末は戰爭の終結ではない、敵の領域の占領とこれが軍事的支配が歐洲においては必要であり、不安定な無秩序な歐洲においては占領と軍事的支配は效果的に遂行され得ない譯である、戰禍の歐洲に米軍を駐屯せしめ、これに物資を補給し或ひは軍事行動繼續のために軍隊を再編成するためには米國は必然的に貸與物資を輸送しなければならぬ、大統領にして若し戰爭遂行のため更に一定の期間歐洲に對し貸與物資を輸送しなければならぬと認定する場合には、大統領は武器貸與法の規定に從つて、この認定を實行に移すことが出來る、しかして太平洋方面の戰鬪の繼續狀況により大統領は關係諸外國に對しても必要な物資を提供するの權限を付與されてゐることは勿論である、現在實施中の武器貸與計畫による物資の引渡しは歐洲における組織的抵抗の終結後直ちに調整されるであらう、貸與物資計畫は將來とも新しい軍事情勢に適するやうに立案せられることにならう、ドイツ崩壞後の英本國、印度、濠洲、ニユージーランド及び英國植民地に對する貸與計畫は米英兩國代表間で協議の結果、意見の一致をみてゐる、本計畫は補給狀況等を時々考慮に入れて近く實施の運びとなつてゐる

△實質的削減を豫想

一九四一年以來米國は貸與協定中に含まれてゐる年次貸與計畫に基いてソ聯に對し物資の供給を行ふことに同意して來た、しかし、軍事情勢の變化に鑑み、ソ聯に對する年次貸與計畫は現在不必要となつて來た次第である、故に、ソ聯に對する貸與物資の補給はこれを再檢討し、ソ聯の軍事物資需要の本質的性格に關する十分な情報に基き正當と見做される物資についてはこれが輸送を繼續することとならう、この場合にも他の貸與法適用諸國の立場を睨み合せて行はれる

かくして、ソ聯に對する貸與物資計畫は實質的な削減をみることが豫期されるわけである、米國議會は本年武器貸與法の延長を可決するに當つて修正案を採擇したが、この修正案なるものは貸與法滿期後三箇年は大統領に對し貸與協定の締結乃至實施を行ふ權限を附與してゐる、が、しかし、これは戰後における救濟、復興乃至再建事業に關する貸與の權限を意味するものでないことを明示してゐる、しかして、右修正案は貸與法に基き締結されるべき協定にして、外國への國防物資を供給、或ひは物資の供給が米國の國防の向上に必要なしと大統領により認定される場合には、戰後における救濟、復興乃至再建事業の協定と見做し得ざることを規定してゐる、米國はフランス、ベルギー、オランダと既に協定を締結してゐるが、大統領がこれ等諸國にして、戰爭遂行に關し米國物資の貸與が必要でなくなつたと認定した時期をもつて物資貸與は中止され、その後の物資引渡しは現金支拂制によつて行はれることになつてゐる、前記の協定によつて行はれるべき物資の補給計畫は目下米國政府において檢討中であり、現在の情勢に照らし合せて、修正を加へられることになるかも知れない

勿論、直接の武器貸與を米國から受けてゐる期間は、被貸與國は米國に對し逆貸與を行ふべきことは當然である

信託統治案基準文書の必要

＝信託統治委員長新西蘭首相 フレーザー十四日の言明＝

信託統治制に含まれる安全保障問題については幾多意見の相違が委員會席上に露呈されたが、從屬人民に對する關心或ひは新世界信託統治制度の必要に關しては全く見解の相違を見なかつた、現在信託統治問題のあらゆる觀點を綜合せる基準文書の起草に努めてゐるが、かかる文書あつてこそ委員會の討議にも形式上の基礎が與へられることにならう、本委員會は特定の非獨立領土を論ずるものではない、いづれの委員國も現在の委任統治領の狀態に偏見を持ち、或ひはそれを變ずる如き意圖は全く持つてゐない、在米ユダヤ人團體から桑港會議が信託統治問題においてパレスチナの現狀を脅す如き可能性はないかといふ書翰を受取つた、だが桑港會議は決してかかる問題を辯解し、それに先入主を交へる如きことはない、とにかく關係諸民族に參與の機會を與へることなくかかる行動に出づることは全く考へられない、特定領土に言及するが如きことは委員會においては例外なく排除せられてゐる

△基準文書の起草目的

委員會の基準文書は米國代表團のハロルド・E・スタツセン氏によつて起草せられつつある、この文書は各章、各條、各節において、すべての信託統治問題が論ぜられ得るやうな基準構成を與へることを目的としてゐる、會議全體の基準文書たるダンバートン・オークス案には信託統治に關する一章すらないのである、わが委員會に現在まで提出された信託統治案は濠洲、米國、英國、重慶、ソ聯、フランス、メキシコこの七ケ國の提案である、また現在までに濠洲、比島、フランス、オランダ、重慶、南阿、米國、英國、ソ聯の九ケ國の代表が委員會において發言した

世界機構に關する憲章が信託統治制の下におかれる諸領土の究極における「獨立」を明示すべきか否かといふ問題についても或る程度論ぜられたが、これはまだ詳細については檢討されてゐない

△信託統治制管轄問題

主要問題の一つに安全保障地域の信託を世界機構の如何なる部分に委ぬべきかを決定するといふ問題がある、これについてはかかる信託統治制は全的に世界機構安全保障理事會の管轄下におくべしとする說があり、或ひは安全保障理事會ばかかる信託統治制の安全保障面についてのみ管理權を有するも信託統治地域の人民の福祉を含む諸問題は世界機構總會の設置する信託統治理事會の管理下に入るべきだとする說もある、更に第三の說として安全保障理事會は安全保障地域の安全保障並びに福祉の兩方面に管理權を有するも、福祉の問題はすべて信託統治理事會に委ねるべきだといふのである

信託統治委員會は十五日夕刻再び開催される豫定になつてゐるが、それまでには基準文書も各委員の手に渡されるやう準備されてゐる

ドーリツトルの經歷

（リスボン十五日發）少將ウイリアム・ケプナーに第八航空隊司令官の地位を讓つた中將ドーリツトルは新任務に就くためワシントンへ歸還するといふが、諸情報を綜合するに彼が今後對日航空戰に重要な役割を演ずることは疑問の餘地がない、陸軍航空隊の至寶といはれる彼ドーリツトルの經歷を次に一瞥してみよう、すでに試驗飛行士乃至競爭飛行士として有名であつたドーリツトルは一九四二年四月第一回日本本土爆擊を指揮し、空母數隻から飛び立つたミツチエル中型爆擊機（B—25）の小部隊をもつて東京その他の都市を攻擊した、一九四二年七月には創立早々の第八航空隊に在任、同年九月米北阿第十二航空隊司令官として赴任、一九四三年三月十九日北阿戰略航空隊司令官になり次いで一九四三年十一月十九日には米第十五戰略航空隊司令官、一九四四年一月一日には第八航空隊の司令官に任命された、五月十一日英國における使命を完了したドーリツトルは次の通り述べてゐる

對日戰におけるわれわれの根本的戰略は日本を空爆によつて弱體化し地上部隊の本土占領を可能ならしめるにある

昭和二十年 五 月十九日(土)
第 三 四 二 六 號

同盟通信 海外電報

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人 田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人 同盟通信社

【目　次】

佛軍イタリア領土を占領……一三七六
國境修正の前提……〃
桑港會議また行詰る……〃
ポーランド問題再び前面へ……〃
蔣介石再選……〃
米國の基地獲得を英國承認か……一三七七
信託統治案討議初まる……〃
デ・ヴアレラ首相應酬……〃
「戰爭犯罪人」の處斷を約束……〃
トルーマン、ハルと會見……〃
【歐洲戰後處理問題】
獨政府を認めず……一三七八
工業力の六割を許容か……〃
戰爭犯罪會議五月末から……〃
ドイツ軍政米國側幹部顏觸れ……〃
賠償委員會に輔佐官任命……〃
ライ博士逮捕……〃
獨ヴアチカン駐劄大使の處置……一三七九
豆潛水艦百隻投降……〃
【歐　洲】
丁綠共同防衛協定成立……〃
チトー埃にも食指……一三八〇
英艦隊派遣を認む
白國王復位は反對……〃
【桑港會議】
佛常任理事國に決定……一三八一
【米　洲】
米洲防衛條約を意圖……〃
內閣改造か……〃
新互惠關稅法委員會通過……〃
太平洋島嶼併合を主張……一三八二
戰時情報局廢止論……〃
交通問題調査團英京着……一三八三
【ソ　聯】
東歐政策を辯護……〃
【英　帝　國】
空軍戰闘機隊の記錄……〃
加總選擧六月十一日……〃
【特　輯】
信託統治制の各國の主張……一三八四
【資　料】
シベリア新誌……一三八七
醫學における藝術の役割……一三八九

世界の動き

デーニツツ政權の性格については、當初聯合國自體が判つきりした方針を持つてゐなかつた樣子で、米英兩國內には色々な批判が加へられてゐる特にチヤーチル首相が十六日下院の質問時間に際し「一般的に言つてドイツ國民が聯合國の指揮に準據し自國の行政に當るやうにさせる方針だ」と述べたことは、英國政界に大きな波紋を捲き起したらしい、左翼の「ニユーズ・クロニクル」紙の如き、十七日の社說で「チヤーチル首相聲明の不氣味な含蓄と、デーニツツ元帥並びにその一黨に聯合軍が親切を示してゐる事實に徵すれば、聯合國はドイツ國內にキスリング政權（傀儡政權）を樹立する意向と解される、果してしかりとすれば英國並びに聯合各國の輿論を侮辱するも甚しい」と敦圍いてゐる、結局聯合軍最高司令部で政治顧問のロバート・マーフイーがデーニツツ政權を認めない旨を宣言したので、矢釜しい米英兩國の輿論も一應落着くと思はれるが、要するに歐洲諮問委員會の休戰實施案に基きドイツ管理委員會を任命し、現實には米英ソ佛四國で舊ドイツ領土と國內一切の資產を、思ふがままに處分しようといふ肚だ、かくしてゲルマン民族の國土は今や同床に異夢を追ふ四國の間に「生體解剖」を受けることとならう、アイゼンハワー將軍がチヤーチル首相と協議してゐるのも、要するにドイツ抹殺の具體案に違ひないが、かかる遣り口が果して歐洲に眞の安定と平和とを誘致する所以であらうか

生活力の旺盛な民族をいかに押へつけようとしても、必ず起ち上ることはヴエルサイユ體制で十分承知してゐる筈なのに、聯合國の指導層は依然として「何ものをも忘れず何事をも學ばざる」舊阿蒙に過ぎない、いはゆる戰爭犯罪人の處斷についても「デーリー・メール」紙なぞヒムラー內相の如き、ゲーリング元帥の如き公判を要せず卽時處刑していいと主張してゐる、騎士道は歐洲の地を拂つて空しとやいはん

佛軍イタリア領土を占領

（リスボン十七日發）パリ來電＝ジヤン・ル・クレール將軍麾下のフランス軍二ケ師は地中海岸のサン・レモからモン・ブランに至る幅三哩から十五哩に亘るイタリア國境地帶を占領した、但しフランス政府當局では「今回の占領は領土獲得のためでなく、フランス領土の安全保障のためだ」と稱してゐる

國境修正の前提

（リスボン十七日發）パリ來電＝パリ各紙はフランス軍のイタリア領土進駐を大々的に報道してゐるが、フランス外務當局は十七日記者團と會見し次の通り陳辯した

イタリア領土の西北部で起つた事件に關する新聞報道はひどい誇張だ、フランス政府としては同地方に何ら領土的野心を抱いてゐるわけではなく、イタリア政府に對し一部國境線の修正を要求する方針だ、勿論媾和會議には佛伊兩國間の國境線修正について詳細な案を提出するが、今までのところ兩國政府間に正式な交渉は始められてゐない、もつとも現在の要求は極く局部的な國境線の修正に過ぎないから、イタリア政府が矢かましく反對するやうなことはあるまい

桑港會議また行詰る

（リスボン十七日發）サンフランシスコ來電＝チヤプルテペツク憲章の權威を主張する中南米代表の發言に端を發した地域的取極めの問題は桑港會議の前途にまたしても大きな障礙を築き、ソ聯の反對から會議は全く停頓狀態に陷るのやむなきに至つた、即ち臨時議長ステチニアスは十五日夜この問題の打開を圖るため五大國會議を開催したがソ聯代表はモスクワからの回訓が到着しないことを理由として出席せず、會議は事實上四大國會議になつて了つた、この會議で米國は「世界機構の規約と矛盾せざるごとき新米洲相互防衞條約」を提示して英佛重慶三國の承認を得たといはれるがステチニアスは十七日更にこの妥協案について本會議が對論すべきか否かを決定すべく五大國會議を招請、もしそれまでにソ聯の訓令が到着しなければ、米國案をもつて強引に押切る意圖とみられる、ただ四月二十五日以來既に三週を經ながら殆ど何の決定も見ない桑港會議の澁滯には漸く各國代表の間にも倦怠の色濃く、特にソ聯側の理由によるこの四十八時間の停頓狀態に一部米國代表は露骨な焦慮を示してゐる

ポーランド問題再び前面へ

（リスボン十七日發）サンフランシスコ來電によれば米國務長官ステチニアスは十七日ポーランド問題につき米英兩國間に意見の相違ありと論じた新聞電報（「ニューヨーク・ヘラルド・トリビユーン」）を否定して

ポーランド新統合政權の樹立に關し米英兩國の間には意見の相違といふごとき問題は全く存在しない

と聲明したといはれるが、一方ワシントン來電によれば國務省當局者はこれに關して次の通り語つたといはれる

現在に至るも米英兩國は十六人の波要人の逮捕に關しモスクワから何の說明をも受けてゐないこの十六名は新政權の形成についてソ聯當局と談合すべくモスクワに赴いたとみられてゐたのである

蔣介石再選

（リスボン十七日發）重慶來電＝目下開催中の六中全會は十七日蔣介石を國民黨總裁に再選した

昭和二十年 五 月十九日(土)
第 三 四 二 六 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米國の基地獲得を英國承認か

(リスボン十七日發)サンフランシスコからのロイター電報によれば、サンフランシスコにある英國權威筋は十七日夜
「英國は米國に對し米國陸海軍が米國の防衛と世界安全保障のために必要と認める太平洋上の若干の戰略的島嶼を日本から恒久的に奪取することを支持する旨示唆した」
と言明したといはれる、その形式が國際信託統治制との關聯においてどうなるかは明らかでないが基地領有の條件はどうあらうと、米英兩國政府の間にかかる闇取引が成立したとすれば今後の桑港會議の信託統治制問題におけるソ聯重慶對英米の對立は益々深刻且つ複雜になることが豫想される

信託統治案討議始まる

(リスボン十七日發)サンフランシスコ來電=難題續出の中にも特に面倒な問題となり、各國がそれぞれ勝手な提案をして紛糾を豫想されてゐる國際信託統治制の問題は、米國代表スタツセンを委員長として作成された基準文書を中心としていよいよ十七日討議を開始した、但しこの問題についてもソ聯代表はモスクワからの回訓を待つてゐる模樣である

デ・ヴアレラ首相應酬

(リスボン十七日發)ダブリン來電=エール首相デ・ヴアレラ氏は十六日ラジオを通じ英國首相チヤーチルのエール政廳攻撃に應酬し次の通り述べた
「チヤーチル首相は、アイルランド東北部六州の「切斷」といふ不正を蔽はうとして過般エールの中立政策を攻撃した勝利に醉ふて言葉が過ぎたに違ひないが英愛兩國間の高尚親善な理解を促進しようとはせず却てエール國民に對し惡口雜言を浴びせたことは殘念である、フランスが倒れ米國は未だ參戰せず英國が獨力抗戰を續けた當時のことを回想してチヤーチルは大いに得意であつたが、一年とか二年ではなく數百年にも亘り侵略に抗し掠奪と飢饉と屠殺とに耐えた小國があることをチヤーチルは狹量にして認めることが出來ぬのであらうか、チヤーチルが强敵に抗した英國民の堅忍持久を誇るのは結構だが、エール國民は數世紀に亘る自國民の頑張りにさらに一段の誇を感じてゐる恐らく二十五年前だつたら余はチヤーチルに應酬したに違ひないが今日は喧嘩を買つて焰に油を注ぐの愚を避けよう、チヤーチルがエール國占領の誘惑を拒んだ結果血に汚がされた兩國の關係に恐しい新たな一章を付加へることを避けたばかりでなく國際平和の新な基礎を提供したと言へよう」
「アイリツシユ・プレス」紙並びに「アイリツシユ・インデペンデント」紙などは連日社說を掲げて英愛兩國の關係を論じてゐるが十七日午後デ・ヴアレラ首相が議會に出席するや議員は急霰の如き拍手を送り十六日夜の放送演說に全的支持を表明した

「戰爭犯罪人」の處斷を約束

(ストツクホルム十七日發)ロンドン來電=英國外相イーデンは十七日下院において自由黨のマンダー等の質問に答へて次の通り述べた
戰爭犯罪に關聯するデーニツツ提督の犯行問題については目下調査を進めてゐる、ゲーリング元帥は速に處斷し度いと思ふし、リツベントロツプを逮捕するためには百方手段を盡してゐる、既に米國政府はジヤツクソン判事を專門委員に任命してゐるので、英國政府においても目下代表を選衡してゐる
イーデンは更に桑港會議が豫期以上に進捗してゐると手前味噌を並べたが、「全般的な國際情勢については重大且つ不安な紛爭がいくらか起つてゐる」と述べた

トルーマン、ハルと會見

(リスボン十七日發)ワシントン來電=大統領トルーマンは十七日メリーランド州ベセースダの海軍病院に過般來入院中の前國務長官コーデル・ハルを訪問、五十分に亘つて會談した、以上の會見については三頭會談に關して協議が遂げられたとの觀測が有力だ、但し、トルーマンは記者團に對してハルとの會談目的について一言も語らなかつた

【歐洲戰後處理問題】

獨政府を認めず

＝米軍の對獨統治方針＝

（リスボン十六日發）パリ來電＝米軍占領下のドイツにおける軍政長官代理中將クレイは、十六日アイゼンハワー司令部の政治顧問マーフイ並びに同司令部參謀長代理代將マツクシエリーと共に記者團と會見、ドイツ領の軍事占領問題について左の通り言明した

歐洲遠征軍司令部はドイツの如何なる政府乃至は外務省をも認めない、ドイツ武裝軍の武裝解除並びに復員を促進させるためドイツ最高司令部を利用してゐるが、右の任務が終了次第ドイツ最高司令部は完全に解體されるであらう、米軍のドイツ領占領の主要目的は

一、今後戰爭を起すことあるべきドイツ潛勢力にして現在殘されてゐるもの凡てを粉碎する

一、ナチズムの一切の痕跡を粉碎する

一、戰爭犯罪者のすべてを逮捕し處罰し得るやうにする

の三點にある

我々がドイツ領内に設置しようとする政府は軍政機關であり、ドイツ人には漸次知れよう、ドイツ再生問題はこれを檢討するに十分な時間があり我々のドイツ駐屯は恐らく長期間に亘らう、戰爭犯罪者は先づ犯した罪を贖はねばならない、これが終つた後ドイツの再生問題を考へよう、占領地域の正確な限界に關しては現在これを明らかにする事は出來ないが、右に關する交涉はここ一兩日中に完了しよう

工業力の六割を許容か

（リスボン十六日發）ロンドン來電によればロイター政治記者ワイトンはドイツ處理案につき次の通り報じてゐるといはれる

當局筋では今後二年以内にドイツは一九四一年當時の工業力の六〇％復活する機會を與へられるであらう、然しながらドイツ國内においては一平方哩毎に檢査され地下工業施設、軍需工場統空機工場等、將來ドイツの戰爭努力の中核となる惧れのあるものは悉く潰されてしまふであらう、またドイツの全工業地域を監視することにより極秘裡に軍活動が行はれる可能性を悉く除去するが、これは數週間中に設置される行政機關の最大の仕事とならう

戰爭犯罪會議五月末から

（リスボン十六日發）ロンドン來電＝戰爭犯罪調査委員會は十六日、ドイツの戰爭犯罪に關する國際會議は五月三十一日ロンドンにおいて開始される旨發表した

ドイツ軍政米國側幹部顔觸

（リスボン十六日發）パリ來電＝ドイツ軍政長官代理中將ルーシス・クレイは十六日ドイツにおける米國軍政機關の幹部を左の通り發表した

軍政次官　代將　コーネリアス・ウイツチヤシヨー

顧問　ルイス・ダグラス

海軍部長　中將　ロバート・ゴームレー

空軍部長　少將　ロバート・ハーパー

政治部長　ロバート・マーフイ

内政通信部長　少將　オリヴア・エコルズ

運輸部長　代將　ジョン・アツプルトン

經濟部長　代將　ウイリアム・ドレーパー

人的資源部長代理　ジョーゼフ・キーナン

美術顧問　ジョン・ニコラス

賠償委員會に輔佐官任命

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは十五日賠償委員會の輔佐に二十一名の專門家を任命した、同委員會はドイツ軍により破壞された地域再建のためドイツから資材と勞働力を供出せしめようといふのである

ライ博士逮捕

（リスボン十六日發）ベルヒテスガーデン來電によれば、ドイツ勞働運動指導者ローベルト・ライ博士はベルヒテスガーデン南方六十四粁の地點に潛伏中、米軍により十六日逮捕されたといはれる

昭和二十年 五月十九日(土)
第三四二六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

獨ヴアチカン駐剳大使の處置

(リスボン十六日發)ヴアチカン市來電=ヴアチカン駐剳ドイツ大使ヴアイツゼツカー男はその職務が事實上消滅した結果、外交代表といふよりむしろヴアチカンの賓客として待遇を受けることになるが、信賴すべき筋からの情報によればヴアチカン當局はヴアイツゼツカー男の正式の資格を問題にする意思なく、男は新しいドイツ政府が成立するまで依然形式的にはドイツ代表の資格を保つものとみられてゐる

獨潛艦五十隻投降

(リスボン十六日發)ロンドン來電によれば、ドイツの降伏以來大西洋岸の敵の諸港に投降したドイツ軍潛水艦は現在までに略々五十隻に達したといはれ、十六日には補給用潛水艦U五三二號が英國の某港に投降したが、同艦は補給用潛水艦としては最大型の一つで、錫、モリブデン、ゴム、キニーネ等を積込んでゐたといはれる

「ロンドン・イヴニング・ニユース」紙十六日の報道によれば、軍當局は麾下艦艇に對し未だに潛航を續けてゐるドイツ潛水艦は戰時國際法上の軍艦として認めず潛航中のドイツ潛水艦は發見次第撃沈するやう命令を發したといはれる

獨艦撃沈約五百隻

(リスボン十六日發)ワシントン來電=米大西洋艦隊司令長官イングラムは十六日記者團會見で開戰以來の對獨潛水艦戰の戰果に關し左の通り述べた

米國海軍は參戰以來、正確に判明したところでは、ドイツ潛水艦百二十六隻を撃沈した、右の大半は米本土から遠く距つた水域であげた戰果で、これに英國艦隊が收めた戰果を加へればドイツ潛水艦の撃沈總數は五百隻以上に上らう

豆潛水艦百隻投降

(ストツクホルム十六日發)ロンドン來電=英國海軍省並びに空軍省は十五日共同公報をもつてドイツ豆潛水艦の處理に關し次の通り發表した

戰爭終了までの一ケ月間に英佛海峽において撃沈、不確實撃沈、または鹵獲されたドイツ豆潛水艦は八十一隻で別に撃沈されたとみられるもの二十八隻、攻撃を蒙つたもの七十隻がある、ドイツ軍降伏後投降せる豆潛水艦は約百隻に達する、ドイツ海軍豆潛水艦には次の三種類がある

一、ビーバー(海狸)=全長二十九呎半、水面排水量六噸一人乘り、改良電氣魚雷二本

一、モルヒ(山椒魚)全長四十六呎、一人乘り、裝備はビーバーと同樣

一、ゼーフトン(海豹)=全長三十九呎、排水量十六噸二人乘り、電磁式雷管及び防禦網切斷器のついた二十一吋改良型電氣魚雷二本

加軍も伯林占領に參加

(リスボン十五日發)カナダ第一軍附AP記者の報道によればカナダ軍もベルリン占領に參加するため、將校二百五十人兵四千九百九十七人から成る一個旅團を派遣するだらうといはれる、但し右報道によればカナダ軍のベルリン駐屯期間は約一ケ月程度といはれる

【歐洲】

丁綠共同防衛協定成立

(ストツクホルム十六日發)コペンハーゲン來電=デンマーク新議會は十六日デンマーク、グリーンランド兩國間の共同防衛協定を批准した、同協定は戰爭終了前ワシントン駐剳デンマーク公使ヘルニク・カウフマンがデンマークを代表して締結したものである

諾丁、電信電話を檢閲

(ストツクホルム十五日發)スエーデン紙の報道によれば、デンマーク及びノルウエーにおいては十四日から國外との電信電話並びに郵信連絡の一切について軍事檢閲が課せられてをり、デンマークでは米英及びソ聯、ノルウエーではノルウエー軍當局によつて、夫々右の命令が發せられたといふ

チトー、墺領にも食指

（リスボン十六日發）トリエストを繞つてユーゴスラヴイア政府と聯合軍が氣まづい對立を續ける一方、ユーゴスラヴイアは更にトリエスト北方のオーストリア領カリンチア地方に對しても食指を動かしてゐる模樣で、聯合軍に從軍中の記者は十六日同地方の首邑クラーゲンフルトから次のやうに報じてゐる

カリンチア地方に對するユーゴスラヴイアの要求によつてこの地方の情勢は複雜微妙を極めるに至つた、クラーゲンフルトには二つの相異なる軍政が布かれユーゴスラヴイア軍は恰も英第八軍が存在してゐないやうな振舞を續けてゐるしかも實際市中を巡視してゐるのは英軍の軍警であり、この地方の兵力は英軍が壓倒的に優勢だ、クラーゲンフルトの情勢はいまだトリエストのやうに緊迫してはゐない、しかし英第八軍はチトー軍に任務を讓るか乃至はイタリア戰線の血腥い旅程を終つた後オーストリアで仕事を續けるかどうか、チトー軍との間に何等かの取極めに達する必要があることは明かだ

ユーゴ軍の布告は英軍の布告と並んでクラーゲンフルト市内の壁のそこここに貼り出されてゐる、その一つには「オーストリア人の勞働者はすべて前職業をユーゴ軍當局に申出るやうに」と書かれ、これには罰則がついてゐる、今一つ十五日に貼り出された布告には「ユーゴスラヴイア軍がカリンチア地方に進入したのは、すべてのスロヴエニア及びオーストリア人のために強大な新ユーゴスラヴイア國内において眞の民主々義と自由と繁榮とを保障するためだ」と書かれてゐる

もつともユーゴ軍は大ユーゴスラヴイアにオーストリア領の幾何を取入れやうとしてゐるかを發表したことはないから、カリンチアに對するユーゴ軍の要求がどの程度のものかいまだ明かでない

英艦隊派遣を認む

（リスボン十六日發）トリエスト紛爭の激化に伴ひ英國は武力干涉を決意、トリエスト港に艦隊を急派したとの噂がしきりに傳へられてゐるが、ローマ來電によれば地中海方面米英海軍司令部は十六日米英艦隊がトリエスト水域に派遣された事實を認めながらも「機雷敷設水域の掃海のため」と辯明してゐる

白國王復位は反對

（チューリツヒ十五日發）ベルギー國王レオポルド三世は最近米第七軍によつて救出されたが、國王としてベルギーに歸還出來るかどうかは頗る疑問とされてをり、例へば「トリビューン・ド・ジユネーヴ」紙ブラツセル特派員は十二日次の通り報じてゐる

左翼派がレオポルド三世の復位に反對してゐるのはベルギーがドイツの占領下當時の彼の態度に基くのではなく戰前の政治的觀念に難色があるといふのだ、反對理由としては先づ第一にあまりにも個人的政策、第二に官憲主義者を側近者としたこと、またベルギーが對獨宣戰布告當時レオポルド三世は議會を召集せず降伏に際しても議會を無視したこと及び彼の側近者がロンドンのベルギー亡命政權の命令に服從しなかつたことなどである

好都合な心臟病

（リスボン十四日發）ベルギー政府は十三日國王レオポルド三世が健康上當分歸國しないことに決したと發表、首相アツカーも國王の病氣は「外交的」でなく心臟病だと言明してゐるが、ロンドンからのロイター電は十四日これに關聯して次の通り報じてゐる

ロンドンの消息筋ではレオポルド三世が直ぐには歸國しないことに決したのは却つてベルギーにおける政治的統一の回復に資するだらうとみてゐる、卽ち現在國王がブラツセルに歸還したりすれば當然君主政體に關する論爭を沸騰せしめ、その結果既に複雜してゐる政治情勢を益々混亂せしめるにすぎないからだ、國王の病氣は國王自身の將來に關する問題の論議を政治情勢が或る程度落着く時期まで延ばし結局間接的に問題を簡單ならしめることになるだらうとみられてゐる

昭和二十年五月十九日(土)
第三四二六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【桑港會議】

佛を常任理事國に決定

(リスボン十六日發)サンフランシスコ來電=桑港會議の安全保障理事會機構手續委員會は、表決の結果フランスを安全保障理事會の常任理事國に決定した旨十五日發表した

佛首席代表華府へ

(リスボン十六日發)サンフランシスコ來電=桑港會議フランス首席代表ビドーは十六日サンフランシスコを出發ワシントンに向つた

【米　洲】

米洲防衛條約を意圖

(リスボン十六日發)ワシントン來電=國務長官ステチニアスは桑港會議終了後に米洲會議を開催米洲防衛條約を締結する旨十五日發表した

內閣改造か

(リスボン十六日發)ワシントン來電=大統領トルーマンと特に親密な關係にある一部上院議員がAP記者に洩らしたところによれば、トルーマンはここ數週間以內に相當思ひ切つた行政機構の改革に乘り出す意向といはれ、先づ勞働、財務、司法三長官の更迭を始め政府獨立機關をそれぞれ各省に吸收するものとみられるが、更に物價管理局並びに戰時食糧局を農務省に、銀行業務全部を復興金融會社にそれぞれ合併することも考へられてゐるといはれる

新互惠關稅法案委員會通過

(リスボン十六日發)ワシントン來電=下院歲入委員會は十六日十四票對十一票をもつてドートン互惠關稅法案を可決した、右法案は大統領トルーマンに對し、本年度において外國との通商協定交涉に當り互惠的に米國の現行關稅率を五〇%引下げる權限を與へるもので、現行法は本年六月をもつて期限滿了となるが、今回の委員會通過により同法は修正條項を加へて更新され、一九四八年六月十二日までの三年間延長される筈である

單一食糧管理機關創設か

(リスボン十六日發)ワシントン來電=民主黨上院議員エルマー・トーマスは十五日上院で次の通り述べた

「上院農業委員會は物價管理局並びに戰時食糧局を監督監理すべき單一最高の食糧管理機關を創設せんとする分科委員會の報告を十三對二で可決した、右報告書は米國內における現在の食肉不足の原因として軍及び武器貸與法に基く購入が相當量あり、しかもこれが增加してゐること、豚肉の生產量が減少したこと、成育前の家畜類及び犢を市場に出したこと、食肉に對する民需が增大したことと等を擧げてゐる

食肉需給狀態を改善するための措置として同委員會は次の諸點を提案してゐる

一、牧場家畜類の發育を計るため飼育者に補助金を支出すること

二、搾乳用家畜類中不生產的なものを初夏に市場に出すための奬勵法を直ちに講ずること

三、豚の飼育補助金を引上げること

四、補助金の引下げは充分の豫告なしには行はないことを保證すること

五、加工業者が屠殺された家畜類の各種類に亘り適當な利潤を獲得出來るやう、現行の價格統制法を修正すること

六、一切の屠殺免許證及び許可證を一先づ撤回し然る後割當制に基きこれらの發行を制限規定し食肉が正常の配給機構を通して流れるやうにすること

七、聯邦政府の査察を擴充すると共に小屠殺業者に對しては一部家畜類の保存を命令すること

八、市民に對する食肉需給狀態と睨み合せて、武器貸與法に基く食肉の購入を制限すること

九、物價管理局が出廻りのよくなつた商品から統制を撤廢出來るよう、物價統制法を修正すること

一方議會筋の報道によれば大統領トルーマンは右食糧最高機關の長官に戰時動員局長官ヴインソンを任命する意向といはれる

太平洋島嶼併合を主張

（リスボン十六日發）海軍作戰部長キングを始め米軍首腦部の間には、日本に屬する太平洋諸島嶼を米國領土に合併すべしとの主張が行はれてゐるが、ワシントン來電によれば共和黨上院議員バトラーは十五日夜の國內放送において次の通り述べたといはれる

米國は太平洋の群島を卽時米國領土として併合すべきである

勞働組合日本人排斥

（リスボン十六日發）政府は日本人の太平洋岸地域歸住を許可し、これに從つて產業別組織會議仲仕、倉庫業組合は數週間前勞働における差別待遇撤廢策を採擇したが、サンフランシスコ來電によればサンフランシスコ附近ストツクトンの產業別組織會議仲仕、倉庫業組合員三百名が十六日突如として右政策に反對を決議し日本人勞働者との協同作業を拒絕したといはれる

戰時情報局廢止論

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンはドイツ占領地區內に軍機保護に牴觸しない範圍で報道の自由を認める旨言明し、戰時情報局の禁止方針を否定したが、民主黨下院議員ランキンは十六日さらに戰時情報局の廢止を提案左の通り述べた

余はトルーマンが戰時情報局長官デーヴイスに一擊を加へたことに贊成する、今やわれわれが好い加減な宣傳に耳を傾けず軍の指導者達の言葉に注意を拂ふべき時機になつた、余はトルーマンが戰時情報局を廢止するやう希望する、米國民はこの措置を歡迎するであらう

國內兵員の煙草制限

（リスボン十六日發）ニューヨーク來電＝陸軍省は六月三日から米國內各地に勤務中の陸軍兵員用煙草の割當制を實施し、一週間の配給量を卷煙草六箱と葉卷二十四本または刻煙草四オンスに制限する旨十六日發表した、また米軍に參加してゐるイタリア人部隊に對する配給は陸軍兵員の配給の半分となり、俘虜の煙草、葉卷の購入は禁止される

民需輕自動車生產計畫

（リスボン十五日發）ニューヨーク來電＝ジエネラル・モータース自動車會社社長ウイルソンは十五日、同會社が平時用として經濟的な輕自動車の生產を計畫してゐる旨發表した、新型自動車は同會社の「シボレー」型自動車製作部で製作され、「シボレー」販賣所を通じて賣り出される豫定だといはれるが詳細は明かでない

民需生產狀況

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝戰時生產局は十六日次の通り發表した

一、一般用ゴルフ・クラブの製造再開を許可する

一、今年末客車二十萬輛を製造する

一、七月一日頃自動車製造業者に對し生產再開の許可を與へる豫定で、豫定通り事が運べば、明年第一四半期にはさらに自動車四十萬臺が生產されることとならう

傷病兵救濟案を痛罵

（リスボン十五日發）シカゴ來電＝廢兵局局員シセロ・ホーガンは十五日政府の歸還傷病兵救濟案を痛烈に攻擊し次の通り述べた

政府の救濟案は米國民並びに歸還將兵に加へられた最大の欺瞞行爲だ、右救濟案は歸還將兵一人につき四千弗の融資を行ひ內二千弗を聯邦政府が保證することを規定してゐるが、事實は歸還將兵局が色々うるさい資格を設けたため殆んど骨拔き同然となつてゐる、その證據には歸還將兵で家を建てるための資金を融通して貰つた話をまだ聞かない

尙今次大戰を通じ現在までに一般市民生活に復歸した歸還傷病兵の數は約八十萬に達するとみられる

昭和二十年五月十九日(土)
第三四二六號
同盟通信
海外電報
(第二種郵便物認可)

交通問題調査團英京着

(リスボン十五日發)ロンドン來電によれば上院國際交通調査分科委員長バートン・ウイーラーは國際交通問題研究のため分科委員會代表四名と共に十五日空路ロンドンに到着したといはれる、ウイーラーは大統領トルーマンの認可の下に陸海兩省から研究を委託され、今回の歐洲派遣も特に海軍長官フオレスタルの要請によるもので十三日ワシントン出發に先立ち彼は次の通り言明してゐる
國際交通は米國にとつても世界平和にとつても極めて重要な問題だ、開戰以來交通機關が技術的躍進を遂げ、米國陸海軍が戰爭中尨大な交通機關を設立しこれを所有してゐる以上、米國が獨自の立場で直接結論を下し得るやうに調査團の歐洲訪問が極めて有益であると信ずる

【ソ　聯】

五月の爲替相場

(モスクワ十五日發)ソ聯國立銀行發表=五月十五日現在の外貨換算率次の通り
米弗、瑞典クローネ、瑞西フラン、日本圓變らず
英一磅　二一留三九可
加一弗　四留八二可
土百リラ　四一〇留八〇可

東歐政策を辯護

(ストツクホルム十六日發)米英兩國言論界はポーランドを中心とするソ聯の東歐洲政策に攻撃の矢を向け、英紙「オブザーヴア」の如きは「ソ聯の帝國主義攻勢」とまで極言してゐるが、ソ聯記者ボリス・イサコフ氏は十六日のモスクワ放送を通じてソ聯の政策を次の通り辯護した
ソ聯は敵の侵略と闘ふよりも搖ぎない平和を創造する方針で、過去の歷史を繰返さぬやう有效な豫防措置を講ずる決意である、ソ聯の東歐洲政策を批評する者はドーヴア海峽を持つ英國と兩大洋を持つ米國とが、現在歐洲アジア兩大陸にあるどの國よりも安全なことを忘れてゐる、彼等はポーランド及び東歐洲における眞の事態を知らないし、また知らうとも欲しない、ソ聯やポーランドその他の東歐洲國家が侵略國ドイツに對する有效な協力と相互援助をもつて、米英兩國の持つ自然障害に代へようと努めてゐるからといつて誰も驚く者はない筈だ

【英　帝　國】

空軍戰鬪機隊の記錄

(ストツクホルム十四日發)ロンドン來電=空軍省は十四日、前後五ケ年半に及ぶ今次大戰中、英空軍戰鬪機隊が收めた戰果を誇示し左の通り發表した
英空軍戰鬪機隊は敵飛行機六千五百機以上を撃破し、殆んど二千發に及ぶ流星彈を撃墜した、英空軍戰鬪機隊が敵と初めて戰鬪を交へたのは一九三九年十月十六日で、この日フアース・オブ・フオースを攻撃したドイツ軍爆撃機十二機のうち三機を撃墜した、その最初の作戰はダンケルク撤收戰における空中掩護で、前後二週間に亙るこの作戰中、英空軍戰鬪機操縱士は獨軍機四百機以上を撃墜した、一九四〇年後期から四一年に亙つた英本土の戰ひにおいて、英空軍は八對一の劣勢であつたにも拘らず、戰鬪機操縱士は晝夜間斷なく出動し、ドイツ空軍來襲部隊のうち少くも二千三百七十五機を撃墜した、これに對し英空軍の兵員喪失は三百七十五名であつた、一日間の撃墜記錄は一九四〇年九月十五日樹立された百八十五機である、英軍は一九四一年空中反攻を開始、英空軍戰鬪機隊の出撃機數は增加の一途を辿り、距離的にも遂にはドイツ及びオーストリアの深奥部にまで突入するに至つた

總選擧六月十一日

(ストツクホルム十五日發)オツタワ來電=カナダ下院の總選擧は來る六月十一日擧行されるが、十五日までに決定した候補者は二百四十五の議員に對し九百六十五名に上り、一九三五年度の選擧の際の候補者數八百九十二名に比べて七十三名の增加だ、カナダ首相マツケンジー・キングが率ひる自由黨は二百三十八名の候補を立ててゐる

特輯

信託統治制と各國の主張

武井武夫

桑港會議に提出されてゐるダンバートン・オークス案の修正案は百件あるか二百件あるか一寸かぞへ切れない位で、それの檢討と綜合のために十二の專門委員會は晝も夜もない忙しさだといはれるが、中にも國際信託統治制の問題は地域的取極めの問題と共に桑港會議最大の難關となり、へまに行けば癌になつて固まる恨れさへないとはいへない、本來國際信託統治制といふのはダンバートン・オークス案の中にもはつきりした條項がなかつたのだから始末に惡い、これについてはヤルタ協定が、信託統治制の下におかれるのは、舊國際聯盟委任統治領と今次大戰中敵から奪取した地域と自發的に信託統治制下に入つた植民地とであると規定してゐるにすぎない

從つて現在論議の對象となつてゐるのは關係諸國が勝手に持ち出した提案だけで四大國にしろ五大國にしろ共同案など作つたわけではなく、勿論信託統治の原則についても、五大國の間に意見の一致など有り得よう筈がないのだ、現在までに信託統治委員會は三回開かれ、米國、比島、濠洲、フランス、オランダ、支那、南阿聯邦、英國、ソヴエト聯邦が信託統治制に關する見解を表明してゐる

信託統治委員會の委員長を努めるニュージーランド首相ピーター・フレーザーが十四日新聞記者團會見で言明したところによれば、かうした混沌たる狀態から脫け出すために委員會は米國代表スタツセンを委員長とする小委員會を設け、各國の提案を基礎として論議の日程表ともなるべき「基準文書 Working Document」を起草することになつたといふが、この基準文書が「大きな意見の相異」を調和し得るものでないことはフレーザー自身も認めてゐる、とにかく基準文書は十五日夕刻の信託統治委員會第四次會議までには作成されることになつてゐる

ただ一つだけ確實なことは、この委員會では特定の地域を問題にすることなく、一般論だけを決定するといふことだ、ただ國際信託統治機關の案を本會議に提出して採擇を求めるだけだが、關係諸國の肚のうちには、この基地とかあの植民地とか直接の對象があり、その條件が一々異るのだから個々の場合を論ずよりは却つて纏りにくいともいへばいへるかもしれない

△對立する植民地獨立論

形の上からいへば信託統治制の問題は米國、ソ聯、重慶の三國と、英國、フランス、オランダ、ベルギーの四國とが對立してゐるともいへる、一見して分る通り後者は植民地保有國ばかりだ

この二派の論爭の對象は何かといへば、信託統治領を戰略的地域と非戰略的地域に分類するといふ米國案が中心になつてゐるのは勿論として、その他にも次の三點が擧げられる

第一は信託統治制の目的は非獨立國民の獨立促進にありやといふ問題だ、米ソ重慶三國は然りと言ひ、他の諸國は否といふ、理由は簡單で、植民地が究極において獨立すれば植民地保有國は經濟的に不利になり、貿易の競爭者を作り、場合によつては立場が引つくり返つて本國の產業並びに勞働者が苦しむ結果になるかもしれないといふ心配があるからにすぎない、ソ聯と重慶は植民地を持たないからさうした取越苦勞の必要はなく、米國となれば、他國の植民地を獨立させることはそのまま自由の海外市場を擴げることになるのだからこれほど甘い話はないに違ひない

第二は信託統治領は經濟的に無差別なるべきや否やといふ問題である、米國はしかりといひ、植民地保有國は斷じて否といふ、理由は前と同じであり、しかも一層直接的だから無理もない

第三は信託統治理事會（これについては後段に說明しよう）は信託統治領の調査を行ふ權限を有するか否かといふ問題である、勿論植民地保有國はこれに反對態度を示してゐるが、その理由として考へられるのは、自分達が信託統治領の內部で

昭和二十年五月十九日(土)
第三四二六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

何をしてゐるか他國に知らせたくないためか、或ひは植民地住民とか他國民とかよりも自國に利益になるやうな植民地政策をとりたいためか、二つのいづれかであらう

△慾と慾の爭ひ

ソヴエト聯邦は戰前自國の發達のために技術や機械を輸入する必要に迫られて、食糧や白金のダンピングを行ひ、隨分他の資本主義國に迷惑をかけたこともあるが、大體が資本主義國家ではないのだから世界市場の爭奪にはあまり關心を持たないと考へてよからう、重慶は自國の市場さへ賄ひ切れない國だから問題にならない、しかし他の諸國の眼中には市場としての植民地しかない、從つて以上の見解の相違は、植民地保有國と無植民地國の爭ひといふよりも、植民地保有國と米國との慾の衝突だといつた方が適切かもしれない、經濟的な立場から論ずる限り、植民地保有國は必要とあれば新しい外套に被ふにしても實は植民地の現狀維持を希望し、米國は市場を奪ふために經濟的無差別を主張し、ついでに獨立を提唱する、ソ聯や重慶は國內政策的にも對外政策的にも損のない以上獨立促進を主張するのが當然だ

從つて植民地といふ觀念が放棄さるべきものだとすれば、他國に植民地を放棄せよといふ國は放棄を可能ならしめるやうな客觀的條件を作り出さなければならない、穿つた見方をすれば、ソ聯はただ會議を攪きまはして諸國の經濟的野望を暴露すれば目的を達するのだから、眞劍に植民地の代償となるやうな儲け口を探してやる氣はないにちがひないし、スターリン議長が口先だけで資本主義國が植民地を投げ出すなどと甘い考へ方をしないだらうことはいふまでもない、そこで米國の一部の意見として、「ニューヨーク・ポスト」紙の主張を紹介しよう、同紙は曰ふ

植民地の放棄を主張するならば、相互通商條約を締結し、國際空路網の配置を公平にし、戰爭中に商船を失つた國に對しては自國の巨大な戰時商船隊の一部を割讓し、外國貿易が容易になるやうに國際通貨安定のための協定を結ぶだけの用意がなければならない、卽ちこれをなし得る國家は米國あるのみだ

そして會議の方向は「ニューヨーク・ポスト」紙の主張する通りの道を辿るかもしれないが、要するに信託統治問題並びに植民地問題の根柢に經濟問題があることは明かで、打算上の妥協がなり立たない限り問題は解決されさうにない

△露骨な算盤勘定

國際安全保障とか非獨立國民の獨立促進とかを看板に掲げた桑港會議も、ここまでアラをかき出すと話はまことに汚いが、抽象的な理窟だけでは聯合諸國に對する感情的な惡口と考へられる惧れがある、そこで汚いついでに彼ら自身の代表をして彼らの慾の主張を語らしめよう、まづ英國代表クランボン卿は委任統治植民地を關稅引下げによつて全世界の開發工作に開放せよといふ米國の提案に反對して十五日次の通り言明してゐる

委任統治領を過去二十五年間統治して來たわれわれの體驗からいへば、經濟的無差別を規定しても決して住民の利益にはならない、また例へば余が起立して四十九ケ國の代表に對し、諸君は他國の製品或ひは原料に對する一切の統制を撤廢しなければならないと主張したとしても、出席代表は誰彼といふことなく直ちに起ち上つて、そんなことをしたらわが同胞の利益に重大な危險を及ぼすと反對するにちがひない

また南阿聯邦代表スミツトも十五日の委員會で同じ提案に反對してから述べてゐる

これは委任統治制度を初めて施行した時から明かだつたことだが、人口とか風土とか統治形式とかは土地によつて非常にちがつてゐて、固定した着實な統治などあり得ないといふこと、協定の條項はそれぞれの場合に應じて判斷されなければならないといふことを忘れることは出來ない、南西アフリカ委任統治領の特殊例を擧げるならば、同地は南阿聯邦の一部として統治されてゐるが、非常に貧しい國で聯邦から離れては到底存續し得ない狀態だ、南西アフリカ政廳の豫算をして收支平衡せしめるために聯邦か

ら巨額の金を提供したことも一再ではない、かうした援助がなくなつたとしたら、南西アフリカは獨立の存在として存續することは出來ないにちがひない、從つて南阿聯邦の同意なくして委任統治條項を變改せんとする提案のごときは不信行爲と見做さるべきであり、人心を動搖せしめ南阿聯邦の統治さへ危險に陷れる政治的不安の狀態を釀し出すかもしれない、委任統治領の或るものは國際機構自身の機關を通じ國際機構により直接統治さるべきだといふ重慶の提案に至つては、徒に混亂を生ずる惧れあり、健全なる統治を可能ならしめるものではない

△太平洋基地はどうなる

以上述べたのは米國案の所謂「經濟的社會的に獨立し得ざる地域」即ち「非戰略地域」だが、信託統治案の表玄關ともいふべき「戰略的地域」の問題、はつきりいつて米國の太平洋基地獲得の問題に對する各國の態度はどうか

前にも述べたやうに、桑港會議では特定地域については論じない建前になつてゐるので、植民地問題が絡まる限り植民地保有國としては何とも態度を明かにし得ないのが本音だらう、しかし太平洋に戰略的關心を有する國は米國だけではない英國、濠洲、ニュージーランド、カナダ、オランダ、フランス、重慶等悉く國防上乃至は植民地防衞上太平洋に有力な陸海空軍基地を持たなければならない國ばかりだ、そして將來における米國の最大の敵ソヴエト聯邦は、當然米國の太平洋基地獲得に對して多大の關心をもつてゐる

英國やフランスは植民地と基地を別扱ひにする米國案に眞向から反對で、なかなか面倒なことになつてゐるが、それは前述の植民地問題があるからにすぎず、戰略基地を保有することに反對してゐるわけではない、濠洲もオランダも同じことだらう、但しどの基地をどこの國が取るかといふことになれば、一國が國防上安全な場合には、他の安全感が脅かされるといふ事態を生ずることは當然であり、問題の難點は原則論でなく具體的な指定にある、結局聯合諸國に關するかぎり議論の焦點は植民地問題の決定にあるわけだ、ところが重慶だけは米國の太平洋基地獲得により自國の防衞が殆くなり、まかりまちがへば支那大陸に米軍基地を設けられることにさへなり兼ねない、ソ聯が米軍基地の進出を喜ばないことは勿論だ、それでは原則論の範圍において、かかる各國の主張がいかなる形で表れてゐるか、それを簡單に述べよう

△組織論に示される相剋

この原稿が活字になる前にスタツセン委員會の草案が發表されるわけだから迂濶なことはいへないが、いはゆる「基準文書」がどんなものであらうとも、それを中心とする論議はまだまだかなり紛糾するにちがひない、從つて今各國の信託統治機關に關する主張を檢討することも、決して無駄にはならない筈である

現在俗に信託統治委員會と呼ばれてゐる聯合國國際安全保障機構會議第一部第四科委員會は、ダンバートン・オークス並びにヤルタで漠然と提唱された信託統治制なるものの具體的諸問題を研究し、制度を運用すべき機關の設計をする專門委員會にすぎない、國際信託統治機關が新國際機構內部の信託統治理事會といつたやうな形を取ることは各國とも暗默裡に承諾してゐるわけだ、そこで基地問題乃至植民地問題に對する各國の態度は、現地管理機關、信託統治理事會、國際機構總會、安全保障理事會の四つの關係をいかに決定するかといふことによつて明かにされる、次にこれに關する各國の主張の骨子を列擧する

米國＝戰略的地域は安全保障理事會の下に屬せしめ、非戰略的地域は總會の監督下におく、國際機構に提出すべき戰略的地域に關する報告書は受託國と安全保障理事會の協定せる書式により作成され提出される、國際信託統治理事會は總會に從屬する、非戰略的信託統治地域については定期的に報告する

英國＝戰略的地域と非戰略的地域とを區別せずただ戰略的地域並びに委任統治領の一部につき特殊の取扱ひを規定することによつて軍事的價値を認める、國際信託統治理事會は經濟社會理事會に

昭和二十年五月十九日(土)
第三四二六號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

報告を提出する、非戰略的信託統治領については定期的に報告する

ソ聯＝世界安全保障常任理事國は信託統治領を有すると否とに拘らず、すべて信託統治理事會の常任理事國となる（卽ちこれによつて信託統治に發言權を獲得するのはソ聯と重慶である）安全保障理事會の常任理事國は戰略的地域の指定に對する拒否權を有する、また戰略的地域の指定は安全保障理事會が行ふ（この手續きには常任理事會の滿場一致可決が必要）

重慶＝非獨立領を戰略的地域と非戰略的地域とに分ち、前者は安全保障理事會、後者は總會が管理權を行使する、安全保障地域の管理當局は安全保障理事會の規定する報告形式に基き年次報告を安全保障理事會に提出する、世界安全保障に不可缺なりとせらるる地域の範圍は防衞または安全保障の目的に必要とせらるる最小限のものとする

濠洲＝受託國は義務として信託が效果的に實施されてゐるか否かにつき委員會に報告する、統治領は統治國の自發的意思により、もしくは世界安全保障機構の總會によつて宣言される、總會は現存委任統治領を接收し、これを特定の國家に統治せしめる權限を有する、この場合接收條件は總會と統治國の間の協定によつて決定される、總會は國際信託統治領の保全を殆くすると考へる場合安全保障理事會の具申に基き現存委任統治領の軍事制限事項を徹廢し得る

以上各國の主張を詳細に比較檢討すれば、米國の基地獲得に對する諸國の態度は自ら明瞭になるはづである

資料

シベリア新誌

△シベリアの變貌

シベリアといふ言葉ですぐ「戻ろかオロラの下を」想起する人もまだ日本にはかなりゐよう、だが今のシベリアはカチユーシヤの流されたときのそれでは全然ない、勿論ベルホヤンスクの寒さが緩和されてみたり、タイガの密林が種切れしたりなどといふ意味ではない、世界の寒極ベルホヤンスクは約一世紀前と同じく今日もなほ依然として一年のうち氣温が氷點より上に出るのは僅かに七十四日に過ぎず、タイガには樅やシベリア落葉松等々が千古斧鉞を入れられぬままに茂りに繁つてゐる、では七百三十四萬六千平方哩のこのシベリアの地はどう變つたか

まづ第一に今ではシベリアといふ名前そのものが現在ではソ聯の行政區劃から取外され、專ら地理的な概念としてのみ殘されてゐるのだ、從つて時にはウラルからエニセイ河に至る往年の西部シベリア地區をのみ意味することもあれば、昔と同じくウラルの東、中央アジアを除いて太平洋岸に至るソ聯領全域をいふこともあるといつた風である、ここに述べるのは素より廣義のシベリアの謂である

そのシベリアの行政區劃や民族については更めて玆に述べる必要はあるまい、われわれはソ聯の勝利に導いた戰力培養基地としそのシベリアを殊に一九四二年夏今はなきドイツが最大の攻勢に出でレニングラード、モスクワを脅かしウクライナを席捲してスターリングラードにまで延びてゐたとき、歐露に代つてこの獨軍押返しの原動力となつたシベリアを瞥見しよう

△農牧業

一九四二年は農業的にいつてもシベリアにとつて劃紀的な年であつた、スウエルドロフスク州では馬鈴薯の二割五分、蔬菜の四割九分、小麥その他麥類の十三割六分、飼料の三割二分增產計畫が實施されるし、アルタイ地方、西シベリア、北及び西カザフスタン、キルギス、ウズベク、オムスク、ノヴオシビルスク、クラスクヤルスク、ヤクート、ブリアートモンゴル、沿海州、ハヴアロフスク等々シベリア全域に亘つて數千萬エーカーの開墾、增產計畫が行はれた、元來廣漠無人のシベリアの持つ農業的可能性は、地理的乃至は氣象學

的な制約は多少あるにせよこれに注入される動力並びに人力の多寡によつて規定されるところ少くなく、現に灌木さへ育たず、地衣、蘚苔類のみしかみえないツンドラでさへも、短い夏季の耕作によつてそれ相當の成果を擧げてゐる、上述した世界の寒極ベルホヤンスクの如きはその一例で、過去四年間に同地の共營農場はエーカー當り一四・七ブッシェルの小麥を收獲してゐるし、一年中凍結してゐるソコヴオロヂンでは最初林檎、葡萄、キイチゴの栽培から現在では果樹四十二種を栽培し得るまでになつた、以前小麥の栽培は北緯五十六度までが極限とされてゐたが今では六十七度までも可能の範圍に入れられてゐる。

シベリア農業の機械化は土地面積と人口密度からいつて當然の要請で、沿海州のみでもトラクター三千臺を有し、一九四一―四二年の冬にはトラクターの運轉訓練を受けた女子の數一萬五千に達してゐる、牧畜は元來シベリアが遊牧の民の住家であつたことからだけでもその成績が容易に想像され得るところ、しかもこの土地の牧草の豐かさは前世紀すでにここの牛乳にデンマークのそれよりも品種優秀の折紙をつけさせ帝政末期シベリア産バターの歐洲への輸出は莫大な量に上つてゐた、これが革命とそれに續く施策の失敗とによつて急激なる減少を見一九三四年には最低に達したが、これも一九四二年の「コルホーズ及びソフホーズ幼畜維持並びに家畜頭數增加」に關する聯邦人民委員會議決定以來幼畜の濫費、屠殺禁止、人工交配、人工孵化の實施、飼料基地の確保、强化と相俟つて急速なる增加をみ、馴鹿さへも二百萬頭を數へるに至つてゐる

△鑛業と交通

シベリアの資源を數へるに當つて忘れてならぬものはこの廣大な地下に埋藏された鑛物資源であらう、帝政當時知られてゐたものはレナ、アルダン兩河の金、北部地方の毛皮、樺太の石油、石炭太平洋岸の鹽位のものであつた、だが今は違ふ、シベリアの鑛物を數へる事は一連の化學要素表を作るにも等しい、加之それは現代の重工業にとつて殆んど不可缺ともいふべき稀有原素の多數をさへも含んでゐるのだ、石炭、鐵、モリブデン、タングステン、銅、金、銀、白金、ニツケル、鉛、亞鉛、アルミニウム、黑鉛、マンガン、砒素、螢石、アンチモニー、水銀、コバルト、ヴアナジウム、カドミウム、燐灰石、それにダイアモンドその他である、一九三五年までにソ聯科學者がシベリアにおいて發見したこれ等重要鑛物の鑛床は一千五百に達してゐるといふ、就中クズネーツクつまりグズバス炭田の石炭は埋藏量四千五百億噸、ソ聯全域の三割に達し、米國のアパラチア炭田に次ぐ世界第二の大炭田である、その他鑛物の個々については敢へてここに贅言して紙數を增加させる要はあるまい

これ等農鑛資源の戰力化は一に輸送の如何に懸つてゐる、そしてシベリア輸送の根幹が實にシベリア鐵道にあることはいふまでもない、その複線化は一九二八年までにしばしばみられた輸送障害を著しく改善したし、第三次五ケ年計畫による、モスクワよりアクモリンスクを經、コムソモリスクを通つてソヴイエツカヤ・ガワンにおいて太平洋に達せんとする第二シベリア鐵道の成否は最も注意さるべきものであらう、ハヴアロフスクよりコムソモリスクを經てソヴイエツカヤ・ガワンに至る新線とウラン・ウーデより外蒙國境キヤフタに至る線の開通は前者とともに重視さるべく、ウラジオストーク、ハヴアロフスク、コムソモリスクを結ぶ自動車公路、部分的完成を傳へられるシベリア橫斷自動車路等は今後漸次その重要性を增して行くであらう

前大統領秘書辭任

（リスボン十四日發）ワシントン來電＝前大統領ルーズヴエルト祕書スチーヴン・アーリーは六月一日をもつて白亞館を去るが、アーリーは十四日記者團に對し左の如く語つた

以後はプルマン會社に就職するかも知れぬ、地位はワシントン事務所の支配人のやうなものにならう

昭和二十年 五月十九日(土)
第三四二六號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

醫學における藝術の役割

ボルテイモア 十六日 AP電

△醫學藝術の誕生

藝術は疾病並びに負傷の治療に役立つといふボルテイモアの醫師達の三十五年來の信念が十六日初めて實を結び、米軍戰鬪員の生命を救ふ役割を演ずることになつた

世界的に有名な婦人科醫トマス・ステイーヴン・カレン博士がジョンス・ホプキンス醫學校に世界最初の醫學藝術部を設けて自己の學說を實證しようとしたのは一九一〇年のことだつた

藝術の醫學におけるは百貨店における優れた陳列窓の如きものだ、一枚の繪は百頁の醫書に優るといふ命題に基づいて繪具と鉛筆とインクは研究を記錄するための綜合的條件となつた、各種疾患の目に見える部分のみでも蟲樣突起手術から極めて微妙な神經移植手術に到るまでの手術技巧をも畫き出すわけである

現在醫學藝術の父と呼ばれてゐるマツクス・ブレーデルはジョンス・ホプキンス醫學校出身の最初の藝術家である、この事業は他の教育機關にも擴がつて現在では一流の才能を有する醫學藝術家が約百人ゐる

△戰場における醫學藝術班

この仕事の重要性が增すと共に寫眞や鑄型を使用する他の種類の描寫形式も利用されるに至つた最近では人造石に彫刻する方法も使はれるやうになつてゐる、マツカーサーのレイテ島上陸に際しては醫學藝術班も同行した、歐洲、支那、ビルマ印度等でも同樣の部隊が相當活躍した

冷凍神經の移植技術はウオルター・リード病院で見出され、技術圖解によつて野戰病院に傳へられた

陸軍部隊は陸軍の醫學藝術班に對して數千葉の塹壕食糧の寫眞や圖解を要求して來たが、かうした手段によつて海外派遣將兵がまだ乘船を開始しない前から疾病に對する戰鬪は開始されてゐるのである、航空部隊も高々度における凍傷に對する豫防並びに治療の教育に關して同じやうな要求を提出してゐる、前線の將校達もマラリア對策について醫學寫眞班に寫眞による協力を求めてきた

現在野戰病院と本國の病院の醫學資料交換は殆んど日常のことになつてゐる、陸海軍の報告によるも軍醫學校における目を通じての教育は教授時間を約五十パーセント節約したといはれる

既に第二次世界大戰醫學史においては古典に屬するが、潛水艦に乘り組んでゐた二等藥劑士が、衞生部隊必携の圖解と說明を賴りに同僚の蟲樣突起摘出を立派になし遂げたといふ話もある、彼は必携の寫眞に並んでゐる通りの順序で機關士の手渡す器具を使つたのだ

△醫學藝術家の作品

しかしながら戰爭を待たずとも醫學藝術は既に醫書の範疇を出て畫廊にさへも進出してゐたのである、現在これに對する社會の關心を試みるようがとして、醫學團體後援の下に連續開催されてゐる展覽會は、その「藝術のための藝術」としての價値を實證し得た、最初のうちは單に好奇心からくる反響がみられただけだつたが、コレクションが展觀されると共に、好奇心はその色彩や細い寫實に對する驚嘆と變つた、いや美しく色彩られた眼徹毒から、結核菌の寫生に至る醫學藝術家の作品に美さへ認められるやうになつたのである

更に戰爭を待たずとも醫學藝術家は人類のあらゆる危機(誕生、疾病、死亡)に際して內科、外科の醫者と肩を並べ、鉛筆や筆やカメラを手にしてみたままを記錄する時に、彼等が人間そのものに觸れるのだといふことは明らかである、彼は今出產に立合ひ、母と子を救ふための何か新らしい進步を畫かうとし、死體檢證においては死因を研究し、その寫眞を作製し、研究所の顯微鏡を覗いては人類の利益のために微細な醫學的事實を再現するために數時間を費す

△職業の性格

ボルテイモアの臨床製作によつて畫かれた圖解は世界の如何なる僻阪の地においても醫師の研究の對象となり、如何なる新藥にも劣らず生命を救ふ上において大きな價値を發揮してゐる

だが單に藝術家たるのみでは醫學圖解記錄者としての資格は十分でない、ブレーデルは自己の職業について

醫學藝術家は主題をあらゆる觀點から卽ち解剖學的、局所解剖學的、組織學的、病理學的、醫學的、外科醫學的觀點から考察しなければならない

と述べてゐるが、これに對しカレン博士はしかも醫學藝術家はやはり一個の藝術家でなければならないのだ

と附け加へてゐる

カレンは正確さと技術的な細さが絶對の條件とされる陸軍の醫學藝術についてから述べてゐる

繪は說明に代り事實のそのままの表現であり、時にはステロ版的な鮮明さをもつて、第三次元をさへ示し得るやうでなければならない、寫眞にもそれだけの役割があるが、寫眞はその範圍を限定されてゐる、手術の寫眞は圖解的なスケツチほど多くのことを教へ得ない場合が少くない、寫眞だと一つの器官をある位置からしか撮映し得ない場合があるが、繪に畫くと同一物をあらゆる方向から一度に畫くことが出來る

△未だ搖籃期

既に一九一〇年當時から今に十年もすれば主な醫學校には有效な醫學藝術家が常に存在し二十年經てば米國の醫學藝術は世界で最も優秀なものになるだらうと豫言したほどの先見を有するこの婦人科醫は、自分の「赤兒」の將來については極めて遠慮した見方をしてゐたといふことも出來よう

鼻や耳を失した戰傷兵は整形外科手術をして貰ふまで蠟やゴムの代用品を作つて貰ふとか補綴術の巧みな使ひわけを習ふといふやうなことは醫學藝術家相手の問題ではない、だが目を失つて兵士が可塑材製の義眼に實物と變らぬ虹彩を畫いて貰ふといふやうなことなら醫學藝術家の使命であらう、カレン博士は醫學藝術はなほ搖籃時代を出ないといつてゐるのである

農業における航空機利用

（リスボン十六日發）シカゴ來電＝私營輸送機製造業者組合當局の言明によると航空機製造業者達は戰後個人用航空機の市場として米國農業家の購買力に期待し、その六〇％位はこの方面に捌けるものと豫想してゐるといはれる、戰後機敏な農業家は傷み易い產物を市場に急送するにも、農具の應急修理にも、殺蟲劑や肥料を撒布するにも、家畜や柵の見廻りをするにも、畑の種播きをするにもすべて飛行機を利用するやうになるだらうといふのだ、かうした豫言の基礎となつてゐるのは最近行はれた航空機の農業利用に關する實驗だが、その一例を擧げれば牧草の種一萬磅を一千二百エーカー以上の土地に播くのに航空機によれば僅か二十四時間しか要せず、その費用は手播き一エーカー當り八十六仙に對し一エーカー當り三弗二十一仙で大して費用がかかるともいへない位だつたといふ

餘剩航空機を教材に

（リスボン十五日發）ワシントン來電＝米國餘剩資產局は員數過剩の軍用機及び備品を大學、專門學校その他の教育機關に拂下げるに決した旨十一日發表次の通り述べた

政府は餘剩飛行機處分案に基づき、陸海軍用機及びその備品で、も早軍用としても企業用としても不適當となつたもの乃至餘剩航空器材の或るものを室內教授その他地上航空術教育の教材として實費以下をもつて諸教育機關に拂下げることに決定した、これを利用し得る青少年の數は數百萬に達するとみられるが、歸還將兵一般成人希望者その他これから飛行術を習得しようとする者はすべて今回の計畫の恩惠に浴することが出來るわけで、餘剩航空機並びに諸施設を教育に使用することにより國民航空思想を向上したいといふ考へは從來から廣く米國識者の間に認められてゐた

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通

昭和二十年　五　月廿一日(月)
第　三　四　二　八　號

同盟通信　海外電報

(114

【目　次】

フランス軍に占領地帶を分讓……一三九二
防衞氷河の建設……〃
ボール將軍赤軍を非難……一三九三
信託統治案でまた紛糾……〃
大國の無理押しを公言……〃
【歐洲戰後處理問題】
戰爭犯罪裁判所を設置……一三九四
コーネフ元帥米軍司令部訪問……〃
【ド　イ　ツ】
ヒ總統の最後……〃
飢餓線上を彷徨……〃
「善きドイツ人は善きナチ黨員」……一三九五
ム統帥救出の殊勳者逮捕……一三九六
【歐　洲】
丁抹、對日斷交……〃
米にグリーンランド基地を提供……〃
英軍代表トリエスト港へ……〃
チトー軍トリエストから撤退か……〃
【東　亞】
ネルソン經濟顧問に留任……〃
【桑港會議】
非常任理事六ケ國を選擧……一三九七
【米　洲】
通商自由主義を强調……〃
比島に對する野心を曝露……〃
グアム島復興費削減……〃
現勞働力五千二百萬……〃
對外戰時救恤金二億六千萬弗……一三九八
鐵鋼五十萬瓲平和産業へ……〃
ソ聯評論家實業家を非難……〃
米軍損害九十八萬……一三九九
キンケード本國歸還……〃
元西首相紐育到着……〃
【英　帝　國】
イーデン、ロンドン着……〃
エールに「最後通牒」か……〃
カナダ總選擧始まる……〃
【ソ　聯】
パットンに勳章……〃
【特　輯】
フランス五月備忘錄……一四〇〇
【資　料】
ステチニアスの聲明……一四〇四

世界の焦点

敵陣營では和平論議が盛んなやうである、五月八日の東郷聲明から、十五日の外務當局談、十七日の翼贊會の解散まで悉くが、彼等の和平談議の種になつてゐるのだから笑はせる、彼等の曰くは日本は反樞軸國間の不一致不統一、ドイツに勝つた戰爭一と休みの氣分を利用して政治攻勢に出てゐるのだと解してゐるやうであるが、全くもつて自らを知るの言といふべきである、自己の弱みを知つて、そこに日本がつけ込んでゐると解釋してゐる結論の當否は說明するまでもないが、前提だけは間違つてはゐないやうだ

「エコノミスト」はソ聯の政策は自巳防衞に對する危惧ばかりでなく、成功に醉うたほろ醉ひ氣分が多分ににじみ出てゐるといつてゐるが、ソ聯に對する英國の批判はそのまま米英にも當てはまるやうである、日本に關する和平談議を最も多く報じてゐるのがロイター通信であることもまた、われらには興味がないこともない、米國の通信が概して半信半疑で、興味半分に扱つてゐるとき、ロイターは眞正面からこの問題をとりあげようとしてゐる、さういへばチャーチルの演說から最近「無條件降伏」の言葉が姿を消したのも意味ありげである、英、米が自巳防衞に對する危惧と、戰勝のほろ醉ひ氣分から、これ以上の戰爭に次第に嫌氣がさし始めたことはいなむべくもないやうである、そこで溺れたものが藁でもつかむ氣で、專ら希望的思惟をほしいままにしてゐるのだ、翼贊會の解體が、日本の和平氣分の現れなら、その後の國民義勇隊の結成は彼等は何と說明するであらうか

われわれは敵のいひ分に一々こだはる必要はないがわれわれが知らぬ間に彼等自ら平和の虫に蝕まれて墓穴を堀りつつあるの事實は知つておいてよい、彼等もまた苦惱のどん底にまで到達してゐるのだ、戰爭は最後の五分間を更に一分餘分に戰ひ拔いたものが勝つのだ

フランス軍に占領地帶を分讓

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝フランス外相ジョルジュ・ビドーは桑港會議からパリに向け歸任の途次、十一日午後ワシントン駐劄大使ジョルジュ・ボンネを同伴ホワイト・ハウスを訪問、大統領トルーマンと四十五分間にわたり會談を遂げたが、右會見の席上トルーマンは「ドイツ國内における米軍占領地域の一部をフランス軍に分讓する用意ある」旨言明した、右會見後トルーマンは大統領就任以來初の記者團會見に出席、次の通り述べた

米軍はドイツ領の占領地域を一部フランス軍に分讓するに決定し既に分讓の細目を非公式にフランス政府に通達した、世界並びに歐洲の諸問題處理に今後フランスが果し得且つ果さねばならぬ役割については米國政府において十分諒承してをり、力の及ぶ限りフランス國民の復興を促進する方策を講ずるに吝でない、以上の見地から米國政府は國内における物資の不足にも拘らず異常の措置を講じフランス向け物資の供給並びに輸送を優先的に扱ふ方針である、余はスターリン議長並びにチャーチル首相以外に出來ればド・ゴール將軍、蔣介石その他聯合各國の首班と會見し度いと思つてゐる

ただしビドー外相は同じく記者團との會見で來るべき三頭會談にフランス政府は參加するかとの質問が出たところ

大統領との會見は現下の政治情勢についてだと語つただけで確答を與へなかつた

防衛氷河の建設

—ソヴエト外交を批判す—

（ストツクホルム十八日發）ドイツ軍降伏の前後からソヴエト政府の自主獨往外交が漸くその鋒鋩を露はすに至つた結果、米英兩國内にはソヴエト聯邦との關係再檢討の機運が漸く動き出してゐる樣子で、例へば現在インターナショナル通信社のロンドン特派員で曾つてモスクワに在勤したことのあるブラウンは十八日

蔣介石が不人氣な結果延安政權が相當勢力を擴張するに至つたが、歐洲においてスターリン議長が無遠慮な外交戰術に出てゐる結果支那について米國が考へ直すことになるかも知れない、しかしソヴエト政府としては支那が第二のギリシヤと化し米國が實力をもつて民主主義の形骸だけを維持するやうな事態を好まないと述べてゐる、ブラウンの報道はソヴエト大使館筋の意向を反映してゐると解されるが論旨は必ずしも明かでない、しかるにロンドンの週刊「エコノミスト」誌は十八日發行された最近號においてソヴエト聯邦と米英兩國間における「現在の外交的紛糾」の原因を解剖し次の通り論じてゐる

ソヴエト外交は今や全力を傾倒して東部並びに中部バルト海からアドリア海に至る領域に尨大な防衛氷河線を構築しようとしてゐる、以上の防衛線の北部ではステテーンが最西端の要塞であり、南部ではトリエスト港が同じく最西先端の要衝である、人種的見地から乃至政治的基準から正當付けられようが正當付けられまいが苟も防衛氷河線を强化すると考へられる主張に對してはソヴエト政府は支持と聲援とを惜しまない、各小國民の意識は極度に煽動激發されてゐる、例へばユーゴスラヴイヤ人に對しては、トリエスト港並びにカリンチヤ地方の取得を奬勵し、オーストリア國家主義に對してはイタリア領チロール地方の全域回復を主張させポーランド國民はブグ河を越えてオーデル河に至る地域を與へられ、しかもケーニヒスベルグ市は純粹にソヴエト領土として扱ふわけだ、果してしからばソヴエト政府は何人を相手にかかる戰略的要塞線を構築するのだらうか、ソヴエト政府の政策一切を支配してゐるのは恐らくドイツを先鋒とするソヴエト反對の聯合結成に對する恐怖らしい、もつともソヴエト政策の樣式を特徵づけるのは單に恐怖だけでなく「勝利に醉うた」氣持をも上げねばならない、しかし恐怖と勝利の眩惑とはソヴエト外交政策を決定する上においての最良の指針ではなささうだ、聯合國相互間の外交は今や新たな章の頁を開くに至り、今後政治上の紛爭と壓力と反壓力とが續出するは必至である

昭和二十年五月廿一日(月)
第三四二八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ボール將軍赤軍を非難

(ストツクホルム十八日發)「ボール將軍」の變名でポーランド國内軍を指揮した隻眼のタデウス コモロフスキー中將はワルシヤワ蜂起に失敗ドイツ軍の俘虜となつてゐたが今回釋放されてロンドンに到着、十八日記者團會見で地下潜行軍の役割を說きソ聯政府の非難に應酬した、ロンドンからのロイター電報によれば同將軍聲明の要旨次の通り

「余は麾下の正規軍不正規軍に對し赤軍と協力してドイツ軍と戰へとの軍命令を下した、余は敢てソヴエト政府を非難し乃至ポーランド國内軍に對する糾彈に應酬しようとは思はないが、國内軍は苟も、人力の及ぶ限りを盡くしてポーランド國内において聯合軍の作戰に參加した事實を强調したい、共同の敵に對する一致の抗戰によつてソ波兩國間の理解を實現することが一同の希望であつたが、以上の目標が未だ實現するに至らずドイツ軍に對する勝利の時に當つてポーランド國民が未だ獨立も自由をも回復出來ぬのは恐るべき悲劇である、余は今日依然としてソヴエト聯邦との親善關係を希望してゐるがソヴエト政府の側からも或る程度の協力が出來なければ以上の目的を達成出來ない、赤軍がポーランド領内に進擊して以來ポーランド國内軍は終始赤軍と聯絡し協力しようとしたが、各戰線で赤軍司令部の招請により國内軍の司令が會見に赴くと赤軍司令部は國内軍の司令を逮捕し當該部隊を解散して了ふのが例であつた、レンベルグにおいて然り、ヴイルナウにおいて然りルブリンにおいて然り、否東部戰線の全線に亘り皆しからざるはなかつた、要するに赤軍は終始一貫ポーランド國内軍との聯絡を拒否したと解するほかはない、ワルシヤワ市内における蜂起の際余が市内におなかつたといふモスクワ放送局の報道は事實を誤れるも甚しい

余と一緒に監禁された數百名の英人將校が證人となつて、余は決してワルシヤワを立ち去らなかつたことを立證出來よう、現在ソヴエト政府に逮捕されてゐるポーランド要人十五名も蜂起の當時ワルシヤワ市内に潜伏してをつたし、何れも愛國者であり、善民な民主主義者であり、本當にドイツ軍と戰つた人々だ」

信託統治案でまた紛糾

(リスボン十八日發)サンフランシスコ來電=スタツセン草案の完成により軌道に乘り始めたかに見えた國際信託統治制問題は十七日の委員會において討議を開始するや忽ち重慶代表の修正提議のために意見の不一致を生じ、再び大きな暗礁に乘り上げるに至つた、即ち重慶代表は信託統治制度の目的を「すべての非獨立人民の究極における獨立」とすることを提議したのだが、米英兩國は、「獨立」といふ字句の使用に反對し、起草委員長ハロルド・スタツセンは各國代表に對し信託統治案基準文書は大國間の協定の最大範圍を示したものであつて、重慶の修正提議はこの限界を超えてをり、米國が反對するのを承知の上でいひ出したとしか考へられないと論じ、米國の立場を明かにしたが、ソ聯も曩に獨立を强調した事實があり、今後ソ聯の態度如何によつては信託統治問題は全く成立する見込みさへなくなるのではないかとみられてゐる

大國の無理押しを公言

(ストツクホルム十八日發)ロンドン來電=桑港會議から歸還した英國代表の一人副首相アトリーは十八日夜ロンドンからの放送において會議の進行に「必ずしも不滿足ではない」旨表明要旨次の通り演說した

「恐らく實際に論爭の的となつてゐる唯一の大問題は安全保障理事會における大國の位置だらう、他の諸國からはまだ相當の反對が出てゐるが、結局は世界機構成立の實際的意義の前に、理論的には原提案を好まぬ國々も納得するにちがひない、計畫が現實に化した曉には英國並びに英國民は極めて決定的な責任を負ふことになる、即ち世界機構が侵略國を阻止し必要とあればこれを打破るために保有すべき武裝兵力に英國は英國として寄與しなければならないのだ、換言すれば英國は世界を次の世界大戰から救ふ爲に支拂ふべき代價を分擔し武裝兵力を備へなければならないのである」

【歐洲戰後處理問題】

戰爭犯罪裁判所を設置

（リスボン十七日發）ワシントン來電＝白亜館當局は十六日、戰爭犯罪者の處罰問題に關聯し次の聲明書を發表した

米國政府では國際裁判所で處斷さるべき第一級戰爭犯罪者決定は檢事に任すべきであると考へ米國大審院判事ジヤクソンを檢事に任命した、英、ソ、佛の三國も可及的速かに夫々檢事を任命するやう希望する

以上の聲明中に擧げられてゐる國際裁判所と現在ロンドンにある戰爭犯罪委員會との相違について大統領の新聞係り祕書ロスは次の通り說明してゐる

現在の戰爭犯罪委員會は嫌疑者を告訴する一種の陪審制度であり、目下組織されてゐる國際裁判所は重要犯罪者のみを審理することにならうゲーリングやヒムラーの如き人物の犯罪は特に地理的に限定さるべき性質のものではない、但し告訴されたものの大半はモスクワ協定に基いて犯罪が犯された國に送られるであらう、また米軍政長官代理クレイはドイツ參謀本部の分斷は對獨管理委員會の主要目標の一つだと述べてゐるが、これは參謀本部の首腦を戰爭犯罪者として審理に附することとは全然違ふ

コーネフ元帥米軍司令部訪問

（ストツクホルム十七日發）バート・ウイルドウンゲン（ドイツ）來電＝第一ウクライナ戰線軍司令官コーネフ元帥は十七日米第十二集團軍司令部に司令官ブラドレーを訪問した

クロージツクらも告訴

（リスボン十七日發）ロンドン來電によれば、戰爭犯罪委員會は既に前トルコ駐劄ドイツ大使パーペンを戰爭犯罪者として告發、調査を進めてゐるといはれるが、パーペンの告發理由は組織的テロ及びその他の犯罪の共犯關係といはれ、またデーニツツ政權の外相クロージツク並びに前經濟相シヤハトも戰爭犯罪者として告發されたといはれる

【ドイツ】

ヒ總統の最後

（チユーリツヒ十七日發）ベルヒテスガーデンからのAP電報によれば、捕虜となつたヒトラー總統の祕書長ヘルゲゼルは十七日ベルリンが命旦夕に迫つた當時のヒトラー總統の動靜を次のやうに語つたといはれる

總統がベルリンと運命を共にする決意をしたのは四月二十一日であつたと思ふ、あの日總統は「余は一切のドイツ軍の信賴を失ひ、また親衞隊の信賴も失つてしまつた」と語つてゐたからだ、二十日から二十二日にかけて總統は幕僚と共に幾回となく協議したが、その間に總統はベルリンで死を迎へようと決意したのだ、總統は二十日必要な者以外はすべてベルリンを立去るやうに命令したが、その後の總統の行動は既に彼が軍隊の信賴を失つたといふ事實から出發してゐた、そして「余は今まで軍隊に對し退却するなと命令して來たが、今余の命に從ふのは余のみとなつた」と語つてゐた

飢餓線上を彷徨

—英軍の苛酷な食糧統制—

（リスボン十七日發）ロイター通信特派員デニス・マーチンは第二十一集團軍の軍政當局が管下のドイツ國民に課した峻嚴極まる食糧統制を十七日次のやうに報じてゐる

「第二十一集團軍當局はドイツ人に對し「飢餓線すれすれ」の食糧割當を課したがこれは曾つて歐洲の被征服國民が嘗めた苦難と匹敵するものだ、牛乳は嚴重に幼兒及び妊産婦のみに限られ、ドイツ人はバタ、チーズ、卵、野菜、果物、牛乳、肉その他の食糧が欲しければ自分で探さねばならない、そして手に入らうが入るまいがそれは軍政當局の知つたことではないのだ、配給する食糧の量は場所によつて異なる、しかしカロリーの點から言へば一日僅か千四百カロリー程度とみられるが戰時中英國の最惡の當時と雖も二千カロリーは維持してゐたのだ

昭和二十年 五月廿一日(月)
第三四二八號
同盟通信 海外電報 (第二種郵便物認可)

英國では占領地域内のドイツ國民が甘やかされてゐると信じてゐるものもあるやうだが、事實はそれが誤りであることを證明してゐる、その逆こそ眞實なのだ、そしてドイツ人は敗戰の苦味を十分に嚙みしめてゐる、英軍政當局は、英軍や外國人强制勞働者の需要が十分に滿され、そしてドイツ人が農場や地下室に貯めこんでゐる食糧を食ひ盡すまでは食糧配給を現在の根本方針で續けようとしてゐる

「善きドイツ人は善きナチ黨員」

(リスボン十七日發)ボーツマス(ニューハンプシャー州)來電によれば、同地の海軍刑務所に收容されてゐるドイツ潛水艦乘組士官大尉フインスターはAP記者との會見で次のやうに語つたといはれる

ヒトラー總統の政策はドイツのみならず歐洲は勿論全人類の禍祉のためのものであつた、ドイツ人とナチス黨員との間には全く區別はなく、善良なドイツ人は卽ち善良なナチス黨員だつた一方同將校と共に俘虜となつた潛水艦の一兵士は次の如く語つたといはれる

昨年七月のヒトラー總統暗殺未遂事件は今次大戰の一大轉換期を劃するものであつた

獨空軍の能力

(ストツクホルム十七日發)ロンドンからのAP電報は歐洲大戰中におけるドイツ空軍の能力に關し十七日次の通り傳へてゐる

聯合軍が入手した情報によればドイツ軍司令部は米第八航空隊の爆撃機を喰ひ止めるため乘るか反るかの大空中決戰を企圖したが、空軍首腦部は結局勇氣が挫けこの計畫を放棄した模樣だ右計畫によればドイツ空軍は米軍機七百五十機乃至一千機、少くとも爆撃機五百機、戰鬪機二百五十機の撃墜を狙ひ、利用し得る一切の戰鬪用飛行機を動員し特に大編隊を以て奇襲を加へようとしたのであるが、ドイツ軍飛行士達は米軍爆撃機、護衞戰鬪機の飛行士達と交戰を重ねるに從ひ、明らかに怖氣をふるふに至り、ドイツ戰鬪機乘りで命令に從はず軍法會議に廻された者も數名に達したといはれる程だ、結局ドイツ軍は指揮系統の統一を缺いた工合になり、今回の計畫は放棄されたのであつた

一方英國空相サー・アーチボルド・シンクレアは十六日下院で次の通り言明した

英本土並びにイタリアを基地とする米英爆撃機隊は今次歐洲戰を通じドイツ並びにドイツ占領下の歐洲に百八十七萬七千五百噸の爆彈を投下したが、この内譯は英空軍九十八萬六千噸、米航空隊八十九萬一千五百噸である、また過去二ケ年だけでしかも戰術航空隊の投下した爆彈噸數を除外して、米英空軍は優に百萬噸以上の爆彈を投下した

使へるのは巡洋艦二隻

(リスボン十七日發)ロンドン來電=英國海軍省はドイツの降伏艦艇について十七日次の通り發表した

ドイツ海軍は著しくその勢力を減じてをり僅かにコペンハーゲンにあつた重巡プリンツ・オイゲン並びに輕巡ニユルンベルヒのみ使用可能で前者は一九三八年に進水し八吋砲八門、排水量一萬噸、後者は一九三四年に進水し六吋砲九門排水量六千噸である、その他戰艦一隻は沈沒してをり他の一隻は孔をあけられてゐる、袖珍戰艦、巡洋戰艦、それぞれ一隻は何れも沈沒してをり、空母一隻は損傷をうけ巡洋艦七隻のうち依然使用出來るのは二隻に過ぎない、驅逐艦二十四隻、魚雷艇十二隻その他約千二百隻の小型艦艇の多數は爆撃によつて沈沒乃至は損害をうけてゐる

降伏獨潛艦六十隻に達せん

(リスボン十七日發)ワシントン來電によればその後ドイツ潛水艦數隻が無電をもつて海上における各艦の現在位置を通告し十九日までには各港に到着する豫定といはれ、これによつてドイツ降伏以來十九日までの投降ドイツ潛水艦の總數は少くとも六十隻に達する

ム統帥救出の殊勳者逮捕

（チューリツヒ十七日發）米第七軍司令部からのロイター電報によれば、一昨年九月イタリア中部アプルツツイの山中からムソリーニ統帥を救出した殊勳者親衛隊指揮官オットー・スコルツエノ中佐は第七軍の第三師團によつて逮捕されたといはれる、スコルツエノ中佐は昨冬ドイツ軍がアルデンヌの突破を行つた際、アイゼンハワー以下聯合軍首腦部を暗殺しようとしたことがあるといはれるが、同中佐は逮捕後、右の說を否定しム統帥救出當時の模樣について左の通り語つた

ムソリーニ統帥はアプルツツイ山中グラン・サツソーのホテル內に嚴重な見張りをつけられて逮捕されてゐた、ヒムラーは余を統帥救出隊司令に選び、われわれ一行は直ちにベルリンからローマ附近の飛行場へ赴き、同時にドイツ第一落下傘師團は南佛からローマへ飛來した、余は八十一名を選んで救出を決行することになり、シュトルク（鸛）機に誘導され九臺の滑空機でアプルツツイ山中に飛び、うち六臺は統帥に捕へられてゐるホテルの間近に着陸、われわれ九名だけが前進してイタリア人の護衞兵達に手をあげさせた、この間一發の彈丸も發射しなかつた、しかる後余はホテルと外部との電話其の他通信機械を破壞した、恰度その時統帥が窓の所に見えたので直ちに救出し十五分以內に飛行機に乘りそのままウイーンへ向つた

ナチス黨財務局長逮捕

（リスボン十七日發）ルクセンブルグ放送は四月末自殺を傳へられてゐたナチス黨財務局長フランツ・シュワルツが逮捕されたと十七日報道した

【歐　洲】

丁抹、對日斷交

（ストツクホルム十七日發）コペンハーゲン來電＝デンマーク政府は十七日日本と斷交し、同時に重慶政權を承認する旨發表した

米にグリーンランド基地を提供

（ストツクホルム十七日發）デンマーク放送によればデンマーク議會兩院は十七日、米國に對しグリーンランドの軍事基地を提供する條約案を可決したといはれる

英軍代表トリエスト港へ

（リスボン十七日發）ローマ來電＝英第八軍司令官中將マツクリーリイは地中海方面軍參謀長中將モルガンと同道、十七日トリエスト港に到着したトリエスト港內の空氣は相當緊迫し、ニユージーランド軍その他の米英軍は待機の狀態にあつたが兩敵將の到着と同時に右待機令は解除された、一方ゴリチヤ附近においては米軍は武力を以てユーゴスラヴイヤ軍の武裝を解除した

チトー軍トリエストから撤退か

（チューリツヒ十六日發）ロンドン來電によればユーゴスラヴイア軍總帥チトーは十六日夜遂に米英兩國の要求に屈して麾下ユーゴ軍の全部隊に對し、トリエスト及びゴリチアから撤收するやう命令を發したといはれる

ソ芬國境畫定委員ヘルシンキ着

（モスクワ十七日發）ヘルシンキからのタス電報によれば、ペツアモ地區のソ芬國境畫定のため外務人民委員部中歐局長アレキサンドロフ氏を首班とするソ聯側混合國境畫定委員一行は十三日、ヘルシンキに到着したといはれる

【東　亞】

ネルソン經濟顧問に留任

（リスボン十七日發）重慶來電＝重慶政權當局は最近トルーマンの代表使節を辭したドナルド・ネルソンを引續き經濟顧問として留任せしめる旨發表した

昭和二十年五月廿一日(月)
第三四二八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【桑港會議】

非常任理事六ケ國を選擧

(リスボン十七日發)サンフランシスコ來電=國際安全保障理事會の非常任理事六ケ國を選擧することを要求する修正案は十六日反對僅か六票をもつて安全保障委員會の機構手續委員會を通過した非常任理事六ケ國は新世界平和機構の總會において選擧されるが、この修正案は四十九ケ國全部の出席する本會議で承認されなければならない

【米　洲】

渦商自由主義を強調

(リスボン十七日發)ワシントン來電=大審院長ビドルは十七日、上院石油資源調査特別委員會及び司法委員會の外國契約法案審査委員會に臨み、通商上の自由競爭主義を主張次の通り述べた
米國はあらゆる機會を利用して企業の自由競爭主義實施に努力しよう、これは米國の安全保障並びに商業、貿易上の不自然な負擔輕減に役立たう
また外國契約法案に關しては、米國の工業會社に一切の對外商業契約を公開登錄するやう要求する政府の方針を支持し、左の通り述べた
商業上の對外契約は總て公開されねばならぬ、かくすれば米國の會社がドイツのファルベン染料會社と契約する必要もなく從つて米國内のゴム工業の發達を一部停止させることもなくならう

比島に對する野心を曝露

(リスボン十七日發)米海軍の太平洋基地に對する野望は國際信託統治制などに滿足し得ず、海軍要路者或ひは上院海軍委員會を通じて屢々基地領有案が叫ばれてゐるが、ワシントン來電によれば十七日海軍長官フオレスタルは新聞記者會見において
米國は將來も比島の安全保障に關し責任を負ひその責任を果すために基地並びにその基地を援護すべき戰略的地域を保有するつもりだ、そのための交涉は現在進行中であると言明したといはれる

グアム島復興費削減

(リスボン十五日發)ワシントン來電=共和黨下院議員ウオルター・プルーザーは去る四月十四日グアム復興費支出の件を議會に提出したが、下院海軍委員會は十四日復興費は千五百萬弗を超過すべからざる旨を規定した修正案を提出した

ハワイ漁業擴張法案

(リスボン十六日發)ワシントン來電=ハワイ下院議員フアリングトンは十六日下院に對し豫算總額百二萬五千弗から成るハワイ漁業擴張法案を提出した、右豫算の内譯は漁業調査及び實驗所費三十五萬弗、捜査用船舶費五十萬弗、實驗用船舶十七萬五千弗である

現勞働力五千二百萬

(リスボン十六日發)ワシントン來電=商務省國勢局は十五日次のやうに發表した
民間勞働力(現在就業中の者並びに職業を求めてゐる者)は本年四月において五千百九十三萬で前年同期には五千二百六萬であつた、男子勞働力は軍隊へ徵集されて引續き減少を示したがこれは婦人勞働力によつて略々補塡され、一年前に比し婦人勞働力は百萬弱の增加を示し同期間に男子勞働力は約百萬減少した

プエルト・リコの歸趨

(リスボン十七日發)ワシントン來電=メリーランド選出米上院議員ミラード・タイデイングズは十七日プエルト・リコ島問題に關する法案を議會に提出した、同法案はプエルト・リコ島住民に、獨立を附與するが、合衆國の一州とするか乃至これを自治領とするか人民投票に依つて決定せんとするものである

對外戰時救恤金二億六千萬弗

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝大統領直屬戰時救濟統制局長ジョセフ・E・デーヴイスは米國の對外戰時救恤金供出狀況に關し十六日左の通り年次報告を發表した

米國赤十字社を除く各國戰時救濟機關に對する一九四四年度の給與總額は一億八百萬弗を突破した、本年度に入つてからも戰禍と敵軍の奪略に惱む比島、オランダ、ノルウエー、チエコスロヴアキヤ等の新解放地域を對象とする米國よりの個人救濟資金配當は增加の一途にある、なほ開戰以來米國民が提供した對外戰時救恤金は二億六千二百萬弗に上る

ＣＩＯ役員反駁聲明

（リスボン十七日發）サンフランシスコ來電＝產業別組織會議の國際仲仕、倉庫業組合會長ハリー・ブリツヂエスはストツクトンの組合員三百名が十六日日系米人との協同作業拒否を決意したのに對し十七日反駁文を發表、日系米人にも仲仕、倉庫業者として働く權利があると左の通り主張した

組合の立場は人種、宗教、國籍の如何を問はず萬人に對して平等たらんとするにあり、明確を極めてゐる、組合は一瞬たりともこの平等主義を棄てて妥協することは出來ないし、またその意志もない

鐵鋼五十萬瓲平和產業へ

（リスボン十七日發）ワシントン來電＝戰時生產局長官クルーグは十七日次の通り發表した

七月一日以降直ちに鐵鋼五十萬瓲を平和產業に振り向ける、但し自動車の生產は鐵鋼を多量に必要とするため、當分の間統制を加へる

火藥工場爆發

（リスボン十六日發）ワシントン州タコマ來電＝タコマ市南方十五哩のジユーポン會社グレードミル火藥工場で十六日火藥入りの小樽四百箇が突如大爆發を起し同工場が全壞、死者一名を出した、損害は一萬弗程度とみられる

自動車製造再開

（リスボン十七日發）ワシントン來電＝戰時生產局は自動車の生產再開を七月一日以降情勢に應じて許可する方針だが、自動車製造業者は統制が緩和されたならば年內に二十萬臺の生產許可を同局に申請するものと思はれる、右に關聯して戰時生產局自動車再轉換部長ヘンリー・ネルソンは十七日記者團に次の通り言明した

資材の點から見ると自動車生產の前途は明るい來年第一四半期には恐らく五十萬臺が生產されよう、しかし今年內に五十萬臺が生產されることは恐らくあるまい

現在までの自動車再轉換計畫は來年中に約二百萬臺を生產することを基礎においてをり、これは戰前の年產高四百萬臺の半分だがすべての統制が徹回された曉には、四百萬臺の生產は可能とならう、因みに一九四二年二月以來乘用自動車は一臺も生產されなかつた

「ラフアイエツト」號その後

（リスボン十七日發）　ワシントン來電＝米國は「ラフアイエツト」と改名された前フランス豪華船「ノルマンデー」號を軍用輸送船として太平洋で使用することを斷念した模樣で、海軍長官フオレスタルは十七日次の通り言明した

輸送船に改造中ニューヨーク港で火災を起し顚覆した「ラフアイエツト」號は、船體が大き過ぎるためパナマ運河を通過出來ない、更に勞力並びに資材不足のため同船を輸送船として太平洋戰に使用することは出來ない

ソ聯評論家實業家を非難

（ストツクホルム十七日發）モスクワ來電＝國際問題評論家ヴイクトル・リンセトスキーは十七日米國實業界のドイツに對する野望を攻擊し次の如く述べた

米國務省にはドイツ國內の工場と再び連絡をつけるためドイツ行きを許可せよとの米國實業家の要求が殺到してゐるが、米國の一部のいはゆる實業界の連中は國家の利害を無視して自己の利益のためドイツ國內の獨占事業との間に國際カルテルを再建しようとしてゐるのだ

昭和二十年五月廿一日(月)
第三四二八號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

米軍損害九十八萬

(リスボン十七日發)ワシントン來電＝米陸軍次官パターソンは十七日、開戰以來の米軍の兵員損害を左の通り發表した

陸軍	八七八、九四九名
海軍	一〇七、二七五名
合計	九八六、二二四名
(先週より	一三、五六〇名增加)

キンケード本國歸還

(リスボン十七日發)ワシントン來電＝米海軍第七艦隊司令長官大將キンケードは太平洋戰線に十八ケ月を過した後ワシントンに歸還、十七日次の通り言明した

ニミツツ、マツカーサーを共同司令官とする太平洋方面最高司令部の編成は日本に對する最後的打擊の準備として遲滯なく進んでゐる

前大統領秘書、民間會社入り

(リスボン十七日發)ワシントン來電＝前大統領秘書スチーブン・アーリーはプルマン車輛會社の副社長に選任され、六月一日を以て右の地位に就く旨十六日發表した

元西首相紐育到着

(リスボン十七日發)ニューヨーク來電＝元スペイン首相ホアンネグレンは十六日夜突如英國より空路ニューヨークに到着した

【英帝國】

イーデン、ロンドン着

(ストツクホルム十七日發)ロンドン來電＝外相イーデンは十七日朝空路ロンドンに到着した

エールは「最後通牒」か

(リスボン十七日發)首相チャーチルが過般の放送演説でエール政廳を攻擊して以來、英愛兩國の關係が頓に尖銳化するに至つたが、ベルファストから來電によれば元北アイルランド首相J・M・アンドリユースは十七日「英國政府としてはエール政廳に對し英帝國內における自國の地位を承認するか、さもなければ英帝國から離脫するやう要求することとなるかも知れない」と述べた

カナダ選擧戰始まる

(リスボン十七日發)ヴアンクーヴアー來電＝カナダ首相マツケンジー・キングは十七日ヴアンクーヴアーにおいて總選擧戰の口火を切りカナダの戰爭努力は日本軍を打ち破るまで全力を傾倒して繼續されようと述べたが、同時に選擧項目として太平洋反攻作戰をあまり强調し過ぎぬやうに警告した、キング首相は既に太平洋反攻作戰について義勇兵だけを派遣する旨を言明してゐるため、反對派は太平洋作戰に對する現內閣の不徹底な遣り口を非難してゐる、總選擧は六月十一日執行されるが、再び、「徵兵論爭」がカナダ政界の主要題目とならう

ロンドン市の死傷八萬

(ストツクホルム十七日發)ロンドン來電＝內相モリソンは歐洲戰爭開始以來ロンドンにおける一般人の死傷に關し十七日次の通り發表した

死者	二九、八九〇
重傷	五〇、四九七
合計	八〇、三八七

【ソ聯】

パットンに勳章

(モスクワ十七日發)ソ聯政府は米第三軍司令官パットンにクワゾフ第一級勳章を授與した旨十七日發表した、傳達式はオーストリアのリンツ附近で行はれ、第三ウクライナ軍司令官トルブーヒン元帥自らパットンの胸に勳章を留めたといはれるなほロンドン來電によればパットンは十七日南獨から空路ロンドンに到着、市民の歡迎を受けたといはれる

フランス五月備忘錄

井上勇

△言葉の爭ひ

桑港會議での公式用語の問題はいはゆる五常任理事國の國語が平等に公式用語と決定して、ひと通り問題は解消したと思つてゐたら、ベルギー外相スパークの開會挨拶演說がフランス語で行はれたに拘らず、これが公けに印刷になつて配付されたときは英語になつてゐたため佛外相のビドーが向つ腹を立てて米國務長官ステチニアスにねぢ込む喜悲劇が發生した、英語またはフランス語でなされた演說は佛譯または英譯しないことに定つてゐたのを事務局が勝手に英譯したのは怪しからぬフランス語の尊嚴冒瀆だといふのがビドーの主張である、會議を英語中心にすすめたいとアメリカ側で最初主張したことから、むくれてゐたフランス側の疳癪が爆發したわけであるが、いまだに國語の尊嚴を外交場裡で主張しつづけるフランスにも一寸よいところがある、但し、この問題は事務局の「勘違ひ」で解決した

△ビドーの桑港聲明

桑港會議餘談であるが、フランス代表部は構成員百四十名、內百二十名は本國から直接乘込んだもので相當豪氣なものといつてよい、サン・フランシスコ草分けのスカイ・スクレーパーであるセント・フランシス・ホテルの第十二階を借切つて準大國の偉容を示してゐるが、いままでのところその活躍ぶりは餘りぱつとしないやうで、準大國並に甘んじてゐる、首席代表のビドーは五月三日記者會見で、フランス代表部の心構へをかう語つてゐる

「フランス代表部は地域的保障制度もさりながら決定的な集團保障制度の確立に全努力を傾けるつもりだ、そのためにはダンバートン・オークス案をさらに數歩すすめた修正案を用意してゐる、この修正要求はどこまでも頑張るつもりである、集團保障制度の成否は一つにかかつて大國間の協力一致である、フランスはかかる協力一致を阻害するやうな提案は何一つしないつもりである」

「ラインランドに關してのフランスの意向が問題にされてゐるが、先づ新聞でいふラインランドとはラインランド、ウエストファリアだけのことらしいが、フランスではこれにルールをも併せて考へてゐる、ルールの資源は、これをドイツから切離して、歐洲及び世界の利益のために國際監理の下におかねばならない、フランスは自國の提案を考へる時、どうしてもラインランドを支配して、歷史的ドイツの侵略路を塞がなくてはならぬ、ザール地方の石炭はヴエルサイユ條約でフランスが貰ふことになつてゐたのが、ラヴアルの手落ちでたうとう持つて行かれてしまつた、今度は確實にフランスはこの石炭の分け前を要求する、ザール地方を如何なる形式で統治するかはドイツの處置問題と關聯して定めねばなるまいが、この地域をフランスが支配しても文句はないと考へてゐる」

「植民地の信託制度、軍事基地の國際化等については、フランスとしては獨自の主張があるが、例へばダカールの共同基地化等は、フランスの主權が保障される限り異存はない、しかしそれは何處までも双務的たるべきもので、フランスのみが片務的にその領土の國際化を承認するわけにはゆかない、佛領インド支那又は佛領太平洋島嶼を信託するかどうかといふことについては、フランスにはその意志はないといふほかはない」

△英佛同盟の蒸返し

會議の本筋の進行振りは新聞で報じられてゐる通りであるが、その側面でフランス代表部と英國代表部の間では英佛同盟締結の下相談が行はれてゐると五月四日の「スヴエンスカ・ダグブラデツト」は報じてゐる、フランス代表部では全世界機構案の採擇前に、加盟國間の双務條約は凡て有效であるとの原則を確立させたい意向で、かたがた英佛同盟の成立を急いでゐるのだと同紙はいぞ、英佛同盟の癌は依然としてルヴアンとラインランドでルヴアンで英國が多少譲ればラインランドでフランスが譲るのではないかとはこの瑞典紙の觀測であるが、イーデンが既にサン・フランシスコ

昭和二十年五月廿一日(月)
第三四二八號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

を引上げ、ビドーも近く引揚げるといへば英佛同盟交渉は再びパリ、ロンドンに移る他はあるまい

△スツツトガルト事件

スツツトガルト事件といふのは新聞にも少しだけ出たが一寸面白い話だつた、事の起りはド・タシニーの軍が四月末、一と足先にスツツトガルトに入城したところ、後から來た米第七軍が、フランス軍の立退きを要求し、フランス側が拒絶したため問題が紛糾しかけたのである、アイゼンハワーがパツチに第七軍はどこかほかに本據を探したらよからうと命令して身を引いた結果、話は圓滿にとまでは行かずとも、とも角片付いたのであるが、一時は仲々の騒ぎだつた、アイゼンハワーの通告は

スツツトガルトは第七軍のため、最も適當な運輸中心地として選ばれてゐたものである、然しスツツトガルトを米第七軍が占據することが出來ない事情にあるならば、多少は不便でも他の中心地を選ぶほかはないといふ意味だつたが、フランスの多くの新聞はこの通告の前半だけを摑んで、米軍は怪しからぬ、フランス軍が占領したものを横取りするといきまいた折りも折り、フランスは桑港會議で發起人國になるならぬで對米感情を尖鋭化してをる上に、フランスの占領地域が決らぬのに業を煮やしてゐるところなので、思ひ切り米軍の横暴を攻撃した後で、アイゼンハウーの「思ひ遣り」のある措置を知つたときには、少々面はゆくなつたが後の祭りだつた、ところでスツツトガルトのドイツ住民は、このフランス軍の占領を嫌つて出來ることなら米英軍に占領して貰ひたかつたと甚だ不滿であるとは、「ロンドン・オブザーヴア」の特派員の電報であるが、我田引水でいい氣なものである、然し同特派員は仲々示唆に富んだいいこともいつてゐる

ドイツ國民の中には米、英、佛、ソが程度の差こそあれ互ひに敵視し合つてゐるとの考へ方が普遍的で、聯合國政府間には完全な意見一致があることを諒解させるのは仲々六ケ敷い、彼等は四ケ國がそれぞれ別箇の政策を追及してゐると信じこんでゐる、早く各國の統治區域が劃定されない限り、この考へは次第に根を下ろして將來大きな危險をかもす惧れがある、現在のやうに各國軍が各々の占領地に自國の國旗のみを立てて一人よがりをしてゐることは、ドイツ國民の以上のやうな考へ方を益々助長するものだ

△アルザス問題再燃

バーデン地方を將來どこが管理するか知らないがいまのところでは、歐洲諮問委員會の最初の案では米國がうけ持つことになつてゐる、しかしフランスは東部國境の不安を除くためには、能はばライン右岸の一定地域をフランスの管理に委ねて貰ひ度い希望のやうだ、ラインランドは欲しい、バーデンはほしいで慾には限りがないが、ラインの彼方ばかりみてゐるうちに、河の手前では再びアルザス・ロレーヌの問題が起らうとしてゐる、この度の戰爭勃發直後、フランスはこの地方の徹底的肅清をやつて、分離主義者の大量檢擧を行ひその重きものは死刑にまでしたが、一敗地にまみれると共に、今度はドイツが代つて大掃除にのり出し、殘つた半分を追ひ出してしまつて、ここに東歐諸地域からドイツ人の大量移植を試みた、舞臺は三度かはつて、今度はそのドイツ人が追ひ立てを食ふ破目になつたが、アルザスの土地に染みこんだ宿命とはいへ、この地域住民の苦惱の上には一掬の涙なきを得ない、さて、何邊目かにまたもやフランスの手に收つたアルザス・ロレーヌでは、何邊目かの宗教問題が早くも起りつつあることを外電は報じてゐる、フランス通信社AFPのストラスブール電によればアルザス共和人民黨はフランス政府に對して、東部國境地域に關する諸問題については右地域住民代表の意見を參酌することなくして、最後的決定は留保してほしい旨を申込んだといはれる

問題の起點は諮問委員會で、アルザス地方の教會と學校の分離問題についての討議が行はれ、大勢が從來の特例を認めず、一擧に教會の教育干與に止めを刺す方向に定まりかけたため、アルザス地方民が騒出したによるものらしいが、共和人民黨では、諮問會議にアルザス地方代表が含まれて

れてゐないこと、パリ政府がアルザス地方の特殊事情は尊重するといふ從來しばしば繰返されて來た公的約束を無視して、將來の學校教育方針を定めようとするのは怪しからぬといふわけだ、フランス政府としては、アルザス・ロレーヌのカトリック教會を中心とする特殊條件を清算するために過去何十年か惱んで來たが、その上に民族言語問題もからまり、問題は最近更に複雜化して來た、何分、二十年目毎には主が變つて、その度に病根はこぢれるばかりで、戰爭が濟んだと思ふひまもなく、禍ひの芽はすでに萠え出たかたちである

△內閣改造論ひとくさり

ダラディエ、エリオ、レイノー、ブルーム、ジウオーと死んだ筈の政界亡者が續々歸國した上に地方選擧も終つて、フランスの政變說は漸く油が乘り始めたやうだ、氣の早い連中はあと十日以內にド・ゴール內閣の改造が行はれると見てゐる、ド・ゴールは五月十日夜、歸つて來たばかりの元首相ポール・レイノー、元外相イヴオン・デルボス、元首相アルベール・サロー、勞働總同盟會長レオン・ジウオーなどと會つてゐるか、これが曾つての抗戰々線の戰友の健在を祝ふ單なる儀禮的會合だつたか、又は早速ながら一つ御入閣を——の下相談だつたか不明で、ことあれかしの世間はともすれば後者の解釋をとりたがつてゐる、こんな大物ばかり集めて、ド・ゴールに乘りこなせるかどうかも疑はしいし、歸つて來たばかりの連中が、國內事情には明き盲のままで、おいそれと入閣を受諾するかどうかも疑問であるが、ド・ゴール自身には、ひたひたと押寄せる共產黨の上げ潮に抗する唯一の防波堤として、少くともレイノーぐらゐは抱き込みたい氣持ちであらうが、レイノーでみれば、ド・ゴールが今日あるのは俺の推挽によるぐらゐの自負はあらうし、通り一遍の條件では腕を借さないとみるのが至當だ、パリ雀のさへづるのを聞けば、レイノー側近は彼の入閣を極力諫止してゐるといふし、これに反して、社會黨では是非ともレオン・ブルームを賣り込まうと運動してゐるといふが、事の眞僞は、何も當方にはかかはりはないので、ゆつくりと高見の見物をきめこんでをればよからう

△歸つて來た人々

レイノーはパリに歸つて「ドイツでは俺を最惡の囚人と呼んでゐたよ」と何でも筆頭でなくては氣のすまぬ彼の癖を早速丸出しにしたが、このフランス政界の惑星登場でパリはまた賑やかにならう、彼とド・ゴールと合體することにでもなれば共產黨邊りは騷がないではおくまいと想像出來るからだ、ブルームはそこに行くと極めておとなしく歸つたらしく、飛行機でパリにつくと、出迎へたド・ゴールの代理との挨拶もそこそこに自宅に引揚げたらしいが、そこに果して家があつたかどうか、家があつても家具その他があつたかどうかは判らない、ヴイシー時代、敗戰責任者の家は大低荒されてしまつたからである

マクシム・ウエーガン將軍が捕へられたことは新聞報の通りであるが、嘗つてはフオツシュの參謀長であり、やがてはガムランを繼いでフランス全軍の總司令官になつた彼も、ドイツへの降伏の當の責任者であり、ペタン內閣に第一次の國防相だつた罪で、嘗つての後輩に繩目の辱めをうけることになつた、一九四二年、反樞軸軍北阿上陸當時はヴイシー政府北阿代表だつたが、米英側に寢返りを警戒されてドイツ軍に捕へられ、やつと逃げて歸れば味方に捉まるといふのでは仲々忙がしい、パリの新聞「ル・ペイイ」の言によれば「ウエーガンは一九四〇年五月十五日既にフランス全軍の崩壞を知つてゐながら、軍の北阿への撤退を決行せず、おめおめ數百萬の捕虜を出したのは怪しからぬ」のださうである、ウエーガンと一緒に捕へられた元フランス・デ盃選手、元ヴイシー政府體育長官ジヤン・ボロトラはペタン元帥に協力はしたが、その罪は稍輕いといふのか家庭軟禁になつてゐるといふ、ウエーガンは今年七十八才、長生きすれば恥多しであるが、長期の監禁生活ですつかり疲れて陸軍病院に監禁されてゐるといふ

ラヴアルはいまなほバルセロナの古城塞に監禁されたままでゐるが、これはフランスに引渡すことにほぼ關係國の意見がまとまつたやうである、戰爭犯罪者といふよりも、對獨協力罪人であると

昭和二十年五月廿一日(月)
第三四二八號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

いふフランス側の主張が通つたわけだ、フランス政府はラヴアルと引きかへに、フランスは亡命中のスペイン共和主義者を引渡して呉れといふかも知れぬと心配されてゐたが、そのこともなささうで、何れ近い内に引渡しは終るらしい、同じく對獨協力罪で起訴されてゐたヴイシー政府の元法相ジョゼフ・バルトレミーは五月十五日病死したとツールーズ・ラジオが報じてゐる、禍福の何れにありやは誰も知らない

△壓制者は誰か

ド・ゴールは五月九日の「勝利の日」の演説でインド支那を壓制し、アジアを支配せんとする日本を打倒するにフランス國軍は更に一段の勇氣を奮ひ起さねばならぬといひ、藏相のルネ・プレヴアンは、その翌日ワシントンで、フランスは極東に直ちに二ケ師六萬を動員し得ると豪語してゐるが、佛印は既に佛印でもなんでもなくなつてゐることには遂に言及せず、インド支那二千三百萬の眞の壓制者が誰だつたかの反省も忘れてしまつたフランス側の公表によれば、佛印におけるフランス安南軍はいま猶各所で頑強に日本軍に抗戰してゐることになつてゐるが、五月十五日ごろの重慶情報ではフランス軍は散々の恰好で昆明地方に逃げ込んでゐるとのことで、何しろ名立たる嶮路を食ふや食はずで何十日もかかつて昆明に辿りついたフランス軍の姿は悲慘を通り越した情勢だといはれる

△北伊のフランス宣傳

一九四〇年背中から匕首を突刺された恨みか、フランスはいましきりにイタリアの北境で火事場泥棒に忙しいらしい、五月十三日トリノからのロイター電によれば、モンセニス峠附近からイタリア領に押寄せたフランス軍は戰爭はないので、專ら政治工作に專念してゐるといふ、先づ、民族的言語的にフランス人と同一家族に屬する諸君が、フランスと一緒になるのは當然であり、フランス軍もひと肌脫いで大いに諸君の希望達成に援助するといふ意味のビラが村から村へ張りまはされてゐるほか、フランス國籍獲得希望者はこの紙に署名せよと立派に書式を印刷した申請書を配つたり食糧の配給に當つては親佛分子とさうでないものに手心を加へたり、フランス人らしい小細工がしきりに行はれてゐる、最もフランスが宣傳に力を入れてゐるのはウルチオ、クラヴイエレス、セサナ地方で、アオスタ溪谷地方にまでも魔の手が伸びて行きつつあるとはロイターの報道で、問題はユーゴスラヴイアのヴエネチア、ギウリア地方要求ほど華々しい世間の注目は惹いてゐないが、重大性は何れが輕いとは斷じ得ないとはこの英國通信社の痴氣である

△左翼愈々立ち上る

先の選擧で壓倒的勝利を得た左翼共產黨と社會黨は聯合してフランス改造案を作製中であるが近く政府に提出の運びになるものと思はれる、何しろ兩黨合體すれば大體總投票數の半ばを占める勢力を占めてゐるので、これに抗戰派左翼派を加へれば、その壓力は決して無視出來ない、改造案の內容は勿論、重要產業の國營化、銀行の國營、トラストの禁止、教育制度の改正、第三共和國憲法の復活、最低賃金の保證等、彼等が從來呼號していまだに實現しなかつたあらゆる政治經濟社會分野に跨る廣汎なものとなると思はれるが、人民戰線時代完全な失敗にをはつた諸政策の再試煉といふことになるので、右翼各派が默つてかかる案を鵜呑みにするかどうかは極めて疑問である、しかも國際的、國內的事情は一六三六年當時に比して更に何十倍か惡化し乃至は變化してゐる、フランスの再建といふ大工事を前に控えて、それ故にこそ根本的切換へといふ論も成立しないことはなからうが、米英の資本に依存しなくてはならぬといふ絕對條件を前に左翼の强行しようといふ大改造案が妥當かどうか成功の可能性があるか、どうかは大きな疑問である、勞働總同盟では五月十六日早くも口火を切つてローヌ縣全域にわたるゼネ・ストを指令し、改造政策の推進を政府に要求してゐるが、折角、まとまりかけた國內の一致が左翼の急進論で再び崩壞し去り、ここに戰後歐洲の阿修羅地獄の幕が本式に切つて落されることになるかも知れぬ

ステチニアスの聲明

「人權と自由とについて」

—五月十五日、記者會見において—

國際組織の憲章のために四招請國の政府によつて提案された人權に關する規定は、世界の人類にとつて、政治的、經濟的、政治的正義の實現に向つての大なる前進を示すものである

それが大なる前進であるのは、世界組織の加盟國に對して、人種、言語、宗教、性別に關係なくあらゆる個人および民族のため、人間の權利と基本的な自由とを伸長させることに有效に協力することを約束するものだからである、われわれが萬人のための正義と自由といふ基礎の上に平和を築かうとするならば、これらの規定は不可缺なものである、戰爭の破壞、混亂、憎惡が世界のあらゆる部分において斯くも多數の民衆の生命を蝕んだことは、未だ曾てない、數百萬の老幼男女が、家を奪はれ、財を失つてゐる、久しきに亘つて確立されてゐた風俗、習慣は破壞されてしまつた

ナチズムとファシズムとの勃興以來、憎惡偏見との組織的な運動によつて、人種的な緊張が築き上げられて來た、あらゆる民族は戰爭による由々しき混亂を平和への過渡期において克服しなければならぬ

人間の權利と自由とに關する規定が何故に不可缺であるかといふ理由は、以上にとどまらない、營養不足、疾病、無知、失業、低賃銀、粗惡な住宅、人種的および宗教的迫害等からは、戰爭に導く條件の多くが生ずるのである

世界の人類は、彼らの希望に對してただ古臭くなつた解答のみを與へるやうな秩序に復歸するだけでは、滿足しないであらう、彼らは基礎的な人權と根本的な自由とを積極的に擁護し促進することを、正當にも要求する、この要求が肯定的に答へらるべきことは、要素的な正義の問題である

以上が、四招請國政府の提案するところの、人權に對する修正の必然的な目的である、これらの規定は前文のなかの單なる一般的表現ではない、それは本文の隅々にまで織り込まれてゐる、更にそれは經濟的および社會的發展に關する一切の重要な規定と密接に結びつけられてゐるのである

△人權の修正

人權に關する修正は四つある、第一は、ダンバートン・オークス案の第一章において述べられてゐる組織の基本的目的の一つとして、人間の權利と自由との伸長を確立することであらう

この修正から他の三つの修正が派生する、これらの修正は、世界組織の加盟國がその目的を現實たらしめようと努力するに際して、建設のための組織的な基礎を供給するものである、これらの修正のうちの一つ——第五章——は、總會に對し、これらの權利および自由の實現に助力する權能を賦與するであらう、他の二つの修正は第九章に記載するところの、國際的な經濟的、社會的協力に關するものである、これらの修正により人權に對する會議の責任は、經濟的、社會的協議會を通じて行使されるであらう、協議會はまた人權伸長のための委員會を設けるであらう、この委員會は問題の核心を代表するものである、人權および基本的自由に關する修正は、組織の基本的目的としての民族の平等權および自決を樹立するところの修正と密接に結びついてゐる、いづれも屬領地區の民族の正當なる希望と意味深い關係を有するものである、この問題についての合衆國の立場に關しては、誤解はあり得ない、米國は、その全歷史を通じて自由の擁護に獻身し來つたところの國家として、民族が自由の責任を負ひ且つその權利を享受すべく準備し、その能力を有する場合には民族自身の欲望に從つて自治を行ふといふあらゆる民族の權利のために、全勢力を行使しつづけるであらう、われわれはフイリピンにおけるわれわれ自身の記錄を誇りとする、フイリピンは日本に抗して勇敢に米國に組して立ち、遠からず獨立するであらう、この記錄は合衆國の多年に亘る且つしばしば證明された政策の單に一つのあらはれにすぎない、われわれはさらに次のことを確信するもの

であらう、卽ち屬領地區の民族との關係においてばかりでなく、また既に獨立しかつ獨立を維持せんと望む弱小國の民族との關係においても、自治の權利を尊重することは强大國の特別な義務である

もちろん、憲章のために提案された規定は、それ自體ではあらゆる民族のために人權と基本的自由との實現を保證し得ないであらう、規定は如何なる國際的機構によつても强制されない、それを實施する責任は加盟國の政府に係るものである、われわれはここでは唯單に端緒を作ることが出來るのみである、しかし余はこれを有益にして且つ實質のある端緒であると信ずる、われわれはこの憲章を通じて、人類の利益のために大なる潛勢力を有する報告および勸告の權能を行使するといふ可能性と責任との双方を國際組織の手中に置くことが出來るのである、この便宜が有效に使用されるか否かは、加盟國の政府、およびそれを選出する國民に依存するであらうし、またさうでなければならぬ、權利の法案は百五十年以上も前に合衆國の憲法に書き込まれた、それはまだ完全には實現されてゐないが、しかしわれわれは相當の進歩をなし遂げたし、わが國の歷史に對するその影響は決定的なものであつた

△四つの自由

四招請國の政府は、憲章のなかの個人的および集團的な人間の權利並びに基本的自由を列擧することは、この會議では行はないことに一致した、社會制度、環境、傳統を異にする四十ケ國以上の國民のあひだで、それを一々列擧して一致をみるには、あまり長い時間を必要とするであらう、余は、組織が成立した曉に、經濟的社會的協議會が人權委員會を通じて國際的な權利法案を起草するやう迅速に取計らふべきであると思ふ、その法案はすべての加盟國によつて、各自の國の法律制度の構成部分として——恰もわが國の權利法案がわが國の法律制度の構成部分であつたと同樣に——受け入れられるものでなければならぬ

ルーズヴエルト大統領によつて述べられた四つの自由——言論の自由、宗教の自由、缺乏からの自由、恐怖からの自由——は、合衆國の觀點からすれば、他の一切の權利と自由とを包含するところの基本的自由である、例へば、言論の自由は、出版の自由、情報の自由、通信の自由を包含する

缺乏からの自由は、勞働の權利、社會的安全保障の權利、昇進の機會への權利を包含する、恐怖からの自由は、人種、言語、宗教、性別の如何を問はず、あらゆる男女の差別待遇の迫害に對する保護および他のすべての基本的な權利並びに自由を享受すべき平等なる權利の保護を包含する

合衆國政府は、自國民のためにも、また——國際組織を通じて——一般に諸民族のためにも、これらの權利と自由との伸長を保護すべく、積極的に且つ倦むことなく活動するであらう、われわれはそれらのものに對する攻擊を永久に監視しなければならぬ、われわれはまた、それらの保護の規模を擴大し、それらの成長を援助すべく、斷乎として行動しなければならぬ、權利と自由とが少數者に對して拒否される限り、萬人の權利と自由とが危殆に瀕するのである、單に人權委員會のみではなく、經濟的社會的協議會の他の主要部門および機能を有效ならしめるため、可能なるあらゆる方法を講じなければならぬ

△世界平和の基礎

余は、憲章と、世界組織の機構及び運用が、勞働組織、農業および實業のあらゆる部門の見解と利害とを全幅的に考察するための手段を供給すべきであるし、また供給するであらうと信ずる、かかる全幅的な考察なくしては、經濟的および社會的問題における國際組織の效果的運營は明らかに不可能であらう

われわれがここで、基本的な人權および自由の擁護のために諸民族の經濟的並びに社會的協力の基礎を築きつつあることは、世界人類の平和と進歩のためにわれわれが行ふあらゆる事柄のうち、最も重要なものであることが證明されるであらうと余は確信するものである

「地域協定について」

—五月十五日夜の聲明—

關係諸國代表團との討議の結果として、世界組織における地域、機關と集團協定との關係を憲章のなかで明らかにするための提案が行はれるであらう、これらの提案は

一、一切の強制的行動における世界組織の最高權威を承認し

二、個別的たると集團的たるとを問はず、不可分なる自巳防衞權は安全保障協議會が國際平和および安全保障を維持せず、また加盟國に對する武力攻撃が生じたる場合にも失效せざることを承認するであらう、自巳防衞の如何なる措置も直ちにこれを安全保障議會に報告し、國際平和および安全保障を維持若しくは回復するに必要と認められる行動を何時にても採り得るといふ憲章に規定されたる協議會の權威と責任とを、如何なる方法を以ても侵害してはならない

三、地域機關は現地の紛爭を平和的手段によつて解決する重要な方法と見做されるであらうことが、一層明瞭となつた

△提案の檢討

第一の點は既に、ダンバートン・オークス案の規定（第八章、C節、第二項）で扱はれてゐる、それによれば、地域機關は安全保障協議會の許可なしには、如何なる强制的行動をも採り得ないと規定されてゐる、この用語法を變更することは提案されてゐない

第二の點は、第八章に新たに一節を追加することによつて、大體次のやうに扱はれるであらう、即ち、この憲章においては、安全保障協議會が國際平和および安全保障を維持せず、また加盟國に對する武力攻撃が生じたる場合に、何物も不可分なる自巳防衞權を失效せしめることがない、この權利を行使するために採られたる措置は、直ちにこれを安全保障協議會に報告し、國際平和および安全保障を維持若くは回復するに必要と認められる行動を何時にても採り得るといふ、本憲章に規定されたる協議會の權威と責任とを、如何なる方法を以ても侵害してはならない

第三の點は、第八章、A節、第三項に、地域的な機關または協定に關する特別項目を包含せしめ紛爭當事者が何よりも先づ自ら撰擇するところの手段で平和的解決を圖るべき方法を述べて論ぜられるであらう

米國代表團は、右に概說したやうな提案がもし會議において採用されたならば、憲章草案の他の關係ある諸規定と共に、地域的および集團的制度を有用且つ效果的に、國際安全保障の世界組織のなかに取入れることを可能ならしめるであらうと信ずるものである

このことは、多年確立してゐる米洲組織には特別な意義を以て妥當する

去る三月、メキシコ市において、この問題に關し豫備的討議が行はれた、そしてチヤプルテペツク法は、世界組織に取入れられ且つこれと調和するやうな米洲條約の締結を見ようとした、サンフランシスコ會議の終了後に、米國政府は他の米洲共和國を招請し、近き將來において條約の商議を開始する意向である、その條約はチヤプルテペツク法そのものに規定されてゐるやうに、世界組織の憲章と調和し、この組織を支持强化すると同時に、米洲協力の歷史的組織の發達を推進するものであらう、それは善隣政策を前進せしめる更に一つの重要なる一步であるだらう

「世界組織の憲章」

—五月十五日午後、記者會見において—

余は斷言する、余は次の點を明瞭にしたい、米國代表團はサンフランシスコにおいて世界組織のための憲章を書くべきである、そしてわれわれの米洲の組織が如何に貴重であり、それが傳統的立場から如何に大きな意味を持つてゐたとしても、われわれの心には、それが世界組織の成功と威信とに牴觸すると考へる何物も存在しない、これはわれわれの心の中で至高のものである…

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社

昭和二十年　五　月廿二日(火)
第三四二九號

同盟通信 海外電報

(115)

【目　次】

ベルリン市長任命……一四〇八
英軍占領下行政方針……〃
勞働黨チヤーチルの提案を拒否……〃
七月中旬總選擧執行か……〃
リミニ港附近に撤收令……一四〇九
チトー將軍憤懣をぶちまく……〃
アラブ諸國、佛政府に抗議……〃
獨の流民二百五十萬……〃
米、獨の二港を接收……〃
葡外交方針闡明……〃

【波　問　題】
スターリン議長强硬聲明……一四一〇
米英の對ソ態度が問題……〃

【ソ　聯】
赤軍航空隊の活動……〃

【桑港會議】
ソ聯代表五ケ國會議を招請……一四一一
分科全員委員會始まる……〃
國際法廷判事推薦手續……〃
ステチニアス强辯……〃

【米　國】
勞働界指導者も基地獲得を說く……〃
陸軍次官豪語……一四一二
空母建造要員徵用……〃
勤勞者增給法案上院通過……〃
ドイツ人會長追放……一四一三
トルーマン演說……〃

【西　亞】
シリア政廳と交涉を開始……一四一四
佛兵レバノンに上陸……〃
出兵に情勢險惡化……〃
トランスヨルダン新內閣成立……〃

【英　帝　國】
人的損害前大戰より輕微……〃
對日戰の困難を警告……一四一五
保守黨政策を闡明……〃

【歐洲戰後處理問題】
獨民族を搾取せん……〃
獨に最初の地方行政廳誕生……〃
ソ聯伯林で新聞を發行……一四一六
俘虜交換交涉捗る……〃

【トリエスト問題】
チトー形式上の讓步……一四一七
トリエストの民政を引渡す……〃
ソ、暗默裡にチトーを支持……〃
アレキサンダー匙を投ぐ……一四一八

【軍事情報】
ラングーン上作陸戰參加艦艇……〃

【特　輯】
ドイツ處分案の輪郭……一四一九

世界の動き

英國の評論家ハロルド・ニコルソンは「無條件降伏」の方式を「無思慮不用意なヤンキー的な文句」と扱き下ろしてゐる、フレンスブルグ放送局からのブッシユ元帥の聲明に關聯して、英國間に捲き起された論議は、その後聯合軍最高司令部よりの釋明で一旦落著したが、要するに「無條件降伏」の方式はルーズヴエルト大統領の頓死とともに葬り去られたのではなからうか、チヤーチル首相の解說によれば「無條件降伏」とは敗者が何れの條件をも付けることが出來ぬ全面的降伏を意味するといふ、しかし現實の問題としてイタリア政府を初めルーマニア、ブルガリア各國の場合のやうに傀儡政權を認めるなら別段困難は起らぬが、デーニツツ政權を認めず、聯合軍が軍政を布くといつても全然ドイツ人の協力を求めずに、數千萬のドイツ人を統治することは絕對に出來ない、何處までかつ如何にしてドイツ人を軍政に參畫させるかが「タイムズ」紙の指摘する通り「極めて重大な問題」となる所以だ、そこに現實を無視した「無條件降伏」の方式が破綻を來たした契機が潛んでゐると言へよう

チヤーチル首相が最近一切「無條件降伏」といふ修辭を使はなくなつたのは、ルーズヴエルト大統領に遠慮する必要もなくなつたために違ひないがかかる「ヤンキイズム」が同じく「タイムズ」紙が「尨大な混沌」と呼稱するドイツ領土の統治に適用出來ぬことを悟つた結果に他ならない、しかしこんな議論は要するに訓話の爲に過ぎぬ、聯合國はドイツ民族の再生を阻止するために、周到苛酷な軍政を着々ドイツ國內に布かうとしてゐる、軍政一段落後ドイツ中央管理委員會が出來ても、產業は勿論敎育まで悉く嚴重に監視して、絕對ナチズムの擡頭を再び演じさせないとの肚だ

ベルリン市長に任命

（ストツクホルム二十日發）赤軍司令部は今回ベルリン市長にアーサー・ウエルナーを任命したが新市長は三十日ベルリン放送局を通じ次の通り聲明した

赤軍司令部の同意を得てベルリン市廳が新に結成され、余は市長の任務を引き受けた、余はベルリン市民に對し市の正常生活復活につき、市廳を積極的に援助し赤軍司令部に對する任務を果すやう要請する

ベルリン放送局によれば市内の地下鐵は再び運行を始めたといはれる

英軍占領下の行政方針

（ストツクホルム二十日發）ドイツ領土に對する聯合軍の軍政については群議百出の有様だが、チヤーチル首相が聯合軍最高司令アイゼンハワー元帥らと協議した結果ほぼ大綱が極つた様子で、英第二軍司令部付ロイター特派員の報道によれば、英軍作戰企畫部の參謀トーマス大佐は二十日次の方針を闡明したと傳へられる

ドイツ帝國主義の搖籃たるベルリンが今後灰燼の裡から起ち上り、再び第四帝國の行政的軍事的中心となることを許さない、聯合國としてはドイツ國を地方分權化する方針で從來首都ベルリンに集中されてゐた政治上行政上の權限は工業、海運並びに農業の各部面で重要な各地方に分散する占領軍の目標は管理にあり、直接ドイツ領土を統治することではない、從つて時日の經過すると共に市長から漸次上級のドイツ人吏僚を任命し、結局ドイツ人の政府が占領軍の指導下に機能することとならう、現在英軍の軍政官約一千名が二百萬人から五百萬人のドイツ人を統治してゐるが、英軍の占領地帶が最終的に決定すれば、二千人の軍政官が約一千八百萬人のドイツ人を支配することとならう、英國その他における自由ドイツ避難民は聯合軍の軍政に夫々の役割を果す豫定である、英軍の占領地帶は未だ本極りにならないが、大體プロイセン地方、ライン河西岸のラインランド、ウエストフアリア、ハノーウエル、シユレスウイツヒホルシユタイン等を含むこととならう

勞働黨チヤーチルの提案を拒否

（ストツクホルム二十日發）至急報＝英國勞働黨の執行委員會は二十日夜、ブラックプールにおける會議で太平洋戰爭の終了まで聯立内閣を存續したいとの首相チヤーチルの提案を拒否するに決定した

七月中旬總選擧執行か

（ストツクホルム二十日發）英國勞働黨は二十一日からブラックプールで黨大會を開催するが、アトレー副首相を始め各代表數千名は二十日朝來相次いで會議地に乘込み市内は早くも政戰氣分横溢の有様だ、ブラツクプール來電によれば内相ハーバート・モリソンは會議を前に擧行された勞働黨の示威大會に臨み次の通り述べたと傳へられる

黨大會の前日に當つても總選擧が果して何時執行されるかは何人にもわかつてゐない、しかし次の内閣乃至次の議會が如何なる政策を遂行するのを望むかについて英國民が落着いた冷靜且つ獨自の判斷を下し得る時期に總選擧が執行されねばならない、來るべき總選擧こそは英國の憲政史初まつて以來の最も重要な選擧である

全國勞働黨の大會に先立ちチヤーチル首相はアトレー副首相を通じ書翰を以て次の通り提案した

一、ユーゴ・スラヴイヤ紛爭並びにポーランド問題等を繞る歐洲現在の危機的情勢に鑑み、太平洋戰爭の終了まで勞働黨が聯立内閣に留まることを要望する

一、しかし勞働黨が以上の申入れに應じない場合には直に議會を解散し七月中旬以前に總選擧を執行したい

以上の提案に對しアトレー副首相並びに勞働相サー・アーネスト・ベヴインは支持に傾き、モリソン内相その他黨の領袖の大半は反對だと見られてゐたが、黨の執行委員會が二十日夜會議を開催してチヤーチル首相の提案を審議した結果、果然委員會は多數を以て首相の提案を拒否するに決定した

昭和二十年五月廿二日(火)
第三四二九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

明二十一日からの大會に執行委員會が以上の決定を報告表決に付する段取だが大會が委員會の決定を壓倒的に支持する事は疑ひなく、チヤーチル首相就任以來五年間政治休戰を繼續してきた英國の政界はここに急轉直下再び保守主義、社會主義との抗爭に入ることとなつた、チヤーチル首相は單に七月中旬以前と述べてゐるだけだが、ロイター電報は、總選擧の日取を七月五日と推算してゐる

リミニ港附近に撤收令

(リスボン二十日發)ローマ來電=トリエスト港の對岸リミニ市廳は二十日地中海方面聯合軍司令部の次の布告を市内要所に貼り出した

リミニ市附近一帶の海岸地帶における住民は即時撤收されたい

右布告によつて住民約二萬五千人は奥地に疎散せねばならない、軍司令部では今回の布告について何等理由を上げてゐないが、リミニ港はイストリア半島南端のポーラ海軍要港の對岸にあり、トリエスト港の南方五十哩の地點に位するだけに重大な意義を含んでゐると解される

チトー將軍憤懣をぶちまく

(リスボン二十日發)ベルグラード來電=地中海方面軍最高司令アレキサンダー元帥がチトー將軍を非難しユーゴスラヴイヤ軍の行動は「樞軸軍の武力侵略を想はせる」と述べたのに對し、當のチトー將軍は二十日ユーゴスラヴイヤ電報通信社と會見し次の通り反駁を加へた

ユーゴスラヴイヤ軍の行動を樞軸軍のそれに比較するのは正に堅白同異の詭辯で余はアレキサンダー元帥の言明に嫌惡を禁じ得ない、ユーゴスラヴイヤ軍は聯合國の與國としての立場を侮蔑し乃至屈辱を與へない基礎においてのみ聯合國と協力し協定する用意あることを余は玆に宣言する

アラブ諸國、佛政府に抗議

(リスボン二十日發)フランス政府が巡洋艦一隻をベイルートに派遣し兵員五百名を揚陸した後、シリア、レバノン兩政廳と國交調整の交涉を開始したのに對しアラブ諸國は共同戰線を張つて反對する氣勢を示してゐるが、バグダツト來電によればイラク政府は早くもアラブ各國に呼びかけアラブ聯盟としての主張を「四大國」に提示する交涉を開始したと傳へられる、一方ダマスカス來電によればシリア國内の人心も可成り惡化し、シリア政廳はダマスカス市内の治安維持に强硬な措置を講じてゐるといはれる

獨の流民二百五十萬

(ストツクホルム十八日發)パリ來電=歐洲侵攻軍最高司令部は十七日、今日までにドイツ領内において流民二百五十萬人を發見したと發表した

米、獨の二港を接收

(リスボン十九日發)ロンドン來電=歐洲水域米海軍部隊司令官スタークは十九日次の通り發表した

ブレーメン並びにブレーメルハーヴエンの二港はドイツ領内における米占領地を維持し、且つ米國へ歸還する部隊を乘船せしめるため米海軍によつて接收された、目下米海軍の將兵約四千名が破壞された兩港の修理に動員されてをり間もなく右の二港は夫々一日少くも一萬噸の船腹を處理出來るやうになるだらうといはれる

葡外交方針闡明

(リスボン十八日發)ポルトガル首相サラザール博士は十八日議會で同國の外交方針を左の通り闡明した

ポルトガルの外交方針は依然として英國との同盟を維持强化し米國、フランス、ポルトガル植民地の隣接諸國並びにブラジルと友好關係を保つにある、今次戰爭間におけるポルトガルの中立は對英協力的中立であつたが、ポルトガルが中立を維持することが出來、また維持せねばならなかつた歐洲戰は今回が最後とならう

【波　問　題】

スターリン議長強硬聲明

（ストツクホルム十九日發）ポーランド亡命政權要人十六名の逮捕問題とポーランド假政府改組問題に絡み米英兩國政府が躍起となつてゐるにも拘らずソヴエト聯邦政府は一切これを相手としない態度を示し、米英兩國政府を焦慮と疑惑の底に彷徨せしめてゐたが、十九日夜、スターリン議長は「ロンドン・タイムズ」紙モスクワ特派員パーカーのポーランド要人逮捕問題に關する聲明要請に答へ「ロンドン・タイムズ」紙に書翰を送ると同時にラジオを通じて同趣旨の演說を行つたが、これによりソヴエト政府が要人逮捕問題をポーランド假政府改組問題と全然別個に扱ひ改組問題の澁滯の責任を一切米英兩國政府にありとしてゐることが明らかにされた、ロンドン電報によればスターリン議長の返書正文次の通り

一、著名なる分裂主義者オクリツキーを頭領とするポーランド本國在留ポーランド人十六名の逮捕はポーランド假政府の改組問題とは何の關係もない、これら紳士諸君は英國の國土防衛法と同樣の法律に基き逮捕された、逮捕はポーランド假政府と赤軍司令部との間に締結された協定に準據し赤軍當局により執行された

二、逮捕されたポーランド人たちがソヴエト當局との交涉に招請されたといふことは事實無根である、ソヴエト當局は赤軍後方陣地の保安令を犯した者と交涉することなく交涉を欲してもゐない

三、ポーランド假政府の改組問題そのものに關してはクリミヤ會談の諸決定に反することは許されないのであるから、これら諸決定を基礎としない限り解決の道はない

四、ポーランド問題は、次の基本條件さへ守られるならば諸國間の協定により解決されると信ずる

（イ）　ポーランド假政府の改組はユーゴスラヴイアの場合國民解放委員會がユーゴ統一政府の核心と認められた如く假政府を將來の國民統一政府の基礎的中核と認めること

（ロ）　改組の結果、ソヴエト聯邦との友好關係を政策としソヴエト聯邦に對する「防疫線」たるの政策を有せざるごとき政府がポーランドに生れること

（ハ）　ポーランド假政府の改組問題は現在ポーランド人民と關聯を有するポーランド人とともに解決され、この人々を排除しないこと

米英の對ソ態度が問題

（ストツクホルム十九日發）ポーランド問題に關するスターリン議長の書翰に關しロイター通信社モスクワ特派員フーパーは次の通り論じてゐる

スターリン議長が「タイムズ」特派員の質問に答へて自らポーランド問題に口を出したことは同問題がいかに緊要なるかを示してゐる、議長が外國記者の質問に答へて書翰を送るといふやうなことはこの二年來なかつたことだ、ポーランド問題の三條件に關するソ聯政府の態度には何の變化もなく、寧ろそれを一層明瞭にしたにすぎない、記者のみるところではスターリン議長の聲明には過去において諸國間に打ち込まれた楔が更に大きくなるといふ危險に止めを刺さうといふ斷乎たる決意が窺はれる、恐らく今後の問題は、西方諸國がスターリン議長の聲明に對していかなる反應を示すかといふことで、これはクリミヤ會談により決定されたモスクワ委員會の席上で論ぜられることにならう、モロトフ外相と共にこの委員會を形成する英國大使カーと米國大使ハリマンとは、近く一應歸國するものと見られる

【ソ　聯】

赤軍航空隊の活動

（モスクワ十八日發）赤軍當局發表＝

赤軍航空部隊は約四ケ年にわたる對獨戰を通じ三百萬機以上の出擊を行つたが、特に對獨戰における最後の月の本年四月には最も熾烈を極めた、即ち同月には延二十一萬六千機の出擊が行はれ投下爆彈量は四萬五千トンに達した、またベルリン攻擊開始第一日における出擊機數は延一萬七千五百機であつた

昭和二十年五月廿二日(火)
第三四二九號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

【桑港會議】

ソ聯代表五ケ國會談を招請

(リスボン十九日發)桑港會議の幾つかの難問題の鍵を押へてゐるソ聯代表の要求により五大國の代表は十九日午後會議を開くことになつた、米國代表團はソ聯側が五ケ國會談を招請したことに地域的平和機構と國際平和機構にたいするモスクワの回訓が來たためであることを希望してゐるが、既に米國は國際機構の權威を害ふことなく地域國家群が一致した侵略に對抗するといふ案を起草してをり、ソ聯代表の見解表明を待つて二十一日まで米國案の會議提出を差控へることに決定した

分科全員委員會始まる

(リスボン十八日發)サンフランシスコ來電=桑港會議當局は全體會議の議決前の最終階梯として各種修正條項を廣く討論にかけるため今後一週間に幾つかの分科全員委員會を開催すべく準備中である、その第一として十九日は五月二日以來最初の全體會議において國際司法機構に關する分科全員委員會が開催される、分科委員會は專門委員會の決定を最後的に承認し、その後は形式的な全體會議の承認が殘るだけである

會議遲滯に焦慮

(リスボン十八日發)サンフランシスコ來電=桑港會議臨時議長米國務長官ステチニアスは十八日四分科委員會の委員長たちを自室に招き、國際機構案各條項の決定を促進する方法につき協議した

國際法延判事推薦手續

(リスボン十八日發)サンフランシスコ來電=桑港會議國際司法委員會(第四分科委員會)第一專門委員會は十七日ハーグ仲裁々判所の各國代表が國際法延の判事を推薦するといふ制度を殘すことに決定した

一八九九年並びに一九〇七年の規約に基きハーグ仲裁判々所の構成員は一切の審議條件につき仲裁すべき陪審員を各四名指名する權利がある、各國から出るこの陪審員がハーグの各國代表で、これが國際法延の判事を推薦するのであり、國際司法委員會の發表によればなほ國際法延判事選擧方法が論ぜられてゐるといはれる

ステチニアス强辯

(リスボン十八日發)信託統治制問題の基準文書の附議に際し重慶の提議せる「獨立」の文字に米英が反對したことは桑港會議各國代表の間に大きな波紋を捲き起したが、米首席代表國務長官ステチニアスは十八日各方面の批難に應へてつぎの通り苦しい辯明を發表した

すべて非獨立國民の統治において獨立の達成は確かに米國の目的の一つになつてゐる、米國代表團は「信託統治領並びにその住民の政治的經濟的社會的進歩を促し各地域の相異る事情に應ずる形態における自治に向ひ進歩的發展を助けるを目的とす」との信託統治案を支持する、この字句の中には、信託統治領住民が自治を望みその責任をとる用意と能力を有する時は直ちに獨立を獲得せしめるといふ意味があると考へられるのである

【米　國】

勞働界指導者も基前獲得を說く

(リスボン十八日發)ワシントン來電=太平洋戰線を視察してワシントンに歸還した米國勞働界指導者十名は十七日、共同發表の形式でつぎの見解を表明した

一、對日戰に支拂はれた人的物的代價は次代に對し太平洋に適當な基地及び防空施設が維持されなければならないといふ教訓にすべきだ

一、太平洋戰域の全部隊全部門の間には眞の指揮統一が實されてゐる

一、前線將兵は陸海軍の補給に協力する銃後の努力を高く買つてゐる

一、太平洋戰のテンポは日本帝國が無條件降伏を餘儀なくされるまでますます拍車をかけなければならない

陸軍次官豪語

（リスボン十七日發）ワシントン來電＝米陸軍次官パターソンは、歐洲戰線の視察から歸還して十七日記者團に對して次の通り言明した

聯合軍の再展開計畫は旨く進捗してをり、今後極めて效果的に行はれるであらう、日本人はこれから殆んど每日米國戰略爆擊隊の攻擊をうけることにならう、フランス參謀本部のバルヨ將軍は最近フランスでは四ケ師團を太平洋に送る用意を整へてゐるにも拘らず、統合參謀本部がフランス軍の對日戰使用を拒否した旨聲明したといはれるが、統合參謀本部はこれまでと同樣フランスの軍事力を對日戰に受け容れるであらう

なほパターソンは

ドイツ國民は現在のところ榮養や衣服に缺乏してゐる徵候はなく、ドイツでは都市以外の地域は戰火を蒙つてゐないと放言した

空母建造要員徵用

（リスボン十九日發）ニューヨーク來電＝フイラデルフイア地區戰時人的資源委員會は十九日左の通り發表した

海軍工廠は目下建造中の空母「ヴアレー・フオージ」及び「プリンストン」を完成して速かに日本軍航空機のために大損害を蒙つた空母「フランクリン」の仇を討つため差當り千六百名の職工を徵用する、右の措置により兩艦の就役は豫定より六ケ月早められる筈である

海軍餘剩資産處理案可決

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝下院海軍委員會は餘剩資産局が海軍の大施設、裝備等を處分する際には議會の審議を必要とする旨規定した法案を十八日可決した、餘剩資産局は一九四四年の餘剩資産處理法により戰艦、空母、巡洋艦、驅逐艦、潛水艦を除く一切の海軍餘剩資産を獨自の立場で處分する權限を付與されてゐるが今回の法案は餘剩資産局が浮ドツク、機雷敷設艦、哨戒艇海軍區所屬舟艇、飛行場、海軍工廠、訓練所等の施設を處分せんとする際には議會に對し六十日以前に通告し右期間內に議會がかかる處分を禁止しない場合に限りこれを實施し得ることを規定したもので、海軍省は既に同案を承認してゐる

勤勞者增給法案上院通過

（リスボン十八日發）ワシントン來電＝上院は十七日勤勞者約百五十萬に對し每年四十八萬七千八百弗乃至それ以上の增額を規定した法案を可決、これを下院に廻附した、同法案が下院を通過すれば小鐵鋼株式に基く最高增額率、卽ち一九四一年一月の物價水準の十五％增しといふ規定が變更され平均十六％程度の增額が認められることになるが、戰時勞働局は右增額が物價統制法に牴觸しないとの理由で同法案を承認してゐる

炭坑罷業終る

（リスボン十九日發）ペンシルヴアニア州の無煙炭坑勞働者七萬二千名は賃銀契約更改問題を繞り去る二日午前零時以來一齊に罷業に入つてゐたがワシントン來電によれば十九日炭坑主側と炭坑勞働者組合長ルイスとの間に新賃銀契約が成立、ルイスは全勞働者に對し二十一日から作業を開始するよう指令したといはれる、右新契約は從來の賃銀增加額を一日一弗三十七・五仙にまですることを規定してゐる、但し新契約の全文は炭坑夫組合所屬全勞働者の一般投票によつて承認されるまでは發表されない

シカゴでは運轉手罷業

（リスボン十九日發）シカゴ來電＝シカゴ貨物自動車運轉手組合所屬運轉手六百五十名は十九日賃銀增額を要求して罷業を開始、この結果軍需品を始め果實、野菜類等腐敗性食料品を含む物資の輸送が全く癱瘓狀態に陷つた、腐敗性食料品の業者は滯荷の受け取りのために總同盟系運轉手を動員してゐるが、組合員八千名を擁する勞働總同盟所屬交通勞働者組合內にも罷業氣運は濃厚で、現に右罷業に合流せよと組合に對し表決を迫る者もあり、總罷業に發展する可能性が十分だ、既に單獨に賃銀增額を要求して罷業に入つてゐる運轉手も數百名に上るといはれる

昭和二十年五月廿二日(火)
第三四二九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

貿易週間開始

(リスボン十九日發)ニユーヨーク來電=米國では外國貿易伸張運動として二十日から「米國貿易週間」が始まるが國務長官ステチニアス、商業會議所長エリツク・ジョンストン等は十九日國民に對し、熱心に同運動を支持するやう左の通り呼びかけた

ステチニアス=

米國が繁榮するためには米國と東亞並びに歐洲との間の生産交換關係が着實に發展することが必要である、或る國では從來政府が直接外國貿易を運營してゐた、これらの國は將來も官營を續けるであらう、然しわれわれは米國で貿易の官營を行はうとは思はない、米國では政府ではなく民間人が賣買すべき品物やその數量値段等を決定するであらう、世界に提供する商品の出來が立派で、廣告、値段も申し分ないやう注意するのは民間人の責任である

ジョンストン=

米國民は健全なる國際貿易關係こそ世界に政治的協力機關を樹立しようとする現在の努力を成功にみちびく不可缺の條件なることを想起すべきである

民間航空機の先頭はC97

(リスボン十九日發)シヤトル來電=ボーイング航空機會社販賣部長コリンスは十九日次の通り發表した

戰時生産局が民間航空機の生産を許可するに決した結果、ボーイング會社はC97「ストラト・クルーザー」の生産を開始することとなつた、但し實際の生産開始はB29を含む軍用機生産契約と睨み合せて一九四六年後期とならう、C97は本年一月シヤトルからワシントンまで六時間三分といふ大陸橫斷新記錄を樹立してゐるなほボーイング會社の右發表に先立ち、ノースウエスト航空會社社長クロイル・ハンターは次の通り發表してゐる

當會社は現在の航空路並びに將來開設される豫定のアラスカ向け及び東亞向け航空路に四發十機を使用する積りで、この計畫は出來るやうになれば早速實現したい、このうち若干は「ストラト・ライナー」を使用する

佛向け小包郵便再開

(リスボン十八日發)ワシントン來電=郵政長官フランク・ウオーカーは十八日夜左の通り發表した

米國からのフランス向け小包郵便は六月一日から再開される、また余はノルウエー向けの通常端書便を卽時許可するやう命令を發した

前線向け郵便物の輸送迅速化

(リスボン十八日發)サンフランシスコ來電=第十二海軍區司令部は十八日次の通り發表した

從來米本國から太平洋諸島の米海軍將兵に宛てた郵便物は受信人の手に屆くまでに六週間乃至八週間を要したが、最近カートライト海軍大尉により急速な配達法が考案された結果、その所要時間は十二日乃至十三日間に短縮され、且つ每月七千萬通以上の書簡が送り屆けられることとなつた

ドイツ人會長追放

(リスボン十八日發)ワシントン來電=米國司法省は十八日元在米ドイツ人會會長フリツツ・クーンをドイツ本國に送還する旨發表した

クーンは一九三九年十二月同會の資金を着服して窃盜並びに文書僞造罪に問はれシンシン監獄に投獄されてゐたが、今回「好もしからざる外國人」として米國から追放されることとなつたもので、ドイツに歸國すると同時に同地の米軍當局によつて裁判に附される豫定である

トルーマン演說

(リスボン十九日發)ワシントン來電=白堊館當局は大統領トルーマンが二十一日午後一時(東部戰時標準時)上下兩院合同會議で演說を行ふ旨十九日發表した、右演說は二十一日步兵軍曹ジエーク・リンゼーに對し百回目の議會章が授與されるのに關聯して行はれるものといはれる

【西　亞】

シリア政廳と交渉を開始

（リスボン十八日發）ダマスカス來電によればシリア地方駐劄フランス代表エチエンヌ・ベイネは十八日シリア大統領シュクリ・エル・クワトリを訪問しフランス、シリア兩國間の關係調整に關する交渉を開始したと傳へられる、右會見において フランス代表は双務條約の基礎に立つて諸懸案を共同處理したいとの意向を洩らしたといはれるが右會見と相前後し英國公使並びにエジプト公使もシリア首相を訪問し會談を遂げた

佛兵レバノンに上陸

（リスボン十八日發）ベイルート來電＝フランス政府はシリア、レバノン兩政府との交渉を開始するに先立ち示威のためか十七日巡洋艦ジャンヌ・ダルク號をベイルートに派遣、兵五百名を上陸させた、ベイルート市の目抜き通りでは各店舗が直に閉店してフランス軍の上陸に抗議の意思を表現したが、レバノン首相アブドル・カラメは十七日下院において

フランス兵上陸についてはレバノン政廳は非公式に通告を受けてゐるが政廳としては苟も自國の主權侵害の企圖が始まる場合には如何なる難局にも直面する決心であると述べた

出兵に情勢險惡化

（リスボン十九日發）フランス政府がレバノン、シリア兩國政府と交渉を始めるに先立ち十七日、巡洋艦を派遣しベイルートにフランス兵を上陸せしめた結果レバノン民衆のフランスに對する反感は極度に昂まり、ロイターベルリン特派員の報道によれば十八日、フランスの出兵に對する抗議の意味で開始されたベイルート市民の罷業は、十九日早くも總罷業にまで發展せんとする形勢にあり市内は表面平靜を持してゐるが市民は街路に集結極度の緊迫感が街を蔽つてゐるといはれる、一方フランスとシリア、レバノン兩國政府との交渉は既に開始された樣子で十九日レバノン政府は西亞駐在フランス全權代表エチエンヌ・ベイネはレバノン外相ファアルーン並びにシリア外相マルダン・ベイと會見、シリア、レバノンとフランスとの關係についてのフランスの見解を通達した

旨發表した、右會談に先立ちシリア、レバノン兩國外相は十八日、會談を遂げフランスとの交渉において共同歩調をとるやう申合せたといはれるが十九日には更に兩國外相に加へ大統領も出席して重要會議を開くはずであり、シリア、レバノン政府はこの問題を繞り極度の緊張を示してゐる、又レバノン議會は二十二日政府の報告を聽取する豫定といはれる

トランスヨルダン新内閣成立

（リスボン十九日發）カイロ來電＝ザミール・エルリファイ・パシヤを首班とするトランスヨルダン内閣は十九日總辭職し代つてイブラシム・ハツケム・パシヤが新内閣の組閣を完了した、内閣更迭の理由は明かにされてゐない

【英　帝　國】

人的損害前大戰より輕微

（ストツクホルム十八日發）ロンドン來電＝英陸軍省は十八日左の通り發表した

第二次歐洲戰爭は第一次歐洲戰より約十七ケ月間長期にわたつた、兩大戰の死傷數を比較すれば左の通り

第一次歐洲戰

戰死	九〇八、三七一名
戰傷	二、〇九〇、二一二名
合計	二、九九八、五八三名

第二次歐洲戰

戰死	三〇六、九八四名
戰傷	四二二、四七六名
合計	七二九、四六〇名

東阿軍分駐

（リスボン十七日發）ナイロビ（アフリカ東部）來電＝英東阿軍司令部は同軍司令部から現在東南アジア軍に派遣してゐる兵力は將校二千、英國兵四千、アフリカ兵五萬に上る旨十七日發表した

昭和二十年五月廿二日(火)
第三四二九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

對日戰の困難を警告

(ストツクホルム十七日發)ロンドン來電=英國王ジョージ六世は十七日の英議會に臨み上下兩院からのドイツ無條件降伏にたいする祝詞に應へ英國が今後對日戰において直面すべき種々の困難な事業に觸れ、つぎのやうに警告を發し英國民の奮起を促した

過去五ケ年以上に亘り英國陸海軍は米國空軍と協同作戰の下に戰爭をドイツの心藏部に擴大し敵の補給源に猛擊を加へて遂に歐洲において勝利を獲得した、しかし、英國の陸海空三軍は今後東亞戰域において困難な仕事を控へてゐる、余は英國戰鬪部隊が不屈の勇氣と不變の氣力をもつて對日戰の遂行に邁進することを確信してゐる

保守黨政策を闡明

(リスボン十八日發)ロンドン來電=保守黨は十七日、十七項目なる戰後對策を提案した、主な條項は次の通り

一、對日戰遂行のため、チヤーチル內閣に强力な支持を與へる
一、戰後における平和保持のための米ソ兩國との協調
一、英本國の自力防衛
一、世界安全保障機構立案に當り英國が重要役割を演ずべきこと
一、國民の福祉のため英帝國の强力な發展を計ること
一、英國輸出貿易の復興並びに振張
一、國民職業對策の强力斷行
一、生活水準引上げ
一、住宅改善運動の展開

エール大統領選擧

(ストツクホルム十七日發)ダブリン來電=エール國大統領選擧は來る六月十四日擧行されるが、候補者は十六日左の通り決定した

政府黨候補=副首相兼藏相オケリー
同人はエール國政府の全幅的支持を受けてをり今回の選擧では樂勝が豫想される
在野黨候補=シーン・マコイン將軍
獨立黨候補=パトリツク・マツカータン博士

博士の出馬は政界筋で意外とされてゐるが、博士はエール議會で農民黨並に勞働黨の支持を得てゐる

なほ新大統領は六月二十五日正式に就任する豫定である

【歐洲戰後處理問題】

獨民族を搾取せん

(リスボン十八日發)ロイター記者デニス・マーチンが十五日英軍政機關の本部所在地とみられるハンブルクから打つた電報によれば、英軍政當局では歐洲侵攻軍最高司令部の計畫に基きドイツ內における貿易關係勞働者はすべて占領軍を裝備し養ふために軍政當局によつて動員され、占領軍のための輸入が最小限度になつて始めてこれらドイツ人勞働者は自國製品を取扱ひ得ることにならうと言明したといはれる、更に右の電報は英軍政機關の經濟部門を擔當してゐた大佐ステツビングの言明內容を左の通り傳へてゐる

我々はドイツの勞務施設から英軍に必要なものすべてを作り出さうと努めてゐるのであり、ドイツ人は英軍の必要を滿たした後に殘つたものだけを保有することが出來るのだ、ドイツ領內にゐるわれわれは多量の物資を聯合國側から輸入するのを出來るだけ避けようとしてゐるのだわれわれはドイツ工業の復興には全然無關係であり、ドイツ人の爲にドイツの工業を再建しようとしてゐないことはいふまでもない、ただわれわれは聯合軍の最小限度の需要を滿たすためにドイツの工業を再建しようとしてゐるのだ

獨に最初の地方行政廳誕生

(チユーリツヒ十九日發)ノイシユタツトからのAP電によれば、米軍の占領地域內に最初の地方行政廳が誕生したといはれる、この地方政廳は本部をノイシユタツトにおきナチス黨員外のドイツ人をもつて構成され、米軍の監督下にザール、ライン、ヘツセン地方五千平方哩の地域を統治することになつてゐる

ソ聯、伯林で新聞を發行

（ストツクホルム十八日發）モスクワ來電＝ソヴエト當局は十八日次の通り言明した

五月十五日以來ベルリンでは赤軍の管理下に、「テーグリシエ・ルントシャウ」紙が發行されてゐる、創刊號にはソヴエト政府並びにスターリン元帥が對獨戰の終了に關し米英首腦からうけとつた祝辭、ベルリン市民に對する赤軍司令官の布告、新しい食糧配給制の說明その他ベルリン市内が平靜に歸した最初の數日間における詳細な報道などが揭載され、七日の第三號では赤軍占領後の情勢に對するベルリン市民の批評が最終の頁に揭載されてゐる

ミユンヘンでも新聞發行

（リスボン十八日發）赤軍はベルリンで早くもドイツ語紙を發行するに至つたが、ミユンヘン放送によれば米軍の占領下にあるミユンヘンでも十八日「バイリツシエ・ランデス・ツアイツング」紙が發行される豫定で市内の各警察署で一部二十ペニーで販賣されることになつてゐるといはれる

上級學校は依然閉鎖

＝占領軍の對獨教育政策＝

（リスボン十八日發）パリ來電＝「ニユーヨーク・ヘラルド・トリビユーシ」紙の侵攻軍最高司令部付特派員カール・レヴインは十七日占領軍のドイツに對する教育政策について小學校を除く上級學校は今後一年間は開かれないだらうと次の通り述べてゐる

占領國軍政機關の教育關係專門家はドイツ青年からナチ色を一掃する任務につき愼重な態度を示してゐるが、大學から中學校に至る學校の大半は恐らく今後少くも一年間は閉鎖されたままだらう、これは現在占領軍當局が直面してゐる最も微妙且つ長期間を要する問題の一つで目下のところこの問題を擔當する官吏達も彼らの抱いてゐる計畫については全く沈默を守つてゐるが次の一事は確實だ、卽ち大學專門學校中學校のすべてはナチ教育の最後の殘滓がドイツの教育制度から拂拭されるまで再開されないだらうといふことである、そしてこの純化過程には少くも一年を要すると見られてゐる、當局者の一部では暫定的にドイツ領内の廢墟と化したところで勞働に從事させることは過去十二年間叩き込まれた教育の誤謬をただす第一の教訓としてドイツ青年のためになるだらうと考へてゐるやうだ、また學童は青年達ほど長くナチに毒せられてゐないので學校へ復歸させるといふのが全般的な計畫であつて、この計畫に基いて既にドイツでは多數の幼稚園が開かれてをり四年生までの學童のため小學校を再開する準備も進められてゐる、然しながら小學校の上の四學年の學童達が授業されるまでには少くも今後半年を必要としよう、何れにしろこの學校再開の問題はナチドイツを根絶させるためドイツがうけなければならない精神的再教育の上において重要な段階を構成するものであり最も重要な事柄だといはざるを得ない

俘虜交換交涉捗る

（リスボン十九日發）パリ來電＝聯合軍最高司令部は十九日次の通り發表した

赤軍によつて解放された聯合國俘虜抑留民の引渡しに關しては目下交涉が進められてゐる、卽ち聯合軍司令部並びに米英軍團の代表及び赤軍當局の代表は現在双方の占領地區にある俘虜及び抑留民の交換を如何にして行ふべきかを協議してをり、右交涉は滿足に進捗してゐる、しかして具體的取極めが成立し次第卽刻これを實施する豫定である

貴重品を大量鹵獲

（チユーリツヒ十八日發）ザルツブルグ來電によれば米第七軍はザルツブルグ附近ブフシユタインにおいて十七日總額數百萬磅と見積られる金塊、寶石類、珍家具類、並びに貴重な絨氈を滿載した五十輛からなる列車を鹵獲したといはれる、これら貴重品は赤軍の鹵獲を免れるためハンガリー藏相が同地に列車で運搬させたものとみられる

昭和二十年五月廿二日(火)
第三四二九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【トリエスト問題】

チトー形式上の讓歩

(リスボン十八日發)チドー軍はトリエスト並びにオーストリア南部のクラーゲンフルトで米英軍との間に衝突を起してゐるが、ベルグラードからのAP電によればチトー元帥は米英兩國の壓迫に對し名目的讓歩をするに決したといはれる、卽ちトリエストの占領問題に關聯し米國政府は來るべき平和會議まで武力による國境の變更を許さずとの覺書を提出したが十六日チトーはこれに答へユーゴスラヴイア軍はオーストリア南部のカリンチア地方における駐屯を許可されてゐる、但し右ユーゴ軍はアレキサンダー元帥の指揮下におかれることになつてゐると發表、形式的には讓歩しながらも依然、クラーゲンフルトを中心とするカリンチア地方からの撤退要求には應じてゐない

トリエストの民政を引渡す

(リスボン十八日發)ベルグラード放送局は十八日夜の報道でつぎの通り傳へてゐる
トリエスト港の民政は十七日同市におけるイタリア人、スロヴエーン人からなる執行委員會に引渡された、引渡式には英ソ兩國の軍事代表も立會つた

撤兵要求に回答

(リスボン十八日發)ベルグラード來電=ユーゴスラヴイヤ政府首班チトー將軍はトリエスト港並びにヴエネチヤ・ギウリヤ地方からの撤兵を要求した米英兩國の通牒に對し十八日回答した

米チトーの回答に不滿

(リスボン十九日發)ワシントン來電=米國務次官グルーは十九日、記者團との會見において米國政府がトリエスト問題に關するチトー元帥からの回答を受理した事實を明らかにすると共に次の通り言明した
ヴエネチア、ギウリア問題に關するユーゴスラヴイア政府の覺書を受理したが、右は同地方に對するユーゴの領土的主張を繰り返へすと同時に、米國政府の立場と一致しない問題の解決方法を提示したものにほかならない、卽ち米國政府の立場とは領土的紛爭を武力占領によつて解決することを認めずあくまでも正當な手續を踏んだ調整策によつて解決しなければならないといふにある
一方情勢は問題の地域にユーゴスラヴイア遊擊軍が繼續的に侵入してゐた爲惡化してをり、同方面司令官が秩序を維持しかつオーストリア占領について彼に負はされた義務を遂行するに必要な統制權をうちたてんとするのに惡影響を及ぼしてゐる、米國政府は公平かつ正當な手續を踏んだ解決の諸原則について誤解が生じないやうこの問題について關係各國政府と目下協議してゐる

ソ、暗默裡にチトーを支持

(ストツクホルム十九日發)ソヴエト政府はトリエスト問題に關し未だ正式にその見解を發表してゐないが、モスクワ來電によればソヴエト政府機關紙「イズヴエスチア」は十九日ユーゴスラヴイア副首相ケルデルとの會見記を揭載し、同問題に對するユーゴスラヴイア側の主張を詳細に紹介し非公式に同國支持の態度を示してゐるといはれるまた同紙によればケルデルが主張するユーゴスラヴイア側の言分はつぎの通りである
一、トリエストのみならずエストリア半島並びにスロヴエニアの海岸地方は專らユーゴ軍によつて掃蕩された
一、正式の見地からすれば、この戰爭で米英軍が占領した外國領土に對してゐると同樣の權利をユーゴ軍もその占領地域において享有するのは當然である
一、ユーゴ軍が占領中の地域はユーゴスラヴイアにとつて何等異境ではなく、過去において强制的に奪取せられたものである
一、トリエストにおいてはスロヴエーン人のみならずイタリア人の大多數がユーゴスラヴイアの要求を支持してゐる

アレキサンダー匙を投ぐ

（チューリツヒ十九日發）トリエスト地方の占領問題を繞るチトー政權と米英軍側との抗爭はその後惡化の一途を辿り、言を左右にしてトリエスト地方から頑として動くまいとするチトー政權側の態度に業を煮やした地中海方面米英軍司令官アレキサンダーは十九日、遂に麾下將兵に宛てた特別メツセージの形でチトーに對する爆彈的公開狀を叩きつけ、自分はこの問題から手を引いて事件を米英兩國政府とチトー政權との直接交涉に移す旨左の如く言明した

チトー元帥は武力をもつてその主張を押通さうとしてゐる樣子だがわれわれが今次の戰爭を戰つたのは實にかかる行動を阻止する爲であつた領土の變更は關係各國政府間における十分な協議と熟議の後初めて行はるべきであるといふのがわれわれの方法である、係爭地域内におけるわれわれの義務と責任は武力をもつて法と秩序を維持し、米英軍の軍政を通じて人民の平和的な生活を保障するにある、然るにチトー將軍と友好的取極めに達しようとする余の最善の努力は遂に不成功に終つたため、米英兩國政府が余に代りチトー將軍と直接交涉することとなつた、余は今後チトーが領土的主張の平和的解釋を受諾する用意があるか、また飽くまで武力によつてその主張を押通さうとするかを待つてゐる

更にローマ來電によれば、アレキサンダーはチトーに對し

米英軍は引續きトリエスト港を使用し且つイタリア北部並びにオーストリアに兵力を維持するしかして米英軍當局は遺憾な事態が惹起しないやうチトー軍において確實な措置を講ずることを期待する、チトー軍當局はまた麾下部隊に對しオーストリア國境を越えることを禁止し既に國境を越えた部隊は直ちに國境外に引揚げるやう要請する旨の通告を發したといはれる

交涉の經緯

（チューリツヒ十九日發）ローマ來電によれば、地中海方面聯合軍司令部は、トリエスト問題に關し昨年六月以來のチトーとの交涉の經過をぶちまけ、十九日次のやうに發表したといはれる

昨年六月アレキサンダーの招請に基いてチトー並びにアレキサンダーの兩名はイタリアのボルセナ湖において會見を遂げ、右會見においてチトー、アレキサンダー兩軍が握手を遂げた後チトー軍はフイウメ並びに同市北方線以東の地域を管理しアレキサンダー軍がヴエネチア、ギウリア地區を管理する事に同意し、次いで本年二月ベルグラードにおいてチトーは更に米英軍がトリエスト地區に軍政を實施することに同意した、その際アレキサンダーはチトーに對し、米英軍がオーストリアを占領する場合にはトリエストからの連絡線を支配する必要がある旨說明し又この事は一九三九年のユーゴ、イタリア國境西方の全地域を米英軍が占領する事を含む旨述べたのである、其後二ケ月を經て兩軍の連絡成るやアレキサンダーは參謀長モーガンをチトーのもとに派し、ユーゴ正規軍の撤收と不正規軍の武器引渡を要求する文書を示したところ、チトーは右に關し問題は現在軍事的でなく政治的なものとなつてゐるから、兩者の間には未だ諒解が出來てゐないと答へて前約定を飜へしたと

【軍事情報】

ラングーン上陸作戰參加艦艇

（リスボン十八日發）コロンボ來電＝東南アジア軍司令部は十八日次の通り發表した

英軍のラングーン上陸作戰には戰艦「クヰーンエリザベス」（三萬六百噸）フランス戰艦「リシユリユー」（三萬五千噸）巡洋艦「サフオーク」「セイロン」「トロンプ」驅逐艦「ロザーハム」「ペン」「パラデイ」「ローバツク」「レースホース」「リダウト」が參加した

右攻擊部隊には印度海軍のスループ艦「サトレジ」「コーヴアリー」、他英海軍フリゲート艦「トレント」「ロシー」「スペイ」等も含まれてゐた

昭和二十年五月廿二日(火)
第三四二九號
同盟通信 海外電報
(第三種郵便物認可)

特輯

ドイツ處分案の輪郭(上)

奥畑稔

△クリミヤ協定以後

ドイツの活體解剖を公言したクリミヤ會談の公報が發表されてから僅か三ケ月をも經過しないうちに早くもこれが現實となつて來ようとは誰しも豫想し得なかつたであらう、ヒムラーの對米英無條件降伏提案が行はれてから**の二**週間を未曾有の混亂の裡に過したドイツ國民に今與へられんとしてゐるのは文字通り生命を維持するに足るだけの空間と自由とに過ぎず、嘗てドイツの正當な生活圈を要求して戰を興し全歐洲を制壓したことを想へば洵に隔世の感なきを得ない

いふまでもなくドイツ處理方式の基本目標はドイツが再び世界平和を攪亂出來ないやうにすることであり、クリミヤ協定はこれを縷說して「われらは一切のドイツ兵力を解體しドイツ軍國主義の復興を再三企圖したドイツ參謀本部を永遠に分斷し、ドイツの軍事施設を悉く撤去乃至破壞し、軍需生産に資すべき一切のドイツ工業を抹殺乃至統制し、すべての戰爭犯罪人を裁判に附し、速かに處斷し、ドイツ軍の犯した破壞については現物による賠償を强要し、ナチ黨とナチ法制、組織並びに制度を一掃し、公職並びにドイツ國民の文化的經濟的生活からナチ並びに軍國主義の勢力を悉く掃蕩し、その他將來の平和と、世界の安全に必要と考へられる諸政策をドイツ國內において實施する決心である」と述べてゐる、以上の基本方針が今後どういふ形で具體化されるか現在までのところアイゼンハワーを長官とする米軍政當局が米軍占領下のドイツに課すべき軍政の概貌を發表した以外、英ソ佛三國ともいまだに沈默を守つてゐるため詳細は窺知し得ない、然しながらドイツの降伏以來連日傳へられるドイツ處理に關する諸情報に徵するに聯合國の態度がクリミヤ方式より以上に緩和されてゐると看做される節は全くなく、恐らく前ノルウエー派遣ドイツ軍司令官フアルケンホルスト大將が述懷してゐる如くドイツは聯合軍により活體の儘解剖され少くも今後百年間は再起不可能な狀態に陷るであらう、特にドイツの如何なる政府をも認めず聯合遠征軍司令部はドイツ武裝軍の武裝解除と解體を促進するためにドイツ最高司令部(デーニツツ政權を指す)を利用するが、武裝軍の解體が終り次第最高司令部は完全に解消されるであらうといふ聯合軍の態度をみる時この感を深くする、イタリア以來ブルガリアに至る一聯の戰線脫落國においても苛酷な降伏條件が傳へられ、これら各國民の苦惱は想像に絕すといはれたが、ドイツの場合と異なり何れも自國民から成る中央政府の設置を許容されてゐるのである、然るに今回は中央政府を認められず國土は米英ソ佛の四國軍によつて分割占領され占領軍はそれぞれ自己の占領地域に軍政機關を設けドイツ國民はこの軍政機關によつて生活の一切を支配される譯だ

△中央監理委員會

占領軍によつて異る行政並びに監理の調整を圖るためクリミヤ協定は米英ソ三國の最高司令官をもつて構成し本部をベルリンにおく中央監理委員會を規定してゐるが、いはばこれが中央政府に相當するわけだ、勿論管理委員會は直接ドイツ全域の軍政を掌る機關ではなくあくまで分割された占領地域間における軍政の調整を目的とするものに過ぎない、かくて命令は一途に出るのではなく三分乃至四分されたドイツ國民は夫々自己の屬する占領軍によつて活殺の權を握られてゐるのだ、尤も中央監理委員會が可成り廣汎な調整權を把握するだらうことは、五月七日附の「ダーゲンス・ニヘター」紙の次の如き記事によつても窺はれよう「ドイツ監理委員會は間もなく組織されるであらう、米國は旣にアイゼンハワーを代表に任命してをり、英ソ佛の三國もそれぞれ最も高い地位にあるものを任命するだらう、そして代表はそれぞれ軍事並びに軍事以外の顧問を一人づつ持ち、これらの顧問は行政の種々の部門の主管者を有することにならう、英國政府は未だ最高司令官(代表)を任命してゐないが軍事顧問としてはソーカシー將軍が、また一般行政顧問としては前ベルリン駐劄

英國大使館書記官イヴオン・カークパトリツクの名前があげられ、ドイツ工業の再建を管理すべき經濟部門の長官としては有名なサー・パーシー・マイルズがあげられてゐる、一方米國政府は政治顧問として現アイゼンハワー司令部顧問のロバート・マーフイを任命し、さらに彼の下に屬する者も既にその一部は任命濟みである、フランスとソヴエトはいまだ全然任命してゐないが恐らくフランスの場合は占領地帶の境界が畫定されてゐないからだと思はれる、ドイツの占領に關する基礎的原則はヤルタで決定されてをり、當分の間ドイツ中央政府は樹立されない、しかして管理委員會は漸くモスクワに設置される筈の賠償委員會と緊密な協力をするものとみられる

「バーズラー・ナハリヒテン」紙のロンドン電によつて以上の報道を補足するならば英國の代表はモントゴメリーか乃至はアレキサンダーと解されるが、恐らく政治的經驗の豐かな後者が選ばれるだらうといはれ、またフランスの代表としてはフランス第一軍司令官ドラットル・ド・タツシニーが任命されるだらうと觀測されてゐる、但しソヴエトの場合賠償委員會の代表に前ロンドン駐剳大使マイスキー氏が選ばれるだらうといはれるほか一切不明で、敢へて豫測するならばジューコフ元帥が代表となる可能性が頗る多いといへやう、さてこの中央管理委員會はクリミヤ會談においては本部をベルリンにおくことになつてゐるが、前後十日間の稀にみる激戰のためベルリン市街が廢墟と化した結果本部所在地が變更されるだらうとの觀測が有力で、ロイター軍事記者ジョン・キムチの如きは「現在、ドイツを統治すべき中央管理委員會の運營を開始すべく着々準備が進められてゐるが、當局ではベルリンが本部所在地となることはあるまいとみてゐる、ドイツの首都は破壞されてゐて管理委員會の龐大な陣容を收容出來さうもなくドイツ統治に必要な交通施設もない、ベルリンに代るべきところとしてライプチヒ、マグデブルグがあげられてゐるが、ロンドンの外交界では若しベルリンでなければ管理委員會の本部は赤軍の占領地帶內におかれるだらうと見てゐる」と述べてゐる、尤も現在迄のところ各國占領地域の境界は發表されてをらず、一部情報の傳へる如くエルベ河下流及びムルデ河以東の全地域が赤軍の占領下に歸し、英國はドイツ西北部を占領することにすればマグデブルグは英軍の占領地域に這入るわけで、ライプチヒがその場合中央管理委員會の本部所在地となることになる

占領地の區分については五月十二日の米誌「アーミー・アンド・ネーヴイ・ジヤーナル」がチユーリンゲン、ウルテンベルグ、バヴアリアの三地方及び英軍の管理下にあるブレーメンから以上米軍の占領地帶へ通ずる回廊地帶を補給路として米軍が占領し、フランスはザールの大半及び米軍に割當てられてゐる地域の一部を占領することにならうと報じてゐるのが注目される程度で、現在における米英ソ軍の展開狀況と以上の報道とは可成り喰ひ違つてゐる、殊にリユーベツクまで進出してゐる英軍はエルベ河東方へ深く展開してをり、またオーストリアにおいても米軍はリンツ（ウイーン西方）東南方で赤軍（第三ウクライナ戰線軍）と連絡してゐる狀態だ、五月十六日米軍政長官代理ルシアス・クレイが記者團に對して語つたところによれば占領地區の境界問題については一兩日中に話合ひがつくはずだといふから何れ近く公式に發表され同時に管理委員會の所在地も明かとなるかも知れない

△三國間に微妙な機運

しかしながら以上のごとく占領地域の境界問題が簡單に解決されるとみるのは些か單純過ぎる嫌ひがある、少くもクリミヤ會談において話し合ひのついてゐることは米英ソ三國によつてドイツを分割占領し、フランスが占領地帶の一部を分擔し第四の成員として監理委員會に參加を希望する場合には三國はフランスを招請するといふ點だけである、尤も二月十二日の公報においては、フランス軍の監理地域は關係四國政府において歐洲諮問委員會における代表を通じて取極めるであらうと述べてをり、この一句を最大限に解釋すればフランス以外の三國については分割地區の協定が出來

昭和二十年五月廿二日(火)
第三四二九號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ゐると看做すことも出來る

しかし假りに占領地區の境界線に關し既に去る二月基本的諒解が成立してゐたにしても、フランスの介入によつて協定された境界線に部分的ではあれ、修正を加へざるを得ないと見るのが至當であらう、さらにこの問題は必然的に今後の各國の歐洲における勢力範圍とも、また過去半年以上に亘る各國の對獨作戰における寄與とも關聯して來るわけで爾く容易に片附けられるとは思へない、例へば五月十二日「トリビユーヌ・ジュネーヴ」紙のサンフランシスコ電報は三國間における微妙な空氣について次の通り報じてゐる

「米英兩國はドイツ統治について詳細な計畫を持つてゐるが彼らは經濟分野における寄與とも關聯して來るわけで爾く容易に片附けられるとは思へない、例へば五月十二日「トリビユーヌ・ジュネーヴ」紙のサンフランシスコ電報は三國間における微妙な空氣について次の通り報じてゐる

「米英兩國はドイツ統治について詳細な計畫を持つてゐるが彼らは經濟分野における計畫は未だ作つてゐない、ソヴエトは米英兩國の經濟計畫が發表されるのを待つてゐるがその理由はドイツ東部の農產物とルールの機械との交換といふ觀點からソヴエトがドイツ西部に深い關心を持つてゐるからである、ソヴエトは米英軍にベルリン占領を許容した交換條件としてルール地帶に象徵的占領軍部隊を派遣したいとの要求を米英側に出すのではないかとみられる、一方賠償委員會をモスクワに設置するに決したことをもつてソヴエト側では聯合國が賠償問題についてソヴエトの優先權を認めたことだとし、その理由として第一にソヴエトが勝利獲得に偉大な寄與をしたこと第二にソヴエトの損害が莫大であることの二點を擧げてをり、ソヴエトはドイツ西部から出來るだけ多量の賠償物資を獲得すると共に、米英軍の占領地帶內において將來對ソ報復を企圖するが如き分子が勢力を得るのを阻止しようとしてゐるのだ」

△占領軍とドイツ人

中央管理委員會によつて大綱を決めるとはいへ占領地區に相違がある以上米英ソ三國の對獨軍政に少からぬ相違が生じることは避け得まい、共同占領とはいへ事實上赤軍の管理下にあるベルリンを別として米英ソ三國が各々その占領地域においてどの程度の「善政」を布きドイツ人の心理を把握し得るかはドイツ處理問題の今後において最も注目に値する點である、五月六日の英紙「サンデー・タイムズ」は占領軍とドイツ人の問題に關する報道を揭載してゐるが、以上の點に關聯するものとして(內容の一部において既に時期遲れとなつた部分もあるが)左にその要旨を述べよう

「ドイツ人を非常に嚴しく取り扱ふことと、新しいヒトラー誕生の溫床となりやすい混亂を阻止する爲にドイツ人に十分な協力を與へるといふ二つの極の間で適當な手段を見出すことが聯合國當面の問題だ、異つた聯合國の占領地帶は間もなく夫夫獨立した「存在」となるであらう、そしてドイツ人はこれら異なれる地域における聯合國の政策の相違を凝視しこの相違を利用しようとしてゐるのだ、ドイツ人が問題にしてゐる第一の點は何處の國の軍隊が自分達の街を占領するだらうかといふことだ、ドイツ人のすべてはこれまで穩健な政策をとつて來た米軍に占領されるのを欲してゐるが同時に第一次大戰後の英軍による占領についても依然良い記憶を持つてゐる、ただ然しV兵器による對英攻擊以來英國の態度がどれだけ硬化してゐるかは知らないやうだ

聯合國軍政機關員はいままでのところ非常に難しい事態には遭遇してゐない、といふのはいまのところ何處でも數週間分の食糧があり、家を失つた多數の者も夏の間は何とか凌げるし、また數百萬に上る失職者も强制勞働者として國外へ連れて行かれるのを惧れ敢て不滿を表明しないからだ、然し軍政機關に與つてゐる者達は現在既に聯合國の對獨處理政策について未だに明確な指示を與へられず、また大都市等に派遣しなければならない政治的訓練をうけた司政官に不足し、或ひは憲兵の如き治安維持機關を十分持つてゐないため思ふやうに施政出來ないことを感じ始めてをり、反ナチ主義者の多數は早くも政治活動の再開を望んでゐる狀態だ、軍政機關に與つてゐるものは一部は率直に彼らが微妙な政治をする能力がないことを認め、またその反對に他の者は既に民主主義的ドイツが生れ出ようとしてゐるのだとの見解を抱いてゐるやうだ」

資料

ライ博士逮捕
―十六日ベルヒテスガーテン來電―

ヒトラー總統の股肱としてナチ政治の實際に當つた全國指導者十數名の一人であるドイツ國民社會主義勞働黨（N・S・D・A・P）組織局長ローベルト・ライ博士は、五月十六日夜ドイツ地下組織の提供する情報によつて行動中の米第百一師團軍に發見逮捕された

ベルヒテスガーテン南方四十哩のとある家――その家族は博士の身内ではない事が判明した――に潛伏中を發見された博士は、顎鬚を四日程生やしてをり、最初人違ひを主張したが、後刻他のナチ黨上層指導者及び米現地情報部將校らによつて確認された

ヒトラー政權初期におけるドイツ勞働組合撲滅の勇者ライ博士は當年五十五才、前大戰には從軍してフランス軍に捕虜となつた、戰後一九二〇年から二八年にかけてI・G・ファーベン化學會社に奉職したが、途中ナチ黨に投じ、黨組織に盡瘁したため解雇され、以後ドイツ勞働指導者として各種産業の統制に當ることとなつた、彼の入黨は一九二四年、鰮てラインランド地方のナチ黨首腦に昇進した、この時期の業績にはユダヤ系に對抗する二新聞の創刊及び指導がある、一九三〇年にプロイセン州議員の椅子を獲得、三二年にはドイツ國會議員に選出された、一九三五年ヒトラーが總統として登壇し全國に君臨するに及び、博士は勞働戰線に指揮刀を翳して勞働組合撲滅を開始した、爾後ナチ黨國家建設委員會組織部長、「歡喜に芽ぐむ力」運動指導者、及びナチ親衞隊將官等の要職を兼任し黨の前線に敢闘してゐた、彼は實にヒトラー總統の草分け時代からの從臣であるばかりでなく、また最も熱心な崇拜者の一人であつた、なほAP電は「ドイツに奴隷的勞働制度を輸入した結果、一般に採用された外國人勞働者に對する虐待的處遇を來した責任の一半はナチ勞働黨指導者としてのライ博士にある」と結んでゐる

ニューヨーク攻撃實施說

（リスボン十六日發）ワシントン來電＝米陸軍將兵向け新聞「スターズ・アンド・ストライプス」は十四日左の通り述べてゐる

確かな筋からの情報によれば、ドイツ潛水艦は大統領選擧の當日、噴射推進式またはロケット推進式の兵器をもつてニューヨーク攻撃を試みたらしい、V兵器は沖合に碇泊したドイツ潛水艦の甲板から發射されたが、ニューヨークまで屆かなかつたり、この種攻撃に對して哨戒を怠らなかつた戰鬪機のために擊墜されたりしたといはれる、ミツチエル飛行場の情報將校は右のやうな攻撃の事實を肯定も否定もしてをらず、ワシントンの政府筋でも言明を避けてゐる、今にして想起されるのは大統領選擧後八日目に陸海軍が共同で「V兵器の米本土攻撃は全くあり得ることである」と言明したことだ、ミツチエル飛行場の通信手は「V兵器は海中に墜落した」と言つてゐる、なほ海軍省當局は「大統領選擧の頃V兵器がコネチカット州に落下したといふ噂が流布されてゐるが、調査の結果事實無根と判明した」と述べてゐる

「星條旗」紙太平洋版創刊

（リスボン十六日發）ホノルル來電＝太平洋方面陸軍部隊司令官陸軍中將ロバート・リチヤードソンは、米軍前線兵士の新聞「スターズ・アンド・ストライプス」（星條旗）の太平洋版が、十四日以後發刊されることとなつた旨十三日發表した、このタブロイド版日刊新聞はハワイ各紙向けAP通信全部とその他陸軍報道記事や太平洋ニューズが揭載される、同紙は從來歐洲戰線において各戰線版が刊行されてゐたが、ホノルルで發刊されれば、サイパンその他前進基地に支局が設けられるまでは全部ハワイから配布されるはずである、一九四二年二月以來太平洋で發行されてゐた週刊「ミド・パシフイカン」誌は廢刊され、「ホノルル・アドヴアタイザー」社内の編輯室並びに人員は「スターズ・アンド・ストライプス」紙に編入されることになる

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都麹町區有樂町一丁目一番地　社團法人同盟通信社

昭和二十年　五　月廿三日(水)
第　三　四　三　〇　號

同盟通信 海外電報

(116)

世界の焦点

嘗つてスマツツ將軍が「廿世紀の歐洲を横行するコロサス」と呼んだソヴエト聯邦の外交攻勢はホワイト・ホールとキヤピトル・ヒルに憂鬱な陰影を投じてゐる、チヤーチル首相が「自由と民主主義と解放との歪曲」を懸念したのに引續き、イーデン外相は全般的な國際政局における「重大かつ騒然たる諸爭點」に言及してゐる、いはゆる諸爭點はポーランド紛爭から、ソヴエト政府が聯合國の管理委員會をウイーンに招請しないといふ細い問題に至るまで殆ど枚擧に遑がない位だ、所がクリスチヤン・サイエンス・モニター紙のロンドン特派員マロリ・ブラウンの報道によれば「ソヴエト聯邦と英語民主諸國との關係は、英國新聞界では故意に小さく扱はれてをり、BBCの放送では殆ど觸れてゐない、この點に關し米英兩國の對照は極めて著しく、若し今後も持續されれば重大な事件とならう、米國人は漸次かつ自由にモスクワとの緊急狀態に氣付いてゐるが、大多數の英國人は米國の新聞數紙がソヴエト聯邦との戰爭の可能性について示唆してゐるのを突然知つて驚く有樣だ」といふニユーズ・クロニクル紙の評論家A・J・カミングスはソヴエト聯邦との關係について曰く「ロシヤとの戰爭に關する米國新聞界反動分子の論評は何等現實的な根據がなく徒らに民主各國の長期政策に對するソヴエト政府の猜疑を增すばかりだ、しかしソヴエト政府がいはゆるその勢力圈内の一部領域において一方的行動に出てゐることについては、米英兩國としても眞に懸念を禁じ得ない、近い將來における危險は戰爭ではないが大國間における長期に亘る不一致だ」カミングスは人も知る英國言論界における最左翼、ソヴエト聯邦の惡口はおくびにも出す譯はないが、シテーの代辯エコノミスト誌最近の社論は愈々出でて愈々峻烈だ、北はステテーンから南はトリエスト港に至るソヴエト聯邦の「氷河防衛線」に關する論文などを讀むと、保守黨が「狡兎死して走狗を煮る」筆法に出さうな形勢さへ見える、來るべき三頭會談は—若し開催されるなら—この意味で歐洲政局の轉機を畫すこととならう

【目　次】

シリア首相代理覺書を提出……一四二四
主權の侵害に抗議……〃
レバノン議會を招集……〃
アラブ諸民族も聲援……〃
ユーゴ軍カリンチア撤收……〃
ソ聯依然論評を避く……〃
モスクワベルリン航空路再開……〃
五ケ國意見一致……一四二五
米ソ妥協の內容……〃
ネルソン民間社長に就任……〃
保守黨を痛烈に攻撃……〃
【桑港會議】
ソ聯の態度依然不明……一四二六
國際裁判所法規草案發表……〃
フランス佛印の獨立を恐る……〃
【歐　洲】
佛ルヴアン交涉停頓……〃
白政府勞働組合と衝突……〃
米議員、アイゼンハワーと會見……一四二七
【トリエスト問題】
ユーゴ政府反駁……〃
【歐洲戰後處理問題】
食糧は米軍の三分の一……〃
米獨爲替換算率決定……〃
デーニツツ一派の嚴罰を要求……一四二八
ザール、ラインは米軍が占領……〃
チエコも戰爭犯罪者表作成……〃
エ、ア兩市を「軍事保護」下に……〃
米傷兵五十萬英國へ……〃
【ド　イ　ツ】
ユーゴ政府反駁……〃
プラーグ平靜に復す……〃
ヘス夫人も逮捕……一四二九
【東　亞】
新疆省情勢微妙……〃
【西　亞】
トルコ大統領演說……〃
【特　輯】
再說波蘭紛爭……一四三〇
【資　料】
戰後の歐洲經濟情勢と將來の展望……一四三七

シリア首相代理覺書を提出

（リスボン二十一日發）ダマスカス來電＝シリア首相代理エミール・マルダムは二十日夜「刻下の情勢に關する覺書」をフランス代表に手交、同時に右覺書の寫しと特別通牒とを米英ソ、エヂプト、イラク、サウヂアラビヤ、並びにトランスヨルダン各國代表に手交した

主權の侵害に抗議

（リスボン二十一日發）ベイルート來電＝シリア、レバノン兩國政廳は二十一日次の公報を發表したフランス軍が今回新たにレヴアント地方に派遣されたのは、シリア、レバノン兩國の主權侵害であり、兩政廳に對するフランス政府今回の提案は兩國獨立の精神に背馳すると思考する、從つて兩政廳はド・ゴール政權とは今後交涉を繼續せず、今回の措置に由來する一切の事件についてはフランス政府において責任を負はねばならない、兩政廳はまた互ひに協力して兩國の主權と獨立とを擁護するに意見一致した、兩政廳は五月十九日エンクタウラにおいて會議を開催し、兩政廳の同意を得ず且つかかる同意を必要とする旨を述べた共同通牒をフランス代表に手交したに拘らず、フランス軍が再びレヴアント地方に派遣されたことに由來する情勢について檢討を加へた

レバノン議會を招集

（リスボン二十一日發）ベイルート來電＝レバノン政廳は二十二日緊急議會を開催してフランス政府今回の提案內容を發表し對策を協議することとなつたが、消息筋の傳へる所によればフランス政府は戰略、經濟、文化の三分野に亘りレヴアント地方における優先的地步を要求してゐるといはれる、しかし、シリア、レバノン兩政廳は既に十九日エンクタウラにおいて會議を開催して對策を協議した結果

一、フランス政府が交涉に先立ちセネガル兵五百名を派遣し武力示威に出た以上、兩政廳としては交涉を開始することが出來ない

一、また兩政廳としては米英兩國その他よりも優先的な地位をフランス政府に與へることは出來ない

旨回答する方針を決定したと解される、レバノン政廳は週末米英ソ三國に傳達した際においてもフランス兵力の增强は不當であり友好的交涉のための雰圍氣を阻害するから交涉を拒否したと述べてゐる、十八日フランス兵の上陸とともにベイルート市內に罷業が始まり週末には總罷業に發展したが、レバノン政廳は議會の開會を前に不祥事件の發生を阻止するため二十一日、靑年運動の領袖と協議した結果二十二日朝から總罷業打ち切りを命令した

アラブ諸民族も聲援

（リスボン二十一日發）レヴアント地方に對するフランス政府今回の强硬政策に關聯し、アラブ各國間にはこの際アラブ聯盟の理事會を開催しようとの意見が漸く有力化してゐる樣子だが、エルサレム來電によればパレスチナ地方のアラブ民族領袖は二十二日總罷業によつてシリア、レバノン兩國を支援するに決定したと言はれる

ユーゴ軍カリンチア撤收

（リスボン二十一日發）トリエストからのAP電報によれば、ユーゴスラヴイア軍は二十一日オーストリア南部の係爭地域カリンチア地方から撤收を開始したといはれる、ベルグラード來電によれば同市に滯在する米英兩國人はユーゴ軍のクラーゲンフルト撤收に安堵の胸を撫でおろしたといはれるが、トリエスト問題が依然不安の雰圍氣に包まれてゐるためベルグラードからの避難の場合をも考慮して成行きを凝視してゐる樣子だ

ソ聯依然論評を避く

（ストツクホルム二十一日發）モスクワ來電＝ソ聯の新聞及びラジオは二十一日トリエスト問題に關する各種報道を詳細に傳へてゐるが、依然一切の論評を差し控へてをり、この點ギリシヤ內亂當時のソ聯の報道管制を思はせる

モスクワ、ベルリン航空路再開

（ストツクホルム二十一日發）モスクワ來電によれば、モスクワ、ベルリン間の航空路が再開され二十日始發機がモスクワを出發、ワルシヤワ經由ベルリンに向つたといはれる

昭和二十年五月廿三日(水)
第三四三〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

五ケ國意見一致

(リスボン二十一日發)サンフランシスコ來電＝桑港會議米國首席代表ステチニアスは二十日夜米英ソ重慶佛五ケ國の會議が終了するや直ちに新聞記者團に對し次の通り言明した

この部屋で十分前にフランスを含む五大國が地域的取極めに關し意見の一致をみたことを今諸君に發表し得るのは自分としてまことに嬉しい問題は明日の專門委員會にかけられることになろう

これにより桑港會議の重要問題の一つにおける二週間にわたる行詰り狀態も漸く打開されたわけである

米ソ妥協の內容

(リスボン二十一日發)サンフランシスコ來電＝地域的取極め問題に關する五大國會談の妥協成立內容は

世界機構を一切の强制措置の究極的最高權威として認める、但し加盟國に對し攻擊が加へられた場合には安全保障理事會が國際平和安全保障の維持に必要なる手段を取るまで、個別的乃至集約的防衞の權利あるを認めるといふにあり、米國案では

安全保障理事會が國際平和安全保障を維持せず加盟國に武力攻擊が加へられた場合には個別的乃至集約的防衞の權利を阻止するを得ずとあつたのを、ソ聯代表がこれでは安全保障理事會の失態を豫期することになり面白からぬ心理的影響を齎すと指摘し、米國代表もそれに同意したのである、新修正案によれば、自力防衞權を行使せる國家は直ちにこれを安全保障理事會に報告する義務あり、修正案は同時にかかる行動が平和維持のための活動における世界機構の權威と責任を決して犯すものに非ざることを明記してゐる

ネルソン民間社長に就任

(リスボン二十一日發)ニューヨーク來電＝さきに重慶戰時生產局長官を辭任したロナルド・ネルソンは二十日米國モリブデン會社社長に就任した

保守黨を痛烈に攻擊

―勞働黨大會第一日の經過―

(ストツクホルム二十一日發)ブラツクプール來電＝勞働黨大會は二十一日午前各地代表一千百名出席の下にブラツクプールにおいて開催された、大會の座長エレン・ウイルキンソン女史はアトレー副首相と共にサンフランシスコから歸つたばかりだが、開會の演說においてチヤーチル首相並びに保守黨を痛烈に攻擊し次の通り述べた

「勞働黨の領袖は七月に總選擧を擧行することを好まない、寧ろ歸還將兵が前線から歸國するまで總選擧を延期するのが至當であり、聯立內閣も品よく解體したいと思ふので、總選擧は秋に執行したいとの意向である、しかしながらチヤーチル首相の側近、特にイーヴアブルツク卿はその言論機關を利用して狹い黨派的利益のために、至急總選擧の執行を頻りに要求してゐるのは寔に言語道斷である、しかしながらチヤーチル首相が勞働黨に對し內閣に踏み止まるか、然らずんば速かに總選擧を執行する他はないと稱して挑戰して來た以上勞働黨の指導部としては右挑戰に應ずる用意あり戰後復興の重大任務を遂行するに當つて、勞働黨が保守黨と協力出來ないことは、日を見るよりも明らかである、前大戰の後において英國は重大な過失を犯した、ドイツ・ワイマール共和國の首班を英國政府は恰も戰爭犯罪人であるかの如く取扱つたが、以上の取扱ひはナチ政權に對する故チエンバレン首相の遣り口とは著しい對照を示した、當時の英佛兩國政府は、ヒトラー總統が政權を握つた直後において相次いで、ドイツ政府に對し重大な讓步を繰返した、勞働黨は決してかかる過失を反覆しないであらう」

大會は午後非公開會議に入り、總選擧に關するチヤーチル首相の書簡と執行委員會の決定について黨首領アトレー副首相から報告を聽取したが前後二時間に亘る討議の後、全會一致チヤーチル首相の提案を拒否するに決定した、執行委員會は右決定に基き二十一日夜首相の書簡に對する回答を起草、アトレー副首相の名をもつて卽時チヤーチル首相に傳達した

【桑港會議】

ソ聯の態度依然不明
＝五ケ國會議開催に愁眉開く＝

（リスボン二十日發）サンフランシスコ來電＝十九日午後意外にもソ聯代表の招請で五ケ國會談が開催されたことは會議の前途に不安を抱いてゐた諸國代表の愁眉を開かせたが、午後から開かれた會談では、十五日以來待たれてゐたモスクワからの返答の全貌を知ることは出來なつた模樣で、米國代表は米洲問題妥協案に關するソ聯の態度が好轉したと洩らしてゐるが、ソ聯代表は會談席上チヤプルテペツク憲章や世界安全保障機構に對して米國案が適用してゐる「集約的安全保障」なる字句の新しい定義を求めたといはれる、卽ちソ聯は地域的取極めにおいて「集約的」といふ言葉がどう使用されるかを知りたいのであるらしい、會議出席者はソ聯が米洲問題で餘り反對してゐないのだから大した困難は生じないだらうと述べてゐるが、地域的取極めについては回答したにしても、まだソ聯は國際信託統治制問題については沈默を守つてをり、特に信託統治の最後的目的として、「完全獨立」を主張する態度がどうなつたかは依然不明だ、五大國は二十日も引續き會談を續けることになつてゐるが、米國代表團はそれに先立ち會談を開いて地域方式に關するソ聯の回答を檢討する豫定といはれる

國際裁判所法規草案發表

（リスボン二十日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議當局は十九日國際法廷專門委員會の作成せる世界機構附屬國際裁判所法規修正案を發表した修正案は六十九ケ條からなる、そのうち國際法廷委員會が現在までに司法組織分科委員會及び本會議に提出する事を決定したものは五十一ケ條である、委員會が今までに承認した條項は裁判所の構成、常設地、手續法等である、未承認の條項のうちには判事の選任、裁判所の權限、陪審法、裁判所法規修正手續等が含まれてゐる

フランス佛印の獨立を怖る

（リスボン二十日發）桑港會議で國際信託統治案に對しフランスがあまり進まぬ態度を示してゐるのは佛印に對する支配權の回復に不安を抱いてゐるためであることは周知の通りだが、ワシントンからのUP電報によれば米國外交協會の極東專門家ロージンガーはこれに關し二十日次の見解を發表したといはれる

ド・ゴールはフランスが佛印の自由支配權を與へられないことを惧れてゐる、フランスの政治家の間に自治を考へる者があることは確かだがフランスは佛印に究極の獨立を許す意圖を持つてゐない、だがフランスは印度支那が完全獨立を目指して自治に進むのを助ければ敗戰から生じた弱點を隱して體裁を繕ふことが出來るわけだ、佛印の民族獨立運動者に對する佛本國の態度は極めて危險な結果になるかもしれない、支那も佛印との經濟的紐帶を强化することに深い關心を持つてをり海防に自由港乃至自由地帶を設け或ひは他の諸港に國際基地を建設することを要求するかもしれない

【歐　洲】

佛、ルヴアン交涉停頓

（リスボン二十日發）ベイルート來電＝シリア大統領クワトリ並びにレバノン大統領クーリーは二十日フランス代表に對し國交調整申入れに關する回答を手交したが、右回答の結果交涉は必然的に行詰りに陷ると見られる

白政府、勞働組合と衝突

（リスボン二十日發）ブリユツセル來電＝ベルギー首相アツケルは國內經濟建て直しのため國民動員令並びに罷業禁止令を發したが、これに對しブリユツセルの炭坑組合は强硬に反對し十八日國民動員の撤廢を要求する旨の決議案を採擇、ここに政府の施策は重大な障壁に直面するに至つた

昭和二十年五月廿三日(水)
第三四三〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

米議員、アイゼンハワーと會見

(リスボン二十日發)パリ來電＝米國上院國防委員會の分科委員會委員一行は二十日ランスの歐洲侵攻軍最高司令部においてアイゼンハワーと會見協議した、一行はハーレイ・キルゴアを團長とし歐洲戰域における米軍の資材、施設の現狀視察を目的とするもので會見終了後一行の首席顧問であるハーレイは左の通り語つた

歐洲戰域訪問の目的は米軍資材並びに施設の量及びこれら施設の處分問題について上院に報告するためで、同時に在歐資材の移轉或ひは占領計畫等についても調査するはずだ

【トリエスト問題】

ユーゴ政府反駁

(リスボン二十日發)ベルグラード放送局の報道によればユーゴスラヴイア情報省は二十日夜次の公報を發表したと傳へられる

ユーゴスラヴイア軍は自軍の解放した領域に踏み止る權利あり、尤も領土の歸屬は媾和會議で最終的に決定される譯で、ユーゴスラヴイア軍がイストリア地方、トリエスト港並びにスロヴエーン海岸地帶に踏み止つてゐるからといつて媾和會議の決定を阻害することにならない、民主主義ユーゴスラヴイア聯邦は領土の一方的併合には悉く反對である

【歐洲戰後處理問題】

食糧は米軍の三分の一

(リスボン二十日發)英ソ兩國が既に對獨軍政の基本方針特に食糧政策について夫々具體案を明示してゐるのに反し米國ではこれまでこれを闡明してゐなかつたが米軍は占領地のドイツ人に對し米軍の三分の一程度の食糧を供給する方針といはれる、卽ち米軍の對獨基本政策に關するAP特派員トム・ヤーブローの報道次の通り

米軍政機關當局が二十日公式に發表したところによれば、中將レオナード・ゲロー麾下の第十五軍は新占領軍となつたが、同軍の基本政策は「ドイツ國民の慰安、幸福、福祉などは全く枝葉末節の問題だ」といふにある、そして無數の流民は米英の基礎的な仕事に色々の複雜な問題を附加し米軍の任務は一層困難となつた、ドイツ國內における流行病が占領軍にまで蔓延しまた飢えた民衆が治安問題を起し、是がため米軍が更に多數の軍隊を必要とするだらうことは軍政當局の熟知するところで、同時に當局では多量の食糧をドイツへ輸入することはないと重ねて言明してゐる、軍政當局はドイツ人のため最大限の食糧を供給するに決定したが、それでも是はカロリーにして米國民の約半分、米軍將兵の三分の一に過ぎない、米軍は小麥その他野菜の種子をドイツへ持つて來てをり、ドイツ人の農夫は米軍の步哨線を通過する上で第一の優先權を與へられてゐるの⁂彼らは植付に歸ることが出來る、しかしながら當局は二十日「ドイツ國內の輸送網が全部麻痺してしまふまで抗戰を繼續するといふナチの馬鹿げた政策の結果、ドイツ國民が苦難に直面しようとしてゐることは一點疑問の餘地もない、またこの冬には戰火に荒された工業地帶の住民が他の地方から食糧を持つて來る輸送力がないため飢餓に瀕することは間違ひない」との意見を發表してゐる、現在ドイツには發疹チフスがあるが、これは普通の傳染病ではない、ライン河の數ケ所の港灣には交通遮斷線が設けられ、そこでは西へ行く民衆を一々檢査して虱をとり發疹チフスの徵候があるものは直ちに隔離してゐる

米獨爲替換算率決定

(ストツクホルム十九日發)ロンドンからのロイター電報によれば、占領軍々政當局は十九日米ドルとライヒスマルクとの換算率を一對十に決定したといはれる、ライヒスマルクと占領國貨幣との換算率が決定されたのはこれが最初のことであるが戰前の換算率は大體一對二・五であつた

デーニツツ一派の嚴罰を要求

（ストツクホルム二十日發）モスクワ來電によれば「イズヴエスチア」「プラウダ」及び「赤い星」のソ聯三紙は二十日の紙上で筆を揃へて「デーニツツ一味」との協力の「危險」に對して警告を發してゐるといはれる、三紙の主張はデーニツツの地位をこの際はつきりさせ、ドイツ參謀本部の打倒に關するクリミア會談の決定を實行し、これによつてさきにヒトラー總統と協力したドイツ指導階級が再び復興戰を準備するのを阻止するにあると見られる、以上の三紙は何れも、今日の遲滯は將來大きな混亂を惹起する結果とならうと說き、ファシスト的な新聞がデーニツツ一味のフレンスブルク滯留決定に對し喝采を送つてゐるのは意味深長だと稱してゐるが「イズヴエスチア」紙は更に

デーニツツの事件は今後の進展如何によつては危險な政治問題となり世界各國はこれに對し十分の警戒を必要とすることとならう、今まで調査によつてはつきりしたのは一體何だらう、ヒトラー一味の有罪かそれとも彼らの罪に目を閉ぢることか

と難じ「プラウダ」紙も

ドイツ參謀本部は徹底的に打倒しなければならない、ナチ黨とナチの法律と機關をこの地上から抹殺し、戰爭犯罪人は卽刻正當な罰を受けなければならない

と論じてゐる

ザール、ラインは米軍が占領

（リスボン十九日發）パリ來電＝歐洲侵攻軍最高司令部は十九日、米第十五軍の占領地域について左の通り發表した

米第十五軍はザール盆地、ライン溪谷並びにルール工業地帶の西半分を含む一萬四千平方哩のドイツ領を占領する

右地域は第一次大戰後米軍が占領した地域の八倍に當り、同地域に含まれる大都市にはデユツセルドルフ、アーヘン、ケルン、トリール、コブレンツ等がある

チエコも戰爭犯罪者表作成

（リスボン十八日發）ロンドンからのAP電はチエコスロヴアキア政府筋の言明として同政府の作成してゐる戰爭犯罪者表には現在既に五百名以上が記錄され戰爭勃發以來ドイツ政府に列してゐた高官は悉く含まれてゐるといはれる

エ、ア兩市を「軍事保護」下に

（ストツクホルム十八日發）ワルソー來電によれば、ワルソーのポーランド假政府は東プロイセンのエルビング並びにアレンシユタインの兩都市を「軍事保護」下に布く旨十八日發表したといはれる

米傷兵五十萬英國へ

（ストツクホルム十七日發）ロンドン來電＝英國駐屯米軍衞生隊本部は十七日、次の通り發表した

歐洲戰爭終了の日以來現在までに歐洲大陸から英本土に輸送された米軍傷兵は約五十萬に達するがこの數は三十ケ師團以上に相當する

【ドイツ】

プラーグ平靜に復す

（チユーリツヒ二十一日發）プラーグからのロイター電報は二十日その後のプラーグ市内の情勢を次のやうに傳へてゐる

さきにプラーグで五日間に亘つてチエコの遊擊軍が蜂起した際市内で抗戰したドイツ親衞隊や秘密警察隊は激怒したチエコ市民によつて逮捕されドイツ空軍の爆擊によつて發生した火災の中に投ぜられた、しかし現在では市内は平靜に復しドイツ國民や將兵や對獨協力者は市中から一掃されチエコ軍は市中に築かれた防塞を取拂つてゐる、しかし赤軍とチエコ軍が地下室や屋根裏に潛んでゐるドイツ軍の搜索を續けてゐるので時折小ぜり合が演ぜられる、市中ではドイツ人や協力者が護衞付で作業に行く行列が到るところで見られる、現在約二千人のドイツ人が抑留されてゐるが彼等に對する食糧の配給はさきに彼等がユダヤ人に與へてゐたものと同じで煙草も野菜もない

昭和二十年五月廿三日(水)
第三四三〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ヘス夫人も逮捕

(チユーリツヒ十九日發)エキスチエンジ・テレグラフ通信がブリユツセル放送として傳へるところによれば、目下英國で捕虜となつてゐるヘスの夫人はコンスタンス湖附近でフランス軍によつて逮捕されたといはれ、又デンマーク領ボルンホム島のドイツ軍守備隊司令官カンプ大佐は赤軍によつて射殺されたといはれる

【東亞】

新疆省情勢微妙

‖暴動の原因は生活難‖

(リスボン二十日發)ニユーヨーク來電‖昨年九月以來新疆省住民と重慶軍との間に傳へられた武力抗爭は最近の情報によると一時下火となつた模様だが、重慶政權檢閱當局が右事件を重視して極力外部への漏洩を防止してゐるため未だ眞相は適確に把握出來ない、同省がソ聯と特殊關係にあるためもあつて重慶當局は右事件に就いて神經を使つてゐる模様だ、これに關してAP重慶特派員は次のやうに傳へてゐる

昨年九月以來新疆省西部地方の住民が間歇的に暴動を起し事態が惡化してゐるやうに傳へられてゐるが最近の外國筋からの情報では情勢がやや持ち直して來た様子だ、一時は重慶軍と省内住民との間に武力闘爭があつたといはれるが眞相は把握し難い、最近新疆省内の空氣がやや緩和してきたただ一つの證據は新任ソ聯重慶大使ペトロフ氏が空路新疆省を通過して重慶に着任したことである、從來ソ聯の外交使者はこの空路を避けて印度經由でモスクワ・重慶間を往復してゐた、重慶政權は新疆省内の情勢については非常に神經質で一切言明を避けてゐる有樣だ暴動の原因は食糧難及びインフレによる生活難であるとみられる、重慶はただ省長盛世才を重慶が昨年九月罷免したことだけを發表したが、これはソ聯に對する一種の友好的なゼスチユアとみられる

△盛世才の爆撃事件

一方「ニユーヨーク・タイムズ」紙は「ソ聯の謎新疆省の紛爭」の見出しでソ聯と同省との關係を次のやうに報じてゐる

新疆省内の不安定な情勢は一九四三年十一月にその源を發し昨年に至つて次第に惡化して來た赤軍がスターリングラードで勝利を收めて數週間後に新疆省のアルタイ地區で事件が突如發生し當時既にソ聯との關係を絶つた省長盛世才は軍隊三個聯隊と少數の空軍を送つて事件の鎭定につとめたが、ソ聯側は右行動には別に反對しなかつた、しかしソ聯に外交使節を派遣してゐる外疆人民政府は盛世才の空軍が外疆を爆撃したと主張して嚴重抗議を提出した、一九四四年三月上旬には赤軍の標識をつけた外疆軍飛行機が省内北部の新疆軍を爆撃し省當局が抗議を提出したにも拘らず爆撃が十二日間も繼續した事實がある、しかして現在の省内の事態は一九四四年當時と比較して改善されてはゐない樣子だ蔣介石は事態の收拾に大童で正面の衝突を極力避けると同時に面子を立てようと努力してゐる樣子だ、なほ右問題に對する延安政權の態度は未だはつきりしてゐない

【西亞】

トルコ大統領演說

(リスボン十九日發)アンカラ來電‖トルコ大統領イスメラト・イノニユーは十九日「トルコ青少年大會」に臨み、獨往の精神を强調して次の通り演說した

我々の大民主々義機構たるトルコ議會は短期間に幾多の大革命を經驗して來た、がこれによりトルコは大きな波瀾なく進歩を遂げて來た、戰爭中は、我々は他の多くの國家と同樣、外國の主義、宣傳の侵入によつて幾多の困難を嘗めさせられた、誤つた思想を振り翳して世界中の苦惱を捲き起した人々の壓政から多數の國民が解放されたことは全人類にとつて大なる勝利である、國民として、また人間として、最も重要なことは全人類の生存並びに意見に對し、お互に尊敬と寬容を示すことだ

特輯

再說波蘭紛爭

原子林二郎

△シジフスの苦業

ポーランド紛爭はシジフスの苦業だ、米英ソ三國のいづれかがポーランド問題といふ巨石を解決の頂上に汗水たらして押し上げると、一歩手前でいづれか一國が蹴落してしまふ、また押し上げるまた蹴落すといつた工合で、いつになつても頂上に押し上げることが出來ない、そしてこの場合シジフスが米英兩國の時は、蹴落すのはソ聯で、シジフスがソ聯の場合は、落し役は米英兩國だ

歐洲戰の勃發と殆んど同時に國際政治舞臺の前面に押し出されたソ波紛爭（直接の發端は一九三九年九月十七日赤軍が東部ポーランドに進駐した時とみるべきだ）は歐洲戰が正式に終了した一九四五年五月九日を過ぎるも解決されず、ソ聯のポーランド要人逮捕事件を契機として寧ろ激化する徵候すら示してゐる、本年二月のクリミヤ會談の結果、より廣範圍な民主々義的基礎にもとづいてポーランド國民統合政府を樹立することに決定をみた當時ポーランド問題は一縷の解決の曙光をみたかの如き印象を與へたが、それは單なる幻影に過ぎなかつた、新ポーランド統合政府の樹立工作は、モロトフ外務人民委員、モスクワ駐劄米國大使ハリマン、同英國大使クラーク・カーの三者からなる米英ソ三國委員會に委ねられてゐたのだがクリミヤ協定のいふ「民主々義的基礎」といふ字句の解釋で米英ソ三國はそもそも當初から對立し早くも拔け道のない行詰りに逢着してゐたのだ

△依然たる解釋上の對立

この點に關する經緯はあまり知られてゐないから、四月三十日附の「タイム」誌を借りてお傳へしよう、同誌は「ソ聯を直視せよ」と題して次の通り述べてゐる

ポーランド問題に關する交涉の經緯を簡單に回顧することは米英ソ三國關係を理解する上に甚だ貴重な材料となる、問題の焦點はクリミヤ協定の字句の解釋如何にある、モロトフ、ハリマン、カーの三者は委員會を作り、現在の政府を改組する建前でモスクワにおいて現ポーランド假政府の要員やポーランド本國並びに外國にあるポーランド民主々義諸政派首腦と協議する權限を與へられてゐた、ところがソ聯側がこのクリミヤ協定を一片の空文と見做してゐたならばなにも固着は起らなかつたのだがソ聯は文字通りの冀眞面目でクリミヤ宣言に嚙り付いた、そこでつぎの三點について意見が正面から喰ひ違つたのだ

一、クリミヤ協定によれば、まづ第一にワルシヤワのポーランド人と會談を進め、しかる後モスクワにおいて各黨各派の代表からなる會議を開催すべきであるとソ聯は主張する

一、ソ聯側の解釋では新統合政府は他の政派の要人若干を混へただけでワルシヤワ政權を單に擴大すればよいといふのだが、米英兩國はクリミヤ協定の意味するところは新規播直しの新政府を樹立するにあると主張してゐる

一、ソ聯は「民主々義的」といふ言葉を自己流に解釋し、多年の間腹藏してゐた東歐洲の安全保障と何等矛盾せぬものと理解してゐる、たとへば「戰爭と勞働階級」誌の四月十五日號は「歐洲諸國における民主々義を米英兩國と同じ線に沿つて樹立せよと要求することは無駄だ」と論じてゐる、無駄か無駄でないかは別問題として、クラーク・カーとハリマンは括弧付きの共產主義的民主々義でない別の民主々義を主張する、これが要點だ

この意見の喰違ひを繞つて數週間の間協議は堂々巡りの狀態に陷り、クレムリンの座り心地の惡い木椅子の上で外交的忍耐と競ひ合となつたしかしながら會談は爆發點にも到達せず、クラーク・カーとハリマンは本國に經過を報告しただけで濟んだがチヤーチルとルーズヴエルトは

これではならぬといふので種々訓令を發し、雰圍氣は多少變してきた、そこでモスクワの三國委員會はワルシヤワ政權以外のポーランド人で新政府に參加させることが出來るものの人選を初めたが、米英兩國が提案する度毎にモロトフは「考へさせて呉れ」といひ、次の日には、(恐らくワルシヤワ政權と相談した上でだらう)きまつて反對する、かうしたわけで雰圍氣は再び冷え始め、今日までのところクラーク・カーとハリマンの提案したポーランド人は一名もソ聯の贊成を得てゐない、かうして交渉も、そして三國關係も低調を極めた時、モロトフは突然桑港會議に出席しないと言ひ出した、米英兩國は愕然としたが、そればかりでなく酷く感情を害した、ソ聯はやり過ぎたと思つたものか、米英兩國の御機嫌を取るために豫定よりも數日早く日ソ中立條約を廢棄した、やがてルーズヴェルトが死ぬと間もなく、ハリマンはスターリンに會つて、モロトフを桑港會議に出席させぬのは重大な誤りだと諭して、トルーマンのためにモロトフを桑港會議に招請する道を拓いてやつた譯だ

この小事件のポーランド交渉に及した效果は覿面で、モロトフが故國を出發するといふ報道は各方面の心に明るい光を注ぎ込んだ、ところがモロトフがワシントンに着く前にソ聯は切り札を出した、つまりポーランド大統領ボレスラフ・ベルート、首相オスーブカ・モラフスキー、副首相ウラヂスラフ・ホモルカ、國防相ミハイル・ローリヤ＝ジメルスキー等ワルシヤワ政權の一行がモスクワに乘り込み、二日後にはスターリンが自ら二十年間の相互援助條約に調印し、條約締結は「ソ波兩國關係の轉換點であり、從來の非友好的關係にかはるに、提携と友好關係の鞏固な基礎が築かれた」と聲明したのである

△二つの民主々義

以上の「タイム」誌の報道を俟つまでもなく、クリミヤ會談ではポーランド統合政府の樹立に關しルーズヴェルト、チヤーチル、スターリンの三者間に或る種の取極めが成立してゐたことは容易に想像出來るところだが、同誌の指摘する如くクリミヤ宣言の規定する「民主々義的基礎」といふ字句の解釋で米英ソ三國間に明瞭な意見の對立が生じたことも蓋し當然といはねばなるまい、米英兩國の理解する「民主々義」とは戰前のポーランドにおける社會＝經濟機構を維持する枠内においてのみの各黨各派の網羅であつて、以上の機構を維持するためには右翼であれファシストであれ不問に附すといふ態度だ、換言すれば米英兩國のいふ「民主々義」とは雜多な分子の寄り合世帶といふことで、本質的には資本主義的解釋から一歩も出てゐない

他方ソ聯の理解する「民主々義」とは既にスターリンが再三强調したやうに「共產主義こそ眞の意味における民主々義である」といふ意味の「民主々義」であり、民主々義政府の樹立といふ場合には右翼ファシストは勿論一切の反動主義者を排除した社會主義分子のみからなる政府の樹立を意味するもので、この點では現在のワルシヤワ政權を基礎とする改組によつて新統合政府を樹立すべきだといふソ聯の主張は極めて自然である

更に米英兩國の理解する「民主々義ポーランド」とは要するに戰前のポーランドを再現するにあるが、戰前のポーランドとは終始一貫演じてきた反ソ十字軍の策源地としての役割を踏襲することであり、その意味で新ポーランド統合政府には出來るだけ米英兩國の息の掛かつた人物を參加させることが必要な譯である、ところがソ聯の理解する「民主々義ポーランド」とは戰前の反ソ策源地たる役割を止めたポーランドを意味するもので、そのためには「民主々義ポーランド」は「ソ聯の衞星ポーランド」と同意語にならねばならず、米英兩國が新統合政府に參加させようと希望する人物の一切はソ聯の當然忌避するところでなければならない、從つて、ポーランドの從來の役割を續ける米英ソ三國の意見の喰ひ違ひが解決されぬ限り、米英ソ三國が等しく承認する新ポーランド統合政府の樹立は事實上不可能であり、たとへ一時の妥協によつて成立をみようとも、それは新たな對立

と抗爭の前提となる以外のなにものでもあり得ない

△要人逮捕の謎

かうした事態の眞唯中に發生したのが所謂ポーランド要人謎の失踪事件だ、この事件については前稿「波問題の新局面」で觸れておいたが、失踪したポーランド要人がモスクワでソ聯の司會の下に新政府樹立の交涉を進めてゐるといふ說を最初に傳へたのは、ほかならぬクラーク・カーとハリマンの兩者だ、しかるに桑港會議においてモロトフが以上のポーランド要人を逮捕したと發表して事件の樣相は三轉し、要人逮捕事件と新政府樹立問題とは直接の關係を持たぬかの印象を與へてゐる、併し前亡命ポーランド政權の首相で米英兩國のホープたるミコライチクが五月十日

ソ聯によつて逮捕された要人は悉く米英兩國が新統合政府に參加させようと希望してゐた人物である

と聲明した結果眞相はほぼ明らかとなつた、勿論モロトフが單に逮捕したといつただけで詳しい說明を一切拒否してゐる現狀では、事件を單純に理解することは今のところ不可能だが、ミコライチクの聲明が事實とすれば、ソ聯は米英兩國が新統合政府に參加させようと圖つてゐるポーランドの要人（亡命政權が發表した氏名では、全部札付の反ソ分子で隱れもないファシストばかりだ）を逮捕して米英兩國の策謀を封じようと意圖したとも考へられる

そのためかあらぬか米英兩國特に英國に深刻な衝動を捲き起し、ソ聯の措置はポーランド問題の解決を意識的に阻まうと圖るもので、クリミヤ協定の明瞭な違犯だと攻擊する聲が喧しい、たとへば「ラ・スイス」紙のロンドン電報は五月七日次の通り報じてゐる

ソ聯が逮捕したポーランド要人は專ら米英兩國の信任を篤くしてゐる民主々義政界の大立物ばかりなので、この事件を契機として米英ソ三國關係は破局的緊張を免れまい、英國が特に憤慨してゐるのは、以上の逮捕事件によつて米英兩國の威信が損はれたこと、第二にモスクワ駐米英兩國大使がポーランド統合政府の樹立を協議してゐた時既に逮捕令が發せられてゐたことこれらからみてソ聯に完全に欺かれてゐたことの二つだ、因みに米英兩國は十五名の要人が失踪したことしか知らぬが、ソ聯は十六名を逮捕したと稱してゐる

△憤慨する英國

英國の憤慨を傳へるものとしてもう一つの例を紹介しよう、スエーデン紙「モルゲンチドニンゲン」のロンドン特派員は五月九日次のやうに報じてゐる

ソ聯がポーランド代表十六名を逮捕した結果、ソ波問題が極度に激化したため、チヤーチル、トルーマン、スターリンの三者間に交涉が開始された、口火を切つたのは米英兩國側である、チヤーチルは桑港會議のイーデンに彼の聲明及び行動の一切を完全に支持する旨通告したといはれるが、英國政界はたとへソ聯が逮捕した要人を釋放しても、三國間の協力關係は從來の緊密さを望めまいと危惧してゐる、それと同時に米英兩國間の協力關係は緊密化するばかりだ、英國外務省筋の情報では、モスクワの米英兩國がモロトフと交涉に入つた當初、新ポーランド統合政府を樹立するため、現在ソ聯に逮捕されてゐる十四名の要人をモスクワに招請すべきだと主張した際、ソ聯側は問題の十四名が既に逮捕されてゐる事實を明らかにせず默つて聞き流したといはれ、英國が憤慨してゐるのは將にこの事實だ

併しながら英國側が憤慨してゐるのは、ソ聯がポーランド要人十六名を逮捕した一般的な事實でなく、米英兩國が新ポーランド統合政府に參加させて、ソ聯勢力を牽制しようと圖つた人物を殘らず逮捕した事實にある、前揭の二報道によればソ聯は米英兩國が新ポーランド統合政權に參加させるためにモスクワに招聘するよう提案する以前に既に逮捕してゐたといふ印象を與へるが、あるひは米英兩國が提案した人物を書き留めて置いて後か

昭和三十年五月廿三日(水)
第三四三〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

ら一纏めに逮捕したといふことも考へられなくはない、寧ろ英國が憤慨してゐるのはこの點にあるのではないだらうか、しかも英國はソ聯が逮捕した人物が悉く反ソ工作を展開してゐたことを認めねばならぬ仕儀に立ち至つてゐる、その證據が、「ノイエ・チユーリツヒアー・ツアイツング」紙の五月七日附ロンドン電報だ

ソ聯は逮捕したポーランド要人十六名が反ソ活動を展開した罪を咎めてゐるが、英國もボール將軍のワルシヤワ蜂起失敗後亡命ポーランド政權下のポーランド祖國軍(地下組織)を認めずその反ソ工作をソ聯と同樣非難してゐた、ソ聯はヴイトスを逮捕した事實がないと主張してゐるから、恐らく彼は釋放されて歸るものと思はれるが、ヴイトスの話によつて眞相は一切判然とするにしても、目下英國政界の關心を集めてゐる問題は第一にヴイトスが他の逮捕された十六名の要人と共にソ波交渉に參加したかといふこと、卽ち新政府樹立に關するソ波交渉が現實にあつたかといふことだ、第二の問題はもしありとせば彼らが逮捕された後に交渉が開始されたかといふこと、第三はポーランド要人は直接自宅で逮捕されたかの問題だ、いづれにしても英國政界が最も遺憾としてゐるのはポーランド要人の氏名をソ聯に傳へたことである、ポーランド要人並びにその地下組織は赤軍の占領後も禁令を破つて無電でロンドン亡命ポーランド政權と連絡を採つてゐたことは疑問の餘地がないが、英國政界は彼等がワルシヤワ政權に反對してゐる一事こそ新統合政府に參加する資格があると考へてゐる

△重なる疑問

ポーランド要人逮捕事件の眞相は現在のところ判然としない、判然としないために幾多の疑問が提出されてゐる、たとへば「トリビユーン・ド・ジユネーヴ」紙のサンフランシスコ電報は五月七日以上の疑問を次の通り總括してゐる

ポーランド要人逮捕事件の謎は次の諸點にある

一、モロトフは新聞記者との會見席上ソ聯はポーランド問題について讓歩する決意だと二度までも强調したが、その目的は奈邊にあるのだらう? モロトフの態度變更は明らかにスターリンの訓令に基くものだ、としてみるとモロトフの留守中にモスクワで何が起つたのであらうか?

二、ポーランド要人が失踪したのは十六日前の出來事だが、英國の桑港會議代表は何故に桑港會議が重大難關に逢着してゐる隙を狙つて外交爆彈を投じたのか? 米英兩國は五月二日ポーランド各派との交渉を再開するためミコライチクの出席を乞ふ旨の招請狀をミコライチクに傳達したが、イーデンは早くも翌三日スターリンの招請に附隨する條件はミコライチクとして承認出來ぬものであると聲明した、それならば承認出來ぬ條件の附隨するスターリンの招請を何故にミコライチクに傳達したのか?

三、桑港會議全體の見解ではワルシヤワ政權の地步は極めて强化されてをり、ポーランド本國において眞の權力を揮つてゐるばかりか、ソ聯、ユーゴスラヴイア、チエコスロヴアキアからは正式に承認され、フランスからは事實上の承認を受け、近くイタリア、スエーデンも承認しようといふのに、英國が突如强硬な態度を採り始めたのは一體どうした譯か?

四、米國の遣り口も謎だ、國務次官グルーはポーランド系米人のもつとも多く居住するバツファロー選出上院議員のミードに書簡を寄せて、米國政府はポーランドの運命に關する限り不變の方針を堅持すると述べたといはれるが、かかる微妙な問題で國內政治と外交政策を混淆するのは何故か? それは甚だ器用といふべきか、寧ろ酷く不器用といふべきだらうか?

△米英と協力せず

しかしながら疑問はそれだけではない、モロトフが桑港會議でポーランド問題解決の餘地が殘されてゐることを二度も繰り返して仄めかしたのは

事實が、スターリンがチヤーチル、トルーマンの兩者に親書を送つて一歩も譲らぬ強硬な態度を示したことも事實だ、五月十一日附の英紙「ニューズ・クロニクル」の報道によれば、スターリンは一、ポーランド要人十六名は政治交渉のため招待したものではなく、赤軍占領地域において援亂工作に從事してゐたので逮捕したものである一、以上の十六名は米英兩國が主張する如き、「民主々義的ポーランド人」では絶對にあり得ない、米英兩國はポーランド本國における輿論の根本的變化に全く無智である

一、逮捕された十六名のうち米英兩國はすくなくとも三名を新政府に參加させる意向といふがソ聯はかかる三名の加はつたポーランド統合政府なるものを斷じて認めることが出來ない

一、從つて現在の基礎でポーランド問題について米英兩國と交涉を續けることは無益であるとの諸點を强調したといはれる、米英兩國政府とも「ニューズ・クロニクル」紙の報道を否定してゐないところからみると恐らく事實であらう

要するにスターリンは米英兩國とはポーランド問題に關する限りこれ以上協力しないと宣言したのである、このことはモロトフが未だ交涉の餘地ありと示唆したことと一見矛盾するやうに思はれるが必ずしもさうではない、目下三頭會談の開催が主として英國側から盛んに提案されてゐるがスターリンの言ふのは「現在の基礎で」は交涉の餘地がなく、モロトフのいふのは三頭會談で「新たな基礎に立つて」交涉を續けようといふのだ、卽ちソ聯は既にワルシヤワ政權と二十ケ年の同盟條約を締結してゐる如く、ワルシヤワ政權をポーランドの唯一の政權と見做してゐるのであり「民主々義的基礎における新統合政府の樹立」といふのもソ聯の見解では顧使の儘となるポーランド要人を更に一名か二名ワルシヤワ政權に加へるだけで、ワルシヤワ政權の實體を變へぬ點にあるのだ

△波のソ聯化

「トリビユーン・ド・ジユネーヴ」紙の指摘してゐるやうに、ポーランド問題についてソ聯に對して强硬な態度を持してゐるのは米國ではなくて英國だ、このことは從來ポーランド問題に關してソ聯の後塵ばかり拜してきた結果、スターリンとチヤーチルとの間になにか秘密協定でもあるのではないかとまで噂されてゐただけに、英國の態度變更は最大の謎だ、しかしこの謎を解く鍵は案外手近のところにある、第一に歐洲戰が終つた結果、英國は直接ソ聯に恩義を感ずる必要を强制されなくなつたことだ、恩義そのものは依然存在するがそれはチヤーチルが演說の時言葉の上だけで胡麻を摺つておけばよい、そこで英國はジノヴイエフ書簡事件等でみられたやうな傳統的な保守政策に復歸し、米國の援助で從來ソ聯に對して徹頭徹尾喪つてゐた威信をそろそろ取り戻さうと努めてゐるとみられぬこともない、このことたるや絶望的な努力だが、絶望的であるだけにソ聯にとつても手强いものとなるだらう

また英國の態度が强硬なのはポーランドのソヴエト化を妨げることにあるは既に度々指摘されてきたが、英國政界のかうした恐怖を反映して「エコノミスト」誌の五月十日號は「ポーランドにおける指導された革命」といふ味な標題で次の通り報じてゐる

ポーランドにおける現下の經濟政策はレーニンが一九二〇年代に實施したネツプ(新經濟政策)をそのままにひき寫してゐる、それは工業の國有と農業における小規模の私有と商業の公私混營からなつてゐる、ポーランドの大工業は現在完全な國有化の經過にあるが、小工業だけは私有を許されよう、農業改革も進展してゐる、總計四百萬ヘクター以上の土地を有する地主階級七萬は土地を剝奪され、この四百萬ヘクターの半ばは國有に歸し、他の半ばは貧農に配分される、土地を持たぬ農民にはそれぞれ五ヘクターの土地を與へられるが、彼等は農具も家畜も持たぬため五ヘクターの土地をもて扱ひ兼ねよう更に土地を持たぬ農民は東プロイセン及びオーデル、ナイセ兩河以東のドイツの土地でソ聯式

昭和二十年五月廿三日(水)
第三四三〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

の共營農場を經營することとなつてゐる、更に國家機構も完全に更新され、從來の警察は解體されて、共產黨員の指揮する民兵(ミリチヤ)制度が設置されてをり、一切の國家機關は上から任命され、言論の自由は全く許されてゐない、ポーランド要人十六名の逮捕も、恐らくこの輿論の「同聲化」の一手段とみるべきであらう

△ソ聯の取引に倣へ

更に同誌の同號は「ソ聯の取引に倣へ」と題して對ソ强硬策を慫慂してゐる

英國は過去四ケ年に亘つて努力してきた結果、ポーランド問題の行詰り、オーストリアを繞る紛爭、東歐洲ブロックと西歐洲ブロックの軋轢といふ如き袋小路ばかりに行き着いてゐるところからみても、英國の外交政策が根本から間違つてゐることは萬人に明瞭だ、英國の政策は讓歩と屈從の一語に盡きる、英國はソ聯の友好的協力をかち得やうとしてかかる大きな犧牲を拂つたが、效果は一向に擧つてゐない、以上の政策が完全に失敗だとすれば、直ちに再檢討を加へて新たな立場から發足する必要がある、ソ聯もまた米英兩國の友好的協力を望んでゐるが、それだからといつて既に確保した有利な地歩をみすみす明け渡すやうなことは一度もしてゐない、恐らくソ聯は英國にも同じ態度を期待してゐるであらうし、ソ聯にとつては讓歩と敗北との間に何等の區別もないのであらう、してみればソ聯の尊敬をかち得る最善の方法は、ソ聯のやうに飽くまでも强硬に取引することだ

以上述べたことは主として英國側の反響だが、米國側の反響は入手した外電に關する限り殆んど判らない、寧ろ問題を大袈裟にして騷ぐことを好まぬ限り、ポーランド問題は英國に任すべきで、米國はもつと直接關係した問題に精力を注ぐべきだといふのが僞らぬ米國輿論の態度ではなからうか、勿論反ソ宣傳を喰ひ物にしてゐるハースト系の赤新聞は奇貨措くべしと騷ぎ立ててゐるであらうが、すくなくともこれを米國の輿論として理解することは出來ない、幸ひ米國の輿論を代表するものと解すべきラジオ解說者レイモンド・グラム・スウイングの五月十日夜の放送全文が入手したから、左に要旨を紹介してむすびにかへよう

ポーランド要人逮捕事件に關してスターリンの說明を求めたトルーマン・チヤーチル連名の親書に對して回答が到着した、スターリンの回答は事實上ポーランド問題に關するこれ以上の交涉に扉を閉すものだ、勿論交涉再開のため最後の試みが行はれるであらうが、ポーランド問題に關するクリミヤ決定の部分は聯合國の取極め帳簿から抹殺されたに等しい、ポーランド要人逮捕事件の背後關係が明かにされずに、問題がこんな風な形で幕を閉ねばならぬことは寔に殘念だ、逮捕された要人が反ソ活動を行はなかつたといふことは米英兩國政府によつて保障されず、ソヴエト政府もまたどんな種類の攪亂工作をやつたのか說明してゐない、事件は極めて微妙だ、米英兩國政府はソヴエト政府に對して重大な告發を敢てしてゐる、ソヴエト政府はまた逮捕したポーランド要人に重大な告發を敢へてしてゐる、しかも告發を裏付ける證據はいづれの場合も皆無だ

△ソ聯政治の五要因

米英兩國は發作的に行動するし、クレムリンは頑固だ、我々はソ聯を公衆の前で告發した、我々は恰かもソ聯が滿足すべき說明を與へ得ぬといつた態度で當初から振舞ひ、ソ聯は容喙するなとばかりに我々を押し除ける、スターリンは米英兩國に現在の地盤でポーランド問題に關して交涉を進めることは徒勞だと明言した、その結果桑港會議にはポーランド代表は顏をみせる機會がなく、ポーランド問題は大國間が協調を實現し得なかつた最初の記念碑として長く歷史に殘るであらう、米英兩國ともソ聯に對する新たな政策の必要を痛感してゐるが、確實な政策は何一つ思ひ付くことが出來ぬのだ

英誌「エコノミスト」はソ聯がより大きな目的のため妥協を敢てする英國の態度を單なる弱氣

と誤解してゐると非難してゐるが米國でも「エコノミスト」誌と同じ非難を屢々耳にする、併しこの非難は不吉な響を帶びてゐる、何故ならばヒトラーが戰前屢々公言したのが將にこの點であり、強引に押し切つた結果戰爭の勃發を招來する破目に陷つたからだ、もしもソ聯と話し合ふために出掛けるとするならば、半途でソ聯と出會すやうにしなければならない、半途で出會すのを嫌がつたり、弱氣を曝露するやうなものだと考へたりするならば、それは戰爭への道を進むやうなものだ

「ニューヨーク・ヘラルド・トリビューン」紙の外國記者で元モスクワ特派員のジョセフ・バーンズは十日の紙上で米ソ兩國が理解し合ふのが如何に困難であるかを論じてゐるが、彼の見解は大體次の通りだ、ソ聯には外交政策を決定する五つの要因がある、第一は赤軍だ、どの國の軍隊も同樣だが、赤軍も亦紙の上の安全保障よりは國境線と大砲による安全保障を好む、第二はウクライナ、白ロシアのやうな國境共和國で、戰爭中尨大な物的人的資源を喪失した結果政治的經濟的連帶保障を最も强く希望してゐる第三は歷史的傳統に依據する一部で、彼らにとつてはポーランド人はソ聯におけるアイルランド人のやうなものだ、第四はソ聯の警察制度で自由といふものをどうしても認めたがらない、第五は共產黨內の一派で、依然として西歐諸國に敵意を抱き、ソ聯の孤立化を歡迎してゐる

△舌の空轉を控へよ

ソ聯は米國を理解してゐない、彼等は自分の率直な言ひ方に何故米國が僻むと同時に、國內の新聞がソ聯の惡口を言ふのを默つてみてゐるかが判らない、ソ聯はいままで外國の共產主義者と外國の反動主義者の二種類しか知らなかつたしかし最近では米國にも以上の二種類以外に、更にソ聯との友好關係を希望する者がゐることを知り始めた、もしも米ソ兩國が詰らぬ問題についてお互ひに狙撃し合ふことを止め、米國が全能力を擧げて本質的な問題につきソ聯と誠實な交涉を進めるならば、米ソ兩國は世界平和の諸問題をソ聯と共に解決することが出來るであらう、これがバーンズの見解だ

尤もポーランド問題が本質的な問題でないといふことには異論もあらうが、昨年十月には今一步で滿足すべき解決に達するところであつただけに、今日の失敗はなんとしても當惑させられる、もしもミコライチクが當時モスクワ側の提示した條件に對し更に一名乃至二名の閣僚の同意をかち得たならば今日のポーランドは我々の希望するやうに民主々義的分子の一切を含む假政府を有してゐたであらう、しかるにポーランドは將來左翼政府を持つ以外に道がない實狀にある、かかる政府は堅實な野黨を持ち得ぬであらうし、米國がパナマやキューバの政府を支配するよりも遙かに强くソ聯はポーランド政府を支配することとならう、明日のポーランドには市民的自由といふものは一切みられぬことにならう、尤もピウスズキー獨裁下のポーランドでも市民的自由の如きはあり得なかつたし、堅實な野黨の存在も考へられなかつた

しかしながら將來のポーランドでは大規模の土地改革が實施され、大地主の如きは何らの政治的勢力を揮ふことが出來なくなるのは明瞭だ、恐らく將來のポーランドでは多くのものは戰前よりも遙かに高度の生活を樂しみ、西方への領土の擴大に伴ひ相當の繁榮を享有することが出來よう、してみればポーランドの運命よりも悲劇的な問題は、大國が特に歐洲戰の終了後に統一戰線を樹立するに失敗したことであると考へねばならない、原因はソ聯が依怙地なためばかりではない、ソ聯が依怙地ならば昨年十月にポーランド問題が、解決の一步手前まで進捗する筈はなかつたからだ、當地問題の解決を阻んだ責は偏へに亡命ポーランド政權側の頑迷固陋にあつた、ソ聯のポーランド政策にはそれ相當の理由がある、ソ聯の政策を徒らに非難攻擊するばかりが能ではない、今はぢつと辛棒して、無駄に舌を動かさぬことだ、米英ソ三國の間にはポーランド政府を選ぶことよりももつと「重要で本質的な問題」がいくらもある

昭和二十年五月廿三日(水)
第三四三〇號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

資料

戰後の歐洲經濟情勢と將來の展望

ストックホルム支局十四日發

△大戰の被害

米國の經濟專門家が非公式な計算を基礎にして勘定したところによると、今次戰爭によつて歐洲の蒙つた損害は次の如く、驚くべき天文學的數字に上つてゐる

農業その他不動産の損害
一〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗
公私財産の掠奪されたるもの
一〇〇、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗
一般軍費(人命損傷による支出を除く)
二九五、〇〇〇、〇〇〇、〇〇〇弗

更に生産手段の破壞、交通運輸機關の損傷並びに、米英の行つた長期に亘る封鎖の結果、歐洲の飢餓的貧困は一層深刻となり、それと併行して惡性インフレの傾向は益々顯著となつて來てゐる、この最惡の狀態に比べれば前大戰後におけるドイツの經濟狀態は、今よりも遙かによかつたといへる、前大戰後において歐洲の經濟的再建設が、比較的急速になしとげられたのは、一つにはドイツの經濟組織と工業力とが、第一次大戰後においてはその深刻な打撃を受けてゐなかつたこと、及びドイツが一九二四年から一九三〇年までの間七十億マルクに上る長期借款並びに短期借款をなし得たこと、更に一九二四年から二七年の間にドイツの輸出超過額が四十一億マルクにも達したこと等により、ドイツの再建を促進したためであつた

△解放地域の困難

所がこれに反して、今度の歐洲の破壞は、その復興には長期に亘り莫大な人力と資本の投下を要する底のものである、謂ふ所の「解放諸地域」からは餘りにも屢々困難なる生活狀況が報ぜられてゐるが、これは同地域の生産、交通機關が戰爭のため甚しき損害を受けたうへ、その使用が聯合軍の軍事目的だけに制限され、一般市民の消費物資生産增加には一向使用されなかつたため、フランス、イタリア、ベルギー、オランダに飢饉が招來されたのである

例をフランスにとつて見れば、ここの工業は石炭と原料品それに人力不足により、現在能力の五、六割しか動いてをらず、現有船腹九十萬噸(戰前二百九十萬噸)も全部聯合國の輸送プールに入れられ、一切軍事目的に使用されてゐる有樣である從つてこれはフランス市民の希望するやうな民需用生活必需品の輸送には一切向けられてゐない、ただ最近米國當局が自由型船十五隻をフランス向け補給品輸送に使用してゐるだけだ、これから見てもすぐわかることだが、歐洲は特に今年飢饉に襲はれるものと豫想され、燃料問題などは深刻な樣相を呈して來るものと思はれる

△燃料不足

燃料問題についてはエコノミスト誌は次の如く豫想してゐる

先づソ聯は不足石炭の一部をスカンヂナヴィア諸國及び東南歐地方から若干獲得することは出來るが、それでも戰前ポーランドから每年輸入してゐた一千百萬噸、ドイツからの四千萬噸は、僅かにその一部の入手が豫想されるに過ぎず、石炭不足に惱まされるは必至と見られる、一方米國においては本年度の石炭不足は四千萬噸と報ぜられ、歐洲大陸もまた、英國の石炭產額が著減したため(註、英石炭產額一九三九年二三一、三〇〇、〇〇〇噸、一九四四年一八五、五〇〇、〇〇〇噸)大體において戰前英國から輸入してゐた二千萬噸の獲得が當に出來なくなつてゐる、フランスの如きは自國の工業用炭のカヴアがやつとで、今後國內石炭の增產が出來なければ、煖房用石炭などは思ひもよらぬといふ狀態にある

△軍票問題

目下米英ソ孰れも、その占領せるドイツ國內で「軍票マルク」を發行してゐるが、この「軍票マル

ク」は將來においても聯合諸國が決して拂戻しない代物である、つまり聯合國がドイツ領内で消費するものはドイツの資源で支辨すべしといふわけで、その目的とするところは——これはイタリア、ルーマニアの場合も同樣だが——ただドイツを搾取するにあり、從つて「軍票マルク」の性格は「解放地域」において發行されてゐる「軍票ドル」「軍票磅」乃至「アメリカ・フラン」のそれとは丸つきり違ふのである

△米國のヂレンマ

これを要するに、歐洲戰の勝利者は出來るだけドイツの再建を遲らせやうといふことしか考へてゐないわけで、ドイツ產業の再建といふことは、ただ「勝利者の利益のための」手段としてしか考慮してゐない、强力なるドイツの工業がなければ自然歐洲の再建は意味なく遲れて行くのだから、いづれ遠からず米國はその資源を特にドイツ產業の再建に割かぬ限り、歐洲が米國最大の市場としての價値を喪失してしまふことを思ひ知らされるであらう

米國の新聞報道によると、戰前の米國の輸出額は三十億ドル程度であつたが、これを百億ドルまで向上せしめることが絶對必要とされてをり、それは戰後においても戰爭で水腫れした產業組織を百パーセント動かし、失業者なしで高度生活水準を維持するためには動かせぬところとなつてゐるこの點から見れば米國は、第二次世界戰爭の結果南米諸國から英國、ドイツの通商勢力を追放し、ここの市場を獨占するに成功はしたが、而もなほ戰前米國總輸出額の四割を占めてゐた歐洲市場を無視出來ない立場にある、素より現在の歐洲は、主として手持ドルの不足のため購買力が甚だ少く限定されてゐるので、この再建が出來上るまでは到底米國のよき市場たり得ない、ところがその歐洲の急速なる再建は、米國の資本を投下し、歐洲諸國に長期クレヂットを供與してはじめて可能である

△對ソ問題

第一次世界大戰の後とは違つて、ドイツが自力で復興するには、ドイツの生產手段が完全に破壞されてしまつてゐるので、恐ろしく尨大な人力と長い年月を要するものと見られるが、ドイツ產業の繁榮なくしては、歐洲の繁榮なぞは想像し得ざるところで、歐洲の繁榮なくしてはこれは米國にとつても良き市場たり得ないと考へて來れば、ドイツ產業に對する米國の援助といふことが、當然時とともに大問題となつてこなければならない

（米紙報道によれば米國の資本投資能力は年額二百億ドルと推定されてゐる）

然るに情報によれば米國資本の勢力擴大については、よしそれがドイツまたはフランスの如き西歐洲諸國においてであつても、ソヴエトがこれを悅ばず、屢々その阻止工作に出てゐるのが看取されるといはれる、事實ソヴエトは米國資本主義のフランス、ドイツへの浸透を虞れてゐるので、ソヴエト自身の再建のためといふ名目で英米兩國に對し恐るべく巨額の借款申込を行つてゐる（註、米國へ七十億弗、英國へ七億五千萬磅）だがこんな巨額の借款に英國がとても應じ切れないのは萬人の知るところ、米國にしたところで、英國や歐洲諸國にも廻はさねばならないのでたとへソヴエトの申込を受付けたとしても、まづ精々二十億弗が關の山とみられる

その際には、これは「ロンドン・タイムズ」の說だが、ソヴエトは「ソヴエト自身の支配の下に」必要なる復興資源を米國に賴らずして、ドイツ資材の集中による、必要なるドイツ產業の再建に努力すべきことを提案するであらう

これはまた米英の惧れるところで、そんなことにでもなれば、歐洲の再建を契機として、資本主義米英と社會主義ソヴエトの經濟抗爭が更に尖銳化さるべきことは火を睹るよりも明らかであらう

大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都豊島區北谷公園二番　社團法人同盟通信社

昭和二十年　五　月廿四日(木)
第　三　四　三　一　號

同盟通信　海外電報　117

米大統領トルーマンは二十一日、議會に對し本年度上四半期における武器貸與實績報告、並びに書簡を送つたが、この報告書の中で特に重慶並びに印度に對する貸與物資の供給が著しく增大してゐることを强調してゐる點は注目に値する、今回の報告を一貫して流れるトルーマンの思想は對日戰に對する米國民士氣昂揚にあり、報告書の剪頭から

「歐洲戰の終了に伴ひ我々は日本に對する攻勢の速度を增大すると共に東亞戰域に對する物資の供給量を擴充することが可能となつた」

と述べ、更に重慶に對する貸與により重慶軍が著しく强化され

「米國、英國、フランス、オランダ諸國軍は重慶軍と協力を密にして對日戰に全力を傾注しなければならぬ」

とて對重慶援助を謳歌し、印度についても同樣に米國物資によつて同國内の軍需工業が急速な擴充をみるに至つたと自畫自讚してゐるしかして武器貸與實績によつて、米國の戰爭努力を縷々述べた後でトルーマンは

「ドイツの敗北によつて聯合國特に米國の軍需生産量は削減され平和産業への復歸と輸出貿易の增大が行はれる筈だ」

と米國民の御氣嫌をとつてゐるのは面白い、從來とも武器貸與實績報告は數字の羅列で特に目立つた演說口調の「報告」はなかつたのであるが、今回の第十九次報告は全く演說口調に終始し「日本打倒」に一貫してゐることが目立つてゐる、歐洲戰の終了によつてとかく樂觀主義に傾かんとする米國民の氣分をあらゆる機會を捕へていましめるため報告書の中にこの警告を盛る一方武器貸與法の通用なくしては東亞戰域に戰ふいはゆる聯合軍は、その活動が著しく抑制されることを暗々裡に印象づけ、米國が今次大戰の最大勢力であることを米國民と聯合國民に强調し「全權主義」國たる米國の强力さを謳歌したのが今回の報告であるといへよう

【目　次】

聯立內閣の解體を通告……一四四〇
勞働黨の選擧綱領……〃
食糧、衣料の割當削減……〃
三頭會談はどうなるか……一四四一
米英、遂に武力發動……〃
桑港會議は茶番狂言……〃
獨占領英軍司令決定……〃
【桑　港　會　議】
後二週間で閉會豫定……一四四二
【英　帝　國】
帝國瓦解の兆……〃
中間內閣出現か……〃
往復書簡の內容……〃
「クヰーン・エリザベス」再生……一四四三
濠州空軍の戰果主義を曝露……〃
【東　亞】
貴陽に米空軍基地……〃
【トリエスト問題】
チトー、紛爭解決を提案……一四四四
【歐洲戰後處理問題】
責任は獨に持たせよ……〃
聯合軍捕虜數二百十七萬……一四四五
【西　亞】
米英ソの激突迫る……〃
【歐　洲】
ド・ゴール、トルーマン會談近し……〃
佛軍、ドイツ人を强迫……〃
【米　洲】
武器貸與報告……一四四六
戰時食糧局に非難囂々……〃
炭坑夫七萬復業……〃
【特　輯】
その後に來るもの（上）……一四四七
【資　料】
桑港會議より……一四五〇
歐羅巴の將來と第三次世界大戰の危險……一四五二

聯立內閣の解體を通告

（ストツクホルム二十二日發）ロンドン來電＝英國首相チヤーチルは二十二日夜、勞働黨の首領アトレー副首相に書簡を送り事實上における聯立內閣の解體を宣言した、もつとも議會の解散乃至總選擧の日取については觸れてゐないが勞働黨との協力の基礎が最早存在しない旨を闡明してゐるので、愈々兩三日內に英國政界が重大轉換を遂げる段取と解される、書簡の要旨次の通り

貴下は日本軍との戰爭終了まで聯立內閣を繼續しその間人民投票を執行するとの提案を拒否し今秋總選擧を執行することを示唆した貴下の提案によれば、我等は今後十月まで閣外においては勿論閣內においても絕えず總選擧の準備を進める結果とならう、我等はこゝ數ケ月既に以上の總選擧氣構へに災ひされ少からず行政上の能率を阻害されたと信ずるが、今何よりも各國に對して英國の立場を强化せねばならぬ際、却つて英國の立場を弱體化する結果とならう、更に七月に總選擧を執行することと十月に執行することによつて各政黨の利益がどう違ふかについては意見がかなり分れてゐるが、今回の書簡交換に際し貴下が中傷的言辭を弄して交涉を暗くしたのは寔に遺憾である、余はお互が協力出來るやうな事態を實現しようと力めたに過ぎぬが書簡の調子並びに勞働黨の心構へに徵すれば、かかる事態は最早存在しない、しかも貴下がお互ひ喧嘩をしながら秋までやつて行かうといふ要請に加へるに種々不當な非難を浴びせたのは全く意外である、かかる過程は決して英國の內閣を運營する上品な仕方ではない

勞働黨の選擧綱領

（ストツクホルム二十二日發）ブラツクプール來電＝モリソン內相は二十二日ブラツクプールにおける英國勞働黨大會において來るべき總選擧に臨む黨の綱領として五ケ年計畫を發表し、勞働黨は

一、銀行並びに金融の統制
一、最初に國內輸送、製鐵製鋼業等を公有とする
一、獨占事業並びにカルテルの監察
一、適當な經濟並びに物價統制の維持

を實踐する旨を述べた、次で航空機製作相サー・スタフオード・クリツプスは外交政策に言及し

一勞働黨は大同盟國ソヴエト聯邦との間に不必要な喧嘩を起すことを許さない

と述べ、ドールトン商相はバレスチナ地方に對するユダヤ人の入國を「支援」する旨力說した後外交政策に關し次の通り述べた

モスクワとの關係は第三次世界大戰を阻止する上に最も重要な問題だが右問題が時々幾分曇つてゐるのは遺憾である、しかし勞働黨內閣はロンドンとモスクワとの間における誤解を取除く點については他の何れの內閣よりも有力だと確信する

最後に大會は十二ケ條からなる「英本國聯邦」の建設案を採擇した

食糧、衣料の割當削減

―勝てる英國の悲哀―

（リスボン二十二日發）歐洲戰爭の終了に「勝利の週間」を祝つたばかりの英國民は二十二日突如食糧並びに衣料の配給割當大削減に深刻な幻滅の悲哀を感じた、ロンドン來電によれば食糧相リユーリンは二十二日各種食糧品に亘つて全面的な割當切り下げを發表したといはれるが主な品目を上げれば

肉類は　八%減
ベーコンは　二五%減
料理用脂肪は　半減

といふ有樣だ、卽ち肉類は一ケ年の配給量百十五ポンドから百六ポンドにベーコンは週四オンスから三オンスに削減、チーズその他は週二オンスの現狀を維持するが「もつと多量に各自治領から移入があり英國內で增產される場合」といふ條件付きだ、更に衣料の割當では一七%減で現在の衣料切符が八月一日までの期限なのをそのまま九月一日まで持ち越すといふ遣り口だ、もつとも子どもと歸還兵士には特別の考慮を加へることになつてゐるが當局は

一九四六年の夏前には衣料配給を增加したいと思ふが今年の九月一日以降暫くは增配の見込みはない、衣料の手持は殆どなくなつて了つたと悲鳴を上げてゐる

三頭會談はどうなるか

(ストツクホルム二十二日發)歐洲戰爭の終了とともに米英ソ三國間にはイーデン外相の言葉を引用すれば「重大且つ懸念に堪えぬ諸爭點」が持ち上り米英兩國の言論界は頻りに三頭會談開催の必要を強調してゐるが、英國政界が急轉直下七月五日をもつて總選擧を擧行する形勢となつたので會談は一時延期のほかはないとみられる、もつとも七月五日までに更に緊急重大な事態が持ち上げれば別だが、現に米英兩國政府からの打診に對しスターリン議長は全然回答もしないとか傳へられ、且つ政戰を前にチヤーチル首相は遠く英國を離れることが出來ぬので七月五日以前に三頭會談が開催される見込みは先づない、しかも七月五日以後に三頭會談開催の運びとなつてもチヤーチル首相が英國を代表して會談に參加するかどうかは總選擧の結果如何によつても決定されよう、ロイター通信社の政治記者も現狀では保守黨が勝利を收める公算が多いとみてゐるが萬一保守黨が敗退する場合には當然勞働黨の首領クレメント・アトレーが後繼內閣を組織することとなるのでルーズヴエルト既に頓死しチヤーチル首相また失脚するとすればいはゆる三頭會談が開かれてもスターリン議長の獨壇場と化することは明かだ

米英、遂に武力發動

(リスボン二十二日發)トリエスト來電によればイタリアの英第八軍並びに米第五軍は係爭地域たるヴエネチヤ、ヂウリア地方におけるユーゴ軍の陣地線に「滲透」するため二十二日突如行動を起し、ユーゴスラヴイア國境に向つて進駐を開始したといはれる、AP電報は米英軍の「滲透」行動は全く平和的なもので、ユーゴ軍は全然抵抗を試みてゐないと報じてゐるが、目的とするところが占領地域からユーゴ軍を驅逐するにあるは明瞭でチトー元帥が紛爭解決に乘り出す積極的意圖を示した矢先に、米英兩國が武力を發動したことは自ら、トリエスト紛爭解決の希望をぶち毀すものだ

桑港會議は茶番狂言

(リスボン二十二日發)トリエスト紛爭問題に對する米英軍の武力發動は忽ちユーゴ全土を昂奮と憤激の坩堝に叩き込み異常に緊迫した空氣を捲き起してゐるが、從來無氣味な沈默を守つてゐたユーゴ共產黨機關紙「ボブラ」は二十二日に至つて初めて筆を取り上げ

地中海方面聯合軍司令官アレキサンダーの聲明はユーゴスラヴイアに對する戰爭の脅威を意味するものだ

と論じてアレキサンダーの挑發的言動を痛烈に攻擊した、他方米國ではユーゴの背後にソ聯の「影」をみるものか言論界はボノミ政權のイタリアを支持してユーゴの行動を暴戾なりと非難、たとへば廿二日附の「ワシントン・ポスト」紙は「アレキサンダーとチトー」と題して次の通り論じてゐる

トリエスト紛爭における米國の態度は戰敗國イタリアの肩を持つて戰勝國ユーゴを攻擊してゐるのではなく、武力によらず穩當な交涉によつて問題を解決することを慫慂するにある、ユーゴスラヴイアは歐洲戰の勝利に大いに貢獻したしかしながら如何に祖國を防衞し、ナチの暴戾を膺懲する際勇氣と熱意を示さうとも、勝利の限界を更に擴大する暴戾を許されるものではない、武力による國境紛爭の解決は一九三九年と同樣一九四五年においても忌むべきことだ、桑港會議は武力に依據せずして諸國間の紛爭を解決するために開催されたものだが、もしも大國がそつぽを向いて一國に侵略による領土變更の機會を與へるならば單なる茶番と墮してしまふだらう

しかしながらユーゴの「侵略行爲」を攻擊し、武力解決を忌避する米國が今回武力を發動したことこそ茶番ではなからうか

獨占領英軍司令決定

(ストツクホルム二十二日發)ロンドン來電=英國首相チヤーチルはドイツ占領英軍總司令官並びに聯合國ドイツ管理會議の英國代表として元帥サー・バーナード・モントゴメリーを任命した旨二十二日發表した

【桑港會議】

後二週間で閉會豫定

（リスボン二十一日發）サンフランシスコ來電＝米國務長官ステチニアスは二十一日記者團に對して次の通り言明した

國際安全保障憲章は今後二週間以内に起草される豫定で、指導委員會は二十一日午後各國の提案を審議する、また委員會は二週間以内に桑港會議を終了出來るやう各種の手續をとつた、余は今週中にワシントンに歸りトルーマンや國務省の首腦部と打合せる筈で、留守中は宋子文が指導、執行兩委員會の議長代理をつとめる

【英帝國】

帝國瓦解の兆

（リスボン二十一日發）桑港會議において濠洲、新西蘭、カナダ等の英聯邦自治領が英本國と全く別個の行動をとり、獨自の立場から各種の提案や發言を行つてゐることは英聯邦内における英本國の相對的地位が著しく低下したことを物語つてをり、少くとも往年の「英帝國」がそのまま存在することの許されない時期の來たことを示してゐるこれに關しロイター通信社のサンフランシスコ特派員マイケル・フツトは英聯邦諸國民の歴史に新世紀がきたと冒頭して次の通り述べてゐる

かうした兆候を發見するには何もサンフランシスコ中をうろつきまはる必要もない、會議の諸事象は從來になく劇的に事實を强調してをり、今こそわれわれは新事態の諸問題に覺醒しなければならなくなつてゐる、外相イーデンは「會議において自治領と本國の間に意見の相異がみられたのはどういふ意味か」ときかれた時、ニツコリ笑つて「この事實は英國が自働的に六票を得たといふ非難を反駁することにもなるので自分としてはかうした獨立の證左を喜ばしく思ふ」と言明した、イーデンは笑つたが、事實の深刻な意義をそんなことで蔽ひ隱すことは出來ない、自治領代表が獨自的な立場を示したのはイーデンの會議工作を樂にしたり彼に記者團會見での竹篦返しの材料を提供するためではない筈だ、彼らにとつては眞面目なことだ、そして彼らの代表としての地位も殆ど他の中小國代表のいづれよりも上に立つてゐるのである

中間内閣出現か

（ストツクホルム二十一日發）チヤーチルの提案に對し自由黨首領シンクレア、同黨別派の領袖ブラウンは何れも全面的支持を表明したが、勞働黨大會が「首相の挑戰」に應ずるに決定したため愈愈チヤーチルは議會の解散と内閣の改造を斷行すると見られる、勞働黨出身の副首相アトリー、勞働相ベヴイン並びに内相モリソンは當然辭職するが、自由黨出身の閣僚並びに政黨に無關係の藏相アンダーソン、供給相ダンカン、陸相グリツグ、復興相ウールトン等は多分留任するので比較的小範圍の改造で、早ければ來る二十九日チヤーチルは新陣容で議會に臨むこととならう

往復書簡の内容

（ストツクホルム二十一日發）ロンドン來電＝勞働黨大會でチヤーチル首相の提案拒否と共に首相の書簡内容を發表した、右書簡並びに勞働黨の回答内容次の通り

△アトレー副首相宛チヤーチル首相の書簡

貴下並びに勞働黨出身の貴下の主な同僚と數次に亘り會談した結果、勞働黨は歐洲戰爭の終了と共に内閣を立去らず飽くまで聯立内閣を繼續する用意があるとの印象を受けた、余は以上の示唆に對し極めて愼重かつ周到な考慮を加へたが、現在の形式においては以上の示唆が公共の利益に合致すると考へることが出來ないのを遺憾とする、現存してゐるやうな各政黨の結合は世界の情勢に無關係に互ひに相集り、或る特定の日附まで協力するといふのであつてはならず一切の政黨間の見解の相異を超越する何等か偉大な國家的目標の達成を目當てとしなければならない、過去五、六ケ月間英國の内閣並びに議會の關係は歐洲戰爭の終了と共に總選擧が執行されるなどといふ見方のために多大の影響を受けてゐる、しかしかかる事態は特に内政に關する限り國家の利益に資する所以ではない

昭和二十年五月廿四日（木）
第三四三一號
同盟通信 海外電報（第二種郵便物認可）

從つて余は次の對案を提示し、勞働黨が簡單に拒否しないことを切望する、卽ち共同の努力の目標としてお互ひに他の新しい事業を選び、聯立內閣の解體を右目標が達成されるまで延期するといふのである、既に海相アレキサンダーはロンドンにおける演說で、日本軍との戰が終了しないうちに總選擧が執行されるのは寔に遺憾であると述べた、從つて貴下並びに貴下の僚友が日本軍に對し決定的勝利を收めるまで協力する決心をしてくれれば余は少からず安堵するであらう、その間われわれは既に白書として議會に提出されてゐる社會保險法案並びに完全就業案等を具體化するために互ひに協力して、最善を盡さうではないか、以上の基礎に立つてわれわれは長期に亘りかつ光榮ある協力關係を特徵づけた戰友の精神をもつて全力を擧げて相共に働くことが出來よう、しかしながらわれ等の義務を最高に果すためには國民の意思の直接表明によつてわれ等の立場を强化することが必要だといふ、もし貴下が日本軍との戰爭が終了するまでわれ等と一致協力することに決意されれば現狀において現議會をさらに延長させるか否かの問題について例へば人民投票によつて國論を徵する方策を協議しようではないか

△アトレー前首相からチャーチル首相宛書簡

出征兵士の間に必ずや深刻な不滿を惹起する樣な情勢の下に總選擧を執行しようとする決定を貴下において再考されるやう衷心から希望するしかし選擧民に各種の不便を與へることを熟知しながら貴下が七月總選擧を執行するに決定されるならば責任は必然的に貴下が負はねばならない

「クキーン・エリザベス」再生

（ストツクホルム十九日發）東南アジア軍司令部は英國戰艦「クキーン・エリザベス」が英軍のラングーン上陸作戰に參加した旨十八日發表したがロンドン來電によれば、英海軍省當局は十九日右戰艦に關し次の通り發表したといはれる

「クキーン・エリザベス」は一九四二年一月エジプトのアレキサンドリア港でイタリア海軍豆潛水艦の魚雷攻擊を蒙り擊沈されたが、同港で浮揚工事を施された後、米國に曳航され、修理を完了したものである

濠洲空軍の戰果主義を曝露

（リスボン二十一日發）最近濠洲空軍の優秀飛行士八名が辭職を申し出た事件があるが、右によつてはしなくも濠洲軍の「戰果主義」政策が曝露されるに至つた、卽ち「デーリー・メール」紙のシドニー電によれば、濠洲空相ドレークフオードは五月十三日右八名の辭職申出の理由について調査方を命令したといはれるが「サンデー・テレグラフ」紙の報道は右は濠洲軍が全く戰果のための作戰を遂行してゐることによるものだとして次の通り報じてゐる

今回辭職を申出た空軍將兵の述べるところによれば、彼らは戰爭遂行上殆ど價値のない目標物を攻擊するために出動させられてをり、しかも攻擊目標物の九〇%までがかかる價値のないものだといふ、しかるに軍當局の公報においては濠洲空軍が敵の目標物に對し何十萬個の爆彈を投下したとか、銃擊のため多量の彈丸を發射したとか、或ひは作戰時間はどうだとかいふことがあげられてゐるが、これは全く以上のやうな値打のない目標物を攻擊することによつて可能なのだと將兵達はいつてゐる、さらに彼らはスピットフアイアーの如き貴重な飛行機の甚しい消耗や爆彈、彈藥の浪費を憂へてゐるのだが、上官は與へられた任務の戰術的價値に關する將校の特權が認められないので辭職を要求したのだといつてゐる

【東　亞】

貴陽に米空軍基地

（リスボン二十一日發）重慶來電＝支那戰域米軍司令部は貴州省首都貴陽に米空軍基地を新設した旨二十一日發表した、貴陽は重慶南方二百哩、重慶昆明公路上に位する軍事的要衝である

【トリエスト問題】

チトー、紛爭解決を提案

（リスボン二十一日發）トリエスト紛爭は地域爭ひから感情問題にまで發展、その解決は殆ど絶望視されてゐたが、チトー元帥は二十一日、ベルグラード放送を通じて紛爭解決方式を提案、漸く難局打開の曙光をみるに至つた、チトー元帥の聲明要旨次の通り

一、ユーゴスラヴイアは媾和會議に先立つてトリエストを一方的に併合する意圖は毛頭ない、イストリア海岸地區及びトリエスト問題は媾和會議に先立ちユーゴスラヴイア、イタリア兩國間の直接交渉によつて解決され得よう

一、ユーゴスラヴイアは右地域の地位に關し聯合國と協議し、出來れば取極めを成立して兩者共に滿足し且つ右地域の住民の利益にも反しない解決に到達するやう努める用意がある、ユーゴスラヴイアは民主々義の假面を被つたフアシスト黨がトリエスト事件を歪曲しようと努めたにも拘らず最初から民主々義の原則に基き關係各國との完全な一致の精神に則つてトリエスト問題の解決に乘り出すに吝かでなかつたのである

以上のチトー元帥の聲明はトリエスト問題の解決に積極的に乘り出す意圖を示したものだが、トリエストをボノミに明け渡すといふことにならず問題は今後ユーゴ、イタリア兩國の交渉に殘されてゐる譯だ

ロイター電報によれば英國政府筋もチトーの聲明をもつて解決への一歩前進とみてゐるが「ユーゴ、イタリア兩者間の直接交渉」の意味するところについては多少の疑問を抱いてゐる樣子で、交渉方式につき具體的な提案があるまで公式の見解表明を差し控える意向と傳へられる

【歐洲戰後處理問題】

責任は獨に持たせよ

（リスボン二十一日發）ニューヨーク來電によれば二十一日の「ニューヨーク・タイムズ」紙は次の通り述べてゐるといはれる

歐洲の復興の中でもドイツ問題の解決は第一位におかるべきもので最高の政治力を必要としよう、各國占領軍は何れもドイツを植民地として取り扱ひ占領軍自身によつて統治するといふ考へを拒否してゐるやうに見える、而してこれは若しさうしなければ占領國が統治の責任と費用とを自ら負擔しなければならぬといふ理由においてのみ歡迎出來る、又占領各國ではドイツを幾つかの占領地帶に分割するには或る程度の地方分權を伴はなければならぬとしてゐるやうでソヴエトはベルリンにおいて、英國はドイツ西北部、米國はドイツ西南部において何れも愼重に選ばれたドイツ人から成る局地的乃至地域的行政機關を樹立しつつあるが、これら行政機關の運營が聯合國によつて注意深く監督される限り我々はこれに反對しようとは思はない、何れにしても以上の遣り方はドイツ人の才能と努力を動員する最善の方法と思はれる

ボルンホルム問題で交渉

（ストツクホルム二十一日發）赤軍はデンマークにおけるドイツ軍の降伏當時デンマーク領のボルンホルム島に上陸占領したが、コペンハーゲン來電によれば、同島を繞る問題につき近くモスクワにおいてソ聯、デンマーク政府間に外交交渉が開始される豫定といはれる、ただしソ聯はいまだ同島の領有意圖を明らかにしてゐないが、萬一デンマークに讓渡を迫ることになれば新たな國際問題を提起することとならう

シエルナー元帥逮捕さる

（リスボン二十一日發）ブラツセル放送によればシエルナー元帥はドイツ第一軍によつて米軍に引渡されたといはれる、シエルナー元帥はベルリンを含むドイツ中央部における最高司令官として最後まで戰ひ、ドイツの無條件降伏後もチエコスロヴアキアにおいて赤軍に對し抗戰を繼續、チエコのドイツ軍が崩壞した後、ドイツ第一軍に逃げ込んでゐたものだ、ソヴエトの戰爭責任者表の中では第一級の犯罪人とされてゐる

昭和二十年 五 月廿四日(木)
第 三 四 三 一 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

聯合軍捕虜數二百十七萬

(リスボン二十一日發)パリ來電=歐洲聯合軍最高司令部は二十一日次の通り發表した

三月中旬現在、聯合軍俘虜二百十七萬三千名はドイツ國内の俘虜收容所七十ケ所に分割收容されてゐた、聯合軍は落下傘部隊六組を、俘虜收容の中心地として使用されてゐた第九收容所のあるアルテングラボーに降下せしめ、俘虜數及び食糧並びに醫療狀態を偵察せしめた、聯合軍はその間少くとも一回當時ドイツ軍の手中にあつたドイツ領内の聯合軍俘虜に食糧及び醫療を投下した

【西　亞】

米英ソの激突迫る

(リスボン二十一日發)歐洲戰の終了を俟つて西亞における米英ソ三つ巴の對立は徐々に表面化する形勢にあるが、特にイランにおけるソ聯の勢力擴大工作は俄然熾烈化するに至り革命の勃發は殆ど避け難い程尖鋭化してゐる樣子だ、テヘラン來電によれば、イランの輿論は外國駐屯部隊の撤收を依然強硬に要求してゐるといはれるが、米國ではイラン駐屯軍が撤收したならば瞬時にして革命が勃發すると考へて撤收に反對してをり、「ニューヨーク・タイムズ」紙のアンカラ特電は二十一日撤收反對を主張して次の通り報じてゐる

イラン國内の政治情勢は爆發寸前の樣相を呈しインフレの激化と貨幣價値の低下は政治危機に一段と拍車をかけ、萬一イランから外國駐屯軍を撤收するならば、革命の勃發は殆ど避け難い形勢を示してゐる、英軍は去る四月「試驗的」に一部を撤收したが米軍は依然踏み留つてをりさらに赤軍も一向に腰をあげる氣配を示してゐない、特にイラン北部を占領する赤軍は外國人の立入りを一切禁止してゐるが、この赤軍の駐屯する北部イランの住民は殆ど例外なくイラン政治機構の「根本變革」を希望してゐるため外國軍が全部撤收したならば「瞬時にして」一切が變つてしまふかも圖られない、イラン國内には親英分子と親ソ分子との間に奇妙な暗闘が續けられ、ソ聯紙は最近英國によつて入國を許された民主々義領袖セイド・ジア・エド・ヂン一派に論評を加へてゐるが、調子は必ずしも好意を示してゐない、西亞における米英ソ三國の勢力圈はダーダネルス、スエズ運河、パルチスタンを結ぶ三角形内で將來境ひを接することとならうが勢力の釣り合ひを齎すための努力は何等拂はれてゐない、英國の神經質なヴイクトリア朝的帝國主義政策とアラブ民族に猶太民族をけしかける政策は事態を落着かせるに一向役立たず米國の政策は今のところ表面化してゐないが徐々に積極性を帶びてきてをり、近い將來米英ソ三國の政策が正面切つて衝突するのは必然の趨勢と言へよう

【歐　洲】

ド・ゴール、トルーマン會談近し

(リスボン二十一日發)ワシントン來電=トルーマンは新聞記者團會見でド・ゴールとの會談を要請してゐる旨を明らかにしたが、目下ワシントン滯在中の佛外相ビドーは二十一日トルーマンとの會見後次のやうに語つた

トルーマンはド・ゴールとの會見を要請してゐるがこの會談は近く行はれる筈だ、フランス陸海軍は占領軍の指揮下に現在及び將來の作戰に參加する用意がある、余はフランスが對日戰に全力を擧げる事をトルーマンに約束した

佛軍、ドイツ人を强迫

(チューリツヒ二十日發)スイス通信社のクロイツリンゲン電によれば、コンスタンス駐屯フランス軍司令官はコンスタンス市民に對しフランス軍の揭示した布告文が破られるかまたは破損された場合、報復措置として市街の一部に放火するとの警告を發したといはれる、右警告に先立ちドイツ將兵を庇護した廉でドイツ人二千五百名は獨瑞國境に沿ふジエステエツテン、ロツトその他四村落から二十四時間の期限付で强制立退きを命ぜられたがフランス軍はそのあとにアルザス地方のフランス人農民を入れる模樣だ

【米　洲】

武器貸與報告
＝對日決戰に備ふ＝

（リスボン二十一日發）ワシントン來電＝大統領トルーマンは二十一日議會に對し本年度上四半期の武器貸與實績に關する報告を提出した、右によれば米國の同期間中の重慶並びに印度への供給は一億九千三百四十三萬弗に上り、本年一月一日以降三月三十一日に至る期間の米武器貸與物資の九・五%を占めてゐる、しかして一九四一年三月十一日の武器貸與法適用開始から本年三月三十一日までの期間に重慶並びに印度に供給された物資は總額二十億二千三百三十三萬九千弗に達し、右の內四三%は過去一箇年間に輸送されたものであるこれは一九四一年三月十一日武器貸與法が實施されてからの貸與物資總額の六・九%に當る、トルーマンは右武器貸與法の議會提出に當り書簡を送り大要次のやうに述べてゐる

今次大戰を早期且つ完全な終局に導き將兵の生命を救ふためにわれわれは壓倒的な武力を培養しなければならぬ、このためにわれわれは軍事上の必要から武器貸與並びに逆貸與を繼續しなければならない、米英佛オランダその他の國家は重慶と協力し全力を擧げて對日戰の遂行に邁進しなければならぬ、武器貸與及び逆貸與の運營により今次の長期且つ高價な戰爭は著しく短期化されるであらう、軍需生產の增强と武器貸與計畫の內に米英は對日決戰の武力が一段と强化されるのを見出すであらう、日本を無條件で敗北せしめることは「巨大な」事業であり同時に全力の傾注を必要とする、武器貸與と逆貸與は太平洋戰の有效な武器として繼續されるであらう、一九四一年三月十一日以降米國は武器貸與法により、英國その他に三百八十九億七千百七十九萬七千弗の巨額に上る武器、爆藥、農工業品、船舶等を供給したが、これに對する逆貸與として米國はこれらの國から本年一月一日までに約十億弗に上る物資の供給を受けた、歐洲戰の終了と共に今や米國は對日攻勢を强化することが可能となり、東亞戰域向けの物資供給量も著しく增大するであらう

戰時食糧局に非難囂々

（リスボン十九日發）米國內における砂糖の不足は最近危機的段階に達し、恐らく今次戰爭期間中を通じ最惡の狀態にさへあると傳へられるが、ワシントン來電によれば、下院食糧委員會はかかる事態を惹起せしめた物價管理局、戰時食糧局その他の政府諸機關を徹底的に糾彈した報告書を作成來週これを下院に上程する豫定といはれる、右報告書の內容として傳へられるところは次の通り

一、外國特に米國から送られた砂糖を米國の產業と競合する產業に使用する惧れのある國に對する砂糖の割當量を削減すること

二、昨年物價管理局は民需砂糖を四十萬噸も過剩配給したがかかる「いい加減な割當」に對し斷乎同局の責任を追求する

三、現在見込まれてゐる砂糖保有量を確保するため一層嚴格な割當計畫を要求する

四、工業用砂糖の割當は現在平均して戰前の七〇%程度だが現在以上の削減を防止するため政府に對し萬端の措置を講ずることを勸告、必要とあらば軍需用、海外積出し用並びに國內の罐詰用の砂糖割當量を規正することを要望する

炭坑夫七萬復業

（リスボン二十一日發）ニューヨーク來電＝五月一日以來續けられてゐた米國無煙炭田の罷業は十九日、ルイスを會長とする炭坑勞働者組合代表と經營者側との間に新賃銀契約が成立した結果事實上終了するに至つたが、二十一日ルイスの指令に基きペンシルヴァニア州における炭坑夫七萬二千の大半は復業した、ハツエルトン附近の第七地區及びウイルクスバール附近の第一地區に於ては全炭坑が操業を開始したが右兩地區の復業坑夫數は五萬三千人に上つてゐる、罷業による石炭產出高の減少は一日平均約十九萬一千噸、過去二十日間で合計三百五十萬乃至四百萬噸に上ると見積られる、なほ政府當局では今回成立した新賃銀契約について賃銀安定策の上から檢討を加へ、物價管理局では生產費の昂騰に伴ひ石炭の値上げを認めることにならう

昭和二十年五月廿四日(木)
第三四三一號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

その後に來るもの（上）

—英國の社會、政治、外交—

長谷川才次

△春日遲々たり

「平和の道は今や歐洲の民に立ちかへつてゐる、一見つまらぬ報道のうちから全貌が窺へよう、ノルウエー人司敎七名は最早ナチズムの說敎管制が終つたといふので任地にかへつた、列車はモスクワ、ワルシヤワ間を走り、ベルリン市內でも走つてゐる、ストツクホルムとオスロー間には空路が再開された、英國からプラハへ向けて今日飛行機が去つた、アーヘン附近の炭坑地帶ではドイツ人が勞働組合を組織した、ソヴエト政府はこの夏六十六萬の兒童を夏のキヤンプに送つて戰爭を忘れさせる計畫だし、英國では一般市民が六月一日から月三ガロンの基本ガソリン割當を貰ふこととならう」（APロンドン特派員五月十七日）

ジョーンズ特派員の報道だけみてゐれば、歐洲は遽に一陽來復のかたちだが、同日のAP電報が更に他の半面を傳へてゐるのを揭げなかつたら叙述は盾の半面に過ぎまい

「ロンドンでは最早爆擊の心配もないといふので砂囊の取片付けが始つたが、各種制限撤廢のさ中にも英國人はまだ仕事が片付いてゐないことを忘れてはゐないらしい、何處の本屋へ行つても太平洋戰局の地圖はすつかり賣り切れだといふ、米國の議會ではブリヂス上院議員が議會の意圖してゐない方法で、國務省が貸與協定を繼續してゐるのは怪しからんと致圖いてゐる、ブリヂスは言ふ、貸與は强力且つ公然日本と戰つてゐる諸國に限定されねばならず、その他の國々は貸與援助に關して高々第二位的な扱ひを要求出來るだけだ、トルーマン大統領が今日ハル前國務長官を訪問したので愈々三頭會談が近く始るだらうとの觀測が一段と有力化するに至つた」

△平和の福音

ロンドンでは所謂勝利の日からまる一週間お祭り騒ぎが續いた、チヤーチル首相も余程嬉しかつたと見え、或る晩それも十一時近くにホワイト・ホールに在る保健省のバルコニーに立ち現れ、居合せた五千人ばかりの市民を前に

「ロンドンは偉大な犀の如く、偉大な河馬の如く、ドイツ軍が如何に爆擊を加へようとも我慢出來るぞといふところを示した、ロンドンが永遠に英帝國の心臟として留るやう」

と氣焰を上げた、しかし英國民にとつて具體的な平和の福音は勞働相サー・アーネスト・ベヴインの下院における聲明だ、五月十六日勞働相は兵役並びに勞働解除について次の通り述べてゐる

「六月十八日から解除を始め、年末までに七十五萬人を陸海空三軍から除隊させる方針であるが、大半は陸軍々人で、海軍と空軍の兵士は東亞戰線における特別責任に鑑み除隊も自ら別途の扱ひを受けよう、B級のうちでは年末までは約六萬人が鑛業部門から解除され更に本日から女子は一人も全國奉仕法によつて强制的に徵用されない、しかし今後も男子の召集を繼續せねばならず召集年齡を最近三十歲に切り下げたが、今後も右年齡を堅持する方針である、しかし英國が經濟的にも政治的にも外交的にもトンネルを出て了ふまでには尙數年間苦難の道程を辿らねばならない、今後人的資源が潤澤になるだらうなぞと考へるのは當らない、學齡が引き上げられ、且つ何等かの形式で數年間の國民奉仕制度が施行されようから、產業界は少くとも四十萬の勞働力を失ふこととならう、現在六十五歲以上の男子六十歲以上の女子約百萬が產業界で働いてをり、しかも一九二二年から三〇年にかけて出產率が著しく低下したため少年工員の數は可成り減退してゐる、更に歐洲戰爭が濟んだので既婚の女子並びに家事の責任ある女子は相當數產業界を離れることとならう、今後も十八

歳以上五十才までの男子、十八才以上四十才までの女子の傭入れは特定行政部門を除き全部勞働者を通じて決定する、或る産業部門には勞働力があり餘り他の部門には全然人手がないといふやうな事態を避けるためだ、さもなければ勞働力の均衡を維持出來まい」

ロンドンがドイツ空軍の爆撃に對し、チヤーチル首相の言ふが如く「犀の如く河馬の如く」太い神經で戰つたかどうかは自ら異論があらうが、勞働相サー・アーネスト・ベヴインが以上の演說でなかで

「ドイツ軍のV兵器攻撃において最も顯著な事實はロンドン並びにイングランド東南部における缺勤率の低いことであつた、少年少女、動員男女は自宅が叩き壞されたにも拘らず翌日は驚嘆すべき樣子で出勤しあらゆる困難にも拘らずロンドンはあの恐ろしい期間國内で最高の生産を維持した」

と述べてゐるのは、常在戰場の勇しい標語を掲げながら、疎散に狂奔する後輩に對し正に頂門の一針ではなからうか

△解除要項

解除については十六、十七兩日に亘り英國下院に活潑な論議が展開され、盲目の議員サー・イフン・フレーザーは特に解除後、兵士の就職については工員についてよりも優先的に取扱ふやう主張したが、その他の細目は省き下院の討議で判明した解除に關する要項を次に列擧しよう

一、國民奉仕法に基く徵用年齡は二十七才に引下げる豫定であつたが、武裝兵力を維持し且つ兵役からの解除を促進するため差し當り徵用年齡を三十才とする

一、四十才以上の男子は、高度に緊要な要務に限り緊要勞務令に基き徵用するが、從來のやうに「機動的」として扱はず家庭から離れた地域で徵用しない

一、既婚女子は夫が兵役から解除される場合希望に基き勞務を離れることが出來るが、勞働力の狀態が極度に重大なので解除の完了まで女子が現職に留まるか乃至その他の職業にゐることを勞働省としては希望する、今後十二ケ月が勞働力の危機期間である

一、看護婦並びに産婆が非常に不足なので徵用解除になる女子並びに既婚婦人が出來るだけこの方面に轉業されたい

△眞の復員は太平洋戰終了後

今回の兵役並びに徵用解除について英國政府は復員 Demobilization といふ言葉を殆ど使つてゐない、サー・ロナルド・アダム將軍はロンドンにおける産業運營研究會での演說でこの點について次の通り述べてゐる

「我々は依然遠隔な地域において極めて困難な戰爭に從事してをり、更にドイツ國内には大兵力を必要とする幾多巨大な諸懸案を解決せねばならない、これ當局が復員と呼ばずに解除期間と稱してゐる所以である、本當の復員は太平洋戰爭が終つた場合に、初めて實施されるのでその際初めて英國は戰爭の基礎から平和の基礎に移ることとならう、陸軍省としては何れの兵士に對しても公正で且つ單純な解除計畫を用意してゐるが、政府から一定數の兵士を解除する旨通告を受ければ、出征地點の如何を問はず二週間以内に解除出來る仕組になつてゐる、但し、海外出征兵士が問題で長途の旅行を必要とするのに輸送が困難だ、何よりも兵士諸君に解除計畫に信賴して貰ふことが第一と思ふ」

△平和への難關、住宅問題

解除に關聯して住宅問題を取上げたのは保守黨のモリソン議員だ

「住宅地所の用意は極めて重大な隘路になつてゐるから、地所の設營を促進するに必要な技術員を卽時除隊させることを要求する、さもなければ假住宅が出來てもこれら住宅を建てる地所がないといふ不幸な立場に陷らう、ドイツ人俘虜には監督のためにフオアマン（頭）を付けなければ住宅の建設には大して役立つまい」

以上の質問に對してはウイリク保健相は年齡と出征期間とを基礎とする除隊計畫を攪亂すれば、兵士の間に非常な不滿を釀すだらうと述べ、優先扱ひを拒否してゐるが、專業相ダンカン・サンデースは住宅自體の建築が遲れてゐるのを棚に上げ

昭和二十年 五 月廿四日(木)
第 三 四 三 一 號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

「道路その他住宅を住み得るやうにする諸事業が整はなければ建物ばかり作つても何の役にも立たない、これらの事業を促進するのが肝要で必ずしも兵士の歸還を待たない、政府は以上の目的にドイツ人俘虜を使役する方針で、諸君は二週間以内にドイツ人俘虜が働いてゐるのを見受けることとならう」

と述べてゐる、住宅難は歐洲戰爭の終了と同時に愈々急迫した問題となつてゐるらしい、航空機製作相のサー・スタフォード・クリップスが最近ロンドンでの演説で述べる所によれば、サンデース事業相は五萬戸のアルミニューム假住宅を注文してゐるといふ、英國スタンダード自動車會社などは戰後經濟的基礎に立つて增產するため、八馬力乃至十二馬力の自動車を多量に生產して印度市場に賣り出すと景氣のいいことを並べてゐるが、英國内では勿論フランスその他歐洲各國で織物類が不足してゐるので、戰爭から平和へのトンネルは簡單に通り抜けられさうもない

△戰後處理四段階

歐洲戰爭終了に伴ふ英國當面の諸懸案については「バーズラー・ナハリヒテン」紙のロンドン特派員が五月十二日次の通り報道してゐる

「戰勝の喜びが退潮するとともに英國民の關心は逐次政治問題に集注されるに至つた、外交の分野においては關心はポーランド問題とドイツ今後の處分案に向けられ、復員、總選擧、戰時非常措置の撤廢並びに戰時機構及び戰時各省の解體が内政部面での重要な問題だ、ポーランド問題についてはスターリン議長がチヤーチル首相とトルーマン大統領とに對し、現在の基礎に立つて論議を續けるのは無意味だと通告したためにロンドン各紙とも交渉が袋小路に終つたことを認めてゐる、今後事態がどう展開するかは何人にも分らぬので勝利に醉うた英國民も全く裏切られた氣持だ、ドイツ處分については戰爭犯罪人の處罰、ナチ領袖の逮捕が興味を呼んでゐる、ドイツ領土の管理については四段階が考へられてゐる、第一が現在の聯合國の軍政、第二がドイツ政府の存在を容認する聯合國のドイツ管理委員會、第三が媾和條約の調印第四が占領軍の逐次撤收だ、しかし第一、第二の兩段階が數ケ年繼續すると豫想される、ドイツ領土に對するワルシヤワ政權の要求、ドデカネーゼ諸島に對するギリシヤ政府の主張、トリエスト港に對するチトー將軍の要請等はすべて媾和條約で決定されよう、總選擧については政界の一部では六月說七月說等もあるが秋に入つてからといふ意見も有力だ、勞働黨の閣僚が辭任して總選擧までにチヤーチル首相が中間内閣を組織するかどうかは今のところ全く分らない、しかし一ケ月前勞働相サー・アーネスト・ベヴインと情報相ブランデン・ブラツケンの論爭で、政黨休戰が終りを告げるのではないかと見られたのも今ではすつかり忘れられて了つた」

△總選擧論議いろいろ

總選擧の日取はチヤーチル首相の裁斷によつて極るといふのが「タイムズ」紙の議會記者が五月十二日の紙上で報道する所だ

「政界筋では總選擧の日取に關する觀測だが論議の焦點は夏の初めに總選擧をやるのが便宜か、秋まで延ばすのがいいかだ、勞働黨と自由黨とは獨自の立場で總選擧に臨む方針で出身閣僚は少くとも總選擧の六週間前に下野しよう、兩黨は秋の總選擧を希望してゐるが保守黨がもつと早く國論に訴へたいといふ意向だ、歐洲戰爭の終了前には總選擧の日取は勞働黨の辭任によつて自ら極るだらうし、しかも勞働黨としては戰爭終了後何週間も出身閣僚が閣中に踏み止るのに同意しまいと見られてゐた、しかしこの點は現在では餘り判つきりしない、勞働黨の議員連は聯立内閣の存續は何時議會を解散するかといふチヤーチル首相の決定に懸つてゐるといふ見方だ、假りに秋に總選擧をやるなら勞働黨出身の閣僚は二、三ケ月多分八月末まで聯立内閣に留任しよう、しかし夏の初めと極れば勞働黨閣僚の挂冠はすぐにも實現する譯だ、秋を主張する一つの論據は來年一月を有資格日付とする五月の登錄で總選擧を執行するのは不完全だとの見解だ、もう一つ大事な問題は東亞派遣軍が郵便で投票するといふのに夏の初めでは準備が間に合ふかどうかだ」

保守黨ではビーヴアーブルツク卿、ブレンダンブラツケン等喧嘩早い連中が六月選擧を主張し、勞働黨では左翼のアーネスト・ベヴインが遷延策に反對らしいが、勞働黨が聖靈降臨節にブラックプールで大會を開くことになつてゐるからその結果で形勢が分らう、當のチヤーチル首相は總選擧を急がぬといふ調子だ

以上のやうな點が英國政界の現狀において補缺選擧の結果が輿論の動向を示すかどうかは疑問だが、歐洲戰終了の最後に亘る補缺選擧の結果を次に列擧しよう

ミドルスボロー選擧區
ハーコートスミス死去の結果執行
D・C・T・ベネト空軍中將（自由黨）無競爭で當選

チエルムスフオード選擧區
マクナマラ死去の結果執行
E・R・ミリングトン空軍少佐（聯邦黨）
一萬六千票以上の大差で勞働黨候補を破る、新選擧名簿に基く最初の選擧で海外出征軍人の代理投票並びに歸國した英人俘虜も投票

ニユーポート選擧區
サー・レジナルド・クラーリ死去の結果執行、ベル海軍中佐（保守黨）一六四二四票で當選、ボブ・エドワーヅ（獨立勞働黨）一三七二二票

歐洲戰爭終了後最初の補缺選擧

資料

桑港會議より

ウオルター・リツプマン特別寄稿

「ストツクホルムス・チドニンゲン」五月十一日號

△二つの國際會談

サンフランシスコでは二つの國際會談が目下進行中である、大會議の方は大體世界機構形成に向つて相當進捗してをり、その間勿論解決さるべきものとして殘つてゐる重要問題も尠しとしないが何等か協定に到達させたいといふ一般の希望は明瞭で、協議は叡智と巧妙とで押進められてゐる、そしてダンバートン・オークスでの提案、原則を大して變更しないで相當程度これを改善することが出來たので、その基礎は少しもグラツかずに坐つてゐる

他方米英ソの三國會談では東ヨーロツパ特にポーランド問題が俎上にのぼされてゐる、チエコスロヴアキアとオーストリアに關する若干の意見の相違はうまく除去されたが、ポーランド問題討議の方は到頭行詰りになつてしまつた、つまりポーランド問題は從前もさうであつたやうに、最高の權威と最高の責任を有するもの以外の人達が取扱ふのには少し困難が大き過ぎるといふわけであるそしてこのことはポーランド問題が惡印象をつくり、ゲツベルス宣傳相を喜ばせるやうな雰圍氣を釀し出してしまつたとしても、もしさうでなければ事態を紛糾させてしまつたに違ひない筈のところ、反對に會談の主要任務には大して影響を與へなかつたのである、だからこそ代表のうち何人もこの會談に敢へて「魚雷攻擊」を加へるものなく何人も席を蹴つて國に歸り「和平ならんとする瞬間において聯合諸國と手を切り、新しき世界戰爭の種を蒔いてきた」と言明するものもなかつたのである

△波問題を繞る三國關係

モロトフ自身が、イーデンもステチニアスもモロトフがヤルタ協定を破棄して、現在の形のままで彼等にワルシヤワ政府を承認させることは出來ないといふことを知つてゐるのを百も承知してゐるし、それと同時にイーデンとステチニアスはまた、モロトフが彼等にはワルシヤワ政府承認を拒否することは出來るが、さりとて赤軍の後方に自分達のお氣に召した政府をデツチ上げることは出來ないことを知つてゐるといふことを十分頭に入れてゐるのだ、從つて新聞紙上には深刻な鬪爭であるかの如く取扱はれてゐたが本當のところは決して外に現はれたほど奧深いものではなかつたし誰もその憤懣を思ひ切りぶちまけるやうな眞似はしなかつた、大體ズブの素人外交官が事壞し屋でない限り、誰も彼も、ソヴエトにしろ米英にしろお互ひが他のものを壓服しようにも出來ないくらゐ強いし、且つまた何人かの外交官で解決出來なければ他のものが代つて何らか外交的取極めに到

昭和二十年 五 月廿四日(木)
第 三 四 三 一 號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

達しなければならないといふことを十分に承知してゐるのである、しかもこのところ、米英ソ三國のどれもあらゆる問題から手を引くわけには行かず、紛爭惹起の危險を冒すといふことも、これは夢想することすら出來ない場合なので、結局ポーランド問題についてこの外交折衝は續けて行かなければならない

△聯合國の隘路

つまり米國とソヴエトとの摩擦は、イデオロギーに基くものであり、乃至ボルシエヴイキの時代になつても往昔のツアー時代と同樣ロシア人にとつて仲々重要問題であるエチケットによるもので兩國の本音としては決してことの紛糾を欲してゐるわけではない、米國がアルゼンチン問題について自分の好きな通りの態度をとるのをソヴエトがどうも出來ないと同樣、米英にしたところでソヴエトにたいし、米英の希望通りポーランドを取扱へと强制するわけには行かない、如何なる國と雖も絶對的な世界制覇權を手中に收めてしまふほどには强くはないし、自分の提案を押返してしまふほどの力もない、各國勢力範圍の限度はその地理的位置と外的條件によつて自ら規定されねばならない、その限界を越えて向ふ側の問題となれば、折衝によつて相手を納得させることは出來るが、强制するわけには行かない、このみえざる現實を承認せざる外交政策は實に確乎たる基礎を有しないものと斷ぜざるを得ない

今やわれわれは現實の戰場において、ソヴエト軍とドイツ又はオーストリアで相會した、このことは同時に政策上においても絶對的に諒解に到達せねばならぬ時にたち到つたことを意味する、然らずんばわれわれはこの勝利を空しくすることとなり、ドイツを占領せる四ケ國が、ドイツの問題を相共に解決し得るだけの理智を有し鞏固なる性格と能力を有する人物の必要數だけ發見し得なければ平和に到達することも出來ないであらう

若し諸君がこゝ桑港會議に現れたところ——世界機構問題の進捗を考慮に入れて——を以て、聯合諸國の分割を策せんとするドイツの希望を判斷するならば、ドイツは失敗だつたといふことが出來よう、だがもしポーランド問題の行惱みを考へるとき、諸君はその頑固さと馬鹿らしさのため、ドイツに彼等の企圖がヒヨツトすると成功するかも知れないといふ一縷の希望を與へはしまいかと考へるに違ひない

聯合國にとつて自分の魂を救ふために何等かの危險を冒さなかつたやうな國民、乃至は各國民の家族的集りに顏出し出來るだけのことをしなかつた國民を、正しく且つ名譽を損せぬやう取扱ふことは容易のことではないドイツ人以外のものがドイツの名譽を取戻してやらうとしてゐるやうなとき、聯合國がどうしてドイツと名譽ある媾和を締結することが出來よう、ゲシユタポの力が强すぎてどうにもならなかつたなどといふのはナンセンスである、幾百萬のドイツ人はヒトラーのため悅んで命を投出したもので、ただ僅かに少數のものだけがヒトラーの統治を覆滅しようと試みたのだ波占領諸國の幾百萬の人々は敢へてゲシユタポと鬪爭するの危險を冒して、苦しめられ、殺戮されて行つたが、ドイツ國內ではこれに對する反抗は極めて微弱だつたし、分裂してゐた

△ドイツと波問題

是においてかドイツは聯合國にとつて主要問題となるのである、聯合國はドイツ國家の殘骸を占領し統治せねばならぬ、そしてわれわれがここで斷言出來ることは、若し列强が初めからこの大事業を相協力してやつてゆかなければ、ドイツ問題の解決は失敗に終るだらうし、その失敗の結果、聯合國は破局的な分裂に立至るだらうといふことである、この際唯一の希望は各國の一致にあり、その一致はまた、ただ最大の忍耐と確乎たる決意とをもつて互讓による協力を確立することによつてのみ維持出來るのである、ポーランドに關する協定は何としても到達されねばならない、しからずんばドイツに關する協定もまたあり得ないであらう、しかも聯合諸國の尨大なる大軍が、ヨーロツパの中心部において直接相接觸してゐるとき、ポーランドについて不和を生ずるが如きことは許さるべからざることである

「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙五月十五日號

△會議における米國の役割

桑港會議の紛糾からみて切實に知られることは聯合諸國の仲介者として、且つまたその統一勢力としての故ルーズヴエルトの役割を米國が引續き執行ふ必要があるといふことである、ルーズヴエルトは米國の戰力と彼自身の偉大なる人格及び權威とを以て、米國の獨立的地位を傷けることなくして、立派にこの仕事をやつてのけてゐた、だから彼の私的外交はその生きてゐた限りは成功だつたのである、彼が死んだ今となつては彼の意圖してゐたところを決定的政策に顯現する必要がありこれは米の指導者達が理解し、引繼ぎ得るはずのものである

桑港會議の主なる困難は、米國が仲介國としての中央的地位からズレてしまつたといふ事實に歸せらるべきであらう、この中央的地位からのズレの始まつたのは汎米問題討議のときからで、その時ロツクフエラーとステチニアスは、自ら甘んじてヨーロツパ大陸とソヴエトに對立するラテン・アメリカのスポークスマンであるかの如き立場に立つたのである、これはまことに不幸な事態といふべく、これによつて米洲内相互機構も、世界全體の機構も何等の利益を蒙らなかつたし、新全體會議が、强國の壟斷する安全保障會議に對立して、國際的な民主々義的振興機關となり得る機會をも減殺してしまつたのである、第一世界會談の席上二十票のブロツクに無暗と我意を押通させることによつて、西半球の一致團結を購はうとすること自體が無用の業である、この戰爭において同じく苦しみ、それに勝つため同じく貢獻するところがあつた諸國に對し、米國の隣人が考慮と適正な態度をとるより勸説し得るだけの力を米國は持つてゐるのだ、米國の本來の仕事はラテン・アメリカとヨーロツパとの中間に立つてこれを仲介斡旋するにあつた筈だ、ところがアルゼンチン問題では、米國はハナからこの役割を忘れてしまつたため、ダンバートン・オークス提案の中へチヤプルテペク協定を取入れるといふやうなずつと樂な問題の解決に際し、もう一度この役割に立返らうとして不必要な困難に際會せねばならぬことになつたのである、ポーランド問題でも斡旋者としてのルーズヴエルトの役割から外れてしまつたことが特に不幸であつた、大體ヤルタ以後における討議の内容は一向發表されてゐないが、これは當然明らかにさるべきものである、もしこの危險なるポーランド問題が、將來折にふれての宣言乃至はプレス・コンフアランスでのそれとなき言及の形で、公式に取扱はれるものならば、モスクワ、ロンドン及びワシントンから出されたすべての公文書をあまずところなく公表することが世界平和のためであらう

歐羅巴の將來と第三次世界大戰の危險

齋藤ストツクホルム特派員五月十四日發

ヨーロツパ戰爭は遂に終焉を告げた、戰爭犯罪人のナンバー・ワンとして聯合諸國の憎惡を一身に集めてゐたヒトラー總統は炎々と燃えさかるベルリンで壯烈な戰死を遂げ、ドイツ全土は米英ソフランスによつて分割、且つ占領される悲運に立至つた、ノルウエー、デンマーク、地中海の島嶼等に駐屯してゐたドイツ軍は既に降伏し、五年の久しきにわたつて爆彈、砲彈が物凄く炸裂しつづけたヨーロツパの天地にも、今は最早一發の銃聲さへ聞えない、全くのところ戰爭は終了し、平和が蘇生したのである、ロンドンでは教會の鐘々が戰勝の歡喜に鳴り響き、ストツクホルムでもまた兄弟國ノルウエー、デンマークの解放を慶祝する歡喜のデモンストレイションが行はれた、今やドイツの關する限りにおいては戰爭は全く幕を閉ぢたのだ

△戰勝に醉へぬヨーロツパ

しかしそれは果して眞の平和がヨーロツパの大陸に齎されたことを意味するや？　ロンドンからの情報によれば英國の政界筋には極めて暗澹たる雰圍氣がみなぎつてゐるといはれ、またストツクホルムの消息通はスエーデンの軍部に異常な緊張があることを指摘してゐる、英國が衷心から戰勝を謳歌し得ないのは理の當然かも知れない、何分にも英國は一方では依然日本に對し高價な戰爭を

昭和二十年五月廿四日(木)
第三四三一號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

繼續してゐるのだから、しかし如何なる理由でスエーデンが平和の克服をたのしみ得ないのであらうか？　ただにスエーデンのみにとどまらずして全ヨーロッパの諸國を擧げてドイツの降伏から生じた平和に陶醉することが出來ないのだ、一般の空氣はむしろ戰爭のさ中にあつたよりも一段と緊迫味を加へたかの觀さへある、このただならぬ形勢はそも何によつて招來されたか？　この回答は簡單明瞭だ、戰爭が決してアングロサクソンの欲せざりし狀態において結末をみたことによるのだ換言すれば、ある意味からかつてアングロサクソンの敵であつたソ聯が、今やアングロサクソンのヨーロッパ再建計畫に對する巨大な障碍として立塞がつてをり、兩强國の對峙がヨーロッパ戰爭勃發前よりも一層緊迫した形勢を招くに立至つたためである、實際、英國の宣戰は、ナチ・ドイツによつてヨーロッパの現狀が直接英國の生命線を脅かす方向へと變化したからであつた、英國としてはドイツのヅデーテン、オーストリア、チエコスロヴアキア占領は忍び得たけれど、ポーランドを侵略したときいては到底我慢がならず、自らの戰爭準備がいまだ整つてゐなかつたにも拘らず決然宣戰を布告したのであつた

△英國の戰爭目的

かくの如く、英國の戰爭目的はヨーロッパ大陸を自國の資本主義に好都合な狀態にいつまでも保ち、ヨーロッパを自己の勢力下にいつまでも置かんとすることに外ならなかつた、以上の目的があればこそ、英國は國家の生命を賭して敢へて戰端をも開いたのである、戰爭のはじめにおいては、ソ聯はポーランドの東半分、ベツサラビア、ルコヴイナを占領し、バルチツク諸國を侵略してゐたから、侵略者であり、とりもなほさず聯合國の敵でさへあつた、しかるにドイツが突如としてソ聯を敵とするに至つて、はじめて英國はかつての敵ソ聯と共同戰線を張り、共同の敵ドイツに拮抗したのであつた、さればこそ、共に天を戴かざる英ソ兩國が聯合關係を持續し得る唯一の理由は、彼らの共同の敵ドイツが存在することである、今やドイツが崩壞し去つてみれば、英ソの聯合關係が究極において決裂すべき運命にあると觀測することは全く正しい、しかし今なほソ聯がヨーロッパ東部の一社會主義國家としての戰前の地位のままであつたならば、それ程烈しい拮抗は英ソ兩國の間には決して生じては來なかつただらう、ヨーロッパ東部におけるソ聯の勢力は、英國の生命線に何等の脅威をも與へるものではないからだ、三年前の英國は、今日このやうなソ聯を想像してゐたかも知れない、しかるに現在のソ聯は實の所英國の希望したやうなソ聯とは全く似もつかぬソ聯である

△ソ聯の躍進

第一に現在のソ聯並びにソ聯勢力圈は、北部ノルウエー、フインランド、バルチツク諸國、ポーランド、オーデル河以東のドイツ領、チエコスロヴアキアの大半、オーストリア、ハンガリーの東半分、ルーマニア、ブルガリア並びにギリシヤの北部等を含むげにも廣大な面積である、尨大極まりなきこれらの地域の赤化工作は成功裡に且つ敏速に行はれつつあるといはれ、さらにフランス、スペイン、イタリア及びスエーデンの共產黨は日を追つて有力化しつつある、この事實は將にソ聯が今やヨーロッパ有史以來最强の國家であり、ソ聯の英國に對する脅威は到底ナチ・ドイツのそれの比ではないことを示してゐる

第二にソ聯は今次大戰を通じて自國の國際的地位を急激に向上せしめた、その國際的地位の躍進は明らかに米英を凌ぐ觀があり、ルーズヴエルト大統領もチヤーチル首相も過去の三巨頭會談ではスターリン議長と協議するためわざわざソ聯領乃至はソ聯の勢力下にある地域にいつも出掛けることを餘儀なくされた程であつた、ミユンヘン會談にさへ招請されなかつた戰前のソ聯の地位に引較べてうたた今昔の感に堪へないところだ

第三にソ聯はかかる强力な背景を楯に、米英にはいささかの妥協さへ示さぬ諸國に觸手を向けた念をおす迄もなく、ソ聯は、ポーランドに、はたまたユーゴスラヴイアに、また桑港會議の種々な提案に、常に主張を强引に押通して凱歌を奏してゐる、これ實にソ聯が今やヨーロッパにおいてア

ングロサクソンにとり、押しも押されぬ且つ險呑極りなき競爭相手たることの生きた證據である、ドイツと死闘をも敢て辭さなかつた英國が、このソ聯と協調し兩立し得る理由がない、全ヨーロラパを現在風靡する極度の不安動搖は不氣味な第三次世界大戰の見込から生じたものであり、大陸は今から既にその戰爭の恐怖に慄へてゐる

△第三次世界大戰不可避論

果して第三次世界大戰は起り得るや？悲觀的消息通は來るべき戰爭の理由として次の諸事實を擧げる

軍事上の見地から

一、ソ聯と米英の尨大な軍隊が常に顏をつき合せてゐることは最後に戰爭誘發の危險を常に孕むものである、信ずべき筋の情報によれば、ソ聯軍と米英軍とは現在相互に各自の占領地域に他方の出入することを拒否してをり、相互の偵察行動が頻りに行はれてゐるといはれる

二、ソ聯は既に對英戰爭を決意してゐるかの如くルーマニアのコンスタンタに巨大な要塞の構築を開始してゐる

三、赤軍内のソ聯の宣傳は「英國に備へよ」のスローガンの下に猛烈な活動に乘出してゐる、他方英國でもまた既に對ソ戰を覺悟してゐるといはれてゐる

政治的見地から

四、ウイーン政權の樹立、並びにワルソー政府がオーデル河東方のドイツ領をポーランド領たらしめるべき意思表示を行つた事實は、戰後ドイツの共同處分案の破壞的行爲であり、この點で米英の妥協は殆ど不可能とされてゐる

五、桑港會議におけるソ聯の提案はいたく米英の感情を刺した、就中植民地獨立、委任統治領の廢止を主張するソ聯の提案は米英に對する公然の挑戰とさへ考へられてゐる

六、ヒムラーの和平申入れと「東部戰線では戰ひ西部戰線では和議」といふデーニツツ新總統の宣言に現はれたドイツの政治方針こそ來るべき戰爭の危險を高めるものである

△樂觀論の根據

これに反し消息通の樂觀分子は下記の理由を楯に第三次世界大戰の可能性を否定してゐる

一、ドイツに對する聯合軍の勝利の最大理由は聯合軍に有力な爆撃機部隊が存在したためであつた、かくてこの爆撃機部隊に拮抗し得る爆撃機隊を持合はせてをらぬソ聯が新たに戰爭を始めることはあるまい

二、日本に對し高價な出血戰を行つてゐる米英がソ聯に挑戰することはあるまい、たとへ英國にとつてはソ聯攻撃の機會は米國の援助を期待し得る現在を措いては他に再び得難いとしても

三、戰爭に疲れ切つたために、双方とも新たな戰爭を回避せんとする機運が頗る濃厚である

△結　語

かく説き來れば、悲觀樂觀の矛盾撞着する兩觀察はいづれも現在のところ正鵠を得てゐる、たとへ致命的可能性があるにせよ、いつ如何なる時機に新たな戰爭が勃發してくるか全く豫斷を許さぬものがある、現在斷言し得る一事は、全ヨーロツパが第三次世界大戰の危險に兢々としてをり、雰圍氣は極端にまで緊張してゐることだ、この意味から來るべき三大國巨頭會談は曩のミユンヘン會議にまさるとも劣らぬ重要性を帶びてゐると考へざるを得ない

【軍事情報】

F13A寫眞偵察機

（リスボン二十日發）デイトン（オハイオ州）來電＝ライトフイールドの陸軍航空技術補給本部は現在日本々土の寫眞偵察を行つてゐるB29の改裝寫眞偵察機の正式呼稱がF13Aなる旨發表した、F13Aは火力、速度等B29と變らず、燃料槽が大きくなつた結果脚は長くなつてゐる、カメラ裝備は地圖作成用の三面撮映裝置一基、特定目標物撮映用のカメラ三臺で、一回の偵察に五千枚を撮映する、乘員は正規の十一名に寫眞技師二名を加へて十三名である

昭和二十年五月廿五日(金)
第三四三二號

同盟通信 海外電報

(118)

「大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎　東京都豊島區日比谷公園二番　社團法人同盟通信社

【目次】

聯立內閣遂に解體……一四五六
一轉政戰の巷と化す……〃
桑港會議英代表辭任……〃
表決手續承認……〃
エジプト案否決……〃
北アイルランドで總選擧……〃
デーニツツ政權もはやなし……一四五七
米、自由貿易を强調……〃
ステチニアス華府で言明……〃

【桑港會議】

侵略定義憲章に挿入せず……一四五八
コナリーの釋明……〃
信託統治問題大いに紛糾……〃
桑港會議の最大危機……〃

【歐洲戰後處理問題】

デーニツツ政權の消滅近し……一四五九
米英佛公使館の再開を希望……〃
ソ聯、丁と國交再開……〃
赤軍式チエコ軍を創設……一四六〇
赤軍スエーデン公使館に手入れ……〃
駐丁獨公使引渡さる……〃
勃二十九名を死刑……〃
ド・ブリノンら逮捕さる……〃
フアシスト領袖逮捕……〃
親獨瑞典人の黑表を作製……〃
カリタス射殺……〃
米英軍司令トリエスト乘込み……〃

【西亞】

佛帝國主義を非難……一四六一

【米洲】

ヴインソンの措置に反對……〃
米國の人口……〃
ハワイ沿岸警備隊司令……〃
ジヤクソン、倫敦へ……〃
米議員手當一人當り二千五百弗……〃

【軍事情報】

米、損傷空母の修理を急ぐ……一四六二
米戰艦損傷……〃
驅逐艦五十隻の行方……〃
米第一軍太平洋へ……〃
B24生産を誇示……〃

【特輯】

その後に來るもの（下）……一四六三

【資料】

決戰は今後にあり……一四六七
ドイツ學童再教育……一四六九
「ワシントン・ポスト」紙論調……一四七〇
「ニユーヨーク・タイムズ」紙論調……〃

世界の動き

チヤーチル首相は遂に聯立內閣を解體し議會の解散を斷行した、一九三五年十一月十四日の總選擧で故チエムバーレンを首班とする保守黨が三百八十七名の壓倒的多數を制して以來、正に十年振りの選擧戰だ、歐洲戰爭の開始とともに各政黨が政治休戰を公約し、チヤーチル首相が一九四〇年五月十日故チエムバーレンに代つて內閣を組織するとともに、フロント・ベンチで頻りに故チエムバーレン首相の微溫政策を攻擊して來た勞働黨の領袖が入閣し、玆に擧國一致の體制が出來上つたのだが、六、七ケ月前から社會保險法案や住宅政策、印度政策を繞つて保守黨と勞働黨との對立は漸く表面化するに至つた、殊に勞働黨の執行委員會にエマヌエル・シンウエル、アヌーリン・ベヴアンら、新時代の闘士論客が勢力を占めるに及んで聯立內閣の名はあつても最早實體は存在しなくなつたといつていい、總選擧の日取に關するチヤーチル首相とアトレー副首相のやりとりも以上の客觀的情勢のもとにおいては寧ろ必然の歸趨にほかならない、勞働黨の領袖サー・アーネスト・ベヴインもモリソンも今度の總選擧こそは英國憲政史上最も重大な轉機だと稱してゐるが、東亞反攻作戰を「强力」に遂行するといふ點では勞働黨も保守黨も完全に意見が一致してゐる筈だから、總選擧の爭點は內政部面だ、要するに非常大權法に基く戰時の統制經濟機構を維持し强化するか、それとも出來るだけ速に自由主義に立ちかへるか、玆に社會主義とトーリズムとの根本的對立を見ることが出來よう、しかし英國人の多數が依然として社會主義政黨に對し何となく警戒氣味なことは確かだし加ふるに存亡の淵から英國を救つたチヤーチル首相の勢望が相當ものをいふだらうから、總選擧の結果依然として保守黨が多數を制するとみて差支へないのではなからうか、しかし今度の戰爭ですつかり國力を消耗した英國が自由主義華かな時代にかへり得ないことは數字を一瞥すれば明らかだ、勞働黨の主張する計畫經濟策はこの意味で最も力强い論據を持つてゐるといへよう、記して英國政戰の推移を待つと云爾

聯立內閣遂に解體

（ストツクホルム二十三日發）ロンドン來電＝英國首相チヤーチルは二十三日正午、バツキンガム宮殿に伺候、國王ジョージ六世に拜謁して辭表を提出した、首相は午後再び國王に拜謁したが、後ダウニング街十番の官邸からチヤーチルが後繼內閣の組織を委囑された旨發表された

一轉政戰の巷と化す

―六月十五日議會解散―

（ストツクホルム二十三日發）ブラツクプールにおける勞働黨大會を契機として英國の政界は急轉回を遂げ、チヤーチル首相とアトレー副首相との往復三回に及ぶ書翰交換の結果チヤーチルは二十三日正午、バツキンガム宮殿に伺候して聯立內閣の辭表を提出午後、再組閣の委囑を受けるに及んで保主々義と社會主義との對立を繞る政戰の幕はここに切つておとされるに及んだ、チヤーチル首相は六月十五日をもつて議會を解散する旨宣言、總選擧は七月五日乃至七月十一日をもつて擧行される段取である

內閣總辭職の結果戰時內閣の閣僚のうち、アトレー副首相、モリソン內相並びに勞働相サー・アーネスト・ベヴインの三名は辭職、他にドールトン商相等勞働黨出身の閣僚は悉く辭職するのでチヤーチル首相は保守黨を樞軸としての總選擧終了までのいはゆる「世話人內閣」（ケアテーカー・ガヴアンメント）を組織する豫定だが、新內閣には保守黨出身の他藏相サー・ジョン・アンダーソン陸相サー・ジエームズ・グリツグ等の官僚出身復興相ウールトン卿、供給相サー・アンドル・ダンカン並びに戰時運輸相レザース卿等財界人も留任すると見られるから、恐らく元閣僚ホア・ベリーシヤ、ウオルター・エリオツト等を起用して二十九日聖靈降臨祭休日明けの議會には、チヤーチル首相は新內閣の顏觸れを揃へて臨むこととならう

現在英國下院の議席は六百四十だが、既に保守黨は六百二十八名、勞働黨は四百六十八名、自由黨は百九十九名の候補を立て他に無所屬六十名、共產黨二十二名の候補が出てゐるが、政戰の幕が切つておとされた結果、合計約二千名の各黨候補が六百有餘の議席を爭つて鎬を削ることとならう以上既に名乘りを上げた候補者數に徵しても明らかな通り保守黨並びに勞働黨の政戰工作は相當進んでゐたのに反し、自由黨は立ち遲れの狀態にあり智囊サー・ウイリアム・ビヴアリツヂ敎授を幹事長としての選擧工作を推進しようとも頽勢挽回は期し難く、結局政戰は「企業自由の旗幟をメーン・マスト高く揭げる」保守黨と重要產業の國營を主張する勞働黨との抗爭として展開されよう

桑港會議英代表辭任

（リスボン二十三日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議英國代表五名は二十三日首相チヤーチルの挂冠の後を追つて辭表を提出した、但しハリフアツクスのみは、英國の全權代表として殘つてゐる

表決手續承認

（リスボン二十三日發）サンフランシスコ來電＝新國際憲章における國際機構總會の表決手續並びに會期に關する部分は、臨時總會に關する規定を若干明確にした以外ほとんどダンバートン・オークス案のままが二十三日の專門委員會において承認された

エジプト案否決

（リスボン二十三日發）サンフランシスコ來電＝信託統治制委員會は二十三日、米國の太平洋基地獲得を封ぜんとするエジプト修正案を壓倒的大差をもつて否決した

北アイルランドで總選擧

（ストツクホルム二十二日發）ベルフアスト來電＝北アイルランドの議會は二十五日をもつて解散するが、首相ベイシル・スタンレーク・ブルツクは六月十四日總選擧を行ふことに決定した旨二十二日發表した

昭和二十年五月廿五日(金)
第三四三二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

デーニツツ政權もはやなし

(リスボン二十三日發)パリ來電によれば、アイゼハワー司令部は、デーニツツ政權並びにドイツ軍最高司令部の全員を捕虜として拘禁してゐる旨二十三日發表したといはれる、目下拘禁されてゐる者は將校三百名、文官數名だが、ロイター通信社は以上の發表を解釋してつぎの通り報じてゐる

デーニツツ政權並びにドイツ軍最高司令部の全員を拘禁狀態に移したとの發表はドイツ軍最高司令部よりもデーニツツ政權の文官の地位に重大變化が齎されたことを意味するものだ、ドイツ軍司令部は全員は降伏以來、公式には捕虜として扱はれてをり、聯合軍兵士の監視下にある捕虜收容所において聯合軍司令部の命令を受けてドイツ軍の武裝解除を圓滑に進めるに必要な役割を果してゐる、但しデーニツツ政權の文官閣員の地位は多少變則だ、彼等は聯合軍司令部の必要とする役割を果し得るとも考へられてゐないし、また實際に果してゐない、にも拘らず彼等はナチ政權の唯一の生存者であり、かつドイツにおける唯一の自由人でもあるが、けしからぬことは降伏後一週間といふものフレンスブルク放送を通じてナチ宣傳を續けてゐた、彼等の地位が變則な理由はここにある

デーニツツ政權の文官閣員といふのはクロージツク外相、シユペーア軍需生産相その他を指すものだが、今回拘禁された結果デーニツツ政權は名實共に機能を停止したことになり、極端な言ひ方をすればもはや公式には存在しない譯だ

米、自由貿易を強調

(リスボン二十二日發)デトロイト來電によれば米國務次官補ウイリアム・クレイトンは二十二日デトロイトの經濟倶樂部で米國の對外經濟政策の基調は經濟的自由主義にありとし、通商の自由を强調したといはれるがその眞意が自由貿易主義による米國の對外市場獲得にあることはいふまでもない、クレイトンの演說要旨次の通り

若し世界が第一次大戰から今回の大戰に至る間に展開されたやうな經濟戰爭を行ふならば、政治的軍事的平和の維持は漸て崩壞するであらうわれわれの對外經濟策は發展した世界經濟といふ概念の周圍を廻つてゐる、發展した世界經濟の下においては世界の原料、資源及び通商にたいして各國とも自由にかつ平等に接近し得るのであり、これによつて各國間における商品並びに勞務利便の交換は一層促進され、生産、消費は增大し各國民の生活水準は一層高められるのである

米國の繁榮は世界の他の部分における情勢から獨立してはあり得ない、われわれは賣るべき物資を持つてゐるしこれらの物資を必要とする購買者もまたある譯だ、かくて問題は支拂ひにあてるべき弗をどうするかといふことになる、わが國の消費者は自分の有する物資と勞務利便をもつて支拂はねばならないが、彼らが餘剩の生産をなし得るやうになる前に先づその生産施設を復舊し發展させなければならない、從つて數年間は以上の如き方法によつて支拂ふことは出來ないだらう、支拂ひ手段の一つは國際復興開發銀行の權限によつて與へられるであらう、國際通貨基金は通貨價値の安定に對する基本的要素であり、これは兩大戰の中間期間におけるが如き經濟幾多の再發を阻止することを目的とするものである

更に國際復興開發銀行は投資と生産企業を容易ならしめるであらうが、これは何も私的貸與に取つて代ることを意味する譯ではない、債務國の問題を解決するには通商上の差別を撤廢し物資の國際的移動に對する過度の障壁を除去することが何よりも肝腎だ

ステチニアス華府で言明

(リスボン二十三日發)ワシントン來電=二十二日夜サンフランシスコからワシントンへ空路歸還した國務長官ステチニアスは二十三日、大統領トルーマンと桑港會議問題並びに「世界情勢を繞る廣汎なる諸題目」について協議したる後、次の通り發表した

大統領トルーマンは近くサンフランシスコに赴き聯合國安全保障會議の最終全員會議において挨拶する、その日取は決定してゐないが、恐らく六月初旬であらう

【桑港會議】

侵略定義憲章に挿入せず

（リスボン二十二日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議安全保障理事會强制措置委員會は、二十一日夜侵略の定義を國際憲章に挿入するといふ案を投票により否決した、二十二日朝同委員會第一分科委員會第三專門委員會委員長エクアドル代表エンリケスから次の通り發表した

侵略行爲が發生したる場合、定義乃至實例に賴ることなく自由に侵略行爲と決定し、侵略者を決定することを安全保障理事會に委ぬべきかに關しては長時間討論せられ、漸く終了した、憲章は侵略行爲に關し、もつと明確な言葉を含み特に理事會が直ちに行動を起すべき種類のものについて定義すべきだとする運動は破れ去つた投票數は明かにされてゐない、ダンバートン・オークス案は侵略行爲並びに侵略者に對し措置をとる權限を理事會に與へてゐたが侵略とは何であるかについては全く論じてはゐなかつたのである

コナリー釋明

（リスボン二十二日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議代表上院外交委員長コナリーは二十一日夜法曹協會で次の通り述べた

四十九ケ國もの國家が世界安全保障機構に關する新憲章の如きを作製するため參集すれば見解の相違が起るのは當然であるが、かつて一七八七年夏フイラデルフイアで米國憲法が制定された當時囂々たる論戰の後遂にこれが制定をみたと同樣、今回の新憲章も各方面からの歩み寄りが結晶して成立することが望ましい、現在會議においては新憲章の一章、一節、一語に對しても愼重な推敲が加へられてをり、四十九ケ國代表は見解の相違歩み寄りに努力してゐる

信託統治問題大いに紛糾

（リスボン二十二日發）サンフランシスコ來電＝國際信託統治制の問題はスタツセン委員會の作製した基準文書に獨立の時期を挿入するか否かに關しソ聯、重慶對米英の對立を生じ頻りに揉めてゐるが、委員長フレーザーの言明によればこれに關しては二十二日米國側の或る程度の讓歩によりかなりの歩み寄りが可能になつた模樣で、次會の委員會卽ち二十三日午後三時三十分から開催される委員會にはスタツセンから再び新しい修正案が提出されるものと見られてゐる、一方國際信託統治制を利用して太平洋の戰略的島嶼基地を新國際機構の國際的支配の下に自動的に編入しようとする新提案が現れて、米英兩國の基地獲得の野心と對立することになつた、卽ち二十二日の委員會ではエジプトから前大戰後の委任統治領を新聯盟の管理下に置かうとする修正案が出たのである、これに含まれるのは米國が血と鐵量の犧牲の下に獲得した權利だと主張するマーシヤル、マリアナ、カロリン等の太平洋諸島が含まれてゐる、米國はこの信託統治制において何よりも太平洋基地の支配權を確保したいと望んでゐるのに對し、エジプトの新修正案は少くとも六票の贊成投票を有してをり、委員會の基本としてゐた全信託統治理論を覆し、「保有國の同意ある場合にのみ諸地域を世界機構の管理下に置く」といふ原案を殆からしめるのである、委員會席上においては米國を代表してスタツセン、英國を代表してクランボーンが痛烈に反對した

この問題の表決は他の諸問題の前途にも大いに關係しよう、これこそ國際信託統治の革新に影響する重要な問題であるとスタツセンはいつてゐる

桑港會議の最大危機

（リスボン二十二日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議を二分する拒否權問題は二十二日いよいよその最大危險に近づいた、中小諸國は五大國と最後の決戰を演ずべくその全勢力を動員し專門家たちは國際憲章において諸大國に與へらるべき拒否權の解釋に關する意見の相違を拂拭すべく努力した、係爭點は

五大國のすべては一般に承認されてゐる軍事手段による實際行動にたいする拒否權以外に國際安全保障理事會の調停活動及び平和解決の措置を阻害する權限を有すべきや否や

昭和二十年五月廿五日(金)
第三四三二號
同盟通信 海外電報 (第二種郵便物認可)

【西亞】

佛帝國主義を非難

(リスボン二十二日發)ド・ゴール政權が武力をもつて威嚇しつつレヴアント地方の經濟特權とシリアの飛行場、レバノン港灣使用を要求したのに對し、シリア、レバノン兩國政府は敢然一蹴したが、AP電報によればフランスの帝國主義的攻勢に斷乎反對する學生は二十一日ベイルート、ダマスカス、アレツポの各都市で示威運動を敢行、フランス駐屯部隊と隨所で衝突多數の死傷者を出したと傳へられる、シリア、レバノン兩國に對しては、西亞各國からの同情と支持が翕然と聚り、特にアラブ聯盟のごときは兩國の屈押しをする決意を固めた樣子でカイロ來電によれば聯盟書記長ベイは二十二日

アラブ聯盟は場合によつては緊急大會を招集して必要の手段を講ずる決意である、回教世界の輿論は飽くまでも自由と民族自決を支持すると聲明、更にエジプト首相ノクラシーもシリア、レバノン兩國の獨立を保護することとこそエジプトの最大の希望であると言明したといはれる、また在英印度聯盟は二十二日シリア、レバノン兩國大統領に檄文をおくつて

フランス帝國主義の挑發的侵略行動を斷乎跳ね飛ばせ

と激勵、問題は極度の紛糾を豫想されるに至つた

【米洲】

ヴインソンの措置に反對

(リスボン二十一日發)ワシントン來電=戰時動員局長官ヴインソンは最近餘剩となつた政府所有の原料資材を諸會社に割當てる際は一九三九、四〇、四一の三ケ年を通じての實績に基いて實施する旨指令したが、民主黨上院議員ガフイーは二十一日上院において戰爭期間中に規模を增大した會社もありヴインソン今日の措置は不適當なる旨指摘、次の通り述べた

餘剩原料資材を大小會社の現狀に卽し平等に割當てるのでなければ全國的に大混亂が招來されるであらう

米國の人口

(リスボン二十二日發)ワシントン來電=人口調査局は二十二日次の通り發表した

最近の出産率上昇で米國內人口增加を見、本年一月一日現在における人口總數は現在服務中の米軍將兵を含み一億三千八百九十五萬五千四百六十九名となり、最近五年間に五・五%增加してゐる、一九四二年下半期の出生者は四十八萬一千名で一九四〇年以來の記錄である

ハワイ沿岸警備隊司令

(リスボン二十二日發)フイラデルフイア來電=米國第四海軍區當局は二十二日次の通り發表した

沿岸警備隊フイラデルフイア地區司令大佐ユーゼヌ・コフインはハワイ島沿岸警備司令に就任するため近くハワイへ向けて出發する、ユーゼヌ・コフインは一九四〇年ペンシルヴアニア東部、ニュージヤーシー南部を含む第四海軍區の沿岸警備司令に任命され、爾來ドイツ潛水艦の脅威除去に當つてきた

ジヤクソン、倫敦へ

(リスボン二十二日發)ワシントン來電=陸軍省は二十二日大審院判事ジヤクソンがドイツの主要戰爭犯罪者の告訴問題について完全な取極めを結ぶためロンドンへ出發した旨發表した、ジヤクソンは米英ソ三國によつて支配される國際軍法會議の檢事に任命されてをり、ゲーリング、デーニツツ等のドイツ首腦は何れも右軍法會議で處斷されるはずである

議員手當一人當り二千五百弗

(リスボン二十二日發)ワシントン來電=米國上院歲出委員會は二十二日上下兩院議員に對する手當を一人當り年二千五百弗とする法案を十一票對四票を以て可決した、但し右は所得稅の對象とはならない旨規定されてゐる

【軍事情報】

米、損傷空母の修理を急ぐ

（リスボン十九日發）ニューヨーク來電＝去る三日十九日太平洋戰で、日本航空部隊の猛攻に遭つて大損傷を蒙り、辛うじてニューヨークに逃げ歸つた米航空母艦「フランクリン」については海軍當局はニューヨークの海軍工廠で修理を急いでゐる旨發表したが、右に關し第三海軍區當局は十九日次の通り言明した

「フランクリン」の修理は現在までのところ滿足に進捗してゐるが、これが完了するまでには今後どの位かかるかわからない、いづれにしても出來るだけ早く再び戰列に加へたいものだ

米戰艦損傷

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝米國海軍省は戰艦「ニュー・メキシコ」（三萬三千四百噸）が去る一月六日米軍リンガエン灣上陸作戰掩護に當り日本航空部隊の爆撃により損傷を蒙り艦長並びに乘組員二十七名の死者を出した旨二十日發表した、同艦はその後眞珠灣で修理を施され再就役してゐるが日米開戰當時は大西洋水域で行動した

驅逐艦五十隻の行方

（ストツクホルム十九日發）英國は一九四〇年、大西洋の英領島嶼と交換に米國から五十隻の老朽驅逐艦を讓渡されたが、英國海軍が今次大戰中如何にこれを使用したか、AP通信記者は十九日ロンドンから左の通り報じてゐる

五十隻の驅逐艦のうち既に九隻は作戰で失はれたが殘る四十一隻は約五ケ年に及ぶ戰爭の間立派に戰鬪用艦艇としての役目を遂行し、依然就役中である、これら驅逐艦の大半は第一次大戰中建造され、ドイツが宣戰布告をしたときは既に廢艦となつてをり、英國の造船所で改修を施さねばならなかつた、しかし使用して見ると十分戰鬪の役に立ち、英國がドイツの逆封鎖を受けて殆ど絶望と見られる情勢に立至つたとき米國との連絡をつけることに役立つたのであるこれら驅逐艦は奇襲攻撃に危險なムルマンスク航路における船團の强行突破掩護に、またノルマンデー上陸戰等に活躍したほかドイツの潛水艦約十二隻を撃沈するといふ戰果を擧げてゐる、現存する四十一隻のうち九隻はソ聯に貸與され七隻はカナダ海軍が使用してゐるといふことで殘りは大西洋や英國近海で行動したり沿岸巡航の任務に服して船團護送に當つてゐる、敵から最初に撃沈されたのは「ウエルズ」一、七〇〇噸（英海軍で「キヤメロン」と改名、以下同）で一九四〇年一月一日、ドイツ潛水艦の魚雷攻撃の犧牲となつたのであつた、最後の犧牲は、「スウエーシー」（一、一九〇噸「ロツキンガム」）で一九四四年九月二十七日大西洋で沈沒した、また「メーソン」は一九四一年十月十八日「ブランチ」は一九四三年四月十一日それぞれ大西洋でドイツ潛水艦を撃沈した後沈沒し、殘る五隻の喪失艦は「サツターリー」、「マツコール」、「ビユカナン」、「ホープウエル」及び「マクツク」で、右のうち「ビユカナン」（「キヤンベルトン」）は一九四二年英海軍がフランスのサン・ナゼールを攻撃したとき閉塞艦に使用された

米第一軍太平洋へ

（リスボン二十二日發）ワシントン來電＝米陸軍省は二十一日次の通り發表した

第一軍は米國經由で歐洲から太平洋へ向ひつつある、對日戰における第一軍の師團、兵團は對獨戰におけるそれと必ずしも同一ではないが歷戰の部隊並びに將兵はドイツに對して加へたと同樣の痛撃を日本に加へるためホツジスの指揮下にあつて戰ふことにならう

B24生産を誇示

（リスボン二十一日發）ニューヨーク來電＝デトロイト市郊外ウイロウ・ランのB24「リベレーター」重爆撃機工場當局は二十一日同工場の生産能率を誇示し左の通り發表した

ウイロウ・ラン工場のB24生産高は豫定よりも二百三十ケ月分先廻つてをり、五十五分に一機づつ完成してゐる

昭和二十年 五 月廿五日(金)
第 三 四 三 二 號

同盟通信 海外電報

(第三種郵便物認可)

特輯

その後に來るもの (下)

—英國の社會・政治・外交—

長谷川才次

△ナチ黨員閉出し

外交の分野においてはデーニツツ政權の性格に關する論爭、これと關聯してドイツ處分の具體策ポーランド問題その他に關するソヴエト聯邦との關係等が英國政府當面の重要な懸案に違ひない、ドイツ處分が如何に苛酷且つ嚴重かは五月五日付の「タイムズ」紙外交記者の報道からも窺ふことが出來よう

「中央管理委員會が愈々任務を取上げ主要聯合國が協議した諸施策を實施する時が近付いた、委員會の當面してゐる問題は一九一八年當時のそれと性格を異にし範圍は更に尨大だ、當時聯合軍は一部の小地域を除いてドイツ本國内に侵入してゐなかつたし、本國は殆ど爆撃を受けてゐない、政府の行政機構は存續してをり、運送機關は動いてゐたし全聚落が分散して了つたやうな例は全然なかつた、しかるに今日ドイツ本國は尨大な混沌である、政府はなく行政機構は粉碎され産業は廢墟と化し民は四散した、管理委員會に英國代表として誰が出るかはいまだ公表されないが、アレキサンダー元帥が、モントゴメリー元帥かの何れかだらう、米國代表はアイゼンハワー元帥である、委員會こそはドイツ統治の本當の機關として聯合國の諸政策の實行を保障する責任を負ふ、委員會の本據をベルリンに置くかどうかは未だきつてをらず廢墟と化した首都が依然どの程度まで、各般の便宜を提供出來るかを測定した後に極まらう、ドイツ政府を樹立しようといふ意圖は今のところ全然ない、管理委員會が命令を出しドイツ人が命維れ從ふまでだ、委員會のもとに機關乃至部門を設置するが公的、經濟的と次のあらゆる樣相がその支配下に入る、これらの機關は恰も各省のやうなものでその上に委員會直屬の最高機關を置き各機關事務の調整に當る、英國の擔當部門は十分準備が出來てをり特に外務省のカークパトリツクとカービー陸軍少將とが機構の立案に力を入れた、既に大規模な陣容も出來てゐる、工作機械統制官パーシー・ミルスが經濟部門の首班だが、この部門はドイツ再軍備防止の重大任務を擔つてをり、特に化學工業などは極めて嚴重な管理を必要とするわけだ、ルール地方のやうな工業地帶をどうするかはいまだ極つてゐない樣子だが、何らかの形式で國際管理に付さうといふので話合ひが進んでゐる、戰後ドイツ人の生活指導に關聯してドイツ人の再教育が委員會の最も重大な任務だ、適當な教員を選定し教科書を改訂し新しい精神を注ぎ込まなければドイツ國民の新たな世代が平和を實踐する見込みはない、愈々近くドイツ國民の民生指導を擔當する人々はドイツ人の心意を改變することが如何に困難かを十分心得てゐる、米英ソ佛四ケ國の占領地帶はいまだ極つてゐないが、現實の行政運營にはどうしてもドイツ人の協力を求めねばならず、ナチ黨員を完全に締め出すのが極めて重大な問題の一つだ」

△分割占領に小國も參加

ドイツ領土の分割占領については大體作戰終了當時の現狀を基礎とすることは疑ひないが、細目に亙ると問題續出でいまだ仲々本極りにならぬ樣子だ、もつとも首都ベルリンについては桑港會議におけるフランス代表團の言明として「エキスチエンヂ・テレグラフ」社の傳へるところによれば赤軍司令部が必要な手續を終へると同時に米英ソ佛四國の他の點については同社のロンドン電報は五月十一日次の通り報道してゐる

「ドイツ領土の占領に米軍は約四十萬、英軍もほぼ同數の兵力を殘す方針らしい、ソ佛兩國の占領軍兵力については今までのところ確かな情報がない、占領地帶についても明確な取極めはいまだ出來てゐないが、大體現在の線に準據することとならう、例へば英軍はワイマール地方から撤收するが、キール、リユーベツク兩市を維持しカイゼルウイルヘルム運河の兩國を押へることとならう、エルベ河西方への米第九軍の撤收は既に開始された、その他の聯合各國軍は特別の地域を擔當せず

にドイツ領土の占領に參加する見込みだ」

小國の參加に關聯して英國政府は早くも巧妙な手を打つてゐる、「ダーゲンス・ニヘター」紙のロンドン特派員は五月十六日の報道で曰く「英國政府は英軍の占領地帶に參加して貰ひ度いとの希望をベルギー、オランダ、ノルウエー各國軍に申入れた、白、蘭兩國は既に右申入れに應じたといふが、ノルウエー政府は本國歸還の上で決定する豫定だ、以上英國政府の措置については西歐洲ブロックに關する交涉開始の前提とみる觀測がロンドン外交界で有力だ、英國政府はさらにデンマルクをも右交涉に參加させたい意圖かも知れない、然し白蘭兩國とも應諾の條件として、先づ英佛兩國政府に話合が纏らなければといつてゐるので現在ロンドン、パリ間で進められてゐる交涉が最も重要だ、同時に英國政府としてはドイツ西北部の占領軍を出來るだけ限定したいので各小國に接近したのであらう、しかしフランス軍の占領地帶は元來主として米軍の占領地帶に屬する地域から成つてゐるので、米國政府は小國に對して同樣な接近を試みてゐない、また英國政府筋ではソヴエト政府が、チエコスロヴアキア、ユーゴスラヴイヤ兩國に對し、赤軍占領地帶に參加するやう要請すれば、トリエスト港やオーストリア領土の一部に關するユーゴスラヴイヤ人の焦燥感を取除くことが出來ようと洩らしてゐるが、ソヴエト政府が兩國にかかる招請を出した樣子はない、チエコスロヴアキア政府筋では、國內の復興事業が大變だから必ずしもドイツ領土の占領に參加したいとは思はないが、各小國が參加するといふことになれば問題は尖銳化すると述べてゐる、ワルシヤワ政權とソヴエト政府との取極めによれば、同政權は一部ドイツ國內の地域の行政を擔當することになつてゐるから、當然ポーランド軍も赤軍の占領地帶の一班を擔當することとならう、オランダ軍の兵力はまだ分らないが、いづれにせよ白蘭兩國軍は特定地區を擔當せず、英軍司令の下に占領に參加するとみられる、數ケ月前ベルギー外相がロンドンを訪問した際、フランス軍の占領地帶のために自國がドイツ領土並びに歐洲各國との經濟關係を遮斷されては困るからといふので、英國政府に對し時定地域に割當てを要求した」

△米英ソ三國の暗鬪

しかし根本的な難問は小國の要求ではない、米英ソ三國が各占領地帶をどうして統治するか相互の聯絡如何だ、それに關聯してデーニツツ政權の地位が問題化した譯だ、「ダーゲンス・ニヘター」紙の特派員は更に次の通り報道してゐる

「チヤーチル首相の聲明のうちで、ドイツ領土の管理について聯合各國政府間に協定が出來たといふ一說が最も重要視されてゐるが、一切の難關が克服されたと信じてゐる人はひとりもない、一方において米英兩國、他方ソヴエト政府が、夫々の占領地帶に對し如何なる原則を適用するか未だ判つきりしない、三頭會談までは明確な聲明は出まいか、各占領地域の境界線に拘らずドイツ國內の食糧を輸送し分配しようとの計畫が進められてゐるといふし、ソヴエト政府はモスクワにおける自由ドイツ委員會を占領地帶の行政に參劃させる方針だといふが確報ではない、英國政界筋が懸念してゐるのは、ソヴエト政府が赤軍の占領地帶を隔離して、獨自の行政施策に出はしないかといふ點だ」

△ドイツ人の自治

現在の軍政から中央管理委員會の統治に移る時期についても種々議論が岐れてゐるらしいが、いづれにせよドイツ軍を全部引付け俘虜の問題を處理してから後のことだらう、デーニツツ政權の地位、換言すればドイツ國內に幽靈政權（Shadow Government）を容認するかどうかに關聯し、物議を釀したのは「ドイツ人の自治」に關するチヤーチル首相の言明だ、「チユーリツヒヤー・ツアイツング」紙のロンドン特電は次の通り述べてゐる「ドイツ國は十日夜半過ぎ一分を以て存在しなくなつたといふのがロンドン各紙の見解だ、現在ドイツ國內では聯合軍の軍政府が國軍の最高權威を揮つてゐるのだから、英國政界筋でも同樣な解釋に傾いてゐる、しかし「タイムズ」紙の外交記者が示唆してゐるやうに、ドイツ國內に幽靈政權が結成されるか「デーリー・テレグラフ」紙の主張してゐる通り差し當りドイツ國內には何れの政

權も存在しないかどうかは現在未解決だ、チヤーチル首相が「ドイツの指名された指導者」と呼んだデーニツツ元帥の立場も明らかでない、デーニツツ元帥が依然指導者として機能してゐるのか、それとも同首班のもとに幽靈政權が存續してゐるのか、消息筋でも分つてゐない、しかしドイツ軍の降伏が純粹に軍事に限られてゐることだけは明らかだ、チヤーチル首相の言葉を基礎として解釋すれば、デーニツツ元帥は參謀總長ヨールド將軍に降伏文書調印を命ずる權限を持つてゐたといふこととならうが、しかしデーニツツ政權が承認されたといふことにはならない」

チヤーチル首相を初め英國人一般はかかる國際法上の訓話の學にはあまり興味を持たぬ筈だが、問題を大きくしたのが五月十一日フレンスブルクからのブツシユ元帥の放送だ、元帥は右放送で「デーニツツ元帥の命令により、英占領軍の同意のもとに余はシユレスウイツヒホルシユタインとモントゴメリー將軍麾下の英軍が占領した地域を接收する」

と述べたから耐らない、英國の言論界は一齊に喚き出して眞相の糾明を要求するに至つた、五月十三日の「オブザーヴアー」紙など特に詳細論評を加へ、聯合國筋で否定しない所を見ればブツシユ元帥の言明は公權的に違ひないとの前提から次の通り論じてゐる

「事件の含意は重大だ、ブツシユ元帥の權限は無條件降伏の技術的に必要な所を遙かに越えてゐる若し聯合國が今回の言明を確認するならば、元帥は聯合國の管理下とはいへ完全に軍政民政の權限を接收した結果とならう、しかもデーニツツ元帥の命令に基くといふのだからデーニツツ元帥は間接にドイツ國の元首といふことになり、ドイツ人は次の推論を下すだらう

一、ドイツ國は依然存續してゐる
一、デーニツツ元帥は元首として認められた
一、聯合國はアムゴツトのもとにドイツ人の地域的政權樹立に同意した
一、これ等地域政權の權限はデーニツツ元帥から出てゐる
一、ドイツ要人がこれら政權に參劃することに聯合國は異議を挾まない

△策のない無條件降伏

ブツシユ元帥は嘗つて第十軍司令として東部戰線で活躍し、恐らくソヴエト政府では戰爭犯罪人の一人として引渡しを要求するかも知れぬといふのでチヤーチル首相も慌てたに違ひない、十四日附「タイムズ」紙の報道によればデーニツツ元帥が依然として元首であるかの言動を弄し、ブツシユ元帥がその命令に基いて占領地帶の一部を接收するといふ混亂狀態を判つきりさせる爲、首相は至急訓電を出して前線の「關係當局」に說明を求めたといふ、その上ゲーリング將軍がつかまつた後カメラに收めそれがロンドン各紙に揭載されたといふので、一體ナチ要人をどう扱ふ氣かといふことが國際法上の理論を離れた現實の問題として英國政界で取上げられるに至つた、無條件降伏の方式がドイツ處理の現實にぶつつかつて破綻を暴露したとも解されよう「スヴエンスカ・ダグブラデツト」紙のロンドン特派員は五月十四日次の通り報道してゐる

「ゲーリング元帥を餘り穩かに取扱つた米軍將校に對するアイゼンハワー將軍の嚴重な譴責は、大いに待望されてゐた公式宣言だ、歐洲戰爭の最終段階に當つて占領地帶における監禁ドイツ人乃至市民が、英國人の考へによれば敗者にあるまじき挑戰的態度に出た例が可成り多いといふので、英國の輿論は少からず懸念瞠目してゐた譯だ、今や兩國民は何等相互的理解もなしに相對立してゐる聯合國は樞軸國一切の無條件降伏を要求してゐるがドイツ人は實例を知つてゐる、イタリア政府その他樞軸各國の場合には政府機構が全體として存續し從來の要人が國政に參酌してゐる、從つてほぼ同樣の扱ひがドイツ人にも適用されるだらうと考へるのも無理がない、ブツシユ元帥が「デーニツツ元帥の命令により英軍の同意のもとに」聲明したのも、同じ理由に基きドイツ國民は特例だといふことがわからないからだ、將來の紛糾を避けるには聯合國の政策を闡明する必要があらうが、こゝまつたことに無條件降伏の方式が實際にはどう運營されるのか、聯合國筋ではたれもわかつてゐない點である、ハロルド・ニコルソンは最近、無條件降伏の方式を無思慮不用意なヤンキー式文句

だと扱き下したが、ドイツ人吏僚の力を全然借りずにドイツ全國を統治することは不適當否殆ど出來ぬ相談だとわかつたから、聯合國の一致した企畫政策を阻害しないやうな方法でドイツ人の協力を求める方途を至急工夫しなければならない、この問題はドイツ將來の問題全般と關聯してゐるだけに最も重大だ、英國政府筋の見解も混沌として具體的な訓令はまだ出來てゐない」

デーニツツ政權の地位に關しては、聯合軍最高司令部でルシウス・クレー中將が記者團と會見し不承認政策を闡明したので一應落着したが、一面大西洋憲章においては民族自決の看板を揭げたり他面カサブランカ方式で無條件降伏を主張するルーズヴエルト大統領の「不用意無思慮なヤンキー的」心性は「一杯の土未だ乾かずして」悉く馬脚を露はして了つた、老獪なチヤーチル首相が最近の特にルーズヴエルト頓死後の演說で一回も無條件降伏といふ言葉を使つてゐないのも故あるかな

△三巨頭會談に一縷の望

ドイツ處分案乃至ドイツ領土の分割占領について、いろいろな困難がもち上つてゐるばかりでなく、ポーランド問題は桑港會議を機會にイーデン外相とステチニアス國務長官とが何遍もモロトフ外務人民委員と交涉を重ねるが、交涉は袋小路を一步も出ることが出來ない、そこへもちあがつたのがトリエスト港に對するチトー將軍の要求だ、情勢は相當重大化してゐるので改めて三巨頭會談を開催する以外に當面打開の道はない

「ストツクホルムス・チドニンゲン」紙のロンドン特派員は五月十四日次の通り報道してゐる

「ロンドン新聞界は一週間に亘る勝利の週間の後重大な聽取をとるに至つた、歐洲各地からもサンフランシスコからも、時ならぬ情報が櫛の齒を抜くが如くに入つてくる、事前に各聯合軍の占領地帶を畫定してゐなかつたので、オーストリア國內の情勢は逐次尖銳化し、ユーゴスラヴイア政府はトリエスト港の他にカリンチア地方をも要求してゐる、ブルガリア軍も同時にフオルスバーグを占領し、イタリア國境線の東北に位するオーストリア領土內の情勢は混沌たる有樣だ、目下モスクワ、ロンドン、ワシントン並びにベルグラード間に大急ぎで交涉が進められてゐるが、同時にサンフランシスコからの情報も悲觀的で會議に强力な指導がなく、有力な代表が相次いで立退つたために、會議が龍頭蛇尾に終る公算が大きい、「デーリー・メール」紙のアンカラ特電によれば、ソヴエト政府は恐らくトルコ政府に對し

一、ダーダネルス海峽に關する新協定の締結
一、黑海岸における一港灣の割讓
一、コーカサス地方に關する國境の修正

等を要求するだらうと報道してゐる

△米英ソ關係は新段階に

ソヴエト政府の自主外交に驚いた米國の言論界は早くもソヴエト聯邦との戰爭について論議してゐるといはれるくらゐだが、氣の早いヤンキーの先走つた見方は暫く措くとしても、米英ソ三國の關係が歐洲戰爭の終了を轉機として新たな段階に入つたことは蔽ふべくもない、「エコノミスト」紙はソヴエト政府が自國を目標とする西歐洲の聯合に對抗するために、バルト海からステテイーンベルリンを經、トリエスト港においてアドリア海に達する氷河防衛線を構築しようとしてゐると述べてゐるが、チトー將軍が米英兩國の壓迫に一步も讓らずユーゴスラヴイア軍は四月三十日にトリエスト港に入つたのに、ニユージーランド軍は五月三日になつてのこのこやつてきたではないかと揶揄でも動かない强腰を示してゐる態度にクレムリンの獨裁執政が糸をひいてゐることは炳として明らかだ、今まで口を開けば必らず赤軍の嚇々たる業績にお世辭を並べたチヤーチル首相が五月十三日夜の放送演說において、全然ソヴエト政府の業績にふれなかつたのは英ソ兩國關係の冷却を示してゐるのではなからうか、「デーリー・ワーカー」紙は十四日の紙上において端的にこの點を指摘し「ソヴエト聯邦に關する首相の言葉は從來のやうな溫味をもつてゐない」とのべてゐるが、更に問題になつたのはチヤーチル首相が右演說において「自由と民主主義と解放との歪曲」に關して警戒せねばならないと說き更に轉じて「西歐洲から隱者の如く封印された領域において不健全な沈默の裡に遂行されてゐる奇異な行政司法並びに宣傳」

昭和二十年五月廿五日(金)
第三四三二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

を指摘した事實だ、「マンチエスター・ガーデイアン」紙は以上の一節こそ首相の演説の基調だと說き、「デーリー・メール」紙は「首相今回の演說のうちには意味深長な字句が多く、武力政策の復活に言及した箇所は特にしかりと論じてゐる

△權謀外交の錯綜

以上のただならぬ形勢に英國の新聞界は數日來頻りに三頭會談の開催を要求し、チヤーチル首相並びにトルーマン大統領は公然會談に參加する用意ある旨を述べてゐるが、スターリン議長は「隱子の如くに」默して語らない、三頭會談を必要とする歐洲國家の諸問題は殆ど枚擧にいとまがないといつてもいい位だ、ポーランド問題、ドイツ領土の占領並びに管理、戰爭犯罪人の處罰、貸與制度の將來、オーストリア臨時政權、トリエスト港その他に關する領土に關する紛爭等々だ、從つて英國の言論界が喧しく三頭會談を要求するのはむしろ當然なことだが、實際には背踏みの段階を出てをらず、三頭會談がベルリン附近で開催される事だらうなどといふ「エキスチエンヂ・テレグラフ」紙のワシントン電報などは會談促進のための側面工作に他ならない、眞僞の程は分らないが、「サンデー・デスパツチ」紙の報道によれば、チヤーチル首相は最近、スターリン議長との間に親書を交換したが、お互ひにクリミヤ宣言の違反をせめあふといふ醜態を演じたと傳へられる

三國會談が果して開催されるかどうかは、專らスターリン議長の方寸にかかつてゐると解されるが、歐洲戰爭終了の後に來るものは米英ソ三國の虛實を交へた權謀外交であることだけは間違ひない

資料

決戰は今後にあり

ハンソン・ボールドウイン

「ニューヨーク・タイムズ」紙五月二十日付

マリアナから西北方の沖繩および支那沿岸にかけて、また北方の日本本土へかけての中部太平洋地區は、現在太平洋戰爭の主戰場であり、おそらく今後もさうであらう

各所に島嶼の點在するこの海空戰場は、沖繩に見られるやうに苛烈な地上戰鬪に彩られてゐる、この地區においては、益々增大する米軍基地が對日決戰のために準備されつつあり、またこの地區の上空においては、米軍航空機、水上部隊、潛水艦が日本周邊の效果的封鎖を開始しつつあると同時に、米軍機は日本の諸都市を爆擊してこれを廢墟と化せしめてゐる

現在マリアナは對日戰のための主なる海空前進基地である、太平洋の小島は對日大爆擊を行ふためには小さすぎるといはれてきたが、しかし技術の寄與は既に對日空襲に五百機の巨人爆擊機を出擊させるに足りる施設をマリアナだけに設營したのである、またわれわれが最近獲得した三つの島のうち一つの島の飛行場だけでも、八百機の超要塞機を行動させるに十分な廣さがあると報道されたのである

このことは、マリアナ基地からだけでも、やがて一千機の「超爆擊機」を頻繁な定期性をもつて對日空襲に出擊させ、一回の空襲におそらく五千乃至八千噸の燒夷彈と爆彈とを投下することが出來るやうになるだらうことを意味するものである更に日本本土に戰鬪機をもつて行動し得る硫黃島がマリアナ基地を補助するだらう

△航空基地としての沖繩

沖繩だけでもマリアナの三つの基地のいづれにも劣らず、遙かに大きな飛行場施設を提供するであらう、したがつて、一千機乃至二千機の超要塞機あるひはそれより多數のB24またはB17を歐洲から移送して使用するための基地群を、この島に建設しようといふのは、決して不當ではない、しかも、沖繩は日本本土から、僅かに三百二十五哩の距離にある、マリアナ基地は一千四百五十哩である

しかし沖縄の戰鬪はまだ終了してゐない、米軍地上部隊は今尙艦砲射撃、艦載機の支持を必要とする、多數の上陸用舟艇および補助艦艇は沖縄の沿岸堡沖合に密集して、上陸部隊に對して大量の補給と增援部隊とを供給しつづけなければならない

△**日本の抵抗增大せん**

敵の防禦形式は敵の戰略の雛型である、日本海軍は現在著しく縮小され、日本航空兵力も確かにその峠を越したけれども、われわれが中部太平洋地區において更に水陸兩用作戰を行ふならば、執拗にして且つ强力に保護された地上部隊の抵抗に遭遇するであらうことは斷言することが出來る、何故かといへば、日本軍は太平洋戰爭全體を動かしてゐる一つの環——卽ち船舶——の上に全力を集中し、出來るだけ多數の米軍艦船を擊沈破することによつて、彼らの抗戰を繼續し、米軍の補給任務の困難を增大させ得るといふことを知つてゐるからである

それにも拘らず、中部太平洋地區の戰爭は日本の玄關先で行はれてをり、包圍と空襲との時期が開始されてゐるのである

△**西南太平洋方面**

この方面の大部分は、すでに聯合軍の侵攻したところとなつた、しかしながら、聯合軍は連日殺傷を受け、恐るべき日本軍守備隊は今もなほ多數の島嶼を確保してをり、强力なる基地推進計畫を持つてゐる

フイリピンにおいては、有力な敵の抵抗に對して作戰が續行されてをり、特にルソン島ではかなりな規模の掃蕩戰がのこされてゐる、ルソン島その他の島に對しては歐洲から移送される軍隊、飛行機、裝備が使用されるであらう

フイリピンからも日本封鎖作戰が行はれつつあり、南支那海經由の敵の輸送は著しく切斷されてゐる

ボルネオ沖のタラカン島侵攻をフイリピンから行つたことは、蘭印奪還のための行動の一つとして止まるものではない、それはわが艦船のための石油供給源を作戰地域の近くに獲保するであらう

更に南方では、甚しく廣汎な掃蕩作戰を濠州軍が行ひつつあり、ニューギニア、ソロモン方面にとり殘された日本軍の相當の兵力にたいし、既に著しいしかし遲々たる成功がみられた

△**北太平洋方面**

この方面の最近における作戰は、千島列島にたいする空襲および水上部隊の攻擊と、武器貸與法に基く飛行機のアラスカ經由による對ソ聯供給とに限られてゐる、しかし間もなく新たに重大な行動の行はれる兆候が示されてゐる、アリューシャンには大飛行場が準備されたから、B29あるひはB32がこれを基地として新しい方向から日本爆擊を行ふことになるだらう

△**印度および支那方面**

印度洋方面では、英軍のビルマ侵攻は掃蕩作戰の段階に達した、この作戰を完了するために、この戰域における英軍の最近の增援部隊および歐洲から移送される軍隊の新展開は、廣汎な作戰を開始するであらう

支那方面——支那方面における聯合軍が最近いくぶん改善されたことは同方面の情勢が徐々にではあるがしかし決定的に立直ることを示唆するものである、政治的情勢はまだ悪いし、戰略的情勢も根本的には變化してゐない、日本軍は今もなほ支那沿岸の大部分、主要交通線の大部分および滿洲から印度支那に至る陸上廻廊を制壓してゐる、しかしビルマ方面で戰つた支那軍——およびおそらくは米軍戰鬪部隊——並びに共產軍を監視してゐた軍隊の一部を、日本軍と對峙する戰線に移すことにより、航空兵力を一層活潑ならしめるであらう、すでに補給狀態の改善はいくらかの成果を示し初めてゐる

米軍および支那軍に對する補給は增大しつつあるが、支那と支那における作戰とは太平洋戰爭の主流からはまだ立遲れてをり、東海岸の港灣が占領されるまでは立遲れたままであらう、この方面は二十個師團乃至それ以上の日本兵の軍靴の下に依然として抑へられてゐる

△**日本軍はなほ强力**

太平洋各方面の戰線の情勢は、戰略的にみれば日本が戰爭に敗れたことを意味するものであるがしかしわれわれはまだ勝利を獲得してゐない、日本の海軍に與へた打擊は大であり、日本の航空兵

昭和二十年五月廿五日(金)
第三四三二號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

力は下り坂である、工場はすでに破壊され、あるひは破壊にさらされてをり、本土諸島に對する封鎖は開始されてゐる、潜水艦および若干の封鎖突破船を除いては、日本本國とマレー、蘭印の重要な石油、ゴム、キニーネその他の原料資源地帶との間の海上輸送は、米軍のフイリピン占領によつて切斷されるに至つた、沖繩と臺灣とは無力化された、米軍の潜水艦、飛行機、艦船は日本の軍事的潜勢力——航空、船舶、裝備及び軍需品——を弱めつつある一方、米軍の戰力は增大しつつあるしかし日本の大陸における態勢はまだ重大な脅威を受けてゐない、日本の占領した南方に對する海上輸送路は、支那を通ずる地上廻廊によつて補はれてゐる、日本本土列島にある工業は疎開をした、日本の工業全體に大きな部分を占める滿洲のそれは增强されつつある、そして何よりも日本の地上部隊は、米軍が與へてゐる損害以上に迅速にその規模を增大しつつある、西に向つて萬里の波濤を越えた米軍の背後には、ウエーキからニューギニヤに至る間に散在する孤立した島の守備隊には約二十萬の日本兵および蘭印とフイリピンとに更に數千の日本兵が殘存してゐる

換言すれば、太平洋の決戰はまだこれからである

ドイツ學童再教育

「ニューヨーク・サン」紙五月十六日

コロンビア大學付屬師範校の教科書庫から歐洲遠征聯合軍司令部の民事班に對しワイマルがドイツ精神文化の中心地であつた時代に使用されてゐたドイツ教科書二百二十七種類が提供されてゐるが、同校の情報によればドイツ學童をヒトラー以前の時代の線に沿つて再教育する計畫は一年以上も前から既に米軍當局によつて樹てられてゐたといはれる、同校が入手した報告によるとこれら初等學校並びに中等學校用の教科書＝占領地域の學校が再開した曉には廣く讀まれるものであるが＝はドイツにおける聯合軍軍政當局の指導のもとに幾千部となく續々印刷されてゐる、師範校當局は右に關し次のやうに語つた

△教科書再檢討の要

ドイツでは一九三五年以前學校で使用してゐた教科書がヒトラーの命令によつて全部燒かれた、ために米軍政當局はヒトラー政權の崩壞後ドイツ國內にはヒトラー前の時代の教科書が先づ殘つてゐないことに十分氣附いてゐた、故に軍政當局は米國內においてドイツ教科書を求めたのである、しかして師範校に蒐集されてゐた世界の到る處の代表的教科書五千種類の中から一千二百種を見出した、軍政當局は一九一八年から三三年の間に發行された教科書を求めてゐたが、その中には昔風のプロシヤ軍國主義的材料が多分に含まれてゐたため全部が受入れられる譯には行かなかつた

教科書の一つ一つが愼重に檢討される必要があつた、それは子供讀本にある極く單純な物語でさへも戰爭宣傳に聯結がある恐れがあつたからだ、地理、歷史の教科書多數には國家主義、並びに帝國主義的思想が見受けられ、科學の教科書には民族優越說が多量に含まれてゐた、ドイツの教科書は地域的に編纂され、また配布されてゐたが、ウイーンで印刷され、オーストリア領で使用されてゐた教科書が他よりも遙かに好ましかつたことが調査員の注目を引いた

△最適な教科書

結局使用に最も適した教科書が二百二十七種類に縮小され、更に八類目に分類された、卽ち四類目はドイツ領に適したもの、三類目はオーストリヤ領で使用されるもの、殘りの一類目は雜で以上七類目に含まれてゐる教科書の代用として適當な科目並びに等級で使用し得るものである

一九四四年七月、二百二十七種類の教科書は寫眞複製のため撮影され、原本なら箱六箇を要するものを三十六粍フイルム二十六卷に壓縮されて映畫フイルムだけを航空郵便により歐洲に輸送された、二百二十七種の內七十六種は複寫紙に普通の大きさで複製され、更に八種類卽ち讀本三種、綴方三種、並びに初步讀本二種は原本のまま歐洲に送られたがこれら全部は既に異狀なく師範校に返還されてゐる

「ワシントン・ポスト紙論調」

五月十六日

△三巨頭會談の水準

大統領トルーマンは十五日の記者團會見席上、三巨頭會談が近い時期に開催される可能性を仄めかしたが、時期及び場所には言及がなかつた、ソ聯と英國、ソ聯と米國の間に廣汎な各種の諸問題について深刻な意見の相違が存在する事實は、不可避的に三巨頭會談を必要としよう、然し、三巨頭會談開催に先立つて、再びヤルタ會談より生じた誤解を繰返へさざるやう前以て適當な準備を講ずることが望ましい、就中、次の三巨頭會談で最も必要なことは、會談の討議があらゆる物をあらゆる人々に（もつともソ聯と米英とでは非常に異るが）といふ調子の高い普遍性の水準から、正確な諸條件の水準に引下げることである

△信託統治の正體

ポーランドに對するソ聯の態度を理解するには太平洋諸島に對する米海軍の態度を知ればよい、卽ち、ソ聯はモスクワに追從する獨立ポーランドを欲し、米海軍は信託統治の義務を背負ひこまない太平洋諸島の信託統治を欲してゐる、米海軍のかかる僞善の理由は、大西洋憲章の「不併合」條項承認以後、その戰略的見解に變化を生じたからである、このために米國の國際信託統治案提案前に米側代表團の討議には微妙な點について意見の分裂があつた

△トリエスト問題

米英兩國政府は全く迅速果敢な協同動作に出てユーゴスラヴイヤのチトー元帥に對し、トリエストは來るべき平和會議において所屬決定をみるまで聯合國の共同管理下に存置する旨を明らかにしたチトー元帥一派はイタリアの獨軍降伏後トリエスト占領によりトリエスト市及びその周邊地域の管理を主張し初めたが、これには若干の理由により反對があつた、すなはち

（一）チトー軍がイタリア戰線に參加した當時、イストリア半島は既に明らかに聯合軍の管理下に屬してゐた

（二）トリエストにおけるユーゴスラヴイアの既成事實は、隣國の犧牲において自國の擴大を企圖せんとする國の一方的行動に辯明を與へる結果となる

（三）ユーゴスラヴイアのトリエスト併合は大西洋憲章の侵犯になる

トリエスト及びイストリア半島の最後的處置は今次戰爭によつて注目の焦點となつたその他の國境問題設定と共に平和會議に殘さるべき問題で、これは歐洲の混亂を防ぐ唯一の方法である

「ニューヨーク・タイムズ」紙論調

五月十六日

△獨去勢に苦肉の案

獨陸海軍の將軍をドイツの無條件降伏宣言に使用するだけでなく、今後のドイツ統治に利用すべしとの意見が出てゐる、第一次大戰後のごとくドイツに民主々義的非軍人政府を置くよりは、獨軍の降伏を維持するといふ目的のためにはかかる軍政府を置いた方が政策的に遙かに賢明である、かかる軍政府は不可避的に降伏の負擔を擔ふため、初手からドイツ國民に民主主義を僞瞞する將來のヒトラーの出現を防止するに役立つであらう、しかし全獨軍の降伏と武裝が完了した曉、デーニツツ政權が引込むべきは勿論である

△ジヨンソン法の支持

大統領トルーマンは十五日の記者團會見で、現在の情勢から見てジヨンソン法の精神を支持すると言明した、しかしジヨンソン法が今日の情勢に應じた目的並びに米國の諸政策には全く矛盾したものであることは議論の餘地のないところだ、米政府は、ブレトン・ウツヅ協定その他により今日歐洲の再建を援助し、米國の諸産業に有利な國際通商の諸條件を再生するための各種提案を行つてゐる際中である、歐洲の信用できる借手に健全な投資をすることは現在明らかに必要である

（大正十五年十月廿日第三種郵便物認可　編輯發行人　田中正太郎、東京都麹町區日比谷公園二番　社團法人　同盟通信社）

昭和二十年　五　月廿六日（土）
第　三　四　三　三　號

同盟通信　海外電報

アレキサンダーはオーストリアに軍政を布告した、また、米英ソ三國關係に新たな問題が持ち上つた

オーストリアには既にソ聯がお膳立したレンナー政權が存在するが、アレキサンダーが立法、司法、行政の三權を悉く手中に收めた結果、レンナー政權は名實共に權力と機能を喪失し、ソ聯はオーストリアに對する先制作戰によつて獲得した發言權を喪つたわけだ

勿論今回の措置に出るまでにはソ聯と交涉を濟ましたと思はれるし、ソ聯も一應應諾したであらう、しかしながらそれをもつてオーストリアを繞る三國關係は調整されたといふことは出來ない、否ソ聯の歐洲自主政策に對する米英の反擊には、更にソ聯の痛烈な逆襲が當然豫想される

ポーランド問題、チエコのソ聯衞星化、バルカンにおけるソ聯の「奇怪な地下工作」トリエスト紛爭に加へて、今回のオーストリア問題と米英ソ三國の關係は愈々もつて多事多端だ

歐洲戰の終了以來ソ聯の外交政策に對して米英の反擊が急速に露骨化したことは既に何人も氣付いてゐるところだ、勿論米英ソ三國を結んだものはドイツ打倒の共同目的であり、この目的が達成された今日三國を結ぶ絆は一應消滅したわけだがドイツと戰つてゐた間は戰爭中ばかりでもなく戰後もソ聯との協力を矢鱈に誓つてゐた米英が掌を返したやうにソ聯を公然と攻擊し非難してゐるのも恐らく現實的な必然であらう

何故か？　言ふまでもない、戰後における歐洲のソ聯化を恐れるためだ、英國がソ聯に關する限り急に保守政策に歸り、米國が傳統的なソ聯離隔政策を採り出したのもそのためだ、してみれば米英は歐洲戰が終るや否やまづ外交において反ソ十字軍の口火を切つたことにはならぬだらうか

【目　次】

オーストリア軍政樹立……一四七二
ソ聯との關係調整に腐心……〃
ヒムラー内相自殺……一四七三
【桑港會議】
殘る五%が難問題……一四七四
會議の費用百五十萬弗……〃
【西　亞】
レヴアント代表佛に抗議……〃
レヴアント保護は佛の義務……〃
英、イラク關係の强化も考慮……〃
近東の物情騷然……一四七五
パレスチナ送油管を爆破……〃
【トリエスト問題】
外交折衝續行……〃
【歐洲戰後處理問題】
ヒムラーの行方依然謎……〃
兩元帥の對英移送を否定……〃
米軍ツアイス工場を使用……〃
獨捕虜の一部を釋放……一四七六
俘虜の歸國は後まはし……〃
エルベ河機雷除去終了……〃
シユライヒアー捕はる……〃
【歐　洲】
調査團の斡旋要請を拒絕……〃
諾國王布告……〃
【米　洲】
内閣の一部改造……一四七七
海軍航空局長更迭……〃
デンマーク公使を任命……〃
歐洲救濟に關する大統領の書翰……〃
歐洲向輸送船に歸還命令……〃
中米聯邦案實現か……一四七八
食糧對策に腐心……〃
合成ゴム工場能業……〃
太平洋の兵員空輸……〃
【特　輯】
桑港會議週間報告……一四七九
イタリア政界動く……一四八二
【資　料】
ダンバートン・オークスから桑港へ……一四八三
B29に協力する科學部隊……一四八五
米國の歸還兵學校教育計畫……一四八六

オーストリアに軍政樹立

（ストツクホルム二十四日發）ロンドン來電＝地中海方面聯合軍最高司令官アレキサンダーは同軍のオーストリア進駐に伴ひ二十三日オーストリア國民に對して次の布告を發した

地中海方面聯合軍はオーストリアの全域を占領した、ドイツ軍國主義とナチ支配を一掃する、余の麾下軍隊の占領した地域内における立法、司法、行政の最高權限は余の手中にある、よつて軍政府を設置して余の指揮下に以上の權力を行使せしめる職務と行狀によつて十全な協力を行はぬ個人乃至團體は直ちに嚴罰に處せられるアレキサンダーは同時に次の布告を發した

米英ソ三國はオーストリアが自由を回復し再び獨立にかへることを希望する、しかしながらオーストリアは參戰の責任を負はねばならず、オーストリアが自國の解放に寄與した程度において最後の決算が行はれる

オーストリアには既に民政機關としてソ聯の支持するレンナー政權が存在するが、アレキサンダーの軍政布告によつて同政權は事實上機能を喪失するわけで、將來オーストリアの覇權を繞つて米英ソ三國間に熾烈な葛藤が早くも豫想されてゐる

ソ聯の關係調整に腐心

―特使、ロンドン、モスクワに―

（リスボン二十四日發）ドイツ軍の無條件降伏とともに米英ソ三國の關係は極めて微妙な動きを示し、特にソヴエト政府の自主的外交施策に米英兩國内には不安と疑念が持上るに至つたが、以上の情勢に鑑み米國大統領ハリー・トルーマンは二十三日特使をモスクワに派遣して國交の調整を圖る旨發表した、特使は同時にロンドンにも派遣されるが庸才、元モスクワ駐劄大使ジョセフ・デーヴイスを選任したことに徴しても英國政府との交渉が全く僞裝に過ぎぬことは明らかだ、特使派遣に關するホワイト・ハウスの發表内容次の通り

ハリー・ホプキンスは大使アヴリル・ハリマンとともにモスクワに赴き米ソ兩國間の交渉案件について、スターリン元帥と會談を遂げるに決定した、一方ジョセフ・デーヴイスは直接ロンドンに赴き英國首相チヤーチルその他英國政府の閣僚と戰爭に由來する米英兩國共同の利害に關する一定事項について檢討を加へよう、勿論特使のロンドンにおける工作が同地の米國大使館の工作と一體をなすことは、ホプキンスの工作がモスクワ駐劄大使館の工作と一體をなすと同樣である、兩特使は國際政局に廣汎な經驗あり兩人が特に今回の任務に適してゐることを大統領は確信してゐる、兩特使はワシントンに歸任とともに親しく經過を報告するであらう

△ソ聯の自主外交に釘

特使のうちホプキンスは既にモスクワに向け出發しデーヴイスもまた近くロンドンに行くが、ホワイト・ハウス發表の辭句に徴しても、英國との交渉が共同戰線の強化にありクレムリンとの折衝がソヴエト政府の自主外交に釘を打つ意圖に出てゐることは想像に難くない、ルーズヴエルトの頓死以來新大統領トルーマンのもとにソヴエト聯邦に對する米國の外交施策が從來御機嫌取り一點張りから幾分自主性を取り戻したとは外交界一般の觀測だが、今回の特使派遣に關聯しワシントンからの電報は

ソヴエト政府との親善關係に重點をおく米國の外交政策が依然變りがない一證左だ、ホプキンスこそは一九四一年八月モスクワに赴いて武器貸與を提案し米ソ兩國親善の基礎を拓いた人物だ

と述べAPのロンドン特派員ジョン・ハイタワーはサンフランシスコから次の通り報道してゐる

米國政府は今日毅然且つ友好的な交渉によつて歐洲戰爭の廢墟の裡に聯合國の效果的な世界機構の基礎が存在することを實證しようとしてゐる特使派遣の本當の意義は玆にあり、現在の國際政局で最も重大な手筈はヤルタ協定に基きポ

昭和二十年五月廿六日(土)
第三四三三號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

ーランド國内に民主主義政權を樹立することだ、ホプキンスの主要任務がスターリン元帥との直接會談により、ソヴエト政府と米英兩國との交渉行詰りを打開するにあるといふのが外交界一致の觀測だ、特使が使命を果し得るか否かで三頭會談の開催が極まらう

△三頭會談「片思ひ」

要するにハリマン大使がポーランド紛爭の解決に手を燒いてワシントンに歸還、トルーマン大統領と協議した結果窮餘の一策としてホプキンスが助け舟に乘り出したわけだが、米國の言論界が特使の派遣で三頭會談は流産したとの觀測を流布したため、大統領の新聞祕書チヤールズ・ロスは二十四日記者團との會見で

三頭會談については目下開催の工作が明確に進められてをり、特使の派遣は三頭會談に代位する譯ではない、但し三頭會談の目的とか場所はいまだ分らず細目は英國總選擧の結果によつて影響を受けよやと語つた

三頭會談についてもチヤーチル首相並びにトルーマン大統領が頻りに乘氣を見せてゐるのに對しクレムリン宮の執政は絕對默して語らず、會談の計畫が今までの所米英兩國の「片思ひ」に終始してゐることは明らかだ、米國政府としては以上スターリン元帥の獨往外交に對し、一方特使の派遣によつて眞意を打診するとともに他方貸與協定を好餌として外交上における讓歩を買取らうとする算段らしい

△外交の奥の手、貸與協定

ワシントン來電によればトルーマン大統領は二十三日記者團との會見で次の通り述べたと傳へられる

歐洲戰爭の終了とともに貸與制度が目下全面的調整を受けてゐる、しかし貸與制度が廢棄される譯ではなく將來とも世界平和に最もよく寄與するやうな方法で持續されよう、ソヴエト政府は日本軍と戰爭してはゐないが同政府との貸與議定書は依然有效で同議定書並びに條約により割當てられた貸與物資を引續きソヴエト聯邦に輸送することは立派に合法的だ、從つて五月中ソヴエト聯邦は依然貸與物資を受取るであらう

米ソ兩國間の貸與協定は一九四五年六月三十日まで有效だが記者團の間から「貸與協定は二月一つぱいソヴエト聯邦に適用されるのではないか」との質問が出たところ「暫く樣子をみよう」と意味深長な答辯を與へ、「五月以後については言明出來ぬ」と付け加へた

ヒムラー内相自殺

＝英第二軍正式發表＝

(ストツクホルム二十四日發)ハンブルグ來電＝英第二軍司令部は二十四日夜ヒムラーの死に關し次の通り發表した

一、ナチ親衞隊長、ドイツ保安警察隊長兼ドイツ内相ハインリツヒ・ヒムラーは五月二十一日ブレーメルフヨルデにおいて英第二軍部隊のために逮捕され五月二十二日野戰保安拘留所に收容された

一、ヒムラーはヒーツインガーの假名の下に旅行し、右顏に黑い膏藥を貼り、口髭を剃り落してゐた、彼とともに副官二名が同行してゐたがその一人は屈强な親衞隊員であつた

一、取調べには入るやヒムラーは身分を明かし收容所の主任將校によつて一應確認されたが、これは後に第二軍司令部から情報將校が到着するに及び全く疑ひない事實となつた

一、ヒムラーは直ちに武裝せる英兵の警護下におかれ、服裝をはいで所持毒藥の有無を確かめるため身體檢査が行はれた、檢査の終り頃軍醫がヒムラーの口中を調べようとした時、彼は突嗟に頭部を動かして口中に隱してあつた靑酸加里のガラス小壜の栓を噛み切つた

一、ヒムラーはそれから十五分の後、五月二十三日十一時四分死亡した

一、藥壜は數時間前からヒムラーの口中に隱されてゐたものである

一、赤軍ジユーコフ元帥より派遣せられたるドイツ軍降伏條件遂行監視委員コルブーシン大佐、イエブレフ中佐、クーチン大尉の三名は本五月二十四日十八時十五分死體を檢證し、適當なる寫眞並びに報告書を受け取つた

【桑港會議】

殘る五%が難問題

（リスボン二十三日發）サンフランシスコ來電＝二十三日の會議は安全保障理事會機構手續委員會における大國對小國の論爭が中心になり、大國代表は五大國の絶對拒否權に修正を加へようとする小國側が提示する幾多の技術的質問に答へるのに大童だつた、桑港會議全體の進行狀態をみると十二の專門委員會による國際憲章作成の討議はほぼ七五%が完了したとみられ、六月初旬には會議の終了が期待されてゐる、「原則論の一致」を基礎として考へれば殆ど九五%が解決したともいへるが、殘る五%には總會の權限、信託統治制問題、表決方式等難問ばかりが含まれてをり、表決手續と信託統治問題がサンフランシスコの視聽をさらつてゐる感が深い、皮肉なことは桑港會議で戰後の安全保障を論じてゐる一方トリエストやレバノンに國際紛爭が生じてゐることで、ステチニアスが二十二日夜に急據ワシントンに旅立つたのも桑港會議の問題よりは歐洲戰後處理問題が主な理由であるとみられる

會議の費用百五十萬弗

（リスボン二十三日發）サンフランシスコ來電＝桑港會議が六月第一週で終るものとして米國はこの會議の費用として總額百五十萬弗を支出せねばならぬとみられる、一日平均約三萬弗の出費で、會議の經費が當初の豫算を超過したのは會議で五ケ國語を使用することとなつたためだ

【西　亞】

レヴアント代表佛に抗議

（リスボン二十三日發）シリア、レバノン兩國に對するド・ゴール政權の帝國主義的要求は兩國民衆を極度に憤激させ、小國の權利を擁護して飽くまで闘ふ決意を固めさせてゐるが、サンフランシスコ來電によれば桑港會議の兩國代表を代表しシリア首相ファリス・アル・フーリは二十二日記者團に對して同政權の武斷政策を抗議する聲明を行つたと傳へられる、聲明の要旨次の通り

フランス假政府はシリア、レバノン兩國において特權的地歩を確保しようと試み、政治的壓迫と恐喝の具に使ふためセネガル兵部隊を派遣した、その結果シリア、レバノン兩國民衆を憤激せしめ、彼等は穩當な示威運動を行つて抗議の意を表明したところ、セネガル兵部隊は身に寸鐵をも帶びぬ無辜の民衆に向つて發砲、多數の死傷者を生ぜしめた、以上の事件は當然アラブ聯盟諸國に多大の反響を捲き起し、相互援助の規約に基きいつでも義務を履行する用意ある旨を表明してゐる

レヴアント保護は佛の義務
＝佛代表嘯く＝

（リスボン二十三日發）サンフランシスコ來電によれば、桑港會議のド・ゴール政權代表レイモン・オフロワはシリア、レバノン兩國代表の聲明に對抗して二十二日記者團と會見、その帝國主義政策を辯解して次の通り聲明したといはれる

フランスがシリア、レバノンにおいて支配的地位を維持しない限り、「他の大國」がフランスに取つて代るであらう、英國は兩國におけるフランスの支配的地歩を既に認めてゐる筈だ、シリア、レバノン兩國に數百名の駐屯部隊を派遣したことなぞ大した問題ではない、英國の如きは依然第九軍の全部を駐屯せしめてをり、この兵力は一向どこへも移動する氣配がみえないではないか、フランスはシリア、レバノン兩國を對日戰の空軍基地、軍需品集積所として使ひ、港灣を利用する計畫だが、兩國は近代戰において自國の安全を確保出來ないのだからフランスが保護してやらねばならない、オフロワは「他の大國」とはどの國かといふ記者團の質問に對しては苦笑を浮べただけで口を緘して語らなかつたが、英國を意味することは言ふまでもない

英イラク關係の强化を考慮

（リスボン二十三日發）バグダツド來電＝イラク首相兼外相代理ハムデイ・アル・パチヤチは二十三日の議會において英國との友好同盟關係の强化を要望する一議員の質問に答へ次のやうに言明した

英、イラク條約の改訂に關し、英國側からは未だ何の提案もないが、イラク政府は戰爭終了の曉この問題を提起しようと考慮中である

昭和二十年五月廿六日(土)
第三四三三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

近東の物情騒然
＝「闘ふべき秋來る」＝

（リスボン二十三日）ダマスカスからのロイター電報によればシリア政府は不慮の事態に備へるため軍隊を徴募、召集された好戰的なヴールーズ族はダマスカスの街々に溢れて不穩な雰圍氣を呈してをり、舊トルコ帝國軍將校が大擧で訓練を施してゐるといはれる、他方ベイルートからの別電によれば、レバノン首相カラメー及び外相アンリー・フアラオンはシリア、レバノン兩國の國旗を手に手に内閣官邸前に集つた一千以上の學生の群に向つて露臺から熱辯を振へば、學生の群は「闘ふべき秋はきた、我等を軍隊に編入せよ」と口々に絶叫して氣配を擧げてゐるといはれ、近東民衆の昂奮は刻々にたかまつてゐる樣子だ

米英兩國政府は二十三日までのところ公式に見解を表明せず、專ら成行を凝視する態度を採つてゐるが、シリア駐劄英國代理公使はカイロ駐劄米國公使タックを訪問して打合せを遂げ、更にトランスヨルダンの英國領事は二十二日シリア首相代理ヤミール・マルダム・ベイを訪れて、或る種の「重要な文書」を手交したと傳へられ、米國政府は漸次紛爭干渉の態度を明らかにしてゐるやうだ英國言論界も一般にフランスの措置を「遺憾」として政府の干渉を要望してをり、「タイムズ」紙も帽子の蔭からフランスを非難して二十三日の社說で次の通り論じてゐる

英國は別にフランスの遣り口を非難するわけではないが、シリア、レバノンにおける事態を歎かずにはをられない、兩國に對する保護はフランスの特定の利益に順應しなければならぬものかも知れぬが、英國は東亞に對する重要な補給線を制御するアラブ諸國の平穩に大きな關心を寄せてゐるため、近東情勢に別して無關心でゐることは許されない

パレスチナ送油管を爆破

（リスボン二十三日發）エルサレム來電＝パレスチナの不平分子は二十三日、ヨルダン河西岸のベイサン地區で爆藥を仕掛けてイラク油田へ通ずる送油管を破壞したといはれる、送油管の爆破は第二次世界大戰開始以前の騒擾以來初めてのことである

【トリエスト問題】

外交折衝續行

（ストツクホルム二十三日發）米英軍の武力干渉によりトリエスト問題は一段の紛糾を豫想されてゐるが、ロンドン來電によれば米英兩國政府とユーゴ統合政權との外交折衝は依然續行されてゐるといはれる

【歐洲戰後處理問題】

ヒムラーの行方依然謎

（チューリツヒ二十三日發）ヒムラーの行方に關しては依然謎の儘殘されてゐるため種々な說が流布され、米英兩國の庇護下にあるといふ噂まで跳び出してソ聯の神經を苛立ててゐるが、パリからのロイター電報によれば、アイゼンハワー司令部の一高級將官は二十三日特に氏名を嚴祕に附すやう命じた後次の通り言明したといはれる

ヒムラーの行方は判らない、彼がフレンスブルクから姿を隱したのは五月十六日で、その日ヒムラーはデーニツツに政權の椅子を與へるやう要求したがデーニツツは一蹴して、フレンスブルクを退去するやう勸告したといふことだ

兩元帥の對英移送を否定

（リスボン二十三日發）ゲーリング、フオン・ルントシユテツト兩元帥は既に英國に移されて裁きを待つてゐると噂されてゐるが、パリ來電によれば、アイゼンハワー司令部は兩元帥が依然歐洲大陸にゐる旨二十三日特に發表したといはれる

米軍ツアイス工場を使用

（リスボン二十一日發）イエナ（チューリンゲン）からのAP電報によれば、世界一流の光學會社ドイツのツアイス光學機械工場とその附屬硝子工場は現在占領軍の手で操業中といはれる、ツアイスの生產品目はレンズ、砲隊鏡、双眼鏡、顯微鏡、檢眼鏡、ゲージ、深度計等に亘つてゐるが、既に米軍はこれら各品目について小量の發註をしてゐるといはれる

獨捕虜の一部を釋放

（リスボン二十二日發）パリ來電＝アイゼンハワー司令部は二十二日次の通り發表した

一、聯合軍のドイツ占領を圓滑ならしめるためドイツ軍捕虜及び武裝を解除されたドイツ軍の一部、ドイツ婦人捕虜の一部を釋放する

一、釋放される者は農業勞働者、鑛山勞働者、運輸勞働者その他農業生産及び重要工業に必要な人員のみに限られる

一、更に五十歳以上の男子は釋放される、女子の釋放は集團軍司令官の判斷に委ね、必要の場合醫師、看護婦その他僧職の者を釋放せずに留めて置くことが出來る

一、釋放された捕虜は總て市民權を回復し一般市民と同程度の軍管理を受ける

一、但し戰爭犯罪人を誤つて釋放せぬやう愼重に調査すべきこと

俘虜の歸國は後まはし

（リスボン二十三日發）パリ來電＝歐洲侵攻聯合軍最高司令官アイゼンハワーは二十三日空路英佛海峽沿岸の小港サン・ヴアレリ・アン・コー（アーヴル西北六十粁）に到着、歸國を待つ四萬の米軍俘虜を前にしてトラックの上から左の通り演說した

余は諸子を出來る限り早く歸國させるやう自ら一切の手段を盡してゐる、余は既に米國向けの俘虜輸送船に對して、兵士たちに一つの寢床を分つたり、交代で寢たりして貰つてもとにかく「泳いでもよいから早く歸りたい」といふ兵士達の希望を叶へてやるために能力一杯に乘せるやう命令した、われわれは諸子をこの場所から米國に送り出し、諸子の家族に面會させるやう出來る限りのことをしてゐる、しかしわれわれはまた對日戰を遂行するため目下大規模の行動を起してもゐるのである、諸子のために卽刻船を工面出來ないとしても、これは太平洋で戰つてゐる諸子の戰友達のことを考慮せねばならぬためにほかならない

エルベ河機雷除去終了

（リスボン二十一日發）パリ來電＝歐洲侵攻聯合軍最高司令部は二十日次の通り發表した

クックスハーフエンを基地とする英國掃海艇隊は二十日、河口よりハンブルクに至るエルベ河線内の機電除去を完了しさらにウイルヘルムスハーフエン、キール、ブレンメルハーフエン、ウエーゼルミユンデ方面の機雷をも除去した

シュライヒアー捕はる

（チューリツヒ二十三日發）米第七軍附ロイター記者の報道によれば反ユダヤ運動の指導者ユリウス・シュライヒアーは二十三日オーストリアの基地で米軍空挺部隊によつて逮捕されたといはれる

【歐　洲】

調査團の斡旋要請を拒絕

（リスボン二十二日發）パリ來電＝目下歐洲を訪問中の米國上院國際交通調査團々長バートン・ホイーラーは二十二日歐洲侵攻聯合軍最高司令官アイゼンハワーに同調査團がベルリンを訪問出來るやうソ聯當局の許可を得るため斡旋を求めたがアイゼンハワーはこれを拒絕し、國務省を通じて申込むやう要請した

諾國王布告

（ストツクホルム二十日發）オスロ放送局はノルウエー憲法が採擇された一八一四年五月十七日を記念する「ノルウエー自由記念日」に當り十七日國王ハーコン七世及び聯合軍最高司令官アイゼンハワーの布告を放送した、布告の要旨左の通り、

ハーコン＝

ドイツ軍占領下の困苦に滿ちた數年間、國民が自己を犧牲とし、剛毅の精神をもつて耐へたことに感謝する、しかし對日戰は大量の資材を必要とし、このため當分の間必要なだけの民需物資を輸入することは困難とならう

アイゼンハワー＝

聯合軍の勝利に寄與したノルウエー國民の努力は賞讃に價する、ノルウエーが完全に解放されればノルウエー軍以外の軍隊は總て卽刻撤兵する、われらは英雄的な盟友ソ聯及び東方からの友邦と共に勝利と平和とに向つて前進するのである

昭和二十年五月廿六日(土)
第三四三三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

【米　洲】

內閣の一部改造

(リスボン二十三日發)ワシントン來電＝大統領トルーマンは二十三日の新聞記者團會見において內閣改造に關し次の通り發表した

檢事次長　トム・C・クラーク
任檢事總長
聯邦判事　ルイス・B・シユウエレンバツハ
任勞働長官
戰時食糧調査委員長　クリントン・アンダーソン
任農務長官
檢事總長　ビドル
勞働長官　パーキンス
農務長官　ウイツカード
依願解職(六月一日付)

なほアンダーソンは戰時食糧局長官ジョーンズの辭任をまつて戰時食糧局長官を兼任する

海軍航空局長更迭

(リスボン二十一日發)ワシントン來電＝大統領トルーマンは二十一日少將ハロルド・サラダを海軍航空局長に任命した、前任者デユーウイツト・ラムゼーの轉出先は發表されてゐない

デンマーク公使を任命

(リスボン二十一日發)ワシントン來電＝トルーマンは二十一日モネツト・デーヴイスをコペンハーゲン駐劄公使に任命した

歐洲救濟に關する大統領の書翰

(リスボン二十三日書)ワシントン來電＝大統領トルーマンは二十二日戰時生產局長官クルーグ、戰時食糧局長官ジョーンズ、戰時固形燃料局長官イツキーズ並びに外國船舶委員長レオ・クローリーの四名に對し次の書翰を送つた

「貴下に寫しを送附せる如くドーゼンマン判事の報告書は歐洲西北部被解放諸國における極めて重大なる經濟狀態を指摘してゐる、右報告書は明瞭なる語調をもつて、わが政府として何らかの措置をとる必要ある旨を確言してゐる、報告書が指摘するところを要約すれば次の通りである

一、これら被解放諸國においては、田園食糧生產諸地域を除けば、全般的に危險なるばかりの低榮養水準が存在する、石炭の產額は最少限の需要をさへ滿してゐない、鐵道、運河、道路等による國際輸送手段は掠奪と破壞により著しい損害を蒙つた、殘されたものも大部分聯合軍の軍用に供せられてゐる、諸港は爆彈並びに破壞攻擊により大損傷を疊つてゐる、製造業は破壞乃至損傷或ひは原料不足と工場維持の不十分のために癱瘓狀態にある

二、歐洲西北部の被解放諸國における必要は重大である、これは人道主義的な見地から見てのみさういへるのではなく、それが必然的に幾度の國內政治及び國際政治の諸問題を包括するからのことである、將來における歐洲の恒久的平和は、相當なる生活水準並びに就業狀態をも含めて、これら被解放諸國の經濟の復興といふことに依存すること大である、更に米國經濟もこれら諸地域が商品並びに勤勞の國際的交換において、もとの地位を回復せざる限り深甚なる影響を蒙るであらう、混亂し飢ゑたる公衆は、安定せる民主々義的遊戲的政府を育成し得べき豐穰なる年ではない

三、米國は戰時聯合國の最大の生產者であるし、また當然これらの諸國に對する主要民需補給源としても期待されるであらう

可能なる限りこの責任を負擔することこそはわが政府の確定せる政策である、從つて、國家政策の問題として余は貴下の機關に對し、敵のために荒廢に歸したるこれら盟邦の最少限の民需を軍事作戰の成功的遂行並びにわが基本的國內經濟の維持が許すかぎり十分に充すことを優先的必要事として認められんことを要求する」

歐洲向輸送船に歸還命令

(リスボン二十三日發)ワシントン來電＝陸軍省は二十二日、百萬噸の軍需資材を搭載して既に歐洲向け航行中の船舶八十九隻に對し歸航命令が發せられた旨發表した

中米聯邦案實現か

（リスボン二十二日發）サンフランシスコ來電＝「サンフランシスコ・クロニクル」紙は二十二日附の紙上、スコツト・ニューホールの署名入り記事を掲げ「さきに革命によつて樹立された中米のグワテマラ及びサルヴアドルの新政府は近く兩國の聯邦案を發表しようとしてゐる」と報じ、「この報道が確報ならば、中米の自由主義的政治家がこの地域に聯邦を樹立しようと努力した一世紀以上に亘る懸案に對し具體的な第一歩が踏出されることとならう」と論じてゐる、要旨次の通り

グワテマラ大統領ホアン・ホセ・アレヴアロとサルヴアドル大統領カステナダ・カストロは最近會見し、兩國の憲法を相似的なものとするため兩國民に要請して憲法に檢討を加へる案について協議した、右案によれば兩國は共通の貨車制度制定、兩國間の旅券撤廢、共同の警察力を樹立しようとするものであつて結局は一人の大統領と一つの立法機關とを持つ一國家に融合しようとするのである、そして新聯邦の首都は試驗的に現在のグワテマラ國境に近いサルヴアドルのサンタ・アナにおくといふ、中米諸國のうちでこの運動に對して興味を持つ國はコスタリカが唯一つあるだけだが、同國は中間にニカラガとホンヂユラスが介在してグアテマラ、サルヴアドルの「進歩的」姉妹國家と國境を距ててゐる

食糧對策に腐心

（リスボン二十日發）ワシントン來電＝戰時動員局長官ヴインソンは國内の食肉不足打開のため十八日次の三施策を發表した

一、食肉用牛の飼育を奬勵する

一、牛、豚等家畜類を最大限に屠殺することを奬勵する

一、食肉の配給狀態を改善する

以上の施策實施に當り、戰時動員局は牛肉供出者に對し新たな補助金制度を設けると共に、養豚家に對する補助金の增額を規定してゐる、他方農務省は國内の食糧狀勢に關し、十九日次の通り發表した

一九四五年における市民の食糧供給量は消費量が最高記錄を示した一九四四年に比し一人當り五乃至七%減となる豫定だが、一九三五年から一九三九年にかけての平均消費量より約二乃至四%方多くならう、右計畫から除外される主なるものはバター、罐詰、魚類、砂糖等で、これらに對しては戰前の消費水準を維持し得るやう特に配慮するが、食肉類の配給は一九三五年—三九年の水準よりは若干低下するだらう、今年の穀類及び家畜類の生產は一九三五年——三九年の生產高より三二%多く、昨年より五%少い見込みだ

昨年中に供給された全食糧の若干は備蓄食糧から流用されたが、今年はこれを昨年以上に利用出來る見込みは殆どない、罐詰の果實、野菜類ミルク、チキン等に對する軍需は今年は昨年より增大するとみられるが、その他の榮養食糧は少くとも昨年と同程度市民に供給されよう、結局現在の榮養を基礎にすれば全食糧部門に亘り將來も十二分の供給が可能とみられ、總ての主要食糧に對する需要にも應ずることが出來ようと合成ゴム工場罷業

（リスボン二十二日發）テキサス州ヒューストン來電＝ゼネラル・タイヤー・ゴム會社のベイタウン合成ゴム工場の勞働者約五百名は二十二日突如罷業に入り同工場の作業が完全に停止した、原因に關しては會社並びに組合當局の何れも言明を避けてゐるが勞働者の言明によると三名の勞働者が交代制で四人分の仕事を命じられたことから始まつたといはれる

太平洋の兵員空輸

（リスボン二十二日發）サンフランシスコ來電＝ユーナイテツド航空會社は次の通り發表した

ユーナイテツド航空會社所屬の飛行機は兵員並びに補給物資を前線に輸送するため、サンフランシスコからホノルル經由グアム島まで約四萬二千五百哩の距離を一日で飛翔してゐる、なほ一九四三年三月當時は本會社の飛行機の一日の飛行時間は約八時間半であつたが、現在では平均一日當り十一時間半となつてゐる

昭和二十年五月廿六日(土)
第三四三三號
同盟通信 海外電報 (第三種郵便物認可)

特輯

桑港會議週間報告

五月十三日—十九日

武井武夫

この一週間における桑港會議は漸く軌道に乘り大小幾多の問題が上程され、その一部は解決されつつあるが、解決したとはいつてもまだ會議における正式の決定となつたわけではなく、ただ十二の專門委員會においてこの一週間撓みなく面倒な仕事が續けられ、とにかく成功が確信される程度まで世界憲章の成文化といふ事業が進んだとみられてゐるだけなのである

各專門委員會の活動がまだ形式上の同意といふところまで實を結んでゐないといふ事實は、殆んどこの會議が採用した方法、卽ち專門家の言によれば國際會議においては空前ともいふべき複雜な手續のためであるといへよう

初めから前におかれた基本提案、卽ちこの場合にはダンバートン・オークス案を檢討するといふのではなく、各國代表は根本原理から議論することに力を注いだ、この根本原理においてやつと意見の一致に到達すれば、初めて原案の起草といふことになるが、これも實質的な仕事といふよりむしろ技術上の問題である

現在まで未解決のままで殘つてゐる問題は極めて多く、何時會議が終了するかといふやうなことは相當無茶な人間でも斷言し兼ねる位である、しかしながら殘つてゐる問題といふのは何れも極めて重要ではあるが、世界安全保障機構の輪郭について一應形成された國際協調を破るほどの問題だとは考へられない、さて次に過去一週間における主だつた經過を列擧することにしよう

△五つの問題

一、地域的安全保障協定と世界機構の調和といふ問題に關して中南米代表と主催國(米國、英國ソ聯、重慶)との間に生じた行詰り狀態が打破され、米國の新提案が全般的には容認し得るといふ兆候が示されつつあるといふこと

二、非獨立民族に對する信託統治制度の設定に關し、專門委員會において確然たる前進が示されたといふこと

三、桑港會議において創設される世界機構により國際權利綱領なるものを方式化するといふ特別提案に關し、人類至上價値の再認識が世界的協力の下に達成されようとしてゐること

四、世界機構總會の機能は諸機能を甚しく變改する多くの修正案が會議に提出されたにも拘らず本質的にはダンバートン・オークス案において否定されたものと殆んど變らないといふ專門委員會の決定

五、國際裁判所その他司法上の諸問題に關する專門委員會の仕事が著しく進捗し、分科委員會においてこの進行狀態を報告し得る程度に達したといふこと

以上五つの問題がこの一週間における主な收獲であり、具體的には桑港會議開始以來の收獲だつたといへるのである、五つの中で最も採めたのは地域的取極めの問題だつたが、結果はまだ分らないまでも十九日午後からソ聯代表の招請により五ケ國會談が開催されてゐるといふ事實はとに角諸國代表の愁眉を開かせたのである

△ソ聯代表のサボタージュ

地域的機構を世界機構の中に適合させるといふ問題はまだ全然解決してはゐないが、前週の同じ頃米洲諸國の代表が西半球安全保障體制の機能を阻害する如きことは一切排擊すると放言した頃に比べれば、餘程解決に近づいたともいへるのかもしれない、その一週間の間に米國首席代表ステチニアスは中南米代表と幾度か會談を重ね、やつと地域的集群の國際機構への編入に關する新方式を發表することが出來るやうになつた、この新方式には三つの重點がある、卽ち

一、侵略行爲に對する强制措置においては國際機構が最高權限を有する

二、世界機構が諸國の防衛に當り得ない場合、諸國は個別的或ひは集約的に自國を防衛する權利を有する

三、紛爭の平和的解決における地域的機構の意義を十分に認める

といふ三つだが、この提案は提出されたまま何日か放置されなければならなかつた、ソ聯代表が一應反對意見を表明したまま正式の意思表示をしなかつたからである、焦躁のうちに十九日に至り、モスクワからの回訓が到着して五ケ國會談が開かれたが、その回答内容についてはまだ明かにされてゐない、ただ米國代表が滿足の意を洩してゐることと、ソ聯代表が米國提案中の「集約的防衛」といふ字句の明確なる定義を求めたと傳へられるところからその大體を察するほかはない

△暗礁續出の信託統治制

信託統治委員會にはそれぞれ内容を異にする幾多の提案が提出されたが、これはダンバートン・オークス案にこの問題が包含されず、具體的な基本案を持たなかつたためである、そこで米國代表ハロルド・スタツセンを委員長とする小委員會が設置され、十五日夜に至りいはゆる「基準文書」が出來上つた、この文書の全般的な基礎となつたのは米國案であるが、米國側ではこれにより十分各國の同意を得ることが出來ると希望的な期待を抱いてゐるらしい

例によりソ聯代表はモスクワから回訓が到着しないといふ理由の下に出席せず、專門委員會の討議はソ聯代表缺席のまま開始されたが、不平は意外なところに、審議劈頭スタツセン案は暗礁に乘り上げた、即ち重慶代表は信託統治下にある諸地域の究極的目的の一つとして「獨立」なる字句を挿入せよと主張したのである、これに對し米國代表は明示的目標として「自治」なる言葉を提唱し文書中に「獨立」といふ必要はないと主張した、これは信託統治地域の人民の希望が第一の條件であり、且つ自治といふ言葉には獨立の意味が十分含まれてゐるからといふ見解に基くのである、この問題は單に未解決であるといふ以外に既に當初から諸植民地の獨立を標榜してゐるソ聯代表が有力な發言者として加はることになれば更に大きな紛糾が豫想される

△經濟社會問題理事會

經濟社會問題理事會は世界安全保障機構の一機關として從來あまり注目されてゐなかつたが、この一週間に急に會議の花形となつた感があつた、同理事會の機構を論じた專門委員會は、これまでダンバートン・オークス案において全然論ぜられてゐなかつたやうな多くの文化方面や、人權の問題へも理事會の機能が及ぼされることを提議決定した、ステチニアスが米國代表團は理事會に對し國際權利綱領なるものの創案委員會の設置を提議するだらうと言明したことから、經濟社會理事會は將來極めて重要な役割を演ずるだらうなどと騒がれ始めたが、問題が問題だけにこれが實際にどれだけの價値を發揮し得るか大いに疑問で、まさか各國民の權利を國際機構が武力をもつて强制するわけにも行くまい、もし大國にとつてこの權利綱領が自縄自縛の魔縄となるやうなことがあれば初めて綱領はその價値を發揮し得たといへよう、とにかく權利綱領はそれを各國内法と調和せしめるといふ意味において參加諸國にまで提示されることにならう

△總會の機能に關する論爭

世界機構の總會の職能その他九項目の基本問題に關し激しい論爭の末、機構手續委員會は九項目のすべてに關する討議を終り、その決定を起草委員會に託して成文化せしめることになつた、委員會においてはダンバートン・オークス案において認められてゐたより遙かに大きな力を與へようとする多くの提案が出てゐたが、委員會は平和維持に關し總會には安全保障理事會の權威を凌駕することを許さないといふ意見に落着いた

安全保障行爲における責任はたれにあるかといふ主要問題を扱ふといふ點では關係があるが、組織的にはこれと別個の安全保障理事會機構手續委員會においては、安全保障理事會に關するダンバートン・オークス案の數字的構成をそのまま決定し、常任理事國五ケ國、非常任理事國六ケ國を選任することになつた、ただし修正した個所が二つある

即ち一つは非常任理事國の選定に當つてその戰爭における協力と地理的位置を「相當考慮する」といふこと、今一つはフランスが「適當なる時機」

昭和二十年五月廿六日(土)
第三四三三號
同盟通信
海外電報
(第三種郵便物認可)

に常任理事國の地位を得るのではなく、最初から常任理事國になるといふことである

△公開分科全員委員會始まる

かうして專門委員會ばかり開かれてゐた桑港會議も、十九日に至り最初の公開分科全員委員會を開催した、第六分科委員會第二專門委員會、卽ち國際司法裁判所委員會の報告を聽取するためである、この報告により專門委員會においては新國際法廷に關する尨大な法規草案が承認され、同委員會はハーグの常設國際司法裁判所を解消して全く別個に裁判所を設置するといふ提案に滿足なることが明かにされた

△小國の憤懣募る

その他この週間に討議されて解決した問題も、解決しなかつた問題も澤山ある、今後論爭の中心となりさうなものには安全保障理事會における表決手續など擧げられよう、クリミヤ會談で提案された表決手續は常任理事國のすべてに强制措置拒否權を與へるといふ規定があるのでそれが會議における反對の對象となつたわけだ、これに對し中小國は一齊に反對意見を表明し、キューバ代表の如きは大國の「集團的世界獨裁」といふ表現さへ用ゐてゐる位だが、一般に中南米代表は地域的取極めの問題と關聯して反對氣勢强く、うち九ケ國の代表は結束してこの問題が滿足し得る解決を見ない限り會議には出席しないといふ申合せを行つたとさへいはれてゐる、小國の憤懣は會議開催前から强かつたが、最近に至り地域的取極めの問題といひ、國際信託統治制の問題といひ、事ある毎に五大國會議を開催して、それが一切を解決する途であるかの如き態度を示してゐることは、五大國が中小國を全く無視してゐる事實を露骨に示してをり、いよいよ本會議は開催される段取りになれば、中小國の憤懣が爆發して或ひは收拾のつかぬ狀態となるのではないかと考へられるのである

△侵略の定義

サンフランシスコで聯合國代表の間で大いに論ぜられた問題の一つとして「侵略」といふ字句の定義がある、地域的取極めの問題でもさうであつたやうに、かうした國際機構の規約を起草する場合に一番大切なことは用語の正確な定義といふことだ

或る代表は侵略を定義して平和的解決に俟たなければならないやうな「誓約の侵犯」だとしてゐる、卽ち一國が侵略の烙印を與へられるためにはそれ以前にその國と他國の間に存在する意見の相違を仲裁にかけるといふ誓約に調印してゐなければならないことになるのである

一方會議代表のなかには安全保障理事會は制約的な定義などに縛られることなく國際紛爭に對し自由なる行爲を許さるべきだと信ずる人々が多くゐる、この人々はダンバートン・オークス案において示されてゐる「侵略行爲」といふ字句をそのままにし、安全保障理事會に任せても一般の輿論は個々の場合において侵略であるかないかについて殆んど判定に苦しむことはないだらうと考へてゐるのである

濠洲代表の首相エヴアツトは二十日國家がたとへ軍事行動に出ずとも侵略の罪に當る場合のあり得ることを指摘してゐる、從つて「挑發せられざる攻擊」といふ定義を與へてみてもまだ範圍が狹すぎるかもしれない、隨分古い話だが普佛戰爭においてビスマルクが巧みにフランスを自分から手を出さなければならない立場に追ひ込んだ例もある、さうなるとさうした軍事行動が實際に挑發されたものか否かといふ問題が起り、エヴアツトの指摘したやうに專門的な字義に對する深謀遠慮が問題全體を覆ひ隱すやうなことにもなり兼ねないのである

從つてダンバートン・オークス案の第八章B款第二項の用語はそのまま殘りさうにも思はれる、その部分を引用すると次の通りである

全般的に安全保障理事會は平和に對する脅威、平和の破棄、或ひは侵略行爲の如きものの存在を決定し、平和安全保障の維持乃至回復のために取るべき手段について推薦し、或ひは決定すべきものである

またこんな意見もある、もし侵略に關する特別の定義が國際安全保障憲章のなかに織り込まれたりすると、現在聯合國の一員でなく、憲章に署名

してゐない國家が紛爭に際して定義の價値を云々するやうなことになるのではないかといふのである

更にダンバートン・オークス案第八章A款第二項は

機構の成員たると否とを問はず、如何なる國家も國際不和の基となるが如き一切の紛爭を總會或ひは安全保障理事會に提出するを得と規定してゐるが、これによれば戰爭を防止すべき機構、卽ち更に正確にいへば平和を維持すべき機構は現在桑港會議に出席してゐない國をも含めてすべての國家が利用し得ることになるのである

△盡きぬ惱み

もし總會並びに理事會があまりにも限定され、特殊的な或ひはあまりにも複雜な定義に制約さるとなれば、將來いつか非加盟國が自己の關係する紛爭の解決を求めることを躊躇する如き場合も考へられる、從つてまた侵略は誓約の侵犯からのみ生ずるといふ意味の定義が與へられたとすればこの誓約にまだ調印してゐない非加盟國は實際に挑發せられざる戰爭行爲を犯したる場合にも、その定義に基いて無辜を訴へるかもしれない、從つてサンフランシスコにおいては、定義などに縛られることを避け、判斷を國際機構に委ねて事件が起る毎に侵略か否かを決定するやうにしたいといふ傾向が強い

結局誰の意見も十分事情を知り、それに利害關係を有する輿論に支持されない限り、將來の國際機構はその威力を發揮することは出來ないだらうといふ所に落着いてゐる、どんな進んだ國でも一般人は專門的な頭を持つた國際法學者の面倒な紛らはしい用語さへ出て來なければ正しい主張を支持すると考へることが出來よう、要するに現在作成されつつある憲章は專門語の骨組などを基礎とするものではなく、常識を根本としない限りその價値を發揮し得ないといへるが、實際にはさうした融通性を持たした規約が出來ても專門家の目から見ればまた拔道があるに相違なく、國際的協定乃至規約に附物の惱みはサンフランシスコにおいても仲々消えさうにないのである

イタリア政界動く

長谷川才次

歐洲戰爭の終了は必然的にイタリア政界に大きな影響を及ぼしてゐる、具體的にはこの部における各派代表を交へたボノミ政權の强化工作であり傾向的には滔々たる左傾の動きである

「バズラー・ナハリヒテン」紙のミラノ電報は五月九日次の通り報道してゐる

「英國代表ハロルド・マクミランは八日ローマに到著、ボノミ首相と一時間に亘つて會談を遂げたボノミ政權と北部の各代表との間には、內閣改造について交涉が進められてをり、マクミランが今回ローマに乘込んだのも、右交涉に立ち會ふためだが、米英兩國政府としてはボノミ首相の下に內閣を改造することを主張し、若しボノミ首相が辭職する場合にはオルランド元首相を首相に据ゑようといふ意向だ」

同じく「チユリツヒアー・ツアイツング」紙のミラノ特電によれば、ミラノ、トリノ、シエノアその他北部各都市における地下運動の領袖は旣にローマ政派代表と會見、劈頭からボノミ首相の退陣を要望したと傳へられる、國內輿論の動きも歐洲戰爭の終了を契機としてイタリア國今後の地位をはつきりさせることを要望し、首鼠兩端を持するボノミ政權現在の遣口は少からず不滿で、一刻も早く憲法會議の開催を主張してゐるが、果してボノミ政權の改造が以上の要望に應へる程徹底した結果となるかどうかは分らない、將來の政體については君主制は少からず不評判で殊に北部の諸政派はフアシスト黨系の肅淸工作を頻りに要求してゐるので、君主制はますます不人氣だ、ボノミ首相の地位も以上の大勢に動かされ、漸次影がうすくなり、「チユーリツヒアー・ツアイツング」紙のロンドン電報によれば、英國政界筋でも結局ボノミ首相が退陣して各政黨の全面的支持をうけた新人が乘出さねばならぬといふ意向に傾いてゐるといふ

歐洲戰爭の結果、歐洲各國が著しく左傾するであらうことは想像に難くないが、政情の不安と食糧不足に惱むイタリア國民が赤化の過程を辿つて

昭和二十年五月廿六日(土)
第三四三三號
同盟通信 海外電報 (第二種郵便物認可)

ねることは敢へて意圖するにたりないだらう、
「バズラー・ナハリヒテン」紙のミラノ特電は五月十四日次の通り報道してゐる
「イタリヤ政界筋では目下左傾競爭が支配的で六政派何れも敢へて右翼だと主張せず、自由黨すら自ら中央派だと稱してゐる位だ、しかし依然としてイタリヤ政界には右翼が存在してゐることは事實で要するに政界には大別して二派が存在するといへよう、第一は右翼各派で共產黨、社會黨、共和黨がこれに入り、第二は民主派でキリスト教民主黨、自由黨並びにカトリツク黨等を數へる事が出來よう、兩派の相異は逐次はつきりし、左翼は大體次の政策を主張してゐる
一、ボノミ首相の挂冠と社會黨のメンニー首領が新內閣を組織すること
一、統監府の廢止と攝政府の設置
一、聯合軍による管理の撤廢
一、六ケ月以內に憲法會議を召集すること
一、國內各分理に亘る肅清工作の斷行
一、バルチザン組織の存續とフアシズムの根絕」

資料

ダンバートン・オークスから桑港へ

「タイムズ」紙四月三十日號

「フオーチユン」誌は、今週五月號の附錄として「タイム」、「ライフ」、「フオーチユン」三誌編輯部の合作になるダンバートン・オークス國際機構案の解剖を掲げた

△米國國民の二つの希望

これによると米國々民は平和維持のため世界組織に參加するのに贊成ださうである、この點ではわれわれも變らない、米國々民はまた今後長い間少くとも他の如何なる國家にも劣らぬ程強力な陸海軍事施設を保持して行くことに贊成ださうである、さてこの二つの希望が一體に合せられて始めてダンバートン・オークス案について率直で筋の通つた論議が進められるのである、二つの希望を全體して見て先づわかるのは、米國々民は現在豫見せられた將來における平和維持について國際組織だけを賴りにしてゐるのではないといふことである、またその反面米國々民は世界平和は勿論、自國の平和をも武力だけによつて維持して行かうとしてはゐない、だが以上の二つの希望、つまり一方では世界組織に參加し、他方では世界最大の軍備を保持しようといふ希望は、それだけで完全なものとは言へない、何かしら缺けてゐる、つまり米國政府內部で決定し且又米國朝野一般の要求する外交政策がどんなものであるかがはつきり述べられてゐないのである、米國の外交政策が十分はつきりした形をとるやうになれば、われわれの武力並びに國際組織におけるわれわれの地位は米國と共通の目的のために協調的に活用し得るであらう

米國世界政策の中心は「政治的自由支持の政策個人及び國家の双方を含めた政治的自由支持の政策」である筈である、自由に對する脅威は世界到るところに存在してをり、熄むことを知らぬものであるから、米國は法の下における自由を樣々な異つた條件の下において求めてゐる他の國家と、勇敢に且つ惜しみなく協力すべきである

△ダンバートン・オークス案の錯誤

新國際組織は一個の自己主權體たるに缺くべからざる要素を一つとして有してゐない、同組織はすべての平和愛好國の主權平等なる原則の上に礎かれてゐると稱する、だが加盟國の全部が全部非加盟國スエーデンやスイス程「平和を愛好」してはゐない、また加盟國間の平等も完全とは決していへない、一方各加盟國の「主權」、特に大國の「主權」が嚴密に護られてゐる事實は否定し得ない、最後に同組織は實際のところ集團安全保障案ではない

ダンバートン・オークス案は次の戰爭を回避乃至少くとも延期するために、愼重に考究され大膽に立案された試案である、つまり同案は、今次戰爭の結果出現する勢力の均衡を恒久化する努力に外ならぬ、それ故米英ソの三國間の協力こそ同案

の根本的前提且つ目標なのである、ダンバートンオークス案の起草者達は現下の世界における勢力の分布をそのまま受け容れた上で、そこから平和のために出來るだけのものを引出さうとしたのである

新國際機構案は三つの長所を有してゐる、第一は如何なる大國も——特に米國についてはさうであるが——重要部面における自國の行動の自由を如何なる意味においても犧牲にすることなく且又自國のために作り出す如何なる安全保障をも危殆に瀕せしめることなく、新組織に加入し得ることである、第二の長所は同案が繼續的國際協議の機構を設置する點である、第三の長所は總會——更に程度は低いが國際司法裁判所——が權力は殆どないが多くの機會を與へられてゐることである、賢明な勸告の集積した力と輿論の支持によつて新機構は漸次各國の國策に影響を與へ、長い間には眞の世界集團社會の基礎を作ることが出來るかも知れない

△新國際機構案のあり方

しかし、一方では新國際機構案は多くの重大な缺點を有してゐる、これらの缺點は結局次の一點に集約される、すなはち同案は大國間の意見一致に萬事を懸けてゐる結果、他の如何なる平和的方法にも目を向ける餘裕がない點である、この缺陷の「是正」を開始する時期はたつた今、すなはち桑港會議においてである、桑港會議でダンバートン・オークス案の是正が行はれるならば、米英ソ三國の支配下において正しく且つ永續的大平和への進歩が有り得る證左とならう、新國際組織の憲章は正義と法律の原則を心の底から認めねばならぬ、現狀ではこの原則が殆ど全く認められてゐないのである、われわれは特に新憲章の指導原則の一つは「正義の實現と人權並びに根本的自由の尊重促進」でなければならぬといふヴアンデンバーク上院議員の提案を支持するものである

法律による支配を直ちに意義あらしめるためには、新組織の憲章に「侵略」の定義を織込まねばならない、「侵略」とは何かたれにもわかるやうに規定されれば、安全保障理事會も都合の惡い事件には目をつむるといふやうなことが出來なくなる筈である、この好例として一九四五年三月汎米諸國の採用したチヤプルテペツク憲章が擧げられる、同憲章は「一國が武力により他の一國の領土に侵入せる場合、または條約の規定する國境を越境せる場合は侵略行爲を構成す」と述べてゐる

さらに總會に與へられてゐる「政治、經濟、社會の分野における」平和的變革を勸告する權限を一層擴大し、大國の干渉の埒外におくやうに、はつきり規定する必要があらう、總會には戰爭の結果强制的に課せられる平和條約中正當でない條項の修正につき自由に勸告を行ふ權限を與ふべきである、更に一般に總會の權限を擴張し、平和に關係ある如何なる問題についてでも安全保障會議が一定期間內——例へば三ケ月——に行動に出ぬ場合には、何らかの措置をとり得るやうにすべきであらう、またあらたに外部の國を總會に加盟せしめる場合には、安全保障常任理事國五ケ國中三ケ國を含む安全保障理事會三分の二以上の贊成投票を得た上で——現案では常任理事國五ケ國全部を含む三分の二となつてゐる——總會加盟國三分の二の贊成投票によつて決定すべきである、加ふるに總會には三分の二の贊成投票によつて新國際憲章の修正を提議する權限を與へ、修正提議が理事會過半數によつて承認された場合には直ちに效力を發生せしめるやうにしたい、しかして新修正案に拘束されるのを拒否する加盟國は、二ケ年の通告期間を置いて脫退し得るやうにしたい、桑港會議は總會における各國「比重代表主義」に愼重な檢討を加ふべきである、各大國の勢力がもつと平等に反映されるやうになれば、總會の能率と實力は增大するであらう

△新憲章の條件

一方安全保障理事會の規約には思ひ切つた修正を加へねばならない、尤も新國際組織案はこの點に大きな缺陷があるにしても、ある一つの機構を通じて武力を行使せんとする試みである事實は認める必要があらう、だがそれにしても新憲章は安全保障理事會に課せられる義務を擴大し、世界平和を脅威するあらゆる紛爭につき調査を行はしめ

るやうにしたい、特に五大國中の一國——一派といふならまだしもだが——が理事會による紛爭の調査をすら防止する權利を有するといふ條項は廢棄しなければならない、安全保障理事會に紛爭を調査し、五大國中三ケ國を含む理事國十一ケ國中七ケ國の贊成投票によつて解決案を勸告する權限を與ふべきである、現案ではすくなくとも理論上は理事會の如何なる一國でも、あらゆる問題につき「內政問題」だとの理由で紛爭の調査を阻止し得る仕組みになつてゐるが、この點は絕對に修正しなければならない、新憲章には少くとも國際司法裁判所に何が「內政問題」であるかを決定する權限を與へる旨のはつきりした規定を盛らねばならない

現在既に歐洲における三大國——ロシア、英國フランス——が自己の將來を二邊條約によつて保護しようとしてゐる、新憲章においては新國際組織以外の方法による安全保障問題の處理、すなはち世界の各地域に實力の集團——三大國を中心としそれに他の諸國をも加へ、共同基地と聯合武力を與へ、安定勢力として行動せしめる——を結成する方法をも奬勵すべきである、米英兩國は戰後一定の期間——假に二十年として——今まで通り共同參謀本部を置き、世界各地の兩國基地をプールすべきであらう

ダンバートン・オークス案の下にあつては、大國中の何の一國でもチヤプルテペック憲章、ソ佛同盟、その他類似の取極めによつて造られた安全保障制度の運用を拒否しうる、われわれの考へでは安全保障理事會にはこの點について單なる勸告權だけを與ふべきであらう

新憲章はまた植民地及び現在自治を許されてゐない國の國民に關する原則を明示すべきである

新憲章にはさらに、辭句は强く內容は一般的な「國際人權保護法」を盛り、今後如何なる國家にあつても人民の待遇は單なる一國だけの內政問題ではなくなつたことをはつきりさせるべきである自國々民の主權を國際組織に讓り渡さうといふ國は殆ど一國もあるまい、だが或は今後十年も經てば加盟諸國各自の人權保護法も改正される一方國際組織も進歩してゐるかも知れない、加盟國は各々主權を保持しながらの協力によつて十分進歩を遂げたから、更に一歩を進めて國際集團社會を編成し、これまでよりも大きな義務を負擔しても良いといふ氣持になつてゐるかも知れない

——

B29に協力する科學部隊

「タイム」誌 五月七日號

溫厚なロバート・ローレンス・スターンズ博士は、三年間の戰爭勤務を終へて、七月には米國陸軍航空隊を去つてコロラド大學總長に歸任すると發表した、非戰鬪員たるスターンズがなしとげた立派な業績を知つてゐる航空隊員は、まるで彼らの將官が引退でもするかのやうに驚いた、想像力の豐かな五十二歲のスターンズは彼のグループの典型的な人物であつた、ソロモンで第十三航空隊に所屬してゐた時の彼の最初の仕事は、何が搭乘員と整備員とを苦しめてゐるかを發見することであつた、彼の診斷は——甚しい倦怠、そして彼の有效な療法は——園藝や、原住民・植物誌・動物誌・地質學等に關する講義であつた

日本爆擊のために第二十航空隊が編成されたとき、老練の士スターンズは作戰分析部長に任命された、彼とその部下の技術家たちは、「長髮」と愛稱されてゐたが、十四ケ月間といふもの、どんな操縱士にも劣らず熱心に、全く新型の、これまでの飛行機と根本的に異つてゐる超要塞機を手なづけるために努力したのである、熱心な整備員たちにとつて不可解な難關が、しばしば出現した、その解決の見本は次のやうなものである

一、B29の發動機が引火して爆發した、ハーヴアート大學の生理學者ウイリアム・クロゼヤトは自動消火器で二酸化炭素をかけられるとマグネシウム合金の部分が爆發するのだらうと考へた試驗の結果、彼の考の正しいことが、證明され航空隊員に對して直ちに、彼らの消火器を少しでも火の氣を見たら卽刻使用するやうに、さうでなければ全然使用してはならない、といふ指令が與へられた、その後、マグネシウム合金の代りに、アルミニウム合金が用ひられるやうに

なつた

二、B29によつて生ずる空中電氣の凝集は空の要塞機によつて生ずるそれの六倍もあるので、無電が完全に破壞されてしまふことが屢々であつた、教授連は、それが小さい發電機を使用することによつて中和されることを發見した

教授連の當面した最大難問の一つは、氣象である、超要塞機の搭乘員たちは日本の氣象の根源たるシベリアからの氣象通報を入手することが出來なかつたから、高空飛行のB29は氣象圖作成旅行のために、危險を冒して遠く支那沿岸および奥地にまで派遣されなければならなかつた、この危險な仕事に協力するため、シカゴ大學の氣象學者ヘルムト・ランズバーグは、地上の重要な氣象資料を蒐集するために落下傘で投下する無線電話機を發達させることを專門家に委囑した、これが完成すれば、マリアナの航空氣象班の豫報に大いに貢獻するであらう

その他の困難な研究においても、スターンズと「長髪」部隊とは、思慮深い塔乘員たちと密接に協力して、B29の火力を强化するための新しい編隊樣式を創案した、彼らはまた、照準を補ふ新しい技術を以て爆撃效果を增大させたり、燃料消費を輕減してB29の射程や爆彈搭載能力を增加させたりした

アーノルド元帥は、軍隊的頭腦のわけのわからぬ仕事振りにしばしば腹を立てるが、スターンズとその一團とを採用したのは、新鮮な構想を得んがためであつた、彼はその期待を滿足させてなほあまりあつたわけである

米國の歸還兵高等教育計畫

米國各地の大學は歸還將兵局に協力して、戰線生活とは非常に相異した學生生活に順應させるため目下軍人再調整令に從つて勉學中の歸還將兵に對し綿密な計畫に成る指導設備を提供しつつある

教育局が米陸軍補給本部等から得た資料を纏めて五月十二日發表した調査によれば米陸軍將兵の二十五パーセントが戰後も勉學を繼續するといふ明確な目論見を持つてゐるといはれる、また同局が將兵再調整令により教育を受けてゐる歸還將兵五千名について調べた報告によれば、彼等の第一の關心は各自の職業と技倆の進歩とにあるといふことだ、これら歸還將兵は、戰後再調整令による教育を受けるべき三百萬以上の男女兵員達からみればその一先鋒部隊を成すに過ぎないのである

再調整令によれば、年齡と教育に關する資格さへあれば、九十日以上軍籍にあつた歸還將兵は誰でも勤務年限の多少に從つて一年またはそれ以上官費で通學出來ることになつてゐる、各人一ケ月五十弗の支給を受け大學の學費は最高一年五百弗まで支給される、不具となつた將兵はさらに高額を貰ふ

歸還將兵局が全國五十ケ所の大學に設置した指導部は歸還將兵が軍隊生活から學生生活への生活轉換について諸種の便宜を與へる、指導部には心理學者や特別訓練を經た相談係がゐて、歸還兵たちに再調整令が何んな風に適用され、求めるやうな訓練を受けるには何處へ行けばよいか等を教へてやる

大抵の大學では右の外さらに大學個有の歸還兵相談部を設けてゐる、例へばニューヨークのシラキューズ大學相談所等は心理檢査所を設けてをり歸還兵はここで職業適性試驗を受けたり教育相談部並びに學術技術向上部の施設を利用したり出來るやうになつてゐる、ニューヨーク市立大學の出征歸還相談部は既に四百五十七名の除隊兵に對して大學生活に戻ることに援助を與へてゐる、この施設は歸還將兵の入學を斡旋して彼等の勉强の希望を實現するほか合衆國政府や各州政府が設定した諸特典に關しても親切に教へてやる、歸還將兵でハイ・スクールの三學年修了または四學年一部未修の者は大學でこの課程を完了することが出來軍隊履歴または學術に關する證明書は大學で認定の上彼等に賦與される

コネチカット州ニュー・ヘーヴンのエール大學が立案した「エール學習計畫」は教授課目を變更して歸還將兵各人の必要に應ずると共に、出來るだけ短期間のうちに各人が擇んだ生活に這入れるやう計畫したもので他の十數大學における學習案の模範となつてゐる